

2019 年度

自己点検評価資料

2020 年 8 月



Hokusei Gakuen University

北星学園大学

北星学園大学短期大学部

目 次

自己点検評価資料

I. 本学の在り方及び目標に関すること

1	北星学園大学の基本理念・建学の精神・ミッションステートメント・各ポリシー・運営計画・運営総括（表 I-1）	1
2	学部（学科）・研究科等設置状況（表 I-2）	32
3	大学の規模等の推移状況（表 I-3）	35
4	大学・学部・学科、大学院研究科の新增設等の認可等の際に文部科学省から付された履行条件に対する実施状況一覧（表 I-4）	38
5	大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧（表 I-5）	43
6	教職員に占めるクリスチャンの比率状況（表 I-6）	66
7	自治体等の公開講座への派遣状況（表 I-7）	67
8	各種委員会・審議会等からの委嘱状況（表 I-8）	69

II. 本学の管理運営の在り方及び組織並びに機構に関すること

1	文学研究科委員会開催状況（表 II-1）	（省略）
2	経済学研究科委員会開催状況（表 II-2）	（省略）
3	社会福祉学研究科委員会開催状況（表 II-3）	（省略）
4	文学部教授会開催状況（表 II-4）	（省略）
5	経済学部教授会開催状況（表 II-5）	（省略）
6	社会福祉学部教授会開催状況（表 II-6）	（省略）
7	短期大学部教授会開催状況（表 II-7）	（省略）
8	共通科目部門会議開催状況（表 II-8）	（省略）
9	言語教育部門会議開催状況（表 II-9）	（省略）
10	教職部門会議開催状況（表 II-10）	（省略）
11	大学評議会開催状況（表 II-11）	（省略）
12	企画運営会議開催状況（表 II-12）	（省略）
13	教学会議開催状況（表 II-13）	（省略）
14	学則諸規程委員会開催状況（表 II-14）	（省略）
15	全学危機管理委員会開催状況（表 II-15）	（省略）
16	自己点検評価委員会開催状況（表 II-16）	（省略）
17	教員評価委員会開催状況（表 II-17）	（省略）
18	運営・財務点検委員会（表 II-18）	（省略）
19	学生支援委員会開催状況（表 II-19）	（省略）
20	広報委員会開催状況（表 II-20）	（省略）

21	倫理審査委員会状況（表Ⅱ-21）	（省略）
22	図書館運営委員会開催状況（表Ⅱ-22）	（省略）
23	FD委員会開催状況（表Ⅱ-23）	（省略）
24	スミス・ミッションセンター運営委員会開催状況（表Ⅱ-24）	（省略）
25	国際教育推進委員会開催状況（表Ⅱ-25）	（省略）
26	学生相談専門委員会開催状況（表Ⅱ-26）	（省略）
27	学習支援推進委員会開催状況（表Ⅱ-27）	（省略）
28	キャリアデザイン支援委員会開催状況（表Ⅱ-28）	（省略）
29	社会連携センター運営委員会開催状況（表Ⅱ-29）	（省略）
30	総合研究センター （研究支援委員会・経済学部研究資料室運営委員会）開催状況（表Ⅱ-30）	（省略）
31	総合情報センター運営委員会開催状況（表Ⅱ-31）	（省略）
32	心理臨床センター運営委員会開催状況（表Ⅱ-32）	（省略）
33	アクセシビリティ支援委員会開催状況（表Ⅱ-33）	（省略）
34	入学試験センター委員会開催状況（表Ⅱ-34）	（省略）
35	学長、副学長、学部長等の職務を規定した条項等一覧（表Ⅱ-35）	（省略）
36	課別職員配置状況（表Ⅱ-36）	（省略）
37	大学SD研修会の開催状況（表Ⅱ-37）	（省略）
38	事務職員の研修会等参加状況（表Ⅱ-38）	（省略）
39	本学の予算編成に係る説明会参加状況（表Ⅱ-39）	（省略）
40	北星学園大学の組織・機構図（図Ⅱ-1）	（省略）
41	大学運営の事務組織・機能図（図Ⅱ-2）	（省略）

Ⅲ. 本学の財務、施設設備及び環境に関すること

1	資金収支計算書（表Ⅲ-1）	132
2	事業活動収支計算書（表Ⅲ-2）	133
3	貸借対照表（表Ⅲ-3）	134
4	事業収支計算書関係比率一覧（表Ⅲ-4）	136
5	貸借対照表関係比率一覧（表Ⅲ-5）	137
6	大学施設の外部への貸出状況（表Ⅲ-6）	138
7	経常費補助金（一般補助）の推移状況（表Ⅲ-7）	139
8	経常費補助金（特別補助）の推移状況（表Ⅲ-8）	140
9	校地、校舎等の面積一覧（表Ⅲ-9）	144
10	講義室、演習室等の面積・規模一覧（表Ⅲ-10）	144
11	各講義室の面積・規模・使用状況一覧（表Ⅲ-11）	145
12	各演習室等の面積・規模・使用状況一覧（表Ⅲ-12）	147
13	語学学習室の面積・規模・使用状況一覧（表Ⅲ-13）	148
14	情報実習室の面積・規模・使用状況一覧（表Ⅲ-14）	148
15	実験・実習室等の面積・規模・使用状況一覧（表Ⅲ-15）	149

16	施設の耐久性等の状況（表Ⅲ-16）	150
17	情報システム事務室各種ハード・ソフト整備状況（表Ⅲ-17）	151
18	各種教具の整備状況（表Ⅲ-18）	152
19	校庭等維持管理費の推移状況（表Ⅲ-19）	153

IV. 本学の教育研究活動等の在り方及び目標に関すること

1	専任教員の国内外研修者数及び研修費執行状況一覧（表Ⅳ-1）	154
2	専任教員の国内外研修・研究専念者一覧（表Ⅳ-2）	155
3	専任教員のサバティカル一覧（表Ⅳ-3）	156
4	学部別専任教員の学会発表等の状況一覧（表Ⅳ-4）	157
5	学部別非常勤講師出講状況一覧（表Ⅳ-5）	158

V. 本学の教育課程、教育組織及び教育活動に関すること

1	大学学部開講科目数等一覧（表Ⅴ-1）	159
2	大学院開講数等一覧（表Ⅴ-2）	165
3	教員免許状別取得者数一覧（表Ⅴ-3）	166
4	定期試験受験率別授業科目数一覧（表Ⅴ-4）	167
5	履修登録者数別授業科目数一覧（表Ⅴ-5）	168
6	学籍異動状況（表Ⅴ-6）	169
7	修学指導対象者の対応状況（表Ⅴ-7）	187
8	入学前の既修得単位等の認定状況一覧（表Ⅴ-8）	188
9	卒業時における学科別単位認定状況一覧（表Ⅴ-9）	189
10	教員組織一覧（表Ⅴ-10）	191
11	専任教員年齢構成一覧表（表Ⅴ-11）	192
12	専任教員の学位取得状況（表Ⅴ-12）	194
13	専任教員の担当授業時間一覧（表Ⅴ-13）	195
14	各種実習室等人員配置一覧（表Ⅴ-14）	196
15	ラーニング・コモンズ利用状況（表Ⅴ-15）	197
16	教員人事一覧（表Ⅴ-16）	(省略)
17	専任教員個別表（表Ⅴ-17）	(省略)
18	授業科目別履修者数・成績評価状況・単位修得状況一覧（表Ⅴ-18）	(省略)
19	兼任教員個別表（非常勤講師時間数調べ）（表Ⅴ-19）	(省略)

VI. 本学の研究組織及び研究活動に関すること

1	専任教員に配分される研究費（表Ⅵ-1）	296
2	専任教員の研究旅費（表Ⅵ-2）	297
3	学内共同研究費（表Ⅵ-3）	298
4	教員研究費内訳（表Ⅵ-4）	299
5	学外からの研究費の総額と一人当たりの額（表Ⅵ-5）	301

6	産学官連携による研究活動状況（表VI-6）	303
7	文部科学省科学研究費助成事業等の申請、採択及び受給状況（表VI-7）	304
8	文部科学省科学研究費助成事業の受給者一覧（表VI-8）	307
9	政府もしくは政府関連法人からの研究助成金の受給者一覧（表VI-9）	320
10	民間の研究助成財団等からの研究助成金の受給者一覧（表VI-10）	321
11	受託研究・請負研究費の受給者一覧（表VI-11）	322
12	特定研究費支出対象項目別支出状況（表VI-12）	323
13	特定研究費予算額・執行額一覧（表VI-13）	（省略）
14	学術賞の受賞状況（表VI-14）	333
15	学部研究紀要「北星論集」の刊行状況（表VI-15）	334
16	専任教員の個人別研究業績一覧（表VI-16）	336
17	専任教員の研究業績（表VI-17）	341
18	経済学部研究資料室の図書・雑誌等購入状況	366
19	教員研究室（表VI-22）	367
20	本学のFD実施状況（表VI-23）	（省略）
21	公的監査ガイドライン説明会実施状況（表VI-24）	372
22	本学の科学研究費助成事業に係る説明会・研修会実施状況（表VI-25）	373
23	個別研究費執行状況（表VI-26）	（省略）
24	本学の研究倫理審査承認課題一覧（表VI-27）	381

VII. 本学の学生の受入れに関すること

1	学部・学科の特別入試による在籍学生数一覧（表VII-1）	383
2	学部・学科の学生定員及び在籍学生数一覧（表VII-2）	384
3	大学院研究科の学生定員及び在籍学生数一覧表（表VII-3）	385
4	大学院・研究科の入学者の構成一覧（表VII-4）	386
5	広告媒体誌の掲出状況と経費等（表VII-5）	（省略）
6	各種宣伝活動における動員数状況（表VII-6）	（省略）
7	高等学校での説明会及び進路指導部への訪問と参加者の状況（表VII-7）	（省略）
8	キャンパス説明会（オープンキャンパス）参加者の状況（表VII-8）	（省略）
9	学部・学科の志願者・受験者・合格者・入学者数の推移（表VII-9）	（省略）
10	学部の入学者の構成（表VII-10）	（省略）
11	学部・学科の編入学定員・編入学生数、在籍編入学生数等の推移（表VII-11）	（省略）

VIII. 本学の学生の課外活動、厚生及び就職に関すること

1	学生交流会館 Kirari 利用状況（表VIII-1）	410
2	サークル団体状況（表VIII-2）	411
3	学生の健康管理状況（表VIII-3）	412
4	医務室の利用状況（表VIII-4）	413
5	障がいのある学生及び特別な支援を要する学生の状況（表VIII-5）	414

6	学生相談センター主催講演会参加状況（表Ⅷ-6）	416
7	学生医療互助会給付状況（表Ⅷ-7）	417
8	学生の食生活改善プログラム開催状況（表Ⅷ-8）	418
9	各種奨学金援助状況（表Ⅷ-9）	419
10	大学 学部・学科別卒業者の卒業後の状況（状況別・産業別）（表Ⅷ-10）	421
11	大学院 研究科・専攻別修了者の修了後の状況（状況別・産業別）（表Ⅷ-11）	427
12	短期大学部 学科別卒業者の卒業後の状況（状況別・産業別）（表Ⅷ-12）	433
13	学科の企業別就職者数の状況（表Ⅷ-13）	435
14	キャリアデザインプログラム等出席状況（表Ⅷ-14）	437
15	各種公務員及び公立学校教員の受験・合格状況（表Ⅷ-15）	442
16	社会福祉士講座・精神保健福祉士講座受講者の合格率（表Ⅷ-16）	445
17	学生ボランティア団体の活動状況（表Ⅷ-17）	446

Ⅷ. 本学の図書及び学術情報に関すること

1	図書・資料等所蔵状況（表Ⅸ-1）	448
2	分野別図書・雑誌受入状況（表Ⅸ-2）	449
3	図書館の利用状況（表Ⅸ-3）	451

Ⅸ. 本学の宗教活動に関すること

1	各種行事等の出席者状況（表Ⅹ-1）	452
2	スミス・ミッションセンター主催 諸行事実施状況（表Ⅹ-2）	453
2	スミス・ミッションセンター震災等ボランティア派遣状況（表Ⅹ-3）	454

ⅩⅠ. 本学の国際交流に関すること

1	国際交流に関する財源状況（表ⅩⅠ-1）	457
2	学生及び教員の派遣状況（表ⅩⅠ-2）	458
3	学生及び教員の学科別派遣状況（表ⅩⅠ-3）	460
4	学生及び教員の受入状況（表ⅩⅠ-4）	462
5	学生及び教員の学科別受入状況（表ⅩⅠ-5）	463
6	受入交換留学生のためのホームステイ状況（表ⅩⅠ-6）	464
7	外国人留学生の奨学金受給率（表ⅩⅠ-7）	464
8	国際教育センターイベント及び国際ラウンジ利用状況（表ⅩⅠ-8）	465

ⅩⅡ. 本学の社会との連携交流に関すること

1	大学公開講座の開催状況（表ⅩⅡ-1）	469
2	学科・部門等公開講座の開催状況（表ⅩⅡ-2）	470
3	社会福祉学部地域連携事業の開催状況（表ⅩⅡ-3）	471
4	障害児教育夏季セミナーの開催状況（表ⅩⅡ-4）	473
5	学部別研究生の受入状況（表ⅩⅡ-5）	474

6	学部別科目等履修生の受入状況（表XⅡ-6）	474
7	科目群別科目等履修生の受入状況（表XⅡ-7）	475
8	各自治体との連携協定締結・協議状況（表XⅡ-8）	476
9	各自治体との連携事業実施状況（表XⅡ-9）	477
10	後援会総会・地区別父母懇談会開催状況（表XⅡ-10）	478
11	同窓会各支部懇親会開催状況（表XⅡ-11）	480
12	主催大学・短大部、共催同窓会・後援会コンサート・講演会開催状況（表XⅡ-12）	481
13	出張講義実施状況（表XⅡ-13）	（省略）

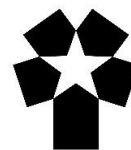
XⅢ. その他必要な事項に関すること

1	各種講座受講者状況（表XⅢ-1）	485
	「自己点検評価資料」点検評価項目	486

I 本学の在り方及び目標に関する事

1 北星学園大学の基本理念・建学の精神・ミッションステートメント・各ポリシー・運営計画・運営総括

基本理念・建学の精神



(表 I-1-①)

北星学園大学では、従来、教育目標として、「人間性・社会性・国際性」の育成を掲げてきました。そして2004年度からは、それを十分に活かしつつ、キリスト教を基に創設された北星学園に属す大学として、建学の精神を高等教育によりふさわしい形で展開するために、基本理念を以下のように決めました。

本学は、プロテスタンティズムを建学の精神とする北星学園に属す。北星学園大学の基本は知的誠実である。それは、神の前で自己や自国を相対化し、謙虚に学びつづける姿勢である。「神を畏れることは知識の初めである」(旧約聖書：箴言1章7節)。

自他の人格の尊厳を知り、人間を何かの手段と見ないキリスト教的価値観が、本学の営みの根底に潜む。見識を備え責任を自覚し、社会に貢献する独立人を養成することが、本学の目標である。それは、抑圧や偏見から解放された広い学問的視野のもとに、異質なものを重んじ、内外のあらゆる人を隣人と見る開かれた人間である。

そういう意味での自由を本学は目指している。『真理はあなたがたに自由を得させるであろう』(新約聖書：ヨハネによる福音書8章32節)。

本学は、開学以来、地域・社会・世界に開かれた大学を目標としているのである。

しなやかな精神的骨格を持った、個性ある大学として、時流や利害に流されない独立した人格を学生のうちに育てたいという願いが、この文言には強く込められているのです。

ミッションステートメント



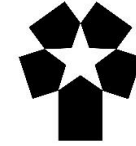
(表 I-1-②)

北星学園大学が目指すもの

北星学園は、その歴史が一世紀を越えてなお創立者サラ・C・スミスの愛と知と技に基づく教育の志を継承しつつ今日に至っています。北星学園大学は、その時代を越えて継承されてきた想いを、今後も教職員・学生の連携に基づき、そこに携わったすべての者において継承し続けるために、この使命を宣言します。

1. 私たち北星学園大学に集う者は、正義と良心に従い、自由に真理を探求し、真理によって自由を得ることを目指します。
2. 私たちは、移りゆく時代の中で、地域・社会・世界の諸情勢に絶えず目を向け、その中における北星学園大学の存在意義を確認し、本学の果たしていく役割を考え、実践することを目指します。
3. 私たちは、世と時代が作り出した、悲惨な出来事に対して、平和と尊厳を作り出していくために、北星学園大学が果たしていく役割を考え、実践することを目指します。
4. 私たちは、北星学園大学における教育・学習・研究から知と技を生み出すとともに、それらが社会において成果を発揮し、社会において貢献できる存在となることを目指します。
5. 私たちは、このような志の下に契約に基づいて集い、そこから愛の献身と批判的精神において、自由な交わりと活動が営まれる北星学園大学であることを目指します。

『求めよ、そうすれば、与えられるであろう』(マタイによる福音書7章7節)

**アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）**

本学は、プロテスタントキリスト教の信仰と伝統に立って、札幌の地に歩み続けてきた学校法人北星学園が設置する大学です。

北星学園の教育の源は、1887年、米国の女性宣教師サラ・C・スミスが「スミス女学校」を開設し、北海道の女子教育に着手したことに遡ります。1962年、社会の要請に応え男女共学の4年制大学を開設しました。

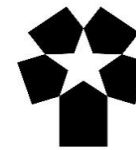
北星学園大学の建学の精神は、キリスト教による人格教育を基礎とし、広く教養を培うとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、応用的能力を発揮させることを目的としています。 高き教養と人格の確立をめざした本学の教育は、多くの有為な人材を世に送り出し、社会の高い評価を得て今日に至っています。

北星を支えるキリスト教精神は、自己を何によって育てるか、自己の一番深いところまで問い続け、考えることにあります。人間としての基本的なあり方と姿勢を問い続けることで、自らの生き方を探し、実践していくことを大切にします。 知性と豊かな人間性を備えていることはもちろん、地域社会の諸情勢やその問題に深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わりながら人々とともに生きる姿勢や心を持つような人を求めています。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

1. キリスト教による人格教育を基礎として、自由・平等・平和の心を得て、知識と知恵を兼ね備えた豊かな『人間性』を有するようになること。
2. 人々とともに生きる心を養い、主体性のある真の教養を身につけ、広く社会に貢献することができる『社会性』を持ちつづけることができるようになること。
3. 様々な国の人々と心を開いて交流し、異なる文化を理解する国際的視野と判断力を身につけた『国際性』を発揮することができるようになること。

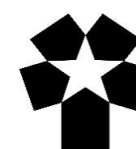
文学部のポリシー



(表 I-1-5)

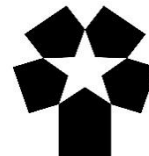
ディプロマ ・ポリシー	1. 人間社会の基本となる「ことば」の学習を通じて、文化、文学、コミュニケーション、心理学、国際関係に関する専門的知識を身につけている。 2. 様々な情報源から問題の本質を見抜く洞察力、自分の考えを論理的に組み立てる論証力、情報を他者にわかりやすく伝える発信力を身につけている。
アドミッション ・ポリシー	文学部では、人間社会の基本となる「ことば」を重視し、その学習を礎としながら、文化、文学、コミュニケーション、心理学、国際関係へと学びを拡げます。英文学科では英語に、心理・応用コミュニケーション学科では日本語に重きを置いています。両学科ともに、 1) 作品、資料、現場などの情報源から問題の本質を見極める洞察力、 2) 自分自身の考えを組み立てる論理構成能力、 3) 自分の考えを他者にわかりやすく伝える情報発信能力を育むため、きめの細かいカリキュラムを整備しています。しかし、主役はあくまでも学生諸君です。我々は、目的意識を持って自主的に学ぶ姿勢を備えた人を求めています。

英文学科のポリシー

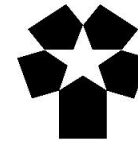


(表 I-1-6)

教育研究上の目的	英語とその背景にある文化や歴史に対する知識を教授するとともに、高度な英語運用能力及び自文化に対する深い理解力を養成し、国際社会において求められる柔軟な対応力とコミュニケーション能力を備えた人材の育成を目的とする。
ディプロマ ・ポリシー (2018年度以前 入学生)	1. 豊かな知識と実践的な英語力を身につけ、文化の架け橋として創造的に活躍する能力を身につけている。 2. 「大学共通科目」の履修によって得られた幅広い視野をもとに、英語とその背景にある文化や歴史に対する知識を身につけている。 3. 行動の基軸としている自国の文化について深い理解があるとともに、ことばの背景にある文化や歴史に対する造詣があり、国際社会において求められる柔軟な対応力とコミュニケーション能力を備えている。
ディプロマ ・ポリシー (2019年度以降 入学生)	英文学科の教育課程を修め、規定の期間以上在学した上で、厳格な成績評価に基づき132単位を修得し、卒業要件を満たした者に対して、卒業を認定し学位 [学士 (英文学)] を授与する。 なお、英文学科を卒業した者は以下の能力を備えていることが期待される。 1. リンガフランカである英語に関する豊かな知識と実践的な英語力 2. 「大学共通科目」の履修によって得られた幅広い視野をもとに、英語とその背景にある文化や歴史に対する知識と洞察力 3. 行動の基軸としている自国の文化について深く理解し、地域・国際社会において文化の架け橋として創造的に活躍するための異文化コミュニケーション能力
カリキュラム ・ポリシー (2018年度以前 入学生)	1. 英米の言語と文化を広く実践的に学べるように、「共通英語科目」、「共通専門科目」、「言語文化概論科目」、「言語コミュニケーション概論科目」、「言語文化コース科目」、「言語コミュニケーションコース科目」、「英語実技科目」、「英語教育科目」を設置している。 2. 「共通英語科目」は1・2年次に配置しているネイティブ・スピーカー中心の基礎英語教育によって、英語の「読解」、「作文」、「会話」の技術教育を体系化している。 3. 1・2年次を中心に配置されている「共通専門科目」、「概論科目」による専門分野の基礎教育を土台として、3年次より「コース専門科目」を設置し、時代のニーズに対応して異なった文化を理解する方法を研究する「言語文化コース」と、コミュニケーションの様々な面について研究する「言語コミュニケーションコース」の2コース制に分かれる。そしてそれぞれのコースにおいて少人数による演習を軸に専門の様々なテーマについて研究する環境を提供している。 4. 「言語文化コース」では、英語圏の文学と文化についてより深く学ぶために、文学史や文学研究、演劇研究、文化研究、専門演習などの専門科目を配置している。 5. 「言語コミュニケーションコース」では、英語という言語とコミュニケーション理論、英語教育についてより深く学ぶために、言語学や英語学、異文化コミュニケーション、国際コミュニケーション、専門演習などの専門科目を配置している。 6. 英語の特殊技能養成のための特別プログラム、すなわち「実技科目」として、通訳や翻訳、スピーチや朗読の技能を専門的に学ぶ科目や、英語による討論能力を養う科目も配置している。 7. 英語の教員養成のための特別プログラム、すなわち「英語教育科目」を設置し、充実した教員養成体制を備えている。
カリキュラム ・ポリシー (2019年度以降 入学生)	英文学科では、文化的知識に裏打ちされた高度な英語運用能力を獲得し、国際社会において求められる見識及び、異文化コミュニケーション能力を備えた人物の育成を目的として、以下のような方針に基づくカリキュラムを編成している。なお、成績評価は、シラバスに記載された明確な評価基準に基づいて厳格に行っている。 1. 1・2年次に配置したCore English Skillsにおいて、ネイティブスピーカー教員による英語の基礎教育を徹底して行う。 2. 1・2年次を中心に配置されている「概論科目」「共通専門科目」により、専門分野の基礎教育を行う。 3. 国際社会で活躍するための基礎力獲得のために、アクティブ・ラーニングを取り入れた少人数教育で展開する科目を各学年に配置している。(続く)

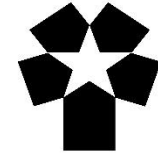


<p>(英文学科続き) カリキュラム ・ポリシー (2019年度以降 入学生)</p>	<p>(続き) 4. 3年次よりは、主として小説、詩、演劇等の文学テキストを素材に異なった文化を理解し、人間の本質を探究する「文化・文学コース」、言語学、応用言語学、英語教育学などの知見をもとに言語とコミュニケーションの諸側面について実践的に研究する「言語・コミュニケーションコース」、グローバルな視点からの知識と思考力、異文化コミュニケーション能力の獲得を目指した「グローバル・スタディーズ」の3コース制をとり、少人数の演習を軸に専門の様々なテーマについて研究する科目群を配置している。 5. 英語の専門的・実践的スキル養成のための科目群 (Practical English Skills) を配置し、通訳や翻訳、スピーチや朗読、さらには英語による討論能力の養成を行っている。 6. 教師養成のための特別プログラムである「英語教師養成科目」ならびに、「日本語教師養成科目」を設置し、充実した教師養成体制を備えている。</p>
<p>アドミッション ・ポリシー (2018年度以前 入学生)</p>	<p>英文学科では、英語とその背景にある文化や歴史に対する知識を教授するとともに、高度な英語運用能力及び自文化に対する深い理解力を養成し、国際社会において求められる柔軟な対応力とコミュニケーション能力を備えた人材の育成を目的としています。 英米の文学や文化、英語学や言語学、あるいはコミュニケーションを学ぶことによって、英語に対する豊かな知識を培います。また、自らが行動の基軸としている日本文化について深く理解するとともに、ことばの背景にある文化や歴史に対する造詣を深めます。これらを踏まえ、高い英語力と異文化コミュニケーション能力を持ち、国家間の架け橋として活躍することができる専門家を育成します。 カリキュラムの特徴として卒業研究が必修となっていますので、多面的な思考能力とともに論理的思考を持ち、研究論文の作成ができるだけの潜在能力のある人、問題意識を持って主体的に学修を進めることができる資質を持った人を求めています。</p>
<p>アドミッション ・ポリシー (2019年度 入学生)</p>	<p>英文学科では、一般入学試験のほか、センター利用試験、公募推薦試験、帰国生徒入学試験、社会人入学試験、外国人留学生入学試験、編入学試験等、多様な入試制度を設け、様々な背景・能力を持つ学生に門戸を広げている。カリキュラムの特徴として、ネイティブスピーカーによる基礎教育を始めとして、英語で行われる授業が多いため、入学前に英文を正しく理解するための文法力や語彙力、リスニング力、英語での表現力をつけておくことを求めている。さらに、卒業研究が必修となっているため、多面的な思考能力とともに論理的思考を持ち、研究論文の作成ができるだけの潜在能力のある人、問題意識を持って主体的に学修を進めることができる資質を持った人を求めている。</p>
<p>アドミッション ・ポリシー (2021年度 入学生)</p>	<p>英文学科では、一般選抜のほか、大学入学共通テスト利用選抜、総合型選抜、特別選抜（社会人・帰国生徒・外国人留学生）、編入学選抜等、多様な選抜制度を設け、様々な背景・能力を持つ学生に門戸を広げている。カリキュラムの特徴として、ネイティブスピーカーによる基礎教育を始めとして、英語で行われる授業が多いため、入学前に英文を正しく理解するための文法力や語彙力、リスニング力、英語での表現力をつけておくことを求めている。さらに、卒業研究が必修となっているため、多面的な思考能力とともに論理的思考を持ち、研究論文の作成ができるだけの潜在能力のある人、問題意識を持って主体的に学修を進めることができる資質を持った人を求めている。</p>



(表 I-1-7)

<p>教育研究上の目的</p>	<p>心理学の知見に基づいた人間理解に関する知識を教授するとともに、社会の現場で自ら問題を見つけ出し考え行動する力を養成し、人々の相互理解と協働が求められる社会状況の中で、コミュニケーションの活性化に貢献できる人材の育成を目的とする。</p>
<p>ディプロマ・ポリシー (2018年度以前入学生)</p>	<p>社会人に求められる教養と汎用的能力に加え、学科専門教育の目標である以下のような資質を持った人材を育成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学の知見に基づいた人間理解に関する知識を身につけている。 2. 地域や社会におけるコミュニケーションの活性化に貢献できる。 3. 人々の相互理解と協働が求められる社会状況の中で多様な人々と適切な関係を築き、協力して活動することができる。 4. 社会の現場で自ら問題を見つけ出し、考え、行動する力を身につけている。 5. 応用的実践場面において、世の中を広く多角的に見渡す力（空間的センス）と物事を長期的・因果的に考える力（時間的センス）を発揮することができる。
<p>ディプロマ・ポリシー (2019年度以降入学生)</p>	<p>『人の心とコミュニケーションの仕組みを知り、地域や国際的な環境において生かすスキルを身につける』</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学の知見に基づいて人間の振る舞いを理解するとともに、自身の振る舞いを調節できる。 2. さまざまなコミュニケーションの在り方を知り、地域や幅広い社会でのコミュニケーションの活性化に寄与することができる。 3. 多様な人々との相互理解と協働が求められる状況の中で、目的の達成に向けて自ら行動し問題を発見することができる。 4. 現場で生じる問題に対し、世の中を広く多角的に見渡す力（空間的センス）と物事を長期的・因果的に考える力（時間的センス）の両面から専門的知識を運用し、解決に向けて柔軟かつ適切に行動することができる。 <p>以上の方針にもとづく要件を満たしたと認められる学生に学位〔学士（心理・応用コミュニケーション学）〕を授与する。</p>
<p>カリキュラム・ポリシー (2018年度以前入学生)</p>	<p>大学共通教育と学科専門教育をバランスよく履修することで、社会人に必要な教養と汎用的能力を身につけます。さらに、学科専門教育の目標達成のために、以下のような教育環境を準備しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理論と現場の融合を目指した教育を実現するため、学外の様々な教育資源を活用するダイナミックな教育体制を整備している。 2. 心理学に基づいた科学的知識の獲得と実践的なコミュニケーション能力の育成のために「心理コミュニケーション科目群」「応用コミュニケーション科目群」「学科共通科目群」の授業を展開している。 3. 「心理コミュニケーション科目群」では、心理学に関連する科目など、人間の心の過程を科学的に探求する能力を養成する授業科目を配置している。 4. 「応用コミュニケーション科目群」では、応用的・対人的科目など、コミュニケーションの現場で活用する応用力と実践力を養成する授業科目を配置している。 5. 「学科共通科目群」では、情報の収集・分析・発信をねらいとして、講義系科目のみならず、実習系・演習系科目も数多く配置している。また、現場でのコミュニケーション感覚を養成するために、1年次の社会活動実習では自主的なボランティア活動を体験し、2年次のフィールド実習では「産業系」「野外系」「教育系」の分野から選択して実習する。就業体験としてのインターンシップも単位化している。 6. 意思を伝える言語としての「書く」「話す」の訓練を徹底し、実用英語技能検定、日本漢字能力検定などの公的検定試験の成果に対して単位を認定し、語学力向上の自主的努力を支援している。 7. 3年次後期の半年間は実質的な必修科目を入れないようにして、海外留学や現場体験などの学生の自主的で自由度の高い学習を保障している（フルフレックス制度）。 8. 学科の学びの集大成として卒業研究を必修化している。論文だけではなく、イベントの企画実践や映像作品の作成、創作活動など多様な卒業研究を認めている。
<p>カリキュラム・ポリシー (2019年度以降入学生)</p>	<p>心理・応用コミュニケーション学科では、理論と現場の融合を目指した教育を実現するため、カリキュラムに実習を大幅に取り入れており、2年次には建築系、農業系、野外系、教育系に分かれ、現場での実習を行っている。また、同年次には、「人間科学科目群」と「地域国際科目群」のどちらかに重きを置く教育を行い、「人間科学科目群」では、人間の心の過程を科学的に探求する能力を養成する授業科目を配置しており、「地域国際科目群」では、応用的・対人的科目など、コミュニケーションの現場で活用する応用力と実践力を養成する授業科目を配置している。</p> <p>3年次から4年次にかけては、学科の学びの集大成として卒業研究を必修化しており、論文だけではなく、イベントの企画実践や映像作品の作成、創作活動など多様な形式を認めている。3年次後期には、必修科目を1科目しか配置しない「フルフレックス制度」を導入し、海外留学や現場体験などの学生の自主的で自由度の高い学習を保障した、最大8ヶ月間を自分でデザインした国内外での活動に充てることができる。就業体験としてのインターンシップも単位化されている。そして、4年間を通じて、意思を伝える言語としての「書く」「話す」の訓練を徹底し、実用英語技能検定、日本漢字能力検定などの公的検定試験の成果に対して単位を認定し、語学力向上の自主的努力を支援している。</p>



<p>アドミッション ・ポリシー (2018年度以前 入学者)</p>	<p>心理・応用コミュニケーション学科では、心理学の知見に基づいた人間理解に関する知識を教授するとともに、社会の現場で自ら問題を見つけ出し考え行動する力を養成し、人々の相互理解と協働が求められる社会状況の中で、コミュニケーションの活性化に貢献できる人材の育成を目的としています。そのため理論と現場の融合を目指した教育体制を敷き、心理学的トレーニングによってコミュニケーションを科学する力を獲得するとともに、言語表現力を強化し様々な場面での応用的実践を通じて、世の中を広く多角的に見渡す力（空間的センス）と物事を長期的・因果的に考える力（時間的センス）を育成します。 心理学に興味・関心を持っている人、社会の仕組みや実態を知りたい人、言葉で世界を広げたい人、自らの頭で考え行動し自分を表現したい人、人と人との壁を崩し活かしたコミュニケーションを実践したい人など、意欲と行動力に溢れ自分の可能性を試したい人を求めています。</p>
<p>アドミッション ・ポリシー (2019年度 ～2020年度 入学者)</p>	<p>心理学に興味・関心を持っている人、社会の仕組みや実態を知りたい人、言葉で世界を広げたい人、自らの頭で考え行動し自分を表現したい人、人と人との壁を崩し活かしたコミュニケーションを実践したい人など、意欲と行動力に溢れ自分の可能性を試したい人を求めている。 従って、入学前に、英語や日本語などコミュニケーションツールとしての語学力を高め、実用英語技能検定、日本漢字能力検定などの公的検定試験にも挑戦してほしい。さらに、書籍や映画などさまざまなメディアにアクセスし、文化や社会の動き、多くの人々の経験について触れてほしい。入学者選抜においては、規定の科目試験以外に、受験者の多角的な能力を評価するために、社会問題についてディスカッションしたり、講義を聞いて問題点を発見したりする能力を判定するグループ討議なども設けている。</p>
<p>アドミッション ・ポリシー (2021年度 入学者)</p>	<p>人の心や思考の仕組みに興味・関心のある人、心理学に興味・関心を持っている人、社会の仕組みや実態を知りたい人、言葉で世界を広げたい人、自らの頭で考え行動して自分を表現したい人、人と人との壁を崩し活かしたコミュニケーションを実践したい人など、意欲と行動力に溢れ自分の可能性を試したい人を求めている。 従って、入学前に、英語や日本語などコミュニケーションツールとしての語学力を高め、実用英語技能検定、日本漢字能力検定などの公的検定試験にも挑戦してほしい。さらに、書籍や映画などさまざまなメディアにアクセスし、文化や社会の動き、多くの人々の経験について触れてほしい。なお、心理・応用コミュニケーション学科では一般選抜に加えて、大学入学共通テスト利用選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、特別選抜（社会人・帰国生徒・外国人留学生）など、多様な選抜方法を設けている。</p>

経済学部ポリシー



(表 I-1-⑧)

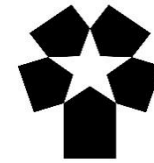
ディプロマ ・ポリシー	<ol style="list-style-type: none"> 見識豊かな産業人・社会人として多様な実社会に貢献することができる。 幅広い学識・教養と経済学及び隣接領域の高度に専門的な学問を修得している。 経済学を中心とする社会科学分野の知識・教養を備えた有為な人材として、道内外の民間企業あるいは行政等の各分野で活躍できる能力を身につけている。 経済のグローバル化が進展する中で、時代のニーズに即応することができる。
アドミッション ・ポリシー	経済学部では、基礎的知識の獲得と経済社会の変化に対応できる力の向上を目指した経済学教育を進めており、経済学科、経営情報学科、経済法学科の3つの学科を設置しています。どの学科も経済学を基盤に据えたカリキュラムの展開を行うことによって、見識豊かな産業人、公務員など多様な人材の育成を目指しています。それ故、知的好奇心が旺盛で、且つみずからの将来を主体的に切り拓いていこうという志を持った若者の入学を期待しています。

経済学科ポリシー



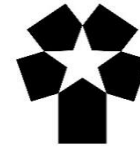
(表 I-1-⑨)

教育研究上の目的	社会人となるためにも経済学の学びにおいても必須の基礎的学力を基盤とし、近代経済学分野、歴史・社会分野、国際分野の面から、日本国内外の経済を的確に教授するとともに、地域に貢献できる「国際人」の育成を目的とする。
ディプロマ ・ポリシー (2013～2017年 入学生)	<ol style="list-style-type: none"> 社会人基礎力としても経済学の学びにおいても必要な文章表現・外国語・数学的能力を身につけている。 経済学的思考を自らの教養とし、身近な経済的諸問題を理論面からも実証面からも理解する能力を身につけている。 専門性を身につけながらも、現代社会の激しい変化に対応する見識のあるジェネラリストとして、社会の様々な現場で活躍する能力を身につけている。 地球規模のグローバルな視点を持った真の国際人としての豊かな資質を身につけている。
ディプロマ ・ポリシー (2018年以降 入学生)	<p>「知」の魅力に触れ、なりたい「自分」に出会い、「社会の主人公」になろうというモットーに従い、大学共通科目における幅広い教養の学びを基礎とし、学科専門科目の学習課程を通じて、激変する現代社会の状況に対応しながら、卒業後の職業生活や社会生活の各領域において活躍することができる高い見識を備えたジェネラリストを育成する為、以下の項目を充たし、経済学科の教育課程を修め、規定する期間以上在学し、厳格な成績評価に基づき124単位を修得し、卒業要件を満たした者に対して卒業認定を行ない、学位[学士(経済学)]を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 高度の体系性を備えた社会科学としての経済学を学び、経済学的思考を自らのものとするを通過して、経済・社会への確かな視座を獲得することができる。更に、理論を体系的に積み上げて理解し、これを踏まえて現実の経済・社会を把握するという学問的視点を身につけることができる。 経済・社会を認識する上で、国と国との国際関係はもとより、国家の枠組みを超えたグローバルな社会連関をも視野に入れ、国内の問題や身近な地域の諸問題に至るまでグローバルな視点から捉えることができる。 必修科目である「新聞活用」や「上級新聞活用」、そして「時事英語」、更には現職ジャーナリストなどによる講義の受講を通じて、とりわけマスメディアを中心としたメディア・リテラシーを身につけることができ、併せて経済学を始めとする社会科学の諸領域において広範且つ多様な情報環境においても言説の当否を見極める力量を備えることができる。 教職課程の科目を併せて履修する者は、経済学科の専門科目における体系的な学びを通じて、教科に関する幅広い知識を獲得することができるだけでなく、経済学の体系的な知見と学問的な基礎力及び見識を身につけ、教育者としての職業人生の長い道のりの中で遭遇するであろう様々な経済・社会の変化や学問的進歩に適確に対応し、授業を絶えず進化させる力量を身につけることができる。
カリキュラム ・ポリシー (2017年度以前 入学生)	<ol style="list-style-type: none"> 『なりたい「自分」に出会い、「社会の主人公」になろう』とのモットーのもと、経済学の視点を通じて地球と自分の将来を見つめさせるとともに、未来を切り開いていく力を具えたジェネラリストを育てることを目的とし、「共通連携入門科目」、「入門科目」、「基礎科目」、「群科目」、「演習科目」、「選択科目」を配置している。 「共通連携入門科目」では、基礎的なスキルを養成するため、大学共通科目で開講されている「英語」・「数学・統計学」を必修として初年度に配置している。 「入門科目」では、少人数制授業「入門演習」で大学における学習スタイルに慣れ、新入生がスムーズに専門の授業になじんでいけるように配慮している。「基礎経済学」で経済学的思考を、そして「新聞活用」では社会人基礎力を身につけることができる。 「基礎科目」では、理論を無理なく学ぶだけでなく、実証的な歴史も学ぶことができる。 「群科目」では、「近代経済学」・「歴史・社会」・「国際」の3分野の科目群のなかから柔軟に履修することができ、自分なりの関心の所在に出会い、また、それを深めていくことができる。 「演習科目」では、学生と教員の密接なコミュニケーションのもと、専門的知識を深め、また、問題を掘り下げていく力やプレゼンテーション能力を養うことができる。 「選択科目」では、経済学の学びを広げていけるような応用科目を配置している。経済学応用分野の科目、英語力を向上させるための科目、教職や税理士資格にも対応できる科目を履修できる。



(表 I-1-9)

<p>カリキュラム ・ポリシー (2018年度以降 入学生)</p>	<p>ディプロマポリシーに掲げた学科のモットーを基礎として、経済学的見識を身に着けることによって、自己とこれを取り巻く世界の展望を思い描き、将来を自力で開拓してゆく力量を備えたジェネラリストを育成することを目的として、「入門科目」、「基本科目」、「発展科目」、「総合科目」、「演習科目」を配置している。体系的な経済学（大枠組）学習の要は「基本科目」、「発展科目」にあり、ここに「社会経済コース」、「応用経済コース」、「グローバル社会コース」の3コースを設定し、体系的且つ幅広く学習させるカリキュラムを構築した。「入門科目」はこのような学びの準備課程を意味し、「総合科目」は更なる学びの発展を促すものである。少人数教育の象徴である「演習科目」は学科カリキュラムの中核をなし、そこで学問探求の学部段階における完成が図られる、という基本構造になっている。因みに、3コースの設置趣旨は、次のようなものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「社会経済コース」では、社会・歴史・思想・文化といった多面的な切り口から経済を深く探求することを主眼とする。 2. 「応用経済コース」では、金融・環境・農業・医療など、現代の様々な経済事象を理論的・実証的に分析・探求することを主眼とする。 3. 「グローバル社会コース」では、広く世界に目を向けて、国際社会の一員として政治・社会のグローバルな分析・探求を行なうことを主眼とする。 <p>これらの学科専門科目体系の展開様式は、講義・演習・実習という様式のみならず、アクティブ・ラーニングを更に促す為に、「ディベート」への参加などを通じて、国内外で幅広く学ぶ機会が提供されており、従来の試験を中心とした成績評価に加えて、学外での自己研鑽の賜物としての検定・資格認定を通じた単位取得など、多様な評価を受けることができるものとなっている。</p>
<p>アドミッション ・ポリシー (2020年度以前 入学生)</p>	<p>経済学科では、様々な経済事象への旺盛な知的好奇心を備えた学生を求めている。更に、卒業後に、各領域において在学中に身につけた知識・教養を土台として、社会的貢献を果たす志を持った人材の輩出を目指している。今日の多様化する若者の価値観や自己実現目標に鑑み、一般入試に加えて、公募推薦入試、指定校推薦入試などの多様な入学経路を用意し、おのおの評価の視角を変えながら、しっかりとした学力の裏付けを前提としつつも、多様な学生の受け入れを図っている。</p>
<p>アドミッション ・ポリシー (2021年度以降 入学生)</p>	<p>経済学科では、経済学的思考とグローバルな視座を身に付けることで教養と思考力を具えたジェネラリストたらしめる知的好奇心と、経済を通して広く社会全体を視野に入れて自らの将来像を思い描く意欲と、両方を持ち合わせる学生を求めている。 経済学科での学びに対応するために、学びに対する基本的な姿勢と読解力をはじめとした基礎学力を身に付けてくることを入学者に求めている。</p>



(表 I-1-10)

<p>教育研究上の目的</p>	<p>企業経営に関する体系的な理論、経営実務に関する実践的な知識、情報処理に関する最新の技法を教授するとともに、高度で専門的な経営情報活用能力を養成し、経営、マーケティング、会計、情報の各分野で活躍できる人材の育成を目的とする。</p>
<p>ディプロマ ・ポリシー (2018年度以前 入学生)</p>	<p>共通科目群により、多様化社会に柔軟な対応が可能となる学資力を身に付けるとともに、学科専門科目を通して以下に示す専門的なスキルを身に付けることを目的としている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネスの理論やスキル、情報の効果的な活用法を身につけている。 2. 企業経営における実践的知識とシステム技術、展開力、応用力を身につけている。 3. ビジネス実践能力と情報活用リテラシーを培い、幅広い企業経営の知識と会計理論、そして即戦力となる情報活用に関する技術を身につけている。 4. 現代の複雑な情報化社会にあつて、情報活用能力を習得し、企業経営に経営情報を有効活用できる実践力を身につけている。
<p>ディプロマ ・ポリシー (2019年度以降 入学生)</p>	<p>大学共通科目により、多様化社会に柔軟な対応が可能となる学士力を身に付けるとともに、学科専門科目を通して以下に示す専門的なスキルを身に付け、実践できるようにすることを目的としている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネスの理論やスキル、情報の効果的な活用法を身につけ、実際のビジネスで活用することができる。 2. 企業経営における実践的知識とシステム技術、展開力、応用力を身につけ活用することができる。 3. ビジネス実践能力と情報活用リテラシーを培い、幅広い企業経営の知識と会計理論、そして即戦力となる情報活用に関する技術を身につけ、実践できる。 4. 現代の複雑な情報化社会にあつて、情報活用能力を習得し、企業経営に経営情報を有効活用できる。 5. 教職課程の科目を併せて履修する者には、経営情報学科の専門教育科目における体系的な学びを通して、教科に関する広い知識を獲得させるのみならず、自ら問題を発見し、問題解決に向き合う態度を身に付けさせ、現代の激しい社会の変化や技術の進歩に適切に対応でき、教職生活の中における様々な困難に対しても、自らその困難を乗り越え、より良い教育を実践できる。 <p>経営情報学科の教育課程を修め、規定する期間以上在学し、厳格な成績評価に基づき124単位を修得し、卒業要件を満たした者に対して、卒業を認定し学位 [学士 (経営情報学)] を授与する。</p>
<p>カリキュラム ・ポリシー (2018年度以前 入学生)</p>	<p>広く教養を身に付けるための共通科目群と専門性を身に付けるための学科専門科目群を4年間にわたってバランスよく配置し、社会で実践的に活躍できるスキルを醸成できるようにしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の複雑な情報化社会にあつて、企業経営に関する理論、経営実務に関する実践的知識、情報処理に関する最新技法を学ぶとともに、経営情報活用能力を醸成するため、「学科基礎科目」、「学科専門導入科目」、「学科ユニット」、「学科関連ユニット」を配し、段階的な履修を保証している。 2. リテラシー教育と実践実技教育を重視し、「学科実践能力科目」を設置するとともに、各年次に「演習科目」を開講し、少人数で実践的なゼミナール形式の学習機会をより一層充実させている。 3. 効率的かつ効果的な履修年次の配置を考慮した科目群からなる専門領域群として、「学科ユニット」、「学科関連ユニット」を設け、学生の興味や関心が体系的な専門科目の履修に具体化されているようにしている。 4. 学科学生の学問的興味に応じ、経済学部学科間の連携・乗入れを意識的に指向している。 5. 経営 (マネジメント) 分野、マーケティング分野、会計 (アカウンティング) 分野、情報分野、教職課程の5分野で12の履修モデルを導入し、学生が効果的な履修計画を立て意欲を持って学習を遂行できるように配慮している。
<p>カリキュラム ・ポリシー (2019年度以降 入学生)</p>	<p>広く教養を身に付けるための大学共通科目と専門性を身に付けるための学科専門教育科目を4年間にわたってバランスよく配置し、社会で実践的に活躍できるスキルを醸成できるようにしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の複雑な情報化社会にあつて、企業経営に関する理論、経営実務に関する実践的知識、情報処理に関する最新技法を学ぶとともに、経営情報活用能力を醸成するため、「学科基礎科目」、「学科専門導入科目」、「学科専門科目 (基礎)」、「学科専門科目 (応用)」を配し、段階的な履修を保証している。 2. リテラシー教育と実践実技教育を重視し、「学科実践能力科目」を設置するとともに、1年次に「基礎演習」を、3～4年次に「専門演習」を開講し、少人数で実践的なゼミナール形式の学習機会をより一層充実させている。 3. 効率的かつ効果的な履修年次の配置を考慮した科目群からなる学科専門教育科目として、1～2年配当の「学科専門科目 (基礎)」、3～4年次配当の「学科専門科目 (応用)」を設け、学生の興味や関心が体系的な専門科目の履修に具体化されているようにしている。 4. 学科学生の学問的興味に応じ、経済学部学科間の連携・乗入れを意識的に指向している。 5. 経営 (マネジメント) 分野、マーケティング分野、会計 (アカウンティング) 分野、情報分野、教職課程の5分野で履修モデルを導入し、学生が効果的な履修計画を立て意欲を持って学習を遂行できるように配慮している。 <p>講義形式だけでなく、アクティブ・ラーニングや産学連携プロジェクト等による学びを取り入れた少人数教育で展開する科目を各学年で展開する。シラバスに記載された明確な評価基準に基づいて厳格な成績評価を行う。</p>



<p>アドミッション ・ポリシー (2018年度以前 入学者)</p>	<p>経営情報学科では、企業経営に関する体系的な理論、経営実務に関する実践的で国際的な知識、情報処理に関する最新の技法を教授するとともに、高度で専門的な経営情報活用能力を養成し、経営、マーケティング、会計、情報の各分野で活躍できる人材の育成を目的としています。学科教育の特徴は、専門的な内容を、実践的な形式で、確実に学ぶことができる点にあります。企業経営の専門的な内容について、企業との新商品開発、海外企業の調査、実務家による講義など、実践的な形式で学ぶ少人数の演習科目を充実させています。こうした取り組みによって、各分野の専門的な内容を確実に学ぶことができると同時に、学生が企業経営に関する理論・情報を実践的に活用できる能力を育成します。</p> <p>経営情報学科では、経営、マーケティング、会計、情報の専門的な知識や技能を駆使し、企業経営の様々な場面で自らのアイデアを具現化することで、豊かな社会の創造に参加したい人を求めています。</p>
<p>アドミッション ・ポリシー (2019年度以降 入学者)</p>	<p>経営情報学科では、経営、情報、マーケティング、会計の専門的な知識や技能を駆使し、企業経営の様々な場面で自らのアイデアを具現化することで、豊かな社会の創造に寄与できる人物の育成を目標としており、カリキュラムでは「学科実践能力科目」を設置し、少人数のゼミナール形式や産学協働も含む実習形式の学習を多く取り入れる等、実践性の高い内容となっているため、高等学校卒業程度の情報や経済についての知識を有した以下のような人を求めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広く国内外の企業経営に関連する情報に深い関心を持ち、そこで起きている問題や課題について、多面的かつ論理的思考ができる人。 2. 積極的に企業経営における課題解決のために行動し、多様な人々と協働しつつ、その課題解決に参加していきたいという積極的な思考を持っている人。 3. 企業経営上の課題解決のために必要な新しい技術やスキルに関心を持ち、その応用に興味のある人。 4. 上記1～3のような人物を社会に輩出すべく、子供たちの教育にたずさわる意欲のある人。 <p>また、高等学校等において修得した基礎的な知識・技能、それらを活用する能力、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度などを多面的・総合的に評価する入学者選抜を行う。</p>



<p>教育研究上の目的</p>	<p>経済学と法律学から成る学科専門科目群の中から、公共法政策、経済分析、企業法務、金融・財政、法律総合等の領域に関する専門知識を学修し、必要な実践的な能力と倫理観を備えた、社会に有為な人材の育成を目的とする。</p>
<p>ディプロマ・ポリシー (2017年度以前入学生)</p>	<p>大学共通科目の履修によって身につけた幅広い教養を活かすとともに、経済学と法律学の視点から専門的な問題解決能力や資質を持つ人材を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学と法律学を学び、経済や法律が生活に与える影響を正しく理解でき、広い視野を持つことができる。 2. 経済の知識を備えた法律のスペシャリスト、リーガルマインドを備えた経済のスペシャリストとして、実社会で活躍できる能力を身につけている。やや具体的にいえば、本学科の例えば金融志望の卒業生は、法学知識だけではなく、経済学、会計学の知識を備え、実践的な能力を身につけている。 <p>また、公務員志望であれば、こちらも単に法学知識だけではなく、経済学なかでも財政学の知識を備え、より広い視野にたって公務員としての任務遂行に当たることができる。</p>
<p>ディプロマ・ポリシー (2018年度以降入学生)</p>	<p>『経済と法との出会い・学びが未来を変える』</p> <p>大学共通科目で幅広い教養と発想を学んだうえで、経済学と法律学から成る学科専門教育科目の中から、キャリア形成を行うために必要な知識体系の基盤を構築している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生各自が価値観、興味関心を明確に意識したうえで、理想とするキャリア形成に適したコースを、5つのコース「公共法政策」「経済分析」「企業法務」「金融・財政」「法律総合」の中から選択・学修することで、自らの視点で社会の動向を分析・予測し、人生を開拓できる力を修得している。 2. 経済や法律の知識をベースに、実社会で活躍できる能力を身につけている。やや具体的にいえば、例えば金融志望の卒業生は、経済学と法学の知識を備え、多様な能力を発揮できる。また、公務員志望であれば、法学知識だけではなく、経済学なかでも特に財政学の知識を備え、より広い視野にたって公務員としての任務遂行に当たることができる。 3. 獲得した経済学、法律学の知識と経験を活かし、中学・高校において教員として後進の指導にあたることもできる。 <p>以上のような能力を身に付け、経済法学科の教育課程を修め、規定する期間以上在学し、厳格な成績評価に基づき124単位を修得し、卒業要件を満たした者に対して、卒業を認定し学位〔学士（経済法学）〕を授与する。</p>
<p>カリキュラム・ポリシー (2017年度以前入学生)</p>	<p>社会人としての教養に加え実践的に活躍できる人材を育成するために大学共通科目と学科専門科目をバランスよく配置している。学科専門科目においては、基礎力を養成する”塾”によって学修の土台を固め、多彩な専門科目を分野ごとのユニットにまとめることで学生の志望や進路に応じた選択・履修をガイドすると同時に、前提科目制度によって体系的な学修を保障することで、学科専門教育の目的を達成するための教育環境を準備している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. リーガルマインドを備えた経済のスペシャリスト、経済学のセンスを備えた法律のスペシャリストを養成するために、経済、法律、会計に関連する学科の専門科目を九つのユニットにグループ化している（①理論経済ユニット、②金融・財政ユニット、③経済・経営ユニット、④公法基礎ユニット、⑤政策法務ユニット、⑥民事法基礎ユニット、⑦企業法務ユニット、⑧司法実務ユニット、⑨アカウンティングユニット） 2. 経済学、法律学、会計学のいずれについても学習する機会を保障する。 3. 本学科の専門科目には、選択必修も含めて必修科目はない。すなわち、すべて自由選択であるが、その代わりに、下記履修モデルと前提科目制および一定の履修制限によって体系的に履修がなされるようにしている。 4. 各自の知的好奇心と学修ニーズに応える多彩な専門科目のユニットを、5つの履修モデル（①公務員志望、②司法書士・行政書士志望、③公認会計士・税理士志望、④国税専門官志望、⑤金融・保険・証券業志望）を参考に積み上げることにより、希望の進路への効果的な学修をサポートする。例えば、公務員志望であれば、〈理論経済〉〈金融・財政〉〈経済・経営〉〈公法基礎〉〈民事法基礎〉〈政策法務〉の各ユニットを積み上げる。
<p>カリキュラム・ポリシー (2018年度以降入学生)</p>	<p>ゆたかな人間性を育む大学共通科目と社会人としてのキャリア形成に必要な学科専門科目をバランスよく配置する。学生は、大学で学修するための基礎力を養成する少人数の“塾”と学科基礎科目を通じて学修の土台を固めることから始め、それぞれの知的関心と将来の志望を踏まえて、より専門性の高い科目群からなる5つのコースから1つのコースを選択し、学科専門科目を学修していく。低年次から開講される専門演習において、専門科目で身につけた知識とスキルを実践の場でさらに磨く。また、学生に適切なコース選択をガイドするために、教員が個々の学生を丁寧にサポートする体制を用意するとともに、専門科目を体系的に学修することを保障するための前提科目制度を設ける。また、各科目のシラバスに記載された明確な評価基準に基づいて厳格な成績評価を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学の学修を無理なく円滑に進めていくために必要な力を養う基礎力養成塾と学科専門科目への入門または導入として学科基礎科目を置く。 2. 学生の多様な知的関心と将来の志望に柔軟に対応するため、経済学と法律学を適切に組み合わせた学科専門科目群から構成されている5つのコース（①公共法政策コース、②経済分析コース、③企業法務コース、④金融・財政コース、⑤法律総合コース）を置く。 3. 各コースで身につけた知識や技術やセンスを実践的に活用し、ステップアップするための場として切れ目なく演習科目を置く。 4. コースを超えた幅広い知的関心に応えるとともに、より高度な専門性を養うためにコース共通科目を置く。 5. 学科基礎科目とコース科目に選択必修科目を設定し、コース修了のための最低修得単位を定めるとともに、前提科目制度や履修制限によって体系的な学修を保障する。



(表 I-1-⑪)

<p>アドミッション ・ポリシー</p>	<p>経済法学科では、経済学と法律学のコアとなる知識とスキルを確かなものとし、それを基盤としたより高度な専門知識を身につけるとともに、経済や法律にかかわる幅広い社会・経済活動に不可欠な実践的な能力と職業上の倫理観を形成する。そのために経済法学科では、高校卒業程度の経済と法についての知識を有した次のような人を求める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人権と多様性を尊び、国の公共政策や地域のまちづくりにかかわる意欲のある人（公共法政策コース） 2. 様々な経済・社会問題に関心を抱き、経済学的な分析を通じて個人や社会にとって望ましい（合理的な）解決法を見出すことに意欲のある人（経済分析コース） 3. 企業の組織や活動に関心があり、企業における意思決定の仕組みやリスク管理・契約などの法実務を学ぶ意欲のある人（企業法務コース） 4. 経済を巡るおカネの動きや国の財政について関心があり、資金の流れに関与することで社会の発展に貢献していきたい人（金融・財政コース） 5. 正義や権利の価値に重きをおき、法律にかかわる資格の取得や裁判制度に強い関心のある人（法律総合コース） 6. 地理・歴史、公民に興味があり、民主社会の将来の担い手である子どもたちの教育にたずさわる意欲のある人（教職） また、高等学校等において修得した基礎的な知識・技能、それらを活用する能力、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度などを、多面的・総合的に評価する入学者選抜を行う。
--------------------------	--

社会福祉学部のポリシー



(表 I-1-12)

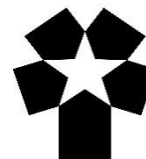
ディプロマ ・ポリシー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉学部では、人を支援する場合に求められる基本的な姿勢と、そのために求められる深い人間理解を身につける。 2. 人を支援する場は、社会の複雑化とあいまって、多様に広がっている。それは、福祉を必要とする人々のニーズの多様化でもある。そうした多様なニーズを、それぞれの支援の場において分析・把握し、その充足を目指すための、対人関係サービスの専門家たる能力を身につける。 3. より具体的には、社会福祉分野や各種行政部門で個別援助・地域計画・地域組織化に従事するといった場合についてはもとより、一般企業においても企業内や対外的な企業活動における様々な場面において、福祉的支援の要請に応えられる知識と姿勢と対人能力を身につける。
アドミッション ・ポリシー	社会福祉学部では、社会福祉分野及び各種行政部門で、専門職として対人関係サービスに従事する人材を社会に送り出すために、社会福祉学はもとより、社会学、心理学、経済学を含めた隣接領域の専門的な知識や技術の修得を目指します。 社会福祉学部には福祉計画学科、福祉臨床学科、福祉心理学科の3つの学科を設置し、それぞれ相互に関連しあう共通の教育課題と目標を持ちながら、社会福祉分野における有為な人材養成を目指して教育に取り組んでいます。

福祉計画学科のポリシー



(表 I-1-13)

教育研究上の目的	社会福祉制度・政策の知識を教授するとともに、調査・分析能力や国際感覚を養成し、コミュニティーソーシャルワーカーや福祉マインドを持った企業人及び公務員として活躍できる人材の育成を目的とする。
ディプロマ ・ポリシー (2018年度以前 入学生)	現代社会の要請に対応できる人材の育成を目的としています。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉マインドをもって民間企業や国家・地方の公的機関に従事する人材、さらにNPO や教育機関などで活躍できる人材としての能力を有している。 2. 福祉サービスを必要とする人びとの視点で、側面から援助したり、福祉的施策に関するプランを策定しサービスを提供することができる能力がある。 3. 地域で住民や公的機関と協働し、ニーズを統計的に把握し、主体的に問題を解決することができるコミュニティー・ソーシャルワーカーとして活躍できる能力がある。 4. 社会福祉制度・政策の知識を有し、国際比較を踏まえて分析する能力を有している。
ディプロマ ・ポリシー (2019年度以降 入学生)	福祉計画学科では、「地域(みんな)でつなぐ、地域(まち)をつくる」をモットーに、現代社会の要請に対応ができ、北海道の地域性および国際感覚を身につけて活躍できる人材養成を行っている。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「福祉マインド」をもって民間企業や国家・地方の公的機関に従事する人材、さらにNPO や教育機関などで活躍することができる。 2. 福祉サービスを必要とする人びとの視点で、寄り添いながら援助を行い、福祉的施策に関するプランを策定し、サービスを提供する能力を身につけることができる。 3. 地域で住民や公的機関と協働し、ニーズを統計的に把握し、主体的に問題を解決するコミュニティー・ソーシャルワーカーとして活躍することができる。 4. 社会福祉制度・政策の知識を有し、国際比較を踏まえて分析する能力を身につけることができる。 以上のような能力を身に付け、福祉計画学科の教育課程を修め、規定する期間以上在学し、厳格な成績評価に基づき124単位を修得し、卒業要件を満たした者に対して、卒業を認定し学位 [学士 (福祉計画学)] を授与する。
カリキュラム ・ポリシー (2018年度以前 入学生)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉の制度・政策に関する幅広い知識を得るために、経済学・法学系のカリキュラムを設置する。 2. 社会福祉政策の実施に際し、ニーズの把握等に関わる知識や技能を得るための資格を取得しうるカリキュラムを展開する。 3. 福祉計画学科独自の科目群として、社会保障を中心に、社会福祉に関わる計画・政策・財政・法律・社会福祉調査・コミュニティー・NPO・公的部門の経済活動を学ぶ科目など、地方分権と高齢社会に対応した地域の福祉計画策定のための科目を用意し、福祉をマクロ的視点から学ぶ。 4. 4つの体験型・参加型学習 (コミュニティーワーク実習、海外福祉事情、社会福祉調査実習、社会福祉士養成) や、インターンシップへの参加機会を設置する。 5. 学生のプレゼンテーション能力を向上させる科目を設置する。
カリキュラム ・ポリシー (2019年度 入学生)	福祉系学科として、福祉現場だけでなく、国および自治体職員、一般企業、学校教員やNPO等で活躍できる人材として、「福祉マインド」を身につけ、超高齢社会、貧困等の格差社会、マイノリティへの適切な対応が行える知識と能力を身につけ、それぞれの現場およびそれをとりまく地域社会で社会的な役割を担うことができる人材養成を行う。 その目的を達成するためのカリキュラムとして「福祉計画基盤科目」「社会福祉士関係科目」「教職・社会教育主事関係科目」を配置する。履修モデルとして「社会福祉士コース」「福祉教育コース」「福祉政策・行政コース」「応用福祉・産業コース」の4コースを設置する。また、各科目のシラバスに記載された明確な評価基準に基づいて厳格な成績評価を行う。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「社会福祉士コース」では、社会福祉士国家試験受験資格を4年間で取得できるように、厚生労働省の指定科目 (続く)



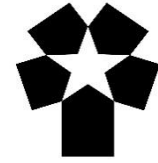
<p>(福祉計画学科 続き) カリキュラム ・ポリシー (2019年度 入学生)</p>	<p>(続き) を配置する。また、単に社会福祉士国家試験受験資格が取得できるだけでなく、「地域(みんな)でつなぐ、地域(まち)をつくる」に関連する福祉計画基盤科目の履修を通して、地域を強く意識した場での実習の実施や専門職養成を行う。</p> <p>2. 「福祉教育コース」では、本学科で社会福祉制度等を広く学びながら、それらの知識を活かして、広く教育に携わる職業人を養成する。さらに、家庭環境への理解を深め、より適切な生徒指導や教育を実施できるよう資質を高めることを目指す。希望により中学校教諭1種免許状(社会)、高等学校教諭1種免許状(公民)およびこれらを基礎免許とした特別支援学校教諭1種免許状の取得を目指せるよう科目を配置する。</p> <p>3. 「福祉行政・公共コース」では、本学科の特徴である福祉政策系(マクロ)科目と地域関連(メゾ)科目を幅広く学び、併せて社会学・経済学・法学系の科目の履修を推奨している。また、社会教育系の科目も配置し、市町村教育委員会等で社会教育主事を目指すことができる。</p> <p>4. 「応用福祉・産業コース」では、本学科で福祉専門職を目指すのではなく、社会福祉の理論・制度・政策を学んだ上で、少子高齢社会にあって消費者ニーズに対応しうる知識・技能を幅広く学び、それを卒業後の進路で役立てられることを目指す。また、社会調査士資格を目指す過程で、社会調査に役立つ知識・技能が修得できる。</p>
<p>カリキュラム ・ポリシー (2020年度 入学生)</p>	<p>福祉系学科として、福祉現場だけでなく、国および自治体職員、一般企業、学校教員やNPO等で活躍できる人材として、「福祉マインド」を身につけ、超高齢社会、貧困等の格差社会、マイノリティへの適切な対応が行える知識と能力を身につけ、それぞれの現場およびそれを取りまく地域社会で社会的な役割を担うことができる人材養成を行う。その目的を達成するためのカリキュラムとして「福祉計画基盤科目」「社会福祉士関係科目」「教職・社会教育主事関係科目」を配置する。履修モデルとして「社会福祉士コース」「福祉教育コース」「福祉行政・公共コース」「応用福祉・産業コース」の4コースを設置する。また、各科目のシラバスに記載された明確な評価基準に基づいて厳格な成績評価を行う。</p> <p>「社会福祉士コース」では、社会福祉士国家試験受験資格を4年間で取得できるように、厚生労働省の指定科目を配置する。また、単に社会福祉士国家試験受験資格が取得できるだけでなく、「地域(みんな)でつなぐ、地域(まち)をつくる」に関連する福祉計画基盤科目の履修を通して、地域を強く意識した場での実習の実施や専門職養成を行う。</p> <p>「福祉教育コース」では、本学科で社会福祉制度等を広く学びながら、それらの知識を活かして、広く教育に携わる職業人を養成する。さらに、家庭環境への理解を深め、より適切な生徒指導や教育を実施できるよう資質を高めることを目指す。希望により中学校教諭1種免許状(社会)、高等学校教諭1種免許状(公民)およびこれらを基礎免許とした特別支援学校教諭1種免許状の取得を目指せるよう科目を配置する。</p> <p>「福祉行政・公共コース」では、本学科の特徴である福祉政策系(マクロ)科目と地域関連(メゾ)科目を幅広く学び、併せて社会学・経済学・法学系の科目の履修を推奨している。また、社会教育系の科目も配置し、市町村教育委員会等で社会教育主事を目指すことができる。</p> <p>「応用福祉・産業コース」では、本学科で福祉専門職を目指すのではなく、社会福祉の理論・制度・政策を学んだ上で、少子高齢社会にあって消費者ニーズに対応しうる知識・技能を幅広く学び、それを卒業後の進路で役立てられることを目指す。また、社会調査士資格を目指す過程で、社会調査に役立つ知識・技能が修得できる。</p>
<p>アドミッション ・ポリシー (2018年度以前 入学生)</p>	<p>福祉計画学科では、社会福祉制度・政策の知識を教授するとともに、調査・分析能力や国際感覚を養成し、コミュニティ・ソーシャルワーカーや福祉マインドを持った企業人及び公務員として活躍できる人材の育成を目的としています。少子高齢社会・格差社会が進む中で、国際社会の福祉政策の動向をふまえ、新たな社会福祉改革とそのため必要な社会や社会福祉についての学識とともに、社会調査やまちづくり、福祉サービスの提供のための知識・技術を養い、地域の中で求められている実践力を持った人材を育成します。自治体や社会福祉協議会、非営利団体などで地域の社会福祉サービスを総合的に企画・立案し、福祉のまちづくり、福祉・教育・医療におけるサービスの提供を仕事とすることに希望を持つ人、また、民間企業などで高齢者や障害者等多くの人に利用されるのにふさわしい商品やサービスを開発・提供する仕事を希望している人を求めています。</p>
<p>アドミッション ・ポリシー (2019年度以降 入学生)</p>	<p>福祉計画学科では、「福祉マインド」をもって地域社会で活躍したいと願う人を求めている。また、次の5つのことに関心や興味、または能力を身につけたいと考えている人を受け入れたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉の制度・政策に関する知識と併せて幅広い分野で活躍できる人材となるために、社会学、経済学・法学・教育学系のカリキュラムを学びたい人。 2. 社会福祉政策の実施に際し、支援を必要としている者のニーズ把握等に関わる知識や技能を得たいと考えている人。 3. 福祉計画学科独自の科目群として、社会保障を中心に、社会福祉に関わる計画・政策・財政・法律・社会福祉調査・国際比較・コミュニティ・NPO・公的部門の経済活動に関する科目や、地方分権と超高齢社会に対応した地域の福祉計画策定のための科目を学び、社会福祉をメゾ・マクロ的視点から見ることのできる能力を身につけたい人。 4. 5つの体験型・参加型科目(コミュニティワーク実習、海外福祉計画実習、社会福祉調査実習、社会福祉士養成、福祉計画インターンシップ)に関心や興味のある人。 5. ソーシャルスキル(文章作成、プレゼンテーション、コミュニケーションの各能力)を向上させたいと考えている人。 <p>これらに関心や興味があり、能力を身につけ、卒業後は、自治体、学校、社会福祉協議会、非営利団体などで地域住民のニーズにあったサービスを総合的に企画・立案し、福祉のまちづくり、福祉・教育・医療におけるサービスの提供に従事することに希望を持つ人、また、民間企業などで高齢者や障がい者等多くの人に利用されるのにふさわしい商品やサービスを開発・提供する仕事を希望している人を求めている。</p> <p>そのため、高等学校等において修得した基礎的な知識・技能、それらを活用する能力、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度などを、多面的・総合的に評価する入学者選抜を行う。</p>



福祉臨床学科のポリシー

(表 I-1-14)

<p>教育研究上の目的</p>	<p>対人援助専門職としての基本的な価値・知識・技術を教授するとともに、多様な実践環境に対応したソーシャルワーク実践能力、実践の中で研鑽・研究する能力を養成し、真に実践力のあるジェネラリスト・ソーシャルワーカーの育成を目的とする。</p>
<p>ディプロマ・ポリシー (2018年度以前入学生)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ソーシャルワーカーとして、人の尊厳と人権を擁護し、社会正義に基づいて広く社会を見つめる視野を持っている。 2. ジェネラリスト・ソーシャルワーカーとして理論的・計画的な実践能力を展開することができる。 3. 人の発達段階を理解し、保健医療分野や在宅から施設まで、多用なクライアントへのソーシャルワーク展開能力を有している。 4. 多様な職場や現場など実践環境に対応したソーシャルワーク展開能力を有している。 5. ソーシャルワーカーとして、日々の臨床実践の中で自ら学習し研究できる能力を有している。 6. ソーシャルワーク・社会福祉を理解した上で、社会における諸課題の解決に向けた実践展開能力を有している。
<p>ディプロマ・ポリシー (2019年度以降入学生)</p>	<p>福祉臨床学科では、本学が規定する在学期間において、各科目の特質に応じた厳正な成績評価に基づき124単位を修得し、次に掲げる諸能力等を獲得することによって卒業要件を満たした者に対して、卒業を認定し学位〔学士(福祉臨床学)〕を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の流動的な社会において、常に人の尊厳と人権を尊重し、社会正義に基づいて広く社会を捉え・働きかけることのできる人格的な陶冶が成し遂げられている。 2. ソーシャルワークと社会福祉を理解し、地域社会における諸課題の解決に向けて、ジェネラリストまたはスペシャリスト・ソーシャルワーカーとして多様なクライアントの生活環境に応じた理論的・計画的な支援の実践展開能力を獲得している。 3. この社会を担う次世代を教育・支援することの意義を理解し、地域社会の重要な資源としての学校等において、教育指導とソーシャルワークを実践的に展開する能力を獲得している。 4. 社会福祉および教育における多職種の連携と協働の重要性を理解し、それぞれの専門的な価値・知識・スキルを相互に理解し合い、実践的に連携・協働して人を支援し、誰もが住みやすい地域社会をつくり出そうとする姿勢を有している。 5. ソーシャルワークと教育の専門職として、日々の臨床実践の中で自ら学習し研究できる能力を獲得している。
<p>カリキュラム・ポリシー (2018年度以前入学生)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ジェネラリスト・ソーシャルワーカーが備えるべき能力を、5群13項目に分類し、専門職養成のための総合的なカリキュラムを構成する。 2. 福祉臨床学科独自の科目群として、社会福祉における援助の基礎理論、方法論、様々な分野別に求められる知識・技術を学ぶ。特に福祉臨床実習を通じ積上げ方式で福祉現場の理解とソーシャルワーカーの役割・実践を理解する。 3. 人の一生の発達段階とそこでの障害を概観する科目を設置する。 4. ソーシャルワーカーの基本的理論・実践枠組みを学習する科目を設置する。 5. 幅広い分野における問題と援助枠組みを学習する科目を配置する。 6. ソーシャルワーカーとしての実践的力を身につけるための科目を積上げ方式で配置する。 7. 研究的力を身につけるための科目を配置する。 8. 性差の問題に関する感覚、人権感覚、社会正義の感覚を養う科目を配置する。 9. 理論的、実践的、研究的かつ人権感覚に溢れたジェネラリスト・ソーシャルワーカーを養成するカリキュラムを展開する。
<p>カリキュラム・ポリシー (2019年度以降入学生)</p>	<p>福祉臨床学科では、人権感覚に溢れた理論的・実践的・研究的な社会福祉と教育の専門職を養成するカリキュラムを展開するために、次の諸点についての科目を設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1年次・2年次の全学生を対象に、人の生涯に渡る生活とその環境を捉え、そこで生じる問題や障害・ジェンダー・文化などに伴う偏見と差別の歴史を理解し、人権と社会正義の感覚を養う科目群を設置する。 2. 特に社会福祉領域の専門職養成をねらいとして、人の生活を支援することに対する情熱と目的意識を醸成し、社会福祉の基礎理論・方法論・実践理論についての学びを通して、様々な分野に対応した相談援助の枠組みとソーシャルワーカーが果たす機能と役割について理解する科目群を設置する。 3. 特に学校教育領域の専門職養成をねらいとして、人を育て・教え・導くことに対する情熱と目的意識を醸成し、児童生徒の特性とその生活を理解するとともに、教科に関する学問的知識と指導法についての学びを通して、教育が果たす機能と学校教員の役割について理解する科目群を設置する。 4. 社会福祉及び学校教育領域それぞれの養成において、多様なクライアントや児童生徒とその生活を臨床的に理解し、ソーシャルワーカーや学校教員としての実践的な力を身につけるために、入学年次から卒業年次に渡る段階的な積上げ方式による実習科目を設置する。 5. 3年次・4年次の全学生を対象に、多様なクライアントや児童生徒の生活を支援する際、広く社会を捉えるとともにエビデンスに基づく実践を展開するための研究的な力を身につけるために、様々な研究法について学び、自ら研究を実践するための科目群を設置する。(続く)

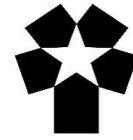


<p>(福祉臨床学科 続き) カリキュラム ・ポリシー (2019年度以降 入学生)</p>	<p>(続き) 各科目群においては、それぞれの科目の特質に応じて、講義形式や演習形式、また学外で行う実習形式で展開し、これらの科目においては随時、学生による主体的な学修活動を行わせる。また、実習指導や専門演習などでは、概ね学生20名以下を1クラスとした少人数教育を展開する。これらの科目にはおいては、シラバスに明記された成績評価基準に基づき厳正な単位認定評価を行う。</p>
<p>アドミッション ・ポリシー (2018年度以前 入学生)</p>	<p>福祉臨床学科では、対人援助専門職としての基本的な価値・知識・技術を教授するとともに、多様な実践環境に対応したソーシャルワーク実践能力、実践の中で研鑽・研究する能力を養成し、真に実践力のあるジェネラリスト・ソーシャルワーカーの育成を目的としています。 本学科では、社会福祉士や精神保健福祉士という国家資格取得を目指し、人の誕生から死までの一生のあらゆる段階で起こり得る様々な生活上の障害・問題に関し、地域や施設・機関で相談を受け、援助する専門家であるソーシャルワーカーを育成します。 将来、社会福祉援助を専門的に行う福祉施設（児童・障害者・高齢者のための施設など）、地域・在宅福祉機関（地域包括支援センター、社会福祉協議会など）、相談機関（福祉事務所、児童相談所など）、保健・医療・教育機関（病院・診療所、学校など）での福祉関係の仕事や、ソーシャルワークに精通した学校教員（中学・高校・特別支援学校）として従事することを希望する人を求めています。</p>
<p>アドミッション ・ポリシー (2019年度以降 入学生)</p>	<p>福祉臨床学科では、人権感覚に溢れた理論的・実践的・研究的な社会福祉と教育の専門職養成を目的としており、将来、社会福祉援助を専門的に行っている福祉施設（児童・障害者・高齢者のための施設など）、地域・在宅福祉機関（地域包括支援センター、社会福祉協議会など）、相談機関（福祉事務所、児童相談所など）、保健・医療・教育機関（病院・診療所、学校など）などで活躍できるソーシャルワーカーや、ソーシャルワークに精通した学校教員（中学校や特別支援学校の教諭）として従事することを希望する者を求めている。そのため、子供から高齢者までの多様な人々と接し、人を支援することに強い関心を持つとともに、人権や社会正義に反するような社会的諸状況の解決に向けて努力することができる者を求めている。 本学科に入学を希望する者は、他者や社会に関心を持つことによって自ら問いを發し、それを踏まえて自律的に学習することができるスキルが必要である。また、入学者選抜においては、多様な背景を持つ学生の受け入れを行うとともに、本学入学後の修学支援を整備することによって、本学卒業後には多様な人々の支援を行うことができる実践的な人材の養成を行っている。</p>



<p>教育研究上の目的</p>	<p>心理学という学問を通して、科学的なものの考え方を教授するとともに、人間の心や行動を理解し追究する能力を養成し、急激な変化の只中で心理的な問題を抱える人が増加する現代社会の要請に対応できる人材の育成を目的とする。</p>
<p>ディプロマ・ポリシー (2017年度以前入学生)</p>	<p>カリキュラム・ポリシーの項目が十分に習得されていること。すなわち、具体的には、以下の項目が習得されていること。 1. 科学的人間理解の能力、積極的に他者と関わることの出来る感受性、豊かな人間性を身につける。 2. 心理専門科目および心理学実験実習を習得する。 3. 2に必要な意欲、心理学的センス、自ら考える態度を身につける。</p>
<p>ディプロマ・ポリシー (2018年度以降入学生)</p>	<p>福祉心理学科は、科学的な心理学に関する専門的知識と技能を基礎から応用まで幅広く身につけると同時に、心理学的マインドを養い、医療、教育、福祉、産業組織など様々な領域において、地域社会に貢献する実践力と人間性を備えた人材の育成を行う。そして、この目的にそって編成された授業科目について所定の単位数を修得し、以下の能力を持つと認められる学生に対して学位[学士(福祉心理学)]を授与する。また、「高等学校教諭1種免許状(公民)」「特別支援学校教諭1種免許状」の免許取得、および「公認心理師(国家資格)」「認定心理士」の資格取得を奨励する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 心理学および隣接諸科学の理論や概念について幅広く関心を持ち、自己、他者、社会関係などに関する総合的な知識を習得することができる。 科学的な心理学の知識を、医療、教育、福祉などの領域に応用し、実践的に活用することができる。 心理社会的な人間のこころの仕組みやそこに発生する諸問題に関して、心理学の見地から理論的考察を行い、それを適切に表現することができる。 こころの仕組みや病理にかかわる問題を発見し、解決するために、心理学的な知見に基づいて適切な判断をすることができる。 こころの諸問題を検証するために適切な研究計画を設定し、入手したデータを統計的に分析することができる。 日常生活において他者と円滑なコミュニケーションをはかたり、対人援助場面において相談者の心理査定や心理療法を行うために、社会的及び臨床的なスキルを役立てることができる。 心理学および隣接諸科学の専門知識や研究法について、能動的学修や他者との協働的学習によって学ぶ意欲を持っている。卒業後もキャリアを通じて自己研鑽を続け、自らの持つ心理学の知識を応用して、心理社会的な問題に関して解決策を検討することができる。
<p>カリキュラム・ポリシー (2017年度以前入学生)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 科学的な人間理解の能力、積極的に他者と関わることの出来る感受性、豊かな人間性を育む。 専門科目についてはもちろん、統計的な知識を使用して実験や実習についても全国的にも高度なレベルにある密度の濃い教育を展開する。 単なる知識の詰め込みではなく、心理学的なセンスで物事をとらえ、自分の頭で考えることの出来る人材育成を行う。
<p>カリキュラム・ポリシー (2018年度以降入学生)</p>	<p>福祉心理学科は、心理学の様々な領域についての基礎知識の習得、心理学実験や演習を通じた体験的な心理学の学びを通して、科学的な人間理解の能力、積極的に他者と関わることのできる感受性、豊かな人間性を育むことにより、医療、福祉、教育など様々な領域において心理臨床家として対人援助を実践することのできる人材、特別支援学校や高等学校において心理学的なスキルとマインドを備えた教師として教育を実践することのできる人材、企業組織においては科学的な調査にもとづく分析能力と高いコミュニケーション能力を備えた人材を養成する。</p> <p>このような目的を達成するために、福祉心理学科では、科学的な基礎心理学を主体に学ぶ「心理科学コース」と、対人援助実践のための心理学的知識や技能を学ぶ「心理臨床コース」を設け、いずれのコースにも、心理学の体系的・包括的な知識を教授し、こころの諸問題や心理学的現象が発生する要因の分析および解決策を導き出すための、実験、実習、演習、講義科目を配置している。実験・実習科目では、実際に体験して能動的に問題を解決する学習によって科学的心理学の基礎や実践力を徹底して身につけ、演習科目では、少人数による対話を介した学習や能動的学修によって深化した心理学の専門知識やコミュニケーション能力を培う。学習の到達度は、期末試験やレポートの他には授業に参加する積極的な姿勢などをもとに評価される。</p> <p>カリキュラムは段階的に編成されており、1年次は心理学の基礎の学び、2年次は科学的方法論と専門知識の学び、3年次は幅広く専門知識を深化させる学び、4年次はこころの諸問題や諸現象を科学的に分析して論理的に考察する総まとめの学びによって、高い学士力を養成する。</p>
<p>アドミッション・ポリシー</p>	<p>福祉心理学科では、本学科の教育目標を理解し学ぼうとする強い意欲があることを前提として、臨床心理学やカウンセリングなど心の問題の実践的分野に関心のある人、幅広く心理学という学問を学びたい人、人との関わり方に関心のある人、心理学の視点を生活や社会のために生かしたい人を求めている。</p> <p>本学科で心理学を学ぶために、入学前に身につけておくことが求められるのは、論理的な思考力と文章構成力、主題の理解力と表現力、コミュニケーション能力および広い分野の基礎学力などである。入学者の受入れにあたっては、多様な入学者選抜方法で、多元的な評価尺度を用いて、本学科の教育目標に沿った学習に必要な基礎的な能力と資質を重視して評価・判定する。</p>

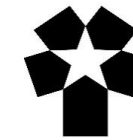
短期大学のポリシー



(表 I-1-⑯)

ディプロマ ・ポリシー	<ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教による人格教育を通じ、広い教養と、専門の知識・技術を深く修得し、社会において、知的、応用的能力を発揮することができるようになること。 2. 愛と奉仕に生きる自由な人間という、人間の基本的なあり方と姿勢を問い続け、自らの生き方を探求し、実践していくことができるようになること。 3. 知性と豊かな人間性を備え、社会の諸情勢や問題に深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わる姿勢や心を持ち続けることができるようになること。
アドミッション ・ポリシー	<p>本学は、プロテスタントキリスト教の信仰と伝統に立って、札幌の地に歩みを続けてきた学校法人北星学園が設置する短期大学部です。</p> <p>北星学園の教育の源は、1887年、米国の女性宣教師サラ・C・スミスが「スミス女学校」を開設し、北海道の女子教育に着手したことに遡ります。1951年、英文科の第1期生を迎えて北星学園女子短期大学を開設しました。「地域の生活や社会の改善の礎となる人材を育成したい」この想いを胸に、北星学園女子短期大学は向学の志ある女子に学びの場を提供し続け、2002年には大学キャンパスへ移転し、男女共学となりました。</p> <p>北星学園大学短期大学部の建学の精神は、キリスト教による人格教育を基礎とし、広く教養を培うとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、応用的能力を発揮させることを目的としています。高き教養と人格の確立をめざした本学の教育は、多くの有為な人材を世に送り出し、社会の高い評価を得て今日に至っています。</p> <p>北星を支えるキリスト教精神は、自己を何によって育てるか、自己の一番深いところまで問い続け、考えることにあります。人間としての基本的なあり方と姿勢を問い続けることで、自らの生き方を探し、実践していくことを大切にします。知性と豊かな人間性を備えていることはもちろん、地域社会の諸情勢やその問題に深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わりながら人々とともに生きる姿勢や心を持つような人を求めています。</p>

英文学科のポリシー

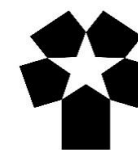


(表 I-1-⑰)

教育研究上の目的	生きた英語とそれを支える文化、さらに英米文化のみならず広範な分野にわたる専門教育を実践的に教授するとともに、総合的な英語運用能力と豊かな国際感覚を養成し、広い視野と判断力及び適切なコミュニケーション能力を備えた人材の育成を目的とする。
ディプロマ ・ポリシー	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実践に重点を置いた「生きた英語」を身につけ、豊かな国際感覚を有している。 2. 世界に通じるコミュニケーション手段としての英語の基本的な能力である、「聴く・話す・読む・書く」を磨き、さらに「知る・使う」能力を身につけている。 3. 英語を通じ、様々な国の人々と心をひらいて交流し、国際的視野と判断力を養い、社会に奉仕・貢献することができる。 4. 社会人としての教養と実践的知識を身につけている。
カリキュラム ・ポリシー (2018年度以前 入学制)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全員が「英語と日本語で高い教養知識」を吸収し、「英語による自己表現力」を高めるよう科目を展開する。 2. 1年次に基本的な英語運用能力、「聴く・話す・読む・書く」能力を最大限に伸ばす科目を設置する。 3. 2年次にはSociology (社会学)、History (歴史)、Anthropology (人類学)、Geography (地理)、Life Science (ライフサイエンス) 等の「英語による講義科目」を展開する。 4. 「世界共通語」としての英語の様々な種類に触れながらコミュニケーション能力を高めることができるように、インターナショナル・チューター・プログラムを導入し、「人間と人間の触れあい」を大切に学習環境を提供する。 5. それぞれの学生のニーズに合った学習を進めるよう、「スタディ・スキル」の科目を設置し、アカデミック・アドバイザーによる定期的な個別指導を実践する。
カリキュラム ・ポリシー (2019年以降 入学制)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全員が「英語と日本語で高い教養知識」を吸収し、「英語による自己表現力」を高めるよう科目を展開する。 2. 1年次に基本的な英語運用能力、「聴く・話す・読む・書く」能力を最大限に伸ばす科目を設置する。 3. 2年次にはAnthropology (人類学)、Geography (地理)、Life Science (ライフサイエンス)、Ainu and Maori Studies (アイヌとマオリ研究)、Intercultural Communication (異文化コミュニケーション)、International Business (国際ビジネス)、Introduction to Sports Theory (スポーツ概論) 等の「英語による講義科目」を展開する。 4. 「世界共通語」としての英語の様々な種類に触れながらコミュニケーション能力を高めることができるように、インターナショナル・チューター・プログラムを導入し、「人間と人間の触れあい」を大切に学習環境を提供する。 5. それぞれの学生のニーズに合った学習を進めるよう、「スタディ・スキル」の科目を設置し、アカデミック・アドバイザーによる定期的な個別指導を実践する。
アドミッション ・ポリシー	<p>英文学科では、生きた英語とそれを支える文化、さらに英米文化のみならず広範な分野にわたる専門教育を実践的に教授するとともに、総合的な英語運用能力と豊かな国際感覚を養成し、広い視野と判断力及び適切なコミュニケーション能力を備えた人材の育成を目的としています。</p> <p>英語運用能力の「聴く」「話す」「読む」「書く」という基礎力を最大限に伸ばし、さらに、「知る」「使う」といった応用能力を身につけることを目指します。英米人の英語だけでなく、英語を国際語ととらえ、インターナショナル・チューターに接する機会を持ち、自分の意見を伝える力を備え、さまざまな英語や文化を理解し、寛容な姿勢を学びます。また、英語を通して、幅広い分野の学問を探求する姿勢や、社会で英語を使って仕事をするための知識や英語運用能力を育成します。</p> <p>生きた英語そのものとそれを支える文化を学び、英語による自己表現力を高め、国際性を身につけたい人を求めています。</p>



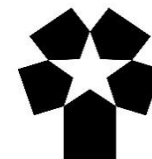
<p>教育研究上の目的</p>	<p>人の生活を総合的、複合的、科学的にとらえるための知識・技術を教授し、生活に存在する問題を発見して適切に表現する能力、そして新しい生活方法を発想、実践する能力を養成し、主体的、能動的に生活の知的創造ができる人材の育成を目的とする。</p>
<p>ディプロマ ・ポリシー</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人の生活を総合的・複合的・科学的にとらえる知識・技術を有し、生活に内在する問題を発見して適切に表現する能力、そして新しい生活方法を発想、実践する能力を持ち、主体的・能動的に生活の知的創造ができる。 2. 時代のニーズを敏感に察知する感受性と、社会人として求められる知識、他者と協調できる豊かな人間性と表現力を獲得する。
<p>カリキュラム ・ポリシー (2018年度 入学生)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一般教育科目、専門科目に多様な分野の科目を開設し、現代の生活に関わる基礎的な事柄や問題を知り、生活を総合的、複合的、科学的にとらえることができるようにする。 2. 学生が興味や関心を持っている分野の専門知識や技術の学習を軸として、生活の問題を掘り下げていくことができるように、履修モデルを提示する。 3. 時代のニーズに合わせた履修モデルとして、生活心理、生活文化、生活福祉、経済・経営、くらしと経済、情報システム、住居・インテリアデザイン、クリエイティブデザインの8つがある。学生は、履修モデルに共通する理解力、思考力、感受性、表現力をそれぞれの分野の学習を通して修得する。 4. 履修モデルの各分野の専門的知識や技術を修得すると共に、相互の関連する科目を自由に学ぶことが可能で、多角的なものを見方を養うことができるようにする。 5. 少人数制の講義や演習、実習を展開し、学生一人ひとりにきめ細かい支援を行う。 6. さまざまな問題を自ら解決する能力、そのプロセスにおいて他者と協調できる豊かな人間性と表現力を獲得することを目的とした科目を置く。 7. 社会人として求められる知識、自己のキャリア探求に必要な知識を教授する科目を置く。
<p>カリキュラム ・ポリシー (2019年度以降 入学生)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一般教育科目、専門科目に多様な分野の科目を開設し、現代の生活に関わる基礎的な事柄や問題を知り、生活を総合的、複合的、科学的にとらえることができるようにする。 2. 学生が興味や関心を持っている分野の専門知識や技術の学習を軸として、生活の問題を掘り下げていくことができるように、履修モデルを提示する。 3. 時代のニーズに合わせた履修モデルとして、生活心理、生活文化、生活福祉、経済・経営、情報システム、住居・インテリアデザイン、クリエイティブデザインの7つがある。学生は、履修モデルに共通する理解力、思考力、感受性、表現力をそれぞれの分野の学習を通して修得する。 4. 履修モデルの各分野の専門的知識や技術を修得すると共に、相互の関連する科目を自由に学ぶことが可能で、多角的なものを見方を養うことができるようにする。 5. 少人数制の講義や演習、実習を展開し、学生一人ひとりにきめ細かい支援を行う。 6. さまざまな問題を自ら解決する能力、そのプロセスにおいて他者と協調できる豊かな人間性と表現力を獲得することを目的とした科目を置く。 7. 社会人として求められる知識、自己のキャリア探求に必要な知識を教授する科目を置く。
<p>アドミッション ・ポリシー (2020年度以前 入学生)</p>	<p>生活創造学科では、人の生活を総合的、複合的、科学的にとらえるための知識・技術を教授します。生活の中に潜在する問題を発見し適切に表現する能力、新しい生活方法をのびやかに発想し実践する能力を養成することを目的としています。</p> <p>「生活の知的創造」をキーワードに、実践的な総合科学を追究し、自ら考え、行動し、他者と協働できる人材を育成します。その方法としては、文化、芸術、心理学、社会学、福祉学、経済学、住居・建築学、デザイン、情報技術等を切り口に、生活を論理的、多角的に検証することを重んじ、また、演習・実習形式を活用した少人数教育によって、一人ひとりが主体的に学ぶことのできる環境を整えています。</p> <p>2年という限られた時間の中で、食欲に学び、幅広い知識と技能を修得しようという志のある人、より豊かに生きていくために、個人と社会のあり方を真剣に考え、行動できる人を求めています。</p>
<p>アドミッション ・ポリシー (2021年度以降 入学生)</p>	<p>生活創造学科では、人の生活を総合的、複合的、科学的にとらえるための知識・技術を教授します。生活の中に潜在する問題を発見し適切に表現する能力、新しい生活方法をのびやかに発想し実践する能力を養成することを目的としています。</p> <p>「生活の知的創造」をキーワードに、実践的な総合科学を追究し、自ら考え、行動し、他者と協働できる人材を育成します。その方法としては、文化、芸術、心理学、社会学、福祉学、経済学、住居・建築学、デザイン、情報技術等を切り口に、生活を論理的、多角的に検証していきます。また、演習・実習形式を活用した少人数教育によって、一人ひとりが主体的に学ぶことのできる環境を整えています。</p> <p>2年という限られた時間の中で、食欲に学び、幅広い知識と技能を修得しようという志のある人、より豊かに生きていくために、個人と社会のあり方を真剣に考え、行動できる人を求めています。</p>



(表 I-1-19)

<p>教育研究上の目的</p>	<p>英語教育その他の社会分野で必要とされる言語文化、英語教育及びコミュニケーションに関する高度な専門的学識と幅広い学際的知識を教授し、かかる分野における高度な専門的職業人の養成及び教育研究者の養成を目的とする。</p>
<p>ディプロマ ・ポリシー (2017年度以前 入学生)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語圏の言語文化、英語教育、コミュニケーションについて、社会状況の変化を踏まえた高度な専門性と広範な学際的見識を有している。 2. 異なった文化を理解するという言語習得の本来の目的を見据えた幅広い視野と国際的な視野を有している。 3. 言語使用の根本にあるコミュニケーションという人間の営為の基本にまで至る理解を有している。
<p>ディプロマ ・ポリシー (2018年度以降 入学生)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語圏の言語文化、英語教育、コミュニケーションについて、社会状況の変化を踏まえた高度な専門性と広範な学際的見識を身につけ、活用することができる。 2. 異なった文化を理解するという言語習得の本来の目的を見据えた幅広い視野と国際的な視野を身につけ、活用することができる。 3. 言語使用の根本にあるコミュニケーションという人間の営為の基本にまで至る理解を身につけ、活用することができる。 <p>以上の項目を満たし、言語文化コミュニケーション専攻の教育課程を修め、規定する期間以上在学し、厳格な成績評価に基づき30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査又は特定課題研究の成果の審査及び試験に合格して修了要件を満たしたものに対して修了を認定し学位[修士(言語文化コミュニケーション)]を授与する。</p>
<p>カリキュラム ・ポリシー (2017年度以前 入学生)</p>	<p>教育課程は、「言語文化研究」「英語教育・コミュニケーション研究」「人間関係論研究」の3分野で構成されています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 言語文化研究分野では、英米の文化と文学に関する言語テキストをてがかりに、その背後に広がる英米文化の深層を理解するとともに、他の英語圏の文化と文学および、西洋文明の根底にあるキリスト教文化についての理解を深めることができます。 2. 英語教育・コミュニケーション研究分野では、言語および非言語メッセージの発信と受信をてがかりに、「言語学」「コミュニケーション学」「英語教育学」の3つの領域から、人々のおりなす相互作用の諸側面について多角的に理解することができます。 3. 人間関係論研究分野では、教育学や心理学といった関連する分野の授業をとおして、言語文化研究分野と英語教育・コミュニケーション研究分野での高度な専門的研究をより豊かで深みのあるものにすることができます。
<p>カリキュラム ・ポリシー (2018年度以降 入学生)</p>	<p>言語文化コミュニケーション専攻では、文学・文化研究分野、英語教育・コミュニケーション研究分野、人間関係論分野の専門性の高い授業を提供し、少人数での特殊演習科目、研究指導を通して修士論文指導を行う。また、成績評価についてはシラバスに記載された明確な基準に基づく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文学・文化研究分野では、英米の文化と文学に関する言語テキストをてがかりに、その背後に広がる英米文化の深層を理解するとともに、他の英語圏の文化と文学および、西洋文明の根底にあるキリスト教文化についての理解を深めることができる。 2. 英語教育・コミュニケーション研究分野では、言語および非言語メッセージの発信と受信をてがかりに、人々のおりなす相互作用の諸側面について多角的に理解することができる。 3. 人間関係論研究分野では、教育学や心理学といった関連する分野の授業をとおして、高度な専門的研究をより豊かで深みのあるものにすることができます。 4. ライフプラン・キャリアプランに応じて、長期履修制度を利用できる。
<p>アドミッション ・ポリシー (2017年度以前 入学生)</p>	<p>文学研究科では、コミュニケーションを単に言語学習や交渉術の修得にとどめることなく、対象とする文化の歴史的・社会的・経済的背景を考慮することができ、あわせて人間に対する深い関心と理解を兼ね備えた能力を持つ人材育成を教育目標としています。したがって、英米の文化と文学、英語と言語学、英語教育に関心がある人だけでなく、コミュニケーションの根本的な特性にまで考察を深めていこうとする人を求めています。</p>

文学研究科(修士課程)のポリシー



(表 I-1-19)

<p>アドミッション ・ポリシー (2018年度以降 入学生)</p>	<p>言語文化コミュニケーション専攻では、コミュニケーションを単に言語学習や交渉術の修得にとどめることなく、対象とする文化の歴史的・社会的・心理的背景を考慮することができ、あわせて人間に対する深い関心と理解を兼ね備えた能力を持つ人材育成を教育目標としている。</p> <p>したがって、英米の文化と文学、英語と言語学、英語教育に関心がある人だけではなく、コミュニケーションの根本的な特性にまで考察を深めていこうとする人を求めている。</p> <p>そのため、入学を希望する者は、英米の文化と文学、語学に関する基礎的知識(学部卒業程度)が必要である。また、高等教育機関において修得した知識、現場での実践等を多面的、総合的に評価する入学者選抜を行う。</p>
---	---

経済学研究科(修士課程)のポリシー



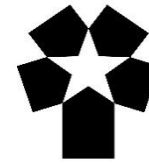
(表 I-1-20)

<p>教育研究上の目的</p>	<p>地域経済と地域行政の問題を的確に理解するとともに、アジア及び欧米等におけるグローバル経済の実態にも精通した高度な専門的職業人の養成を目的とする。</p>
-----------------	---

<p>ディプロマ ・ポリシー (2017年度以前 入学生)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経済現象あるいは企業経営の本質を様々な角度から分析できる高度な研究能力と実践的能力を有している。 2. 経済学の領域においては、経済現象を理論的・歴史的・統計的手法を用いて分析できる専門的知識と実践的能力を有している。 3. 企業経営の領域においては、企業組織や戦略、マーケティング、あるいは会計や金融の専門的知識を身に付け、グローバル化に伴う経営問題を解決できる実践的な能力を有している。
<p>ディプロマ ・ポリシー (2018年度以降 入学生)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広い視野に立って経済現象あるいは企業経営の本質を様々な角度から分析できる高度な研究能力とともに、高度な専門性を要する職業人に必要な実践的能力を身につけ、活用することができる。 2. 経済学の領域においては、経済現象を理論的・歴史的・統計的手法を用いて分析できる専門的知識と実践的能力を身につけ、活用することができる。 3. 企業経営の領域においては、経営組織、マーケティング、あるいは会計や金融の専門的知識を身につけ、グローバル化に伴う経営問題を解決できる実践的な能力を身につけ、活用することができる。 <p>以上の項目を満たし、経済学専攻の教育課程を修め、規定する期間以上在学し、厳格な成績評価に基づき30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格して修了要件を満たしたものに対して修了を認定し学位[修士(経済学)]を授与する。</p>

<p>カリキュラム ・ポリシー (2017年度以前 入学生)</p>	<p>教育課程は、理論経済・応用経済・政治経済などの経済学に関する領域、企業経営に関わる経営組織・戦略、マーケティング、会計などの経営学に関する領域があります。探究テーマに応じてメインとなる科目、関連する科目を選択し、次のように専門性を重層的に深めることができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済現象あるいは企業経営の本質を様々な角度から分析できる高度な研究能力と実践的能力を養成します。 2. 経済学の領域においては、経済現象を理論的・歴史的に解明する専門的な知識を身に付けるばかりではなく、統計的手法に基づく政策提言のできる実践的な能力を養成します。 3. 企業経営の領域においては、企業組織、マーケティング、あるいは会計や金融の専門的知識を身に付け、グローバル化に伴う経営問題を解決できる実践的な能力を養成します。
--	---

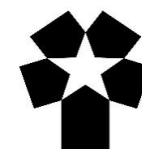
経済学研究科(修士課程)のポリシー



(表 I-1-20)

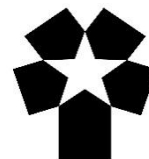
<p>カリキュラム ・ポリシー (2018年度以降 入学生)</p>	<p>経済学専攻では、経済学に関する領域、企業経営学に関する領域の専門性を次のように重層的に深め、1年次から論文指導を受け修士論文作成に取り組む。また、シラバスに記載された明確な評価基準に基づいて厳格な成績評価を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 統計や情報等の定量的方法を用いる講義科目と、歴史や思想などの定性的方法を用いる講義科目を開設し、様々な角度から分析できる高度な研究能力と実践的能力を養成する。 2. 高度な研究能力と実践的能力を身につけ、意思決定を行い、学問的貢献に資することができるために、多くの講義科目は少人数による演習形式で行う。 3. 院生が公開で修士論文作成に係る報告会を行い、質疑応答する機会を設ける。 4. 先取り科目等履修制度及び早期修了制度を導入しており、より高度な研究能力と実践的能力を兼ね備えた者を輩出する。
<p>アドミッション ・ポリシー (2017年度以前 入学生)</p>	<p>経済学研究科の教育・研究は、 (1) 高度な研究能力を備えた専門家や専門的職業人の育成、(2) 社会人の受け入れとリカレント教育の推進、(3) 国際性の重視と外国人留学生の受け入れ、(4) 情報処理能力の養成という4つの柱を持って遂行しています。 この4つの柱を遂行するために、経済学研究科では、経済学や経営学について基本的な知識を身に付けている者に対して、大学院教育をとおして専門的知識を深化・発展させ、現実の社会で応用できる能力の育成を目指します。 経済学研究科では、次のような方々を受け入れます。 経済や企業経営を研究・分析し評価できる能力を身に付けたいと考えている学部卒業生、ビジネスに関わる国家資格取得を目指している学部卒業生・社会人、経済理論や経営理論を利用して自らの組織をさらに拡充させたいと考えている地域経済の担い手や企業経営の一角を担っている社会人、最新の経済理論を身に付けることで教育内容を充実させたいと考えている中学・高校教員、日本経済の発展と課題を研究することで、自国経済に活かしたいと考えている外国人留学生。</p>
<p>アドミッション ・ポリシー (2018年度以降 入学生)</p>	<p>経済学専攻では、高度な研究能力を備えた専門家や専門的職業人の育成を目的とし、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済や企業経営を研究・分析し評価できる能力を身につけたいと考えている学部卒業生 ・ビジネスに関わる国家資格取得を目指している学部卒業生・社会人 ・経済理論や経営理論を利用して自らの組織をさらに拡充させたいと考えている地域経済の担い手や企業経営の一角を担っている社会人 ・最新の経済理論を身に付けることで教育内容を充実させたいと考えている中学・高校教員 ・日本経済の発展と課題を研究することで、自国経済に活かしたいと考えている外国人留学生を求めている。 <p>そのため、入学を希望する者は、経済学や経営学に関する基礎的知識(学部卒業程度)が必要である。 また、高等教育機関において修得した知識、現場での実践等を多面的、総合的に評価する入学者選抜を行う。</p>

社会福祉学専攻(修士課程)のポリシー



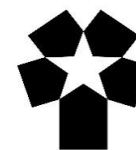
(表 I-1-21)

<p>教育研究上の目的</p>	<p>社会福祉学の専攻領域における高度な専門的学識を教授し、研究能力及び高度な専門職に必要な知識と実践能力を養うとともに、社会福祉及びその隣接領域における専門的職業人の養成並びに教育研究者の養成を目的とする。</p>
<p>ディプロマ ・ポリシー (2017年度以前 入学生)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広い視野に立って社会福祉学と臨床心理学の分野における高度な専門的学識を有している。 2. 研究能力とともに高度の専門性を要する職業人に必要な知識と実践能力を有している。
<p>ディプロマ ・ポリシー (2018年度以降 入学生)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広い視野に立って社会福祉学の分野における高度な専門的学識を身につけ、活用することができる。 2. 研究能力とともに、高度な専門性を要する職業人に必要な知識と実践能力を身につけ、活用することができる。 <p>以上の項目を満たし、社会福祉学専攻修士課程の教育課程を修め、規定する期間以上在学し、厳格な成績評価に基づき30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格して修了要件を満たしたものに対して修了を認定し学位[修士(社会福祉学)]を授与する。</p>



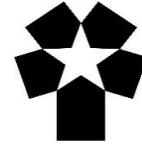
<p>カリキュラム ・ポリシー (2017年度以前 入学生)</p>	<p>社会福祉サービスの体系は、コミュニティを基盤とする実践を中核にしながら、施設・機関を中心にしたミクロ実践および社会全体の福祉資源配分を対象にした福祉計画までを視野に入れた幅広いものです。社会福祉学専攻修士課程においては、これらの包括的な社会福祉実践および分野別の専門性を高める教育・訓練をするために、幅広い科目群を用意しています。加えて、社会福祉研究の第一線で活躍するために、また、社会福祉現場のリーダー、スーパーバイザーにとって必要な分析能力を高めるために必要な研究方法や関連領域の科目群を配置しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本科目、分野別研究、研究方法、関連領域、論文の5科目群を配置し、修士論文を修了要件としています。 2. それぞれの院生の関心領域の研究を追究できるように、子ども家庭福祉研究、障害児・者福祉研究、発達障害研究、精神保健ソーシャルワーク研究、高齢者・高齢社会福祉研究、医療福祉実践研究、地域福祉研究、公的扶助研究の分野別の授業科目を配置し、選択的な履修を可能にしています。 3. 専門的な調査力や分析力を高められるように、質的調査研究、量的調査研究、国際比較福祉研究、ソーシャルワーク実践研究、海外福祉実践研究など幅広い視野から研究方法を身につけられるように配慮しています。 4. 社会福祉研究を狭い福祉サービスの提供に限定せず、広く実地的な視野を持って学びを深められるように、社会保障財政研究、社会保障法研究、特別支援教育研究、社会的弱者研究、偏見・差別問題研究、コミュニティケア政策研究、精神障害学研究の関連領域の科目を配置しています。 5. 1年次後期から論文指導をはじめ、質の高い修士論文の作成にじっくりと取り組めるようにしています。
<p>カリキュラム ・ポリシー (2018年度以降 入学生)</p>	<p>社会福祉学専攻修士課程では、コミュニティを基盤とする実践を中核にしながら、施設・機関を中心にしたミクロ実践および社会全体の福祉資源配分を対象にした福祉計画までを視野に入れた包括的な社会福祉実践および分野別の専門性を高める教育・訓練をするために、幅広い科目を配置している。</p> <p>加えて、社会福祉研究の第一線で活躍するために、また、社会福祉現場のリーダー、スーパーバイザーにとって必要な分析能力を高めるために必要な研究方法や関連領域の科目を配置し、1年次から論文指導を受け修士論文作成に取り組む。また、シラバスに記載された明確な評価基準に基づいて厳格な成績評価を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. それぞれの院生の関心領域の研究を追究できるように、分野別の講義科目を配置し、選択的な履修を可能にしている。 2. 高度な調査力や分析力を修得することができるように、様々な視野からの研究方法を身につけることができるように配慮している。 3. 社会福祉研究を狭い福祉サービスの提供に限定せず、幅広く実地的な視野を持って学びを深められるように、関連領域の講義科目を配置している。 4. 院生個々のライフプラン・キャリアプランに対応できるよう、長期履修制度を導入する。
<p>アドミッション ・ポリシー (2017年度以前 入学生)</p>	<p>わが国では急速な少子高齢化が進行しており、社会保障、社会福祉制度などの諸課題に対して、理念・制度レベルに加え、実践レベルでの解決が求められています。</p> <p>一方で、社会システムの変化や価値観の多様化などが人間関係に変化をもたらし、様々な場面での心理社会的課題の解決が求められています。社会福祉学研究科では、社会福祉学と臨床心理学について高度な専門的知識を備え、研究・分析能力を身に付けた専門家を目指す人を求めています。</p>
<p>アドミッション ・ポリシー (2018年度以降 入学生)</p>	<p>わが国では急速な少子高齢化が進行しており、社会保障、社会福祉制度などの諸課題に対して、理念・制度レベルに加え、実践レベルでの解決が求められている。一方で、社会システムの変化や価値観の多様化などが人間関係に変化をもたらし、様々な場面での心理社会的課題の解決が求められている。</p> <p>社会福祉学専攻では、社会福祉学について高度な専門的知識を備え、研究・分析能力を身につけた専門家を目指す人を求めている。</p> <p>そのため、入学を希望する者は、社会福祉学に関する基礎的知識(学部卒業程度)が必要である。また、高等教育機関において修得した知識、現場での実践等を多面的、総合的に評価する入学選抜を行う。</p>

臨床心理学専攻(修士課程)のポリシー

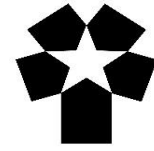


(表 I-1-②)

<p>教育研究上の目的</p>	<p>臨床心理学の専攻領域における高度な専門的学識を教授し、研究能力及び高度な専門職に必要な知識と実践能力を養うとともに、臨床心理士の養成及び臨床心理学における教育研究者の養成を目的とする。</p>
<p>ディプロマ ・ポリシー (2018年度 ～2019年度 入学生)</p>	<p>1. 広い視野に立って臨床心理学の分野における高度な専門的学識を身につけ、心の問題について研究することができる。 2. 高度な専門性を要する職業人に必要な知識と実践能力を身につけ、活用することができる。 以上の項目を満たし、臨床心理学専攻の教育課程を修め、規定する期間以上在学し、厳格な成績評価に基づき35単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格して修了要件を満たしたものに対して修了を認定し学位[修士(心理学)]を授与する。</p>
<p>ディプロマ ・ポリシー (2020年度以降 入学生)</p>	<p>1. 広い視野に立って臨床心理学の分野における高度な専門的学識を身につけ、心の問題について研究することができる。 2. 高度な専門性を要する職業人に必要な知識と実践能力を身につけ、活用することができる。 以上の項目を満たし、臨床心理学専攻の教育課程を修め、規定する期間以上在学し、厳格な成績評価に基づき30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格して修了要件を満たしたものに対して修了を認定し学位[修士(心理学)]を授与する。</p>
<p>カリキュラム ・ポリシー (2018年度 ～2019年度 入学生)</p>	<p>臨床心理学専攻では、高度な心の専門家の養成を主要な目的としている。そのために2年間にわたる実習が、カリキュラムの重要な柱になっている。加えて、研究法をはじめとする幅広い科目を配置し、1年次から論文指導を受け修士論文作成に取り組む。また、シラバスに記載された明確な評価基準に基づいて厳格な成績評価を行う。なお、大学院生個々のライフプラン・キャリアプランに対応できるよう、長期履修制度を導入している。</p> <p>1. 高度な心の専門家として臨床心理学的な援助技術を修得し、適切に実践できる能力を身につける。 2. 臨床心理学または隣接領域に関連する分野について研究する。 3. 実習科目では、クライアントに具体的にどのように心理検査や面接を実施し、適切な援助法を見出すかを、実習体験を通して学ぶ。</p>
<p>カリキュラム ・ポリシー (2020年度以降 入学生)</p>	<p>臨床心理学専攻では、高度な心の専門家の養成を主要な目的としている。そのために2年間にわたる心理実践実習が、カリキュラムの重要な柱になっている。加えて、心理学研究方法論をはじめとする幅広い科目を配置し、1年次から論文指導を受け修士論文作成に取り組む。また、シラバスに記載された明確な評価基準に基づいて厳格な成績評価を行う。なお、大学院生個々のライフプラン・キャリアプランに対応できるよう、長期履修制度を導入している。</p> <p>1. 高度な心の専門家として臨床心理学的な援助技術を修得し、適切に実践できる能力を身につける。 2. 臨床心理学または隣接領域に関連する分野について研究する。 3. 実習科目では、クライアント等に対するアセスメントや適切な援助法について、また多職種連携等について、実習体験を通して学ぶ。</p>
<p>アドミッション ・ポリシー (2018年度 ～2020年度 入学生)</p>	<p>わが国では急速な少子高齢化が進行しており、社会保障、社会福祉制度などの諸課題に対して、理念・制度レベルに加え、実践レベルでの解決が求められている。一方で、社会システムの変化や価値観の多様化などが人間関係に変化をもたらし、様々な場面での心理社会的課題の解決が求められている。 臨床心理学専攻では、臨床心理学について高度な専門的知識を備え、研究・分析能力を身につけた専門家を目指す人を求めている。 そのため、入学を希望する者は、臨床心理学に関する基礎的知識(学部卒業程度)が必要である。また、高等教育機関において修得した知識、現場での実践等を多面的、総合的に評価する入学者選抜を行う。</p>
<p>アドミッシ ョン ・ポリシー (2021年度以降 入学生)</p>	<p>わが国では急速な少子高齢化が進行しており、社会保障、社会福祉制度などの諸課題に対して、理念・制度レベルに加え、実践レベルでの解決が求められている。一方で、社会システムの変化や価値観の多様化などが人間関係に変化をもたらし、様々な場面での心理社会的課題の解決が求められている。 臨床心理学専攻では、臨床心理学について高度な専門的知識を備え、研究・分析能力、さらには実践能力を身につける、という専攻の教育目標を理解し、高度な専門性を有する職業人たることを志す人を求めている。 そのため、入学を希望する者は、心理学に関する基礎的知識(学部卒業程度)が必要である。また、高等教育機関において修得した知識、現場での実践等を多面的、総合的に評価する入学者選抜を行う。</p>



<p>教育研究上の目的</p>	<p>福祉、保健及び医療の分野の専門職を志望し、またはその職にある修士課程修了者を引き続き教育し、かかる分野における高度な専門的職業人の養成及び教育研究者の養成を目的とする。</p>
<p>ディプロマ ・ポリシー (2018年度以降 入学生)</p>	<p>1. 社会福祉学に関する高度な知見を有するのみならず、臨床心理学等の隣接領域の学際的な知見を持ち、研究課題を多面的かつ学際的に研究できる能力を身につけることができる。 2. 福祉・保健・医療などの分野で職業人として、また教育や学会などを通じて、研究成果を広く社会に還元できる能力を身につけることができる。 以上の項目を満たし、社会福祉学専攻博士〔後期〕課程の教育課程を修め、規定する期間以上在学し、厳格な成績評価に基づき12単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格して修了要件を満たしたものに対して修了を認定し学位〔博士（社会福祉学）〕を授与する。</p>
<p>カリキュラム ・ポリシー (2018年度以降 入学生)</p>	<p>社会福祉学専攻博士〔後期〕課程では、社会福祉学に関する高度な知見、および臨床心理学等の隣接領域の学際的な知見を包摂した専門分野の授業科目を配置し、個々の研究テーマに応じて博士論文作成に至るまできめ細かい指導を行う。 指導教授は研究する上で必要な論文・資料・文献の読解・レビューおよび論理的な考察能力を高めるとともに、自律的研究能力を向上させることができるように、大学院生の主体的学びを保障しつつ、学会や研究会等における発表指導を通じてプレゼンテーション能力開発の支援を行う。</p>
<p>アドミッション ・ポリシー (2018年度以降 入学生)</p>	<p>社会福祉学研究科博士〔後期〕課程では、福祉・保健・医療分野における専門職スタッフを対象とする高度な専門的職業人の育成、大学・短期大学等における社会福祉士養成に関わる教育・研究者の養成を目的としている。 社会福祉学研究科博士〔後期〕課程では、国内外の最先端の研究動向・研究課題について、文献研究能力、プレゼンテーション能力、論文作成能力の向上を目標とする人材を求めている。 そのため、入学を希望する者は、社会福祉学に関する専門的知識（修士課程修了程度）が必要である。また、入学者選抜試験については、海外文献読解能力を測る英語筆記試験とともに、専門知識についての口述試験を行う。</p>



はじめに

「2018年問題」と叫ばれ続けてきた1年が過ぎ、2020年以降は更に18歳人口が急減し、2040年には現在の7割程度である88万人に減少する推計が出されています。私立大学の淘汰が進むばかりか、我が国の高等教育のあり方も目まぐるしく変化しています。

昨年度閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2018」（骨太方針）で2020年度から大学など高等教育の教育費負担軽減新制度が導入されることとなり、支援対象大学への要件対応に迫られています。また、今年度は55年ぶりの新しい大学制度である専門職大学が開設されます。

更には、「2040年の高等教育のグランドデザイン」が提示され、2040年を見据えた高等教育改革の指針が具体的に示されました。初等中等教育との接続に関しても触れられており、今まで以上に大学が総合学園であることのスケールメリットを活かしながら、学園全体を牽引して行かなければならないと感じています。

このように大学を取り巻く環境が急速に変わり、高等教育機関の連携・統合が推進される中、他大学に抜きん出て全構成員が「北星でなければならない」大学づくりを目指し、中長期的な視点で戦略的な運営をしていかなければなりません。

特に、社会情勢の推移を踏まえ、持続可能な社会を築くためにも、本学における教育の内容、研究のあり方について速やかで真摯な吟味が必要と考えています。

さて、私立大学の置かれている状況は、定員割れとなった全国私立大学の割合（大学：582校中210校36.1%、短大：301校中212校70.4+B6%）（〔2017年+B6度〕大学：581校中229校39.4%、短大：304校中204校67.1%）は大学についてはやや減少傾向にあるものの、短期大学は増加し続けています。北海道内私立大学・短期大学の入学定員充足率は、大学が0.09ポイント増の98.74%、短期大学が5.50ポイント減の85.36%と短期大学は大幅に充足率が悪化し、入学者確保に苦戦している状況です。今後の北海道の18歳人口の減少幅は全国平均よりも大きく、本学の受験者及び入学者確保についても、学部学科再編を見据えた厳格な入学定員管理を行わねばならないことと相まって、厳しい状況が続くことが予想されます。【出典：平成30年度私立大学・短期大学等入学志願動向／日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター】

また、これまで収入増の一因となっていた私立大学等改革総合支援事業が、今年度も大幅に再編される予定です。獲得に向けて出来る限りの努力はしていきますが、選定されるかどうかは厳しい状況と推測されます。その分、少しでも補助金収入が減ることのないよう、昨年度から一般補助に設けられた「教育の質に係る客観的指標」については確実に対応していきます。

1. 「建学の精神」の継承と実践

本学の「世にあって星のように輝く」をモットーとして「建学の精神の基本理念」と「ミッション・ステートメント」をより豊かに具現化し、学内での浸透及び学外に広く伝えるための方策を継続して検討します。正義と良心を重んじ、真理を目指すことを基本とし、社会情勢を敏感に察知して対応することを旨とします。本学における教育と研究の質の向上に心がけ、大学人全てが個人、社会のwell-being向上を目指します。

また、チャプレンの任期制の取扱い変更により、断続的ではなく、一貫した建学の精神の継承と実践に向けた取組みが行われることが期待されます。

2. 教育課程、教育組織及び教育活動

教育課程については、昨年度一部学科で新カリキュラムが始動し、今年度で各学部・学科・部門における新カリキュラム全てがスタートします。コース制の導入を含めた教育改革により、教育内容が可視化され外部に伝わっているか、学生の満足度が向上しているか、学力レベルに変化はあるかなどの点検・評価等を随時行います。

学部学科再編について、WGや作業部会で議論された具体案、全学説明会や全学意見聴取で出された意見を含めた検討を迅速に進め、具体的進展に繋がります。

教育活動については、副学長のもとに発足した「教育の質保証」プロジェクトチームからの最終答申を受け、教育の課程の質保証について、全学的に取り組む方策を検討します。引き続き、学内に広がっている学生主体の学習活動並びに大学運営の一翼を担う学生生活の更なる進展のための支援も積極的に行っていきます。

3. 研究組織及び研究活動

研究活動の活性化及び研究水準の向上を図るために、組織、制度等に係る諸課題に取り組むとともに、研究環境の整備を継続的に進めます。

昨年度制定された研究倫理に関する規程（「北星学園大学 人を対象とする研究・実験に関する規程」）に則り、信頼性と公平性を確保した研究活動を推進していくとともに、学部学生も含めた研究倫理教育を進めていきます。

また、研究力の強化、科学研究費助成事業への申請数・採択率向上を目指し、研究費・教員評価WGが検討しているところですが、メリハリのある研究費配分を実施に移せるよう検討を進めます。そして科学研究費申請補助要員制度等により、更なる外部資金獲得を目指すとともに、科学研究費申請件数を増やすあらゆる方策を継続して検討します。

4. 教員評価、FD（ファカルティ・ディベロップメント）及びSD（スタッフ・ディベロップメント）

教員評価について、管理運営・社会貢献、研究活動など総合的に評価を行う教員評価システムの構築に向けて、引き続き研究費・教員評価WGで検討を進めます。

FDについては、授業を受け持つ教員全員の全学FDへの出席を基本とし、教員の資質向上とスキル開発に努めます。また、「モデルティーチング顕彰制度」を通して、教育水準の維持・向上に向けて教育内容・方法及び教育上の効果を定期的に検証し、授業の内容及び方法の改善を図るよう効果が現れることも期待されます。

SDについては、2017年度の大学設置基準一部改正によるSDの義務化を受け、本格的に教育職員、事務職員の垣根を超えた大学主体のSDが推進される中、本学においても大学運営に携わるスタッフとして全ての教育・事務職員を対象にSDを実施したところです。今年度は、大学におけるSD規程整備を含め、学園規程の「北星学園スタッフ・ディベロップメントに関する規程」の見直しを行い、FD・SDそれぞれの趣旨を学内で共有すると共に、適切なFD、SDの企画実施に努め、教職員一丸となって教育研究活動等の適切かつ効果的な運営に必要な能力及び資質の向上を目指します。

5. 大学運営のあり方及び組織・機構

各種委員会組織が肥大化しており、特に教員の負担増が懸念されます。また、高等教育を取り巻く状況が激しく変化中、各委員会組織が担うべき役割等も状況に合わせて見直ししていく必要があります。委員会の統合や新設も含めて、引き続き組織のスリム化・改編、役割の見直しについて検討します。

事務組織については、課間事務分掌の見直しを継続し、引き続き適正な職員配置数の検討を含め、組織体制の課題等の点検をその都度行っていきます。また、今年度からカウンセラーを専任事務職員として採用し、学生生活支援課に配置します。このことによって、より組織立った学生支援・相談体制の構築が期待されます。

6. 教育環境及び施設設備、財政

今年度、第一研究棟の改修、A・B館AV機器及び教育研究用サーバーシステムの更新を実施します。教育研究環境の整備に伴って、教育研究の質向上にも繋がるよう学内のニーズに合わせた整備を行います。

財政については収入増が困難な状況の中、奨学金の増加や年度計画に基づく校舎等施設の大規模修繕が見込まれることから、中長期財政計画の策定を進めます。

一昨年度、恒常的な寄付金募集のため「北星学園大学サポーターズ寄付金」を開始し、カード決済による寄付も可能としました。個人だけではなく、産業界も含めた広い層から寄付金を募る方策を検討し、寄付額の増額を図ります。また、短期大学部については学費の値上げを実施しましたが、今年度の消費増税対応として大学及び大学院の学費の見直しも早急に検討しなければなりません。収支構造の見直しを行うとともに、更なる補助金を獲得するなど、積極的な収入増の方策についても検討を進めます。

7. 大学広報

昨年度はメインビジュアルが新しくなり、新たな広告を展開した初年度でしたが、日経BPコンサルティングによる「大学ブランド・イメージ調査2018-2019」において、2017年度は2位だった「ロゴ、カラー、キャラクターなどが思い浮かぶ」の項目で北海道地区1位を獲得しています。しかし、北海道内における本学の認知度は高いものの、年代が若くなればなるほど、認知度が低いという結果が出ています。今年度は、接触率も明確でよりターゲットを絞った広報が可能であるインターネット広告を利用し、若い世代への認知度を高めることはもとより、本学の良さが一つでも多く伝わるような広報戦略を推進します。インターネット広告の利点を活かし、IRと連動した戦略的広報、そして大学公式Twitterの運用開始に向けた検討を開始し、SNSを効果的に活用した広報展開を目指します。

加えて、大学、学部、学科、教員が持つ魅力の更なる発信強化についても考えていきます。

8. 学生募集

進学相談会やキャンパス説明会、高校での模擬講義や進路指導部への訪問の重要性は年々高まっていることから、現状の募集活動を継続するとともに、例えばキャンパス説明会や学校訪問において、本学学生の積極的な活用を検討するなど、募集活動の更なる充実を図ります。また、募集活動が厳しさを増す中、学園内高校対象のミニオープンキャンパス等において総合学園としての魅力を積極的にアピールし、学園内高校からの進学者確保に努めます。そして、志願者数の減少が進む中で学生を着実に確保する施策として、2020年度入学試験からWeb出願システムを全ての入試制度で導入しますので、スムーズな運用ができるよう対応を進めていきます。そのほか、奨学金制度についても学生募集に効果的な制度設計を目指し、今年度完成年度を迎える自宅外通学支援奨学金制度を含めて抜本的な見直しを進めなければなりません。

文部科学省からの「大学入学共通テスト実施方針」、「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について(通知)」を踏まえ、志願者の「学力の3要素」をより多面的・総合的に評価するため、本学においても入試改革プロジェクトで新入試制度について検討を重ねていますが、本学の教育の質的向上に確実に繋がるよう、そして円滑な実施ができるよう引き続き準備を進めます。関連して、入学前教育、初年次教育の充実、工夫についても教育活動の観点も加えつつ検討していきます。

9. 就職支援

就職活動環境の変化や時代のニーズに対応しながら、キャリアデザインプログラムや各種講座の充実を図るとともに、学生参画型キャリア支援、学内企業説明会などのイベント実施により、手厚いキャリア教育及び就職支援を継続し、高校生等に向けた「実績ある就職支援体制」のアピール手段を検討し、実行に移します。

また、就職支援課のレイアウト変更が、本学の強みの一つであるキャリア支援を学内外に向けアピールする契機となるとともに、更にキャリア支援が充実することを期待します。プライバシーにも配慮された環境が整備され、昨年度から担当職員を増員して対応にあたっている障がい学生のキャリア形成支援については、引き続きアクセシビリティ支援室と連携し、サポートを強化します。

10. 学生厚生及び課外活動

今年度は、学生生活実態調査をWebで実施します。多様化する学生の個別的ニーズや学修行動の特徴を把握し、学生支援体制と教育支援体制の改善に繋がるようIR機能を十分に発揮し、調査分析を進めます。また、前述したとおり、学生生活支援課にカウンセラーが配置されるため、総合相談窓口や学生相談室、アクセシビリティ支援室、医務室を中心に円滑な学内連携を一層目指し、一体的な学生支援体制づくりを検討します。

学生自治会活動が本格的に再開されてから、昨年度は新たな取り組みである「新入生歓迎会」(学生医療互助会の利用方法やサークル紹介等、新入生にとって有益な情報を提供するもの)を開催するなど、今後更なる発展が期待できることから、自治会活動の一環である大学祭等の諸行事を含め、指導・支援を継続していきます。今後も可能な限り課外活動を活発に行うことができる環境整備を進めていきます。

11. 教育の国際化及び国際交流

国際教育中期計画「北星国際交流2020」に基づき、海外への派遣学生数の増加を目指し、学生の海外への興味関心をより促進できるよう、国際ラウンジプログラム等のブラッシュアップを行います。また、海外協定校の新規開拓、受入交換留学生に対する奨学金制度の周知及び国際的に通用するシラバスの作成を進め、より質の高い受入交換留学生の獲得に努めるほか、受入人数の増加も目指します。

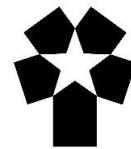
また、正規課程で日本人学生とともに学ぶことのできる私費留学生の入学が少ない状況であるため、増加策を模索し、学内の国際性の涵養を図ります。

海外交流教員制度の早期実施に向け協定校との交渉を進め、多くの国の交流教員に本学の教育研究に携わってもらい、全学的な国際教育の進展を図ります。また、高校生を対象として実施されているイングリッシュキャンプなど、学外者が参加できるイベントを継続的に実施し、「国際教育の北星」というブランドをアピールします。

12. 高大連携、地域社会との連携及び社会貢献

高大連携プログラムについては、本学の特色や学部学科の教育内容をより多くの高校生に知ってもらう機会としてテーマ内容を精選しつつ、今年度も例年にならい100を超えるテーマを用意し、引き続き高校のニーズにも応えられるよう積極的に取組みます。

また、地域における大学の役割が益々重要になっています。地域・社会に開かれた大学として、社会連携センターは、これまで教員が個別に取組んできた社会連携事業について組織立ってサポートし、社会との連携・協力を強めます。引き続き教員・学生の地域活動への参加状況の把握と分析を進め、地方自治体だけではなく産業界等との連携、他大学との連携も視野に入れ、産官学連携へと発展できるよう取組みます。



はじめに

2019年度は、新元号が制定され日本全体が新たな時代に突入した1年となりました。教育現場においては、「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」(中教審第211号)のなかで示されているように、学修者本位の教育への転換や予測不可能な時代を生きる人材像の養成などが求められています。まさに昨今の混沌とした社会情勢に対して柔軟に対応できるような人材を育てていく必要があります。

また私立学校法の改正により、大学を設置する学校法人は、認証評価の結果を踏まえた中長期計画の作成が義務付けられました。本学園も2020年から向こう20年間で取組むアクション・プラン(行動計画)を2020年3月策定しました。大学・短期大学部においては、「北星ブランドの確立」に向けて具体的な目標を定め、「教学」「経営管理」「財務」の各方面で強化・改革に取り組む事柄を整理しました。高等教育を取巻く環境が変化していくなかで、本学の使命や北星らしさを大切に、高校生・社会に選ばれる大学になることを目指します。

学部学科再編については、これまでの議論を勘案し、委員会等を設置して検討を重ねてきました。将来構想委員会からは新学科設置に係る答申書が提出され、関連する学部学科間との意見交換を行いました。得られた意見等を勘案しながら、現在の本学の強みを伸ばしつつも、新たな北星学園大学として前進できるように、全学協力体制で作り上げていきたいと考えています。

私立大学等経常費補助金については、改革に注力する大学に対して、より多くの補助金を交付するメリハリのある配分が強化されています。本学においても補助要件の厳格化の影響を受けており、従来よりも補助金の獲得が厳しくなっています。一方で、A・B館講義室の映像・音響設備の整備にあたり、文部科学省の「私立学校施設整備費補助金(ICT活用推進事業)」に大学が選定されました。次年度は、私立大学等経常費補助金の補助要件に柔軟に対応しつつ、文部科学省の補助金など積極的な獲得を目指します。

さて、私学を取巻く情勢は18歳人口の大幅な減少、いわゆる2018年問題と言われてきた時を過ぎ、さらに2040年には現在の7割程度の規模になる推計が出されています。北海道に関しては、2021年度から減少幅が大きくなると見込まれており、大学入試制度改革に合わせて学生募集環境に少なからず影響が出てくると思われます。2020年度からは高等教育の修学支援新制度がスタートしますが、本学は機関要件を満たし対象校となりました。このように、社会的ニーズに対応しつつ、魅力ある大学となるよう継続して検討することが必要です。

今年度末から新型コロナウイルス(COVID-19)感染による内外の甚大な影響下にあるものの、次年度も引き続き学部学科再編実現に向けて迅速に具体的検討を進め、「北星ブランド確立」に向けて積極的に各方面での強化・改革に努めることを確認し、2019年度の大学・短期大学部運営総括とします。

1. 「建学の精神」の継承と実践

スミス・ミッションセンターを中心に、建学の精神を具現化し、キリスト教の精神への理解が豊かに育まれるよう、毎日の礼拝、スミス・ミッションウィーク、講演会、ワーキング・グループ等の諸活動に取り組みました。

今後も具現化した建学の精神を学内で浸透させ、さらに学外に広く伝えるために有効な方策を継続的に検討しつつ、豊かな人間性と世界的な視野を備えた社会人を育てることができるよう実践していきます。

2. 教育課程、教育組織及び教育活動

教育課程については、2018年度に一部の学科で新カリキュラムが始動し、2019年度で各学部・学科・部門における新カリキュラムが全てスタートしました。コース制の導入を含めた教育改革の点検・評価等を随時行い、一層の充実を図るための検討を引き続き進めていきます。

また学部学科再編については、福祉計画学科と福祉臨床学科を統合し、社会福祉学科を設置することについて大学評議会で決定しましたが、同時に発生する余剰入学定員の活用も含めた将来構想については、将来構想プロジェクトで検討したのち、将来構想委員会に引継がれ具体的な議論を続けてきました。将来構想委員会からは新学科設置に係る答申書が提出され、関連する学部学科間との意見交換を行いました。また再編と並行して取り組む課題でもある教員定数、教員の授業担当持ちコマ基準及び非常勤講師数など大学・短期大学部全体の組織見直しにも取り組まなければなりません。

さらに、教育の質保証に向けて、教学会議の下に「教育の質保証・推進部会」を設置しました。成績評価、学修成果の把握・可視化等を課題とする教学マネジメントの確立と、教育の質保証に係る諸政策の具体化に向けての協議を進めてきました。これらの実現に向けて、情報の共有と理解の深化を同時に進めつつ、具体的進展を目標に継続して検討していきます。

教育活動については、学習サポートセンターを中心に、ピア・サポート制度、学習支援プログラムなど様々な取組みを展開してきました。学習サポートセンター及びラーニングコモンズの成果に関するアウトプットにも取組み、研究報告のほか、学会等にて本学の取組みを紹介しました。今後も課題点を整理しつつ、学生の学習活動並びに大学運営の一翼を担う学生生活の更なる進展のための支援を積極的に行います。

3. 研究組織及び研究活動

研究組織の役割の明確化を図るために、総合研究センターは教員の研究支援及び推進、研究倫理委員会は研究倫理教育を所掌するとして役割を整理しました。

研究費等制度については大幅な改定が決まり、個人研究費に係る基礎額以外の資金は、科学研究費等外部資金の獲得で対応することが求められます。そこで、科学研究費獲得のためのURA(University Research Administrator)による講演会と申請書添削サービスを実施しました。サービス利用者を対象にしたアンケートでは、今後も利用したいという回答が86%もありました。次年度も、科学研究費等外部資金獲得に向けての支援の拡充を目指します。同時に積極的な応募と研究内容の活性化を期待しています。

研究倫理審査については、今年度55件(教員50・大学院生5)実施しました。また、研究倫理及びコンプライアンスに関する学内のルールをより分かりやすく整理するため、関係諸規程の総合的な再構成を行いました。今後も、公正な研究活動を促進するため、再構成した研究倫理及びコンプライアンス教育を検証しながら実践していきます。

4. 教員評価、FD(ファカルティ・デベロップメント)及びSD(スタッフ・デベロップメント)

教員評価については、研究費等制度及び教員評価の見直しに関するワーキング・グループからの答申を受け、次年度から教育・研究・社会貢献・管理運営を評価軸とした教員の総合評価を実施することを決めました。また、合わせて大幅改定した個人研究費制度が本格的に稼働します。そのため、今年度は教員への事前の周知とさらなる改善を行い、万全を期して迎えられるよう準備を進めました。

FD・SDについては、北海道地区FD・SD推進協議会と連携した研修会や全学FD研修会等を開催しました。特に「教学マネジメント指針」のなかでも問われている「教育の質保証」に関連するテーマで実施し、全学的に理解を深めました。また、認証評価の説明を含めた予算編成及び補助金制度に係るSDを開催しました。補助金制度の複雑化により全学的な取組みがなければ獲得が難しくなっていることや、2022年度に認証評価を受審するにあたり準備と対応が求められていることから、事務職員だけでなく教員も含めて必要な知識の習得と理解に努めました。さらに、今年度も引続き大学間職員短期派遣研修を利用し、玉川大学に1名を派遣し、積極的に職員の資質向上に取り組まれました。

5. 大学運営のあり方及び組織・機構

学生支援に関する事項を円滑に運営し、より組織立った支援・相談体制を構築するため、次年度から学生部を設置することを決めました。合わせて学内の意思決定ルートを明確化し、また部局連絡会を部局長会議に改組し、議決権を持つ会議体として見直しました。しかし、委員会組織のスリム化に繋げることはできなかったため、各委員会組織が担う役割の見直しを継続して進めなければなりません。

事務組織については、2016年度から改編した事務組織の検証報告結果を基に、私学を取巻く諸情勢への対応のほか、現在検討されている学園及び大学の委員会等組織改編の状況に応じて進めていきます。適正な職員配置数の検討を含め、現体制の課題等の点検を都度行いながら、事務組織体制の見直しを継続して進めます。

6. 教育環境、施設設備及び財政

文部科学省の「私立学校施設整備費補助金（ICT活用推進事業）」を利用し、A・B館講義室の映像・音響設備を整備しました。アナログ接続からデジタル接続に環境が変わり、大教室や語学教室など場所に捉われずに、どの教室でも最新のICT端末やデジタルコンテンツなどを利活用した授業展開が実現できるようになりました。また接続環境が変わったことで、最新のICT機器を用いた障がい学生支援を円滑に行えるようになり、学生の情報保障に繋げることもできます。今回の整備をきっかけに、誰もが等しく高質の教育を受けられる環境のさらなる推進と、ICTを利活用した教育が活性化されることを期待しています。

財政については、2020年度当初予算編成段階でヒアリングを実施し、これまでにない予算調整を行いました。基本金組入前当年度収支差額が僅かながらプラスになるところまで改善したものの、経常収支差額では収支均衡とはならず支出超過になりました。さらに、減価償却引当特定資産の積立が困難な状況であることが分かったため、2020年度の学生生徒数確定後、更正予算を編成し、2020年度の収支見通しを改めて確認することとしました。収入増の方策として、次年度から大学院・大学の学費の値上げを決定していますが、寄付金等を含めた積極的な外部資金の獲得や収支構造の改善を今後に向けて検討していかなければなりません。また補助金収入についても、今年度の実績を受け、私立大学等経常費補助金を中心として対策を講じる必要があります。中長期財政計画は策定に至りませんでした。財政だけではなく、大学・短期大学部全体、延いては学園の中長期目標と連動させ、健全な財政運営につながる方策を考えなければなりません。

7. 大学広報

昨年度から新たなメインビジュアルで広報を展開し、本学の広告イメージも少しずつ浸透しているところではありますが、日系BPコンサルティングによる「大学ブランド・イメージ調査2018-2019」においては、北海道内における本学の認知度は高いものの、年代が若くなればなるほど、認知度が低いという結果が出ています。

そこで今年度は、新たにインターネット広告を導入し、Twitter、LINE、Yahoo!、YouTubeを用いて、広告を配信しました。キャンパス説明会の時期に掲出した広告の接触率を分析し、入学試験出願時期においては、最も効果的と思われたLINEでの広告掲出に重点をおき、若者を中心とした世代にアプローチをしました。さらに、4月より大学公式Twitterの運用を開始し、学生広報委員のinstagramと連携した広報を展開してきました。フォロワー数も少しずつ増加していますが、より多くの人に本学の魅力を発信するため、効果的なSNSの活用を目指していきます。

そのほか、多くの人々の目に触れるTVCMや「チ・カ・ホ」（札幌駅前通地下広場）をはじめとする公共広告に加えて、次年度から札幌芸術文化劇場hitaruのスポンサー契約を結ぶ方針を決定しました。老若男女を問わない来場者に対して、本学の認知度も含め、芸術文化を大切に大学というイメージが高まることを期待しています。

加えて、本学の課題でもある高校生、在学生、企業、一般市民それぞれに見合った広報活動の工夫をしていきます。

8. 学生募集

2021年度入試改革に向け、アドミッションポリシーの見直しを含めた入学試験制度等の見直しを行いました。具体的には、①公募推薦入試の廃止、②総合型選抜試験の新設（短期大学部は自己推薦入試を総合型選抜Ⅱ期に変更）、③学校推薦型選抜については知識・技能を問う選抜方法への変更、④一般選抜における主体性等評価を含めた選抜方法への変更、⑤大学入学共通テスト利用選抜にかかる英語の配点の変更等を決定しました。また、英語4技能評価のための外部検定試験の利用について本学の方針を固めたものの、文部科学大臣からの大学共通テストにおける英語民間試験の利用の延期が表明され、それに伴い英語成績提供システムの導入も見送られることが決定されたため、本学の方針も一部変更することとなりました。

今年度は進学相談会において、新たに体験講義ブースの出展や東京の大学との合同相談会を開催し、より多くの高校生・受験生と接触する機会を作ったほか、例年通り進学相談会や高校で実施される説明会、高校訪問などを精力的に実施し、募集活動の強化・充実に努めました。

また、「キャンパス説明会」を次年度からは「オープンキャンパス」という一般的な呼称に変えることを決めるとともに、年間3回の実施に加え、初めて3月に総合型選抜に対応したミニオープンキャンパスの開催を企画していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため開催することができませんでした。代替え措置を考えると共に、次年度開催に向けて更なるプログラム内容の充実等、十分な準備を進めていきます。

Web出願システムの導入により、事務作業の軽減、経費の大幅な削減にも繋がただけではなく、一般入試の出願期間終了後にセンターⅠ期入試だけを出願できる期間を設けることが可能となりました。その結果、この期間に259件（出願の22.2%）の出願を得ることができ、センター試験利用入試の出願者増加の一因になったと言えます。今年度の全体的な入試結果としては、比較的堅調でしたが、首都圏の私立大学等の収容定員の抑制及び入学定員の厳格化、さらに2021年度からの入試制度変更による安全志向による影響が大きいと考えられます。今後の北海道の18歳人口減少幅を考えると、早急に本学のブランド地位を確固たるものにするべく、学部学科再編を含む教育改革を実行していく必要があります。

なお、本学への志願者増加に繋がるよう学園内高校との連携を図り努力しているところではありますが（詳細は後述）、なかなか安定した進学者数を確保できていないのが現状です。今年度は昨年同様の学園内志願者の大幅減少という状況は免れ志願者数は増加しましたが、引き続き本学への進学希望者増加とスムーズな入学後の学びに繋げられるよう高大連携強化に取り組みます。

9. 就職支援

就職支援活動のスケジュールに変更はなかったものの、実態は早期化していることから例年よりも早いタイミングで卒業生の就活体験談を聞く機会を設ける等、現状に合わせた支援を行いました。

就職支援課事務室のレイアウト変更を活かし、フレキシブルスペースを利用してインターンシップや企業等訪問研修の学生同士のミーティングやキャリアサポーターの活動、「ランチタイム就活」を実施しました。「ランチタイム就活」は講師との距離も近く参加者から好評だったため、今後もこのスペースを活用した少人数定員の勉強会や講座を増やしていきたいと考えています。また、レイアウト変更後の学生へのアンケートでは「入室時のイメージが明るくなり、利用しやすくなった」、「プライバシーに配慮され相談中も集中できるようになった」という良い評価を得ています。多くの学生に就職支援課利用のメリットが伝わるような工夫をし、利用者の増加、ひいては就職実績へも繋がっていくことが期待されます。

障がい学生のキャリア・就職支援は、アクセシビリティ支援室、学生相談室、就職支援課のトライアングル体制により、タイミングを逸さない支援や早い段階からの支援開始が可能となり、就職希望者の6割以上が内定を獲得することができ、支援の強化が結果に出ていると言えます。また、担当者以外の就職支援課員も障がい学生に係る研修会に参加するなど、更なる対応力強化にも努めています。

なお、2019年度の就職率は、2020年5月1日現在で大学は95.8%（前年98.7%）、短期大学部は96.1%（前年97.3%）という結果となりました。

10. 学生厚生及び課外活動

今年度も「心のワークショップ」を全3回実施しました。日頃相談室を利用していない学生の参加が多かったことで、問題や困難を抱える学生のみならず、全ての学生の心身の健康保持増進及び学生相談センターのPRという目的を果たしていると考えています。また、アクセシビリティ支援室、学生相談室、医務室など他部署間、さらに教職員間の連携強化への取組みとして、「教職員のFree Talk サロン」、「事例検討会」も定期的に実施しました。

奨学制度については、次年度から文部科学省の高等教育の修学支援新制度が導入されることとなり、本学においても制度の要件を満たした学生の授業料等を減免することとなっています。この制度導入に伴い、本学の奨学制度のうち、新制度で救済可能であるものとして、2020年度から一般奨学金、修学困窮者減免及び融資奨学金、2021年度から自宅外通学支援奨学金を廃止することを決めました。加えて、新たな奨学制度について検討を進めています。

サークル活動中の自動車事故発生を受けて、今後このような事故が起きることのないよう、大学全体としてサークル活動における安全性について抜本的に見直し、今後、全てのサークルに対する安全指導をより一層強化していくこととしました。前述の通り、次年度から「学生支援委員会」「学生相談専門委員会」「アクセシビリティ支援委員会」「学習支援推進委員会」「キャリアデザイン支援委員会」を『学生部』と位置づけて、学生支援連絡会議が組織されます。学生部長を中心に、新しい学生指導体制を構築し、学生のサークル活動と大学の支援のあり方を含め、学生支援体制に関する方針を策定し運用していきます。

学生自治会運営委員会は新生が有益な情報を得られるよう新生歓迎会を実施したものの、その他の企画実施には至らず、参加学生も減少してきておりモチベーションの低下が問題となっています。大学側から学生自治の意義について積極的に助言を行い、活発な活動に繋がるよう努めていきます。

11. 教育の国際化及び国際交流

これまでは派遣留学プログラムに係る学生の支援を中心としていましたが、様々な形態で海外渡航する学生が増えていることから、派遣留学プログラム以外の方法で渡航を考える学生のサポートの在り方について国際教育中期計画（「北星国際交流2020」）に基づき検討をしました。実際に、国際ラウンジではワーキングホリデーを経験した卒業生による説明会や短期研修に参加した在学生の体験報告会を実施しました。また、多くの在学生への海外への興味付けやモチベーションアップを促進するため、HUIT（国際交流学生委員）による留学生と在学生の交流イベントの企画・実施やバディ制度による受入れ留学生と在学生の交流活動を継続して行いました。

海外協定校の新規開拓にも取組み、アメリカのウィスコンシン大学ミルウォーキー校、ハワイ大学マウイカレッジと協定を締結し、2020年度から留学生の受入れ、2021年度から留学生の派遣が可能となりました。

受入れ留学生の増加策として、大学公式ホームページの国際交流に係る部分（英語版）の見直しに取り組んでいます。また、国際交流関係科目も今年度から新カリキュラムに移行し、単位数等を見直したため、以前に比べ留学生が履修しやすい環境を整えることができました。

キャンパスの国際化への取組みは、インドネシアのマラナタクリスチャン大学と新海外交流教員制度の協定を締結し2020年度後期から交流教員を受入れ、国際交流関係科目を担当予定です。また、今年度からEASCOMにマラナタクリスチャン大学が加わり、大連外国語大学、東海大学、カトリック大学校と合わせて4校20名の学生を迎え、交流を深めることができました。

「国際教育の北星」というイメージを広めるため、情報発信の整備・強化に取組み、SNSを通じて、学外向けも含めた国際交流事業（English Camp、EASCOM、国際ラウンジイベント、講演会など）の実施案内や報告を積極的に発信しました。English Campは、前年度に引続き、参加者が本学への入学に繋がっており、本学の英語教育の魅力を伝えられているものと考えています。

12. 高大連携、地域社会との連携及び社会貢献

「社会連携センターの運営方針」について、オープンユニバーシティ講座の運用ルール等、これまで明確にされていなかったものを含めて整理しました。

より多くの高校生に本学の特色や学部学科の教育内容を知ってもらうため、本年度も積極的に高校へ出向き出張講義を実施しました。次年度も引続き内容等を精査し、一層の充実を図ります。また、学園内高校との高大連携については、「女子高Coreコースの高大連携プログラム」を今年度から大学・短期大学部の全10学科に広げて実施しました。また、新たな試みとして英語科生徒の「大学研究室訪問」も実施されました。附属高の推薦合格者の入学前教育である「附属高探求プログラム」においても入学後のスムーズな学びに繋がるよう、全学科の教員が教育内容のレクチャーを行い、「英語検定試験」アシスタント事業では学生派遣を通じ、継続的に連携強化が図られました。学園内教育連携委員会と大学の関係各所とが連携を深めていくことが益々求められています。

地方自治体等との連携推進については、「札幌市営住宅（もみじ台団地）の大学・短期大学部生への提供事業」は2年目を終え、入居学生の取組みがメディアにも取上げられました。また、厚別区と実施しているCCRC事業「キャンパスタウン厚別」は5年間の事業期間を終了しましたが、引続き厚別区主催の「瑞穂大学（高齢者教室）」と提携し、本学の教員が講義を担当し、地域連携活動を続けます。

昨年度、北海道後志総合振興局と短期大学部による「グローバル人材育成に係る連携・協力に関する協定」を締結し、今年度は実際に学生7名を派遣することができました。

上記のように、自治体との連携は一定程度進んでいるものの、「企業」との連携については十分な検討に至りませんでした。次年度は現実的に実現可能な方向性を探ります。

教員や学生の地域との関わりや活動実態を把握するため、情報の収集と共有を可能にした「社会連携活動の学内情報共有サイト」の試験的運用を開始しました。今年度得られた活動情報を集約すると共に支援ニーズを整理し、次年度に大学としての支援体制を検討していきます。

オープンユニバーシティについては、前年度と比べて受講者数が91名減少となりました。そのうち、44名は在学生の資格関係講座の受講者数であり、少なからずここ数年の就職状況の好転が影響していると考えられますが、全体的な受講者増に向けて、従来の語学講座や資格講座に加え北星らしい「知と技」を地域社会に還元できるような魅力ある講座の検討をしていきます。また、受講生の利便性向上と事務処理の効率化を目指し、オープンユニバーシティ・ウェブサイトのリニューアルに着手することができました。2021年度講座から始動できるよう準備を進めます。

13. 大学のあり方と自己点検・評価

今年度から全学的な内部質保証組織としての機能を目指し「自己点検評価委員会」を「自己点検・内部質保証委員会（以下、「委員会」）」に改組しスタートしていましたが、当初の改組では不十分な点があったため、年度途中で十分な体制に構築し直し「内部質保証システム」を整えることができました。点検・評価の結果を改革・改善に確実に繋げられるよう、次年度からは各部署において①委員会からの評価の確認報告を行うこと、②委員会に取組みの中間報告を行うこと、③報告を受けて委員会から当該部署に助言を行うことを決めました。

また、より自己点検評価活動の客観性・公平性を担保するために学外者による評価を実施することができましたが、在生による評価については実施することができませんでした。次年度から在生による評価を実施するとともに、学外者による評価結果を教育研究、業務運営に効果的に活用していくことが求められます。

なお、大学の運営や今後のあり方について、同窓会、後援会からの意見をいただく機会の設定を模索していましたが、新型コロナウイルス（COVID-19）のこともあって年度内には設定できなかつたので、次年度にはこの機会を設けます。

2015年度に大学基準協会の認証評価を受審し、適合判定を受けておりますが、今年度、認証評価結果に示された問題点や努力課題を踏まえた「改善報告書」を遺漏なく提出し、無事に「再度改善を求める事項は無い」との結果を受けました。

インスティテューショナル・リサーチ（IR）委員会が発足し、今年度は今後のIRの実質的な始動に必要な活動環境を整備する準備期間と定め、①学内各所で実施されている調査・アンケート・テスト等や保有データの所在把握、②学内各所のデータへのアクセス、データを利用した分析及び結果の報告について実施手順のルール（骨子）の策定、③IRの試行的実施に向けた分析課題の検討に着手しました。また、学内のIRに対する理解促進と活動の浸透を図るため、既存のデータを活用したリーフレット制作にも着手しました。

内部質保証の実質化とIR活動の実質化は非常に密接に関わる事項であり、前述した教学マネジメントの確立という観点では教学IRの進展も重要な事項です。相互に連携しながら機能的なIR活動が可能となるよう進める必要があります。

14. 理事会及び各学校との連携

学園教育の中心を担う高等教育部門の大学としての役割と責任が極めて重いことを認識し、学園内教育連携委員会及び学園総合企画委員会を通じて中等教育部門との連携強化を図ってきたところです。学園内高校からの進学者なくしては大学・短期大学部ともに予算定員確保は難しい状況にあり、学園内高校とのコミュニケーションをさらに密にしていかなければならないことは言を俟ちません。今年度、学園総合企画委員会において「学校法人北星学園中長期計画～グランドデザイン2020-2040」が策定されました。この学園グランドデザインに則り、学園と設置する学校それぞれが目指すべき使命と課題を明確にし、喫緊の重大な課題である財政健全化を見据えた経営基盤の構築を含め、学園が一体感を持って歩み続けられるよう大学・短期大学部の役割を果たしていきます。

以上

I. 本学の在り方及び目標に関すること

2 学部（学科）・研究科等設置状況〔2019年度〕

(1) 大学

(表 I - 2 - ①)

学部・研究科	学科・専攻科	開設年度	設置認可年月日	入学定員	備考（入学定員変更等）
文学部	英文学科	1962	1962年1月20日	113人	1979年度 恒常的入学定員増 50人 ⇒ 100人 1991年度 期間付入学定員設定 100人 ⇒ 120人 (終期1995年度) 1993年度 3年次編入学定員設定 8人 1996年度 3年次編入学定員増 8人 ⇒ 20人 1996年度 期間付入学定員再設定 100人 ⇒ 120人 (終期1999年度) 2000年度 期間付入学定員延長 18人 ⇒ 16人 (14人⇒12人⇒10人) 2002年度 期間付入学定員延長変更 4人 ⇒ 2人⇒0人 (臨定恒定化10人) 2002年度 恒常的入学定員増 100人 ⇒ 110人 2005年度 恒常的入学定員増 100人 ⇒ 113人 (2004. 6. 1. 届出) 2005年度 3年次編入学定員減 20人 ⇒ 14人 (2004. 6. 1. 届出)
	心理・応用 コミュニケーション学科	2002	2001年8月1日	90人	2004年度 3年次編入学定員 10人
	社会福祉学科	1962	1962年1月20日	一人	1979年度 恒常的入学定員増 50人 ⇒ 100人 1987年度 期間付入学定員設定 100人 ⇒ 140人 (終期1995年度) 1993年度 3年次編入学定員設定 10人 1996年度 1年次入学生募集停止 1998年度 3年次編入学生募集停止 2002年度 廃止 (2002. 7. 30)
経済学部	経済学科	1965	1965年1月25日	152人	1982年度 恒常的入学定員増 150人 ⇒ 200人 1987年度 恒常的入学定員減 200人 ⇒ 150人 1990年度 期間付入学定員設定 150人 ⇒ 200人 (終期1998年度) 1993年度 3年次編入学定員設定 10人 1999年度 期間付入学定員再設定 150人 ⇒ 200人 (1999年度限り) 2000年度 期間付入学定員延長 46人 ⇒ 42人 (38人⇒34人⇒30人) 2002年度 期間付入学定員延長変更 8人 ⇒ 4人⇒0人 (臨定38人の内、心理・応用 コミュニケーション学科へ臨定30人を恒定化して振替、残りの臨定8人を単純延長) 2005年度 恒常的入学定員増 150人 ⇒ 152人 (2004. 6. 1. 届出) 2005年度 3年次編入学定員減 10人 ⇒ 6人 (2004. 6. 1. 届出)

2 学部（学科）・研究科等設置状況〔2019年度〕

(1) 大学

(表 I - 2 - ②)

学部・研究科	学科・専攻科	開設年度	設置認可年月日	入学定員	備考（入学定員変更等）
経済学部	経営情報学科	1987	1986年12月23日	102人	1991年度 期間付入学定員設定 100人 ⇒ 120人 (終期1999年度) 1993年度 3年次編入学定員設定 10人 2000年度 期間付入学定員延長 18人 ⇒ 16人 (14人⇒12人⇒10人) 2002年度 期間付入学定員延長変更 4人 ⇒ 2人⇒0人 (臨定14人の内、経済法学科 へ臨定10人を恒定化して振替、残りの臨定4人を単純延長) 2005年度 恒常的入学定員増 100人 ⇒ 102人 (2004. 6. 1. 届出) 2005年度 3年次編入学定員減 10人 ⇒ 6人 (2004. 6. 1. 届出)
	経済法学科	2002	2001年8月1日	110人	2004年度 3年次編入学定員設定 10人
社会福祉学部	福祉計画学科	1996	1995年12月22日	85人	1998年度 3年次編入学定員設定 20人 2005年度 恒常的入学定員増 80人 ⇒ 85人 (2004. 6. 1. 届出) 2005年度 3年次編入学定員減 20人 ⇒ 10人 (2004. 6. 1. 届出)
	福祉臨床学科	1996	1995年12月22日	85人	1998年度 3年次編入学定員設定 20人 2005年度 恒常的入学定員増 80人 ⇒ 85人 (2004. 6. 1. 届出) 2005年度 3年次編入学定員減 20人 ⇒ 10人 (2004. 6. 1. 届出)
	福祉心理学科	1996	1995年12月22日	64人	1998年度 3年次編入学定員設定 15人 2005年度 恒常的入学定員増 60人 ⇒ 64人 (2004. 6. 1. 届出) 2005年度 3年次編入学定員減 15人 ⇒ 7人 (2004. 6. 1. 届出)
文学専攻科	英文学専攻	1980	1980年4月1日	一人	(設置認可年月日は、設置年月日) 2002年度 収容定員変更 10人 ⇒ 3人 (2001. 12. 20. 届出) 2004年度 学生募集停止・廃止(2004. 6. 1)
	社会福祉学専攻	1980	1980年4月1日	一人	(設置認可年月日は、設置年月日) 2002年度 学生募集停止・廃止(2001. 12. 20) 入学定員10人
経済学専攻科	経済学専攻	1980	1980年4月1日	一人	(設置認可年月日は、設置年月日) 2002年度 廃止 (2001. 12. 20) 入学定員10人
文学研究科	社会福祉学専攻	1992	1992年3月19日	一人	修士課程 昼夜開講制 入学定員7人 2000年度 学生募集停止 2004年度 廃止 (2004. 3. 29. 届出)
	言語文化コミュニケーション専攻	2001	2000年12月21日	8人	修士課程 昼夜開講制
経済学研究科	経済学専攻	2001	2000年12月21日	10人	修士課程 昼夜開講制

2 学部（学科）・研究科等設置状況〔2019年度〕

(1) 大学

(表 I - 2 - ③)

学部・研究科	学科	開設年度	設置認可年月日	入学定員	備考（入学定員変更等）
社会福祉学 研究科	社会福祉学専攻	2000	1999年12月22日	8人	修士課程 昼夜開講制
				3人	博士〔後期〕課程 昼夜開講制
	臨床心理学専攻	2000	1999年12月22日	4人	修士課程 昼夜開講制 2006年度 心理学専攻を臨床心理学専攻に名称変更（2005. 9. 26. 届出）

(2) 短期大学部

(表 I - 2 - ④)

	学科	開設年度	設置認可年月日	入学定員	備考（入学定員変更等）
短期 大学 部	英文学科	1951	1951年3月8日	120人	1968年度 恒常的入学定員増 40人 ⇒ 80人
					1986年度 恒常的入学定員増 80人 ⇒ 120人
					1986年度 期間付入学定員設定 120人 ⇒ 150人
					1991年度 期間付入学定員再設定 150人 ⇒ 170人 (終期1999年度)
					2000年度 期間付入学定員延長 45人 ⇒ 40人 (35人⇒30人⇒25人)
					2002年度 期間付入学定員延長変更 10人 ⇒ 5人⇒0人 (臨定35人の内、心理・応用コミュニケーション学科へ臨定25人を恒定化して振替、残りの臨定10人を単純延長)
					2002年度 北星学園女子短期大学を北星学園大学短期大学部に校名変更 (2001. 5. 31. 届出)
	生活創造学科	1954	1954年3月30日	80人	1968年度 恒常的入学定員増 80人 ⇒ 120人
					1986年度 恒常的入学定員増 120人 ⇒ 180人
					1986年度 期間付入学定員設定 180人 ⇒ 220人
					1991年度 期間付入学定員再設定 220人 ⇒ 250人 (終期1999年度)
					2000年度 期間付入学定員延長 63人 ⇒ 56人 (49人⇒42人⇒35人)
					2002年度 期間付入学定員延長変更 14人 ⇒ 7人⇒0人 (臨定49人の内、心理・応用コミュニケーション学科へ臨定35人を恒定化して振替、残りの臨定14人を単純延長)
					2002年度 恒常的入学定員減 180人 ⇒ 80人 (恒定180人の内、経済法学科へ100人を振替)
2002年度 生活教養学科を生活創造学科に学科名変更 (2001. 5. 31. 届出)					

3 大学の規模等の推移状況

(1)大学 [2015-2019]

(5月1日現在) (単位:人)

(表 I-3-①)

学部	学 科	2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度		
		収容 定員 A	在籍者 B	収定 充足率 B/A*100	収容 定員 A	在籍者 B	収定 充足率 B/A*100	収容 定員 A	在籍者 B	収定 充足率 B/A*100	収容 定員 A	在籍者 B	収定 充足率 B/A*100	収容 定員 A	在籍者 B	収定 充足率 B/A*100
文	英文	480	584	121.67%	480	590	122.92%	480	607	126.46%	480	588	126.46%	480	587	122.29%
	心理・応用コミュニケーション	380	466	122.63%	380	451	118.68%	380	444	116.84%	380	462	116.84%	380	444	116.84%
	計	860	1050	122.09%	860	1,041	121.05%	860	1,051	122.21%	860	1,050	122.21%	860	1,031	119.88%
経済	経済	620	698	112.58%	620	702	113.23%	620	704	113.55%	620	694	113.55%	620	689	111.13%
	経営情報	420	479	114.05%	420	480	114.29%	420	516	122.86%	420	516	122.86%	420	501	119.29%
	経済法	460	509	110.65%	460	519	112.83%	460	540	117.39%	460	545	117.39%	460	551	119.78%
	計	1,500	1,686	112.40%	1,500	1,701	113.40%	1,500	1,760	117.33%	1,500	1,755	117.33%	1,500	1,741	116.07%
社会 福祉	福祉計画	360	401	111.39%	360	413	114.72%	360	408	113.33%	360	406	113.33%	360	394	109.44%
	福祉臨床	360	388	107.78%	360	371	103.06%	360	374	103.89%	360	380	103.89%	360	363	100.83%
	福祉心理	270	282	104.44%	270	282	104.44%	270	283	104.81%	270	281	104.81%	270	298	110.37%
	計	990	1,071	108.18%	990	1,066	107.68%	990	1,065	107.58%	990	1,067	107.58%	990	1,055	106.57%
大学学部 計		3,350	3,807	113.64%	3,350	3,808	113.67%	3,350	3,876	115.70%	3,350	3,872	115.70%	3,350	3,827	114.24%

3 大学の規模等の推移状況

(1) 大学 [2015-2019]

(5月1日現在) (人) (表 I-3-②)

			2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度		
			収容定員 A	在籍者 B	収定充足率 B/A*100	収容定員 A	在籍者 B	収定充足率 B/A*100	収容定員 A	在籍者 B	収定充足率 B/A*100	収容定員 A	在籍者 B	収定充足率 B/A*100	収容定員 A	在籍者 B	収定充足率 B/A*100
研 究 科	文 学 研究科	言語文化コミュニケーション専攻 (修士)	16	6	37.50%	16	8	50.00%	16	7	43.75%	16	2	12.50%	16	0	0.00%
	経済学 研究科	経済学専攻 (修士)	20	3	15.00%	20	2	10.00%	20	2	10.00%	20	5	25.00%	20	6	30.00%
	社 会 福祉学 研究科	社会福祉学専攻 (修士)	16	7	43.75%	16	7	43.75%	16	11	68.75%	16	10	62.50%	16	4	25.00%
		社会福祉学専攻 (博士〔後期〕)	9	5	55.56%	9	6	66.67%	9	4	44.44%	9	4	44.44%	9	4	44.44%
		臨床心理学専攻 (修士)	8	7	87.50%	8	9	112.50%	8	9	112.50%	8	9	112.50%	8	7	87.50%
計		33	19	57.58%	33	22	66.67%	33	24	72.73%	33	23	69.70%	33	15	45.45%	
大学院 計			69	28	40.58%	69	32	46.38%	69	33	47.83%	69	30	43.48%	69	21	30.43%
大 学 合 計			3,419	3,839	112.28%	3,419	3,836	112.20%	3,419	3,908	114.30%	3,419	3,909	114.33%	3,419	3,848	112.55%

(2) 短期大学部 [2015-2019]

(5月1日現在) (人) (表 I-3-③)

学 科		2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度		
		収容定員 A	在籍者 B	収定充足率 B/A*100	収容定員 A	在籍者 B	収定充足率 B/A*100	収容定員 A	在籍者 B	収定充足率 B/A*100	収容定員 A	在籍者 B	収定充足率 B/A*100	収容定員 A	在籍者 B	収定充足率 B/A*100
英文		240	279	116.25%	240	290	120.83%	240	291	121.25%	240	278	115.83%	240	251	104.58%
生活創造		160	201	125.63%	160	203	126.88%	160	198	123.75%	160	186	116.25%	160	182	113.75%
短期大学部 合計		400	480	120.00%	400	493	123.25%	400	489	122.25%	400	464	116.00%	400	433	108.25%

3 大学の規模等の推移状況

(1) 大学 [2015-2019]

(5月1日現在) (単位:人) (表I-3-④)

		2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度		
		通常専任	特別専任	合計	通常専任	特別専任	合計	通常専任	特別専任	合計	通常専任	特別専任	合計	通常専任	特別専任	合計
教員数	学長	1	/	1	1	/	1	1	/	1	1	/	1	1	/	1
	副学長	1	/	1	1	/	1	1	/	1	1	/	1	1	/	1
	チャブレン	1	/	1	1	/	1	1	/	1	1	/	1	1	/	1
	カウンセラー	1	/	1	1	/	1	1	/	1	1	/	1	/	/	0
	文学部	23	10	33	23	10	33	25	7	32	28	3	31	26	5	31
	経済学部	37	8	45	41	7	45	43	8	51	43	6	49	40	10	50
	社会福祉学部	32	7	39	33	7	39	32	10	42	34	8	42	30	9	39
	大学計	96	25	121	101	24	121	104	25	129	109	17	126	99	24	123

(2) 短期大学部 [2015-2019]

(5月1日現在) (単位:人) (表I-3-⑤)

		2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度		
		通常専任	特別専任	合計	通常専任	特別専任	合計	通常専任	特別専任	合計	通常専任	特別専任	合計	通常専任	特別専任	合計
教員数	学長	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	短期大学部	16	0	16	16	0	16	15	3	18	16	2	18	15	3	18

(3) 大学・短期大学部 [2015-2019]

(5月1日現在) (単位:人) (表I-3-⑥)

		2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度		
		専任	特任職員	合計	専任	特任職員	合計	専任	特任職員	合計	専任	特任職員	合計	専任	特任職員	合計
職員数	大学・短期大学部	84	16	100	83	23	106	82	23	105	81	24	105	83	22	105

4 大学・学部・学科、大学院研究科の新增設等の認可等の際に文部科学省から付された履行条件に対する実施状況一覧

(表 I-4-①)

大学・学部・学科、 大学院研究科等の名称 (設置認可年月日)	大学・学部・学科、 大学院研究科等の 設置認可の際の履行条件	設置認可(履行状況 報告)の際の状況	履行条件に対する実施状況	備考
<p>社会福祉学部 福祉計画学科 福祉臨床学科 福祉心理学科</p> <p>(平成7年12月22日)</p>	<p>1 編入学生の受入れについては、定員の遵守、学科の設置の趣旨に沿った既修得単位の認定及び履修上の配慮に努めること。</p>		<p>1 (平成10年度) 平成10年度に3学科で3年次編入学生の受入れを行ったが、福祉計画学科では定員通りの合格者を発表することができなかった。また、福祉臨床学科と福祉心理学科については定員を遵守すべく合格者を発表したが入学の段階では3学科とも定員を充足することができなかった。なお、受入れ編入学生については、学科の設置趣旨に合致した科目の認定及び個々人の諸資格取得計画に応じた履修ができるように十分なオリエンテーションを行い、履修上の配慮に努めた。</p> <p>(平成11年度) 福祉心理学科では定員を遵守(1人超過)できたが、福祉計画学科と福祉臨床学科では、定員を上回る受験者数があったにも係わらず、入学定員を遵守することはできなかった。なお、受入れ編入学生については、前年度同様、既修得単位の認定はもとより、学科長との個別面談を行うなど履修上の配慮に努めた。 今後は、さらに定員遵守のための方策として合格者数の発表を検討する。</p>	
	<p>2 文学部社会福祉学科については、平成8年4月1日(ただし、3年次編入学は、平成10年4月1日)で学生募集を停止し、在学生の卒業を待って廃止すること。</p>		<p>2 (平成8・9年度) 留意事項のとおり、文学部社会福祉学科については、平成8年4月1日で1年次の学生募集を停止した。</p> <p>(平成10・11年度) 留意事項のとおり、文学部社会福祉学科については、平成8年4月1日に1年次の学生募集を、3年次編入学についても平成10年4月1日に学生募集を停止した。</p> <p>(平成14年度) 平成14年3月31日付けで全ての在學生がいなくなったため、文学部社会福祉学科を廃止した。 【平成14年7月30日廃止認可】</p>	

4 大学・学部・学科、大学院研究科の新增設等の認可等の際に文部科学省から付された履行条件に対する実施状況一覧

(表 I-4-②)

大学・学部・学科、 大学院研究科等の名称 (設置認可年月日)	大学・学部・学科、 大学院研究科等の 設置認可の際の履行条件	設置認可(履行状況 報告)の際の状況	履行条件に対する実施状況	備考
<p>社会福祉学部 年次計画履行状況調査時 (平成8年9月10日)</p>	<p>1 社会福祉学部福祉心理学科の定員超過の是正に努めること。</p>	<p>1 (平成8年度) 入学定員60人に対し、入学者78人となり、入学定員超過率が1.30倍となったことによる。</p>	<p>1 (平成9年度) 社会福祉学部福祉心理学科の定員超過については、より教育的効果を高めるために是正に努めた。その結果、2年目は60名の入学定員で入学者は66名であり、入学定員超過率は、1.10倍となり、収容定員超過率でも1.18倍であった。 (平成10年度) 予想以上に入学したため、入学定員超過率は1.28倍であったが、収容定員超過率では2年目同様1.16倍で納まった。 (平成11年度) 完成年度になる今年度は、入学定員の遵守と収容定員超過率を適正にするべく努力したが、入学手続状況が予想を上回り、結果として、入学定員超過率が1.47倍となった。なお、収容定員超過率では1.29倍となった。</p>	
<p>大学院社会福祉学研究科 社会福祉学専攻(修士) 社会福祉学専攻(博士) 心理学専攻(修士) (平成11年12月22日)</p>	<p>1 経済学部経済学科の編入学生の確保に努めること。</p>	<p>1 (平成11年度) 編入学定員10人に対し、定員超過率が平成9年度0.70倍、平成10年度1.00倍、平成11年度0.60倍となっていることによる。</p>	<p>1 (平成12年度) 経済学部経済学科の編入学生は、定員(10人)を遵守すべく、10人に入学資格を与えたが、1人が入学を辞退したため、結果的には9人と定員を遵守できなかった。 今後は、定員遵守のための方策として、発表方法の検討を行うなど、学生確保に努める。 (平成13年度) 経済学部経済学科の編入学生は、受験者が9人であったため、定員を遵守すべく、9人全員を合格させ、9人全員が入学したが、結果としては、定員を遵守できなかった。 今後は受験者を確保すべく、広報活動をより積極的に行うなど、学生確保に努める。 (平成14年度) 経済学部経済学科の編入学生は、3年次定員(10人)のところ、3年次受験者8人であったため、定員を遵守すべく、8人全員を合格させ、8人全員が入学した</p>	

4 大学・学部・学科、大学院研究科の新增設等の認可等の際に文部科学省から付された履行条件に対する実施状況一覧

(表 I-4-③)

大学・学部・学科、 大学院研究科等の名称 (設置認可年月日)	大学・学部・学科、 大学院研究科等の 設置認可の際の履行条件	設置認可(履行状況 報告)の際の状況	履行条件に対する実施状況	備考
大学院社会福祉学研究科 社会福祉学専攻(修士) 社会福祉学専攻(博士) 心理学専攻(修士) (平成11年12月22日)	2 文学研究科については、 平成12年4月1日で学生募 集を停止し、在学生の修了 を待って廃止すること。		が、結果としては、定員を遵守できなかった。 今後は、編入学定員を充足できない状況が常態化し ていることから、従前の広報活動を積極的に行うと ともに、編入学希望者のマーケット状況を分析し、推薦 制度の拡充も含めた新たな志願者増の対策を検討し、 学生確保に努める。 2 (平成12・13・14年度) 留意事項のとおり、文学研究科社会福祉学専攻(修 士課程)については、平成12年4月1日で学生募集を 停止した。 なお、在学生の修了を待って社会福祉学専攻は廃止 するが、平成12年12月21日に文学研究科に言語文化コ ミュニケーション専攻の設置が承認されたため、文学研究科は 廃止しないこととする。 (平成15年度) 留意事項のとおり、文学研究科社会福祉学専攻(修 士課程)については、平成16年3月31日付けで在学 生がいなくなるため、平成16年3月31日をもって廃止す る。なお、文学研究科に言語文化コミュニケーション 専攻が設置認可(平成12年12月21日)されたことか ら、文学研究科は廃止しない。	
大学院文学研究科 言語文化コミュニケーション専攻 (修士) (平成12年12月21日)	特になし			
大学院経済学研究科 経済学専攻(修士) (平成12年12月21日)	特になし			

4 大学・学部・学科、大学院研究科の新增設等の認可等の際に文部科学省から付された履行条件に対する実施状況一覧

(表 I-4-④)

大学・学部・学科、 大学院研究科等の名称 (設置認可年月日)	大学・学部・学科、 大学院研究科等の 設置認可の際の履行条件	設置認可(履行状況 報告)の際の状況	履行条件に対する実施状況	備考
<p>文学部 心理・応用コミュニケーション学科</p> <p>経済学部 経済法学科</p> <p>(平成13年8月1日)</p>	<p>1 編入学生の受入れについては、定員の遵守、学科の設置の趣旨に沿った既修得単位の認定及び履修上の配慮に努めること。</p>		<p>1 (平成14・15年度) 平成16年4月1日からの3年次編入学生募集については、定員を確保するために次の事項についての取組みを行う。 ①北星学園大学短期大学部から一定数の推薦入学者の確保。 ②ポスター、大学案内等の作製・配布及び本学ホームページを利用した周知活動の展開。 ③北海道内の短期大学への訪問と進路担当者への説明。 ④専修学校専門課程修了者の受入の拡充。</p> <p>また、3年次編入学生受入れにあたっては、積極的な入学前単位認定を行う。特に、3年次以降に配当される授業科目を履修するにあたり、学生の基礎的能力の不足にならないよう配慮しつつ、個人の学習上の要望を聴取するなど、履修上の十分な配慮を行い、履修指導を綿密に行っていく方針である。</p> <p>(平成16年度) 文学部心理・応用コミュニケーション学科及び経済学部経済法学科とも14年度、15年度と定員確保に向けた上記取組みを行ってはいたが、近年の短期大学の4年制大学への改組(統廃合)等が認可申請時に予想していたよりも北海道内において急速に進み、短期大学卒業生が減少したこと、経済的状況から進学を断念する短期大学卒業生が増加した等の要因もあり、受験生が定員を上回ることなく、編入学生の定員を遵守することができなかった。また、心理・応用コミュニケーション学科においては、学科で必要とする学力水準に達していない受験者もいた。</p>	

4 大学・学部・学科、大学院研究科の新增設等の認可等の際に文部科学省から付された履行条件に対する実施状況一覧

(表 I-4-⑤)

大学・学部・学科、 大学院研究科等の名称 (設置認可年月日)	大学・学部・学科、 大学院研究科等の 設置認可の際の履行条件	設置認可(履行状況 報告)の際の状況	履行条件に対する実施状況	備考
文学部 心理・応用コミュニケーション学科 経済学部 経済法学科 (平成13年8月1日)	1 編入学生の受入れについては、定員の遵守、学科の設置の趣旨に沿った既修得単位の認定及び履修上の配慮に努めること。		<p>17年度に向け、より一層の定員遵守に向けた取組みを強化し、定員の遵守に努力したい。とくに、併設する北星学園大学短期大学部との連携を図り、同短期大学部からの推薦等による入学者の確保に向けた取組みを計画している。</p> <p>なお、受入れた編入学生については、2年間で卒業要件を満たし得るよう単位認定を行うとともに、学科長による教育上の配慮と個別修学指導を十分に行っており、より一層の指導体制の強化を図る計画である。</p> <p>(平成17年度) 文学部心理・応用コミュニケーション学科及び経済法学科は、編入学定員を確保するための取組みを行ってきたが、編入学生の定員を遵守することができなかった。心理・応用コミュニケーション学科は16年度に計画していた併設する北星学園大学短期大学部からの入学者の確保に向けた取組を強化し、同短期大学部からの推薦等による入学者は確保できたが、編入学定員を遵守することはできなかった。また、経済法学科は受験者が定員を上回ることもなく、同短期大学部からの推薦等による入学者1名の確保に留まり、編入学定員を遵守することができなかった。</p> <p>なお、受入れた編入学生については、2年間で卒業要件を満たし得るよう単位認定を行うとともに、より一層の指導体制の強化を図る計画である。</p> <p>また、編入学生の受入れについては、今後も引き続き、定員の遵守に向けた取組みを強化し、努力したい。</p>	

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(1) 大学【大学基準協会】

(表 I-5-①)

(実施年月日)	勧告、助言事項	改善方策の取組状況	備考
認証評価申請書類提出 (平成20年3月28日)	二 助 言		勧告は付されていない。
実地視察実施 (平成20年10月20日)	1 理念・目的		
認証評価適合認定 【大基委大評第207号】 (平成21年 3月12日) 改善報告書提出 (2012年7月27日)	1) 全学部について、学部としての理念・目的・教育目標が、大学案内など、『点検・評価報告書』以外の公的刊行物に掲載されていないので明示および周知することが望まれる。	<p>【2009年度】 (文学部) 文学部としてのアドミッション・ポリシーを策定し、今後はこれをアレンジした形のものを入試広報のみならず学外に発信していく方針を確認した。 (経済学部) 「経済学部アドミッションポリシー」を制定し、各種刊行物で明示する途を拓いた。 (社会福祉学部) 学部としての理念・教育目標については、学科再編等の動きについて具体的な方向性が確認された段階で、明示することとしたい。</p> <p>【2010年度】 (文学部) 昨年度アドミッション・ポリシーを策定したのに引き続き、本年度はディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーを策定し、大学のホームページ等に公開した。 (経済学部) アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーという形で当学部の教育理念は、既に大学ホームページやガイドブックなどの各種媒体において公表済みであり、様々な経路を経て対外的な周知にも努めている。 (社会福祉学部) 学部としてのディプロマ・ポリシー及び各学科ごとのカリキュラム・ポリシーをホームページに掲載した。</p> <p>【2011年度】 (文学部) 学部の理念と目標はすでに大学のホームページで公開されている。学部としてのアドミッション・ポリシーもディプロマ・ポリシーも同様に公開されている。 (経済学部) 学部のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーは、既に前年度に引き続き大学ホームページやガイドブック（受験生など学外者向け）などの各種媒体において公表済みである。3ポリシーで明示している学部としての理念・目的・教育目標に関しては、各種の媒体を通してあるいは機会を見つけて対外的な周知にも努めている。 (社会福祉学部) 学部としての理念・目的・教育目標については、既にホームページに掲載した。</p>	

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(1) 大学【大学基準協会】

(表 I-5-②)

(実施年月日)	勧告、助言事項	改善方策の取組状況	備考
	1) 全学部について、学部としての理念・目的・教育目標が、大学案内など、『点検・評価報告書』以外の公的刊行物に掲載されていないので明示および周知することが望まれる。	<p>【2012年度】 (文学部) HP等掲載済で改善済である。8月以降については特に改善なし。 (経済学部) 今年度も対応済みである。 (社会福祉学部) 大学ホームページにおいて、学部の教育理念・目的・目標について掲載済みである。</p>	
	2 教育内容・方法		
	(1) 教育課程等		
	1) 社会福祉学研究科社会福祉学専攻（修士課程）では、開講科目数が多く履修者が極端に少ない中での教育指導上の効果や教員の持ちコマ負担の点から、カリキュラム体系の見直しが望まれる。	<p>【2009年度】 学部・学科再編の如何によって大学院のカリキュラム体系についても見直しが必要となる可能性があるため、現行のカリキュラムについては、その見通しがはっきりするまで見直しを控えることとした。</p> <p>【2010年度】 学部学科再編の協議の関係上、議論する機会をもつことができなかった。</p> <p>【2011年度】 大学院科目及びカリキュラム体系の見直しについて検討を行い、科目数の削減を中心として負担の軽減を図ることができた。さらなる改善を図る必要がある。</p> <p>【2012年度】 カリキュラムの大幅な改訂をおこなうこととし、WGの設置をおこない福祉計画と福祉臨床領域の統合および社会発達心理学領域の発展的解消を前提にした2015年度からのカリキュラム改訂案をまとめることができた点は高く評価できる。</p>	

(2) 教育方法等	
<p>1) 全学部について、シラバスの記述の仕方に教員間で精粗が見られ、改善が望まれる。</p>	<p>【2009年度】 (教学運営委員会) シラバスの記述については、2010年度の作成依頼において改善の要請を行い、新たに事前学習の内容を含めて充実を図る事とした。</p> <p>【2010年度】 (教学運営委員会) 「シラバスに関する理解を深める—知の構造、評価、授業改善—」と題して山形大学基盤教育院／高等教育研究企画センター准教授の杉原真晃氏によるFD研修会を大学教学会議主催で行い、シラバスに関する作成上の留意点及び効果的な活用方法を学ぶ有益な機会となった。また、シラバスシステムの改訂を行い、編集表示画面と印刷イメージを一致させるなど作成作業上の改善を図った。</p>

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(1) 大学【大学基準協会】

(表 I-5-③)

(実施年月日)	勧告、助言事項	改善方策の取組状況	備考
	<p>1) 全学部について、シラバスの記述の仕方に教員間で精粗が見られ、改善が望まれる。</p>	<p>【2011年度】 (教学会議) シラバスの記述方法の見直しなどに関して、FD委員会の主催で「ディプロマ・ポリシーに基づく体系的な教育改善」というテーマの研修会を実施した。講師は立命館大学教育開発推進機構教授の沖裕貴氏で、主な講演内容は3ポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）のとらえ方、カリキュラム・マップの作成のほか、特にシラバス記述との関係で客観的かつ厳格な成績評価の方法（ルーブリック評価）の紹介があり、大変示唆に富むもので時機にかなった研修であった。</p> <p>【2012年度】 (教学会議) シラバスの記述方法の見直しなどに関して、2013年度シラバスから記載事項を①講義の目的および概要、②講義方法、③到達目標、④授業計画、⑤成績評価方法、⑥準備学習、⑦教科書・参考書、⑧注意事項、⑨参照リンクに変更し、より統一的で具体的な記載とすることとした。</p>	
	<p>2) 全学部について、授業評価アンケートによる授業改善は教員個人に委ねられていることから、組織的に活用されるよう改善が望まれる。</p>	<p>【2009年度】 (教学運営委員会) 2009年度の授業評価アンケートは従来の方法により実施することとしたが、実施に係るシステムの見直しを含め、2010年度の検討課題とする。</p> <p>【2010年度】 (教学運営委員会) 学生による授業評価アンケートについては、実施に係るシステム見直しなどが本年度の課題であったが、時間がなく検討を進めることが出来なかった。隔年実施の件も含めて早急に検討を行うべく、次年度への課題とした。</p> <p>【2011年度】 (教学会議) 学生による授業評価アンケートについては、FD委員会に諮問したが時間がなく検討を進めることが出来なかったため、従前の質問項目で実施した。アンケート方法や項目の見直しなどは、FD委員会で次年度への課題として引き続き検討を進めてもらうこととした。</p> <p>【2012年度】 (教学会議) 学生による授業評価アンケートについては、実施方法に関してFD委員会からの答申を受け、2013年度実施分からWebによるアンケート調査を行うことを決定した。なお、「アンケート項目の見直し」「集計方法や公開の簡素化」などについては、引き続きFD委員会で検討を進めてもらうこととした。</p>	

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(1) 大学【大学基準協会】

(表 I-5-④)

(実施年月日)	勧告、助言事項	改善方策の取組状況	備考
	<p>3) 文学部心理・応用コミュニケーション学科、経済学部経営情報学科および経済法学科では、1年間に履修登録できる単位数の上限が高いので、単位制度の趣旨に照らして改善が望ましい。</p>	<p>【2009年度】 (文学部) 2年次の履修単位数上限が52となっていたものを2010年度新生からは48単位とすることを決定した。 (経済学部) 既に3年間現行カリキュラムでこの履修上限を続けており、入学年次による履修条件及び卒業条件の差別を生じさせないため、今すぐ改定を行なう予定は無いが、次回カリキュラム改訂に際し、ただちに改善する。</p> <p>【2010年度】 (文学部) 2010年度入学生から上限を低くしたので、すでに改善がなされている。 (経済学部) 現行カリキュラムは本年度に完成年度を迎えたが、平成24年度まで改訂しないことが大学評議会決定されている為、平成25年4月導入の次期カリキュラムに於いて対応することとした。この点は、経済学部教授会では昨年度に了承されており、昨年度の自己点検評価報告書に記載済みである。</p> <p>【2011年度】 (文学部) 2010年度入学生から上限を低くしたので、すでに改善がなされている。 (経済学部) 2013年度カリキュラムの策定に合わせて、単位制度の趣旨に照らしながら3学科とも履修登録単位数の上限を見直した。その結果、経営情報学科・経済法学科とも、各学年の履修登録単位数の上限を引き下げた。</p> <p>【2012年度】 (文学部) 2013年度新カリキュラムにおいて改善を見ている。 (経済学部) 今年度も対応済みである。</p>	

4) 全研究科について、研究科固有のFDを実施することが望まれる。

【2009年度】

文学研究科主催で研究科合同のFDを実施した他、各研究科でも固有のFDを実施した。

【2010年度】

(文学研究科)

本年度は、「首都大学東京における大学院教育と論文指導」ということで大学院3研究科の合同FDとなったが、次年度は研究科固有のFDを実施するよう努めたい。

(経済学研究科)

経済学研究科固有のFDを実施し(7月28日)、入学志願者数を増やす方策を徹底討論した。その結果、学部の早期卒業制度の導入可能性とそれを活用した本研究科への進学を勧誘することの実現可能性が高いという共通認識を得た。

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(1) 大学【大学基準協会】

(表 I-5-⑤)

(実施年月日)	勧告、助言事項	改善方策の取組状況	備考
	<p>4) 全研究科について、研究科固有のFDを実施することが望まれる。</p>	<p>(社会福祉学研究科) 研究科固有のFDに相当する博士論文の指導体制について首都大学東京の取り組みをFDにおいて講師を招いて詳細な展開を確認することができ、協議をおこなった。 また、修士論文の中間報告会の位置づけや実施方法について時期や体制を含めた改善課題を協議した。</p> <p>【2011年度】 (文学研究科) 3研究科合同で「特色ある大学院の再構築に向かって——学生の確保と教育」と題して、文学研究科としてもおおいに啓発されるFDが実施されたものの、文学研究科固有のFDは実施に至らなかった。ただ開催するのではなく、検討すべきテーマをしっかりと煮詰めたうえで、次年度は開催するようにしたい。</p> <p>(経済学研究科) 8月3日に学部と合同で早期卒業制度の導入などについてFDを開催した。2月22日に佐々木隆生本学教授を講師として「特色ある大学院の再構築に向かって」というテーマでのFD研修会を実施した。</p> <p>(社会福祉学研究科) 研究科固有のFDについては、時間的な確保がとれず、実施することはできなかった。次年度の早い時期に開催を図りたい。</p> <p>【2012年度】 (文学研究科) 研究科固有のFDが求められた一方で、現実には3研究科主催FDとの隔年開催が現実的とされる意見があり、実際そのように変更処置が講じられたことは理にかなっている。本年度は、全学的な大学院の現状を踏まえ、かつ、文学研究科の課題を念頭に、「ICUの改革～リベラルアーツと高度専門職業人養成～」(ICU教授・町田健一氏講演・懇談)を2月に開催した。</p> <p>(経済学研究科) 新入試制度の実施および新カリキュラム策定に伴う展開科目・担当教員数の削減など、新制度への移行期にあつて様々な点で検討に時間を要したため、研究科固有のFDは実施できなかった。</p> <p>(社会福祉学研究科) 研究科固有のFDについてはリトリートとして8月1日に教育研究指導体制の課題を整理検討した。主な課題は上記の通りである。詳細については時間的な余裕がなく次年度の課題とせざるをえない。</p>	

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(1) 大学【大学基準協会】

(表 I -5-⑥)

(実施年月日)	勧告、助言事項	改善方策の取組状況	備考
	5) 全研究科について、大学院要覧などに授業および研究指導の方法、成績評価基準、ならびに1年間の授業および研究指導の計画の明示がなされていないので、改善が望まれる。	【2009年度】 2009年度の『大学院要覧』から記入内容について周知徹底し、全科目について、授業のねらい・概要、授業計画、成績評価の基準・方法、教科書、参考書等について明記した。	
	(3) 学位授与・課程修了の認定		
	1) 全研究科について、修士の学位授与の質的な要件、つまり学位論文に係る評価ならびに修了の認定の際の基準などを明確にすることが望まれる。	【2009年度】 (大学院委員会) 社会福祉学研究科及び経済学研究科では修士論文の評価基準を作成し次年度より実施することとした。文学研究科においても現在検討中であり、2010年度内には修士論文の評価基準を作成することを確認した。 併せて、今後の博士論文審査の本格化をにらみ、博士論文の審査実施要領を改訂し、評価の方法を整理し透明化を図った。また、いわゆるオーバーペイのうち、大学院兼担手当を見直し博士論文審査手当の追加について検討を行い、現状の問題点を企画運営会議に報告した。 【2010年度】 (大学院委員会) 社会福祉学研究科及び経済学研究科では、昨年度において修士論文の評価基準を作成し今年度より実施している。文学研究科においても修士論文の評価基準を作成し、次年度から実施することとした。評価基準を持つことにより、学位の質的保証を確保した。 【2011年度】 (大学院委員会) 社会福祉学研究科及び経済学研究科では、2009年度において修士論文の評価基準を作成し2010年度より実施している。文学研究科においては2010年度において修士論文の評価基準を作成し、今年度から実施している。評価基準を持つことにより、学位の質的保証を確保する制度をとっている。 【2012年度】 (大学院委員会) 2011年度に完了済みである。	

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(1) 大学【大学基準協会】

(表 I-5-⑦)

(実施年月日)	勧告、助言事項	改善方策の取組状況	備考
	<p>3 学生の受け入れ</p> <p>1) 編入学定員に対する編入学生数比率が、経済学部0.50、社会福祉学部0.52と低いので、改善が望まれる。</p>	<p>【2009年度】 (企画運営会議) 2009年度は検討することができなかった。</p> <p>【2010年度】 (企画運営会議) 編入学定員、社会福祉学部の教員負担といった問題は、現在検討が進んでいる学部・学科再編と密接に関連しているため、現段階では具体的な改善方策を検討できていない。次年度以降、学部・学科再編の具体的な検討を行う中で、これらの問題についても取組みを進めることとする。</p> <p>【2011年度】 (企画運営会議) このことについては、具体的に検討することができなかった。編入学定員に対する編入学生比率が低い要因としては、短期大学数の減少及び本学短期大学部学生の3年次編入志願者の減少ならびに志願傾向による学部学科間格差が顕著に浮き彫りになっていること、さらには経済不況が背景にあることで編入学に歯止めをかけている。現段階では、具体的な改善方策を講ずることはできないが、今後は多角的検証をしながら検討していくこととする。</p> <p>【2012年度】 (企画運営会議) 経済学部及び社会福祉学部の編入学定員に対する編入学生数比率が低下してきた外的要因としては、短期大学及び学生母数が年々減少したこと、本学短期大学部学生の志願傾向の変化による学部学科間格差が浮き彫りになっていること、経済不況が背景にある理由で3年次編入学を進路先の選択肢として断念せざるを得ない状況であること、が考えられる。 このような状況の中、学内の短期大学部では、学部の教職科目や社会福祉士関連授業科目を履修できるように特別科目等履修制度を充実させ、編入前の履修環境を整えた。また、学部学科間で相互に情報を共有しつつ短大部生へのきめ細かい指導等連携を図ってきた。その結果、経済学部においては、評価当時の0.5から2012年度では0.84と内部努力により改善に結びつく数字となった。一方、社会福祉学部では、評価当時より比率が低下する結果となってしまった。 この状況を踏まえ、具体的な改善方策を検討する。なお、前述のような社会状況等により志願者が減少傾向であることから、定員を減員することも含め検討していくこととする。</p>	

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(1) 大学【大学基準協会】

(表 I -5-⑧)

(実施年月日)	勧告、助言事項	改善方策の取組状況	備考
	<p>2) 文学研究科修士課程における収容定員に対する在籍学生数比率が0.25と低く、改善が望まれる。</p>	<p>【2009年度】 2009年度は厳しい結果となったので、次年度の最重点課題として取り組みたい。</p> <p>【2010年度】 幸いにして、2011年度は6名の合格者を出したので、在籍学生比率が大幅に改善されることになるだろう。</p> <p>【2011年度】 2011年度は6名の入学者があったし、2012年度は4名の合格者を出したので、在籍学生比率は若干改善されることになるが、まだまだ収容定員に近づいていないのが現状である。</p> <p>【2012年度】 学内選考の人数枠を2名から3名へ増員し、次年度から適用されることとなった。今年度は、第Ⅰ期入学者2名（内、上記制度適用者1名）、第Ⅱ期は受験者なし。今後の進学者リクルートの方策について、文学部両学科の枠を超えて展開する可能性をも念頭に置き追究する。なお、早期入学者制度の導入は、文学研究科への適用について、現状では困難であるとの見通しをもっている。</p>	
	4 教員組織		
	<p>1) 社会福祉学部では、一部の専任教員に大学院博士後期課程担当などの負担により、コマ数の過重が見られるので改善が望まれる。</p>	<p>【2009年度】 この問題については、社会福祉学部だけでなく大学として大学院担当についてどのように考えていくかといった基本方針に関わる問題であり、その策定を今後追及していく。</p> <p>【2010年度】 (社会福祉学部) この問題は社会福祉学部だけではなく、大学として大学院担当についてどのように考えていくかといった基本方針に関わる問題である。現在今後の本学あり方として全学的な方針の策定に向かっており、大学院についてのその方針に基づいてあり方を検討する中でコマ数の負担の問題も検討することになる。</p> <p>(企画運営会議) 今年度は具体的な結論を得ることができなかったため、次年度に継続して検討することとした。</p>	

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(1) 大学【大学基準協会】

(表 I -5-⑨)

(実施年月日)	勧告、助言事項	改善方策の取組状況	備考
	<p>1) 社会福祉学部では、一部の専任教員に大学院博士後期課程担当などの負担により、コマ数の過重が見られるので改善が望まれる。</p>	<p>【2011年度】 (社会福祉学部) 社会福祉学部では、一部の教員に大学院博士後期課程担当などの負担により、コマ数の過重が見られるので、改善が望まれているが、2013年度の新カリキュラムにおいて、一定程度の実現を目指している。 (企画運営会議) このことについては、今年度、持ちコマ基準の見直しを検討する際に、取り上げたが、資格対応等科目に特化したカリキュラムであること、大学院博士課程授業科目については専任教員を担当させることに重点を置いていることなどから一部の専任教員に負担がかからざるを得ない状況であり、早急に対応策を講ずることは難しいと判断するに至った。次年度は2013年度カリキュラム改編に向けた学部開講科目と大学院博士課程の持ちコマ数との調整を図りながら負担軽減につながるよう取組んでいくこととする。</p> <p>【2012年度】 (社会福祉学部) 2013年度の学部新カリキュラムにおいて、大学院科目担当教員の教育負担の軽減化を図るべく、担当科目数の軽減化はじめ、実習教育や卒論指導の展開の見直しに取り組むことで、一定程度実現できた。なお、2015年度大学院修士課程のカリキュラムの改訂時期に合わせて、今後も継続して取り組む。 (企画運営会議) 社会福祉学部は、資格対応（社会福祉士・精神保健福祉士等）科目を多く配置する特化したカリキュラム構造になっている。また、大学院博士課程授業科目、修士課程授業科目及び実習科目については非常勤講師に依存せず専任教員を担当させることに重点を置いている。このような理由から、一部の専任教員に負担がかからざるを得なく、早急に対応策を講じて解決するには困難な状況である。 今後はこの問題を改善するため2013年度カリキュラム改編に向けた学部開講科目と大学院修士及び博士課程の持ちコマ数について、少しでも教員の負担軽減につながるよう解決策を講じていくこととする。</p>	

	<p>2) 専任教員の年齢構成において、文学部では、41歳～50歳の比率が36.4%、経済学部では、51歳～60歳の比率が33.4%、社会福祉学部では、41歳～50歳の比率が37.9%と高いので、全体的バランスを保つよう改善の努力が望まれる。</p>	<p>【2009年度】 (文学部) 今後の採用人事において均衡の取れた年齢構成をできるだけ考慮することを確認した。 (経済学部) 近年の新規採用人事に置いては採用内定時20代の若年者もいるため、今後改善されると思われる。 (社会福祉学部) 社会福祉学部の専任教員の年齢構成は、大学院担当教員採用の必要性を踏まえると、比較的バランスが取れていると考えられる。</p>	
--	---	--	--

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(1) 大学【大学基準協会】

(表 I-5-⑩)

(実施年月日)	勧告、助言事項	改善方策の取組状況	備考
	<p>2) 専任教員の年齢構成において、文学部では、41歳～50歳の比率が36.4%、経済学部では、51歳～60歳の比率が33.4%、社会福祉学部では、41歳～50歳の比率が37.9%と高いので、全体的バランスを保つよう改善の努力が望まれる。</p>	<p>【2010年度】 (文学部) 2010年度は1件の新任採用人事があったが、実務経験者が望ましいという学科の要望もあり、若手の採用にはならず、年齢構成は高いままである。時間がかかるが、改善につとめたい。 (経済学部) この指摘を踏まえ、2011年4月1日付着任予定の環境経済学・基礎経済学等担当教員の採用条件としては「35歳以下」という応募条件(従来からの慣例になっている)を明示すると共に、着任時30歳の若手教員を採用した。 (社会福祉学部) 社会福祉学部の専任教員の年齢構成は、大学院担当教員の採用の必要性があり、そのことを踏まえれば年齢構成比率は比較的バランスが取れていると考えており、今後の採用においてそのバランスが崩れないよう努力する。</p>	

【2011年度】

(文学部)

ここ2年間で2回採用人事があったが、いずれも採用者は55歳と51歳であるから、中高年層が増えた。教育経験や校務経験、研究業績を考えると、中堅層が増えるのはやむをえない面もあるが、中・長期的に改善していきたい。

(経済学部)

2010年度の人事(2011年4月着任)では2名、2011年度(2012年4月着任)は1名の採用人事を行った。採用人事のうち1名は30代、残りの2名は人事計画に基づき60歳以上の教員の採用となった。なお、引き続き、年齢構成のバランスを考慮した人事計画を実行する。

(社会福祉学部)

専任教員の年齢構成について、社会福祉学部では41歳～50歳の比率が37.9%と高いので全体的バランスを保つよう改善の努力をした結果、福祉計画、福祉臨床、福祉心理の3学科とも、直近の人事において若手の教員を採用した。

【2012年度】

(文学部)

特に英文学科での新規若手採用による年齢比率の改善が望まれたが、状況は改善されなかった。しかし、現状のなかでも、教育活動や学科運営に対する特別専任教員の一定の貢献が見込まれる面もある。

(経済学部)

新たな人事は行わなかったが、引き続き、年齢構成のバランスを考慮した人事計画を実行する。

(社会福祉学部)

今年度の新規採用人事はなかったものの、今後も継続して、教員の年齢構成に配慮した採用人事を推進する。

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(1) 大学【大学基準協会】

(表 I-5-⑪)

(実施年月日)	勧告、助言事項	改善方策の取組状況	備考
	<p>5 施設・設備</p> <p>1) 図書館4階の特別教室の教壇の段差が大きいので、対策として簡易スロープか簡易昇降機の設置を検討している。2008（平成20）年度は予算化出来ず設置が見送られたが、今後の改善が望まれる。</p>	<p>【2009年度】 キャンパス・マスタープランに関わって新たに設置する建築委員会に検討を要請する。</p> <p>【2010年度】 図書館4階特別教室の教壇の問題については、建築委員会に検討を要請することとしていたが、学部・学科再編及び隣接地への末日聖徒キリスト教会神殿建設の問題等により、キャンパス・マスタープランが一時凍結中であることから、今年度は検討要請を行なわなかった。</p> <p>【2011年度】 前年度から継続して、大学建築委員会に具体的な検討を要請することとする。</p> <p>【2012年度】 これまで建物の新築・増築の際に、バリアフリー化を取り入れるよう努力し、一定程度実現できている。図書館棟4階の特別教室には移動式簡易スロープを設置出来なかったが、2009年度から、B館402教室の教壇用として移動式簡易スロープを設置した。車椅子利用者が講義等を行う際は、発生頻度がごく稀とはいえ、B館402教室（図書館棟4階特別教室と同規模）を代替教室として教学との連携により優先的に使用することとしている。このことにより、一定程度の改善を図ったと受け止めている。</p>	

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(1) 大学【大学基準協会】

(表 I -5-⑫)

(実施年月日)	努力課題	改善方策の取組状況	備考
認証評価申請書類提出 (平成27年3月27日) 実地視察実施 (平成27年10月20～21日) 認証評価適合認定 【大基委大評第138号】 (平成28年3月11日) 改善報告書提出 (2019年7月26日)	4 教育内容・方法・成果 教育目標、学位授与方 (1) 針、教育課程の編成・実 施方針		改善勧告は付 されていない。
	1) 全学部において、学位授 与方針と学生の受け入れ 方針は学部ごとに設定さ れているのに対して、学 部としての教育課程の編 成・実施方針が明確に定 められていないので、改 善が望まれる。 2) 大学院修士課程の文学研 究科、経済学研究科、社 会福祉学研究科、博士課 程の社会福祉学研究科の 教育課程の編成・実施方 針は、現状の説明にとど まっており、教育内容・ 方法等に関する基本的な 考えを示していないの で、改善が望まれる。	【2016年度】 (自己点検評価委員会) 3ポリシーのガイドライン(平成28年3月31日 中央教育審議会大学分科会大学教育 部会による「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー), 「教育課程編 成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)及び「入学者受入れの方針」(アドミッ ション・ポリシー)の策定及び運用に関するガイドライン)によれば、必ずしも学部の カリキュラム・ポリシーを策定することは必要でないため、現状のまま策定しないこと とした。 【2016年度】 (自己点検評価委員会) 3研究科とも2017年度から検討に着手することとした。 【2017年度】 (各大学院研究科委員会) カリキュラム・ポリシーについての検討 カリキュラム改編に伴い、カリキュラム・ポリシーを中心に改めて3ポリシーにつ いて検討・修正を行った。 【2018年度】 (自己点検評価委員会) カリキュラム改編を行なう際に「教育課程の編成・実施方針」に教育内容・方法等に関 する基本的な考え方を盛り込み、改めた。また大学公式WEBサイト及び大学院要覧に変 更した教育課程の編成・実施方針を掲載した。	

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(1) 大学【大学基準協会】

(表 I -5-⑬)

(実施年月日)	努力課題	改善方策の取組状況	備考
	<p>(3) 教育方法</p> <p>1) 1年間に履修登録できる単位数の上限について、社会福祉学部福祉臨床学科が2・3年次において50単位に設定されているため、改善が望まれる。また、編入学生の1年間に履修登録できる単位数の上限については、全学部において学科長との面談を経て国家試験受験資格などを満たさないなど特別な事情がある学生については、1年間に履修登録できる単位数の上限を超える履修登録を認めているので、単位制度の趣旨に照らして、改善が望まれる。</p> <p>2) 社会福祉学研究科博士課程を除く全研究科修士課程において、研究指導計画の学生への明示が不十分であるので、改善が望まれる。</p>	<p>【2016年度】 (教学会議) 社会福祉学部 福祉臨床学科2.3年次の履修登録上限単位を2019年度から48単位とすることとした。</p> <p>【2018年度】 (大学評議会) 「授業科目の履修等に関する規程」を改定した。 2019年度にも編入学生の履修上限について、具体的な改定を行う予定である。</p> <p>【2019年度】 (大学評議会) 編入学生の1年間に履修登録できる単位数の上限については、全学部において学科長との面談の際に、1年間に履修登録できる単位数の上限を超えないように、より適切な履修指導を行うこととした。また、大学設置基準第27条の2第2項に基づき、編入学生の成績が優れている者については、1年間に履修登録できる単位数の上限を超えて履修登録を認めることを教学会議で確認し、2020年度4月編入学生から適用することとした。</p> <p>【2016年度】 2017年度大学院要覧に各専攻授業科目の履修と研究指導について掲載し、学生に明示することとした。</p> <p>【2017年度】 大学院要覧に掲載し、学生に明示した。</p>	

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(1) 大学【大学基準協会】

(表 I -5-⑭)

(実施年月日)	努力課題	改善方策の取組状況	備考
	<p>(4) 成果</p> <p>1) 社会福祉学研究科博士課程において、学位論文審査基準が学生に明示されていないので、『大学院要覧』などに明記するよう、改善が望まれる。</p> <p>2) 社会福祉学研究科博士課程において、修業年限内に学位を取得できず課程の修了に必要な単位を取得して退学した後、在籍関係のない状態で学位論文を提出した者に対し「課程博士」として学位を授与することを規定していることは適切ではない。課程博士の取り扱いを見直すとともに、課程制大学院制度の趣旨に留意して修業年限内の学位授与を促進するよう、改善が望まれる。</p>	<p>【2016年度】 大学院要覧に「学位論文に関する取扱い・6. 学位論文評価の基準」として掲載した。</p> <p>【2016年度】 (企画運営会議) 企画運営会議で検討し、博士課程に長期履修制度を導入する方向で検討するよう、研究科委員会に依頼した。</p> <p>【2017年度】 検討した結果、社会福祉学研究科博士課程において、在籍関係のある者に対してのみ「課程博士」として学位を授与するよう、規程を改正した。</p>	

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(1) 大学【大学基準協会】

(表 I - 5 - ⑮)

(実施年月日)	努力課題	改善方策の取組状況	備考
	<p>5 学生の受入れ</p> <p>1) 収容定員に対する在籍学生数比率について、文学研究科が0.44、経済学研究科が0.30 と低いので、改善が望まれる。</p>	<p>【2016年度】 （自己点検評価委員会） 当面様子を見ることとした。</p> <p>【2017年度】 在籍学生数の定員比率は文学研究科0.44、経済学研究科0.10であった。 学長を委員長とする自己点検評価委員会から、文学研究科委員会及び経済学研究科委員会へ、入学者確保の方策の検討を依頼した。</p> <p>【2018年度】 在籍学生数の定員比率は文学研究科0.13、経済学研究科0.25であった。 両研究科において、カリキュラム・科目担当者等を検討する際や自己点検評価報告書内容の検討等に併せて、入学者確保の方策の検討を断続的に続けてきたが、入学者の確保には至っていない。また、大学院 進学説明会を実施しているが、参加者数もあまり多くなく、入学者の確保にはつながらなかった。 以上のことを鑑み、学長から入学試験を所掌する副学長宛てに「編入学定員及び研究科入学定員確保の方策検討について（お願い）」としてさらに強く検討依頼を行ったが、入学者の確保には至らなかったため、入学定員の変更も含め検討することとした。</p>	

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(1) 大学【大学基準協会】

(表 I - 5 - ⑩)

	<p>2) 編入学定員に対する編入学生数比率について、経済学部経営情報学科が0.67、同学部経済法学科が0.25、社会福祉学部福祉計画学科が0.40、同学部福祉臨床学科が0.00、同学部福祉心理学科が0.14 と低いので、改善が望まれる。</p>	<p>【2016年度】 （自己点検評価委員会） 当面様子を見ることとした。</p> <p>【2017年度】 編入学定員に対する編入学生数比率は経済学部経営情報学科1.17、経済法学科0.40、社会福祉学部福祉計画学科0.60、福祉臨床学科0.40、福祉心理学科0.43であった。</p> <p>【2018年度】 編入学定員に対する編入学生数比率は経済学部経営情報学科0.33、経済法学科0.30、社会福祉学部福祉計画学科0.50、福祉臨床学科0.30、福祉心理学科0.00であった。 この2年間の状況を鑑み、学長から入学試験を所掌する副学長宛てに「編入学定員及び研究科入学定員確保の方策検討について（お願い）」として検討依頼を行った。それを受けた副学長は「入試改革プロジェクト」を組織し、2020年の入試制度改革への対応と併せて検討し、2018年11月に「編入学定員充足のための改善策（案）」として答申をまとめた。これは、特に本学校法人で設置している北星学園大学短期大学部からの編入学者を確保する方策であり、その他の学校法人が設置する短期大学からの編入学者増及び編入学定員の変更を盛り込んだものである。</p> <p>【2019年度】 編入学定員に対する編入学生数比率は経済学部経営情報学科0.33、経済法学科0.10、社会福祉学部福祉計画学科0.10、福祉臨床学科0.40、福祉心理学科0.00であった。 昨年度まとめた答申内容について、北星学園大学短期大学部から編入学生を受け入れる方策を各学科で検討し、文学部、経済学部、社会福祉学部教授会で最終決定した。</p>	
--	---	--	--

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(2) 短期大学部【短期大学基準協会】

(表 I - 5 - ⑩)

(実施年月日)	勧告、助言事項	改善方策の取組状況	備考
第三者評価申請書類提出 (平成20年6月20日) 訪問調査実施 (平成20年10月1日～3日) 第三者評価適格認定 【短基協事第868号】 (平成21年3月25日)	(2) 向上・充実のための課題		早急に改善を要すると判断される事項は付されていない。
	II 教育の内容 ○ 講義要項（シラバス）は、「講義のねらい」、「授業のながれ」、「成績評価・注意事項」、「教科書・参考書」の項目で統一されているが、各科目担当者間の記載の仕方に格差があり、今後は編集段階で各科目担当者に統一性を求めると講義要項（シラバス）は更に充実し、学生の便宜に供するものとなる。	<p>【2009年度】 (教学運営委員会) シラバスの記述については、2010年度の作成依頼において改善の要請を行い、新たに事前学習の内容を含めて充実を図る事とした。</p> <p>【2010年度】 (教学運営委員会) 「シラバスに関する理解を深める一知の構造、評価、授業改善」と題して山形大学基盤教育院／高等教育研究企画センター准教授の杉原真晃氏によるFD研修会を大学学会議主催で行い、シラバスに関する作成上の留意点及び効果的な活用方法を学ぶ有益な機会となった。また、シラバスシステムの改訂を行い、編集表示画面と印刷イメージを一致させるなど作成作業上の改善を図った。</p> <p>【2011年度】 (教学会議) シラバスの記述方法の見直しなどに関して、FD委員会の主催で「ディプロマ・ポリシーに基づく体系的な教育改善」というテーマの研修会を実施した。講師は立命館大学教育開発推進機構教授の沖裕貴氏で、主な講演内容は3ポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）のとらえ方、カリキュラム・マップの作成のほか、特にシラバス記述との関係で客観的かつ厳格な成績評価の方法（ルーブリック評価）の紹介があり、大変示唆に富むもので時機にかなった研修であった。</p> <p>【2012年度】 (教学会議) シラバスの記述方法の見直しなどに関して、2013年度シラバスから記載事項を①講義の目的および概要、②講義方法、③到達目標、④授業計画、⑤成績評価方法、⑥準備学習、⑦教科書・参考書、⑧注意事項、⑨参照リンクに変更し、より統一的で具体的な記載とすることとした。</p>	

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(2) 短期大学部【短期大学基準協会】

(表 I - 5 - ⑱)

(実施年月日)	勧告、助言事項	改善方策の取組状況	備考
	<p>○ 学生による授業評価が隔年ということであるが、在学期間が2年間という制約を考慮すると、短期大学における授業改善に役立つ方向での検討が望まれる。</p>	<p>【2009年度】 (教学運営委員会) 2009年度の授業評価アンケートは従来の方法により実施することとしたが、実施に係るシステムの見直しを含め、2010年度の検討課題とする。</p> <p>【2010年度】 (教学運営委員会) 学生による授業評価アンケートについては、実施に係るシステム見直しなどが本年度の課題であったが、上記の教学関係「3. 授業評価アンケートの見直しについて」に記載のとおり、時間がなく検討を進めることが出来なかった。隔年実施の件も含めて早急に検討を行うべく、次年度への課題とした。</p> <p>【2011年度】 (教学会議) 学生による授業評価アンケートについては、FD委員会に諮問したが時間がなく検討を進めることが出来なかったため、従前の質問項目で実施した。アンケート方法や項目の見直しなどは、FD委員会で次年度への課題として引き続き検討を進めてもらうこととした。</p> <p>【2012年度】 (教学会議) 学生による授業評価アンケートについては、実施方法に関してFD委員会からの答申を受け、2018年度実施分からWebによるアンケート調査を行うことを決定した。なお、「アンケート項目の見直し」「集計方法や公開の簡素化」などについては、引き続きFD委員会で検討を進めてもらうこととした。</p> <p>【2018年度】 Web回答による授業評価アンケートを実施した。</p>	
IV			
	<p>○ 卒業生に対する評価の取り組みが今後組織的にされれば、教育の達成度や効果の客観性が増し、更に向上するものと期待される。</p>	<p>【2009年度】 (自己点検評価委員会) 学外者の意見を取り入れるための仕組みとして卒業生アンケートの実施を検討したが、他大学の状況を調査した上で再度内容・実施方法等の検討を行うこととした。</p>	

IX 財務	
○ 図書の処分に関する規程を整備し、他の固定資産管理と同様に取り扱うことが望まれる。	<p>【2009年度】 「北星学園図書管理規程」として整備し、2010年4月1日から施行することとした。</p> <p>【2010年度】 2010年4月1日から施行した。</p>

5 大学、短期大学部等の「大学評価（認証評価、相互評価）」の際に評価機関から付された勧告・助言事項及びその後の実施状況一覧

(2) 短期大学部【短期大学基準協会】

(表 I-5-⑱)

(実施年月日)	勧告、助言事項	改善方策の取組状況	備考
第三者評価申請書類提出 (平成27年6月26日) 訪問調査実施 (平成27年10月8日～9日) 第三者評価適格認定 【短基協事第215号】 (平成28年3月11日)	向上・充実のための課題		
	I 建学の精神と教育の効果		
	○ 自己点検・評価報告書に、目付の誤りなど、記載に不備が散見されたので、より組織的な自己点検・評価体制の整備に努められたい。	<p>【2016年度】 2016年度の事務機構再編において、認証評価を担当する「企画課」を「IR広報戦略室」として再編し、構成員を増加して自己点検・評価体制の整備を図った。</p>	
	III 教育資源と財的資源		
○ 就業規則上には出勤簿に押印する旨が定められているが、専任教員だけがそれとは異なる方法で出勤を申告し、就業状況が把握されている。就業規則に基づいた適正な管理が望まれる。	<p>【2016年度】 対応を検討したが、具体的対策は行えなかった。</p>		
○ 学校法人全体の事務職員研修会等は実施されているが、SD規程を整備されたい。	<p>【2016年度】 「北星学園スタッフ・ディベロップメントに関する規程」を整備し、2017年4月1日から施行することとした。</p> <p>【2017年度】 「北星学園スタッフ・ディベロップメントに関する規程」を施行した。</p>		

IV リーダーシップとガバナンス

○ 評価の過程で、決算及び事業の実績について、理事会決議後に評議員会への報告がなされていないという問題が認められた。
当該問題については、機関別評価結果の判定までに対処し、学校法人の運営の改善に努めていることを確認した。今後は法令順守の下、理事会、評議員会の機能を確認し、より一層その向上・充実に取り組まれない。

【2015年度】

2016年2月25日に開催された理事会及び評議員会において、寄附行為所定の手続きを経て、理事会の議決事項の整理及び評議員会への諮問事項の変更に伴う寄附行為変更が承認されたため、速やかに文部科学大臣に寄附行為変更認可申請をおこなった。
この寄附行為変更に伴い、2016度より決算及び事業の実績については、理事会で議決後に評議員会に報告することとなった。

6 教職員に占めるクリスチャンの比率状況

(表 I -6)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	備 考
教員数 (a)	142	141	146	146	143	職員数は専任のみ
内クリスチャン数	23	22	23	23	23	
割合 (%)	16.2	15.6	15.8	15.8	16.1	
職員数 (b)	84	83	82	83	84	
内クリスチャン数	3	3	3	3	3	
割合 (%)	3.6	3.6	3.7	3.6	3.6	
合計 (a) + (b)	226	224	228	229	227	
内クリスチャン数	26	25	26	26	26	
割合 (%)	11.5	11.2	11.4	11.4	11.5	

7 自治体等の公開講座への派遣状況〔2019年度〕

(表 I-7-①)

氏名	期間	タイトル	主催者
足立 清人	10/19、1/22	昇任時教養講師	北海道警察学校
安部 雅仁	2/29	医療情報のマネジメント講演	情報マネジメント・フォーラム企画会議
大島 寿美子	11/15	厚生労働省臨床研究総合促進事業 治験・倫理審査委員会従事者研修講師	北海道大学病院
	12/6	ユニマチュード実習講師	日本歯科大学新潟生命歯学部
岡田 直人	7/30～10/30	民生委員児童委員専門研修講師	北海道民生委員児童委員連盟
	9/13	「キャンパスタウン厚別」講師	厚別区保健福祉部
金子 大輔	12/11	小中学校生を取り巻くネットの実態等講師	札幌市小学校校長会
栗山 隆	6/25	15期インターン研修講座	チャイルドラインほっかいどう
	8/6	16期養成研修講座及びインターン研修講座	
	1/28	北海道児童養護施設等基幹的職員研修会講師	北海道保健福祉部
マシュー J. コッター	12/14	ジュニアイングリッシュキャンプ講師	北海道立青少年体験活動支援 施設ネイバル砂川
斎藤 仁史	1/23	釧路・根室管内公共図書館協議会地方研究集会 講師	釧路管内公共図書館協議会
白鳥 金吾	11/28	総合学習「学び探究ゼミ」講師	北海道札幌手稲高等学校
杉岡 直人	3/28	地域福祉推進大会	美唄市保健福祉部
鈴木 克典	8/27	自主防災組織等のリーダー・連携促進支援事業 に関わる講師	室蘭市防災部
田実 潔	7/3	校内研修会講師	札幌市立中の島小学校
	11/27	「市民のためのこころの健康セミナー」 「発達障害の理解と支援」講師	小樽精神保健協会
田中 耕一郎	8/31	講演会講師	美幌町地域包括支援センター
田辺 毅彦	2019/5/16～2020/4/10	継続研修	チャイルドラインほっかいどう
田辺 等	2019/5/16～2020/2/15	薬物問題を持つ人の家族のための ワンデイ・セミナー講師	北海道精神保健福祉センター
	7/27	かかりつけ医等うつ病対応力向上研修講師	
	7/2	北海道児童養護施設職員研修会講師	北海道児童養護施設協議会
	5/28	第41期生養成研修（後期）合同研修①講師	北海道いのちの電話
	8/31	スーパーバイザー研修講師	
	10/3	青森県精神保健福祉大会講師	青森県精神保健福祉協会
	7/21	依存症支援者研修講師	医療法人北仁会旭山病院
	3/14	ギャンブル依存症の理解と今後の支援の在り方 講師	
8/22、12/12	ギャンブル依存症等指導者養成研修講師	久里浜医療センター	

7 自治体等の公開講座への派遣状況〔2019年度〕

(表 I-7-②)

氏名	期間	タイトル	主催者
田辺 等	8/28	グループ・集団精神療法基礎研修会講師	岩手県精神保健福祉センター
	9/19	夕張市うつ・自殺対策推進事業市民講座講師	夕張市
	10/15	北海道児童養護施設協議会道央支部職員研修会講師	北海道児童養護施設協議会
	2/29	ヘルシーワークプレイス講演会講師	北海道看護協会
	10/5	教育講演演者	2019年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会
	10/31	室蘭地方精神保健協会講演会講師	室蘭地方精神保健協会
	11/14	令和元年度ギャンブル依存症支援者研修会講師	山形県精神保健福祉センター
	1/31	かかりつけ医等依存症対応力向上研修会講師	鳥取県中部医師会
	2/1	鳥取県アルコール健康障害支援拠点機関事業研修講師	明和会医療福祉センター渡辺病院
中村 浩	9/18	「キャンパスタウン」厚別講師	厚別区保健福祉部
K. U. ネンシュティール	8/7	「ガールズ相談」(夏季)事前研修会講師	札幌市男女共同参画センター
濱 保久	7/12	中堅指導者研修会講師	日本私立大学協会北海道支部
林 健太郎	9/4、9/27	職員研修会講師	北海道社会福祉事業団福祉村
牧田 浩一	6/18	生徒指導研究協議会講師	北海道教育庁
	10/5	地域福祉ターミナルていく「ふくし講演会」講師	北海道光生舎
藁内 豊	9/22	大塚製薬アスリートアワー講演会講師	大塚製薬株式会社
諸岡 卓真	10/4、10/5	北海道高等学校文化連盟第17回全道文芸研究大会講演	北海道高等学校文化連盟
	10/19	第21回北海道・東北文芸研究大会北海道大会講師	
横山 穰	10/29	特別講義講師	北海道介護福祉学校

8 各種委員会・審議会等からの委嘱状況〔2019年度〕

(表 I-8-①)

氏名	委員会・審議会等の名称
秋森 弘	札幌緑花会評議員
池田 雅子	札幌市社会福祉審議会委員、札幌市民生委員推薦会委員
伊藤 新一郎	恵庭市社会福祉審議会委員、当別町地域福祉計画策定委員会委員
大島 寿美子	北海道大学特定認定再生医療等委員会、北海道大学病院医療安全管理業務監査委員会委員、北海道大学病院長候補者選考会議委員、北海道大学病院自主臨床研究審査委員会委員、北海道がん対策基金運営委員会委員
大友 秀治	北海道スクールソーシャルワーカー活用事業スーパーバイザー
大原 昌明	札幌市交通事業振興公社評議員、エフエム・ノースエフ放送番組審議会審議委員、あつべつ区民協議会第8・9期委員、コープさっぽろ「トドックフードバンク基金」諮問委員会委員、北海道公衆浴場問題協議会、北海道公衆浴場入浴料金審議会委員、札幌市事業に係る選考委員会委員、歌志内市まちづくり市民会議アドバイザー、北海道道州制特別区域提案検討委員会委員
岡田 直人	北海道地域密着型サービス外部評価審査委員会委員、北海道住宅対策審議会委員、北海道社会福祉審議会臨時委員、北海道社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員、北の住まいるタウン検討協議会アドバイザー、小樽市地域福祉計画策定委員会委員
柿原 久二佳	北海道恵庭南高等学校スクールカウンセラー
鴨澤 あかね	札幌少年刑務所性犯罪処遇プログラムアドバイザー、函館少年刑務所性犯罪者処遇プログラムアドバイザー
金子 大輔	文部科学省ICT活用教育アドバイザー
佐橋 克彦	恵庭市社会福祉審議会・福祉有償運送部会委員
佐藤 祐基	札幌真栄高等学校スクールカウンセラー
白鳥 金吾	官民協働海外留学支援制度選考委員会専門選考委員、北海道教科用図書選定審議会調査員、地域との協働による高等学校教育改革推進事業運営指導委員会委員
杉岡 直人	ほっかいどう元気なふるさとづくりミーティング、ほっかいどう元気なふるさとづくり研究会、ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会アドバイザー、北海道立道民活動センター指定管理者候補者選定委員会
鈴木 克典	札幌市町内会未来塾等企画競争実施委員会委員、札幌市地域商店街支援事業選考委員会委員、さっぽろGood商い賞選考委員会委員、あつべつ区民協議会第8・9期委員、札幌市社会教育委員、厚別区誕生30周年記念事業検討委員会委員、札幌市社会教育功労者表彰選考委員、栗山町政策評価委員会有識者委員、もみじ台管理センター管理運営団体審査委員会委員、札幌市新たな活動の場創設支援事業審査委員会委員、篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議委員、札幌市土地利用審査会委員
竹田 恒規	北海道後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審査会委員
竹村 雅史	北海道高等学校教育研究大会英語部会助言者
田実 潔	札幌市幼児アセスメント委員、札幌市教科用図書選定審議会委員、札幌市特別支援教育振興審議会委員、北海道立特別支援教育センター運営懇談会
田中 耕一郎	北海道自立支援協議会人材育成部会部会員
田辺 等	北海道精神科病院実地審査委員、札幌市精神保健福祉審議会委員、北海道ギャンブル等依存症対策推進会議

8 各種委員会・審議会等からの委嘱状況〔2019年度〕

(表 I - 8 - ②)

氏名	委員会・審議会等の名称
永井 順子	札幌市精神保健福祉審議会委員、札幌市営住宅入居者選考委員会委員、地域生活支援センターさっぽろ指定管理者選定委員会選定委員
中田 知生	積丹町まちづくり活動支援事業選定委員会委員
中地 美枝	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター共同研究員
中村 和彦	北海道医療大学大学院博士学位論文審査委員会委員
長屋 幸世	北海道建設工事紛争審査会特別委員
鳴海 昌江	北海道拓北養護学校スクールカウンセラー、北海道金融広報委員会金融広報アドバイザー、北海道・札幌市公立学校教員採用に関する協議会出席
西原 明希	官民協働海外留学支援制度選考委員会専門選考委員
西山 薫	札幌啓成高等学校スクールカウンセラー、札幌市児童等に関する重大事態調査検討委員会委員
畑 亮輔	北海道福祉サービス第三者評価事業に係る「事業等委員会」委員、札幌市社会福祉審議会委員、札幌市地域福祉社会計画審議会委員、北海道医療ソーシャルワーカー協会顧問、介護給付適正化推進特別事業アドバイザー
濱 保久	吉田学園医療歯科専門学校教育課程編成委員会委員
原島 正衛	札幌地方裁判所委員会委員
藤原 里佐	苫小牧市ケース対応会議における助言者
牧田 浩一	北海道札幌視覚支援学校公立学校スクールカウンセラー、札幌市児童等に関する重大事態調査検討委員会委員
松本 康一郎	小樽商科大学グローバル戦略推進センター産学官連携推進部門フェロー、北海道若年者雇用問題検討会議委員、北海道地域訓練協議会委員及び北海道地域ジョブ・カード運営本部委員、北海道独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会委員、北海道労働局公共調達監視委員会委員
蓑内 豊	YMCA教育センター委員会委員、北海道スポーツ協会スポーツ科学委員会委員
柳町 智治	関西学院大学大学院博士学位申請論文審査委員（副査）、札幌市多言語総合相談窓口意見交換会議委員

Ⅲ. 本学の財務、施設設備及び環境に関すること

1 資金収支計算書

大学・短期大学部

(単位：千円) (表Ⅲ-1)

	収 入 の 部	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	備 考
1	学生生徒等納付金収入	4,359,477 (-)	4,375,817 (100.4%)	4,404,126 (100.6%)	4,376,637 (99.4%)	4,290,965 (98.0%)	
2	手数料収入	95,473 (-)	94,067 (98.5%)	96,617 (102.7%)	96,773 (100.2%)	104,636 (108.1%)	
3	寄付金収入	88,229 (-)	28,328 (32.1%)	34,399 (121.4%)	41,262 (120.0%)	39,187 (95.0%)	
4	補助金収入	400,386 (-)	416,033 (103.9%)	435,058 (104.6%)	402,673 (92.6%)	391,644 (97.3%)	
5	資産売却収入	42 (-)	100 (238.1%)	0 (-)	416 (-)	0 (-)	
6	付随事業・ 収益事業収入	2,812 (-)	1,666 (59.2%)	42,973 (2579.4%)	37,187 (86.5%)	31,886 (85.7%)	
7	受取利息・ 配当金収入	10,032 (-)	10,032 (100.0%)	10,032 (100.0%)	10,032 (100.0%)	10,032 (100.0%)	
8	雑収入	171,361 (-)	168,360 (98.2%)	231,549 (137.5%)	231,525 (100.0%)	65,581 (28.3%)	
9	借入金等収入	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	
10	前受金収入	815,462 (-)	804,135 (98.6%)	786,934 (97.9%)	749,372 (95.2%)	735,348 (98.1%)	
11	その他の収入	210,298 (-)	112,532 (53.5%)	132,337 (117.6%)	233,920 (176.8%)	211,461 (90.4%)	
12	資金収入調整勘定	△ 925,196 (-)	△ 941,104 (101.7%)	△ 1,039,291 (110.4%)	△ 1,009,150 (97.1%)	△ 850,788 (84.3%)	
	収入の部合計	5,228,376 (-)	5,069,965 (97.0%)	5,134,734 (101.3%)	5,160,647 (100.5%)	5,029,952 (97.5%)	

	支 出 の 部	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	備 考
1	人件費支出	3,041,912 (-)	3,010,925 (99.0%)	3,175,582 (105.5%)	3,163,196 (99.6%)	2,869,421 (90.7%)	
2	教育研究経費支出	1,025,765 (-)	1,046,333 (102.0%)	979,443 (93.6%)	1,028,597 (105.0%)	1,099,402 (106.9%)	
3	管理経費支出	338,921 (-)	293,640 (86.6%)	281,744 (95.9%)	304,087 (107.9%)	280,247 (92.2%)	
4	借入金等利息支出	2,467 (-)	500 (20.3%)	3,247 (649.4%)	5,666 (174.5%)	5,300 (93.5%)	
5	借入金等返済支出	115,370 (-)	78,750 (68.3%)	78,650 (99.9%)	78,650 (100.0%)	78,650 (100.0%)	
6	施設関係支出	354,119 (-)	109,861 (31.0%)	57,139 (52.0%)	55,043 (96.3%)	124,366 (225.9%)	
7	設備関係支出	165,287 (-)	11,556 (7.0%)	222,838 (1928.3%)	124,026 (55.7%)	381,361 (307.5%)	
8	資産運用支出	275,000 (-)	363,000 (132.0%)	95,000 (26.2%)	316,000 (332.6%)	99,000 (31.3%)	
9	その他の支出	588,360 (-)	238,168 (40.5%)	281,844 (118.3%)	341,419 (121.1%)	337,734 (98.9%)	
10	法人費操出金	90,067 (-)	110,013 (122.1%)	102,970 (93.6%)	105,916 (102.9%)	120,133 (113.4%)	
10	資金支出調整勘定	△ 232,923 (-)	△ 271,316 (116.5%)	△ 352,204 (129.8%)	△ 338,249 (96.0%)	△ 124,610 (36.8%)	
	支出の部合計	5,764,345 (-)	5,091,430 (88.3%)	4,926,253 (96.8%)	5,184,351 (105.2%)	5,271,004 (101.7%)	

[注] 下段の () 内は前年度比%を表す。

※2015年度より学校法人会計基準が変更になった。

2 事業活動収支計算書

大学・短期大学部

(単位：千円) (表Ⅲ-2)

	区分/科目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	備考	
1	教育活動収入の部	学生生徒等納付金	4,359,477 (-)	4,375,817 (100.4%)	4,404,127 (100.6%)	4,376,637 (99.4%)	4,290,965 (98.0%)	
2		手数料	95,473 (-)	94,067 (98.5%)	96,617 (102.7%)	96,773 (100.2%)	104,636 (108.1%)	
3		寄付金	23,569 (-)	19,742 (83.8%)	24,159 (122.4%)	30,403 (125.8%)	31,203 (102.6%)	
4		経常費等補助金	400,386 (-)	406,894 (101.6%)	430,091 (105.7%)	396,548 (92.2%)	357,982 (90.3%)	
5		付随事業収入	2,812 (-)	1,666 (59.2%)	42,973 (2579.4%)	37,187 (86.5%)	31,886 (85.7%)	
6		雑収入	170,964 (-)	168,174 (98.4%)	231,477 (137.6%)	231,091 (99.8%)	65,552 (28.4%)	
7		教育活動収入計	5,052,681 (-)	5,066,360 (100.3%)	5,229,444 (103.2%)	5,168,639 (98.8%)	4,882,224 (94.5%)	
8	事業活動支出の部	人件費	2,996,959 (-)	3,045,323 (101.6%)	3,144,760 (103.3%)	3,147,148 (100.1%)	2,876,134 (91.4%)	
9		教育研究経費	1,450,292 (-)	1,466,669 (101.1%)	1,330,759 (90.7%)	1,385,372 (104.1%)	1,470,392 (106.1%)	
10		管理経費	354,907 (-)	311,550 (87.8%)	296,345 (95.1%)	289,025 (97.5%)	288,422 (99.8%)	
11		徴収不能繰入額等	11,583 (-)	5,715 (49.3%)	17,634 (308.6%)	9,804 (55.6%)	17,257 (176.0%)	
12		法人費繰出金	90,067 (-)	110,013 (122.1%)	102,970 (93.6%)	105,916 (102.9%)	120,133 (113.4%)	
13		教育活動支出計	4,903,808 (-)	4,939,269 (100.7%)	4,892,468 (99.1%)	4,937,265 (100.9%)	4,772,338 (96.7%)	
14	教育活動収支差額	148,873 (-)	127,090 (85.4%)	336,976 (265.1%)	231,374 (68.7%)	109,886 (47.5%)		
15	教育活動外収支	収入	教育活動外収入計	10,032 (-)	10,032 (100.0%)	10,032 (100.0%)	10,032 (100.0%)	10,032 (100.0%)
16		支出	教育活動外支出計	2,467 (-)	500 (20.3%)	3,247 (649.4%)	5,666 (174.5%)	5,300 (93.5%)
17	教育活動外収支差額	7,565 (-)	9,531 (126.0%)	6,785 (71.2%)	4,366 (64.3%)	4,732 (108.4%)		
18	経常収支差額	156,438 (-)	136,622 (87.3%)	343,761 (251.6%)	235,740 (68.6%)	114,618 (48.6%)		
19	特別収支	収入	特別収入計	73,891 (-)	23,108 (31.3%)	23,436 (101.4%)	22,273 (95.0%)	48,520 (217.8%)
20		支出	特別支出計	134,384 (-)	16,187 (12.0%)	44,277 (273.5%)	71,518 (161.5%)	66,033 (92.3%)
21	特別収支差額	△ 60,493 (-)	6,921 (△11.4%)	△ 20,841 (△301.1%)	△ 49,245 (△236.3%)	△ 17,513 (△35.6%)		
22	基本金組入前当年度収支差額	95,945 (-)	143,543 (149.6%)	322,920 (225.0%)	186,495 (57.8%)	97,105 (52.1%)		
23	基本金組入合計額	△ 486,089 (-)	△ 208,668 (42.9%)	△ 66,969 (32.1%)	△ 160,794 (240.1%)	△ 235,279 (146.3%)		
24	当年度収支差額	△ 390,144 (-)	△ 65,125 (16.7%)	255,951 (△393.0%)	25,701 (10.0%)	△ 138,174 (△537.6%)		
25	前年度繰越収支差額	1,479,488 (-)	1,089,344 (73.6%)	1,025,219 (94.1%)	1,281,170 (125.0%)	1,306,871 (102.0%)		
26	基本金取崩額	0 (-)	1,000 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)		
27	翌年度繰越収支差額	1,089,344 (-)	1,025,219 (94.1%)	1,281,170 (125.0%)	1,306,871 (102.0%)	1,168,698 (89.4%)		
【参考】								
28	事業活動収入計	5,136,605 (-)	5,099,500 (99.3%)	5,262,912 (103.2%)	5,200,944 (98.8%)	4,940,775 (95.0%)		
29	事業活動支出計	5,040,660 (-)	4,955,957 (98.3%)	4,939,992 (99.7%)	5,014,449 (101.5%)	4,843,670 (96.6%)		
30	減価償却額の合計	440,055 (-)	438,876 (99.7%)	613,077 (139.7%)	371,758 (60.6%)	385,075 (103.6%)		

【注】 下段の () 内は前年度比%を表す。

※2015年度より学校法人会計基準が変更になった。

3 貸借対照表

学園全体

(単位：千円) (表Ⅲ-3-①)

	資 産 の 部	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	備 考
1	固定資産	27,743,821 (-)	27,916,532 (100.6%)	27,925,438 (100.0%)	28,084,370 (100.6%)	28,285,077 (100.7%)	
2	有形固定資産	16,876,245 (-)	16,542,490 (98.0%)	16,340,943 (98.8%)	16,077,407 (98.4%)	16,059,163 (99.9%)	
3	土地	1,615,181 (-)	1,615,181 (100.0%)	1,615,181 (100.0%)	1,615,181 (100.0%)	1,615,181 (100.0%)	
4	建物	11,395,046 (-)	11,099,343 (97.4%)	10,830,620 (97.6%)	10,591,823 (97.8%)	10,346,490 (97.7%)	
5	構築物	535,359 (-)	552,400 (103.2%)	520,925 (94.3%)	497,500 (95.5%)	464,685 (93.4%)	
6	教育研究用機器備品	881,822 (-)	762,985 (86.5%)	805,261 (105.5%)	771,147 (95.8%)	971,103 (125.9%)	
7	管理用機器備品	55,530 (-)	53,421 (96.2%)	47,716 (89.3%)	44,133 (92.5%)	41,970 (95.1%)	
8	図書	2,391,521 (-)	2,458,454 (102.8%)	2,520,534 (102.5%)	2,556,917 (101.4%)	2,619,028 (102.4%)	
9	車輛	1,786 (-)	706 (39.5%)	706 (100.0%)	706 (100.0%)	706 (100.0%)	
10	建設仮勘定	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	
11	特定資産	10,741,893 (-)	11,262,437 (104.8%)	11,482,624 (102.0%)	11,924,215 (103.8%)	12,152,090 (101.9%)	
12	第2号基本金引当特定資産	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	
13	第3号基本金引当特定資産	388,257 (-)	388,801 (100.1%)	389,988 (100.3%)	390,579 (100.2%)	391,454 (100.2%)	
14	退職給与引当特定資産	807,000 (-)	810,000 (100.4%)	813,000 (100.4%)	813,000 (100.0%)	823,000 (101.2%)	
15	減価償却引当特定資産	9,147,000 (-)	9,664,000 (105.7%)	9,880,000 (102.2%)	10,321,000 (104.5%)	10,538,000 (102.1%)	
16	その他の特定資産他	399,636 (-)	399,636 (100.0%)	399,636 (100.0%)	399,636 (100.0%)	399,636 (100.0%)	
17	その他の固定資産	125,683 (-)	111,605 (88.8%)	101,871 (91.3%)	82,748 (81.2%)	73,824 (89.2%)	
18	電話加入権	4,789 (-)	4,789 (100.0%)	4,789 (100.0%)	4,789 (100.0%)	4,789 (100.0%)	
19	ソフトウェア	67,170 (-)	57,420 (85.5%)	53,599 (93.3%)	38,441 (71.7%)	28,760 (74.8%)	
20	ソフトウェア仮勘定	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2,118 (-)	
21	有価証券	31,348 (-)	30,804 (98.3%)	29,617 (96.1%)	29,026 (98.0%)	28,151 (97.0%)	
22	長期貸付金	18,600 (-)	14,730 (79.2%)	11,898 (80.8%)	8,269 (69.5%)	8,410 (101.7%)	
23	その他	3,776 (-)	3,862 (102.3%)	1,968 (51.0%)	2,223 (113.0%)	1,596 (71.8%)	
24	流動資産	1,665,028 (-)	1,501,393 (90.2%)	1,564,325 (104.2%)	1,354,138 (86.6%)	841,067 (62.1%)	
25	現金預金	1,448,154 (-)	709,387 (49.0%)	1,266,973 (178.6%)	1,076,794 (85.0%)	568,151 (52.8%)	
26	未収入金	176,264 (-)	244,296 (138.6%)	266,663 (109.2%)	254,728 (95.5%)	255,354 (100.2%)	
27	短期貸付金	25,829 (-)	20,317 (78.7%)	16,851 (82.9%)	14,668 (87.0%)	12,022 (82.0%)	
28	有価証券	0 (-)	514,303 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	
29	その他	14,781 (-)	13,090 (88.6%)	13,838 (105.7%)	7,948 (57.4%)	5,540 (69.7%)	
30	資 産 の 部 合 計	29,408,849 (-)	29,417,924 (100.0%)	29,489,763 (100.2%)	29,438,508 (99.8%)	29,126,144 (98.9%)	

3 貸借対照表

学園全体

(単位：千円) (表Ⅲ-3-②)

負債の部	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	備考
1 固定負債	4,313,266 (-)	4,173,231 (96.8%)	4,018,418 (96.3%)	3,856,647 (96.0%)	3,706,247 (96.1%)	
2 長期借入金	2,759,610 (-)	2,615,660 (94.8%)	2,459,710 (94.0%)	2,291,760 (93.2%)	2,123,830 (92.7%)	
3 長期未払金	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	
4 退職給与引当金	1,553,656 (-)	1,557,571 (100.3%)	1,558,708 (100.1%)	1,564,887 (100.4%)	1,582,417 (101.1%)	
5 流動負債	1,706,790 (-)	1,764,432 (103.4%)	1,767,343 (100.2%)	1,746,512 (98.8%)	1,609,300 (92.1%)	
6 短期借入金	312,210 (-)	323,950 (103.8%)	335,950 (103.7%)	347,950 (103.6%)	347,930 (100.0%)	
7 未払金	327,528 (-)	384,127 (117.3%)	405,524 (105.6%)	393,820 (97.1%)	283,391 (72.0%)	
8 前受金	920,876 (-)	910,471 (98.9%)	888,194 (97.6%)	865,733 (97.5%)	842,732 (97.3%)	
9 預り金	146,176 (-)	145,884 (99.8%)	137,675 (94.4%)	139,009 (101.0%)	135,247 (97.3%)	
10 負債の部合計	6,020,056 (-)	5,937,663 (98.6%)	5,785,761 (97.4%)	5,603,159 (96.8%)	5,315,547 (94.9%)	

純資産の部	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	備考
11 基本金	25,298,329 (-)	25,624,891 (101.3%)	25,823,984 (100.8%)	26,136,291 (101.2%)	26,496,188 (101.4%)	
12 第1号基本金	24,388,072 (-)	24,729,090 (101.4%)	24,926,996 (100.8%)	25,238,712 (101.3%)	25,597,734 (101.4%)	
13 第2号基本金	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	
14 第3号基本金	388,257 (-)	388,801 (100.1%)	389,988 (100.3%)	390,579 (100.2%)	391,454 (100.2%)	
15 第4号基本金	522,000 (-)	507,000 (97.1%)	507,000 (100.0%)	507,000 (100.0%)	507,000 (100.0%)	
16 繰越収支差額	△1,909,536 (-)	△2,144,630 (112.3%)	△2,119,982 (98.9%)	△2,300,942 (108.5%)	△2,685,591 (116.7%)	
17 翌年度繰越収支差額	△1,909,536 (-)	△2,144,630 (112.3%)	△2,119,982 (98.9%)	△2,300,942 (108.5%)	△2,685,591 (116.7%)	
18 純資産の部合計	23,388,793 (-)	23,480,261 (100.4%)	23,704,002 (101.0%)	23,835,349 (100.6%)	23,810,597 (99.9%)	
19 負債及び純資産の部合計	29,408,849 (-)	29,417,924 (100.0%)	29,489,763 (100.2%)	29,438,508 (99.8%)	29,126,144 (98.9%)	

[注] 下段の()内は前年度比%を表す。

※2015年度より学校法人会計基準が変更になった。

4 事業活動収支計算書関係比率一覧

大学・短期大学部

(単位：%) (表Ⅲ-4)

	比 率	算出方法	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2018年度全国平均	備 考
1	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	86.1	86.2	84.1	84.5	87.7	83.4	
2	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	7.8	8.2	8.3	7.7	7.9	7.0	
3	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	59.2	60.0	60.0	60.8	58.8	50.6	
4	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	68.7	69.6	71.4	71.9	67.0	60.6	
5	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	
6	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	28.6	28.9	25.4	26.8	30.1	33.1	
7	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	7.0	6.1	5.7	5.6	5.9	8.6	
8	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	9.0	8.9	7.5	7.5	8.1	11.9	
9	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	9.5	4.1	1.3	3.1	4.8	10.4	
10	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	2.9	2.5	6.4	4.5	2.3	6.5	
11	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	3.1	2.7	6.6	4.6	2.3	7.5	
12	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入-基本金組入額}}$	108.4	101.3	95.1	99.5	102.9	103.6	

*1 全国平均は、「令和元年度版 今日の私学財政」(日本私立学校振興・共済事業団)の平成30年度財務比率表(系統別)の大学部門を参照した(P545)。

*2015年度より学校法人会計基準が変更になった。

5 貸借対照表関係比率（法人全体）

（単位：％）（表Ⅲ-5）

	比 率	算出方法	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2018年度全国平均	備 考
1	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	118.6	118.9	117.8	117.8	118.8	96.9	
2	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}+\text{固定負債}}$	100.2	101.0	100.7	101.4	102.8	90.7	
3	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	97.6	85.1	88.5	77.5	52.3	250.9	
4	特定資産構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	36.5	38.3	38.9	40.5	41.7	21.4	
5	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	20.5	20.2	19.6	19.0	18.3	11.8	
6	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	25.7	25.3	24.4	23.5	22.3	13.4	
7	内部留保資産比率	$\frac{\text{運用資産}(*1)-\text{総負債}}{\text{総資産}}$	21.1	22.4	23.7	25.2	25.5	26.4	
8	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	93.7	94.3	95.0	95.6	96.2	98.0	
9	積立率	$\frac{\text{運用資産}(*1)}{\text{要積立額}(*2)}$	110.2	107.8	109.4	106.1	101.9	82.1	

[注]

*1 運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券

*2 要積立額＝減価償却累計額＋退職給与引当金＋2号基本金＋3号基本金

*3 全国平均は、「今日の私学財政」(日本私立学校振興・共済事業団発行)より、大学法人の文他複数学部平均額から算出した。

*2015年度より学校法人会計基準が変更になった。

6 大学施設の外部への貸出状況

2020. 3. 31

〔2015～2019〕

(表Ⅲ-6)

施設名等		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	備考 (主な使用目的)
チャペル	件数	9 件	1 件	0 件	0 件	0 件	コンサート
	金額	20,000 円	16,000 円	0 円	0 円	0 円	結婚式
教室	件数	4 件	3 件	3 件	2 件	3 件	札幌市職員採用試験、英語技能検定
	金額	1,178,064 円	1,962,144 円	1,614,384 円	870,264 円	827,344 円	聖徳大学通信教育部
体育館	件数	3 件	1 件	2 件	1 件	0 件	日本バレーボール協会 全国指導者講習会
	金額	0 円	50,000 円	1,231,358 円	50,000 円	0 円	選挙開票所
野球場	件数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	
	金額	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	
学生会館	件数	3 件	5 件	4 件	3 件	5 件	
	金額	262,000 円	314,500 円	219,100 円	368,500 円	378,000 円	
ゲストハウスA	件数	3 件	0 件	0 件	0 件	0 件	非常勤講師宿泊
	金額	9,000 円	0 円	0 円	0 円	0 円	
ゲストハウスB	件数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	
	金額	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	
合計	件数	22 件	10 件	9 件	6 件	8 件	
	金額	1,469,064 円	2,342,644 円	3,064,842 円	1,288,764 円	1,205,344 円	

7 経常費補助金（一般補助）の推移状況

(1) 大学〔2015～2019〕

(単位：千円)

(表Ⅲ-7-①)

項目	年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度								
専任教員給与費（算定基礎）	121人		130,273		123人		106,864		128人		111,344		124人		119,184		123人		101,034
教育研究経常費			72,243				70,558				73,773				63,368				54,282
研究旅費			1,591				1,304				1,359				1,455				1,233
専任職員給与費（算定基礎）	81人		54,190		84人		45,180		84人		45,509		84人		49,959		80人		40,796
非常勤教員給与費			8,938				7,314				7,656				8,115				6,855
教職員福利厚生費			22,815				23,279				23,731				23,973				22,427
非常勤教員福利厚生費			50				45				43				42				42
私立大学退職金財団掛金			27,369				27,127				28,217				27,979				26,948
厚生補導費			2,405				1,936				1,956				2,149				1,824
合計			319,874				283,607				293,588				296,224				255,441
〔対前年比〕			103.9%				88.7%				103.5%				100.9%				86.2%

(2) 短期大学部〔2015～2019〕

(単位：千円)

(表Ⅲ-7-②)

項目	年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度								
専任教員給与費（算定基礎）	16人		19,740		16人		16,005		18人		19,152		18人		21,994		18人		23,800
教育研究経常費			11,925				10,468				10,569				11,859				12,296
研究旅費			283				229				275				315				341
専任職員給与費（算定基礎）	11人		9,948		11人		8,068		12人		9,390		12人		10,823		12人		11,684
非常勤教員給与費			1,609				1,305				1,569				1,809				1,953
教職員福利厚生費			2,744				2,732				3,026				3,122				3,028
非常勤教員福利厚生費			6				5				6				6				6
私立大学退職金財団掛金			3,239				3,183				3,513				3,701				3,613
厚生補導費			392				318				339				391				422
合計			49,886				42,313				47,839				54,020				57,143
〔対前年比〕			95.7%				84.8%				113.1%				112.9%				105.8%

8 経常費補助金（特別補助）の推移状況

(1) 大学〔2015～2019〕

(単位：千円) (表Ⅲ-8-①)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
I. 成長力強化に貢献する質の高い教育	3,634				
1. 就職支援・就業力育成の充実	3,339				
2. 被災地への復興支援	295				
I. 成長力強化に貢献する質の高い教育		4,529			
1. 地方に貢献する大学等への支援		4,529			
2. 医学部入学定員の増員		0			
I. 成長力強化に貢献する質の高い教育			3,300	2,647	3,540
1. 地方に貢献する大学等への支援			3,000	2,365	3,240
2. 医学部入学定員の増加			0	0	0
3. 被災地の復興支援			300	282	300
II. 社会人の組織的な受入れ	4,370	4,441	4,450	3,285	0
1. 正規学生としての受入れ	3,535	3,197	2,100	1,126	
2. 多様な形態による受入れに対する支援	246	178	250	188	
1 科目等履修生	246	178	250	188	
2 専攻科・別科	0	0	0	0	
3 履修証明プログラム	0	0	0	0	
3. 社会人の受入れ環境整備	589	1,066	2,100	1,971	0
III. 大学等の国際交流の基盤整備	5,481	6,954	3,930	4,073	5,240
1. 海外からの学生の受入れ	1,002	1,146	1,050	1,211	1,170
2. 海外からの教員の招へい	0	0	300	0	0
3. 学生の海外派遣	354	480	780	422	870
4. 教員の海外派遣	0	2,131	0	751	800
5. 大学等の教育研究環境の国際化	1,473	1,599	1,800	1,689	2,400
6. 留学生に対する授業料減免支援	0				
7. 実践的な語学力の習得や国際理解の推進	2,357	1,332			
8. クールジャパンを活用した日本文化の発信	295	266			
IV. 大学院等の機能の高度化	2,455	2,398	2,726	1,783	2,100
1. 大学院における研究の充実	2,455	2,398	2,726	1,783	2,100
2. 研究施設運営支援	0	0	0	0	0
3. 大型設備等運営支援	0	0	0	0	0
4. 私立大学研究ブランディング事業(継続分)		0	0	0	0
5. 戦略的研究基盤形成支援(継続分)	0	0	0	0	0
6. 大学間連携等による共同研究	0	0	0	0	0
7. 専門職大学院等	0	0	0	0	0
8. 法科大学院	0	0	0	0	0
9. 短大・高専における教育研究の充実	0	0	0	0	0
1 教育組織の高度化(専攻科)支援	0	0	0	0	0
2 研究支援	0	0	0	0	0
V. 経営強化等支援	0	0	0	0	0
1. 私立大学等経営強化集中支援事業	0	0	0	0	0
2. 未来経営戦略推進経費(継続分)	0	0	0		
VI. 授業料減免及び学生の経済的支援体制の充実	3,660	10,990	16,030	19,870	26,206
1. 授業料減免事業支援経費			15,350	19,190	23,580
1. 授業料減免事業及び学生経済的支援体制の充実	2,980	10,310			
1. 授業料減免事業支援経費(熊本地震分)			0	0	
1. 授業料減免事業支援経費(平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨等、平成30年北海道胆振東部地震分)					296
2. 卓越した学生に対する授業料減免等事業	680	680	680	680	680
3. 特色ある経済的支援方策	0	0	0	0	1,650

8 経常費補助金（特別補助）の推移状況

(1) 大学〔2015～2019〕

(表Ⅲ-8-②)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
VII. 東日本大震災に係る支援	0	0	0	0	0
1. 授業料減免事業等支援経費（震災分）	0	0	0	0	0
2. 被災私立大学等復興特別補助	0	0	0	0	0
3. 被災私立大学等復興特別補助(福島県内の大学等)	/	0	0	0	0
VIII. 平成28年度熊本地震からの復興支援	/	0	0	/	/
1. 教育研究活動復旧費	/	0	0	/	/
2. 授業料減免事業等支援(熊本地震分)	/	0	/	/	/
VIII. 平成30年7月豪雨等からの復興支援	/	/	/	0	/
1. 教育研究活動復旧費(平成30年7月豪雨等分)	/	/	/	0	/
2. 授業料減免事業等支援(平成30年7月豪雨等分)	/	/	/	0	/
VIII. 平成30年北海道胆振東部地震からの復興支援	/	/	/	1,376	/
1. 教育研究活動復旧費(平成30年北海道胆振東部地震分)	/	/	/	1,080	/
2. 授業料減免事業等支援(平成30年北海道胆振東部地震分)	/	/	/	296	/
VIII. 台風第19号、第20号及び第21号からの復興支援	/	/	/	/	0
1. 教育研究環境復旧費(台風第19号、第20号及び第21号分)	/	/	/	/	0
2. 授業料減免事業等支援(台風第19号、第20号及び第21号分)	/	/	/	/	0
私立大学等改革総合支援事業	0	19,137	36,300	0	/
1. 建学の精神を生かした大学教育の質向上（大学教育質転換型）	0	11,632	20,300	0	/
2. 特色を發揮し、地域の發展を重層的に支える大学づくり（地域特色型）	0	0	8,000	/	/
2. 産業界との連携	/	/	/	0	/
3. 産業界など多様な主体、国内外の大学等と連携した教育研究（多様な連携型）	0	0	0	/	/
3. 他大学との広域・分野連携	/	/	/	0	/
4. グローバル化への対応	0	7,505	8,000	0	/
5. プラットフォーム形成	/	/	0	0	/
私立大学等改革総合支援事業	/	/	/	/	0
1. 特色ある教育の展開	/	/	/	/	0
2. 特色ある高度な教育の展開	/	/	/	/	0
3. 地域社会への貢献	/	/	/	/	0
4. 社会実装の推進	/	/	/	/	0
特別補助 計	19,600	48,449	66,736	33,034	37,086
対前年度比	96.5%	247.2%	137.7%	49.5%	112.3%

※ 2013年度～2018年度は、一部項目の追加と統合がなされたため、当該年度に無い項目は「/」とする。

8 経常費補助金（特別補助）の推移状況

(2) 短期大学部〔2015～2019〕

(単位：千円)

(表Ⅲ-8-③)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
I. 成長力強化に貢献する質の高い教育	2,357				
1.就職支援・就業力育成の充実	2,062				
2.被災地への復興支援	295				
I. 成長力強化に貢献する質の高い教育		3,996			
1.地方に貢献する大学等への支援		3,996			
2.医学部入学定員の増員		0			
I. 成長力強化に貢献する質の高い教育			2,700	2,647	3,540
1.地方に貢献する大学等への支援			2,400	2,365	3,240
2.医学部入学定員の増加			0	0	0
3.被災地の復興支援			300	282	300
II. 社会人の組織的な受入れへの支援	0	0	1,500	1,408	0
1.正規学生としての受入れ	0	0	0	0	
2.多様な形態による受入れに対する支援	0	0	0	0	
1 科目等履修生	0	0	0	0	
2 専攻科・別科	0	0	0	0	
3 履修証明プログラム	0	0	0	0	
3.社会人の受入れ環境整備	0	0	1,500	1,408	0
III. 大学等の国際交流の基盤整備	4,448	3,197	1,920	2,139	0
1.海外からの学生の受入れ	29	0	0	0	0
2.海外からの教員の招へい	0	0	0	0	0
3.学生の海外派遣	0	0	120	450	0
4.教員の海外派遣	0	0	0	0	0
5.大学等の教育研究環境の国際化	1,473	1,599	1,800	1,689	0
6.留学生に対する授業料減免支援	0				
7.実践的な語学力の習得や国際理解の推進	2,946	1,332			
8.クールジャパンを活用した日本文化の発信	0	266			
IV. 大学院等の機能の高度化	471	426	540	507	540
1.大学院における研究の充実	0	0	0	0	0
2.研究施設運営支援	0	0	0	0	0
3.大型設備等運営支援	0	0	0	0	0
4.私立大学研究ブランディング事業（継続分）		0	0	0	0
5.戦略的研究基盤形成支援（継続分）	0	0	0	0	0
6.大学間連携等による共同研究	0	0	0	0	0
7.専門職大学院等	0	0	0	0	0
8.法科大学院	0	0	0	0	0
9.短大・高専における教育研究の充実	471	426	540	507	540
1 教育組織の高度化(専攻科)支援	0	0	0	0	0
2 研究支援	471	426	540	507	540
V. 経営強化等支援	0	0	0	0	0
1.私立大学等経営強化集中支援事業	0	0	0	0	0
2.未来経営戦略推進経費（継続分）	0	0	0		

8 経常費補助金（特別補助）の推移状況

(2) 短期大学部〔2015～2019〕

(単位：千円) (表Ⅲ-8-④)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2018年度
VI. 授業料減免及び学生の経済的支援体制の充実	1,310	4,236	6,880	6,186	3,866
1. 授業料減免事業支援経費	/	/	6,880	5,900	3,550
1. 授業料減免事業及び学生経済的支援体制の充実	1,310	3,950	/	/	/
1. 授業料減免事業支援経費（熊本地震分）	/	/	0	0	/
1. 授業料減免事業支援経費（平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨等、平成30年北海道胆振東部地震分）	/	/	/	/	0
2. 卓越した学生に対する授業料減免等事業	0	286	0	286	286
3. 特色ある経済的支援方策	0	0	0	0	30
VII. 東日本大震災からの復興支援	0	0	0	0	0
1. 授業料減免事業等支援経費（震災分）	0	0	0	0	0
2. 被災私立大学等復興特別補助	0	0	0	0	0
3. 被災私立大学等復興特別補助（福島県内の大学等）	/	/	/	/	/
VIII. 平成28年度熊本地震からの復興支援	/	0	0	/	/
1. 教育研究活動復旧費	/	0	0	/	/
2. 授業料減免事業等支援（熊本地震分）	/	0	/	/	/
VIII. 平成30年7月豪雨等からの復興支援	/	/	/	0	/
1. 教育研究活動復旧費（平成30年7月豪雨等分）	/	/	/	0	/
2. 授業料減免事業等支援（平成30年7月豪雨等分）	/	/	/	0	/
VIII. 平成30年北海道胆振東部地震からの復興支援	/	/	/	0	/
1. 教育研究活動復旧費（平成30年北海道胆振東部地震分）	/	/	/	0	/
2. 授業料減免事業等支援（平成30年北海道胆振東部地震分）	/	/	/	0	/
VIII. 台風第19号、第20号及び第21号からの復興支援	/	/	/	/	0
1. 教育研究環境復旧費（台風第19号、第20号及び第21号分）	/	/	/	/	0
2. 授業料減免事業等支援（台風第19号、第20号及び第21号分）	/	/	/	/	0
私立大学等改革総合支援事業	0	18,105	8,000	0	/
1. 建学の精神を生かした大学教育の質向上（大学教育質転換型）	0	10,600	0	0	/
2. 特色を發揮し、地域の發展を重層的に支える大学づくり（地域特色型）	0	0	0	/	/
2. 産業界との連携	/	/	/	0	/
3. 産業界など多様な主体、国内外の大学等と連携した教育研究（多様な連携型）	0	0	0	/	/
3. 他大学との広域・分野連携	/	/	/	0	/
4. グローバル化への対応	0	7,505	8,000	0	/
5. プラットフォーム形成	/	/	0	0	/
私立大学等改革総合支援事業	/	/	/	/	0
1. 特色ある教育の展開	/	/	/	/	0
2. 特色ある高度な教育の展開	/	/	/	/	0
3. 地域社会への貢献	/	/	/	/	0
4. 社会実装の推進	/	/	/	/	0
特別補助 計	8,586	29,960	21,540	12,887	7,946
対前年度比	142.6%	348.9%	71.9%	59.8%	61.7%

※ 2013年度～2018年度は、一部項目の追加と統合がなされたため、当該年度に無い項目は「/」とする。

9 校地、校舎等の面積一覧〔2019年度〕

(5月1日現在)

(表Ⅲ-9)

		備 考
収 容 定 員	3,819 人	
校 地 面 積	76,344.21 m ²	校宅敷地含む
学生1人当面積	19.99 m ²	
校 舎 面 積	39,623.59 m ²	
学生1人当面積	10.38 m ²	
図 書 館	7,748.90 m ²	
学生1人当面積	2.03 m ²	
厚 生 施 設	5,640.97 m ²	大学会館及び学生交流会館
学生1人当面積	1.48 m ²	
体 育 館	5,657.11 m ²	
学生1人当面積	1.48 m ²	
運 動 場	38,851.79 m ²	野球場及びグラウンド
学生1人当面積	10.17 m ²	
そ の 他	- m ²	
学生1人当面積	- m ²	

10 講義室、演習室等の面積・規模一覧〔2019年度〕

(5月1日現在)

(表Ⅲ-10)

	室 数	総面積 (m ²)	収容人員 (人)	学生総数 (人)	在籍学生1人当 面積 (m ²)	備 考
講 義 室	54	7,101.79	5,338	4,281	1.659	
演 習 室	32	1,558.85	700	4,281	0.364	
実験・実習室等	14	964.02		4,281	0.225	
情報処理学習室	13	1,492.56	484	4,281	0.349	
語学学習施設	4	475.45	165	4,281	0.111	
学生自習室	0	0.00		4,281	0.000	
体 育 館	1	5,657.11				
チ ャ ペ ル	1	245.61	240	4,281	0.057	
講 堂	2	1,241.48	1,112	4,281	0.290	
ラーニング・commons	1	490.17		4,281	0.115	
合 計	122	19,227.04				

11 各講義室の面積・規模・使用状況一覧 [2019年度]

(表Ⅲ-11-①)

	教室	面積 (㎡)	収容 人数 (人)	使用度数 (1週間当教室使用回数)						備 考 (設置機材等)
				前期 (回)	使用率 (%)	後期 (回)	使用率 (%)	通年 (回)	使用率 (%)	
1	図4A	412.80	306	2	8%	1	4%	3	6%	プロジェクタ BD/DVD/CD/VHS/カセット OHC
2	図4B	412.80	306	1	4%	1	4%	2	4%	プロジェクタ BD/DVD/CD/VHS/カセット OHC
3	A300	102.25	70	9	36%	10	40%	19	38%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
4	A301	88.40	44	12	48%	14	56%	26	52%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
5	A303	84.95	44	11	44%	14	56%	25	50%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
6	A305	367.29	344	13	52%	10	40%	23	46%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット OHC
7	A400	102.20	99	11	44%	18	72%	29	58%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
8	A401	185.57	141	12	48%	16	64%	28	56%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット OHC
9	A403	300.44	267	12	48%	9	36%	21	42%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット OHC
10	A404	90.00	80	9	36%	14	56%	23	46%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
11	A407	79.00	50	14	56%	16	64%	30	60%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
12	A408	125.00	110	7	28%	10	40%	17	34%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット OHC
13	A500	102.25	99	10	40%	12	48%	22	44%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
14	A501	247.43	138	14	56%	14	56%	28	56%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット OHC
15	A503	300.44	267	10	40%	14	56%	24	48%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット OHC
16	A504	70.12	50	16	64%	18	72%	34	68%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
17	A506	70.12	50	16	64%	19	76%	35	70%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
18	A507	79.00	50	12	48%	11	44%	23	46%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
19	A508	61.50	40	9	36%	15	60%	24	48%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
20	A509	63.50	40	12	48%	17	68%	29	58%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
21	A603	230.00	248	13	52%	8	32%	21	42%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット OHC
22	A605	86.25	64	17	68%	15	60%	32	64%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
23	A607	86.25	64	9	36%	11	44%	20	40%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
24	A702	75.00	50	15	60%	16	64%	31	62%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
25	A703	150.00	140	11	44%	6	24%	17	34%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット OHC
26	A704	75.00	50	20	80%	19	76%	39	78%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
27	A705	150.00	136	13	52%	11	44%	24	48%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット OHC
28	A706	61.50	40	15	60%	12	48%	27	54%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
29	A708	68.50	40	13	52%	17	68%	30	60%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
30	A709	79.00	50	19	76%	17	68%	36	72%	プロジェクタ DVD/CD/VHS/カセット
31	B301	76.50	50	5	20%	6	24%	11	22%	プロジェクタ DVD/CD/MD/VHS/カセット
32	B400	61.20	48	11	44%	8	32%	19	38%	プロジェクタ DVD/CD/MD/VHS/カセット
33	B401	76.50	50	15	60%	13	52%	28	56%	プロジェクタ DVD/CD/MD/VHS/カセット
34	B402	283.80	252	11	44%	8	32%	19	38%	プロジェクタ DVD/CD/MD/VHS/カセット OHC
35	B403	73.50	50	16	64%	17	68%	33	66%	プロジェクタ DVD/CD/MD/VHS/カセット
36	B405	150.00	118	7	28%	7	28%	14	28%	プロジェクタ DVD/CD/MD/VHS/カセット OHC
37	B500	190.50	157	12	48%	6	24%	18	36%	プロジェクタ DVD/CD/MD/VHS/カセット OHC
38	B501	76.50	50	15	60%	15	60%	30	60%	プロジェクタ DVD/CD/MD/VHS/カセット
39	B502	93.50	70	10	40%	11	44%	21	42%	プロジェクタ DVD/CD/MD/VHS/カセット
40	B503	73.50	50	15	60%	15	60%	30	60%	プロジェクタ DVD/CD/MD/VHS/カセット
41	B504	97.20	70	10	40%	12	48%	22	44%	プロジェクタ DVD/CD/MD/VHS/カセット
42	B505	73.50	50	11	44%	15	60%	26	52%	プロジェクタ DVD/CD/MD/VHS/カセット
小計		5,732.76	4,492							

11 各講義室の面積・規模・使用状況一覧 [2019年度]

(表Ⅲ-11-②)

	教室	面積 (㎡)	収容 人数 (人)	使用度数 (1週間当教室使用回数)						備 考 (設置機材等)
				前期 使用率 (回)	後期 使用率 (%)	後期 使用率 (回)	後期 使用率 (%)	通年 使用率 (回)	通年 使用率 (%)	
43	B507	76.50	50	16	64%	15	60%	31	62%	ﾌﾟﾚｼﾞｪﾝﾀ DVD/CD/MD/VHS/ｶｾｯﾄ
44	B607	69.10	50	14	56%	13	52%	27	54%	ﾌﾟﾚｼﾞｪﾝﾀ DVD/CD/MD/VHS/ｶｾｯﾄ
45	B609	71.90	50	19	76%	16	64%	35	70%	ﾌﾟﾚｼﾞｪﾝﾀ DVD/CD/MD/VHS/ｶｾｯﾄ
46	C400	308.75	240	14	56%	14	56%	28	56%	ﾌﾟﾚｼﾞｪﾝﾀ BD/DVD/CD OHC
47	C401	118.16	80	19	76%	15	60%	34	68%	ﾌﾟﾚｼﾞｪﾝﾀ BD/DVD/CD OHC
48	C402	165.91	90	14	56%	16	64%	30	60%	ﾌﾟﾚｼﾞｪﾝﾀ BD/DVD/CD OHC
49	C403	120.45	78	13	52%	15	60%	28	56%	ﾌﾟﾚｼﾞｪﾝﾀ BD/DVD/CD OHC
50	C500	244.09	150	15	60%	11	44%	26	52%	ﾌﾟﾚｼﾞｪﾝﾀ BD/DVD/CD OHC
51	C501	137.13	90	13	52%	19	76%	32	64%	ﾌﾟﾚｼﾞｪﾝﾀ BD/DVD/CD OHC
52	C502	230.57	150	18	72%	18	72%	36	72%	ﾌﾟﾚｼﾞｪﾝﾀ BD/DVD/CD OHC
53	C700	308.75	225	11	44%	10	40%	21	42%	ﾌﾟﾚｼﾞｪﾝﾀ BD/DVD/CD OHC
54	C701	79.13	50	17	68%	17	68%	34	68%	ﾌﾟﾚｼﾞｪﾝﾀ BD/DVD/CD OHC
55	C702	165.91	90	15	60%	11	44%	26	52%	ﾌﾟﾚｼﾞｪﾝﾀ BD/DVD/CD OHC
56	C703	78.59	50	16	64%	16	64%	32	64%	ﾌﾟﾚｼﾞｪﾝﾀ BD/DVD/CD OHC
57	C705	80.89	50	19	76%	13	52%	32	64%	ﾌﾟﾚｼﾞｪﾝﾀ BD/DVD/CD OHC
58	講堂	415.88	500	6	24%	4	16%	10	20%	ﾌﾟﾚｼﾞｪﾝﾀ BD/DVD/CD OHC
59	チャペル	189.00	180	0	0%	0	0%	0	0%	
小計		2,860.71	2,173							
計		8,593.47	6,665							

※ 使用率 (使用度数 ÷ 延教室数 × 100) 、延教室数 (5講 × 5日 = 25)

12 各演習室等の面積・規模・使用状況一覧〔2019年度〕

(表Ⅲ-12)

	教室	面積 (㎡)	収容 人数 (人)	使用度数(1週間当教室使用回数)						備 考(設置機材等)
				前期 (回)	使用率 (%)	後期 (回)	使用率 (%)	通年 (回)	使用率 (%)	
1	A 405	46.24	24	7	28%	10	40%	17	34%	テレビモニター BD/DVD/CD/VHS
2	A 406	45.00	24	8	32%	7	28%	15	30%	テレビモニター BD/DVD/CD/VHS
3	A 505	46.24	24	7	28%	7	28%	14	28%	テレビモニター BD/DVD/CD/VHS
4	A 601	57.50	30	6	24%	5	20%	11	22%	テレビモニター BD/DVD/CD/VHS
5	A 701	60.00	30	8	32%	12	48%	20	40%	テレビモニター BD/DVD/CD/VHS
6	B 300	50.00	23	0	0%	0	0%	0	0%	テレビモニター VHS
7	B 600	52.00	23	11	44%	11	44%	22	44%	テレビモニター BD/DVD/CD/VHS
8	B 601	48.90	24	13	52%	11	44%	24	48%	テレビモニター BD/DVD/CD/VHS
9	B 602	49.00	23	14	56%	15	60%	29	58%	テレビモニター BD/DVD/CD/VHS
10	B 603	46.10	24	11	44%	11	44%	22	44%	テレビモニター BD/DVD/CD/VHS
11	B 604	49.00	23	12	48%	12	48%	24	48%	テレビモニター BD/DVD/CD/VHS
12	B 605	46.10	24	11	44%	11	44%	22	44%	テレビモニター BD/DVD/CD/VHS
13	B 606	49.00	23	10	40%	10	40%	20	40%	テレビモニター BD/DVD/CD/VHS
14	B 608	49.00	23	12	48%	15	60%	27	54%	テレビモニター BD/DVD/CD/VHS
15	B 610	52.00	23	10	40%	8	32%	18	36%	テレビモニター BD/DVD/CD/VHS
16	C 503	48.78	24	8	32%	8	32%	16	32%	プロジェクタ(インタラクティブ機能付) BD/DVD/CD OHC
17	C 505	52.70	24	10	40%	7	28%	17	34%	プロジェクタ(インタラクティブ機能付) BD/DVD/CD OHC
18	C 600	48.90	24	16	64%	16	64%	32	64%	プロジェクタ BD/DVD/CD OHC
19	C 601	43.54	24	8	32%	2	8%	10	20%	プロジェクタ(インタラクティブ機能付) BD/DVD/CD OHC
20	C 602	49.92	24	13	52%	8	32%	21	42%	プロジェクタ BD/DVD/CD OHC
21	C 603	44.08	24	11	44%	9	36%	20	40%	プロジェクタ(インタラクティブ機能付) BD/DVD/CD OHC
22	C 604	44.70	24	14	56%	11	44%	25	50%	プロジェクタ BD/DVD/CD OHC
23	C 605	48.38	24	7	28%	9	36%	16	32%	プロジェクタ(インタラクティブ機能付) BD/DVD/CD OHC
24	C 606	44.70	24	12	48%	9	36%	21	42%	プロジェクタ BD/DVD/CD OHC
25	C 607	48.38	24	9	36%	11	44%	20	40%	プロジェクタ(インタラクティブ機能付) BD/DVD/CD OHC
26	C 608	37.25	24	13	52%	9	36%	22	44%	プロジェクタ BD/DVD/CD OHC
27	C 609	52.27	24	9	36%	11	44%	20	40%	プロジェクタ(インタラクティブ機能付) BD/DVD/CD OHC
28	C 610	42.47	20	9	36%	13	52%	22	44%	プロジェクタ BD/DVD/CD OHC
29	C 611	47.75	24	8	32%	9	36%	17	34%	プロジェクタ BD/DVD/CD OHC
計		1,399.90	697							

※ 使用率(使用度数÷延教室数×100)、延教室数(5講×5日=25)

13 語学学習室の面積・規模・使用状況一覧〔2019年度〕

(表Ⅲ-13)

	教室	面積 (㎡)	収容 人数 (人)	使用度数 (1週間当教室使用回数)						備 考 (設置機材等)
				前期 (回)	使用率 (%)	後期 (回)	使用率 (%)	通年 (回)	使用率 (%)	
1	CALL第1	154.25	55	6	24%	8	32%	14	28%	Lenovo TinkCentre M700z
2	CALL第2	162.45	48	12	48%	9	36%	21	42%	Lenovo TinkCentre M700z
3	CALL第3	106.50	35	15	60%	15	60%	30	60%	Lenovo TinkCentre M700z
計		423.20	138							

※ 使用率 (使用度数÷延教室数×100)、延教室数 (5講×5日講=25)

14 情報実習室の面積・規模・使用状況一覧〔2019年度〕

(表Ⅲ-14)

	教室	面積 (㎡)	収容 人数 (人)	使用度数 (1週間当教室使用回数)						備 考 (設置機材等)
				前期 (回)	使用率 (%)	後期 (回)	使用率 (%)	通年 (回)	使用率 (%)	
1	第1 情報実習室	76.50	24	10	40.0	8	32.0	18	36.0	Lenovo TinkCentre M700z
2	第2 情報実習室	93.30	30	8	32.0	8	32.0	16	32.0	Lenovo TinkCentre M700z
3	第3 情報実習室	93.30	30	13	52.0	12	48.0	25	50.0	Lenovo TinkCentre M700z
4	第4 情報実習室	97.20	30	11	44.0	14	56.0	25	50.0	Lenovo TinkCentre M700z
5	第5 情報実習室	150.00	72	9	36.0	11	44.0	20	40.0	Lenovo TinkCentre M700z
6	第6 情報実習室	159.40	60	16	64.0	16	64.0	32	64.0	Lenovo TinkCentre M700z
7	第7 情報実習室	159.40	60	14	56.0	12	48.0	26	52.0	Lenovo TinkCentre M700z
8	第8 情報実習室	159.40	24	12	48.0	13	52.0	25	50.0	Lenovo TinkCentre M700z
9	第9 情報実習室	150.22	50	17	68.0	15	60.0	32	64.0	Lenovo TinkCentre M700z
10	第10情報実習室	121.64	50	14	56.0	17	68.0	31	62.0	Lenovo TinkCentre M700z
11	第11情報実習室	121.64	44	11	44.0	13	52.0	24	48.0	iMac MB324J/A(44)
12	第12情報実習室	150.22	40	15	60.0	11	44.0	26	52.0	iMac MB324J/A(40)
計		1,532.22	514							

※ 使用率 (使用度数÷延教室数×100)、延教室数 (5講×5日=25)

15 実験・実習室等の面積・規模・使用状況一覧〔2019年度〕

(表Ⅲ-15)

	教室	面積 (㎡)	収容 人数 (人)	使用度数(1週間当教室使用回数)						備考(設置機材等)
				前期 (回)	使用率 (%)	後期 (回)	使用率 (%)	通年 (回)	使用率 (%)	
1	福祉臨床実習室	200.00	-	0	0%	0	0%	0	0%	ベッド
2	社会調査実習室	46.24	-	2	8%	0	0%	2	4%	
3	デザイン設計実習室	102.25	-	4	16%	4	16%	8	16%	製図用机
4	生活支援実習室	150.83	-	2	8%	2	8%	4	8%	ベッド、調理実習器材
5	工作・作業室	53.00	-	0	0%	0	0%	0	0%	
6	実験室A	22.30	-	0	0%	0	0%	0	0%	
7	防音実験室	4.64	-	0	0%	0	0%	0	0%	
8	実験室B	22.30	-	0	0%	0	0%	0	0%	
9	実験室C	57.10	-	0	0%	0	0%	0	0%	
10	スタジオ	61.20	-	0	0%	0	0%	0	0%	
11	第1実験室	52.00	-	0	0%	0	0%	0	0%	
12	第2実験室	26.00	-	0	0%	0	0%	0	0%	
13	第3実験室	26.00	-	0	0%	0	0%	0	0%	
14	第4実験室	52.00	-	0	0%	0	0%	0	0%	
15	第5実験室	37.00	-	0	0%	0	0%	0	0%	
16	第6実験室	120.00	-	0	0%	0	0%	0	0%	
17	カウンセリング室A	13.00	-	0	0%	0	0%	0	0%	
18	カウンセリング室B	13.00	-	0	0%	0	0%	0	0%	
計		1,058.86	-							

※ 使用率(使用度数÷延教室数×100)、延教室数(5講×5日=25)

16 施設の耐久性等の状況〔2019年度〕

(表Ⅲ-16)

校舎名称	建築年月	築年月数	耐用年数	備考 (改修等の記録)
A館	2002年 1月	18年 2月	60年	2015年 C館増築に伴う改修
B館	1995年12月	24年 3月	60年	
C館	2015年 2月	5年 1月	34年	
センター棟	1981年 9月	38年 6月	60年	1991年・2002年・2015年 改修
図書館・特別教室棟	1991年 2月	29年 1月	60年	1996年 エレベーター棟設置等に伴う解体改修
図書館	2003年 1月	17年 2月	47年	2003年 増築
エレベータ棟	1995年12月	24年 3月	40年	1995年 増築
第1研究室棟	1987年 2月	33年 1月	60年	1996年 用途変更に伴う改修
第2研究室棟	2002年 1月	18年 2月	60年	
大学会館	1986年 3月	34年 0月	60年	1994年 1階増築改修
大学会館	2002年 1月	18年 2月	60年	
体育館	2001年 1月	19年 2月	60年	
弓道場	1991年 9月	28年 6月	30年	
学生会館	1991年 9月	28年 6月	60年	
学生交流会館	2006年 2月	14年 1月	47年	
正門守衛所	2016年10月	3年 5月	34年	
居宅・ゲストハウス	1995年11月	24年 4月	24年	
倉庫(課外活動用)	2002年 3月	18年 0月	7年	
野球場倉庫	1993年12月	26年 3月	7年	
多目的グラウンド	2006年 2月	14年 1月	30年	
テニスコート	1994年 8月	25年 7月	30年	

17 情報システム事務室各種ハード・ソフト整備状況

[2017~2019]

(単位：円)

(表Ⅲ-17)

	2017年度	2018年度	2019年度	備 考
ハードの整備・充実状況	情報実習室及びCALL教 機器更新	教室LAN制御機器更新	教育研究用基幹サーバ 更新 A・B館無線LANの 設置	
ソフト充実件数 合計	0	0	0	
基本ソフト				
バージョンアップ	0	0	0	
経 費 合計	182,510,308	48,653,605	172,077,404	
ハード部分 小計	124,359,515	350,000	116,263,757	
購入代	124,359,515	350,000	116,263,757	
リース代	0	0	0	
ソフト部分 小計	23,076,000	12,042,040	14,445,624	
購入代	10,648,000	0	0	
リース代	12,428,000	12,042,040	14,445,624	
保守料	35,074,793	36,261,565	41,368,023	

18 各種教具の整備状況

〔2015～2019〕

(表Ⅲ-18)

	総数	購入年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	備 考 (設置・保管場所)
CD/MDラジカセ	5	1994年度～	0	0	0	0	0	教育支援課・非常勤講師控室
DVD/CDプレーヤー (移動型)	3	2002年度～	0	0	0	0	0	教育支援課
OHC (移動ワゴン)	4	1996年度～	10	0	0	0	0	教育支援課
OHC (ポータブル)	1	2002年度～	3	0	0	0	0	教育支援課
液晶プロジェクター	4	1997年度～	0	0	0	0	0	教育支援課
短焦点プロジェクター	3	2013年度～	0	0	0	0	0	教育支援課
CD/カセットデッキ (持運び)	1	1980年度～	0	0	0	0	0	教育支援課
移動型スクリーン	3		0	0	0	1	0	教育支援課
ストップウォッチ	6		0	0	0	0	0	教育支援課
スライド映写機	2	1972年度～	0	0	0	0	0	教育支援課
ビデオカメラ (デジタル)	4	2013年度～	0	0	0	0	0	教育支援課
ビデオデッキ (8ミリ)	1	1995年度～	0	0	0	0	0	教育支援課
テーブルベル	8		0	0	0	0	0	教育支援課
レーザーポインター	7	2013年度～	0	0	0	0	1	教育支援課・非常勤講師控室
TVコンバーター	3	1999年度～	0	0	0	0	0	教育支援課
ノート型パソコン	11	2005年度～	0	2	0	5	8	教育支援課・非常勤講師控室
BDプレーヤー (持運び)	4	2012年度～	0	0	0	0	0	教育支援課・非常勤講師控室
図書館4階A・B教室								
ビデオデッキ (DVD/VHS)	2	2003年度～	0	0	0	0	0	図書館4階A・B教室
カセットデッキ (教室設置)	2	1980年度～	0	0	0	0	0	図書館4階A・B教室
OHC (教室設置)	2	2018年度～				2	0	図書館4階A・B教室
設置型スクリーン	2	2018年度～				2	0	図書館4階A・B教室
BDプレーヤー	2	2018年度～				2	0	図書館4階A・B教室
A 館								
プロジェクター (教室設置)	29	2019年度～	0	0	0	0	29	大・中・語学教室 (A305は2台)
テレビモニター (教室設置)	8	2019年度～					8	A305・A403・A503・A603
スクリーン (教室設置)	29	2019年度～	0	0	0	0	29	大・中・語学教室 (A305は2枚)
BDプレーヤー (教室設置)	28	2019年度～	0	0	0	0	28	大・中・語学教室
OHC (教室設置)	28	2019年度～	0	0	0	0	28	大・中・語学教室
B 館								
プロジェクター (教室設置)	15	2019年度～	0	0	0	0	15	大・中・語学教室
テレビモニター (教室設置)	2	2019年度～	0	0	0	0	2	B402
スクリーン (教室設置)	15	2019年度～	0	0	0	0	15	大・中・語学教室
BDプレーヤー (教室設置)	15	2019年度～	0	0	0	0	15	大・中・語学教室
OHC (教室設置)	15	2019年度～	1	0	0	0	15	大・中・語学教室
C 館								
プロジェクター (教室設置)	30	2015年度～	30	0	0	0	0	全教室 (C400・C500・C502・C700は2台)
スクリーン (教室設置)	30	2015年度～	30	0	0	0	0	全教室 (C400・C500・C502・C700は2枚)
BDプレーヤー (教室設置)	26	2015年度～	26	0	0	0	0	全教室
OHC (教室設置)	12	2015年度～	12	0	0	0	0	大・中・語学教室
インタラクティブ機能	7	2015年度～	7	0	0	0	0	C503・505・601・603・605・607・609
ゼミ室 (A・B館)								
液晶テレビ	14	2016年度～		14	0	0	0	全館演習室移動スタンド (HDMI・RGBケーブル付)
BDプレーヤー	14	2016年度～		14	0	0	0	全館演習室移動スタンド (HDMI・RGBケーブル付)
ビデオデッキ (VHS)	14	1987年度～	0	0	0	0	0	全館演習室移動スタンド (HDMI・RGBケーブル付)

19 校庭等維持管理費の推移状況

2020. 3. 31

〔2015～2019〕

(単位：千円)

(表Ⅲ-19)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	備 考
校 庭 関 係	8,274	11,448	10,962	10,298	10,570	
駐 車 場 関 係	5,753	9,710	11,988	12,400	12,561	
そ の 他	108	693	71	209	0	
合 計	14,135	21,851	23,021	22,907	23,131	

IV. 本学の教育研究活動等の在り方及び目標に関すること

1 専任教員の国内外研修者数及び研修費執行状況一覧

[2015～2019]

(表IV-1)

種別	学 部	2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度			
		件数	総額(円)	一人当たり 支給額(円)	件数	総額(円)	一人当たり 支給額(円)	件数	総額(円)	一人当たり 支給額(円)	件数	総額(円)	一人当たり 支給額(円)	件数	総額(円)	一人当たり 支給額(円)	
国外研修	半年	文 学 部	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
		経 済 学 部	0	-	-	1	1,766,928	1,766,928	1	1,876,130	1,876,130	0	-	-	1	1,949,173	1,949,173
		社会福祉学部	1	2,082,853	2,082,853	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
		短期大学部	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
		計	1	2,082,853	2,082,853	1	1,766,928	1,766,928	1	1,876,130	1,876,130	0	0	0	1	1,949,173	1,949,173
	一年	文 学 部	0	-	-	1	3,505,460	3,505,460	1	3,699,659	3,699,659	0	-	-	0	-	-
		経 済 学 部	0	-	-	0	-	-	1	3,310,627	3,310,627	0	-	-	0	-	-
		社会福祉学部	0	-	-	1	3,644,808	3,644,808	0	-	-	1	3,786,289	3,786,289	0	-	-
		短期大学部	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
		計	0	0	0	2	7,150,268	3,575,134	2	7,010,286	3,505,143	1	3,786,289	3,786,289	0	0	0
国内研修	半年	文 学 部	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
		経 済 学 部	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
		社会福祉学部	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
		短期大学部	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一年	文 学 部	1	1,877,720	1,877,720	0	-	-	0	-	-	1	1,886,270	1,886,270	1	194,200	194,200
		経 済 学 部	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
		社会福祉学部	0	-	-	0	-	-	0	-	-	1	418,600	418,600	0	-	-
		短期大学部	0	-	-	0	-	-	1	194,200	194,200	1	1,928,390	1,928,390	0	-	-
		計	1	1,877,720	1,877,720	0	0	0	1	194,200	194,200	3	4,233,260	1,411,087	1	194,200	194,200

* 国外研修の「半年」の欄は、年度をまたぐ研修者も含まれる。

2 専任教員の国内外研修・研究専念者一覧

[2015～2019]

(表IV-2)

年度	学部	氏名・職名	種別	期間	研修先	研修機関	研究課題	備考
2015	文学部	江口 均 准教授	国内研修	2015. 4. 1～ 2016. 3. 31	国内	宮城学院女子大学	①教育英文法に関する研究 ②文法教授に関する論文著作	
2016	文学部	片岡 徹 准教授	国外研修	2016. 4. 5～ 2017. 3. 1	米国	マンチェスター大学	マンチェスター大学における平和学プログラムの開発史に関する調査研究	
	経済学部	浦野 真理子 教授	国外研修	2016. 9. 5～ 2017. 3. 11	インドネシア	環境自然保護熱帯研究センター	インドネシアの油ヤシ農園の拡大が地域住民の食糧確保と食文化に及ぼす影響	
	社会福祉学部	中村 和彦 教授	国外研修	2016. 4. 8～ 2017. 3. 22	米国・カナダ	ダルハウジー大学	①ソーシャルワーク実践理論におけるレジエンス思考の具体的適用 ②カナダ・ノヴァスコシア州における精神障害者の地域生活支援体制・方法の把握・理解 ③カナダ・ノヴァスコシア州におけるソーシャルワーカー養成教育内容・方法の把握・理解	
2017	文学部	柳町 智治 教授	国外研修	2017. 4. 17～ 2018. 3. 15	フィンランド・スイス	ヘルシンキ大学 (フィンランド)・バーゼル大学 (スイス)	(1) 第二言語を通して相互行為を組織する能力に関する研究 (2) 欧州における共通語としての英語の使用と評価に関する研究	
	経済学部	韓 文熙	国外研修	2017. 4. 1～ 2017. 9. 12	スペイン	サン・パブロ大学	異文化理解と消費者行動、ブランド・マネジメント	
	経済学部	岡田 みさを 教授	国外研修	2017. 4. 17～ 2018. 3. 16	フィンランド・スイス	ヘルシンキ大学 (フィンランド)・バーゼル大学 (スイス)	スポーツ練習会話における指示行動の形成一言語と身体動作による相互行為の観点から	
	短期大学部	ジャン・マウン 教授	国内研修	2017. 4. 1～ 2018. 3. 31	国内	札幌国際大学	シェイクスピアユニバーサルイズムについての生物学的視座を含めた見解の可能性を探求する	
2018	文学部	大島 寿美子 教授	国内研修	2018. 4. 1～ 2019. 3. 31	国内	東京大学大学院医学系研究科	社会構造や相互行為現象の発露としての健康に関する研究	
	社会福祉学部	横山 穰 教授	国内研修	2018. 4. 1～ 2019. 3. 31	国内	北海道大学文学研究科	ソーシャルワーク実践におけるスピリチュアルケアの課題について	
	短期大学部	藤原 里佐 教授	国内研修	2018. 4. 1～ 2019. 3. 25	国内	同志社大学	知的障害者とその家族の高齢化ケアの担い手と生活の場を移行をめぐって	
	社会福祉学部	眞嶋 良全 准教授	国外研修	2018. 4. 8～ 2019. 3. 27	カナダ	トロント ウォーターラー大学	日常的信念の形成と維持における二重過程思考と文化的マインドセットの関連性の研究	
2019	社会福祉学部	宮崎 靖士 教授	国内研修	2019. 4. 1～ 2020. 3. 31	国内	北海道大学大学院文学研究科 (押野武志先生研究室)	1920～40年代の朝鮮、台湾、「満州」における日本語文学に関する包括的検討	
	経済学部	萩原 浩太 教授	国外研修	2019. 9. 1～ 2020. 3. 23	インドネシア	マラナタ大学	我が国及びインドネシア競争法の比較研究 欧州競争法および米国反トラスト法とインドネシア競争法の比較研究	新型コロナウイルス感染症蔓延による学長の帰国要請により2020.3.23で終了

3 専任教員のサバティカル一覧

[2015～2019]

(表IV-3)

年度	学部	氏名・職名	種別	期間	主な研修先等	取得目的	備考
2015	社会福祉学部	中川 純 教授	サバティカル	2015.9.16～ 2016.3.15	オーストラリア、米国、アイルランド、台湾	「障害者の一般就労移行の現状とそれを抑制する要因についてアメリカ、カナダ、オーストラリア、台湾の比較研究」	
	短期大学部	溝口 雅明 教授	サバティカル	2015.9.1～ 2016.2.29	道内外	「石炭産業、農工業を中心とした北海道産業遺産の調査研究」	
	短期大学部	竹村 雅史 教授	サバティカル	2015.4.1～ 2015.9.7	イギリス	「英国ロマン派詩人、ワーズワースに関する研究」	
2016	経済学部	浜 文章 教授	サバティカル	2016.9.1～ 2017.8.31	研究室、ニューヨーク、アイルランド、イギリス	「Saving Bank Recordsの分析およびIrish immigrant Society(New York)の設立趣意書の閲覧・入手・分析」	
	社会福祉学部	中田 知生 准教授	サバティカル	2016.9.1～ 2017.8.31	自宅	「高齢期の健康のソーシャルサポートに関する研究及び過疎地域における集落活動とソーシャルキャピタルに関する研究」	
	社会福祉学部	J.アリソン 教授	サバティカル	2016.9.11～ 2017.3.10	自宅	「北星学園創立130周年記念誌編集委員会での書物の研究と執筆」	
	社会福祉学部	トマス・ゲッツ 教授	サバティカル	2016.4.1～ 2016.9.10	アメリカ	「第二言語習得の研究方法及びオンラインの電子教材の開発並びに教材収集」	
2017	社会福祉学部	柴田 利男 教授	サバティカル	2017.4.1～ 2017.9.14	自宅	「これまでに蓄積されたデータの整理・統合と統計解析を進め論文文化をはかる」	
2018	社会福祉学部	U.ネシュティール 教授	サバティカル	2018.9.15～ 2019.3.14	ヨーロッパ	特に森林セラピーに関する国際比較研究に継続的に取り組む。具体的には、場所はヨーロッパを中心にするが、場所はヨーロッパ以外の国の調査や研究会なども含めて森林セラピーを通して社会的インクルージョンを進める可能性や文化や社会の多様性を越えて検討する。	
2019	文学部	長谷川 典子 教授	サバティカル	2019.10.1～ 2020.3.31	自宅	異文化コミュニケーション教育用教科書の執筆	
	文学部	阪井 宏 教授	サバティカル	2019.4.1～ 2019.8.28	英国	英国北西部・マンチェスター近郊の小さな街々（ヘブデンブリジットッドモーデン、ロッチゲール等）で進む地域再生活動の中から、北海道内の旧産炭地域（空知地方等）の復興のためのヒントを探す	
	社会福祉学部	栗林 克匡 教授	サバティカル	2019.10.1～ 2020.3.31	自宅	資料収集およびこれまでの研究で得られたデータの整理を行い、まとまった執筆活動を行うため	

4 学部別専任教員の学会発表等の状況一覧

(1) 大学〔2015～2019〕

(表Ⅳ-4-①)

学部・研究科	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		平均	
	学会発表		学会発表		学会発表		学会発表		学会発表		学会発表	
	国内	国外	国内	国外	国内	国外	国内	国外	国内	国外	国内	国外
文学部・文学研究科	29	10	16	8	15	9	24	10	26	7	22.0	8.8
経済学部・経済学研究科	27	2	24	17	19	16	28	23	22	15	24.0	14.6
社会福祉学部・社会福祉学研究科	55	18	51	21	46	12	49	18	47	13	49.6	16.4
計	111	30	91	46	80	37	101	51	95	35	95.6	39.8

(2) 短期大学部〔2014～2018〕

(表Ⅳ-4-②)

短期大学部	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		平均	
	学会発表		学会発表		学会発表		学会発表		学会発表		学会発表	
	国内	国外	国内	国外	国内	国外	国内	国外	国内	国外	国内	国外
短期大学部	20	22	15	25	27	27	20	47	16	37	19.6	31.6

5 学部別非常勤講師出講状況一覧

(1) 大学 (2015～2019)

(表Ⅳ-5-①)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	平均
文学部	8名(6.5)	8名(6.1)	6名(5.8)	8名(6.2)	10名(6.2)	8名(6.15)
経済学部	15名(11.0)	16名(15.2)	15名(11.5)	11名(9.6)	12名(13.8)	13.8名(12.23)
社会福祉学部	16名(11.0)	15名(9.8)	19名(13.5)	18名(13.2)	16名(12.5)	16.8名(11.99)
全体	39名(28.5)	39名(31.1)	40名(30.8)	37名(29.0)	38名(32.5)	38.6名(30.36)

(2) 短期大学部 (2015～2019)

(表Ⅳ-5-②)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	平均
短期大学部	3名(1.2)	5名(3.9)	5名(4.7)	3名(3.2)	3名(3.2)	3.8名(3.25)

*括弧内は「講」の数

V. 本学の教育課程、教育組織及び教育活動に関すること

1 大学学部開講科目数等一覧〔2019年度〕

(1) 大学 2019～カリキュラム（経済学科・経済法学科は2018～）

(表V-1-①-i)

分野名	開設科目数	開設単位数	必要単位数			開講クラス数	総履修者数	1クラスあたりの履修者数	教員配置計			兼任依存率	
			文	経	社				計	専任	兼任		兼任
文学部	英文学科	129	270	80		69	1,844	26.7	34	16	0	18	52.9%
	Core English Skills	15	30	30		44	853	19.4	19	2	0	17	89.5%
	コース入門科目	21	42	14		19	971	51.1	12	12	0	0	0.0%
	英語関連活動	13	32	0		4	2	0.5	1	1	0	0	0.0%
	文化・文学コース	16	34	22		0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	言語・コミュニケーションコース	14	30	22		0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	グローバル・スタディーズコース	14	30	22		0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	英語教師養成科目	7	14	0		2	18	9.0	2	1	0	1	50.0%
	日本語教師養成科目	5	10	0		0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	Practical English Skills	24	48	0		0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	心理・応用コミュニケーション学科	90	244	62		20	902	45.1	20	19	0	1	5.0%
	人間科学コース科目群	16	54	10		1	97	97.0	4	4	0	0	0.0%
地域・国際コース科目群	16	54	10		1	80	80.0	4	4	0	0	0.0%	
学科共通科目群	58	136	32		18	725	40.3	12	11	0	1	8.3%	
経済学部	経済学科（2018～）	102	256		68	82	4,079	49.7	58	45	2	11	19.0%
	入門科目	6	14		12	12	1,000	83.3	17	15	0	2	11.8%
	コース科目	46	118		24	15	1,627	108.5	9	8	0	1	11.1%
	演習科目	6	12		12	30	321	10.7	15	15	0	0	0.0%
	総合科目	40	104		4	23	1,131	49.2	16	6	2	8	50.0%
	認定科目	4	8		0	2	0	0.0	1	1	0	0	0.0%
	経営情報学科	99	224		74	25	1,259	50.4	27	24	2	1	3.7%
	学科基礎科目	8	16		0	9	471	52.3	7	5	2	0	0.0%
	学科専門導入科目	6	12		0	7	438	62.6	7	6	0	1	14.3%
	学科実践能力科目	7	16		2	5	225	45.0	3	3	0	0	0.0%
	演習科目	3	10		6	4	125	31.3	10	10	0	0	0.0%
	論文科目	1	4		0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	学科専門科目	74	166		8	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	基礎	37	86		0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	応用	37	80		8	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	経済法学科（2018～）	86	218		76	47	2,744	58.4	35	30	0	5	14.3%
	学科基礎科目	4	8		4	5	451	90.2	7	7	0	0	0.0%
	基礎力養成科目	2	4		0	13	147	11.3	11	11	0	0	0.0%
	演習科目	3	12		0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	コース科目	77	194		40	29	2,146	74.0	17	12	0	5	29.4%

分野名	開設 科目 数	開設 単位 数	必要単位数			開講 クラス 数	総履修 者数	1クラス あたりの 履修者数	教員配置計				兼任依 存率	
			文	経	社				計	専 任	兼 担	兼 任		
社会福祉学部	福祉計画学科	98	234	/	/	68	9	1,422	158.0	13	9	2	2	15.4%
	福祉計画基盤科目	61	154	/	/	14	5	386	77.2	9	7	0	2	22.2%
	社会福祉士関係科目	37	80	/	/	10	4	1,036	259.0	4	2	2	0	0.0%
	社会福祉士基盤科目	20	44	/	/	0	2	452	226.0	2	0	2	0	0.0%
	社会福祉士・計画系科目	12	26	/	/	10	2	309	154.5	2	2	0	0	0.0%
	社会福祉士・臨床系科目	5	10	/	/	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	福祉臨床学科	117	263	/	/	74	15	686	45.7	12	8	1	3	25.0%
	福祉臨床基盤科目	11	21	/	/	12	11	363	33.0	8	6	0	2	25.0%
	福祉臨床展開科目	16	41	/	/	16	1	67	67.0	1	0	0	1	100.0%
	社会福祉士専門科目	33	73	/	/	0	1	93	93.0	1	0	1	0	0.0%
	精神保健福祉士専門科目	17	39	/	/	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	SSW専門科目	4	6	/	/	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	教育臨床専門科目	36	83	/	/	4	2	163	81.5	2	2	0	0	0.0%
	福祉心理学科 (2018～)	77	168	/	/	66	34	1,890	399.07	26	13	4	9	34.6%
	基幹科目	12	30	/	/	24	5	377	75.4	3	3	0	0	0.0%
	基礎心理科目	4	8	/	/	0	4	205	51.3	4	2	0	2	50.0%
	臨床心理学関連科目	9	18	/	/	0	8	568	71.0	5	4	1	0	0.0%
	社会的・臨床的スキル科目	4	9	/	/	2	1	72	72.0	1	1	0	0	0.0%
	対人・社会科目	9	18	/	/	0	4	217	54.3	3	1	0	2	66.7%
	発達・教育臨床科目	15	31	/	/	0	6	137	22.8	5	0	3	2	40.0%
福祉・医療科目	13	28	/	/	4	6	314	52.3	5	2	0	3	60.0%	
教育関連科目	11	26	/	/	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%	
共通科目	人間科学	16	32	2	2	2	16	934	58.4	9	3	0	6	66.7%
	人文科学	14	28	2	2	2	21	2,301	109.6	14	4	0	10	71.4%
	自然・数理科学	10	20	2	2	2	16	1,949	121.8	5	1	0	4	80.0%
	社会科学	16	32	2	2	2	18	2,220	123.3	14	2	7	5	35.7%
	地域と世界	10	20	2	2	2	17	937	55.1	8	2	0	6	75.0%
	キリスト教学	6	12	4	4	4	16	2,049	128.1	3	3	0	0	0.0%
	キャリア支援	10	20	10	6-10	8-10	145	4,676	32.2	31	7	6	18	58.1%
	総合講義	1	2	0	0	0	1	249	249.0	1	0	1	0	0.0%
	キャリア教育科目	2	4	2	2	0-2	3	717	239.0	3	0	2	1	33.3%
	日本語科目	2	4	4	2-4	4	90	1,950	21.7	13	5	0	8	61.5%
	情報科目	5	10	4	2-4	4	51	1,760	34.5	14	2	3	9	64.3%
外国語	46	92	8	8-12	8	98	2,261	23.1	52	10	1	41	78.8%	
教職	教職に関する科目	30	61	/	/	/	4	199	49.8	2	2	0	0	0.0%

(2) 短期大学部 2019～カリキュラム

(表V-1-②)

分野名	開設 科目 数	開設 単位 数	必要単位数			開講 クラ ス数	総履修 者数	1クラス あたりの 履修者数	教員配置計			兼任依 存率	
			英	生					計	専 任	兼 担		兼 任
短期 大学 部	英文学科	75	132	57		108	2,631	24.4	35	13	0	22	62.9%
	必修科目	20	26	26		81	1,801	22.2	22	9	0	13	59.1%
	選択科目	32	62	14		17	402	23.6	9	4	0	5	55.6%
	選択必修科目	23	44	17		10	428	42.8	4	0	0	4	100.0%
	イングリッシュ・ハブ I, II	2	4	2		4	150	37.5	1	0	0	1	100.0%
	エクステンシブ・リーディング I, II	2	2	1		0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	情報入門・情報活用	2	4	2		4	198	49.5	1	0	0	1	100.0%
	英語による講義	17	34	12		2	80	40.0	2	0	0	2	100.0%
	生活創造学科	66	134		42	49	1,376	28.1	23	14	0	9	39.1%
	共通必修科目	9	20		20	21	530	25.2	7	7	0	0	0.0%
選択科目	57	114		22	28	846	30.2	16	7	0	9	56.3%	
一 般 教 育 目 的	基礎教養科目	16	32	4	8	18	773	42.9	14	7	3	4	28.6%
	外国語科目	24	24	0	2	26	550	21.2	8	1	0	7	87.5%
	保健体育科目	2	2	0	0	4	58	14.5	1	0	1	0	0.0%
	キリスト教科目	2	4	0	4	1	97	97.0	1	0	1	0	0.0%

(3) 大学 ～2018カリキュラム (経済学科・経済法学科は～2017)

(表V-1-③-i)

分野名	開設 科目 数	開設 単位 数	必要単位数			開講 クラ ス数	総履修 者数	1クラス あたりの 履修者数	教員配置計				兼任依 存率
			文	経	社				計	専 任	兼 担	兼 任	
文学部	英文学科	115	238	80		245	4,237	17.3	75	29	5	41	54.7%
	共通英語科目	15	30	30		88	1,096	12.5	19	2	0	17	89.5%
	共通専門科目	22	46	14		18	359	19.9	13	9	1	3	23.1%
	言語文化コース	22	46	30		40	868	21.7	10	4	0	6	60.0%
	言語コミュニケーションコース	24	50	30		59	1,283	21.7	14	9	0	5	35.7%
	英語実技科目	24	48	0		30	505	16.8	11	4	0	7	63.6%
	言語教育科目	8	18	0		10	126	12.6	8	1	4	3	37.5%
	心理・応用コミュニケーション学科	79	188	26		125	2,802	22.4	44	26	2	16	36.4%
	心理コミュニケーション科目群	14	30	2		14	881	62.9	10	6	0	4	40.0%
	応用コミュニケーション科目群	20	44	2		20	809	40.5	16	9	1	6	37.5%
	学科共通科目群	32	68	22		90	1,079	12.0	17	11	1	5	29.4%
関連自由科目群	13	46	0		1	33	33.0	1	0	0	1	100.0%	
経済学部	経済学科(2013～2017)	76	248		64	93	2,171	23.3	71	56	2	13	18.3%
	入門科目	3	8		8	2	17	8.5	15	15	0	0	0.0%
	基礎科目	6	24		16	5	267	53.4	6	5	0	1	16.7%
	群科目	18	72		12	16	608	38.0	15	12	1	2	13.3%
	演習科目	3	10		10	45	347	7.7	15	15	0	0	0.0%
	選択科目	46	134		0	25	932	37.3	20	9	1	10	50.0%
	経営情報学科	102	250		70	91	3,231	35.5	40	28	3	9	22.5%
	学科基礎科目	7	14		0	3	65	21.7	3	2	0	1	33.3%
	学科専門導入科目	7	14		0	4	210	52.5	4	3	0	1	25.0%
	学科実践能力科目	5	10		2	3	86	28.7	2	2	0	0	0.0%
	演習科目	4	12		6	30	278	9.3	12	10	2	0	0.0%
	論文科目	1	4		0	1	15	15.0	1	1	0	0	0.0%
	学科ユニット	48	100		0	48	2,555	53.2	16	10	0	6	37.5%
	学科関連ユニット	18	52		0	1	5	5.0	1	0	1	0	0.0%
	自由科目	12	44		0	1	17	17.0	1	0	0	1	100.0%
	経済法学科(2013～2017)	94	250		72	60	1,658	27.6	30	23	3	4	13.3%
	学科基礎科目	8	16		0	2	116	58.0	2	2	0	0	0.0%
	基礎力養成科目	10	20		0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	演習科目	3	12		0	31	296	9.5	13	11	2	0	0.0%
学科ユニット科目	64	170		0	27	1,246	46.1	15	10	1	4	0.0%	
教職科目	9	32		0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%	

(3) 大学 ～2018カリキュラム (福祉心理学科は～2017)

(表V-1-③-ii)

分野名	開設 科目 数	開設 単位 数	必要単位数			開講 クラ ス数	総履修 者数	1クラス あたりの 履修者数	教員配置計				兼任依 存率	
			文	経	社				計	専 任	兼 担	兼 任		
社会福祉学部	福祉計画学科	92	232			68	124	5,694	45.9	54	22	11	21	38.9%
	福祉計画基盤科目	36	88			14	56	1,534	27.4	16	10	1	5	31.3%
	社会福祉士関係科目	37	80			10	63	4,058	64.4	36	11	10	15	41.7%
	社会福祉士基盤科目	20	44			0	47	2,099	44.7	23	4	8	11	47.8%
	社会福祉士・計画系科目	12	26			10	11	1,362	123.8	9	7	0	2	22.2%
	社会福祉士・臨床系科目	5	10			0	5	666	133.2	4	0	2	2	50.0%
	教職・社会教育主事関係科目	19	64			0	5	102	20.4	2	1	0	1	50.0%
	教職科目	13	46			0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	社会教育主事科目	6	18			0	5	102	20.4	2	1	0	1	50.0%
	福祉臨床学科	117	273			74	72	1,686	23.4	46	24	3	19	41.3%
	福祉臨床基盤科目	14	27			16	14	521	37.2	11	7	2	2	18.2%
	福祉臨床展開科目	21	51			16	32	624	19.5	20	9	1	10	50.0%
	社会福祉士専門科目	33	73			0	2	173	86.5	2	2	0	0	0.0%
	精神保健福祉士専門科目	17	39			0	19	318	16.7	10	4	0	6	60.0%
	SSW専門科目	4	6			0	4	26	6.5	2	2	0	0	0.0%
	教育臨床専門科目	28	77			0	1	24	24.0	1	0	0	1	100.0%
	福祉心理学科(2013～2017)	62	139			66	66	1,367	20.7	30	16	3	11	36.7%
	基幹科目	13	32			32	42	434	10.3	8	8	0	0	0.0%
	基礎科目	7	14			4	6	191	31.8	5	2	0	3	60.0%
	臨床・健康科目	5	10			0	5	325	65.0	5	3	0	2	40.0%
	対人・社会科目	5	10			0	3	101	33.7	3	2	0	1	33.3%
	発達・教育科目	5	10			0	2	127	63.5	2	0	1	1	50.0%
	障害・援助科目	4	10			0	1	0	0.0	1	1	0	0	0.0%
福祉心理教職関連科目	23	53			0	7	189	27.0	6	0	2	4	66.7%	
共通科目	人間科学	16	30	2	2	2	21	799	38.0	12	3	1	8	66.7%
	人文科学と人間	9	18	2	2	2	2	87	43.5	1	0	0	1	100.0%
	自然・科学技術・人間	10	20	2	2-4	2	5	236	47.2	1	1	0	0	0.0%
	社会と人間	13	26	2	2	2	3	280	93.3	3	1	0	2	66.7%
	地域と文化	16	34	2	2	2	14	1,489	106.4	7	2	0	5	71.4%
	宗教と文化	13	26	4	4	4	13	989	76.1	5	4	0	1	20.0%
	キリスト教文化	5	10	2	2	2	9	459	51.0	2	2	0	0	0.0%
	諸宗教文化	6	12	2	2	2	2	518	259.0	2	1	0	1	50.0%
	演習	2	4	0	0	0	2	12	6.0	1	1	0	0	0.0%
	演習科目	2	4	0	0	0	8	50	6.3	5	4	0	0	0.0%
	総合講義	4	8	0	0	0	1	45	45.0	1	0	1	0	0.0%
	キャリア関連科目	9	18	10	10	8-10	8	317	39.6	6	2	2	2	33.3%
	キャリア教育	2	4	2	2	0-2	6	288	48.0	4	0	2	2	50.0%
	日本語科目	2	4	4	4	4	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	情報科目	5	10	4	4	4	2	29	14.5	2	2	0	0	0.0%
外国語	45	100	8	8-12	8	101	2,344	23.2	45	10	1	34	75.6%	
教職	教職に関する科目	30	61				42	1,089	25.9	13	5	4	4	30.8%

(4) 短期大学部 英文～2018カリキュラム 生活創造～2018カリキュラム

(表V-1-④)

分野名	開設 科目 数	開設 単位 数	必要単位数			開講 クラ ス数	総履修 者数	1クラス あたりの 履修者数	教員配置計			兼任依 存率	
			英	生					計	専 任	兼 担		兼 任
短期 大学 部	英文学科	87	150	57		105	2,343	22.3	36	15	1	20	55.6%
	必修科目	22	26	26		49	635	13.0	13	8	0	5	38.5%
	選択科目	38	72	14		24	574	23.9	13	2	1	10	76.9%
	選択必修科目	27	52	17		32	1,134	35.4	10	5	0	5	50.0%
	イングリッシュ・ハブⅠ,Ⅱ	2	4	2		0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	エクステンシブ・リーディングⅠ,Ⅱ	2	2	1		3	145	48.3	1	1	0	0	0.0%
	情報入門・情報活用	2	4	2		0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	英語による講義	21	42	12		29	989	34.1	9	4	0	5	55.6%
	生活創造学科	66	134		42	38	931	24.5	26	15	1	10	38.5%
	共通必修科目	9	20		20	9	180	20.0	7	7	0	0	0.0%
選択科目	57	114		22	29	751	25.9	19	8	1	10	52.6%	
一 般 目 的 教 育	基礎教養科目	16	32	4	8	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	外国語科目	24	24	0	2	10	127	12.7	6	0	0	6	100.0%
	保健体育科目	2	2	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0%
	キリスト教科目	2	4	0	4	1	6	6.0	1	0	1	0	0.0%

2 大学院開講数等一覧〔2019年度〕

社会福祉学研究科社会福祉学専攻（修士課程）

（表V-2-①）

科目群等	開講科目数	開講単位数	必要単位数	開講クラス数	総履修者数	計	教員配置計			兼任率 依存%
							専任	兼任	兼任	
基本科目	2	4	2	2	2	2	2	0	0	0.0
分野別研究	3	6	2	3	3	3	3	0	0	0.0
研究方法	2	4	2	2	2	2	2	0	0	0.0
関連領域	4	8	2	4	4	4	4	0	0	0.0
論文	3	12	8	3	3	3	3	0	0	0.0

社会福祉学研究科臨床心理学専攻（修士課程）

（表V-2-②）

科目群等	開講科目数	開講単位数	必要単位数	開講クラス数	総履修者数	計	教員配置計			兼任率 依存%
							専任	兼任	兼任	
演習	2	4	4	2	6	2	2	0	0	0.0
実習	6	13	13	6	21	22	22	0	0	0.0
特殊研究	12	24	8	12	45	12	9	0	3	25.0
研究法	3	6	0	3	9	3	1	2	0	0.0
論文	3	10	10	7	10	7	7	0	0	0.0

社会福祉学研究科社会福祉学専攻（博士〔後期〕課程）

（表V-2-③）

科目群等	開講科目数	開講単位数	必要単位数	開講クラス数	総履修者数	計	教員配置計			兼任率 依存%
							専任	兼任	兼任	
研究	1	4	4	1	1	1	1	0	0	0.0
演習	1	4	8	2	3	2	2	0	0	0.0

文学研究科言語文化コミュニケーション専攻（修士課程）

（表V-2-④）

科目群等	開講科目数	開講単位数	必要単位数	開講クラス数	総履修者数	計	教員配置計			兼任率 依存%
							専任	兼任	兼任	
文学・文化研究	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0.0
英語教育・コミュニケーション研究	0	0		0	0	0	0	0	0	0.0
人間関係論	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0.0
論文	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0.0

経済学研究科経済学専攻（修士課程）

（表V-2-⑤）

科目群等	開講科目数	開講単位数	必要単位数	開講クラス数	履修者総数	計	教員配置計			兼任率 依存%
							専任	兼任	兼任	
研究	19	38	20	19	38	19	19	0	0	0.0
特殊研究	1	2		1	2	1	0	0	1	100.0
演習	4	8	4	4	4	4	4	0	0	0.0
論文	2	4	6	5	5	5	5	0	0	0.0

※文学研究科言語文化コミュニケーション専攻（修士課程）2019年度在籍者0名

※学部は開設科目で作成しているが大学院は開講しない科目も多いため、開講科目数一覧とする

3 教員免許状別取得者数一覧

[2015～2019]

(単位:人)

(表V-3)

種別	年度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	平均	備考
中学社会	心コミ	5	3	3	4	1	3.2	
	経 済	3	3	14	5	2	5.4	
	(経営情報)	1	0	2	0	0	0.6	
	経済法	3	2	2	0	0	1.4	
	福祉計画	6	5	5	4	4	4.8	
	福祉臨床	9	9	7	8	9	8.4	
	(福祉心理)	3	1	3	1	3	2.2	
小 計		30	23	36	22	19	26	
中学英語	英 文	24	16	13	8	14	15	
小 計		24	16	13	8	14	15.0	
高校英語	英 文	32	19	20	9	16	19.2	
小 計		32	19	20	9	16	19.2	
高校地歴	経 済	3	2	11	6	2	4.8	
	(経営情報)	1	0	0	0	0	0.2	
	経済法		1	2	0	0	0.8	
小 計		4	3	13	6	2	5.6	
高校公民	心コミ	3	4	5	6	3	4.2	
	経 済	3	1	11	7	2	4.8	
	(経営情報)	2	0	2	0	0	0.8	
	経済法	2	4	4	0	0	2.0	
	福祉計画	6	5	6	6	4	5.4	
	福祉臨床	9	9	6	8	9	8.2	
	福祉心理	3	6	7	3	7	5.2	
小 計		28	29	41	30	25	30.6	
高校商業	経 済	0	0	0	0	0	0	
	経営情報	2	0	0	0	3	1.0	
小 計		2	0	0	0	3	1.0	
高校情報	経営情報	1	0	1	0	3	1.0	
小 計		1	0	1	0	3	1.0	
特別支援 学校	(福祉計画)	4	5	4	1	3	3.4	
	福祉臨床	8	9	7	8	7	7.8	
	福祉心理	4	6	4	2	6	4.4	
小 計		16	20	15	11	16	15.5	
合 計		136	110	139	86	98	117.8	

※ () 内学科学生は他学科カリキュラムを活用し、当該教科教員免許を取得している

4 定期試験受験率別授業科目数一覧〔2019年度〕

(表V-4)

大学共通

受験率	科目数	対総数比	備考
95%以上	197	37.96	
90	116	22.35	
85	82	15.80	
80	58	11.18	
75	28	5.39	
70	15	2.89	
65	8	1.54	
60	6	1.16	
55	3	0.58	
50	1	0.19	
45	2	0.39	
45%未満	3	0.58	

文学部

受験率	科目数	対総数比	備考
95%以上	280	64.81	
90	73	16.90	
85	39	9.03	
80	22	5.09	
75	5	1.16	
70	3	0.69	
65	2	0.46	
60	0	0.00	
55	1	0.23	
50	3	0.69	
45	0	0.00	
45%未満	4	0.93	

※大学共通科目には教職・国際科目は含まれない。

経済学部

受験率	科目数	対総数比	備考
95%以上	167	44.89	
90	82	22.04	
85	36	9.68	
80	31	8.33	
75	18	4.84	
70	11	2.96	
65	9	2.42	
60	3	0.81	
55	3	0.81	
50	6	1.61	
45	0	0.00	
45%未満	6	1.61	

社会福祉学部

受験率	科目数	対総数比	備考
95%以上	178	55.80	
90	58	18.18	
85	29	9.09	
80	16	5.02	
75	14	4.39	
70	5	1.57	
65	4	1.25	
60	5	1.57	
55	0	0.00	
50	5	1.57	
45	0	0.00	
45%未満	5	1.57	

短期大学部

受験率	科目数	対総数比	備考
95%以上	222	65.10	
90	58	17.01	
85	28	8.21	
80	16	4.69	
75	11	3.23	
70	3	0.88	
65	0	0.00	
60	0	0.00	
55	0	0.00	
50	2	0.59	
45	0	0.00	
45%未満	1	0.29	

5 履修登録者数別授業科目数一覧〔2019年度〕

(表V-5)

大学共通

履修登録者数	科目数	対総数比	備考
401人以上	0	0.00%	
351~400	1	0.19%	
301~350	3	0.58%	
251~300	9	1.73%	
201~250	17	3.28%	
151~200	11	2.12%	
101~150	19	3.66%	
51~100	38	7.32%	
41~50	20	3.85%	
31~40	52	10.02%	
21~30	199	38.34%	
11~20	106	20.42%	
1~10	44	8.48%	

319 1

文学部

履修登録者数	科目数	対総数比	備考
401人以上	0	0.00%	
351~400	0	0.00%	
301~350	0	0.00%	
251~300	0	0.00%	
201~250	0	0.00%	
151~200	1	0.23%	
101~150	6	1.39%	
51~100	29	6.71%	
41~50	15	3.47%	
31~40	26	6.02%	
21~30	55	12.73%	
11~20	202	46.76%	
1~10	98	22.69%	

432 1

経済学部

履修登録者数	科目数	対総数比	備考
401人以上	0	0.00%	
351~400	0	0.00%	
301~350	0	0.00%	
251~300	0	0.00%	
201~250	3	0.81%	
151~200	12	3.23%	
101~150	27	7.26%	
51~100	65	17.47%	
41~50	18	4.84%	
31~40	22	5.91%	
21~30	27	7.26%	
11~20	102	27.42%	
1~10	96	25.81%	

372 1

社会福祉学部

履修登録者数	科目数	対総数比	備考
401人以上	0	0.00%	
351~400	0	0.00%	
301~350	0	0.00%	
251~300	1	0.31%	
201~250	3	0.94%	
151~200	12	3.76%	
101~150	19	5.96%	
51~100	53	16.61%	
41~50	10	3.13%	
31~40	11	3.45%	
21~30	16	5.02%	
11~20	115	36.05%	
1~10	79	24.76%	

319 1

短期大学部

履修登録者数	科目数	対総数比	備考
401人以上	0	0.00%	
351~400	0	0.00%	
301~350	0	0.00%	
251~300	0	0.00%	
201~250	0	0.00%	
151~200	0	0.00%	
101~150	2	0.59%	
51~100	28	8.21%	
41~50	21	6.16%	
31~40	33	9.68%	
21~30	85	24.93%	
11~20	132	38.71%	
1~10	40	11.73%	

341 1

6 学籍異動状況〔2019年度〕

文学部 英文学科 学籍異動状況

(表V-6-①)

入学年度		在籍			休学(内数)						退学(外数)					除籍(外数)										
		計	再入学	転編入学	復学	経済的	家庭事	病	再考	留学	その他	計	経済的	家庭事	病	変更	意欲喪	その他	計	30未満	未登録	学費未納	死亡	その他	計	
19	1年目	121	0	-	0						0			1				1						0		
18	1年目	126	0	-	0				2		2							0			1			1		
	2年目	127	0	2	0	1					1	1				1		2			2			2		
17	1年目	132	0	-	0	1			3		4				3			3						0		
	2年目	129	0	-	0	2			5	2	9				1		2	3						0		
	3年目	142	0	16	0	1			5	1	11			1			3	4			1			1		
16	1年目	141	0	-	0				2	1	3				2			2						0		
	2年目	139	0	-	0	1			1	2	4				2	1		3						0		
	3年目	149	0	13	0	1			1	1	10	1			1			1			1			1		
	4年目	147	0	0	0				1	1	11	3			1			1						0		
	正規卒業者数(20.3)	103																								
	正規卒業率	70.1																								
15	1年目	127	0	-	0	1					1				1			1						0		
	2年目	127	0	1	0	1				1	1				2			2						0		
	3年目	140	0	15	0	1			1	1	7				3			3			1			1		
	4年目	136	0	0	0	1					13	1			4			4						0		
	正規卒業者数(19.3)	91																								
	正規卒業率	66.9																								
	5年目	41				2				1	7	2						0						0		
	19年9月卒業者数	4																								
20年3月卒業者数	28																									
14	4年目	154	0	0	0	3			1	1	17	1			1			1			1			1		
	正規卒業者数(18.3)	107																								
	正規卒業率	69.5																								
	6年目	7				1												0						0		
	19年9月卒業者数	0																								
20年3月卒業者数	6																									
13	4年目	133	0	0	0	3			1	1	17	1			1			1			1			1		
	正規卒業者数(17.3)	96																								
	正規卒業率	72.2																								
	7年目	1				1												0						0		
	19年9月卒業者数	0																								
20年3月卒業者数	1																									
12	4年目	133	0	0	0				1	1	10				2	1		3						0		
	正規卒業者数(16.3)	100																								
	正規卒業率	75.2																								
	8年目	1																0						0		
	19年9月卒業者数	1																								
20年3月卒業者数	0																									
合計			0	18	0	6	0	7	2	29	5	49	1	0	2	1	1	3	8	0	0	3	0	0	3	
19年度在籍者数	587	(5月1日現在)																								
卒業	19年9月卒業者数	5	(注) 休学・退学・除籍の計は実人数																							
	20年3月卒業者数	138	事由の内訳については延人数で表記																							

6 学籍異動状況〔2019年度〕

文学部 心理・応用コミュニケーション学科 学籍異動状況

(表V-6-②)

入学年度		在籍			休学(内数)						退学(外数)					除籍(外数)										
		計	再入学	転編入学	復学	経済的	家庭事	病	再考	留学	その他	計	経済的	家庭事	病	変更	意欲喪	その他	計	30未満	未登録	学費未納	死亡	その他	計	
19	1年目	98	0	-	0						0							0						0		
18	1年目	112	0	-	0						0				1			1						0		
	2年目	110	0	1	0	1		1	2		4				1			1				1		1		
17	1年目	95	0	-	0					1	1				2		2	4				1		1		
	2年目	91	0	1	0	1			1		2				1			1			1	1		2		
	3年目	95	0	7	0			1		2	1	4					1	1				1		1		
16	1年目	107	0	-	0						0							0						0		
	2年目	108	0	1	0	1			2	1	4				1			1						0		
	3年目	111	0	4	0	1		3	2	1	8				2			2						0		
	4年目	109	0	0	0			4	1	2	7				2			2						0		
	正規卒業者数(20.3)	90																								
	正規卒業率	82.6																								
15	1年目	106	0	-	0						0				1			1					1	1		
	2年目	105	0	0	0						0							0						0		
	3年目	114	0	9	0				1		1				1			1						0		
	4年目	113	0	0	0			2	2	4	10					1		1						0		
	正規卒業者数(19.3)	93																								
	正規卒業率	82.3																								
	5年目	19				3		1	1	3	11				1		1	2				1		1		
	19年9月卒業者数	1																								
20年3月卒業者数	10																									
14	4年目	106	0	0	0	2		3		4	9				1			1				1		1		
	正規卒業者数(18.3)	81																								
	正規卒業率	76.4																								
	6年目	9				3					3				1			1				1		1		
	19年9月卒業者数	1																								
	20年3月卒業者数	4																								
13	4年目	108	0	0	0	1		1		2	4	1						1				1		1		
	正規卒業者数(17.3)	95																								
	正規卒業率	88.0																								
	7年目	2									0							0						0		
	19年9月卒業者数	1																								
20年3月卒業者数	0																									
12	4年目	122	0	0	0	1		1		3	1	6						0						0		
	正規卒業者数(16.3)	105																								
	正規卒業率	86.1																								
	7年目	2				1			1		2				1			1						0		
	19年9月卒業者数	0																								
20年3月卒業者数	1																									
合計		0	8	0	8	0	7	5	7	6	31	0	0	0	5	1	2	8	0	0	4	0	0	4		
19年度在籍者数		444	(5月1日現在)																							
卒業	19年9月卒業者数	3	(注) 休学・退学・除籍の計は実人数																							
	20年3月卒業者数	105	事由の内訳については延人数で表記																							

6 学籍異動状況〔2019年度〕

経済学部 経済学科 学籍異動状況

(表V-6-③)

入学年度		在籍			休学(内数)						退学(外数)						除籍(外数)								
		計	再入学	転編入学	復学	経済的	家庭事	病	再考	留学	その他	計	経済的	家庭事	病	変更	意欲喪	その他	計	30未満	未登録	学費未納	死亡	その他	計
19	1年目	163	0	-	0						0				1			1			1			1	
18	1年目	168	0	-	0				2		2				2	2		4						0	
	2年目	163	0	1	0	1	1	1			3			5				5			2	1		3	
17	1年目	176	0	-	0						0			1	1			2						0	
	2年目	174	0	0	0		1	1	1		3			2	2			4	1		1			1	
	3年目	172	0	3	0				1		1			2				2			1			1	
16	1年目	175	0	-	0				1		1			2	1			3						0	
	2年目	172	0	0	0	2	1	1			4			3				3			2			2	
	3年目	170	0	3	0	1	1			2	4			1				1	1		1			1	
	4年目	168	0	0	0	1		2	2		5			1				1			1			1	
	正規卒業者数(20.3)	145																							
	正規卒業率	86.3																							
15	1年目	165	0	-	0						0			1				1						0	
	2年目	165	1	0	0				2		2			1				1			1			1	
	3年目	169	0	6	0	1					1			1	1			2			1			1	
	4年目	166	0	0	0	2		1	2		5			1				1						0	
	正規卒業者数(19.3)	148																							
	正規卒業率	89.2																							
	5年目	16				1		1			2			2				2						0	
	19年9月卒業者数	3																							
20年3月卒業者数	6																								
14	4年目	170	0	0	0				1		1			1				1			1			0	
	正規卒業者数(18.3)	156																							
	正規卒業率	91.8																							
	6年目	5						1			1			1				1			1			1	
	19年9月卒業者数	0																							
	20年3月卒業者数	1																							
13	4年目	172	0	0	0			2	1		3			1				1			1	1		2	
	正規卒業者数(17.3)	156																							
	正規卒業率	90.7																							
	7年目	2									0							0			1			1	
	19年9月卒業者数	1																							
	20年3月卒業者数	0																							
12	4年目	156	0	0	0			4	3		7			2	1			3						0	
	正規卒業者数(16.3)	143																							
	正規卒業率	91.7																							
	8年目	0									0							0						0	
	19年9月卒業者数	0																							
	20年3月卒業者数	0																							
合計		0	4	0	3	0	1	5	3	0	12	0	0	0	12	0	0	12	0	0	7	1	0	8	
19年度在籍者数		689	(5月1日現在)																						
卒業	19年9月卒業者数	4	(注) 休学・退学・除籍の計は実人数																						
	20年3月卒業者数	152	事由の内訳については延人数で表記																						

6 学籍異動状況〔2019年度〕

経済学部 経営情報学科 学籍異動状況

(表V-6-④)

入学年度		在籍			休学(内数)					退学(外数)					除籍(外数)												
		計	再入学	転編入学	復学	経済的	家庭事	病	再考	留学	その他	計	経済的	家庭事	病	変更	意欲喪	その他	計	30未満	未登録	学費未納	死亡	その他	計		
19	1年目	125	0	-	0						0							0							0		
18	1年目	120	0	-	0			2	1		3			1	1		1	3							0		
	2年目	121	1	3	0		1				1			1		2	3								0		
17	1年目	138	0	-	0						0				2			2				1			1		
	2年目	135	1	0	1			3			3			4	1		5	1			2				2		
	3年目	131	0	3	0	2			4	1	7			3			3				1				1		
16	1年目	121	0	-	0						0							0							0		
	2年目	123	1	0	1	1		1	1		3		1	5			6		1	3					4		
	3年目	115	0	2	0	3			2		5						1	1			1		1		2		
	4年目	112	0	0	0	2			1	2	5			2			2								0		
	正規卒業生数(20.3)	99																									
	正規卒業率	88.4																									
15	1年目	132	0	-	0						0				2			2				1			1		
	2年目	129	0	0	0				1		1			3		2	5								0		
	3年目	131	0	7	0						0			1			1				1				1		
	4年目	129	0	0	0	1				1	2						0								0		
	正規卒業生数(19.3)	122																									
		正規卒業率	94.6																								
		5年目	7				1					1						0								0	
		19年9月卒業生数	4																								
	20年3月卒業生数	2																									
14	4年目	108	0	0	0			1	1	2	4			2	1		3								0		
	正規卒業生数(18.3)	96																									
		正規卒業率	88.9																								
	6年目	3									0							0							0		
	19年9月卒業生数	1																									
	20年3月卒業生数	2																									
13	4年目	105	0	0	0			1	1	2	4						0								0		
	正規卒業生数(17.3)	95																									
		正規卒業率	90.5																								
	7年目	1									0							0							0		
	19年9月卒業生数	0																									
	20年3月卒業生数	0																									
12	4年目	116	0	0	0				1	2	3			1			1					1			1		
	正規卒業生数(16.3)	102																									
		正規卒業率	87.9																								
	8年目	1									0						1	1							0		
	19年9月卒業生数	0																									
	20年3月卒業生数	0																									
合計			1	6	0	5	0	1	5	3	0	14	0	0	0	6	0	3	9	0	0	1	0	0	1		
19年度在籍者数		501	(5月1日現在)																								
卒業	19年9月卒業生数	5	(注) 休学・退学・除籍の計は実人数																								
	20年3月卒業生数	103	事由の内訳については延人数で表記																								

6 学籍異動状況〔2019年度〕

経済学部 経済法学科 学籍異動状況

(表V-6-⑤)

入学年度		在籍			休学(内数)						退学(外数)						除籍(外数)									
		計	再入学	転編入学	復学	経済的	家庭事	病	再考	留学	その他	計	経済的	家庭事	病	変更	意欲喪	その他	計	30未満	未登録	学費未納	死亡	その他	計	
19	1年目	130	1	-	0			1	1		1	3				1			1						0	
18	1年目	130	0	-	0							0							0						0	
	2年目	131	1	0	0	1						1				1			1	1					1	
17	1年目	131	0	-	0							0				5			5						0	
	2年目	126	0	0	0							0				2			2						0	
	3年目	125	0	1	0			1		1		2							0						0	
16	1年目	134	0	-	0							0							0			1			1	
	2年目	133	0	0	0			1				1				2			2			1			1	
	3年目	134	0	4	0							0				1			1						0	
	4年目	133	0	0	0	2		1		1		4	2						2						0	
	正規卒業者数(20.3)	105																								
	正規卒業率	78.9																								
15	1年目	133	0	-	0	1						1							0						0	
	2年目	133	0	0	0	1		1	2			4				1	1		2						0	
	3年目	135	0	4	0					3	1	4				1	1		2			1			1	
	4年目	132	0	0	0	1		1	1	1		4	1			1			2						0	
	正規卒業者数(19.3)	105																								
	正規卒業率	79.5																								
	5年目	25				1		3		1		5			2	2			4			1	1			2
	19年9月卒業者数	12																								
20年3月卒業者数	8																									
14	4年目	123	0	0	0			5	4	2	1	12				1			1			1			1	
	正規卒業者数(18.3)	102																								
	正規卒業率	82.9																								
	6年目	6				1						1							0							0
	19年9月卒業者数	2																								
	20年3月卒業者数	8																								
13	4年目	114	0	0	0	1			1			2				1			1						0	
	正規卒業者数(17.3)	103																								
	正規卒業率	90.4																								
	7年目	0										0							0							0
	19年9月卒業者数	0																								
	20年3月卒業者数	0																								
12	4年目	117	0	0	0				1			1							0							0
	正規卒業者数(16.3)	109																								
	正規卒業率	93.2																								
	8年目	1										0							0							0
	19年9月卒業者数	0																								
	20年3月卒業者数	1																								
合計			2	1	0	5	0	3	4	2	2	16	2	0	2	4	0	0	8	1	1	1	0	0	3	
19年度在籍者数		551	(5月1日現在)																							
卒業	19年9月卒業者数	14	(注) 休学・退学・除籍の計は実人数																							
	20年3月卒業者数	122	事由の内訳については延人数で表記																							

6 学籍異動状況〔2019年度〕

社会福祉学部 福祉計画学科 学籍異動状況

(表V-6-⑥)

入学年度		在籍			休学(内数)						退学(外数)					除籍(外数)											
		計	再入学	転編入学	復学	経済的	家庭事	病	再考	留学	その他	計	経済的	家庭事	病	変	意欲喪	その他	計	30未	未登	学費未納	死	その他	計		
19	1年目	93	0	-	0						0							0							0		
18	1年目	98	0	-	0				2		2				1			1							0		
	2年目	97	0	0	0				1		1				1		1	2							0		
17	1年目	86	0	-	0						0				1			1							0		
	2年目	85	0	0	0	1		1			2						1	1							0		
	3年目	86	1	1	0	2		2	1		5				1			1				1			1		
16	1年目	103	0	-	0						0				1			1				1			1		
	2年目	101	0	0	0				1		1				1			1							0		
	3年目	105	0	5	0				1		1						1	1	2		1				1		
	4年目	102	0	0	0			1			1	1			1			2							0		
	正規卒業生数(20.3)	90																									
	正規卒業率	88.2																									
15	1年目	102	0	-	0						0							0							0		
	2年目	102	0	0	0			1			1				2		1	3									
	3年目	105	0	6	0	1					1						1	1							0		
	4年目	104	0	0	0					2	2							0							0		
	正規卒業生数(19.3)	91																									
		正規卒業率	87.5																								
		5年目	13				1					1							0				2			2	
	19年9月卒業生数	1																									
	20年3月卒業生数	8																									
14	4年目	93	0	0	0				3		3						1	1				1			1		
	正規卒業生数(18.3)	79																									
		正規卒業率	84.9																								
	6年目	3				2					2							0							0		
	19年9月卒業生数	1																									
	20年3月卒業生数	0																									
13	4年目	103	0	0	0				1	3	4				2			2							0		
	正規卒業生数(17.3)	84																									
		正規卒業率	81.6																								
	7年目	0									0							0							0		
	19年9月卒業生数	0																									
	20年3月卒業生数	0																									
12	4年目	92	1	0	0	1		1	1		3							0							0		
	正規卒業生数(16.3)	83																									
		正規卒業率	90.2																								
	8年目	0									0							0							0		
	19年9月卒業生数	0																									
	20年3月卒業生数	0																									
合計			1	1	0	5	0	3	2	0	0	10	1	0	0	3	0	1	5	0	0	3	0	0	3		
19年度在籍者数		394	(5月1日現在)																								
卒業	19年9月卒業生数	2	(注) 休学・退学・除籍の計は実人数																								
	20年3月卒業生数	98	事由の内訳については延人数で表記																								

6 学籍異動状況〔2019年度〕

社会福祉学部 福祉臨床学科 学籍異動状況

(表V-6-⑦)

入学年度		在籍			休学(内数)						退学(外数)						除籍(外数)									
		計	再入学	転編入学	復学	経済的	家庭事	病	再考	留学	その他	計	経済的	家庭事	病	変更	意欲喪	その他	計	30未満	未登録	学費未納	死亡	その他	計	
19	1年目	81	0	-	0			1			1				1			1							0	
18	1年目	88	0	-	1						0				1		1	2							0	
	2年目	87	0	1	0				2		2							0				1			1	
17	1年目	99	0	-	1			2			2							0							0	
	2年目	98	0	0	0			2	1		3			1	1			2	1		1				1	
	3年目	99	0	4	0				1		1				2			2							0	
16	1年目	88	0	-	0				1		1				1			1							0	
	2年目	87	0	0	0			1	1		2							0							0	
	3年目	90	0	3	0			2			2			1	1			2							0	
	4年目	88	0	0	0					1	1							0							0	
	正規卒業者数(20.3)	82																								
	正規卒業率	93.2																								
15	1年目	94	0	-	0						0							0				2			2	
	2年目	92	0	0	0						0				1			1	1		1				1	
	3年目	94	0	4	0			1	1		2							0			1				1	
	4年目	93	0	0	0			1	1	1	3				1			1							0	
	正規卒業者数(19.3)	85																								
	正規卒業率	91.4																								
	5年目	7				1	1				2			1				1			1				1	
	19年9月卒業者数	0																								
20年3月卒業者数	1																									
14	4年目	87	0	0	0	1					1				2			2							0	
	正規卒業者数(18.3)	75																								
	正規卒業率	86.2																								
	6年目	1									0							0							0	
	19年9月卒業者数	0																								
20年3月卒業者数	1																									
13	4年目	94	0	0	0						0			1	1			2							0	
	正規卒業者数(17.3)	86																								
	正規卒業率	91.5																								
	7年目	0									0							0							0	
	19年9月卒業者数	0																								
20年3月卒業者数	0																									
12	4年目	93	0	0	0					1	1							0							0	
	正規卒業者数(16.3)	88																								
	正規卒業率	94.6																								
	8年目	0									0							0							0	
	19年9月卒業者数	0																								
20年3月卒業者数	0																									
合計			0	5	0	1	0	2	3	1	0	7	0	0	1	3	0	0	4	0	0	2	0	0	2	
19年度在籍者数		363	(5月1日現在)																							
卒業	19年9月卒業者数	0	(注) 休学・退学・除籍の計は実人数																							
	20年3月卒業者数	84	事由の内訳については延人数で表記																							

6 学籍異動状況〔2019年度〕

社会福祉学部 福祉心理学科 学籍異動状況

(表V-6-⑧)

入学年度		在籍			休学(内数)						退学(外数)						除籍(外数)								
		計	再入学	転編入学	復学	経済的	家庭事	病	再考	留学	その他	計	経済的	家庭事	病	変更	意欲喪	その他	計	30未満	未登録	学費未納	死亡	その他	計
19	1年目	81	0	-	0						0	1						1			1			1	
18	1年目	75	0	-	0				1		1				1			1						0	
	2年目	75	0	1	0			3	2		5				4		1	5						0	
17	1年目	70	0	-	0			1			1							0			2			2	
	2年目	69	0	0	0			2	1		3				1		1	2		1				1	
	3年目	66	0	0	0					2	2							0						0	
16	1年目	74	0	-	0			1			1	2						0						0	
	2年目	74	0	0	0			2			1	3			1	2	2	5			1			1	
	3年目	68	0	3	0			1			1						1	1						0	
	4年目	67	0	0	0	3		1	1		5	1			3			4						0	
	正規卒業生数(20.3)	54																							
	正規卒業率	80.6																							
15	1年目	62	0	-	0						0							0						0	
	2年目	62	0	0	0			2			2				1			1						0	
	3年目	64	0	3	0	1					1				1	1		2						0	
	4年目	61	0	0	0				2		2				1			1			1			1	
	正規卒業生数(19.3)	53																							
	正規卒業率	86.9																							
	5年目	6				2					2				1			1						0	
	19年9月卒業生数	0																							
20年3月卒業生数	4																								
14	4年目	65	0	0	0	2		1	1		4	2						2						0	
	正規卒業生数(18.3)	58																							
	正規卒業率	89.2																							
	6年目	1									0							0						0	
	19年9月卒業生数	0																							
20年3月卒業生数	1																								
13	4年目	70	0	0	0			1	1	1	3			1				1						0	
	正規卒業生数(17.3)	62																							
	正規卒業率	88.6																							
	7年目	1									0			1				1						0	
	19年9月卒業生数	0																							
20年3月卒業生数	0																								
12	4年目	75	0	0	0	1		1	1		3			2				2						0	
	正規卒業生数(16.3)	66																							
	正規卒業率	88.0																							
	8年目	1									0							0						0	
	19年9月卒業生数	1																							
20年3月卒業生数	0																								
合計			0	1	0	5	0	4	3	0	2	14	2	0	1	8	0	1	12	0	0	1	0	0	1
19年度在籍者数		298	(5月1日現在)																						
卒業	19年9月卒業生数	1	(注) 休学・退学・除籍の計は実人数																						
	20年3月卒業生数	59	事由の内訳については延人数で表記																						

6 学籍異動状況〔2019年度〕

大学 全学部合計 学籍異動状況

(表V-6-⑨)

入学年度		在籍				休学(内数)						退学(外数)						除籍(外数)								
		計	再入学	転編入学	復学	経済的	家庭事	病	再考	留学	その他	計	経済的	家庭事	病	変更	意欲喪	その他	計	30未満	未登録	学費未納	死亡	その他	計	
19	1年目	892	1	0	0	0	0	2	1	0	1	4	1	0	1	3	0	0	5	0	0	2	0	0	2	
18	1年目	917	0	0	1	0	0	2	8	0	0	10	0	0	1	7	2	2	12	0	0	1	0	0	1	
	2年目	911	2	9	0	4	0	6	8	0	0	18	1	0	0	13	1	4	19	1	0	6	1	0	8	
17	1年目	927	0	0	1	1	0	6	0	0	1	8	0	0	1	14	0	2	17	0	0	4	0	0	4	
	2年目	907	1	1	1	4	0	14	6	1	0	25	0	0	1	11	5	3	20	3	2	5	0	0	7	
	3年目	916	1	35	0	5	0	9	7	16	3	40	0	0	1	8	0	4	13	0	0	5	0	0	5	
16	1年目	943	0	0	0	0	0	3	3	0	1	7	0	0	0	6	1	0	7	0	0	2	0	0	2	
	2年目	937	1	1	1	5	0	7	8	0	2	22	0	0	2	16	1	2	21	0	1	7	0	0	8	
	3年目	942	0	37	0	6	0	8	6	11	4	35	0	0	1	5	2	3	11	1	1	3	0	1	5	
	4年目	926	0	0	0	8	0	8	6	19	5	44	4	0	0	10	0	0	14	0	0	1	0	0	1	
	正規卒業者数(20.3)	768	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規卒業率	82.9																								
15	1年目	921	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	5	0	0	5	0	0	3	1	0	4	
	2年目	915	1	1	0	2	0	4	6	1	0	13	0	0	0	11	1	3	15	1	0	2	0	0	2	
	3年目	952	0	54	0	4	0	2	6	8	0	20	0	0	0	8	3	1	12	0	0	5	0	0	5	
	4年目	934	0	0	0	5	0	4	7	24	3	43	1	0	0	7	2	0	10	0	0	1	0	0	1	
	正規卒業者数(19.3)	788	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規卒業率	84.4																								
	5年目	134	0	0	0	12	0	3	5	10	6	36	0	0	3	6	0	1	10	0	1	5	0	0	6	
	19年9月卒業者数	25																								
20年3月卒業者数	67																									
14	4年目	906	0	0	0	8	0	11	10	26	2	57	2	0	0	8	1	1	12	0	1	3	0	0	4	
	正規卒業者数(18.3)	754	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正規卒業率	83.2																								
	6年目	35	0	0	0	7	0	0	1	0	0	8	0	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	
	19年9月卒業者数	5																								
20年3月卒業者数	23																									
13	4年目	899	0	0	0	5	0	4	6	23	5	43	1	0	1	6	1	0	9	0	1	2	1	0	4	
	正規卒業者数(17.3)	777																								
	正規卒業率	86.4																								
	7年目	7	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	19年9月卒業者数	2																								
20年3月卒業者数	1																									
12	4年目	904	1	0	0	3	0	3	9	20	1	36	0	0	0	7	2	0	9	0	0	1	0	0	1	
	正規卒業者数(16.3)	796																								
	正規卒業率	88.1																								
	8年目	6	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	
	19年9月卒業者数	2																								
20年3月卒業者数	2																									
合計			4	44	0	38	0	28	29	45	15	153	6	0	6	42	2	10	66	1	1	22	1	0	25	
19年度在籍者数		3827	(5月1日現在)																							
卒業	19年9月卒業者数	34	(注) 休学・退学・除籍の計は実人数																							
	20年3月卒業者数	861	事由の内訳については延人数で表記																							

6 学籍異動状況〔2019年度〕

短期大学部 英文学科 学籍異動状況

(表V-6-⑩)

入学年度		在籍			休学(内数)						退学(外数)						除籍(外数)									
		計	再入学	転編入学	復学	経済的	家庭事	病	再考	留学	その他	計	経済的	家庭事	病	変	意欲喪	その他	計	30未満	未登録	学費未納	死亡	その他	計	
19	1年目	109	0	-	0				1	1	2				3	1	4								0	
18	1年目	137	0	-	0			1	3	1	5	1			3	1	6			1					1	
	2年目	130				2		1	5	8	16				4	1	5					1			1	
	正規卒業生数(20.3)	113																								
	正規卒業率	86.9																								
17	1年目	134	0	-	0				2		2				1	1	2			1	2				3	
	2年目	129							3	5	8						0								0	
	正規卒業生数(19.3)	120																								
	正規卒業率	93.0																								
	3年目	9							2		2						0								0	
	19年9月卒業生数	2																								
	20年3月卒業生数	4																								
16	2年目	133				2			2	4	1	9			4	1	5								0	
	正規卒業生数(18.3)	120																								
	正規卒業率	90.2																								
	4年目	2									0						0								0	
	19年9月卒業生数	0																								
	20年3月卒業生数	2																								
15	2年目	142				3				12	15	1					1				1				1	
	正規卒業生数(17.3)	121																								
	正規卒業率	85.2																								
	5年目	1									0						0								0	
	19年9月卒業生数	0																								
	20年3月卒業生数	1																								
14	2年目	126	0	0	0	2				5	7				2		2								0	
	正規卒業生数(16.3)	116																								
	正規卒業率	92.1																								
	6年目	0									0						0								0	
	19年9月卒業生数	0																								
	20年3月卒業生数	0																								
13	2年目	138	0	0	0			1	3	3	7						0			1	2				3	
	正規卒業生数(15.3)	128																								
	正規卒業率	92.8																								
	7年目	0									0						0								0	
	19年9月卒業生数	0																								
	20年3月卒業生数	0																								
合計			0	0	0	2	0	1	6	10	1	20	0	0	0	7	0	2	9	0	0	1	0	0	1	
19年度在籍者数		251	(5月1日現在)																							
卒業	19年9月卒業生数	2	(注) 休学・退学・除籍の計は実人数																							
	20年3月卒業生数	120	事由の内訳については延人数で表記																							

6 学籍異動状況〔2019年度〕

短期大学部 生活創造学科 学籍異動状況

(表V-6-①)

入学年度		在籍			休学(内数)						退学(外数)						除籍(外数)									
		計	再入学	転編入学	復学	経済的	家事	病	再考	留学	その他	計	経済的	家事	病	変	意欲喪	その他	計	30未満	未登録	学費未納	死亡	その他	計	
19	1年目	88	0	-	0				1		1			1	1		1	3						0		
18	1年目	89	0	-	0						0							0						0		
	2年目	89									0							0						0		
	正規卒業生数(20.3)	89																								
	正規卒業率	100.0																								
17	1年目	94	0	-	0			2	1		3							0			1			1		
	2年目	93				2		2			5						2	2			2			2		
	正規卒業生数(19.3)	85																								
	正規卒業率	91.4																								
	3年目	4				1			1		2				1		1	2						0		
	19年9月卒業生数	1																								
	20年3月卒業生数	1																								
16	2年目	98							1		1							0								
	正規卒業生数(18.3)	96																								
	正規卒業率	98.0																								
	4年目	0									0							0						0		
	19年9月卒業生数	0																								
	20年3月卒業生数	0																								
15	2年目	100							2		2							0								
	正規卒業生数(17.3)	94																								
	正規卒業率	94.0																								
	5年目	1						1			1				1		1							0		
	19年9月卒業生数	0																								
	20年3月卒業生数	0																								
14	2年目	96	0	0	0			1			1				1		1							0		
	正規卒業生数(16.3)	92																								
	正規卒業率	95.8																								
	6年目	0									0							0						0		
	19年9月卒業生数	0																								
	20年3月卒業生数	0																								
13	2年目	68	0	0	0			1			1						0							0		
	正規卒業生数(15.3)	65																								
	正規卒業率	95.6																								
	7年目	0									0							0						0		
	19年9月卒業生数	0																								
	20年3月卒業生数	0																								
合計			0	0	0	1	0	1	2	0	4	0	0	1	3	0	2	6	0	0	0	0	0	0		
19年度在籍者数		182	(5月1日現在)																							
卒業	19年9月卒業生数	1	(注) 休学・退学・除籍の計は実人数																							
	20年3月卒業生数	90	事由の内訳については延人数で表記																							

6 学籍異動状況〔2019年度〕

短期大学部 合計 学籍異動状況

(表V-6-⑫)

入学年度		在籍			休学(内数)						退学(外数)						除籍(外数)									
		計	再入学	転編入学	復学	経済的	家事	病	再考	留学	その他	計	経済的	家事	病	変	意欲	その他	計	30未満	未登録	学費未納	死亡	その他	計	
19	1年目	197	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3	0	0	1	4	0	2	7	0	0	0	0	0	0	
18	1年目	226	0	0	0	0	0	1	3	1	0	5	1	0	0	3	1	1	6	0	1	0	0	0	1	
	2年目	219	0	0	0	2	0	1	5	8	0	16	0	0	0	4	0	1	5	0	0	1	0	0	1	
	正規卒業生数(20.3)	202																								
	正規卒業率	92.2																								
17	1年目	228	0	0	0	0	0	2	3	0	0	5	0	0	0	1	1	0	2	0	1	3	0	0	4	
	2年目	222	0	0	0	2	0	2	3	5	1	13	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	0	0	2	
	正規卒業生数(19.3)	205																								
	正規卒業率	92.3																								
	3年目	13	0	0	0	1	0	0	1	2	0	4	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	
	19年9月卒業生数	3																								
20年3月卒業生数	5																									
16	2年目	231	0	0	0	2	0	0	2	5	1	10	0	0	0	4	0	1	5	0	0	0	0	0	0	
	正規卒業生数(18.3)	216																								
	正規卒業率	93.5																								
	4年目	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	19年9月卒業生数	0																								
20年3月卒業生数	2																									
15	2年目	242	0	0	0	3	0	0	0	14	0	17	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	正規卒業生数(17.3)	215																								
	正規卒業率	88.8																								
	5年目	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	19年9月卒業生数	0																								
20年3月卒業生数	1																									
14	2年目	222	0	0	0	2	0	1	0	5	0	8	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
	正規卒業生数(16.3)	208	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正規卒業率	93.7																								
	6年目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	19年9月卒業生数	0																								
20年3月卒業生数	0																									
13	2年目	206	0	0	0	0	0	2	3	3	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3	
	正規卒業生数(15.3)	193	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	正規卒業率	93.7																								
	7年目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	19年9月卒業生数	0																								
20年3月卒業生数	0																									
合計			0	0	0	3	0	2	8	10	1	24	0	0	1	10	0	4	15	0	0	1	0	0	1	
19年度在籍者数		433	(5月1日現在)																							
卒業	19年9月卒業生数	3	(注) 休学・退学・除籍の計は実人数																							
	20年3月卒業生数	210	事由の内訳については延人数で表記																							

6 学籍異動状況〔2019年度〕

大学院（社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程）学籍異動状況

（表V-6-⑬）

入学年度		在籍		休学（内数）						退学（外数）						除籍（外数）										
		計	再入 学	転編入 学	復学	経 済 的	家 庭 事 務	病 気	再 考 慮	留 学	そ の 他	計	経 済 的	家 庭 事 務	病 気	変 更	意 欲 喪 失	そ の 他	計	30 未 満	未 登 録	学 費 未 納	死 亡	そ の 他	計	
19	1年目	1	0	-	0						0							0						0		
18	1年目	0	0	-	0						0							0						0		
	2年目	3									0							0						0		
	正規修了者数	0																								
	正規修了率	0.0																								
17	2年目	4									0							0						0		
	正規修了者数	3																								
	正規修了率	75.0																								
	3年目	0								1	1							0						0		
	19/9修了者数	0																								
	20/3修了者数	1																								
16	2年目	3	0	-	0						0							0						0		
	正規修了者数	0																								
	正規修了率	0.0																								
	4年目	0									0							0						0		
	19/9修了者数	0																								
	20/3修了者数	0																								
15	2年目	2									0							0						0		
	正規修了者数	0																								
	正規修了率	0.0																								
	5年目	0									1	1						0						0		
	19/9修了者数	0																								
	20/3修了者数	0																								
14	2年目	3	0	0	0						0							0						0		
	正規修了者数	1																								
	正規修了率	33.3																								
	6年目	0									0							0						0		
	19/9修了者数	0																								
	20/3修了者数	1																								
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
19年度在籍者数	4	（5月1日現在）																								
修了	19/9修了者数	0																								
	20/3修了者数	2																								

（注）休学・退学・除籍の計は実人数

事由の内訳については延人数で表記

6 学籍異動状況〔2019年度〕

大学院（社会福祉学専攻 臨床心理学専攻 修士課程）学籍異動状況

（表V-6-⑭）

入学年度		在籍			休学（内数）					退学（外数）					除籍（外数）										
		計	再入 学	転編入 学	復学	経 済 的	家 庭 事 務	病 気	再 考 考	留 学	そ の 他	計	経 済 的	家 庭 事 務	病 気	変 更	意 欲 喪 失	そ の 他	計	30 未 満	未 登 録	学 費 未 納	死 亡	そ の 他	計
19	1年目	3	0	-	0						0							0			1			1	
18	1年目	4	0	-	0						0							0						0	
	2年目	4									0							0						0	
	正規修了者数	4																							
	正規修了率	100.0																							
17	2年目	5									0							0						0	
	正規修了者数	5																							
	正規修了率	100.0																							
	3年目	0									0							0						0	
	19/9修了者数	0																							
	20/3修了者数	0																							
16	2年目	4	0	-	0						0							0						0	
	正規修了者数	2																							
	正規修了率	50.0																							
	4年目	0									0							0						0	
	19/9修了者数	0																							
	20/3修了者数	0																							
15	2年目	5									0							0						0	
	正規修了者数	2																							
	正規修了率	40.0																							
	5年目	0									0							0						0	
	19/9修了者数	0																							
	20/3修了者数	0																							
14	2年目	2	0	0	0						0							0						0	
	正規修了者数	2																							
	正規修了率	100.0																							
	6年目	0									0							0						0	
	19/9修了者数	0																							
	20/3修了者数	0																							
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
19年度在籍者数		7	(5月1日現在)																						
修了	19/9修了者数	0																							
	20/3修了者数	4																							

(注) 休学・退学・除籍の計は実人数

事由の内訳については延人数で表記

6 学籍異動状況〔2019年度〕

大学院（文学研究科 言語文化コミュニケーション専攻 修士課程）学籍異動状況（表V-6-15）

入学年度		在籍		休学（内数）						退学（外数）						除籍（外数）									
		計	再入 学	転編入 学	復学	経済的	家事	病氣	再考	留学	その他	計	経済的	家事	病氣	変更	意欲喪失	その他	計	30未 満	未登 録	学費未 納	死 亡	その他	計
19	1年目	0	0	-	0						0				0			0						0	
	18																							0	
18	1年目	0	0	-	0						0							0						0	
	2年目	0									0							0						0	
18	正規修了者数	0																							
	正規修了率	0.0																							
17	2年目	1									0							0						0	
	正規修了者数	1																							
17	正規修了率	100.0																							
	3年目	0								0	0							0						0	
17	19/9修了者数	0																							
	20/3修了者数	0																							
16	2年目	5	0	-	0						0							0						0	
	正規修了者数	1																							
16	正規修了率	20.0																							
	4年目	0								0	0							0						0	
16	19/9修了者数	0																							
	20/3修了者数	0																							
15	2年目	2									0							0						0	
	正規修了者数	1																							
15	正規修了率	50.0																							
	5年目	0									0							0						0	
15	19/9修了者数	0																							
	20/3修了者数	0																							
14	2年目	3	0	0	0						0	1						1						0	
	正規修了者数	1																							
14	正規修了率	33.3																							
	6年目	0									0							0							
14	19/9修了者数	0																							
	20/3修了者数	0																							
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
19年度在籍者数		0	（5月1日現在）																						
修了	19/9修了者数	0																							
	20/3修了者数	0																							

（注）休学・退学・除籍の計は実人数

事由の内訳については延人数で表記

6 学籍異動状況〔2019年度〕

大学院（経済学研究科 経済学専攻 修士課程）学籍異動状況

（表V-6-⑯）

入学年度		在籍		休学（内数）						退学（外数）						除籍（外数）										
		計	再 入 学	転 編 入 学	復 学	経 済 的	家 庭 事 務	病 気	再 考 慮	留 学	そ の 他	計	経 済 的	家 庭 事 務	病 気	変 更	意 欲 喪 失	そ の 他	計	30 未 満	未 登 録	学 費 未 納	死 亡	そ の 他	計	
																										0
19	1年目	4	0	-	0						0		1					1						0		
18	1年目	3	0	-	0						0				2			2						0		
	2年目	1							1	1								0						0		
	正規修了者数	0																								
	正規修了率	0.0																								
17	2年目	1								0	0							0						0		
	正規修了者数	0																								
	正規修了率	0.0																								
	3年目	1				1				1								0						0		
	19/9修了者数	0																								
	20/3修了者数	1																								
16	2年目	1	0	-	0						0							0						0		
	正規修了者数	1																								
	正規修了率	100.0																								
	3年目	0								0								0						0		
	19/9修了者数	0																								
	20/3修了者数	0																								
15	2年目	1									0							0						0		
	正規修了者数	1																								
	正規修了率	100.0																								
	4年目	0								0								0						0		
	19/9修了者数	0																								
	20/3修了者数	0																								
14	2年目	1	0	0	0						0							0						0		
	正規修了者数	1																								
	正規修了率	100.0																								
	5年目	0								0								0						0		
	19/9修了者数	0																								
	20/3修了者数	0																								
合計		0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
19年度在籍者数		6	(5月1日現在)																							
修了	19/9修了者数	0																								
	20/3修了者数	1																								

（注）休学・退学・除籍の計は実人数

事由の内訳については延人数で表記

6 学籍異動状況〔2019年度〕

大学院（修士課程）学籍異動状況

（表V-6-⑰）

入学年度		在籍			休学（内数）						退学（外数）						除籍（外数）									
		計	再入 学	転編入 学	復学	経 済 的	家 庭 事 務	病 気	再 考 学	留 学	そ の 他	計	経 済 的	家 庭 事 務	病 気	変 更	意 欲 喪 失	そ の 他	計	30 未 満	未 登 録	学 費 未 納	死 亡	そ の 他	計	
19	1年目	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1		
18	1年目	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0		
	2年目	8	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	正規修了者数	4																								
	正規修了率	50.0																								
17	2年目	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	正規修了者数	9																								
	正規修了率	81.8																								
	3年目	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	19/9修了者数	0																								
	20/3修了者数	2																								
16	2年目	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	正規修了者数	4																								
	正規修了率	30.8																								
	4年目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	19/9修了者数	0																								
	20/3修了者数	0																								
15	2年目	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	正規修了者数	4																								
	正規修了率	40.0																								
	5年目	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	19/9修了者数	0																								
	20/3修了者数	0																								
14	2年目	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
	正規修了者数	5																								
	正規修了率	55.6																								
	6年目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	19/9修了者数	0																								
	20/3修了者数	1																								
合計		0	0	0	1	0	0	0	0	3	4	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1		
19年度在籍者数	17	（5月1日現在）																								
修了	19/9修了者数	0	※00年度から社会福祉学研究科開設（2修士課程）、文学研究科（社会福祉学専攻）募集停止																							
	20/3修了者数	7	※01年度から文学研究科（言語文化）、経済学研究科開設																							

（注）休学・退学・除籍の計は実人数

事由の内訳については延人数で表記

6 学籍異動状況〔2019年度〕

大学院（社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 博士課程）学籍異動状況

（表V-6-⑱）

入学年度		在籍		休学（内数）							退学（外数）						除籍（外数）									
		計	再入学	転編入学	復学	経済的	家庭	病	再考	留学	その他	計	経済的	家庭	病	変更	意欲喪失	その他	計	30未満	未登録	学費未納	死亡	その他	計	
																										再入学
19	1年目	1	0	-	0						0							0						0		
18	1年目	3	0	-	0						0							0						0		
	2年目	3																								
17	1年目	0	0	-	0						0							0						0		
	2年目	0																								
	3年目	0																								
	正規修了者 (20/3)	0																								
	正規修了者率	0.0%																								
	単位修得満期 退学者数 (20/3)	0																								
	満期単位修得率	0.0%																								
16	3年目	1																								
	正規修了者 (19/3)	0																								
	正規修了者率	0.0%																								
	単位修得満期 退学者数 (18/3)	1																								
	満期単位修得率	100.0%																								
	4年目	0																								
	単位修得満期 退学者数 (20/3)	0																								
15	3年目	2																								
	正規修了者 (18/3)	0																								
	正規修了者率	0.0%																								
	単位修得満期 退学者数 (18/3)	0																								
	満期単位修得率	0.0%																								
	5年目	0																								
単位修得満期 退学者数 (20/3)	0																									
14	3年目	3																								
	正規修了者 (17/3)	0																								
	正規修了者率	0.0%																								
	単位修得満期 退学者数 (17/3)	0																								
	満期単位修得率	0.0%																								
	6年目	0									0							0						0		
単位修得満期 退学者数 (20/3)	0																									
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
19年度在籍者数		4	(5月1日現在)																							
	正規修了者	0																								
	単位修得満期退学者数 (19/3)	1																								
	単位修得満期退学者数 (18/3)	3																								
	単位修得満期退学者数 (17/3)	0																								
	単位修得満期退学者数 (16/3)	0																								
	単位修得満期退学者数 (15/3)	0																								
	単位修得満期退学者数 (14/3)	0																								
	単位修得満期退学者数 (13/3)	3																								
	単位修得満期退学者数 (12/3)	3																								
	博士号授与 (14/3/14)	1																								
	博士号授与 (13/9/30)	1																								
	博士号授与 (12/3/15)	3																								
	博士号授与 (11/3/15)	2																								
	博士号授与 (07/3/15)	1																								
	博士号授与 (04/9/30)	1																								

(注) 休学・退学・除籍の計は実人数
事由の内訳については延人数で表記

7 修学指導対象者の対応状況

(1) 大学 [2015～2019]

(表V-7-①)

			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	平均
文学部	英文学科	対象者	96	83	77	81	89	85.2
		対応者	77	59	48	52	62	59.6
	心理・応用コミュニケーション学科	対象者	79	79	82	91	53	76.8
		対応者	44	47	35	46	38	42.0
経済学部	経済学科	対象者	116	137	147	188	125	142.6
		対応者	75	88	77	111	86	87.4
	経営情報学科	対象者	82	82	117	123	80	96.8
		対応者	49	42	70	79	62	60.4
	経済法学科	対象者	97	113	116	94	60	96.0
		対応者	59	60	48	60	40	53.4
社会福祉学部	福祉計画学科	対象者	80	96	81	59	46	72.4
		対応者	40	52	41	31	35	39.8
	福祉臨床学科	対象者	27	53	49	56	46	46.2
		対応者	19	28	30	38	31	29.2
	福祉心理学科	対象者	20	29	42	59	53	40.6
		対応者	12	20	26	42	44	28.8
合計	対象者	597	672	711	751	552	656.6	
	対応者	375	396	375	459	398	400.6	

(2) 短期大学部 [2015～2019]

(表V-7-②)

			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	平均
短期大学部	英文学科	対象者	36	33	34	35	44	36.4
		対応者	30	19	20	24	30	24.6
	生活創造学科	対象者	15	11	27	11	20	16.8
		対応者	7	3	13	4	9	7.2
合計	対象者	51	44	61	46	64	53.2	
	対応者	37	22	33	28	39	31.8	

8 入学前の既修得単位等の認定状況一覧〔2019年度〕

(1) 大学

(表V-8-①)

		1年次					2年次				3年次								
		10 単 位 以 下	11 ～ 15 単 位	16 ～ 20 単 位	21 ～ 25 単 位	26 ～ 30 単 位	合 計	30 単 位 以 下	31 ～ 35 単 位	36 ～ 40 単 位	合 計	40 単 位 以 下	41 ～ 45 単 位	46 ～ 50 単 位	51 ～ 55 単 位	56 ～ 60 単 位	61 ～ 65 単 位	66 ～ 70 単 位	71 ～ 72 単 位
文学部	英文学科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	12	16
									1.00	1.00							0.25	0.75	1.00
	心理・応用コミュニケーション学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	7
																	0.14	0.86	1.00
経済学部	経済学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
																	0.33	0.67	1.00
	経営情報学科	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	1	3
									1.00	1.00							0.67	0.33	1.00
	経済法学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
															1.00				1.00
社会福祉学部	福祉計画学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
																		1.00	1.00
	福祉臨床学科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	4
									1.00	1.00								1.00	1.00
	福祉心理学科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
									1.00	1.00									
合 計		0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	1	8	26	35
									1.00	1.00						0.03	0.23	0.74	1.00

* 「教職に関する科目」のうち、卒業要件に含めない認定単位は、表の数値に含まない。

* 認定単位数の上限は、1年次30単位、2年次編入40単位、3年次72単位である。なお、2009年度において本学卒業生が3年に編入学した際に、算入充当および履修免除により76単位を認定している。

(2) 短期大学部

(表V-8-②)

		1年次					
		10 単 位 以 下	11 ～ 15 単 位	16 ～ 20 単 位	21 ～ 25 単 位	26 ～ 30 単 位	合 計
短期大学部	英文学科	0	0	0	0	0	0
	生活創造学科	0	0	0	0	0	0
合 計		0	0	0	0	0	0

9 卒業時における学科別単位認定状況一覧〔2019年度〕

(1) 大学

(表V-9-①)

認定単位数	英文(大学)	心理・応用 コミュニケーション	経済	経営情報	経済法	福祉計画	福祉臨床	福祉心理	合計
124単位			73人 46.8%	42人 38.9%	46人 33.8%	16人 16.0%	6人 7.1%	25人 41.7%	208人 23.2%
125単位			0人 0.0%	1人 0.9%	0人 0.0%	0人 0.0%	6人 7.1%	0人 0.0%	7人 0.8%
126単位			30人 19.2%	23人 21.3%	34人 25.0%	22人 22.0%	4人 4.8%	14人 23.3%	127人 14.2%
127単位			0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 2.4%	0人 0.0%	2人 0.2%
128単位			23人 14.7%	23人 21.3%	29人 21.3%	12人 12.0%	2人 2.4%	9人 15.0%	98人 10.9%
129単位			0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.0%	2人 2.4%	0人 0.0%	3人 0.3%
130単位			9人 5.8%	5人 4.6%	16人 11.8%	6人 6.0%	3人 3.6%	1人 1.7%	40人 4.5%
131単位			0人 0.0%	1人 0.9%	0人 0.0%	2人 2.0%	2人 2.4%	0人 0.0%	5人 0.6%
132単位	27人 18.9%	38人 35.2%	10人 6.4%	3人 2.8%	5人 3.7%	6人 6.0%	1人 1.2%	1人 1.7%	91人 10.2%
133単位	0人 0.0%	1人 0.9%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 0.1%
134単位	18人 12.6%	28人 25.9%	3人 1.9%	4人 3.7%	3人 2.2%	7人 7.0%	1人 1.2%	2人 3.3%	66人 7.4%
135単位	4人 2.8%	1人 0.9%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.2%	0人 0.0%	6人 0.7%
136単位	17人 11.9%	15人 13.9%	5人 3.2%	4人 3.7%	1人 0.7%	3人 3.0%	4人 4.8%	1人 1.7%	50人 5.6%
137単位	1人 0.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 0.7%	1人 1.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	3人 0.3%
138単位	10人 7.0%	2人 1.9%	0人 0.0%	1人 0.9%	0人 0.0%	2人 2.0%	2人 2.4%	1人 1.7%	18人 2.0%
139単位	3人 2.1%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	3人 0.3%
140単位	10人 7.0%	6人 5.6%	2人 1.3%	0人 0.0%	0人 0.0%	4人 4.0%	6人 7.1%	0人 0.0%	28人 3.1%
141単位	1人 0.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.2%	0人 0.0%	2人 0.2%
142単位	8人 5.6%	5人 4.6%	1人 0.6%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	7人 8.3%	0人 0.0%	21人 2.3%
143単位	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 2.4%	2人 3.3%	4人 0.4%
144単位	5人 3.5%	5人 4.6%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	5人 5.0%	1人 1.2%	0人 0.0%	16人 1.8%
145単位	1人 0.7%	1人 0.9%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 2.4%	1人 1.7%	5人 0.6%
146単位	4人 2.8%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 0.9%	0人 0.0%	0人 0.0%	3人 3.6%	0人 0.0%	8人 0.9%
147単位	3人 2.1%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.2%	0人 0.0%	4人 0.4%
148単位	4人 2.8%	1人 0.9%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	3人 3.0%	2人 2.4%	0人 0.0%	10人 1.1%
149単位	0人 0.0%	1人 0.9%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 0.1%
150単位	1人 0.7%	2人 1.9%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 0.7%	1人 1.0%	2人 2.4%	0人 0.0%	7人 0.8%
151単位	1人 0.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 0.1%
152単位	2人 1.4%	2人 1.9%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 2.4%	0人 0.0%	6人 0.7%
153単位	1人 0.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.2%	0人 0.0%	2人 0.2%
154単位	3人 2.1%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	3人 3.0%	2人 2.4%	0人 0.0%	8人 0.9%
155単位	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.7%	1人 0.1%
156単位	3人 2.1%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 2.0%	2人 2.4%	0人 0.0%	7人 0.8%
157単位	2人 1.4%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 0.2%
158単位	2人 1.4%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 2.4%	0人 0.0%	4人 0.4%
159単位	2人 1.4%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 0.2%
160単位	1人 0.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 2.4%	0人 0.0%	3人 0.3%
161単位	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.2%	1人 1.7%	2人 0.2%
162単位	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.2%	0人 0.0%	1人 0.1%
163単位	3人 2.1%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 2.0%	0人 0.0%	1人 1.7%	6人 0.7%
164単位	1人 0.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 0.1%
165単位	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
166単位	1人 0.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 0.2%
167単位	1人 0.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 0.1%
168単位	2人 1.4%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 0.2%
169単位	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
170単位以上	1人 0.7%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.0%	8人 9.5%	0人 0.0%	10人 1.1%
卒業生数	143人	108人	156人	108人	136人	100人	84人	60人	895人
取得単位平均	141.4	135.8	126.7	127.0	126.9	133.4	142.7	128.8	132.6

9 卒業時における学科別単位認定状況一覧〔2019年度〕

(2) 短期大学部 (表V-9-②)

認定単位数	英文(短大)	生活創造	合計
64単位	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
65単位	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
66単位	3人 2.5%	1人 1.1%	4人 1.9%
67単位	6人 4.9%	0人 0.0%	6人 2.8%
68単位	15人 12.3%	8人 8.8%	23人 10.8%
69単位	26人 21.3%	3人 3.3%	29人 13.6%
70単位	11人 9.0%	18人 19.8%	29人 13.6%
71単位	24人 19.7%	4人 4.4%	28人 13.1%
72単位	7人 5.7%	21人 23.1%	28人 13.1%
73単位	11人 9.0%	6人 6.6%	17人 8.0%
74単位	6人 4.9%	17人 18.7%	23人 10.8%
75単位	4人 3.3%	0人 0.0%	4人 1.9%
76単位	1人 0.8%	7人 7.7%	8人 3.8%
77単位	3人 2.5%	0人 0.0%	3人 1.4%
78単位	0人 0.0%	2人 2.2%	2人 0.9%
79単位	2人 1.6%	0人 0.0%	2人 0.9%
80単位	0人 0.0%	3人 3.3%	3人 1.4%
81単位	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
82単位	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
83単位	1人 0.8%	1人 1.1%	2人 0.9%
84単位	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
85単位	1人 0.8%	0人 0.0%	1人 0.5%
86単位	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
87単位	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
88単位	1人 0.8%	0人 0.0%	1人 0.5%
89単位	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
90単位	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
91単位以上	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
卒業生数	122人	91人	213人
取得単位平均	71.0	72.3	71.5

10 教員組織一覧

(1) 大学〔2019年5月1日現在〕

(表V-10-①)

学部・学科等		専任教員数										設置基準上必要専任教員数	非常勤講師数 (B)		全教員数における比率 (%)		専任教員1人当たりの在籍学生数
		教授		准教授		講師		助教		計 (A)							
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
文学部	英文学科	5	1	2	2	1	1	0	0	8	4	7	20	6	31.6%	68.4%	44.8 人
	心理・応用コミュニケーション学科	6	1	2	1	1	0	0	0	9	2	6	16	5	34.4%	65.6%	
文学部 計		11	2	4	3	2	1	0	0	17	6	13	36	11	32.9%	67.1%	
経済学部	経済学科	7	1	3	0	4	0	0	0	14	1	11	9	2	57.7%	42.3%	48.4 人
	経営情報学科	8	0	0	0	1	1	0	0	9	2	10	6	1	61.1%	38.9%	
	経済法学科	6	1	0	1	3	0	0	0	9	2	10	6	2	57.9%	42.1%	
経済学部 計		21	2	3	1	8	1	0	0	32	5	31	21	5	58.7%	41.3%	
社会学部	福祉計画学科	5	1	3	0	1	0	0	0	9	1	8	11	7	35.7%	64.3%	36.4 人
	福祉臨床学科	6	2	2	0	0	0	1	0	9	2	8	11	7	37.9%	62.1%	
	福祉心理学科	5	1	1	0	1	0	0	0	7	1	8	9	6	34.8%	65.2%	
社会学部 計		16	4	6	0	2	0	1	0	25	4	24	31	20	36.3%	63.8%	
大学共通		18	3	4	4	2	1	1	0	25	8		59	43	24.4%	75.6%	
大学全体の収容定員に応じ定める専任教員数												32					
合計		66	11	17	8	14	3	2	0	99	22	100	147	79	34.9%	65.1%	31.6 人

※ 社会学部各学科の設置基準上必要専任教員数欄は、2割の範囲内において兼任の教員に代えることができる。

※ 教員数合計には、学長、チャプレン各1名を含まない。

※ 大学共通に交流教員1名を含む。

※ 比率の計算式は右記による。 比率 (%) = 専任 or 非常勤 / 計 (A) + 非常勤講師数 (B)

(2) 短期大学部〔2019年5月1日現在〕

(表V-10-②)

学 科		専任教員数										設置基準上必要専任教員数	非常勤講師数 (B)		全教員数における比率 (%)		専任教員1人当たりの在籍学生数
		教授		准教授		講師		助教		計 (A)							
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
短期大学部	英文学科	4	1	2	0	1	2	0	0	7	3	7	17	16	23.3%	76.7%	25.1 人
	生活創造学科	3	1	1	0	1	2	0	0	5	3	5	10	10	28.6%	71.4%	22.8 人
	大学全体の収容定員に応じ定める専任教員数											4					
合計		7	2	3	0	2	4	0	0	12	6	16	27	26	25.4%	74.6%	24.1 人

※ 教員数合計には、学長、チャプレンを各1名含まない。

※ 比率の計算式は右記による。比率 (%) = 専任 or 非常勤 / 計 (A) + 非常勤講師数 (B)

11 専任教員年齢構成一覧表

(1) 大学

(2019年5月1日現在)

(表V-11-①)

学部	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計	
文学部	教授	0	3	4	5	4	0	0	0	0	0	16	
		0.0%	18.8%	25.0%	31.3%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
	准教授	0	1	1	0	1	5	2	0	0	0	10	
		0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	50.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	4
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100%
助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%	
計		0	4	5	5	5	5	2	2	3	0	31	
		0.0%	12.9%	16.1%	16.1%	16.1%	16.1%	6.5%	6.5%	9.7%	0.0%	100%	
経済学部	教授	0	6	7	7	9	1	3	0	0	0	33	
		0.0%	18.2%	21.2%	21.2%	27.3%	3.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
	准教授	0	0	0	0	2	1	3	2	0	0	8	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	100%	
	専任講師	0	1	0	0	0	0	1	3	3	1	9	
		0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	33.3%	33.3%	11.1%	100%	
計		0	7	7	7	11	2	7	5	3	1	50	
		0.0%	14.0%	14.0%	14.0%	22.0%	4.0%	14.0%	10.0%	6.0%	2.0%	100%	
社会福祉学部	教授	0	5	1	9	4	3	4	1	0	0	27	
		0.0%	18.5%	3.7%	33.3%	14.8%	11.1%	14.8%	3.7%	0.0%	0.0%	100%	
	准教授	0	0	1	0	1	1	2	1	1	0	7	
		0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	100%	
	専任講師	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	4	
		0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	100%	
助教	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
計		0	5	3	9	5	4	7	4	1	1	39	
		0.0%	12.8%	7.7%	23.1%	12.8%	10.3%	17.9%	10.3%	2.6%	2.6%	100%	

※交流教員を含む（受け入れ期間中は専任教員としてカウントする）

※学長、副学長、チャプレン、各1名を含まない

11 専任教員年齢構成一覧表

(2) 短期大学部・全体

(2019年5月1日現在)

(表V-11-②)

短大部学科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計	
短期大学部 英文学科	教授	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	5	
		0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	3
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
計		0	2	1	1	3	1	1	1	0	0	10	
		0.0%	20.0%	10.0%	10.0%	30.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100%	
短期大学部 生活創造学科	教授	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	4	
		0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
	准教授	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
	専任講師	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	3	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	100%	
計		0	1	0	1	1	1	2	2	0	0	8	
		0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100%	
大学・短期大学部 全 体	教授	0	17	13	23	19	4	8	1	0	0	85	
		0.0%	20.0%	15.3%	27.1%	22.4%	4.7%	9.4%	1.2%	0.0%	0.0%	100%	
	准教授	0	1	2	0	6	7	8	3	1	0	28	
		0.0%	3.6%	7.1%	0.0%	21.4%	25.0%	28.6%	10.7%	3.6%	0.0%	100%	
	専任講師	0	1	1	0	0	2	3	9	5	2	23	
		0.0%	4.3%	4.3%	0.0%	0.0%	8.7%	13.0%	39.1%	21.7%	8.7%	100%	
	助教	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100%	
合 計		0	19	16	23	25	13	19	14	7	2	138	
		0.0%	13.8%	11.6%	16.7%	18.1%	9.4%	13.8%	10.1%	5.1%	1.4%	100%	
定 年： 通常専任教育職員 65才、特別専任教育職員 70才													

※ 交流教員を含む（受け入れ期間中は専任教員としてカウントする）

※ 学長、副学長、チャプレン、各1人を含まない。

13 専任教員の担当授業時間一覧〔2019年度〕

(1) 大学

文学部 (32人)

区分	教 授	准教授	講 師	助 教	備 考
最 高	7.50	8.00	6.50	0.00	教授の最低2.03 は副学長
最 低	2.03	3.00	4.08	0.00	
平 均	5.77	5.94	5.15	0.00	

経済学部 (50人)

区分	教 授	准教授	講 師	助 教	備 考
最 高	9.00	7.07	8.34		
最 低	3.53	5.00	4.03		
平 均	6.18	5.70	5.76		

社会福祉学部 (39人)

区分	教 授	准教授	講 師	助 教	備 考
最 高	12.00	7.56	11.50	3.00	教授の最低0.00 は国内研修 平均では外数
最 低	0.00	3.50	3.66	3.00	
平 均	6.46	6.18	6.73	3.00	

(2) 短期大学部 (18人)

区分	教 授	准教授	講 師	助 教	備 考
最 高	7.00	6.50	7.00		教授の最低2.00 は後期から病気 休暇
最 低	2.00	5.98	5.50		
平 均	5.67	6.33	6.04		

[注]

- 1 教員が当該大学において担当する1週間の最高、最低及び総平均授業時間を記載すること。
- 2 授業時間の計算は、1週間における1授業時間（授業の単位となる連続した授業時間—いわゆる「コマ」を指す）の担当回数を基礎として算出する。したがって、1授業時間（1コマ）90分の授業の場合は、90分を単位として計算すること。ただし、学部等の特色により、1授業時間を超え連続して授業を行っている場合にも、授業時間の計算は、1授業時間（コマ）の単位に換算し直した数値を記入すること。
- 3 卒業研究指導のための時間は、正規の時間のみを算入し、それ以外の時間に指導を行っていてもここには加えないこと。
- 4 担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合は、その埋田を欄外に付記すること。
- 5 開設されてはいるものの、履修者のいない科目については上表に含めない。
- 6 学長、チャプレンは除く。

14 各種実習室等人員配置一覧〔2019年度〕

人的補助体制について

(2019年5月1日現在) (表V-14)

実験・実習室等名	職員数				備考
	特任	臨時	非常勤助手	派遣	
福祉実習相談室	0	1	2	0	
社会調査実習室	0	0	0	0	
教職実習準備室	0	0	2	0	
心理応用コミュ実習実験準備室	0	0	2	0	
心理学実験準備室	0	0	1	0	
情報・CALLサポートデスク	0	2	0	1	
キリスト教センター	0	2	0	0	
心理臨床センター	0	3	0	0	
学習サポートセンター	0	3	0	0	
アクセシビリティ支援室	2	0	0	0	
短大部生活創造学科建築資料室	0	1	0	0	
短大部英文学科資料室	0	1	0	0	
短大部英文学科教材開発室	0	1	0	0	
合計	2	14	7	1	

※ 2019年度 社会調査実習室は人員配置なし

15 ラーニング・コモンズ利用状況〔2019年度〕

※ここでの来館者数とは、10：30、12：30、15：00、18：00、20：00にラーニング・コモンズを利用していた学生数の総計（延べ人数）である
 ※通常開館（9:00-21:00）短縮開館（10:00-17:00）、特別短縮開館（9:00-17:00）

（表V-15-①）

4月	来館者数
1日	176
2日	138
3日	154
4日	23
5日	101
6日	33
7日	21
8日	154
9日	139
10日	109
11日	149
12日	144
13日	23
14日	8
15日	143
16日	133
17日	142
18日	133
19日	149
20日	35
21日	15
22日	154
23日	143
24日	120
25日	164
26日	125
27日	20
28日	24
29日	閉館
30日	閉館

小計 2,872

5月	来館者数
1日	閉館
2日	閉館
3日	閉館
4日	閉館
5日	閉館
6日	閉館
7日	120
8日	124
9日	144
10日	136
11日	20
12日	27
13日	156
14日	140
15日	136
16日	148
17日	125
18日	62
19日	16
20日	141
21日	163
22日	119
23日	147
24日	131
25日	22
26日	12
27日	110
28日	131
29日	124
30日	119
31日	129

小計 2,702

6月	来館者数
1日	23
2日	24
3日	118
4日	127
5日	104
6日	136
7日	閉館
8日	閉館
9日	16
10日	141
11日	143
12日	113
13日	126
14日	102
15日	27
16日	26
17日	168
18日	154
19日	135
20日	166
21日	151
22日	37
23日	26
24日	128
25日	113
26日	134
27日	121
28日	148
29日	23
30日	40

小計 2,770

7月	来館者数
1日	131
2日	169
3日	167
4日	167
5日	172
6日	130
7日	27
8日	124
9日	142
10日	142
11日	148
12日	167
13日	20
14日	10
15日	34
16日	169
17日	153
18日	152
19日	168
20日	40
21日	36
22日	156
23日	172
24日	171
25日	202
26日	156
27日	57
28日	46
29日	160
30日	182
31日	212

小計 3,982

8月	来館者数
1日	216
2日	179
3日	64
4日	65
5日	202
6日	155
7日	117
8日	84
9日	44
10日	閉館
11日	閉館
12日	閉館
13日	閉館
14日	閉館
15日	閉館
16日	閉館
17日	閉館
18日	閉館
19日	73
20日	64
21日	32
22日	41
23日	38
24日	10
25日	閉館
26日	68
27日	68
28日	51
29日	51
30日	78
31日	37

小計 1,737

9月	来館者数
1日	閉館
2日	51
3日	65
4日	60
5日	80
6日	46
7日	33
8日	閉館
9日	53
10日	40
11日	68
12日	54
13日	56
14日	17
15日	閉館
16日	閉館
17日	112
18日	102
19日	140
20日	148
21日	25
22日	22
23日	14
24日	165
25日	149
26日	115
27日	153
28日	27
29日	17
30日	125

小計 1,937

通常開館	20日	144.7人/日
短縮開館	10日	29.0人/日

	21日	147.1人/日
	7月	21.4人/日

	20日	146.0人/日
	8日	23.3人/日

	22日	153.1人/日
	9日	39.2人/日

	17日	85.1人/日
	3日	39.3人/日

	11日	109.1人/日
	14日	22.0人/日

※北海道の緊急事態宣言発令に伴い、2/29～3/31の開館スケジュールを変更した

3月中の開館日は、特別短縮開館（9:00-17:00）とした

(表V-15-②)

10月	来館者数
1日	124
2日	135
3日	105
4日	175
5日	37
6日	17
7日	121
8日	108
9日	118
10日	129
11日	126
12日	26
13日	閉館
14日	閉館
15日	31
16日	144
17日	169
18日	175
19日	46
20日	17
21日	171
22日	33
23日	152
24日	149
25日	175
26日	49
27日	18
28日	151
29日	124
30日	141
31日	158

小計 3,124

11月	来館者数
1日	123
2日	18
3日	30
4日	24
5日	133
6日	134
7日	159
8日	148
9日	26
10日	20
11日	140
12日	167
13日	143
14日	171
15日	137
16日	28
17日	30
18日	151
19日	169
20日	145
21日	159
22日	168
23日	38
24日	27
25日	177
26日	156
27日	176
28日	206
29日	182
30日	54

小計 3,439

12月	来館者数
1日	57
2日	217
3日	125
4日	154
5日	178
6日	171
7日	92
8日	19
9日	135
10日	197
11日	167
12日	188
13日	118
14日	39
15日	25
16日	134
17日	158
18日	115
19日	120
20日	112
21日	22
22日	15
23日	112
24日	78
25日	閉館
26日	60
27日	13
28日	20
29日	閉館
30日	閉館
31日	閉館

小計 2,841

1月	来館者数
1日	閉館
2日	閉館
3日	閉館
4日	17
5日	17
6日	158
7日	162
8日	151
9日	163
10日	167
11日	23
12日	30
13日	35
14日	163
15日	174
16日	175
17日	閉館
18日	閉館
19日	閉館
20日	212
21日	191
22日	187
23日	151
24日	127
25日	26
26日	43
27日	165
28日	125
29日	126
30日	88
31日	95

小計 2,971

2月	来館者数
1日	28
2日	29
3日	78
4日	60
5日	閉館
6日	閉館
7日	閉館
8日	閉館
9日	24
10日	85
11日	閉館
12日	70
13日	96
14日	56
15日	34
16日	閉館
17日	67
18日	74
19日	41
20日	63
21日	39
22日	7
23日	閉館
24日	閉館
25日	45
26日	20
27日	47
28日	39
29日	閉館

小計 1,002

3月	来館者数
1日	閉館
2日	18
3日	21
4日	18
5日	21
6日	40
7日	閉館
8日	閉館
9日	28
10日	21
11日	27
12日	33
13日	31
14日	閉館
15日	閉館
16日	25
17日	33
18日	30
19日	52
20日	閉館
21日	閉館
22日	閉館
23日	44
24日	35
25日	32
26日	57
27日	64
28日	閉館
29日	閉館
30日	52
31日	57

小計 739

4月1日～3月31日

合計 30,116

15日	66.2人/日
5日	23.0人/日

0日	0/日
0日	0/日
21日	35.2人/日

通常開館
202

短縮開館
88

特別短縮開館
21

閉館日数
54

通常開館	22日	157.2人/日
短縮開館	7日	48.4人/日
特別短縮		

21日	175.0人/日
9日	20.1人/日

15日	163.5人/日
10日	27.0人/日

18日	153.2人/日
6日	49.3人/日

16 教員人事一覧

[2019年度]

(表V-16)

学部	採用者・職名 2019.4.1付け	昇格者・職名 2019.4.1付け	退職者・職名 2020.3.31付け	採用予定者・職名 2020.4.1付け	昇格予定者・職名 2020.4.1付け	交流教員及び客員教員 受入者
文学部	湊 史郎・准教授(特別専任)		佐々木 敏・教授	森田 勲・教授(特別専任)	石川 悟・教授	
	濱 保久・教授(特別専任)		古賀 清敬・教授		松浦 年男・教授	
	寺林 晁良・専任講師				斎藤 彩世・准教授	
					田村 早苗・准教授	
計	3	0	2	1	4	0
経済学部	諸岡 卓真・准教授		濱 文章・教授	濱 文章・教授	鄭 根珠・教授	賀 静彬(カゼヒコ) 交流教授
	柴崎 慎也・専任講師		原島 正衛・教授	原島 正衛・教授	黄 雅雯・准教授	
	南 ホチヨル・専任講師		山口 博教・教授			
	平井 廣一・教授(特別専任)			申 恩真・専任講師		Urandelger Gantulga 客員研究員
	宮澤 照恵・教授(特別専任)					
	松本 康一郎・教授(特別専任)					
	増田 好純・准教授					
	多鹿 智哉・専任講師					
計	8	0	3	3	2	2
社会福祉学部	斎藤 仁史・准教授(特別専任)	伊藤 新一郎・教授	杉岡 直人・教授	中田龍三郎・専任講師	眞嶋 良全・教授	
	五味田 泰・専任講師(特別専任)	松岡 是伸・准教授	工藤 憲・教授	大西 昌美・教授(特別専任)	佐藤 祐基・准教授	
	播磨 正一・専任講師(特別専任)	大友 秀治・准教授				
	工藤 憲・教授(特別専任)					
計	4	3	2	2	2	0
大学合計	15	3	7	6	8	2
短期大学部			坂内 正 教授		田中直子 准教授	
					風戸真理 准教授	
計	0	0	1	0	2	0
総計	15	3	8	6	10	2

学 長																
ふりがな 氏 名 (性別)	授 業 科 目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号
	毎週授業コマ数															
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コ マ 数	備 考	合 計 コ マ 数				
だいぼう いくお 大坊 郁夫 (男) 昭和22年11月4日 71歳													0.00	学長	平成30年4月1日	昭和48年3月 北海道大学大学院 文学研究科 心理学専攻 博士課程 中退 文学修士〔昭和47年3月〕 北海道大学

チャプレン																
ふりがな 氏 名 (性別)	授 業 科 目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号
	毎週授業コマ数															
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コ マ 数	備 考	合 計 コ マ 数				
ひだか よしひこ 日高 嘉彦 (男) 昭和33年5月4日 60歳	8295	北星学		前	前	木	3	2	249	0.50		1.50	チャプレン (教授)	平成25年4月1日	スミス・ミッション センター部長 平成21年11月 西南学院大学大学院 神学研究科 博士後期課程 修了 博士 (神学) 西南学院大学	
	7945	キリスト教学II		後	後	金	1	2	6	0.50						
	7943	キリスト教学I		後	後	金	2	2	97	0.50						

ふりがな 氏名(性別)	授業科目											職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号					
	毎週授業コマ数																			
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考					合計 コマ数				
びーたー ぐれい ピーター・グレイ (男) 昭和31年8月6日 62歳	1324	専門演習Ⅲ		前	前	月	4	2	13	0.50		7.50	教授	国際教育 センター長	昭和58年6月 米国カリフォルニア大学デービス校大学院 文学専攻 修士課程 修了 M.A. (英文学修士) 米国カリフォルニア大学デービス校大学院					
	1364	卒業研究Ⅰ		前	前	月	5	2	13	0.50	1374でカウント									
	1521	アカデミック・コミュニケーションⅠ	In	前	前	火	1	2	15	0.50										
	1304	専門演習Ⅰ		前	前	火	2	2	12	0.50										
	1521	アカデミック・コミュニケーションⅠ	In	前	前	金	1	2	15	0.50										
	1585	アカデミック・エッセイⅠ	E	前	前	金	2	2	33	0.50										
	1921	オーラル・インタープリテーションⅠ		前	前	金	5	2	14	0.50										
	1661	Introduction to Fiction Writing		後	後	月	2	2	35	0.50										
	1334	専門演習Ⅳ		後	後	月	4	2	15	0.50										
	1374	卒業研究Ⅱ		後	後	月	5	4	15	0.50	15名提出									
	1531	アカデミック・コミュニケーションⅡ	In	後	後	火	1	2	15	0.50										
	1314	専門演習Ⅱ		後	後	火	2	2	13	0.50										
	1531	アカデミック・コミュニケーションⅡ	In	後	後	金	1	2	15	0.50										
	1595	アカデミック・エッセイⅡ	E	後	後	金	2	2	30	0.50										
	1923	オーラル・インタープリテーションⅡ		後	後	金	5	2	14	0.50										
はせがわ のりこ 長谷川 典子 (女) 昭和37年4月6日 56歳 サバティカル 2019. 10. 1～2020. 3. 31	1421	専門演習Ⅲ		前	前	月	4	2	18	0.50		3.50	教授		平成20年9月 総合研究大学院大学 文化科学研究科 文化社会学専攻 博士課程 修了 博士 (学術) 総合研究大学院大学					
	1461	卒業研究Ⅰ		前	前	月	5	2	18	0.50										
	1431	専門演習Ⅳ		前	前	火	2	2	17	0.50										
	1616	異文化コミュニケーション概論Ⅰ		前	前	火	4	2	193	0.50										
	1195	基礎演習Ⅰ	E	前	前	水	2	2	15	0.50										
	1411	専門演習Ⅱ		前	前	木	1	2	13	0.50										
	1401	専門演習Ⅰ		前	前	木	2	2	13	0.50										
	9223	異文化コミュニケーション論研究		前	前	土	5	2	0	—	大学院									
	9224	異文化コミュニケーション論演習		前	前	土	5	2	0	—	大学院									
	1071	イングリッシュ・ディベートⅠ		前	前	月	2	2	7	0.50										
	1424	専門演習Ⅲ		前	前	月	4	2	11	0.50										
じよせふ らけっと ジョセフ・ラケット (男) 昭和36年5月26日 57歳	1464	卒業研究Ⅰ		前	前	月	5	2	11	0.50	1474でカウント	7.50	教授	平成4年4月1日 平成16年4月1日	昭和60年6月 米国カリフォルニア州立大学大学院 英語学専攻 修士課程 修了 M.A. (英語学修士) 米国カリフォルニア州立大学大学院					
	1001	Basic SpeakingⅠ	In	前	前	火	2	2	10	0.50										
	1501	ベインシック・スピーキングⅠ	In	前	前	火	2	2	0	—	1001でカウント									
	1903	パブリック・スピーキング	A	前	前	木	1	2	22	0.50										
	1404	専門演習Ⅰ		前	前	木	2	2	12	0.50										
	1001	Basic SpeakingⅠ	In	前	前	金	2	2	10	0.50										
	1501	ベインシック・スピーキングⅠ	In	前	前	金	2	2	0	—	1001でカウント									
	1642	英語学概論		前	前	金	4	2	57	—	1662でカウント									
	1662	Introduction to English Linguistics		前	前	金	4	2	61	0.50										
	1076	イングリッシュ・ディベートⅡ		後	後	月	2	2	7	0.50										
	1434	専門演習Ⅳ		後	後	月	4	2	11	0.50										
	1474	卒業研究Ⅱ		後	後	月	5	4	13	0.50	12名提出									
	1011	Basic SpeakingⅡ	In	後	後	火	2	2	10	0.50										
	1511	ベインシック・スピーキングⅡ	In	後	後	火	2	2	0	—	1011でカウント									
	1906	プレゼンテーション・スキルズ	A	後	後	木	1	2	22	0.50										
	1414	専門演習Ⅱ		後	後	木	2	2	9	0.50										
	1011	Basic SpeakingⅡ	In	後	後	金	2	2	10	0.50										
	1511	ベインシック・スピーキングⅡ	In	後	後	金	2	2	0	—	1011でカウント									
	たかはし かつより 高橋 克依 (男) 昭和37年7月3日 55歳	1325	専門演習Ⅲ		前	前	月	4	2	15	0.50						5.50	教授	英文学科長	平成6年3月 中央大学大学院 文学研究科 英文学専攻 博士後期課程 単位取得後退学 文学修士〔平成2年3月〕 中央大学
		1365	卒業研究Ⅰ		前	前	月	5	2	15	0.50					1375でカウント				
		1305	専門演習Ⅰ		前	前	火	2	2	14	0.50									
1763		演劇研究A		前	前	金	4	2	40	0.50										
9205		現代英米文学論研究		前	前	土	5	2	0	—	大学院									
9262		研究指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院									
1606		演劇概論		後	後	月	2	2	88	0.50										
1335		専門演習Ⅳ		後	後	月	4	2	17	0.50										
1375		卒業研究Ⅱ		後	後	月	5	4	17	0.50	15名提出									
1315		専門演習Ⅱ		後	後	火	2	2	14	0.50										
1177		英文法クリニック	A	後	後	水	1	2	122	0.50										
1178		英文法クリニック	a	後	後	水	1	2	5	—	1177でカウント									
1177		英文法クリニック	A	後	後	水	2	2	122	0.50										
1764		演劇研究B		後	後	金	4	2	31	0.50										
1178		英文法クリニック	a	後	後	土	5	2	5	—	1177でカウント									
9206		現代英米文学論演習		後	後	土	5	2	0	—	大学院									
9252		研究指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院									
9272		修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院									
9282		特定課題研究指導		後	後	土	5	4	0	—	大学院									
9292		論文指導		後	後	土	5	3	0	—	大学院									
9294		特定課題研究指導		後	後	土	5	3	0	—	大学院									

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号					
	毎週授業コマ数																				
	履修 コード	科目名	クラス	開講 期	担当 期	曜日	講 時	単 位	履修 者数	コマ数	備考	合計 コマ数									
たかの しょうじ 高野 照司(男) 昭和36年7月10日 57歳	1423	専門演習Ⅲ		前	前	月	4	2	11	0.50		5.50	教授	平成8年4月1日 平成19年4月1日		平成9年9月 米国アリゾナ大学大学院 第二言語習得理論及び教授法課程 社会言語学専攻 博士課程 修了 Ph. D. (学術博士) 米国アリゾナ大学大学院					
	1463	卒業研究Ⅰ		前	前	月	5	2	11	0.50	1473でカウント										
	1196	基礎演習Ⅰ	F	前	前	水	2	2	15	0.50											
	1854	英語学研究B		前	前	木	1	2	41	0.50											
	1403	専門演習Ⅰ		前	前	木	2	2	10	0.50											
	1614	社会言語学概論		前	前	金	3	2	85	0.50											
	9227	社会言語学研究		前	前	土	5	2	0	—	大学院										
	9263	研究指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院										
	9238	コミュニケーション論特殊研究		夏集中	前	土	5	2	0	—	大学院										
	1433	専門演習Ⅳ		後	後	月	4	2	12	0.50											
	1473	卒業研究Ⅱ		後	後	月	5	4	15	0.50	15名提出										
	1204	基礎演習Ⅱ	D	後	後	水	2	2	18	0.50											
	1856	英語学研究D		後	後	木	1	2	35	0.50											
	1413	専門演習Ⅱ		後	後	木	2	2	11	0.50											
	9228	社会言語学演習		後	後	土	5	2	0	—	大学院										
	9253	研究指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院										
	やなぎまち ともはる 柳町 智治(男) 昭和35年10月20日 58歳	1422	専門演習Ⅲ		前	前	月	4	2	7	0.50							5.00	教授	平成24年4月1日 平成20年4月1日	平成9年8月 米国ミネソタ大学大学院 第二言語文化教育専攻 博士課程 修了 Ph. D. (教育学博士) 米国ミネソタ大学大学院
		1462	卒業研究Ⅰ		前	前	月	5	2	7	0.50						1472カウント				
		1197	基礎演習Ⅰ	G	前	前	水	2	2	16	0.50										
		1402	専門演習Ⅰ		前	前	木	2	2	14	0.50										
1853		英語学研究A		前	前	木	4	2	40	0.50											
9225		言語教育学研究		前	前	土	5	2	0	—	大学院										
9264		研究指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院										
1432		専門演習Ⅳ		後	後	月	4	2	8	0.50											
1472		卒業研究Ⅱ		後	後	月	5	4	11	0.50	11名提出										
1205		基礎演習Ⅱ	E	後	後	水	2	2	18	0.50											
1412		専門演習Ⅱ		後	後	木	2	2	16	0.50											
1643		応用言語学概論		後	後	金	4	2	127	0.50											
9226		言語教育学演習		後	後	土	5	2	0	—	大学院										
9254		研究指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院										
9274		修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院										
9284		特定課題研究指導		後	後	土	5	4	0	—	大学院										
えぐち ひとし 江口 均(男) 昭和44年4月14日 49歳		1425	専門演習Ⅲ		前	前	月	4	2	15	0.50		6.50	准教授	平成18年4月1日 平成22年4月1日	平成8年5月 米国インディアナ大学大学院 応用言語学科 修士課程 修了 M. A. (文学修士) 米国インディアナ大学大学院					
		1465	卒業研究Ⅰ		前	前	月	5	2	15	0.50	1475でカウント									
		1193	基礎演習Ⅰ	C	前	前	水	2	2	16	0.50										
		1405	専門演習Ⅰ		前	前	木	2	2	12	0.50										
	8916	英語科教育法Ⅰ		前	前	木	4	2	22	0.50											
	1621	海外短期英語研修	A	通年	前	夏集中	1	4	15	0.50											
	1628	海外短期英語研修	B	通年	前	夏集中	1	4	0	—											
	1681	English Practicum I		通年	前	夏集中	1	2	0	—											
	1685	Overseas English Studies I		通年	前	夏集中	1	4	0	—											
	1687	Overseas English Experience I		通年	前	夏集中	1	2	0	—											
	1691	海外英語短期研修		通年	前	夏集中	1	4	2	0.50											
	2184	海外短期研修	C	通年	前	夏集中	1	2	0	—											
	1435	専門演習Ⅳ		後	後	月	4	2	15	0.50											
	1475	卒業研究Ⅱ		後	後	月	5	4	18	0.50	18名提出										
	1201	基礎演習Ⅱ	A	後	後	水	2	2	19	0.50											
	1415	専門演習Ⅱ		後	後	木	2	2	14	0.50											
	1942	英語教育学講座		後	後	木	5	2	6	—	1967でカウント										
	1967	英語科教育概説Ⅰ		後	後	木	5	2	2	0.50											
	1621	海外短期英語研修	A	通年	後	冬集中	1	4	15	0.50											
	1628	海外短期英語研修	B	通年	後	冬集中	1	4	0	—											
	1681	English Practicum I		通年	後	冬集中	1	2	0	—											
	1685	Overseas English Studies I		通年	後	冬集中	1	4	0	—											
	1687	Overseas English Experience I		通年	後	冬集中	1	2	0	—											
	1691	海外英語短期研修		通年	後	冬集中	1	4	2	—	上段でカウント										
	2184	海外短期研修	C	通年	後	冬集中	1	2	0	—											

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号						
	毎週授業コマ数																					
	履修 コード	科目名	クラス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計 コマ数										
なかし みえ 中地 美枝(女) 昭和45年12月4日 48歳	1426	専門演習Ⅲ		前	前	月	4	2	13	0.50		5.50	准教授	平成29年4月1日		平成20年2月 米国シカゴ大学大学院 社会科学部 歴史学部 博士課程 修了 Ph.D(歴史博士) シカゴ大学						
	1466	卒業研究Ⅰ		前	前	月	5	2	13	0.50	1476でカウント											
	1194	基礎演習Ⅰ	D	前	前	水	2	2	15	0.50												
	1406	専門演習Ⅰ		前	前	木	2	2	11	0.50												
	1844	英語メディア研究AⅡ	B	前	前	金	4	2	0	—	1874でカウント											
	1874	英語メディア研究D		前	前	金	4	2	40	0.50												
	9229	グローバル・地域研究		前	前	土	5	2	0	—	大学院											
	9265	研究指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院											
	1436	専門演習Ⅳ		後	後	月	4	2	14	0.50												
	1476	卒業研究Ⅱ		後	後	月	5	4	17	0.50	16名提出											
	1202	基礎演習Ⅱ	B	後	後	水	2	2	20	0.50												
	1416	専門演習Ⅱ		後	後	木	2	2	12	0.50												
	1665	グローバル・スタディーズ概論		後	後	金	1	2	13	0.50												
	1843	英語メディア研究AⅠ	B	後	後	金	4	2	0	—	1873でカウント											
	1873	英語メディア研究C		後	後	金	4	2	40	0.50												
	9230	グローバル・地域研究演習		後	後	土	5	2	0	—	大学院											
	9255	研究指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院											
	9275	修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院											
	9285	特定課題研究指導		後	後	土	5	4	0	—	大学院											
	しまだ けいこ 島田 桂子(女) 昭和38年12月12日 55歳	1321	専門演習Ⅲ		前	前	月	4	2	13	0.50						5.03	准教授	平成27年4月1日		平成21年3月 聖学院大学大学院 アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所 博士課程 修了 Ph.D.(学術博士) 聖学院大学大学院	
		1361	卒業研究Ⅰ		前	前	月	5	2	13	0.50											1371でカウント
		1301	専門演習Ⅰ		前	前	火	2	2	12	0.50											
		1192	基礎演習Ⅰ	B	前	前	水	2	2	15	0.50											
		8295	北星学		前	前	木	3	2	249	0.03											1回担当
1771		イギリス小説研究A		前	前	金	3	2	30	0.50												
9201		イギリス文学論研究		前	前	土	5	2	0	—	大学院											
9266		研究指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院											
1331		専門演習Ⅳ		後	後	月	4	2	13	0.50												
1371		卒業研究Ⅱ		後	後	月	5	4	13	0.50	13名担当											
1311		専門演習Ⅱ		後	後	火	2	2	12	0.50												
1207		基礎演習Ⅱ	G	後	後	水	2	2	19	0.50												
1602		イギリス文学概論		後	後	金	3	2	142	0.50												
9202		イギリス文学論演習		後	後	土	5	2	0	—	大学院											
9256		研究指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院											
9276		修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院											
9286		特定課題研究指導		後	後	土	5	4	0	—	大学院											
さいとう さよ 齋藤 彩世(女) 昭和60年3月5日 34歳		1605	アメリカン・フィクション		前	前	月	2	2	0	—	1641でカウント	6.50	講師	平成26年4月1日	平成26年3月 九州大学大学院 人文科学府 言語・文学専攻 博士後期課程 単位取得後退学 博士(文学)〔平成28年3月〕 九州大学						
		1641	アメリカ文学概論		前	前	月	2	2	77	0.50											
		1322	専門演習Ⅲ		前	前	月	4	2	14	0.50											
		1362	卒業研究Ⅰ		前	前	月	5	2	14	0.50	1372でカウント										
		1302	専門演習Ⅰ		前	前	火	2	2	13	0.50											
		1191	基礎演習Ⅰ	A	前	前	水	2	2	16	0.50											
		1751	イギリス文学史A		前	前	金	2	2	60	0.50											
	1985	翻訳法AⅠ		前	前	金	4	2	45	0.50												
	9209	アフリカ文学論研究		前	前	土	5	2	0	—	大学院											
	9267	研究指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院											
	1332	専門演習Ⅳ		後	後	月	4	2	14	0.50												
	1372	卒業研究Ⅱ		後	後	月	5	4	14	0.50	13名提出											
	1312	専門演習Ⅱ		後	後	火	2	2	12	0.50												
	1206	基礎演習Ⅱ	F	後	後	水	2	2	18	0.50												
	1752	イギリス文学史B		後	後	金	2	2	57	0.50												
	1987	翻訳法AⅡ		後	後	金	4	2	45	0.50												
	9210	アフリカ文学論演習		後	後	土	5	2	0	—	大学院											
	9257	研究指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院											
	9277	修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院											
	9287	特定課題研究指導		後	後	土	5	4	0	—	大学院											

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号						
	毎週授業コマ数																					
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コ マ 数	備 考	合 計 コ マ 数										
ろばーと とむそん ロバート・トムソン(男) 昭和55年6月12日 38歳	1427	専門演習Ⅲ		前	前	月	4	2	13	0.50		5.03	講師	平成29年4月1日		平成28年3月 北海道大学院 文学研究科 人間システム科学 博士課程 修了						
	1467	卒業研究Ⅰ		前	前	月	5	2	13	0.50	1477でカウント											
	7146	アセンブリⅡ		短英	前	前	火	2	2	127	0.03						1回担当					
	1407	専門演習Ⅰ		前	前	木	2	2	10	0.50												
	1986	翻訳法BⅠ		前	前	木	3	2	15	0.50												
	8791	コミュニケーション論〔国際〕	A	前	前	木	5	2	4	0.50												
	8883	メディア論〔国際〕	A	前	前	木	5	3	1	-	8791でカウント											
	1664	Introduction to Digital Media		前	前	金	1	2	19	0.50												
	9221	コミュニケーション論研究		前	前	土	5	2	0	-	大学院											
	9268	研究指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	-	大学院											
	1437	専門演習Ⅳ		後	後	月	4	2	14	0.50												
	1477	卒業研究Ⅱ		後	後	月	5	4	16	0.50	15名提出											
	1417	専門演習Ⅱ		後	後	木	2	2	12	0.50												
	1988	翻訳法BⅡ		後	後	木	3	2	15	0.50												
	8792	コミュニケーション論〔国際〕	B	後	後	木	5	2	0	-												
	8884	メディア論〔国際〕	B	後	後	木	5	3	0	-	8792でカウント											
	9222	コミュニケーション論演習		後	後	土	5	2	0	-	大学院											
	9258	研究指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	-	大学院											
	9278	修士論文		後	後	土	5	4	0	-	大学院											
	9288	特定課題研究指導		後	後	土	5	4	0	-	大学院											
	みのうち ゆたか 養内 豊(男) 昭和38年7月28日 55歳	2073	野外活動演習		前	前	月	2	2	26	0.17						5回担当(養内・角田)	4.75	教授	平成3年4月1日	文学部長 文学 研究科長	昭和63年3月 筑波大学大学院 体育研究科 体育方法学専攻 修士課程 修了
		2048	応用コミュニケーション論		前	前	月	3	2	2	-						2059でカウント					
		2059	コミュニケーション科学Ⅱ		前	前	月	3	2	98	0.04						1回担当+1回(4人で分担)					
2142		フィールド実習Ⅰ	B	前	前	月	5	2	32	0.50												
2202		専門演習Ⅰ		前	前	金	3	2	15	0.50												
2242		専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	14	0.50												
2302		卒業研究Ⅰ		前	前	金	5	3	14	0.50	2322でカウント											
2147		フィールド実習Ⅱ	B	後	後	月	5	2	32	0.50												
2017		スポーツ心理学		後	後	火	1	2	87	0.17	5/15担当(養内、吉田聡美)											
2031		地域国際概論		後	後	木	2	2	80	0.07	2回担当											
2085		科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	4	4	25	0.30	学科専任10名、2人ずつ18回担当											
2086		科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	4	4	25	-	Aクラスでカウント											
2087		科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	4	4	24	-	Aクラスでカウント											
2088		科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	4	4	24	-	Aクラスでカウント											
2085		科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	5	4	25	-	2085でカウント											
2086		科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	5	4	25	-	Aクラスでカウント											
2087		科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	5	4	24	-	Aクラスでカウント											
2088		科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	5	4	24	-	Aクラスでカウント											
2222		専門演習Ⅱ		後	後	金	3	2	15	0.50												
2262		専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	17	0.50												
2322		卒業研究Ⅱ		後	後	金	5	3	16	0.50	15名提出											
9244		身体心理学特殊研究		後	後	土	5	2	0	-	大学院											

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号				
	毎週授業コマ数																			
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計 コマ数								
たなべ たけひこ 田辺 毅彦(男) 昭和32年4月22日 61歳	2048	応用コミュニケーション論		前	前	月	3	2	2	—	2059でカウント	7.31	教授	心理・応用 コミュニケーション 学科長	昭和63年8月 同志社大学大学院 文学研究科 心理学専攻 博士後期課程 単位取得後退学					
	2059	コミュニケーション科学II		前	前	月	3	2	98	0.04	1回担当+1回(4人で分担)									
	8911	教育心理学	A	前	前	火	2	2	152	0.50										
	2111	基礎演習	コA	前	前	水	2	2	14	0.50										
	2126	社会活動実習		前	前	木	4	2	6	0.50										
	2203	専門演習I		前	前	金	3	2	13	0.50										
	2243	専門演習III		前	前	金	4	2	17	0.50										
	2272	専門演習IV		指導	前	前	金	4	2	3	—					2243でカウント				
	2303	卒業研究I		指導	前	前	金	5	3	17	0.50					2323でカウント				
	2339	卒業研究II		指導	前	前	金	5	3	2	—					2303でカウント				
	9242	教育社会心理学研究			前	前	土	5	2	0	—					大学院				
	2009	心理学研究法	コ	後	後	火	3	2	47	0.10	3回担当									
	2005	心理学実験演習	コA	後	後	火	4	4	46	0.27	4回担当									
	2006	心理学実験演習	コB	後	後	火	4	4	0	—	5人(田辺、後藤、石川、柳原、大瀬)で分担									
	2005	心理学実験演習	コA	後	後	火	5	4	46	—	5人(田辺、後藤、石川、柳原、大瀬)で分担									
	2006	心理学実験演習	コB	後	後	火	5	4	0	—	5人(田辺、後藤、石川、柳原、大瀬)で分担									
	8912	教育心理学	B	後	後	水	1	2	33	0.50										
	2021	心理科学概論		後	後	水	2	2	97	0.50	コーディネーター、5回									
	2004	感情心理学		後	後	木	1	2	148	0.50										
	2171	プレゼンテーション演習		後	後	木	3	2	16	0.50										
	2085	科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	4	4	25	0.40	学科専任10名、2人ずつ24回担当									
	2086	科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	4	4	25	—	Aクラスでカウント									
	2087	科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント									
	2088	科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント									
	2085	科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	5	4	25	—	2085でカウント									
	2086	科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	5	4	25	—	Aクラスでカウント									
	2087	科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント									
	2088	科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント									
	2223	専門演習II		後	後	金	3	2	14	0.50										
	2263	専門演習IV		後	後	金	4	2	20	0.50										
	2323	卒業研究II		後	後	金	5	3	19	0.50	15名提出									
	さかい ひろし 阪井 宏(男) 昭和31年3月24日 63歳 サバティカル 2019.4.1~2019.8.28	2084	現代社会学		後	後	火	1	2	98	0.50						4.90	教授	2人(阪井・本多)で2クラス担当	昭和55年3月 慶応義塾大学 法学部 政治学科 卒業 法学士 慶応義塾大学
		2165	文章コミュニケーション	A	後	後	火	2	2	34	0.50					2人(阪井・本多)で2クラス担当				
2166		文章コミュニケーション	B	後	後	火	2	2	0	—	Aクラスでカウント									
2056		インタビュー技法	A	後	後	火	3	2	70	0.50	2人(大島・阪井)で2クラス担当									
2057		インタビュー技法	B	後	後	火	3	2	0	—	Aクラスでカウント									
2082		マスコミュニケーション論		後	後	木	2	2	61	0.50										
2074		ルポルタージュ論		後	後	木	3	2	40	0.50										
2085		科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	4	4	25	0.40	学科専任10名、2人ずつ24回担当									
2086		科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	4	4	25	—	Aクラスでカウント									
2087		科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント									
2088		科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント									
2085		科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	5	4	25	—	2085でカウント									
2086		科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	5	4	25	—	Aクラスでカウント									
2087		科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント									
2088		科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント									
2072		時事社会研究		後	後	金	1	2	23	0.50										
2225		専門演習II		後	後	金	3	2	13	0.50										
2265		専門演習IV		後	後	金	4	2	7	0.50										
2325		卒業研究II		後	後	金	5	3	5	0.50	6名提出									

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号
	毎週授業コマ数															
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コ マ 数	備 考	合 計 コ マ 数				
ごとう やすひろ 後藤 靖宏(男) 昭和43年4月12日 50歳	2161	情報技術演習	A	前	前	月	2	2	31	0.50	3人(後藤・石川・小幡)で3クラス担当	6.51	教授	平成12年4月1日 平成24年4月1日	平成10年3月 北海道大学大学院 文学研究科 行動科学専攻 博士後期課程 修了 博士(行動科学) 北海道大学	
	2162	情報技術演習	B	前	前	月	2	2	0	—	Aクラスでカウント					
	2163	情報技術演習	C	前	前	月	2	2	0	—	Aクラスでカウント					
	2112	基礎演習	コB	前	前	水	2	2	14	0.50						
	2001	コミュニケーション心理学		前	前	木	2	2	1	—	2058でカウント					
	2058	コミュニケーション科学 I		前	前	木	2	2	98	0.23	7回担当(濱、後藤)					
	2013	認知心理学	コ	前	前	木	3	2	82	0.50						
	2049	応用統計法		前	前	金	1	2	18	—	2060でカウント					
	2060	統計法基礎		前	前	金	1	2	98	0.25	2人(後藤・柿原)で分担					
	2206	専門演習 I		前	前	金	3	2	4	0.50						
	2246	専門演習 III		前	前	金	4	2	6	0.50						
	2306	卒業研究 I		前	前	金	5	3	6	0.50	2326でカウント					
	2009	心理学研究法	コ	後	後	火	3	2	47	0.10	3回担当					
	2005	心理学実験演習	コA	後	後	火	4	4	46	0.40	6回担当					
	2006	心理学実験演習	コB	後	後	火	4	4	0	—	5人(田辺、後藤、石川、柿原、大瀬)で分担					
	2005	心理学実験演習	コA	後	後	火	5	4	46	—	5人(田辺、後藤、石川、柿原、大瀬)で分担					
	2006	心理学実験演習	コB	後	後	火	5	4	0	—	5人(田辺、後藤、石川、柿原、大瀬)で分担					
	2021	心理学概論		後	後	水	2	2	97	0.13	4回担当					
	2003	音楽心理学		後	後	木	3	2	70	0.50						
	2085	科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	4	4	25	0.40	学科専任10名、2人ずつ24回担当					
	2086	科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	4	4	25	—	Aクラスでカウント					
	2087	科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント					
	2088	科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント					
	2085	科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	5	4	25	—	2085でカウント					
	2086	科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	5	4	25	—	Aクラスでカウント					
	2087	科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント					
	2088	科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント					
	2226	専門演習 II		後	後	金	3	2	3	0.50						
	2266	専門演習 IV		後	後	金	4	2	6	0.50						
	2326	卒業研究 II		後	後	金	5	3	6	0.50	6名提出					
2185	インターンシップ・プロジェクト実習		冬集中	後	冬集中	1	2	0	—							
おおしま すみこ 大島 寿美子(女) 昭和39年8月20日 54歳	2189	English as a global language		前	前	月	2	4	15	0.25	2人(大島・片岡)で担当	7.04	教授	平成14年4月1日 平成24年4月1日	平成24年3月 北海道大学大学院 医学研究科 医学専攻 博士課程 修了 博士(医学) 北海道大学	
	2048	応用コミュニケーション論		前	前	月	3	2	2	—	2059でカウント					
	2059	コミュニケーション科学 II		前	前	月	3	2	98	0.04	1回担当+1回(3人で分担)					
	2068	国際交流論		前	前	火	2	2	27	0.50						
	1871	英語メディア研究A		前	前	水	1	2	44	0.50						
	2113	基礎演習	コC	前	前	水	2	2	15	0.50						
	2189	English as a global language		前	前	金	2	4	15	0.25	2人(大島・片岡)で担当					
	2207	専門演習 I		前	前	金	3	2	14	0.50						
	2247	専門演習 III		前	前	金	4	2	15	0.50						
	2307	卒業研究 I		前	前	金	5	3	15	0.50	2327でカウント					
	2181	海外短期研修	A	夏集中	前	夏集中	1	2	9	0.50						
	2056	インタビュー技法	A	後	後	火	3	2	70	0.50	2人(大島・阪井)で2クラス担当					
	2057	インタビュー技法	B	後	後	火	3	2	0	—	Aクラスでカウント					
	1872	英語メディア研究B		後	後	水	1	2	35	0.50						
	2031	地域国際概論		後	後	木	2	2	80	0.10	3回担当					
	2085	科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	4	4	25	0.40	学科専任10名、2人ずつ24回担当					
	2086	科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	4	4	25	—	Aクラスでカウント					
	2087	科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント					
	2088	科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント					
	2085	科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	5	4	25	—	2085でカウント					
	2086	科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	5	4	25	—	Aクラスでカウント					
	2087	科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント					
	2088	科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント					
	2227	専門演習 II		後	後	金	3	2	1	0.50						
	2267	専門演習 IV		後	後	金	4	2	10	0.50						
	2327	卒業研究 II		後	後	金	5	3	10	0.50	7名提出					

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号	
	毎週授業コマ数																
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コ マ 数	備 考	合 計 コ マ 数					
いしかわ さとる 石川 悟(男) 昭和46年11月8日 47歳	2161	情報技術演習	A	前	前	月	2	2	31	0.50	3人(後藤・石川・小幡)で3クラス担当	7.41	准教授	平成18年4月1日 平成22年4月1日		平成12年3月 京都大学大学院 文学研究科 行動文化学専攻 博士後期課程 単位取得後退学 博士(文学)〔平成14年3月〕 京都大学	
	2162	情報技術演習	B	前	前	月	2	2	0	—	Aクラスでカウント						
	2163	情報技術演習	C	前	前	月	2	2	0	—	Aクラスでカウント						
	2048	応用コミュニケーション論		前	前	月	3	2	2	2	—						2059でカウント
	2059	コミュニケーション科学Ⅱ		前	前	月	3	2	98	0.08	2回担当+1回(3人で分担)						
	2143	フィールド実習Ⅰ	C	前	前	月	5	2	10	0.50							
	2002	心理統計法	コ	前	前	水	1	2	5	0.50							
	2114	基礎演習	コD	前	前	水	2	2	14	0.50							
	2208	専門演習Ⅰ		前	前	金	3	2	7	0.50							
	2248	専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	12	0.50							
	2308	卒業研究Ⅰ		前	前	金	5	3	12	0.50	2328でカウント						
	2148	フィールド実習Ⅱ	C	後	後	月	5	2	10	0.50							
	2005	心理学実験演習	コA	後	後	火	4	4	46	0.73	11回担当						
	2006	心理学実験演習	コB	後	後	火	4	4	0	—	5人(田辺、後藤、石川、柳原、大瀬)で分担						
	2005	心理学実験演習	コA	後	後	火	5	4	46	—	5人(田辺、後藤、石川、柳原、大瀬)で分担						
	2006	心理学実験演習	コB	後	後	火	5	4	0	—	5人(田辺、後藤、石川、柳原、大瀬)で分担						
	2016	学習心理学	コ	後	後	水	1	2	42	0.50							
	2021	心理学概論		後	後	水	2	2	97	0.10	3回担当						
	2085	科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	4	4	25	0.50	学科専任10名、2人ずつ30回担当						
	2086	科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	4	4	25	—	Aクラスでカウント						
	2087	科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント						
	2088	科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント						
	2085	科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	5	4	25	—	2085でカウント						
	2086	科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	5	4	25	—	Aクラスでカウント						
	2087	科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント						
	2088	科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント						
2228	専門演習Ⅱ		後	後	金	3	2	7	0.50								
2268	専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	13	0.50								
2328	卒業研究Ⅱ		後	後	金	5	3	13	0.50	13名提出							
9245	心理学特殊研究		後	後	土	5	2	0	—	大学院							
かたおか とおる 片岡 徹(男) 昭和47年10月18日 46歳	2189	English as a global language		前	前	月	2	4	15	0.25	2人(大島・片岡)で担当	7.98	准教授	平成20年4月1日 平成25年4月1日		平成21年3月 東京大学大学院 教育学研究科 学校教育高度化専攻 学校開発政策コース 博士課程 単位取得後退学 M.A.(平和学修士)〔平成16年7月〕 英国ブラッドフォード大学	
	2048	応用コミュニケーション論		前	前	月	3	2	2	—	2059でカウント						
	2059	コミュニケーション科学Ⅱ		前	前	月	3	2	98	0.08	2回担当+1回(3人で分担)						
	2144	フィールド実習Ⅰ	D	前	前	月	5	2	31	0.50							
	8291	平和学		前	前	水	1	2	35	0.50							
	8571	平和学Ⅰ		前	前	水	1	2	45	—	8291でカウント						
	2115	基礎演習	コE	前	前	水	2	2	14	0.50							
	2067	グループ・コミュニケーション		前	前	木	1	2	66	0.50							
	2189	English as a global language		前	前	金	2	4	15	0.25	2人(大島・片岡)で担当						
	2209	専門演習Ⅰ		前	前	金	3	2	12	0.50							
	2249	専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	16	0.50							
	2309	卒業研究Ⅰ		前	前	金	5	3	16	0.50	2329でカウント						
	2081	教育コミュニケーション論		後	後	月	2	2	28	0.50							
	2149	フィールド実習Ⅱ	D	後	後	月	5	2	31	0.50							
	2052	観察訓練演習	A	後	後	火	4	4	67	0.25	2人(片岡・寺林)で分担						
	2053	観察訓練演習	B	後	後	火	4	4	3	—	Aクラスでカウント						
	2052	観察訓練演習	A	後	後	火	5	4	67	0.25	2人(片岡・寺林)で分担						
	2053	観察訓練演習	B	後	後	火	5	4	3	—	Aクラスでカウント						
	2031	地域国際概論		後	後	木	2	2	80	0.50	コーディネーター、7回						
	2085	科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	4	4	25	0.40	学科専任10名、2人ずつ24回担当						
	2086	科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	4	4	25	—	Aクラスでカウント						
	2087	科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント						
	2088	科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント						
	2085	科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	5	4	25	—	2085でカウント						
	2086	科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	5	4	25	—	Aクラスでカウント						
	2087	科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント						
	2088	科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント						
	2229	専門演習Ⅱ		後	後	金	3	2	12	0.50							
	2269	専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	17	0.50							
	2329	卒業研究Ⅱ		後	後	金	5	3	16	0.50	16名提出						

17 専任教員個別表〔2019年度〕 文学部

(表V-17-2)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号						
	毎週授業コマ数																					
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計 コマ数										
かきはら くにか 柿原 久仁佳(女) 昭和51年6月10日 42歳	2048	応用コミュニケーション論		前	前	月	3	2	2	—	2059でカウント	5.93	准教授	平成30年4月1日	博士課程 単位取得後退学	平成19年3月 北海道大学大学院 教育学研究科 教育臨床学講座 博士課程 単位取得後退学						
	2059	コミュニケーション科学Ⅱ		前	前	月	3	2	98	0.11	3回担当+1回(4人で分担)											
	2145	フィールド実習Ⅰ	E	前	前	月	5	2	19	0.50												
	2116	基礎演習	≡F	前	前	水	2	2	14	0.50												
	2049	応用統計法		前	前	金	1	2	18	—	2060でカウント											
	2060	統計法基礎		前	前	金	1	2	98	0.25	2人(後藤・柿原)で分担											
	2210	専門演習Ⅰ		前	前	金	3	2	9	0.50												
	2251	専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	14	0.50												
	2311	卒業研究Ⅰ		前	前	金	5	3	14	0.50	2331でカウント											
	2150	フィールド実習Ⅱ	E	後	後	月	5	2	19	0.50												
	2009	心理学研究法	コ	後	後	火	3	2	47	0.30	9回担当											
	2005	心理学実験演習	≡A	後	後	火	4	4	46	0.27	4回担当											
	2006	心理学実験演習	≡B	後	後	火	4	4	0	—	5人(田辺、後藤、石川、柿原、大瀬)で分担											
	2005	心理学実験演習	≡A	後	後	火	5	4	46	—	5人(田辺、後藤、石川、柿原、大瀬)で分担											
	2006	心理学実験演習	≡B	後	後	火	5	4	0	—	5人(田辺、後藤、石川、柿原、大瀬)で分担											
	2021	心理科学概論		後	後	水	2	2	97	0.10	3回担当											
	2085	科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	4	4	25	0.40	学科専任10名、2人ずつ24回担当											
	2086	科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	4	4	25	—	Aクラスでカウント											
	2087	科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント											
	2088	科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント											
	2085	科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	5	4	25	—	2085でカウント											
	2086	科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	5	4	25	—	Aクラスでカウント											
	2087	科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント											
	2088	科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント											
	2230	専門演習Ⅱ		後	後	金	3	2	9	0.50												
	2270	専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	14	0.50												
	2331	卒業研究Ⅱ		後	後	金	5	3	14	0.50	13名提出											
てらばやし あきら 寺林 曉良(男) 昭和58年9月4日 35歳	2048	応用コミュニケーション論		前	前	月	3	2	2	—	2059でカウント	4.08	講師	平成31年4月1日	博士課程 修了	平成27年3月 北海道大学大学院 文学研究科 地域システム科学専修 博士課程 修了						
	2059	コミュニケーション科学Ⅱ		前	前	月	3	2	98	0.08	2回担当+1回(4人で分担)											
	2157	フィールド実習Ⅰ	F	前	前	月	5	2	11	0.50												
	2117	基礎演習	≡G	前	前	水	2	2	14	0.50												
	2211	専門演習Ⅰ		前	前	金	3	2	9	0.50												
	2159	フィールド実習Ⅱ	F	後	後	月	5	2	11	0.50												
	2101	総合講義	コ	後	後	火	2	2	45	0.50												
	2052	観察訓練演習	A	後	後	火	4	4	67	0.25	2人(片岡・寺林)で分担											
	2053	観察訓練演習	B	後	後	火	4	4	3	—	Aクラスでカウント											
	2052	観察訓練演習	A	後	後	火	5	4	67	0.25	2人(片岡・寺林)で分担											
	2053	観察訓練演習	B	後	後	火	5	4	3	—	Aクラスでカウント											
	2031	地域国際概論		後	後	木	2	2	80	0.10	3回担当											
	2085	科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	4	4	25	0.40	学科専任10名、2人ずつ24回担当											
	2086	科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	4	4	25	—	Aクラスでカウント											
	2087	科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント											
	2088	科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント											
	2085	科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	5	4	25	—	2085でカウント											
	2086	科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	5	4	25	—	Aクラスでカウント											
	2087	科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント											
	2088	科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント											
	2231	専門演習Ⅱ		後	後	金	3	2	9	0.50												
	すずき つよし 鈴木 剛(男) 昭和30年12月14日 63歳	8904	教育学	A	前	前	月	5	2	71	0.50							2.03	教授	平成14年4月1日	副学長 学生支援 委員長	平成2年3月 東京大学大学院 教育学研究科 教育哲学専攻 博士課程 単位取得後退学 教育学修士〔昭和60年3月〕 東京大学大学院
		8295	北星学		前	前	木	3	2	249	0.03						1回担当					
		8937	道徳教育の研究		前	前	木	5	2	55	0.50											
		8907	教育史		後	後	木	4	2	8	0.50											
		8905	教育学	B	後	後	木	5	2	35	0.50											
		9241	教育思想論特殊研究		後	後	土	5	2	0	—						大学院					

17 専任教員個別表〔2019年度〕 文学部

(表V-17-2)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号				
	毎週授業コマ数																			
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計 コマ数								
なかじま てるあき 中嶋 輝明(男) 昭和42年10月2日 51歳	7759	アセンブリ	生	前	前	火	2	2	88	0.03	1回担当	5.53	教授	平成14年3月 北海道大学大学院 文学研究科 行動科学専攻 博士後期課程 修了	平成14年3月 北海道大学大学院 文学研究科 中国文学専攻 博士後期課程 単位取得後退学					
	8402	情報入門	英B	前	前	木	2	2	44	0.50										
	8432	情報入門	計B	前	前	木	3	2	32	0.50										
	8441	情報入門	福心	前	前	金	2	2	43	0.50										
	8437	情報入門	臨C	前	前	金	3	2	32	0.50										
	8019	心理学 I	遠隔	前	前	遠隔	1	2	70	0.50										
	8506	情報活用 II	情D	後	後	水	1	2	29	0.50										
	8471	情報活用 I	法A	後	後	水	2	2	9	0.50										
	8491	情報活用 II	英C	後	後	木	2	2	24	0.50										
	8515	情報活用 II	計C	後	後	木	3	2	18	0.50										
	8521	情報活用 II	臨C	後	後	金	3	2	20	0.50										
	8531	ハードウェア基礎		冬集中	後	後	冬集中	1	2	16	0.50									
	やまもと のりこ 山本 範子(女) 昭和44年2月8日 50歳	931	中国語と文化		前	前	月	1	2	24	0.50						8.00	准教授	平成14年3月 大阪市立大学大学院 文学研究科 中国文学専攻 博士後期課程 単位取得後退学	修士(文学)〔平成8年3月〕 大阪市立大学
		872	中国語Ⅲ	文部	前	前	月	4	2	28	0.50									
855		中国語 I	経部	前	前	火	2	2	22	0.50										
874		中国語Ⅲ	経部	前	前	火	4	2	29	0.50										
954		外国語演習[中国語]		通年	前	木	2	4	28	0.50										
871		中国語Ⅲ	文部	前	前	木	4	2	24	0.50										
934		上級中国語 I		前	前	金	1	2	35	0.50										
1981		ジャパニーズ・リテラチャー	A	前	前	金	3	3	0	—	8803でカウント									
8803		日本のサブカルチャー	A	前	前	金	3	2	18	0.50										
8856		日本の文学[国際]	A	前	前	金	3	3	2	—	8803でカウント									
933		海外事情	中国	夏集中	前	夏集中	1	2	30	0.50										
882		中国語Ⅳ	文部	後	後	月	4	2	28	0.50										
865		中国語Ⅱ	経部	後	後	火	2	2	23	0.50										
884		中国語Ⅳ	経部	後	後	火	4	2	30	0.50										
954		外国語演習[中国語]		通年	後	木	2	4	28	0.50										
881		中国語Ⅳ	文部	後	後	木	4	2	25	0.50										
936		上級中国語Ⅱ		後	後	金	1	2	34	0.50										
1982		ジャパニーズ・リテラチャー	B	後	後	金	3	3	0	—	8804でカウント									
8804		日本のサブカルチャー	B	後	後	金	3	2	29	0.50										
8857		日本の文学[国際]	B	後	後	金	3	3	1	—	8804でカウント									
まつうら としお 松浦 年男(男) 昭和52年10月5日 41歳		8635	日本語表現I	計A	前	前	月	3	2	18	0.50		5.00	准教授	平成19年3月 九州大学大学院 人文科学府 言語・文学専攻 言語学専修 博士後期課程 単位取得後退学	平成19年3月 九州大学大学院 人文科学府 言語・文学専攻 言語学専修 博士後期課程 単位取得後退学				
	8601	日本語表現I	英A	前	前	月	4	2	21	0.50										
	8644	日本語表現I	福心	前	前	火	1	2	23	0.50										
	8622	日本語表現I	情B	前	前	木	4	2	19	0.50										
	8612	日本語表現I	経A	前	前	木	5	2	22	0.50										
	8681	日本語表現Ⅱ	計A	後	後	月	3	2	19	0.50										
	8651	日本語表現Ⅱ	英A	後	後	月	4	2	22	0.50										
	8690	日本語表現Ⅱ	福心	後	後	火	1	2	25	0.50										
	8672	日本語表現Ⅱ	情B	後	後	木	4	2	23	0.50										
	8662	日本語表現Ⅱ	経A	後	後	木	5	2	25	0.50										
たむら さなえ 田村 早苗(女) 昭和55年5月14日 38歳	8636	日本語表現I	計B	前	前	月	3	2	20	0.50		5.00	講師	平成21年3月 京都大学大学院 文学研究科 行動文化学専攻 言語学専修 博士後期課程 単位取得後退学	平成21年3月 京都大学大学院 文学研究科 行動文化学専攻 言語学専修 博士後期課程 単位取得後退学					
	8602	日本語表現I	英B	前	前	月	4	2	20	0.50										
	8630	日本語表現I	法C	前	前	火	5	2	21	0.50										
	7243	日本語教授法		前	前	木	1	2	21	0.50										
	8625	日本語表現I	情E	前	前	木	4	2	19	0.50										
	8682	日本語表現Ⅱ	計B	後	後	月	3	2	21	0.50										
	8652	日本語表現Ⅱ	英B	後	後	月	4	2	20	0.50										
	8680	日本語表現Ⅱ	法C	後	後	火	5	2	13	0.50										
	8675	日本語表現Ⅱ	情E	後	後	木	4	2	23	0.50										
	8663	日本語表現Ⅱ	経B	後	後	木	5	2	25	0.50										
みなと しろろう 湊 史郎(男) 昭和26年6月23日 67歳	1644	英語教育概論		前	前	月	3	2	36	—	1663でカウント	3.00	准教授	昭和51年3月 北星学園大学 文学部 英文学科 卒業	昭和51年3月 北星学園大学 文学部 英文学科 卒業					
	1663	英語コミュニケーション概論		前	前	月	3	2	7	0.50										
	1198	基礎演習 I	H	前	前	水	2	2	16	0.50										
	8931	英語科教育実践指導 I		前	前	水	4	2	20	0.50										
	1863	コミュニケーション研究C		前	前	金	3	2	41	0.50										
	1203	基礎演習Ⅱ	C	後	後	水	2	2	18	0.50										
	1864	コミュニケーション研究D		後	後	金	3	2	45	0.50										

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号				
	毎週授業コマ数																			
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計 コマ数								
はま やすひさ 濱 保久(男) 昭和29年1月20日 65歳	2141	フィールド実習Ⅰ	A	前	前	月	5	2	12	0.50		5.67	教授	平成3年4月1日 平成10年4月1日	昭 和56年7月 同志社大学大学院 文学研究科 心理学専攻 博士後期課程 中途退学 文学修士〔昭和55年3月〕 同志社大学					
	2001	コミュニケーション心理学		前	前	木	2	2	1	—	2058でカウント									
	2058	コミュニケーション科学Ⅰ		前	前	木	2	2	98	0.27	8回担当(濱、後藤)									
	2201	専門演習Ⅰ		前	前	金	3	2	8	0.50										
	2241	専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	13	0.50										
	2301	卒業研究Ⅰ		前	前	金	5	3	13	0.50	2321でカウント									
	2146	フィールド実習Ⅱ	A	後	後	月	5	2	12	0.50										
	2015	産業心理学	コ	後	後	木	2	2	96	0.50										
	2171	プレゼンテーション演習		後	後	木	3	2	16	0.50										
	2085	科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	4	4	25	0.40	学科専任10名、2人ずつ24回担当									
	2086	科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	4	4	25	—	Aクラスでカウント									
	2087	科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント									
	2088	科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	4	4	24	—	Aクラスでカウント									
	2085	科学的研究法基礎実習	A	後	後	木	5	4	25	—	2085でカウント									
	2086	科学的研究法基礎実習	B	後	後	木	5	4	25	—	Aクラスでカウント									
	2087	科学的研究法基礎実習	C	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント									
	2088	科学的研究法基礎実習	D	後	後	木	5	4	24	—	Aクラスでカウント									
	2221	専門演習Ⅱ		後	後	金	3	2	8	0.50										
	2261	専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	13	0.50										
	2321	卒業研究Ⅱ		後	後	金	5	3	13	0.50	12名提出									
	ふるーす でびつどそん ブルース・デビッドソン(男) 昭和28年1月19日 66歳	1645	キリスト教と文学		前	前	月	1	2	1	0.50						6.00	教授	平成7年4月1日 平成19年4月1日	昭 和61年8月 南イリノイ大学 カーボンデイル校 言語学研究科 EFL専攻 修士課程 修了 M.A.(文学修士) 南イリノイ大学 カーボンデイル校
2107		英会話Ⅱ		前	前	月	2	2	10	0.50										
2128		アカデミック・ライティングⅠ		前	前	火	1	2	25	0.50										
2204		専門演習Ⅰ		前	前	金	3	2	3	0.50										
2244		専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	3	0.50										
2274		専門演習Ⅳ	指導	前	前	金	4	2	0	—	2244でカウント									
2304		卒業研究Ⅰ		前	前	金	5	3	3	0.50	2324でカウント									
2062		クリティカルシンキング		後	後	月	2	2	57	0.50										
2129		アカデミック・ライティングⅡ		後	後	火	1	2	10	0.50										
2092		English CommunicationⅠ		後	後	水	1	2	10	0.50										
2106		英会話Ⅰ		後	後	水	1	2	2	—	2092でカウント									
2224		専門演習Ⅱ		後	後	金	3	2	3	0.50										
2264		専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	5	0.50										
2324		卒業研究Ⅱ		後	後	金	5	3	3	0.50	3名提出									
ささき つとむ 佐々木 敏(男) 昭和24年10月20日 69歳		8012	身体と心の科学Ⅰ		前	前	月	3	2	143	0.50		4.50	教授	昭 和52年4月1日 平成14年4月1日	昭 和50年3月 東京学芸大学大学院 教育学研究科 保健体育専攻 修士課程 修了 教育学修士 東京学芸大学				
		8091	身体と心の科学演習Ⅰ		前	前	火	2	2	3	0.50									
	8017	運動の科学		前	前	火	3	2	34	0.50										
	8081	生涯スポーツⅠ	A	通年	前	金	3	2	6	0.25	2人(佐々木・工藤)で分担									
	7908	健康の科学		後	後	月	1	2	10	0.50										
	8013	身体と心の科学Ⅱ		後	後	月	3	2	92	0.50										
	8093	身体と心の科学演習Ⅱ		後	後	火	2	2	6	0.50										
	8018	体力育成論		後	後	火	3	2	70	0.50										
	8014	スポーツ医学		後	後	金	2	2	74	0.50										
	8081	生涯スポーツⅡ	A	通年	後	金	3	2	6	0.25	2人(佐々木・工藤)で分担									
こが きよたか 古賀 清敬(男) 昭和24年12月3日 69歳	8241	キリスト教の歴史と文化Ⅰ	A	前	前	木	4	2	83	—	8287でカウント	3.53	教授	平 成15年4月1日 平成26年4月1日	昭 和55年3月 日本基督教会神学校 神学本科 卒業 教養学士 国際基督教大学					
	8287	キリスト教の歴史Ⅰ	A	前	前	木	4	2	104	0.50										
	8242	キリスト教の歴史と文化Ⅰ	B	前	前	木	5	2	21	—	8288でカウント									
	8288	キリスト教の歴史Ⅰ	B	前	前	木	5	2	9	0.50										
	8251	キリスト教の世界観・人間観		前	前	金	3	2	148	0.50										
	8243	キリスト教の歴史と文化Ⅰ	C	前	前	金	4	2	34	—	8289でカウント									
	8289	キリスト教の歴史Ⅰ	C	前	前	金	4	2	129	0.50										
	8261	現代と宗教		後	後	火	5	2	193	0.03	1回担当									
	8245	キリスト教の歴史と文化Ⅱ	A	後	後	木	4	2	59	—	8297でカウント									
	8297	キリスト教の歴史Ⅱ	A	後	後	木	4	2	95	0.50										
	8246	キリスト教の歴史と文化Ⅱ	B	後	後	木	5	2	3	—	8298でカウント									
	8298	キリスト教の歴史Ⅱ	B	後	後	木	5	2	15	0.50										
	8247	キリスト教の歴史と文化Ⅱ	C	後	後	金	4	2	20	—	8299でカウント									
	8299	キリスト教の歴史Ⅱ	C	後	後	金	4	2	111	0.50										

17 専任教員個別表〔2019年度〕 文学部

(表V-17-2)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目											職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号
	毎週授業コマ数														
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コ マ 数	備 考				
なるみ まさえ 鳴海 昌江(女) 昭和32年1月31日 62歳	8920	社会科教育法Ⅱ(公民)	B	前	前	月	1	2	13	0.50		5.03	准教授	平成29年4月1日	平成23年3月 北海道教育大学 教職大学院 教育学研究科 高度教職実践専攻 修了 教育学修士(専門職) 北海道教育大学
	8962	教育実習Ⅰ(中学校)		通	前	火	1	4	36	—	8978でカウント				
	8963	教育実習Ⅱ(高等学校)		通	前	火	1	2	10	—	8978でカウント				
	8978	教育実習事前事後指導		通	前	火	1	1	46	0.16					
	8919	社会科教育法Ⅱ(公民)	A	前	前	水	4	2	22	0.50					
	8913	教育行政論	A	前	前	水	5	2	30	0.50					
	8968	社会科教育実践指導Ⅰ		前	前	金	1	2	33	0.50					
	8970	社会科教育実践指導Ⅱ	B	後	後	月	1	2	19	0.50					
	8962	教育実習Ⅰ(中学校)		通	後	火	1	4	36	—	8978でカウント				
	8963	教育実習Ⅱ(高等学校)		通	後	火	1	2	10	—	8978でカウント				
	8978	教育実習事前事後指導		通	後	火	1	1	46	—	上段でカウント				
	8986	教職実践演習(中・高)	F	後	後	火	4	2	7	0.37					
	8914	教育行政論	B	後	後	水	2	2	37	0.50					
	8969	社会科教育実践指導Ⅱ	A	後	後	水	4	2	9	0.50					
	8985	教職実践演習(中・高)	E	後	後	木	3	2	8	0.50					
	8922	公民科教育法		後	後	木	6	2	25	0.50					
ながい あきゆき 永井 暁行(男) 昭和62年2月16日 32歳												0.00	助教	平成30年4月1日	平成30年3月 中央大学 文学研究科 心理学専攻 博士課程修了 博士(心理学) 中央大学

17 専任教員個別表〔2019年度〕経済学部

(表V-17-3)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号						
	毎週授業コマ数																					
	履修 コード	科目名	クラス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計コマ数										
はらしま まさえ 原島 正衛(男) 昭和29年4月12日 64歳	3501	入門演習		前	前	月	2	2	0	—	3510でカウント	8.03	教授	平成6年4月1日 平成16年4月1日	経済学部長 経済学 研究科長	昭和60年3月 立教大学大学院 経済学研究科 経済学専攻 博士後期課程 単位取得後退学 経済学修士〔昭和57年3月〕 立教大学						
	3510	経済学入門	経	前	前	月	2	2	164	0.03	1/15担当											
	8785	日欧(経済)関係(国際)	A	前	前	月	4	2	2	0.50												
	3093	ヨーロッパ経済論		前	前	火	1	4	35	0.50												
	3573	演習Ⅰ		前	前	木	2	2	9	0.50												
	9307	国際経済論研究Ⅰ		前	前	木	3	2	3	0.50	大学院											
	3803	演習Ⅰ		通年	前	木	4	4	15	0.50												
	3853	演習Ⅱ		通年	前	木	5	4	16	0.50												
	3093	ヨーロッパ経済論		前	前	金	2	4	35	0.50												
	8153	メディアと社会		前	前	金	3	2	100	0.25	2人(原島・勝村)で分担											
	3524	新聞活用		前	前	金	5	2	163	0.25	2人(原島・勝村)で分担											
	9343	国際経済論演習Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院											
	9389	論文指導Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院											
	3715	海外実習Ⅰ	A	夏集中	前	夏集中	1	2	0	—												
	8786	日欧(経済)関係(国際)	B	後	後	月	4	2	5	0.50												
	8872	国際経済(国際)		後	後	月	4	3	1	—	8786でカウント											
	3553	基礎演習		後	後	木	2	2	2	—	3593でカウント											
	3593	演習Ⅱ		後	後	木	2	2	10	0.50												
	9308	国際経済論研究Ⅱ		後	後	木	3	2	3	0.50	大学院											
	3803	演習Ⅰ		通年	後	木	4	4	15	0.50												
	3853	演習Ⅱ		通年	後	木	5	4	16	0.50												
	3401	上級新聞活用		後	後	金	2	2	7	0.25	2人(原島・勝村)で分担											
	8313	職業と人生Ⅱ	C	後	後	金	2	2	0	—	3401でカウント											
	8577	職業と人生Ⅰ	C	後	後	金	3	2	11	—	8580でカウント											
	8580	学びとキャリア形成	C	後	後	金	3	2	163	0.25	2人(原島・勝村)で分担											
	9342	国際経済論演習Ⅰ	A	後	後	土	5	2	1	0.50	大学院											
	9374	論文指導Ⅰ	A	後	後	土	5	2	1	0.50	大学院											
	9404	論文指導Ⅲ	A	後	後	土	5	2	0	—	大学院											
	3716	海外実習Ⅰ	B	冬集中	後	冬集中	1	2	0	—												
	はま ふみあき 浜 文章(男) 昭和30年1月11日 64歳 サバティカル 2017.4.1~2017.8.31	3501	入門演習		前	前	月	2	2	0	—						3510でカウント	7.53	教授	平成3年4月1日 平成18年4月1日		平成元年3月 立教大学大学院 経済学研究科 経済学専攻 博士後期課程 単位取得後退学 経済学修士〔昭和58年3月〕 中央大学
		3510	経済学入門	経	前	前	月	2	2	164	0.03						1/15担当					
		3213	社会経済史	A	前	前	月	5	2	119	0.50											
		3059	社会経済史	B	通年	前	月	5	4	32	—						3213でカウント					
3574		演習Ⅰ		前	前	木	2	2	12	0.50												
3804		演習Ⅰ		通年	前	木	4	4	16	0.50												
3854		演習Ⅱ		通年	前	木	5	4	14	0.50												
9309		経済史研究Ⅰ		前	前	金	2	2	2	0.50	大学院											
3543		基礎経済史		前	前	金	3	2	165	0.50												
9345		経済史演習Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院											
9390		論文指導Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院											
3059		社会経済史	B	通年	後	月	5	4	32	0.50												
3095		アメリカ経済論		後	後	火	3	4	54	0.50												
9310		経済史研究Ⅱ		後	後	木	1	2	2	0.50	大学院											
3554		基礎演習		後	後	木	2	2	0	—	3594でカウント											
3594		演習Ⅱ		後	後	木	2	2	12	0.50												
3804		演習Ⅰ		通年	後	木	4	4	16	0.50												
3854		演習Ⅱ		通年	後	木	5	4	14	0.50												
3095		アメリカ経済論		後	後	金	4	4	54	0.50												
9344		経済史演習Ⅰ	A	後	後	土	5	2	1	0.50	大学院											
9375		論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	1	0.50	大学院											
9405		論文指導Ⅲ	A	後	後	土	5	2	0	—	大学院											

17 専任教員個別表〔2019年度〕経済学部

(表V-17-3)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目											職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号					
	毎週授業コマ数																			
	履修 コード	科目名	クラス	開講 期	担当 期	曜日	講 時	単 位	履修 者数	コマ数	備考					合計コマ数				
かやの ともあつ 菅野 智篤(男) 昭和34年4月17日 59歳	3501	入門演習		前	前	月	2	2	0	—	3510でカウント	8.03	教授	平成8年4月1日 平成20年4月1日	1/15担当 法学修士〔昭和62年3月〕 北海道大学					
	3510	経済学入門	経	前	前	月	2	2	164	0.03	1/15担当									
	3221	国際関係論Ⅰ		前	前	月	3	2	151	0.50										
	3537	国際関係論		通	前	月	3	4	37	—	3221でカウント									
	3575	演習Ⅰ		前	前	火	2	2	12	0.50										
	3805	演習Ⅰ		通	前	火	4	4	14	0.50										
	3855	演習Ⅱ		通	前	火	5	4	17	0.50										
	3127	国際政治学	B	通	前	木	1	4	49	0.50										
	3240	国際政治学	A	前	前	木	1	2	7	—	3127でカウント									
	8133	政治学Ⅰ		前	前	木	2	2	312	0.50										
	3703	フェアトレード		通	前	金	2	4	73	0.50										
	3147	現代政治学	A	前	前	金	3	2	216	0.50										
	3537	国際関係論		通	後	月	3	4	37	—	3222でカウント									
	3222	国際関係論Ⅱ		後	後	月	3	2	139	0.50										
	3555	基礎演習		後	後	火	2	2	2	—	3595でカウント									
	3595	演習Ⅱ		後	後	火	2	2	13	0.50										
	3805	演習Ⅰ		通	後	火	4	4	14	0.50										
	3855	演習Ⅱ		通	後	火	5	4	17	0.50										
	3127	国際政治学	B	通	後	木	1	4	49	0.50										
	8135	政治学Ⅱ		後	後	木	2	2	123	0.50										
	3703	フェアトレード		通	後	金	2	4	73	0.50										
	3148	現代政治学	社前	後	後	金	4	2	20	0.50										
	しゅう ぜんじ 修 震傑(男) 昭和34年10月28日 59歳	3501	入門演習		前	前	月	2	2	0	—					3510でカウント	8.03	教授	平成8年4月1日 平成20年4月1日	1/15担当 環境科学研究科 社会環境学専攻 博士課程 修了 博士(環境科学) 北海道大学
		3510	経済学入門	経	前	前	月	2	2	164	0.03					1/15担当				
		9301	経済理論研究Ⅰ		前	前	月	3	2	2	0.50					大学院				
		3201	ミクロ経済学Ⅰ	経	前	前	月	4	2	138	0.50									
3051		ミクロ経済学	経	通	前	月	4	4	29	—	3201でカウント									
3576		演習Ⅰ		前	前	火	2	2	7	0.50										
3806		演習Ⅰ		通	前	火	4	4	8	0.50										
3856		演習Ⅱ		通	前	火	5	4	6	0.50										
3133		ゲーム理論		前	前	水	1	4	6	0.50										
3124		計量経済学	経	前	前	水	2	4	10	0.50										
3124		計量経済学	経	前	前	金	1	4	10	0.50										
3133		ゲーム理論		前	前	金	2	4	6	0.50										
9337		経済理論演習Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院									
9392		論文指導Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院									
9302		経済理論研究Ⅱ		後	後	月	3	2	1	0.50	大学院									
3202		ミクロ経済学Ⅱ	経	後	後	月	4	2	85	0.50										
3051		ミクロ経済学	経	通	後	月	4	4	29	—	3202でカウント									
9336		経済理論演習Ⅰ	A	後	後	月	5	2	1	0.50	大学院									
9377		論文指導Ⅰ		後	後	月	6	2	1	0.50	大学院									
3556		基礎演習		後	後	火	2	2	2	—	3596でカウント									
3596		演習Ⅱ		後	後	火	2	2	7	0.50										
3806		演習Ⅰ		通	後	火	4	4	8	0.50										
3856		演習Ⅱ		通	後	火	5	4	6	0.50										
9407		論文指導Ⅲ	A	後	後	土	5	2	0	—	大学院									
うらの まりこ 浦野 真理子(女) 昭和41年10月9日 52歳		3501	入門演習		前	前	月	2	2	0	—	3510でカウント	6.53	教授	平成15年4月1日 平成21年4月1日	平成14年8月 米国ジョージタウン大学大学院 政治学部 博士課程 修了 Ph. D. (政治学博士)				
		3510	経済学入門	経	前	前	月	2	2	164	0.03	1/15担当								
		9311	アジア政治経済研究Ⅰ		前	前	火	1	2	1	0.50	大学院								
		3223	グローバル社会論Ⅰ		前	前	火	3	2	141	0.50									
		3094	アジア経済論		通	前	火	3	4	77	—	3223でカウント								
		3545	現代の国際社会	A	前	前	水	1	2	40	0.50									
		3577	演習Ⅰ		前	前	木	2	2	12	0.50									
		3807	演習Ⅰ		通	前	木	4	4	17	0.50									
		3857	演習Ⅱ		通	前	木	5	4	9	0.50									
	9347	アジア政治経済演習Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院									
	9394	論文指導Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院									
	9312	アジア政治経済研究Ⅱ		後	後	火	1	2	1	0.50	大学院									
	3092	開発経済論		後	後	火	2	4	134	0.50										
	3094	アジア経済論		通	後	火	3	4	77	0.50										
	3557	基礎演習		後	後	木	2	2	1	—	3597でカウント									
	3597	演習Ⅱ		後	後	木	2	2	12	0.50										
	3807	演習Ⅰ		通	後	木	4	4	17	0.50										
	3857	演習Ⅱ		通	後	木	5	4	9	0.50										
	3092	開発経済論		後	後	金	3	4	134	0.50										
	9346	アジア政治経済演習Ⅰ	A	後	後	土	5	2	0	—	大学院									
	9379	論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院									
	9409	論文指導Ⅲ	A	後	後	土	5	2	0	—	大学院									

17 専任教員個別表〔2019年度〕経済学部

(表V-17-3)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号						
	毎週授業コマ数																					
	履修 コード	科目名	クラス	開講 期	担当 期	曜日	講 時	単 位	履修 者数	コマ数	備考	合計コマ数										
のもと けいすけ 野本 啓介(男) 昭和40年6月24日 53歳	3538	国際開発協力論		通年	前	月	1	4	4	0.50		5.03	准教授	平成14年4月1日 平成18年4月1日		平成8年3月 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科政策・メディア専攻 修士課程 修了 修士(政策・メディア) 慶應義塾大学						
	3501	入門演習		前	前	月	2	2	0	—	3510でカウント											
	3510	経済学入門	経	前	前	月	2	2	164	0.03	1/15担当											
	3578	演習Ⅰ		前	前	火	2	2	12	0.50												
	3808	演習Ⅰ		通年	前	火	4	4	4	0.50												
	3858	演習Ⅱ		通年	前	火	5	4	1	0.50												
	3704	グローバル・ガバナンス論		通年	前	金	5	4	4	0.50												
	3538	国際開発協力論		通年	後	月	1	4	4	0.50												
	3558	基礎演習		後	後	火	2	2	2	—	3598でカウント											
	3598	演習Ⅱ		後	後	火	2	2	9	0.50												
	3808	演習Ⅰ		通年	後	火	4	4	4	0.50												
	3858	演習Ⅱ		通年	後	火	5	4	1	0.50												
	3402	海外実習Ⅱ		後	後	水	1	4	0	—												
	3717	海外実習Ⅱ		冬集中	後	水	1	2	0	—												
	3704	グローバル・ガバナンス論		通年	後	金	5	4	4	—	3224でカウント											
	3224	グローバル社会論Ⅱ		後	後	金	5	2	19	0.50												
	かつむら つとむ 勝村 務(男) 昭和43年8月30日 50歳	3501	入門演習		前	前	月	2	2	0	—						3510でカウント	7.07	准教授	平成18年4月1日 平成22年4月1日	経済学科長	平成12年3月 東京大学大学院 経済学研究科 経済理論専攻 第2種博士課程 単位取得後退学 修士(経済学)〔平成8年3月〕 東京大学
		3510	経済学入門	経	前	前	月	2	2	164	0.07						2/15担当					
		8137	経済学Ⅰ		前	前	月	3	2	334	0.50											
		9305	社会経済学研究Ⅰ		前	前	火	1	2	0	—						大学院					
3579		演習Ⅰ		前	前	火	2	2	11	0.50												
3809		演習Ⅰ		通年	前	火	4	4	13	0.50												
3859		演習Ⅱ		通年	前	火	5	4	11	0.50												
3531		社会経済学		通年	前	木	3	4	100	—	3211でカウント											
3211		社会経済学Ⅰ		前	前	木	3	2	153	0.50												
8153		メディアと社会		前	前	金	3	2	100	0.25	2人(原島・勝村)で分担											
3524		新聞活用		前	前	金	5	2	163	0.25	2人(原島・勝村)で分担											
3791		卒業論文		通年	前	土	5	4	0	—												
9341		社会経済学演習Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院											
9396		論文指導Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院											
3249		日本経済論ディベートⅡ	A	通年	前	夏集中	1	4	0	—												
3431		海外インターンシップⅠ		通年	前	夏集中	1	2	0	—												
3432		海外インターンシップⅡ		通年	前	夏集中	1	2	0	—												
3535		日本経済論		後	後	月	2	4	54	0.50												
3709		文化経済学		後	後	月	4	2	144	0.50												
9340		社会経済学演習Ⅰ	A	後	後	月	5	2	0	—	大学院											
9381		論文指導Ⅰ		後	後	月	6	2	0	—	大学院											
9306		社会経済学研究Ⅱ		後	後	火	1	2	0	—	大学院											
3559		基礎演習		後	後	火	2	2	1	0.50												
3599		演習Ⅱ		後	後	火	2	2	11	—	3559でカウント											
3809		演習Ⅰ		通年	後	火	4	4	13	0.50												
3859		演習Ⅱ		通年	後	火	5	4	11	0.50												
3535		日本経済論		後	後	水	2	4	54	0.50												
3401		上級新聞活用		後	後	金	2	2	7	0.25	2人(原島・勝村)で分担											
8313		職業と人生Ⅱ	C	後	後	金	2	2	0	—	3401でカウント											
8577		職業と人生Ⅰ	C	後	後	金	3	2	11	—	8580でカウント											
8580		学びとキャリア形成	C	後	後	金	3	2	163	0.25	2人(原島・勝村)で分担											
3791		卒業論文		通年	後	土	5	4	0	—												
9411		論文指導Ⅲ	A	後	後	土	5	2	0	—	大学院											
3249		日本経済論ディベートⅡ	A	通年	後	冬集中	1	4	0	—												
3431		海外インターンシップⅠ		通年	後	冬集中	1	2	0	—												
3432		海外インターンシップⅡ		通年	後	冬集中	1	2	0	—												
3702		日本経済論ディベートⅡ	B	冬集中	後	冬集中	1	2	11	0.50												
のほら かつひと 野原 克仁(男) 昭和56年2月5日 38歳		3501	入門演習		前	前	月	2	2	0	—	3510でカウント	6.53	准教授	平成23年4月1日 平成23年4月1日	平成22年3月 東北大学大学院 経済学研究科 経済経営学専攻 博士後期課程 修了 博士(経済学) 東北大学						
		3510	経済学入門	経	前	前	月	2	2	164	0.03	1/15担当										
		3071	環境経済学		前	前	水	2	4	38	0.50											
	3580	演習Ⅰ		前	前	木	2	2	12	0.50												
	3811	演習Ⅰ		通年	前	木	4	4	15	0.50												
	3861	演習Ⅱ		通年	前	木	5	4	9	0.50												
	3071	環境経済学		前	前	金	3	4	38	0.50												
	3522	基礎経済学	経B	後	後	月	2	4	68	0.50												
	3072	環境政策論		後	後	月	3	4	13	0.50												
	8794	環境経済学	B	後	後	火	5	2	1	0.50	3回担当											
	3072	環境政策論		後	後	水	1	4	13	0.50												
	3522	基礎経済学	経B	後	後	水	2	4	68	0.50												
	3561	基礎演習		後	後	木	2	2	0	—	3600でカウント											
	3600	演習Ⅱ		後	後	木	2	2	12	0.50												
	3811	演習Ⅰ		通年	後	木	4	4	15	0.50												
	3861	演習Ⅱ		通年	後	木	5	4	9	0.50												

17 専任教員個別表〔2019年度〕経済学部

(表V-17-3)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号				
	毎週授業コマ数																			
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計コマ数								
くすき あつし 楠木 敦(男) 昭和54年4月18日 39歳	3501	入門演習		前	前	月	2	2	0	—	3510でカウント	5.03	講師	平成26年4月1日	博士(経済学) 北海道大学					
	3510	経済学入門	経	前	前	月	2	2	164	0.03	1/15担当									
	3056	経済思想史		前	前	火	2	4	68	0.50										
	3581	演習Ⅰ		前	前	木	2	2	11	0.50										
	3812	演習Ⅰ		通	前	木	4	4	15	0.50										
	3862	演習Ⅱ		通	前	木	5	4	13	0.50										
	3056	経済思想史		前	前	金	3	4	68	0.50										
	3521	基礎経済学	経A	後	後	月	2	4	71	0.50										
	3521	基礎経済学	経A	後	後	水	2	4	71	0.50										
	3562	基礎演習		後	後	木	2	2	1	—	3601でカウント									
	3601	演習Ⅱ		後	後	木	2	2	10	0.50										
	3812	演習Ⅰ		通	後	木	4	4	15	0.50										
	3862	演習Ⅱ		通	後	木	5	4	13	0.50										
	わたなべ みのる 渡辺 稔(男) 昭和54年9月23日 39歳	3501	入門演習		前	前	月	2	2	0	—					3510でカウント	6.53	講師	平成29年4月1日	博士(経済学) 神戸大学
		3510	経済学入門	経	前	前	月	2	2	164	0.03					1/15担当				
		3520	基礎経済学	経D	前	前	月	4	4	17	0.50									
		3540	経済数学	経A	前	前	火	5	2	83	0.50									
3052		マクロ経済学	経	通	前	水	1	4	55	—	3203でカウント									
3203		マクロ経済学Ⅰ	経	前	前	水	1	2	118	0.50										
3520		基礎経済学	経D	前	前	水	2	4	17	0.50										
3583		演習Ⅰ		前	前	木	2	2	12	0.50										
3814		演習Ⅰ		通	前	木	4	4	14	0.50										
3864		演習Ⅱ		通	前	木	5	4	12	0.50										
3523		基礎経済学	経C	後	後	月	2	4	73	0.50										
3052		マクロ経済学	経	通	後	水	1	4	55	—	3204でカウント									
3204		マクロ経済学Ⅱ	経	後	後	水	1	2	101	0.50										
3523		基礎経済学	経C	後	後	水	2	4	73	0.50										
3564		基礎演習		後	後	木	2	2	1	—	3603でカウント									
3603		演習Ⅱ		後	後	木	2	2	13	0.50										
3814		演習Ⅰ		通	後	木	4	4	14	0.50										
3864	演習Ⅱ		通	後	木	5	4	12	0.50											
しばさき しんや 柴崎 慎也(男) 昭和59年1月22日 35歳	3501	入門演習		前	前	月	2	2	0	—	3510でカウント	4.03	講師	平成31年4月1日	博士(経済学) 東京大学					
	3510	経済学入門	経	前	前	月	2	2	164	0.03	1/15担当									
	3585	演習Ⅰ		前	前	火	2	2	12	0.50										
	3816	演習Ⅰ		通	前	火	4	4	2	0.50										
	3866	演習Ⅱ		通	前	火	5	4	16	0.50										
	3214	現代資本主義論		後	後	月	5	2	112	0.50										
	3566	基礎演習		後	後	火	2	2	2	—	3605でカウント									
	3605	演習Ⅱ		後	後	火	2	2	11	0.50										
	3816	演習Ⅰ		通	後	火	4	4	2	0.50										
	3866	演習Ⅱ		通	後	火	5	4	16	0.50										
	3531	社会経済学		通	後	木	3	4	100	—	3212でカウント									
	3212	社会経済学Ⅱ		後	後	木	3	2	157	0.50										
	4004	会計入門	A	前	前	月	4	2	127	0.50										
	4211	原価計算Ⅰ		前	前	月	5	2	46	0.50										
	4213	管理会計Ⅰ		前	前	火	1	2	39	0.50										
	9321	会計学研究Ⅰ		前	前	火	2	2	2	0.50	大学院									
	4083	専門演習Ⅰ		通	前	木	4	4	11	0.50										
5572	演習Ⅱ	L	通	前	木	4	4	0	—	4083でカウント										
4103	専門演習Ⅱ		通	前	木	5	4	13	0.50											
5590	演習Ⅲ	J	通	前	木	5	4	1	—	4103でカウント										
9357	会計学演習Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院										
9387	論文指導Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院										
4015	簿記原理Ⅰ	A	後	後	月	4	2	119	0.50											
9356	会計学演習Ⅰ	A	後	後	月	5	2	1	0.50	大学院										
9372	論文指導Ⅰ		後	後	月	6	2	1	0.50	大学院										
4212	原価計算Ⅱ		後	後	火	1	2	30	0.50											
9322	会計学研究Ⅱ		後	後	火	2	2	2	0.50	大学院										
4051	基礎演習Ⅰ	A	後	後	水	2	2	2	—	4071でカウント										
4071	基礎演習	A	後	後	水	2	2	32	0.17	3人(佐藤・大原・黄)で分担										
4083	専門演習Ⅰ		通	後	木	4	4	11	0.50											
5572	演習Ⅱ	L	通	後	木	4	4	0	—	4083でカウント										
4103	専門演習Ⅱ		通	後	木	5	4	13	0.50											
5590	演習Ⅲ	I	通	後	木	5	4	1	—	4103でカウント										
4214	管理会計Ⅱ		後	後	木	2	2	30	0.50											
9402	論文指導Ⅲ	A	後	後	土	5	2	0	—	大学院										

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号					
	毎週授業コマ数																				
	履修 コード	科目名	クラス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計コマ数									
にしわき りゅうじ 西脇 隆二(男) 昭和35年7月11日 58歳	9317	マーケティング論研究Ⅰ		前	前	火	3	2	3	0.50	大学院	6.34	教授	平成5年4月1日 平成16年4月1日		平成5年3月 拓殖大学大学院 商学研究科 商学専攻 博士後期課程 単位取得後退学 商学修士〔平成2年3月〕 拓殖大学					
	4084	専門演習Ⅰ		通	前	火	4	4	18	0.50											
	4104	専門演習Ⅱ		通	前	火	5	4	11	0.50											
	4225	広告コミュニケーション論		前	前	木	4	2	38	0.50											
	4005	マーケティングⅠ		前	前	木	5	2	100	0.50											
	4222	流通サービス経営論Ⅰ		前	前	金	1	2	56	0.50											
	9388	論文指導Ⅱ	A	前	前	土	4	2	0	—	大学院										
	9353	マーケティング論演習Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院										
	9318	マーケティング論研究Ⅱ		後	後	火	3	2	3	0.50	大学院										
	4084	専門演習Ⅰ		通	後	火	4	4	18	0.50											
	4104	専門演習Ⅱ		通	後	火	5	4	11	0.50											
	4053	基礎演習Ⅰ	C	後	後	水	2	2	5	—	4073でカウント										
	4073	基礎演習Ⅱ	C	後	後	水	2	2	31	0.17	3人(鎌田・松本・西脇)で分担										
	4054	基礎演習Ⅰ	D	後	後	木	2	2	3	—	4074でカウント										
	4074	基礎演習Ⅱ	D	後	後	木	2	2	31	0.17	3人(林・黄・西脇)で分担										
	4025	問題解決スキル		後	後	木	3	2	49	0.50											
	4018	マーケティングⅡ		後	後	木	5	2	89	0.50											
	4223	流通サービス経営論Ⅱ		後	後	金	1	2	36	0.50											
	9352	マーケティング論演習Ⅰ	A	後	後	土	5	2	0	—	大学院										
	9373	論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院										
	9403	論文指導Ⅲ	A	後	後	土	5	2	0	—	大学院										
	すずき かつのり 鈴木 克典(男) 昭和41年4月7日 52歳	9323	情報分析研究Ⅰ		前	前	月	2	2	2	0.50						大学院	6.17	教授	平成15年4月1日 平成18年4月1日	平成8年3月 北海道大学大学院 工学研究科 情報工学専攻 博士後期課程 修了 博士(工学) 北海道大学
		4164	情報システム論Ⅰ		前	前	月	4	2	69	0.50										
		4085	専門演習Ⅰ		通	前	火	4	4	15	0.50										
4105		専門演習Ⅱ		通	前	火	5	4	15	0.50											
8423		情報入門	情C	前	前	水	1	2	47	0.50											
4012		経営科学		前	前	木	3	2	99	0.50											
9359		情報分析演習Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院										
9391		論文指導Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院										
9324		情報分析研究Ⅱ		後	後	月	2	2	4	0.50	大学院										
4165		情報システム論Ⅱ		後	後	月	3	2	67	0.50											
4161		意思決定論		後	後	月	5	2	129	0.50											
9406		論文指導Ⅲ	A	後	後	火	3	2	1	0.50	大学院 1名										
4085		専門演習Ⅰ		通	後	火	4	4	15	0.50											
4105		専門演習Ⅱ		通	後	火	5	4	15	0.50											
4052		基礎演習Ⅰ	B	後	後	木	2	2	3	—	4072でカウント										
4072		基礎演習Ⅱ	B	後	後	木	2	2	31	0.17	3人(鈴木・山口・韓)で分担										
9358		情報分析演習Ⅰ	A	後	後	土	5	2	0	—	大学院										
9376		論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院										
はん むんひ 韓 文熙(男) 昭和42年5月18日 51歳		4125	ブランドマネジメント論		前	前	月	2	2	130	0.50		6.67	教授	平成21年4月1日 平成26年4月1日	経営情報 学科長 平成17年3月 早稲田大学大学院 商学研究科 商学専攻 博士後期課程 単位取得後退学 修士(商学)〔平成13年3月〕 早稲田大学					
		4226	国際マーケティング		前	前	火	3	2	97	0.50										
		4067	基礎演習Ⅱ	B	前	前	水	2	2	19	0.50										
		4086	専門演習Ⅰ		通	前	木	4	4	16	0.50										
		4106	専門演習Ⅱ		通	前	木	5	4	2	0.50										
		9319	消費者行動論研究Ⅰ		前	前	金	4	2	2	0.50	大学院									
	4131	卒業論文		通	前	土	4	4	15	0.50	下段でカウント										
	9355	消費者行動論演習Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院										
	9395	論文指導Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院										
	4224	消費者行動論		後	後	月	3	2	131	0.50											
	4126	マーケティング・リサーチ		後	後	月	4	2	30	0.50											
	4052	基礎演習Ⅰ	B	後	後	木	2	2	3	—	4072でカウント										
	4072	基礎演習Ⅱ	B	後	後	木	2	2	31	0.17	3人(鈴木・山口・韓)で分担										
	4086	専門演習Ⅰ		通	後	木	4	4	16	0.50											
	4106	専門演習Ⅱ		通	後	木	5	4	2	0.50											
	9320	消費者行動論研究Ⅱ		後	後	金	4	2	2	0.50	大学院										
	4131	卒業論文		通	後	土	4	4	15	0.50	1名提出										
	9354	消費者行動論演習Ⅰ	A	後	後	土	5	2	0	—	大学院										
	9380	論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院										
	9410	論文指導Ⅲ	A	後	後	土	5	2	0	—	大学院										

17 専任教員個別表〔2019年度〕経済学部

(表V-17-3)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号					
	毎週授業コマ数																				
	履修 コード	科目名	クラス	開講 期	担当 期	曜日	講 時	単 位	履修 者数	コマ数	備考	合計コマ数									
はやし ひでひこ 林 秀彦(男) 昭和50年9月1日 43歳	4146	プログラミングⅠ	A	前	前	月	3	2	21	0.50		7.67	教授	平成27年4月1日 平成28年4月1日		平成17年3月 北陸先端科学技術大学院 知識科学研究科 知識社会システム 学専攻 博士後期課程 修了 博士(知識科学)〔平成15年3月〕 北陸先端科学技術大学					
	4162	ソフトウェア開発論Ⅰ		前	前	火	1	2	20	0.50											
	4123	アプリケーション論		前	前	火	2	2	37	0.50											
	4087	専門演習Ⅰ		通年	前	火	4	4	17	0.50											
	4107	専門演習Ⅱ		通年	前	火	5	4	15	0.50											
	4168	シミュレーション論		前	前	水	2	2	27	0.50											
	4147	プログラミングⅠ	B	前	前	木	5	2	23	0.50											
	4131	卒業論文		通年	前	土	4	4	15	0.50	下段でカウント										
	4151	プログラミングⅡ	A	後	後	月	3	2	21	0.50											
	4087	専門演習Ⅰ		通年	後	火	4	4	17	0.50											
	4107	専門演習Ⅱ		通年	後	火	5	4	15	0.50											
	4069	基礎演習Ⅱ	D	後	後	水	2	2	20	0.50											
	4054	基礎演習Ⅰ	D	後	後	木	2	2	3	—	4074でカウント										
	4074	基礎演習	D	後	後	木	2	2	31	0.17	3人(林・黄・西脇)で分担										
	4163	ソフトウェア開発論Ⅱ		後	後	木	3	2	23	0.50											
	4152	プログラミングⅡ	B	後	後	木	5	2	23	0.50											
	4131	卒業論文		通年	後	土	4	4	15	0.50	5名提出										
	さとう ともあき 佐藤 友暁(男) 昭和47年12月20日 46歳	4155	データベース論		前	前	月	2	2	51	0.50							7.67	教授	平成29年4月1日 平成29年4月1日	総合情報 センター長 博士(工学)〔平成13年3月〕 東北大学 修士(理学)〔平成10年3月〕 弘前大学
		4122	システム設計論		前	前	月	3	2	14	0.50										
		4121	情報システム管理論		前	前	月	5	2	16	0.50										
4142		情報メディア論Ⅰ	A	前	前	火	2	2	47	0.50											
4143		情報メディア論Ⅰ	B	前	前	水	1	2	37	0.50											
4088		専門演習Ⅰ		通年	前	木	4	4	15	0.50											
4108		専門演習Ⅱ		通年	前	木	5	4	7	0.50											
4028		海外実習		通年	前	夏集中	1	2	22	—	下段でカウント										
4144		情報メディア論Ⅱ	A	後	後	火	2	2	48	0.50											
4019		インターネット論		後	後	火	3	2	58	0.50											
4145		情報メディア論Ⅱ	B	後	後	水	1	2	40	0.50											
4051		基礎演習Ⅰ	A	後	後	水	2	2	2	—	4071でカウント										
4071		基礎演習	A	後	後	水	2	2	32	0.17	3人(佐藤・大原・黄)で分担										
4088		専門演習Ⅰ		通年	後	木	4	4	15	0.50											
4108		専門演習Ⅱ		通年	後	木	5	4	7	0.50											
4043		情報処理	C	後	後	金	1	2	45	0.50											
4048		情報処理	D	後	後	金	3	2	46	0.50											
4028		海外実習		通年	後	冬集中	1	2	22	0.50											
こう がぶん 黄 雅雯(女) 昭和55年2月16日 39歳		4089	専門演習Ⅰ		通年	前	火	4	4	16	0.50		8.34	講師	平成27年4月1日 平成27年4月1日	平成22年3月 早稲田大学大学院 商学研究科 商学専攻 修士課程 修了 修士(商学)〔平成22年3月〕 早稲田大学					
		4109	専門演習Ⅱ		通年	前	火	5	4	11	0.50										
	4002	マネジメント入門Ⅰ	A	前	前	木	3	2	32	—	4008でカウント										
	4008	経営学入門Ⅰ	A	前	前	木	3	2	93	0.50											
	8830	マネジメント論〔国際〕	A	前	前	木	4	2	3	0.50											
	8863	日本の経済〔国際〕	A	前	前	木	4	3	1	—	8830でカウント										
	4044	ビジネス英語		前	前	金	3	2	48	0.50											
	4183	戦略マネジメントⅠ		前	前	金	5	2	100	0.50											
	4131	卒業論文		通年	前	土	4	4	15	0.50	4131でカウント										
	4010	経営学入門Ⅱ	A	後	後	火	1	2	55	0.50											
	4013	マネジメント入門Ⅱ	A	後	後	火	1	2	53	—	4010でカウント										
	4089	専門演習Ⅰ		通年	後	火	4	4	16	0.50											
	4109	専門演習Ⅱ		通年	後	火	5	4	11	0.50											
	4068	基礎演習Ⅱ	C	後	後	水	1	2	9	0.50											
	4051	基礎演習Ⅰ	A	後	後	水	2	2	2	—	4071でカウント										
	4071	基礎演習	A	後	後	水	2	2	32	0.17	3人(佐藤・大原・黄)で分担										
	4054	基礎演習Ⅰ	D	後	後	木	2	2	3	—	4074でカウント										
	4074	基礎演習	D	後	後	木	2	2	31	0.17	3人(林・黄・西脇)で分担										
	4045	ビジネスケース		後	後	木	3	2	16	0.50											
	8832	マネジメント論〔国際〕	B	後	後	木	4	2	10	0.50											
4124	国際マネジメント		後	後	金	3	2	88	0.50												
4184	戦略マネジメントⅡ		後	後	金	5	2	108	0.50												
4131	卒業論文		通年	後	土	4	4	15	0.50	1名提出											

17 専任教員個別表〔2019年度〕経済学部

(表V-17-3)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号				
	毎週授業コマ数																			
	履修 コード	科目名	クラス	開講 期	担当 期	曜日	講 時	単 位	履修 者数	コマ数	備考	合計コマ数								
かまだ なおや 鎌田 直矢(男) 昭和58年10月9日 35歳	4001	経営情報学Ⅰ		前	前	月	2	2	55	0.50		6.17	講師	平成27年4月1日	博士(経営学)〔平成27年3月〕 北海道大学大学院 経済学研究科 博士課程 修了					
	4141	情報科学		前	前	月	4	2	47	0.50										
	4091	専門演習Ⅰ		通	前	木	4	4	9	0.50										
	4111	専門演習Ⅱ		通	前	木	5	4	2	0.50										
	4131	卒業論文		通	前	土	4	4	15	0.50	下段でカウント									
	4011	経営情報学Ⅱ		後	後	月	2	2	56	0.50										
	8505	情報活用Ⅱ	情C	後	後	水	1	2	30	0.50										
	4053	基礎演習Ⅰ	C	後	後	水	2	2	5	-	4073でカウント									
	4073	基礎演習Ⅱ	C	後	後	水	2	2	31	0.17	3人(鎌田・松本・西脇)で分担									
	4091	専門演習Ⅰ		通	後	木	4	4	9	0.50										
	4111	専門演習Ⅱ		通	後	木	5	4	2	0.50										
	4041	情報処理	A	後	後	金	1	2	43	0.50										
	4042	情報処理	B	後	後	金	3	2	42	0.50										
	4131	卒業論文		通	後	土	4	4	15	0.50	2名提出									
	5581	演習Ⅲ	A	通	前	月	5	4	2	0.50										
	ますだ たつよし 増田 辰良(男) 昭和30年12月6日 63歳	5508	法と経済		前	前	月	3	2	78	0.50						9.00	教授	平成14年4月1日	昭和61年3月 北海道大学大学院 経済学研究科 経済学専攻 博士後期課程 単位取得後退学
		5747	規制と競争の経済学		前	前	火	1	2	28	0.50									
9303		応用経済論研究Ⅰ		前	前	火	4	2	1	0.50	大学院									
5561		演習Ⅱ	A	通	前	火	5	4	9	0.50										
5124		経済政策論		通	前	水	2	4	28	0.50										
5802		基礎力養成塾Ⅰ	B	前	前	木	2	2	15	0.50										
5541		演習Ⅰ	A	通	前	木	5	4	12	0.50										
5700		卒業論文		通	前	土	4	4	6	0.50										
9339		応用経済論演習Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	-	大学院									
9386		論文指導Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	-	大学院									
5615		モダン・エコノミクス		後	後	月	3	2	49	0.50										
5581		演習Ⅲ	A	通	後	月	5	4	2	0.50										
5741		応用経済学特別講義		後	後	火	2	2	16	0.50										
5561		演習Ⅱ	A	通	後	火	5	4	9	0.50										
5124		経済政策論		通	後	水	2	4	28	0.50										
5541		演習Ⅰ	A	通	後	木	5	4	12	0.50										
5814		基礎力養成塾Ⅱ	D	後	後	木	2	2	12	0.50										
9304		応用経済論研究Ⅱ		後	後	木	4	2	1	0.50	大学院									
5700		卒業論文		通	後	土	4	4	6	0.50	1名提出									
9338		応用経済論演習Ⅰ	A	後	後	土	5	2	0	-	大学院									
9371		論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	-	大学院									
9401		論文指導Ⅲ	A	後	後	土	5	2	0	-	大学院									
しのだ ゆう 篠田 優(男) 昭和32年12月30日 61歳		5542	演習Ⅰ	B	通	前	月	5	4	13	0.50		5.50	教授	平成16年4月1日	昭和62年4月 北海道大学大学院 法学研究科 民法専攻 博士後期課程 単位取得後退学				
		8129	日本国憲法	C	前	前	火	1	2	134	0.50									
		5737	民法再入門		前	前	木	3	2	51	0.50									
		5562	演習Ⅱ	B	通	前	木	5	4	4	0.50									
		5582	演習Ⅲ	B	通	前	木	5	4	2	-	5562でカウント								
	5738	民法Ⅲ〔不法行為〕		前	前	金	3	2	20	0.50										
	5671	民法Ⅰ〔民法総則・物権〕		後	後	月	4	4	165	0.50										
	5542	演習Ⅰ	B	通	後	月	5	4	13	0.50										
	5676	民法Ⅵ〔親族〕		後	後	火	2	2	17	0.50										
	5811	基礎力養成塾Ⅱ	A	後	後	木	2	2	7	0.50										
	5671	民法Ⅰ〔民法総則・物権〕		後	後	木	3	4	165	0.50										
	5562	演習Ⅱ	B	通	後	木	5	4	4	0.50										
	5582	演習Ⅲ	B	通	後	木	5	4	2	-	5562でカウント									

17 専任教員個別表〔2019年度〕経済学部

(表V-17-3)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号				
	毎週授業コマ数																			
	履修 コード	科目名	クラス	開講 期	担当 期	曜日	講 時	単 位	履修 者数	コマ数	備考	合計コマ数								
いわもと いちろう 岩本 一郎(男) 昭和40年4月17日 53歳	5642	憲法Ⅱ〔統治機構〕		前	前	月	3	4	110	0.50		8.00	教授	入学試験センター長	平成7年3月 北海道大学大学院 法学研究科 公法専攻 博士後期課程 修了 博士(法学) 北海道大学					
	5563	演習Ⅱ	C	通	前	月	5	4	17	0.50										
	5805	基礎力養成熟Ⅰ	E	前	前	火	3	2	18	0.50										
	8128	日本国憲法	B	前	前	火	5	2	255	0.50										
	5642	憲法Ⅱ〔統治機構〕		前	前	木	4	4	110	0.50										
	5583	演習Ⅲ	C	通	前	木	5	4	11	0.50										
	8127	日本国憲法	A	前	前	金	1	2	285	0.50										
	5543	演習Ⅰ	C	通	前	金	2	4	24	0.50										
	5641	憲法Ⅰ〔人権〕		後	後	月	2	4	183	0.50										
	5657	メディア法		後	後	月	3	2	86	0.50										
	5563	演習Ⅱ	C	通	後	月	5	4	17	0.50										
	5641	憲法Ⅰ〔人権〕		後	後	水	2	4	183	0.50										
	5658	国際人権法		後	後	木	4	2	94	0.50										
	5583	演習Ⅲ	C	通	後	木	5	4	11	0.50										
	5507	法哲学		後	後	金	1	2	62	0.50										
	5543	演習Ⅰ	C	通	後	金	2	4	24	0.50										
	あきもり ひろし 秋森 弘(男) 昭和38年7月30日 55歳	8826	日本の金融と経済〔国際〕	A	前	前	月	3	2	3	0.50						5.00	教授	経済学部長、 総合研究センター長、 経済学研究科 長	平成12年3月 一橋大学大学院 商学研究科 商学専攻 博士課程 単位取得後退学 経済学修士〔平成2年3月〕 北海道大学
8863		日本の経済〔国際〕	A	前	前	月	3	3	1	—	8826でカウント									
5135		国際金融論		前	前	月	4	2	33	0.50										
4093		専門演習Ⅰ		通	前	月	5	4	0	—										
5544		演習Ⅰ	D	通	前	月	5	4	3	—	5564でカウント									
5564		演習Ⅱ	D	通	前	月	5	4	5	0.50										
5804		基礎力養成熟Ⅰ	D	前	前	木	2	2	13	0.50										
9313		金融・証券論研究Ⅰ		前	前	木	4	2	1	0.50	大学院									
5835		証券経済論		前	前	金	2	2	3	0.50										
9349		金融・証券論演習Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院									
9393		論文指導Ⅱ	A	前	前	土	5	2	0	—	大学院									
4093		専門演習Ⅰ		通	後	月	5	4	0	—										
5544		演習Ⅰ	D	通	後	月	5	4	3	—	5564でカウント									
5564		演習Ⅱ	D	通	後	月	5	4	5	0.50										
3055		金融論		後	後	火	3	4	65	0.50										
9314		金融・証券論研究Ⅱ		後	後	火	4	2	0	—	大学院									
9348		金融・証券論演習Ⅰ	A	後	後	火	5	2	0	—	大学院									
9378		論文指導Ⅰ		後	後	火	6	2	0	—	大学院									
3055		金融論		後	後	金	3	4	65	0.50										
5821		証券概論		後	後	金	5	2	45	0.50										
5606		金融システム論		後	後	金	6	2	0	—										
9408		論文指導Ⅲ	A	後	後	土	5	2	0	—	大学院									
あだち きよと 足立 清人(男) 昭和43年4月30日 50歳		5736	民法Ⅱ〔債権各論〕		前	前	月	2	4	114	0.50		8.67	教授		平成15年3月 早稲田大学大学院 法学研究科 民法学専攻 博士課程 単位取得後退学 修士(法学)〔平成9年3月〕 早稲田大学				
		5675	民法Ⅴ〔担保物権〕		前	前	月	4	2	55	0.50									
		5585	演習Ⅲ	E	通	前	月	5	4	15	0.50									
		5677	民法Ⅶ〔相続〕		前	前	火	3	2	28	0.50									
		5545	演習Ⅰ	E	通	前	火	5	4	18	0.50									
	5736	民法Ⅱ〔債権各論〕		前	前	水	2	4	114	0.50										
	5721	法学入門		前	前	木	1	2	157	0.17	5回担当(長屋・足立・竹田)									
	5801	基礎力養成熟Ⅰ	A	前	前	木	2	2	15	0.50										
	5565	演習Ⅱ	E	通	前	木	5	4	11	0.50										
	5700	卒業論文		通	前	土	4	4	6	0.50	下段でカウント									
	5674	民法Ⅳ〔債権総論〕		後	後	月	3	2	74	0.50										
	5585	演習Ⅲ	E	通	後	月	5	4	15	0.50										
	8131	法学		後	後	火	3	2	88	0.50										
	5545	演習Ⅰ	E	通	後	火	5	4	18	0.50										
	5812	基礎力養成熟Ⅱ	B	後	後	木	2	2	9	0.50										
	5684	金融取引法		後	後	木	3	2	31	0.50										
	5565	演習Ⅱ	E	通	後	木	5	4	11	0.50										
	5700	卒業論文		通	後	土	4	4	6	0.50	3名提出									

17 専任教員個別表〔2019年度〕経済学部

(表V-17-3)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号
	毎週授業コマ数															
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コ マ 数	備 考	合 計 コ マ 数				
ながや ゆきよ 長屋 幸世(女) 昭和50年4月12日 43歳	7902	法学	短	前	前	火	1	2	85	0.50		6.63	教授	平成17年4月1日	経済法 学科長	平成17年3月 北海道大学大学院 法学研究科 法学政治学専攻 博士後期課程 単位取得後退学
	5691	民事訴訟法		前	前	火	4	4	53	0.50						
	5586	演習Ⅲ	F	通	前	火	5	4	11	0.50						
	5721	法学入門		前	前	木	1	2	157	0.13	4回担当(長屋・足立・竹田)					
	5806	基礎力養成熟Ⅰ	F	前	前	木	2	2	12	0.50						
	5691	民事訴訟法		前	前	木	3	4	53	0.50						
	5566	演習Ⅱ	F	通	前	木	5	4	5	0.50						
	5700	卒業論文		通	前	土	4	4	6	0.50						
	5693	倒産処理法		後	後	火	4	2	26	0.50						
	5586	演習Ⅲ	F	通	後	火	5	4	11	0.50						
	5692	民事執行法		後	後	水	1	2	12	0.50						
	5739	手続法基礎論		後	後	木	2	2	140	0.50						
	5566	演習Ⅱ	F	通	後	木	5	4	5	0.50						
	5700	卒業論文		通	後	土	4	4	6	0.50	提出なし					
	はぎわら こうた 萩原 浩太(男) 昭和34年3月9日 60歳 国外研修 2019.9.1~2020.3.23	5141	経済法		前	前	月	1	4	93	0.50					
5567		演習Ⅱ	G	前	前	月	4	4	14	0.50						
5567		演習Ⅱ	G	前	前	月	5	4	14	0.50						
5587		演習Ⅲ	G	前	前	火	4	4	15	0.50						
5587		演習Ⅲ	G	前	前	火	5	4	15	0.50						
5803		基礎力養成熟Ⅰ	C	前	前	木	2	2	6	0.50						
5141		経済法		前	前	木	4	4	93	0.50						
5685		知的所有権法		前	前	金	3	2	5	—	5843でカウント					
5742		先端法法律学特別講義		前	前	金	3	2	69	—	5843でカウント					
5843		知的財産法		前	前	金	3	2	60	0.50						
4094		専門演習Ⅰ		通	前	月	5	4	0	—	5568でカウント					
いとう ますみ 伊東 尚美(女) 昭和41年1月9日 53歳		5568	演習Ⅱ	H	通	前	月	5	4	15	0.50		5.00	准教授	平成14年4月1日	
	5682	商法Ⅱ〔会社法〕		前	前	火	2	4	64	0.50						
	5808	基礎力養成熟Ⅰ	H	前	前	火	3	2	7	0.50						
	4114	専門演習Ⅱ		通	前	火	5	4	0	—	5588でカウント					
	5588	演習Ⅲ	H	通	前	火	5	4	7	0.50						
	5504	企業法入門		前	前	木	1	2	54	0.50						
	5682	商法Ⅱ〔会社法〕		前	前	木	2	4	64	0.50						
	4094	専門演習Ⅰ		通	後	月	5	4	0	—	5568でカウント					
	5568	演習Ⅱ	H	通	後	月	5	4	15	0.50						
	5681	商法Ⅰ〔商法総則・商行為法〕		後	後	火	2	4	130	0.50						
	4114	専門演習Ⅱ		通	後	火	5	4	0	—	5588でカウント					
	5588	演習Ⅲ	H	通	後	火	5	4	7	0.50						
	5681	商法Ⅰ〔商法総則・商行為法〕		後	後	木	1	4	130	0.50						
	5654	行政法Ⅱ〔行政救済法〕		前	前	月	2	4	38	0.50						
	6148	租税法		前	前	月	3	2	97	0.50						
ただい つねのり 竹田 恒規(男) 昭和49年2月6日 45歳	5546	演習Ⅰ	F	通	前	月	5	4	18	0.50		5.70	講師	平成14年4月1日		平成14年3月 北海道大学大学院 法学研究科 公法専攻 博士後期課程 単位取得後退学
	5807	基礎力養成熟Ⅰ	G	前	前	火	3	2	15	0.50						
	5569	演習Ⅱ	I	通	前	火	5	4	14	0.50						
	5654	行政法Ⅱ〔行政救済法〕		前	前	水	1	4	38	0.50						
	5721	法学入門		前	前	木	1	2	157	0.20	6回担当(長屋・足立・竹田)					
	5655	地方自治法		後	後	月	4	2	52	0.50						
	5546	演習Ⅰ	F	通	後	月	5	4	18	0.50						
	5653	行政法Ⅰ〔行政法総論〕		後	後	火	3	4	144	0.50						
	5569	演習Ⅱ	I	通	後	火	5	4	14	0.50						
	5653	行政法Ⅰ〔行政法総論〕		後	後	木	3	4	144	0.50						

17 専任教員個別表〔2019年度〕経済学部

(表V-17-3)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号						
	毎週授業コマ数																					
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計コマ数										
たじか ともや 多鹿 智哉(男) 平成2年1月15日 29歳	5548	演習Ⅰ	H	通年	前	月	5	4	19	0.50		5.00	講師	平成31年4月1日	平成31年4月1日	平成29年3月 神戸大学 経済学研究科 博士課程修了 博士(経済学) 神戸大学						
	5724	ミクロ経済学	情法	通年	前	火	3	4	13	—	5833でカウント											
	5833	ミクロ経済学Ⅰ	情法	前	前	火	3	2	113	0.50												
	5617	経済数学	法	通年	前	火	4	4	15	—	5831でカウント											
	5831	経済数学基礎		前	前	火	4	2	111	0.50												
	4031	経済学基礎	A	前	前	水	1	2	1	0.50	7回×1クラス、8回×1クラス											
	4032	経済学基礎	B	前	前	水	1	2	0	—	4031でカウント											
	5501	基礎経済学	A	前	前	水	1	2	96	—	4031でカウント											
	5502	基礎経済学	B	前	前	水	1	2	75	—	4031でカウント											
	5571	演習Ⅱ	K	通年	前	木	5	4	16	0.50												
	5548	演習Ⅰ	H	通年	後	月	5	4	19	0.50												
	5815	基礎力養成塾Ⅱ	E	後	後	火	3	2	4	0.50												
	5617	経済数学	法	通年	後	火	4	4	15	—	5832でカウント											
	5832	経済数学	情法	後	後	火	4	2	57	0.50												
	5724	ミクロ経済学	情法	通年	後	木	4	4	13	—	5834でカウント											
	5834	ミクロ経済学Ⅱ	情法	後	後	木	4	2	70	0.50												
	5571	演習Ⅱ	K	通年	後	木	5	4	16	0.50												
	なむ ほちよる 南 ホ Chol(男) 昭和62年2月6日 32歳	5849	計量経済学	法	前	前	月	1	4	15	0.50							6.50	講師	平成31年4月1日	平成31年4月1日	平成30年3月 九州大学 経済学研究科 経済工学専攻 博士課程修了 博士(経済学) 九州大学
		5727	企業金融論		前	前	月	4	2	64	0.50											
		5570	演習Ⅱ	J	通年	前	月	5	4	1	0.50											
5726		証券論		通年	前	火	4	4	30	0.50												
5589		演習Ⅲ	I	通年	前	火	5	4	7	0.50												
4031		経済学基礎	A	前	前	水	1	2	1	0.50	7回×1クラス、8回×1クラス											
4032		経済学基礎	B	前	前	水	1	2	0	—	4031でカウント											
5501		基礎経済学	A	前	前	水	1	2	96	—	4031でカウント											
5502		基礎経済学	B	前	前	水	1	2	75	—	4031でカウント											
5849		計量経済学	法	前	前	木	3	4	15	0.50												
5547		演習Ⅰ	G	通年	前	木	5	4	6	0.50												
5570		演習Ⅱ	J	通年	後	月	5	4	1	0.50												
5726		証券論		通年	後	火	4	4	30	0.50												
5589		演習Ⅲ	I	通年	後	火	5	4	7	0.50												
5813		基礎力養成塾Ⅱ	C	後	後	木	2	2	14	0.50												
5547		演習Ⅰ	G	通年	後	木	5	4	6	0.50												
たなせ えりや 棚瀬 江里哉(男) 昭和34年4月5日 59歳		507	英語Ⅰ	コB	前	前	月	1	2	30	0.50		5.00	教授	昭和62年4月1日	平成16年4月1日	平成14年3月 北海道大学大学院 教育学研究科 教育制度専攻 博士後期課程 単位取得後退学 修士(教育学)〔平成10年3月〕 北海道大学					
		516	英語Ⅰ	経済	前	前	月	4	2	19	0.50											
		513	英語Ⅰ	経済	前	前	木	4	2	23	0.50											
		523	英語Ⅰ	経済	前	前	金	2	2	25	0.50											
	613	英語Ⅲ	経済	前	前	金	4	2	32	0.50												
	558	英語Ⅱ	コC	後	後	月	1	2	23	0.50												
	567	英語Ⅱ	経済	後	後	月	4	2	24	0.50												
	653	英語Ⅳ	コC	後	後	木	4	2	35	0.50												
	568	英語Ⅱ	経済	後	後	金	2	2	19	0.50												
	664	英語Ⅳ	経済	後	後	金	4	2	28	0.50												
おかだ みさを 岡田 みさを(女) 昭和36年1月26日 58歳	8829	日本語ⅢA		前	前	月	1	12	4	0.80	24回	5.63	教授	平成18年4月1日	平成24年4月1日	言語教育 部門長 平成13年9月 米国ミネソタ大学大学院 言語学専攻 博士課程 修了 Ph. D. (言語学博士)						
	8829	日本語ⅢA		前	前	月	2	12	4	—	上段でカウント											
	1975	日本語教授法Ⅰ		前	前	火	4	2	47	0.50												
	8822	日本社会における言語とジェンダー〔国際〕	A	前	前	水	1	2	3	—	8861でカウント											
	8861	日本の社会〔国際〕	A	前	前	水	1	3	3	0.50												
	1977	日本語教授法Ⅲ		前	前	木	3	2	9	0.50												
	8825	日本語ⅡA		前	前	金	1	12	2	0.80	24回											
	8825	日本語ⅡA		前	前	金	2	12	2	—	上段でカウント											
	8831	日本語ⅢB		後	後	月	1	12	8	0.73	22回											
	8831	日本語ⅢB		後	後	月	2	12	8	—	上段でカウント											
	1976	日本語教授法Ⅱ		後	後	火	4	2	47	0.50												
	8824	日本社会における言語とジェンダー〔国際〕	B	後	後	水	1	2	2	—	8861でカウント											
	8862	日本の社会〔国際〕	B	後	後	水	1	3	1	0.50												
	8827	日本語ⅡB		後	後	金	1	12	2	0.80	24回											
	8827	日本語ⅡB		後	後	金	2	12	2	—	上段でカウント											

17 専任教員個別表〔2019年度〕経済学部

(表V-17-3)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号						
	毎週授業コマ数																					
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コ マ 数	備 考	合 計 コ マ 数										
ふるや じろう 古谷 次郎(男) 昭和39年3月25日 55歳	8413	情報入門	経C	前	前	月	1	2	37	0.50		4.16	教授	平成14年4月1日 平成25年4月1日	教職部門長	平成14年3月 北海学園大学大学院 経済学研究科 経済政策専攻 博士後期課程 単位取得後退学 修士(経済学)〔平成10年3月〕 北海学園大学						
	8924	商業科教育法Ⅰ		前	前	月	2	2	0	—												
	8941	教育方法論	A	前	前	月	4	2	27	0.50												
	8938	特別活動の研究	A	前	前	月	5	2	33	0.50												
	8962	教育実習Ⅰ(中学校)		通	前	火	1	4	36	—	8978でカウント											
	8963	教育実習Ⅱ(高等学校)		通	前	火	1	2	10	—	8978でカウント											
	8978	教育実習事前事後指導		通	前	火	1	1	46	0.16												
	8928	情報科教育法Ⅰ		前	前	金	2	2	0	—												
	8461	情報活用Ⅰ	経A	後	後	月	1	2	45	0.50												
	8925	商業科教育法Ⅱ		後	後	月	2	2	0	—												
	8981	教職実践演習(中・高)	A	後	後	月	3	2	9	0.50												
	8962	教育実習Ⅰ(中学校)		通	後	火	1	4	36	—	8978でカウント											
	8963	教育実習Ⅱ(高等学校)		通	後	火	1	2	10	—	8978でカウント											
	8978	教育実習事前事後指導		通	後	火	1	1	46	—	上段でカウント											
	8475	情報活用Ⅰ	計A	後	後	木	3	2	31	0.50												
	8939	特別活動の研究	B	後	後	木	5	2	25	0.50												
	8929	情報科教育法Ⅱ		後	後	金	2	2	0	—												
	8942	教育方法論	B	後	後	金	5	2	38	0.50												
	ほしの ひろし 星野 宏司(男) 昭和40年5月25日 53歳	8015	スポーツ生理学		前	前	月	2	2	147	0.50							7.50	教授	平成18年4月1日 平成28年4月1日		平成18年3月 北海道大学大学院 教育学研究科 体育学専攻 博士後期課程 単位取得後退学 博士(衛生)〔平成28年3月〕 北海道医療大学
		8085	生涯スポーツⅡ	B	通	前	月	3	2	17	0.50											
8082		生涯スポーツⅠ	B	通	前	月	4	2	29	0.50												
8021		体育実技Ⅰ	A	通	前	火	1	2	61	0.50	ソフトボール											
8051		体育実技Ⅱ	A	通	前	火	1	2	14	—	8021でカウント											
8022		体育実技Ⅰ	B	通	前	火	2	2	43	0.50	ソフトボール											
8052		体育実技Ⅱ	B	通	前	火	2	2	16	—	8022でカウント											
8023		体育実技Ⅰ	C	通	前	火	3	2	64	0.50	ソフトボール											
8053		体育実技Ⅱ	C	通	前	火	3	2	8	—	8023でカウント											
8087		スポーツ実技		前	前	水	2	1	9	0.50												
7933		スポーツⅠ	Y	前	前	金	1	1	10	—												
7934		スポーツⅠ	Z	前	前	金	2	1	21	—												
8085		生涯スポーツⅡ	B	通	後	月	3	2	17	0.50												
8082		生涯スポーツⅠ	B	通	後	月	4	2	29	0.50												
8021		体育実技Ⅰ	A	通	後	火	1	2	61	0.50	バドミントン											
8051		体育実技Ⅱ	A	通	後	火	1	2	14	—	8021でカウント											
8022		体育実技Ⅰ	B	通	後	火	2	2	43	0.50	バドミントン											
8052		体育実技Ⅱ	B	通	後	火	2	2	16	—	8022でカウント											
8023		体育実技Ⅰ	C	通	後	火	3	2	64	0.50	バドミントン											
8053		体育実技Ⅱ	C	通	後	火	3	2	8	—	8023でカウント											
8089	健康運動実技		後	後	水	2	1	10	0.50													
7937	スポーツⅡ	Y	後	後	金	1	1	11	—													
7938	スポーツⅡ	Z	後	後	金	2	1	16	—													
8081	生涯スポーツⅠ	A	通	後	後集中		2	6	0.50	ゴルフ												
8023	体育実技Ⅰ	C	通	後	後集中		2	64	0.50	スキー												
かねこ だいすけ 金子 大輔(男) 昭和49年10月21日 44歳	8407	情報入門	コB	前	前	水	2	2	39	0.50		5.50	教授	平成18年4月1日 平成22年4月1日		平成15年3月 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 教育学専攻 博士後期課程 単位取得後退学 修士(教育学)〔平成11年3月〕 名古屋大学						
	8535	ソフトウェア基礎		前	前	水	1	2	13	0.50												
	8427	情報入門	法B	前	前	水	2	2	46	0.50												
	8403	情報入門	英C	前	前	木	2	2	42	0.50												
	8431	情報入門	計A	前	前	木	3	2	32	0.50												
	8456	情報活用Ⅰ	コB	後	後	火	2	2	35	0.50												
	8465	情報活用Ⅰ	情A	後	後	水	1	2	47	0.50												
	8511	情報活用Ⅱ	法B	後	後	水	2	2	10	0.50												
	2064	マルチメディア論		後	後	木	2	2	7	0.50												
	8516	情報活用Ⅱ	計D	後	後	木	3	2	17	0.50												
	8485	情報活用Ⅰ	福心	後	後	金	2	2	42	0.50												

17 専任教員個別表〔2019年度〕経済学部

(表V-17-3)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目											職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号	
	毎週授業コマ数															
	履修 コード	科目名	クラス	開講 期	担当 期	曜日	講 時	単 位	履修 者数	コマ数	備考					合計コマ数
ちよん くんじゅ 鄭 根珠(女) 昭和48年8月18日 45歳	941	韓国語と文化		前	前	月	2	2	24	0.50	6.00	准教授	平成28年4月1日		平成17年3月 早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 国際関係学専攻 博士後期課程 単位取得後退学	
	822	韓国語Ⅲ	文部	前	前	月	4	2	21	0.50						
	8194	韓国・朝鮮の文化		前	前	月	5	2	22	0.50						
	944	上級韓国語Ⅰ		前	前	水	1	2	26	0.50						
	955	外国語演習〔韓国語〕		通年	前	木	2	4	5	0.50						
	821	韓国語Ⅲ	文部	前	前	木	4	2	21	0.50						
	943	海外事情		韓国夏集中	前	莫集中	1	2	12	0.50						
	813	韓国語Ⅱ	経前	後	後	火	2	2	23	0.50						
	834	韓国語Ⅳ	経前	後	後	火	4	2	30	0.50						
	946	上級韓国語Ⅱ		後	後	水	1	2	10	0.50						
	955	外国語演習〔韓国語〕		通年	後	木	2	4	5	0.50						
	831	韓国語Ⅳ	文部	後	後	木	4	2	15	0.50						
	もろおか たくま 諸岡 卓真(男) 昭和52年6月28日 41歳	8227	地域と世界基礎演習Ⅰ		前	前	月	3	2	14						0.50
8584		教養演習Ⅰ	D	前	前	月	3	2	17	—	8227でカウント					
8645		日本語表現Ⅰ	福心	前	前	火	1	2	22	0.50						
8607		日本語表現Ⅰ	コA	前	前	木	3	2	25	0.50						
8614		日本語表現Ⅰ	経C	前	前	木	5	2	21	0.50						
8171		日本の文化Ⅰ	A	前	前	金	1	2	106	—	8179でカウント					
8179		日本の文化	A	前	前	金	1	2	33	0.50						
8228		地域と世界基礎演習Ⅱ		後	後	月	3	2	20	0.50						
8594		教養演習Ⅱ	D	後	後	月	3	2	4	—	8228でカウント					
8691		日本語表現Ⅱ	福心	後	後	火	1	2	23	0.50						
8657		日本語表現Ⅱ	コA	後	後	木	3	2	26	0.50						
8664		日本語表現Ⅱ	経C	後	後	木	5	2	25	0.50						
8172		日本の文化Ⅰ	B	後	後	金	3	2	155	—	8180でカウント					
8180		日本の文化	B	後	後	金	3	2	65	0.50						
やまよし ともひさ 山吉 智久(男) 昭和53年2月16日 41歳		8231	聖書の思想と文化Ⅰ	A	前	前	月	3	2	271	0.50	5.00	准教授	平成29年4月1日		平成24年5月 テュービンゲン大学 プロテスタント神学部 博士課程修了
	8281	宗教と文化演習Ⅰ		前	前	月	5	2	6	0.50						
	8232	聖書の思想と文化Ⅰ	B	前	前	火	4	2	207	0.50						
	8233	聖書の思想と文化Ⅰ	C	前	前	水	2	2	211	0.50						
	8234	聖書の思想と文化Ⅰ	D	前	前	金	5	2	64	0.50						
	8235	聖書の思想と文化Ⅱ	A	後	後	月	3	2	283	0.50						
	8285	宗教と文化演習Ⅱ		後	後	月	5	2	6	0.50						
	8236	聖書の思想と文化Ⅱ	B	後	後	火	4	2	213	0.50						
	8237	聖書の思想と文化Ⅱ	C	後	後	水	2	2	146	0.50						
	8238	聖書の思想と文化Ⅱ	D	後	後	金	5	2	34	0.50						
ますだ よしずみ 増田 好純(男) 昭和50年11月20日 43歳	701	ドイツ語Ⅰ	文部	前	前	月	1	2	22	0.50	6.00	准教授	平成31年4月1日		平成21年3月 東京大学大学院 総合文化研究科 地域文化研究専攻 単位取得満期退学	
	911	ドイツ語と文化		前	前	火	2	2	8	0.50						
	952	外国語演習〔ドイツ語〕		通年	前	木	2	4	10	0.50						
	721	ドイツ語Ⅲ	文部	前	前	木	4	2	26	0.50						
	703	ドイツ語Ⅰ	経前	前	前	金	2	2	20	0.50						
	723	ドイツ語Ⅲ	経前	前	前	金	4	2	15	0.50						
	711	ドイツ語Ⅱ	文部	後	後	月	1	2	27	0.50						
	952	外国語演習〔ドイツ語〕		通年	後	木	2	4	10	0.50						
	731	ドイツ語Ⅳ	文部	後	後	木	4	2	27	0.50						
	713	ドイツ語Ⅱ	経前	後	後	金	2	2	20	0.50						
	733	ドイツ語Ⅳ	経前	後	後	金	4	2	15	0.50						
ひらい ひろかず 平井 廣一(男) 昭和29年1月21日 65歳	913	海外事情	ドイ	冬集中	冬集中	1	2	5	0.50	3.53	教授	昭和58年4月1日		昭和57年3月 北海道大学大学院 経済学研究科 経済学専攻 博士課程 単位取得後退学		
	3501	入門演習		前	前	月	2	2	0						—	3510でカウント
	3510	経済学入門	経	前	前	月	2	2	164						0.03	1/15担当
	3104	日本経済史		前	前	月	5	4	1						0.50	
	3571	演習Ⅰ		前	前	火	2	2	5						0.50	
	3801	演習Ⅰ		通年	前	火	4	4	2						0.50	
	3851	演習Ⅱ		通年	前	火	5	4	0						—	
	3104	日本経済史		前	前	水	4	4	1						0.50	
	3136	日本史	経前	通年	後	月	4	4	15						—	3404でカウント
	3404	日本史Ⅱ〔近現代〕	経前	後	後	月	4	2	10						0.50	
	3551	基礎演習		後	後	火	2	2	2						—	3591でカウント
	3591	演習Ⅱ		後	後	火	2	2	5						0.50	
	3801	演習Ⅰ		通年	後	火	4	4	2						0.50	
3851	演習Ⅱ		通年	後	火	5	4	0	—							

17 専任教員個別表〔2019年度〕経済学部

(表V-17-3)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号				
	毎週授業コマ数																			
	履修 コード	科目名	クラス	開講 期	担当 期	曜日	講 時	単 位	履修 者数	コマ数	備考	合計コマ数								
なかむら かずひろ 中村 一浩(男) 昭和28年1月6日 66歳	3501	入門演習		前	前	月	2	2	0	—	3510でカウント	6.03	教授	昭和59年4月1日 平成7年4月1日	昭和59年3月 早稲田大学大学院 商学研究科 商学専攻 経営経済専修 博士課程 単位取得後退学 法学修士〔昭和52年3月〕 文学修士〔昭和54年3月〕 早稲田大学					
	3510	経済学入門	経	前	前	月	2	2	164	0.03	1/15担当									
	3107	社会政策論		前	前	月	5	4	5	0.50										
	3107	社会政策論		前	前	水	5	4	5	0.50										
	3572	演習Ⅰ		前	前	木	2	2	11	0.50										
	3802	演習Ⅰ		通	前	木	4	4	14	0.50										
	3852	演習Ⅱ		通	前	木	5	4	11	0.50										
	3138	世界史Ⅱ		通	前	金	5	4	17	0.50										
	3057	労働経済論		後	後	月	5	4	2	0.50										
	3057	労働経済論		後	後	水	5	4	2	0.50										
	3552	基礎演習		後	後	木	2	2	0	—	3592でカウント									
	3592	演習Ⅱ		後	後	木	2	2	11	0.50										
	3802	演習Ⅰ		通	後	木	4	4	14	0.50										
	3852	演習Ⅱ		通	後	木	5	4	11	0.50										
	3138	世界史Ⅱ		通	後	金	5	4	17	0.50										
	たけのうち まさき 竹野内 真樹(男) 昭和25年8月31日 68歳	3501	入門演習		前	前	月	2	2	0	—					3510でカウント	5.53	教授	平成29年4月1日 平成29年4月1日	昭和54年3月 東京大学大学院 経済学研究科 応用経済学 博士課程 単位取得後退学 修士(経済学)〔昭和54年3月〕 東京大学
		3510	経済学入門	経	前	前	月	2	2	164	0.03					1/15担当				
3091		国際経済学		前	前	月	3	4	59	0.50										
3705		時事英語		前	前	月	4	2	4	0.50										
3584		演習Ⅰ		前	前	火	2	2	10	0.50										
3815		演習Ⅰ		通	前	火	4	4	6	0.50										
3865		演習Ⅱ		通	前	火	5	4	11	0.50										
3546		現代の国際社会	B	前	前	水	1	2	69	0.50										
3091		国際経済学		前	前	水	5	4	59	0.50										
3565		基礎演習		後	後	火	2	2	0	—	3604でカウント									
3604		演習Ⅱ		後	後	火	2	2	10	0.50										
3815		演習Ⅰ		通	後	火	4	4	6	0.50										
3865		演習Ⅱ		通	後	火	5	4	11	0.50										
8840		国際経済〔国際〕		後	後	水	5	2	0	—	8372でカウント									
8872		国際経済〔国際〕		後	後	水	5	3	1	0.50										
さいとう まさひろ 齊藤 正廣(男) 昭和26年5月12日 67歳		3501	入門演習		前	前	月	2	2	0	—	3510でカウント	4.53	講師	平成28年4月1日 平成28年4月1日	昭和51年3月 小樽商科大学 商学部商学科 卒業 学士(商学) 小樽商科大学				
		3510	経済学入門	経	前	前	月	2	2	164	0.03	1/15担当								
	7719	生活と金融保険		前	前	火	2	2	47	0.50										
	3582	演習Ⅰ		前	前	木	2	2	13	0.50										
	3813	演習Ⅰ		通	前	木	4	4	13	0.50										
	3863	演習Ⅱ		通	前	木	5	4	13	0.50										
	3065	北海道経済論	A	通	前	金	2	4	116	—	5634でカウント									
	5634	北海道経済論	B	前	前	金	2	2	219	0.50										
	3563	基礎演習		後	後	木	2	2	4	—	3602でカウント									
	3602	演習Ⅱ		後	後	木	2	2	14	0.50										
	3813	演習Ⅰ		通	後	木	4	4	13	0.50										
	3863	演習Ⅱ		通	後	木	5	4	13	0.50										
	3065	北海道経済論	A	通	後	金	2	4	116	0.50										
	4241	証券と金融		後	後	月	1	2	33	0.50										
	4101	専門演習Ⅱ		後	後	火	4	4	11	0.50										
	4101	専門演習Ⅱ		後	後	火	5	4	11	0.50										
	4014	企業形態論		後	後	水	4	2	51	0.50										
4185	現代企業論		後	後	木	1	2	35	0.50											
4052	基礎演習Ⅰ	B	後	後	木	2	2	3	—	4072でカウント										
4072	基礎演習	B	後	後	木	2	2	31	0.17	3人(鈴木・山口・韓)で分担										
4242	証券市場論		後	後	木	4	2	64	0.50											
4131	卒業論文		通	後	土	4	4	15	0.50	2名提出										
やまぐち ひろのり 山口 博教(男) 昭和25年2月12日 69歳												3.67	教授	昭和56年4月1日 平成3年4月1日	昭和55年3月 北海道大学大学院 経済学研究科 経済政策専攻 博士課程 単位取得後退学 博士(経済学)〔平成3年9月〕 立教大学					
	4241	証券と金融		後	後	月	1	2	33	0.50										
	4101	専門演習Ⅱ		後	後	火	4	4	11	0.50										
	4101	専門演習Ⅱ		後	後	火	5	4	11	0.50										
	4014	企業形態論		後	後	水	4	2	51	0.50										
	4185	現代企業論		後	後	木	1	2	35	0.50										
	4052	基礎演習Ⅰ	B	後	後	木	2	2	3	—	4072でカウント									
	4072	基礎演習	B	後	後	木	2	2	31	0.17	3人(鈴木・山口・韓)で分担									
	4242	証券市場論		後	後	木	4	2	64	0.50										
	4131	卒業論文		通	後	土	4	4	15	0.50	2名提出									

17 専任教員個別表〔2019年度〕経済学部

(表V-17-3)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号				
	毎週授業コマ数																			
	履修 コード	科目名	クラス	開講 期	担当 期	曜日	講 時	単 位	履修 者数	コマ数	備考	合計コマ数								
まつもと こういちろう 松本 康一郎(男) 昭和29年3月16日 65歳	4201	簿記原理Ⅱ		前	前	木	2	2	44	0.50		6.24	教授	平成19年4月1日 平成8年10月1日	昭和57年3月 神戸商科大学大学院 経営学研究科 経営学専攻 博士課程 単位取得後退学 経営学修士〔昭和54年3月〕 神戸商科大学					
	4082	専門演習Ⅰ		通	前	木	4	4	6	0.50										
	5573	演習Ⅱ	M	通	前	木	4	4	0	—	4082でカウント									
	4102	専門演習Ⅱ		通	前	木	5	4	2	0.50										
	5591	演習Ⅲ	K	通	前	木	5	4	1	—	4102でカウント									
	4066	基礎演習Ⅱ	A	前	前	金	2	2	5	0.50										
	4215	国際会計Ⅰ		前	前	金	3	2	10	0.50										
	4006	会計入門	B	前	前	金	4	2	95	0.50										
	4053	基礎演習Ⅰ	C	後	後	水	2	2	5	—	4073でカウント									
	4073	基礎演習	C	後	後	水	2	2	31	0.17	3人(鎌田・松本・西脇)で分担									
	8761	国際交流特別講義A		後	後	水	4	2	1	0.07	2回担当									
	4082	専門演習Ⅰ		通	後	木	4	4	6	0.50										
	5573	演習Ⅱ	M	通	後	木	4	4	0	—	4082でカウント									
	4102	専門演習Ⅱ		通	後	木	5	4	2	0.50										
	5591	演習Ⅲ	K	通	後	木	5	4	1	—	4102でカウント									
	4204	簿記原理Ⅲ		後	後	木	2	2	11	0.50										
	4180	財務会計Ⅱ		後	後	金	2	2	3	0.50										
	4207	会计学Ⅱ		後	後	金	2	2	31	—	4180でカウント									
	4216	国際会計Ⅱ		後	後	金	3	2	6	0.50										
	4016	簿記原理Ⅰ	B	後	後	金	4	2	68	0.50										
	やまが てつお 山我 哲雄(男) 昭和26年5月5日 67歳	8141	世界の近現代史Ⅰ		前	前	月	5	2	14	0.50						4.00	教授	平成2年4月1日 平成7年4月1日	昭和60年3月 早稲田大学大学院 文学研究科 哲学専攻 博士後期課程 単位取得後退学 文学修士〔昭和55年3月〕 早稲田大学
		8558	現代世界の歴史〔西洋〕		前	前	月	5	2	45	—					8141でカウント				
		8211	ヨーロッパの文化Ⅰ	A	前	前	火	3	2	74	—					8218でカウント				
		8218	ヨーロッパの文化	A	前	前	火	3	2	46	0.50									
8277		イスラム教の思想と文化		前	前	火	5	2	198	0.50										
8244		キリスト教の歴史と文化Ⅰ	D	前	前	水	4	2	55	—	8290でカウント									
8290		キリスト教の歴史Ⅰ	D	前	前	水	4	2	72	0.50										
9214		キリスト教文化論特殊研究		前	前	土	5	2	0	—	大学院									
8255		比較宗教学		後	後	月	5	2	194	0.50										
8212		ヨーロッパの文化Ⅰ	B	後	後	火	3	2	89	—	8219でカウント									
8219		ヨーロッパの文化	B	後	後	火	3	2	72	0.50										
8261		現代と宗教		後	後	火	5	2	193	0.50										
8248		キリスト教の歴史と文化Ⅱ	D	後	後	水	4	2	36	—	8300でカウント									
8300		キリスト教の歴史Ⅱ	D	後	後	水	4	2	85	0.50										
8603		日本語表現Ⅰ	英C	前	前	月	4	2	21	0.50										
8283		人文科学基礎演習Ⅰ		前	前	火	3	2	0	—	8581でカウント									
みやざわ てるえ 宮澤 照恵(女) 昭和28年11月26日 65歳		8581	教養演習Ⅰ	A	前	前	火	3	2	4	0.50		4.50	教授	平成2年4月1日 平成14年4月1日	平成2年3月 北海道大学大学院 文学研究科 国文学専攻 博士後期課程 単位取得後退学 文学修士〔昭和58年3月〕 東京大学				
	8628	日本語表現Ⅰ	法A	前	前	火	5	2	21	0.50										
	8621	日本語表現Ⅰ	情A	前	前	木	4	2	19	0.50										
	8653	日本語表現Ⅱ	英C	後	後	月	4	2	23	0.50										
	8284	人文科学基礎演習Ⅱ		後	後	火	3	2	3	0.50										
	8591	教養演習Ⅱ	A	後	後	火	3	2	4	—	8284でカウント									
	8678	日本語表現Ⅱ	法A	後	後	火	5	2	13	0.50										
	1654	日本文化特講B		後	後	水	4	2	7	0.50										
	8671	日本語表現Ⅱ	情A	後	後	木	4	2	23	0.50										
	なかや あきら 中屋 晃(男) 昭和27年5月5日 66歳	534	英語Ⅰ		社	前	月	2	2	25	0.50						5.00	教授	平成3年4月1日 平成14年4月1日	昭和55年12月 米国アリゾナ大学大学院 英語教育科 修士課程 修了 M.A.(文学修士)
514		英語Ⅰ	経	前	前	月	4	2	24	0.50										
515		英語Ⅰ	経	前	前	木	4	2	19	0.50										
524		英語Ⅰ	経	前	前	金	2	2	25	0.50										
608		英語Ⅲ	経	前	前	金	4	2	34	0.50										
583		英語Ⅱ	社	後	後	月	2	2	26	0.50										
563		英語Ⅱ	経	後	後	月	4	2	23	0.50										
566		英語Ⅱ	経	後	後	木	4	2	23	0.50										
571		英語Ⅱ	経	後	後	金	2	2	24	0.50										
659		英語Ⅳ	経	後	後	金	4	2	33	0.50										

17 専任教員個別表〔2019年度〕経済学部

(表V-17-3)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号				
	毎週授業コマ数																			
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コ マ 数	備 考	合計コマ数								
やぶき てつお 矢吹 哲夫(男) 昭和28年1月23日 66歳	8145	統計学Ⅰ	A	前	前	火	1	2	42	—	8149でカウント	6.00	教授	平成30年4月1日	博士(理学)〔平成12年9月〕					
	8149	統計学	A	前	前	火	1	2	24	0.50										
	8115	環境と人間Ⅰ	A	前	前	火	3	2	358	0.50										
	8309	自然・数理科学基礎演習Ⅰ		前	前	水	2	2	2	0.50										
	8582	教養演習Ⅰ	B	前	前	水	2	2	8	—	8309でカウント									
	8307	数学	A	前	前	水	4	2	0	—	8314でカウント									
	8314	数学Ⅰ	A	前	前	水	4	2	70	0.50										
	8111	生命の科学Ⅰ	A	前	前	木	3	2	208	0.50										
	8117	環境と人間Ⅰ	B	前	前	木	5	2	114	0.50										
	7924	環境の科学		後	後	火	3	2	46	0.50										
	8308	数学	B	後	後	火	5	2	20	0.50										
	8315	数学Ⅰ	B	後	後	火	5	2	40	—	8308でカウント									
	8112	生命の科学Ⅰ	B	後	後	水	2	2	188	0.50										
	8146	統計学Ⅰ	B	後	後	水	4	2	51	—	8150でカウント									
	8150	統計学	B	後	後	水	4	2	21	0.50										
	8310	自然・数理科学基礎演習Ⅱ		後	後	木	3	2	5	0.50										
	8592	教養演習Ⅱ	B	後	後	木	3	2	6	—	8310でカウント									
	8317	数学Ⅱ		後	後	木	5	2	33	0.50										
	が せいひん 賀 静彬(女) 昭和50年9月24日 43歳	852	中国語Ⅰ	文部	前	前	月	1	2	21	0.50						5.00	教授	平成30年4月1日	平成5年1月 大連外国語学院 日本語学大学院
		8811	中国事情〔国際〕		通年	前	水	1	4	1	—					8772でカウント				
8772		国際交流特別講義K		前	前	水	1	2	3	0.50										
872		中国語Ⅲ	文部	前	前	木	4	2	28	0.50										
856		中国語Ⅰ	経部	前	前	金	2	2	23	0.50										
875		中国語Ⅲ	経部	前	前	金	4	2	23	0.50										
862		中国語Ⅱ	文部	後	後	月	1	2	23	0.50										
8811		中国事情〔国際〕		通年	後	水	1	4	1	0.50										
8770		国際交流特別講義I		後	後	水	1	2	0	—	8811でカウント									
882		中国語Ⅳ	文部	後	後	木	4	2	28	0.50										
866		中国語Ⅱ	経部	後	後	金	2	2	24	0.50										
885		中国語Ⅳ	経部	後	後	金	4	2	25	0.50										

ふりがな 氏名(性別)	授業科目											職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号					
	毎週授業コマ数																			
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コ マ 数	備 考					合 計 コ マ 数				
うるりけ ねんしゅていーる ウルリケ・ネンシュティール(女) 昭和36年3月4日 58歳	6103	ジェンダー論		前	前	月	4	2	129	0.50		5.34	教授	平成8年4月1日 平成17年4月1日	Ph. D. (哲学博士)					
	6251	海外の福祉制度		前	前	月	5	2	60	0.07	2回担当									
	9034	社会的弱者研究		前	前	月	7	2	1	0.50	大学院									
	6253	国際比較福祉論		前	前	木	2	2	59	0.50	コーディネーター									
	6211	専門演習Ⅰ		前	前	木	3	2	7	0.50										
	6101	福祉計画概説		前	前	木	5	2	94	0.27	8回ゼミ形式、学科専任6人で担当									
	6231	専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	12	0.50										
	6171	卒業論文		通年	前	金	5	6	2	0.50	下段でカウント									
	9472	社会福祉学特殊研究		通年	前	土	5	4	0	—	大学院									
	9482	社会福祉学特殊演習Ⅰ		通年	前	土	5	4	0	—	大学院									
	9064	論文指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院									
	1984	ジャパニーズ・カルチャー	B	後	後	水	2	3	3	—	8782でカウント									
	8782	比較文化〔国際〕	B	後	後	水	2	2	4	0.50										
	8878	比較文化B〔国際〕		後	後	水	2	3	2	—	8782でカウント									
	6221	専門演習Ⅱ		後	後	木	3	2	7	0.50										
	6241	専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	13	0.50										
	6171	卒業論文		通年	後	金	5	6	2	0.50	1名提出									
	9472	社会福祉学特殊研究		通年	後	土	5	4	0	—	大学院									
	9482	社会福祉学特殊演習Ⅰ		通年	後	土	5	4	0	—	大学院									
	9044	論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院									
	9084	修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院									
	あべ まさひと 安部 雅仁(男) 昭和36年9月19日 57歳	6251	海外の福祉制度		前	前	月	5	2	60	0.07					2回担当	5.17	教授	平成16年4月1日 平成20年4月1日	平成7年3月 東北学院大学大学院 経済学研究科 経済学専攻 博士後期課程 修了 博士(経済学) 東北学院大学
		6110	福祉財政論		前	前	水	2	2	66	0.50									
6253		国際比較福祉論		前	前	木	2	2	59	0.10	3回担当									
6212		専門演習Ⅰ		前	前	木	3	2	13	0.50										
6101		福祉計画概説		前	前	木	5	2	94	0.27	8回ゼミ形式、学科専任6人で担当									
6232		専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	15	0.50										
6172		卒業論文		通年	前	金	5	6	11	0.50	下段でカウント									
9067		論文指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院									
6590		福祉行財政と福祉計画		後	後	月	1	2	198	0.23	7回担当									
6591		社会保障論Ⅰ	A	後	後	月	5	2	115	0.50										
6202		医療経済学		後	後	木	2	2	46	0.50										
6222		専門演習Ⅱ		後	後	木	3	2	13	0.50										
6242		専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	15	0.50										
6172		卒業論文		通年	後	金	5	6	11	0.50	4名提出									
9031		社会保障財政研究		後	後	土	5	2	0	—	大学院									
9047		論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院									
9087		修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院									
おかだ なおと 岡田 直人(男) 昭和43年10月5日 50歳	6032	地域福祉論	A	前	前	火	3	2	94	0.50		6.50	教授	平成20年4月1日 平成25年4月1日	キャリアデザ インセンタ ー長 平成8年3月 大阪市立大学大学院 生活科学研究科 人間福祉学専攻 前期博士課程 修了 修士(学術) 大阪市立大学					
	6113	ケアマネジメント論		前	前	水	1	2	75	0.50										
	6213	専門演習Ⅰ		前	前	木	3	2	12	0.50										
	6531	相談援助演習Ⅰ	A	通年	前	木	5	3	16	0.50										
	6541	相談援助演習Ⅱ	A	通年	前	木	6	2	0	—										
	6233	専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	16	0.50										
	6173	卒業論文		通年	前	金	5	6	16	0.50	下段でカウント									
	9011	地域福祉研究		前	前	土	5	2	0	—	大学院									
	9070	論文指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院									
	6024	コミュニティワーク論	A	後	後	火	3	2	114	0.50										
	6223	専門演習Ⅱ		後	後	木	3	2	12	0.50										
	6531	相談援助演習Ⅰ	A	通年	後	木	4	3	16	0.50										
	6531	相談援助演習Ⅰ	A	通年	後	木	5	3	16	0.50										
	6541	相談援助演習Ⅱ	A	通年	後	木	6	2	0	—										
	6243	専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	16	0.50										
	6173	卒業論文		通年	後	金	5	6	16	0.50	12名提出									
	9050	論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院									
	9090	修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院									
	6074	海外福祉事情		後	後	冬集	1	2	0	—										
	6252	海外福祉計画実習		後	後	冬集	1	2	9	0.50										

17 専任教員個別表〔2019年度〕社会福祉学部

(表V-17-4)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号			
	毎週授業コマ数																		
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コ マ 数	備 考	合 計 コ マ 数							
さはし かつひこ 佐橋 克彦(男) 昭和49年3月8日 45歳	6251	海外の福祉制度		前	前	月	5	2	60	0.07	2回担当	6.51	教授	福祉計画 学科長	平成15年3月 北星学園大学大学院 社会福祉学専攻 博士後期課程 単位取得後退学				
	6253	国際比較福祉論		前	前	木	2	2	59	0.10	3回担当								
	6214	専門演習Ⅰ		前	前	木	3	2	11	0.50									
	9098	論文指導		通	年	前	木	4	6	1	0.50					大学院、下段でカウント			
	6101	福祉計画概説		前	前	木	5	2	94	0.27	8回ゼミ形式、学科専任6人で担当								
	6001	社会福祉概説	計心	通	年	前	金	1	4	0	—					6004でカウント			
	6004	社会福祉概説		通	年	前	金	1	4	194	0.50								
	9001	社会福祉原理研究		前	前	金	2	2	1	0.50	大学院								
	6234	専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	14	0.50									
	6174	卒業論文		通	年	前	金	5	6	3	0.50					下段でカウント			
	9477	社会福祉学特殊研究		通	年	前	土	5	4	0	—					大学院			
	9487	社会福祉学特殊演習Ⅰ		通	年	前	土	5	4	0	—					大学院			
	9071	論文指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院								
	6590	福祉行財政と福祉計画		後	後	月	1	2	198	0.07	2回担当								
	6122	福祉計画論Ⅱ		後	後	月	4	2	104	0.50									
	6224	専門演習Ⅱ		後	後	木	3	2	10	0.50									
	9098	論文指導		通	年	後	木	4	6	1	0.50					大学院 1名提出			
	6001	社会福祉概説	計心	通	年	後	金	1	4	0	—					6004でカウント			
	6004	社会福祉概説		通	年	後	金	1	4	194	0.50								
	6244	専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	14	0.50									
	6174	卒業論文		通	年	後	金	5	6	3	0.50					1名提出			
	9477	社会福祉学特殊研究		通	年	後	土	5	4	0	—					大学院			
	9487	社会福祉学特殊演習Ⅰ		通	年	後	土	5	4	0	—					大学院			
	9051	論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院								
	9091	修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院								
	いとう しんいちろう 伊藤 新一郎(男) 昭和54年10月19日 39歳	6121	福祉計画論Ⅰ		前	前	月	4	2	117	0.50						6.32	教授	平成19年3月 北星学園大学大学院 社会福祉学専攻 博士後期課程 単位取得後退学
6118		福祉国家論		前	前	火	4	2	99	0.50									
6253		国際比較福祉論		前	前	木	2	2	59	0.10	3回担当								
6215		専門演習Ⅰ		前	前	木	3	2	13	0.50									
6101		福祉計画概説		前	前	木	5	2	94	0.27	8回ゼミ形式、学科専任6人で担当								
6235		専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	16	0.50									
6175		卒業論文		通	年	前	金	5	6	16	0.50	下段でカウント							
9073		論文指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院								
6590		福祉行財政と福祉計画		後	後	月	1	2	198	0.20	6回担当								
6592		社会保障論Ⅰ	B	後	後	月	4	2	93	0.50									
6551		相談援助実習指導Ⅰ	A	後	後	火	2	2	11	0.50									
6225		専門演習Ⅱ		後	後	木	3	2	13	0.50									
9003		福祉政策研究		後	後	木	4	2	1	0.50	大学院								
6245		専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	16	0.50									
6175		卒業論文		通	年	後	金	5	6	16	0.50	16名提出							
6530		相談援助入門実習		後	後	土	5	1	95	0.25	2人(西田・伊藤)で分担								
9053		論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院								
9093		修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院								
なかた ともお 中田 知生(男) 昭和38年8月30日 55歳		6150	社会福祉調査実習		通	年	前	月	3	6	2	0.50	5.50	准教授	平成6年4月1日	平成3年3月 北海道大学大学院 文学研究科 行動科学専攻 博士後期課程 中途退学			
		6150	社会福祉調査実習		通	年	前	月	4	6	2	0.50							
		6026	社会福祉調査論	福祉士	前	前	月	5	2	167	0.50								
		6108	福祉社会学		前	前	木	1	2	47	0.50								
		6101	福祉計画概説		前	前	木	5	2	94	0.50	コーディネーター、8回ゼミ形式、学科専任6人で担当							
		6107	社会調査法		前	前	金	3	2	20	0.50								
		9074	論文指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院							
		6150	社会福祉調査実習		通	年	後	月	3	6	2	0.50							
	6150	社会福祉調査実習		通	年	後	月	4	6	2	0.50								
	6106	社会調査入門		後	後	木	4	2	56	0.50									
	9022	量的調査研究		後	後	木	5	2	1	0.50	大学院								
	6114	社会福祉調査方法論		後	後	金	4	2	18	0.50									
	9054	論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院								
	9094	修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院								

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号						
	毎週授業コマ数																					
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計 コマ数										
まつおか よしのぶ 松岡 是伸(男) 昭和55年11月14日 38歳	6251	海外の福祉制度		前	前	月	5	2	60	0.50	コーディネーター、5回担当	7.56	准教授	平成29年4月1日	平成31年4月1日	平成26年3月 日本社会事業大学 大学院 社会福祉学研究所 博士課程 修了 社会福祉学博士〔平成26年3月〕 日本社会事業大学 大学院						
	6593	社会保障論Ⅱ	A	前	前	火	1	2	106	0.50												
	6030	公的扶助論	B	前	前	火	4	2	69	0.50												
	6561	相談援助実習指導Ⅱ	A	前	前	火	5	2	10	0.50												
	6216	専門演習Ⅰ		前	前	木	3	2	13	0.50												
	6181	コミュニティワーク実習		通年	前	木	4	6	21	0.13	3名(杉岡・松岡・島山)で担当、8回担当											
	6181	コミュニティワーク実習		通年	前	木	5	6	21	—	上段でカウント											
	6029	公的扶助論	A	前	前	金	1	2	93	0.50												
	6236	専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	15	0.50												
	6176	卒業論文		通年	前	金	5	6	13	0.50	下段でカウント											
	6581	相談援助実習		通年	前	土	5	6	71	0.25	2人(畑・松岡)で分担											
	6571	相談援助実習指導Ⅲ	A	後	後	火	5	2	10	0.50												
	9012	公的扶助研究		後	後	火	6	2	1	0.50	大学院											
	6226	専門演習Ⅱ		後	後	木	3	2	14	0.50												
	6181	コミュニティワーク実習		通年	後	木	4	6	21	0.43	3名(杉岡・松岡・島山)で担当、26回											
	6181	コミュニティワーク実習		通年	後	木	5	6	21	—	上段でカウント											
	6246	専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	16	0.50												
	6176	卒業論文		通年	後	金	5	6	13	0.50	10名提出											
	6581	相談援助実習		通年	後	土	5	6	71	0.25	2人(畑・松岡)で分担											
	はやし けんたろう 林 健太郎(男) 昭和63年3月17日 31歳	6139	労働法		前	前	火	3	2	97	0.50							6.77	講師	平成29年4月1日	平成29年4月1日	平成25年3月 千葉大学 人文社会科学研究所 公共研究専攻 修士課程 修了 修士(法学)(社会科学) 千葉大学 平成29年3月 早稲田大学 法学研究科 民法法学専攻 博士課程 中途退学
6146		労働法Ⅰ		前	前	火	3	2	137	—	6139でカウント											
3413		法学概論		前	前	水	2	2	9	0.50												
6147		労働法Ⅱ		前	前	木	1	2	115	—	6595でカウント											
6595		労災と就労支援		前	前	木	1	2	109	0.50												
6217		専門演習Ⅰ		前	前	木	3	2	11	0.50												
6101		福祉計画概説		前	前	木	5	2	94	0.27	8回ゼミ形式、学科専任6人で担当											
9032		社会保障法研究		前	前	木	7	2	1	0.50	大学院											
6237		専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	18	0.50												
6177		卒業論文		通年	前	金	5	6	8	0.50	下段でカウント											
6552		相談援助実習指導Ⅰ	B	後	後	火	2	2	9	0.50												
6596		権利擁護と成年後見制度		後	後	水	1	2	183	0.50												
6511		社会保障法		後	後	木	2	2	92	0.50												
6227		専門演習Ⅱ		後	後	木	3	2	11	0.50												
6247		専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	18	0.50												
6177		卒業論文		通年	後	金	5	6	8	0.50	5名提出											
よこやま ゆずる 横山 穰(男) 昭和33年3月10日 61歳		6651	福祉臨床基礎演習		前	前	火	3	2	9	0.50		5.00	教授	平成8年4月1日	平成15年4月1日	平成元年7月 米国ワシントン大学社会福祉大学院 博士課程 修了 Ph. D. (社会福祉学博士)					
	9035	偏見・差別問題研究		前	前	木	4	2	1	0.50	大学院											
	6535	相談援助演習Ⅰ	E	通年	前	木	5	3	17	0.50												
	6734	差別論		前	前	金	2	2	15	0.50												
	6661	福祉臨床専門演習		通年	前	金	3	4	5	0.50												
	6785	卒業論文		通年	前	金	5	6	0	—												
	9062	論文指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院											
	6067	ソーシャルワーク方法論Ⅰ		前	前	遠隔	1	2	209	0.50												
	6535	相談援助演習Ⅰ	E	通年	後	木	4	3	17	0.50												
	6535	相談援助演習Ⅰ	E	通年	後	木	5	3	17	0.50												
	6661	福祉臨床専門演習		通年	後	金	3	4	5	0.50												
	6785	卒業論文		通年	後	金	5	6	0	—												
	9042	論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院											
	9082	修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院											
	6068	ソーシャルワーク方法論Ⅱ		後	後	遠隔	1	2	254	0.50												
	いけだ まさこ 池田 雅子(女) 昭和35年2月26日 59歳	6632	療法論Ⅱ		前	前	月	2	2	3	0.03	1回担当						5.20	教授	平成2年4月1日	平成17年4月1日	平成2年3月 東洋大学大学院 社会学研究科 社会福祉学専攻 博士後期課程 単位取得後退学 社会学修士〔昭和62年3月〕 東洋大学
		6782	福祉臨床応用実習		通年	前	月	3	6	0	—											
6039		地域福祉論	B	前	前	月	4	2	84	0.50												
6652		福祉臨床基礎演習		前	前	火	3	2	18	0.50												
6564		相談援助実習指導Ⅱ	D	前	前	火	5	2	11	0.50												
6621		成人期発達論		前	前	木	4	2	91	0.17	5回担当(西田、池田、大友)											
6624		地域ソーシャルワーク論		前	前	木	5	2	79	0.50												
6662		福祉臨床専門演習		通年	前	金	3	4	13	0.50												
6786		卒業論文		通年	前	金	5	6	11	0.50	下段でカウント											
9024		ソーシャルワーク実践研究		前	前	土	5	2	0	—	大学院											
9063		論文指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院											
6782		福祉臨床応用実習		通年	後	月	3	6	0	—												
6574		相談援助実習指導Ⅲ	D	後	後	火	5	2	11	0.50												
6025		コミュニティワーク論	B	後	後	木	2	2	89	0.50												
6662		福祉臨床専門演習		通年	後	金	3	4	13	0.50												
6786		卒業論文		通年	後	金	5	6	11	0.50	10名提出											
9043		論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院											
9083	修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院												

ふりがな 氏名(性別)	授業科目											職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号						
	毎週授業コマ数																				
	履修 コード	科目名	クラス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考					合計 コマ数					
たなか こういちろう 田中 耕一郎(男) 昭和36年10月19日 57歳	9473	社会福祉学特殊研究		通年	前	木	6	4	1	0.50	大学院	5.14	教授	平成15年4月1日	社会福祉学 学部長	平成14年11月 大阪府立大学大学院 社会学研究科 社会福祉学専攻 博士後期課程 修了					
	9483	社会福祉学特殊演習Ⅰ		通年	前	木	7	4	2	0.50	大学院										
	6663	福祉臨床専門演習		通年	前	金	3	4	11	0.50											
	6787	卒業論文		通年	前	金	5	6	13	0.50	下段でカウント										
	9066	論文指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院										
	6034	障害者福祉論		前	前	遠隔	1	2	178	0.50											
	6709	倫理学		後	後	火	2	2	107	0.14	1回3人(田中、中村、永井)で分担、4回担当										
	6742	障害行動論Ⅱ		後	後	火	4	2	16	0.50											
	9473	社会福祉学特殊研究		通年	後	木	6	4	1	0.50	大学院										
	9483	社会福祉学特殊演習Ⅰ		通年	後	木	7	4	2	0.50	大学院										
	6663	福祉臨床専門演習		通年	後	金	3	4	11	0.50											
	6787	卒業論文		通年	後	金	5	6	13	0.50	13名提出										
	9006	障害児・者福祉研究		後	後	土	5	2	0	—	大学院										
	9046	論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院										
9086	修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院											
くりやま たかし 栗山 隆(男) 昭和36年4月19日 57歳	6653	福祉臨床基礎演習		前	前	火	3	2	18	0.50		6.50	教授	平成18年4月1日	東洋大学大学院 社会学研究科 社会福祉学専攻 博士前期課程 修了						
	6565	相談援助実習指導Ⅱ	E	前	前	火	5	2	10	0.50											
	6701	福祉臨床入門		前	前	木	3	2	81	0.50											
	6547	相談援助演習Ⅱ	G	通年	前	木	6	2	12	0.50											
	6664	福祉臨床専門演習		通年	前	金	3	4	14	0.50											
	6788	卒業論文		通年	前	金	5	6	14	0.50	下段でカウント										
	6779	卒業論文	指導	前	前	金	5	6	0	—	6788でカウント										
	9068	論文指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院										
	6527	児童・家庭福祉論		前	前	遠隔	1	2	189	0.50											
	9005	子ども家庭福祉研究		後	後	火	4	2	1	0.50	大学院										
	6575	相談援助実習指導Ⅲ	E	後	後	火	5	2	10	0.50											
	6547	相談援助演習Ⅱ	G	通年	後	木	6	2	12	0.50											
	6664	福祉臨床専門演習		通年	後	金	3	4	14	0.50											
	6788	卒業論文		通年	後	金	5	6	14	0.50	11名提出										
	9048	論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院										
	9088	修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院										
	6022	ソーシャルワーク論Ⅰ		後	後	遠隔	1	2	201	0.50											
	なかむら かずひこ 中村 和彦(男) 昭和40年2月3日 54歳	6606	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ		前	前	月	3	2	21	0.17					5回担当	8.71	教授	平成18年4月1日	学習センター サポート長	平成16年3月 龍谷大学大学院 社会学研究科 社会福祉学専攻 博士後期課程 単位取得後退学
		9008	精神保健ソーシャルワーク研究		前	前	月	6	2	1	0.50					大学院					
		9484	社会福祉学特殊演習Ⅰ		通年	前	月	7	4	1	0.50					大学院					
6617		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		通年	前	木	2	4	8	0.50	2人(中村・永井)で常時担当										
6598		ソーシャルワーク実践理論Ⅰ		前	前	金	1	2	101	0.50											
6665		福祉臨床専門演習		通年	前	金	3	4	13	0.50											
6789		卒業論文		通年	前	金	5	6	12	0.50	下段でカウント										
6618		精神保健福祉援助実習		通年	前	土	4	7	8	0.25	2人(中村・永井)で分担										
9474		社会福祉学特殊研究		通年	前	土	5	4	0	—	大学院										
9069		論文指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院										
6605		精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	専門	後	後	月	2	2	27	0.17	5回担当										
6616		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	A	後	後	月	3	2	9	0.47	14回担当										
6614		精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ	A	後	後	月	4	1	9	0.47	14回担当										
9484		社会福祉学特殊演習Ⅰ		通年	後	月	7	4	1	0.50	大学院										
6709		倫理学		後	後	火	2	2	107	0.18	1回3人(田中、中村、永井)で分担、5回担当										
6742		障害行動論Ⅱ		後	後	火	4	2	16	0.25	1回を2人で分担、7回担当										
6617		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		通年	後	木	2	4	8	0.50	2人(中村・永井)で常時担当										
6615		精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ		後	後	木	3	1	8	0.50											
6599		ソーシャルワーク実践理論Ⅱ		後	後	金	2	2	104	0.50											
6665		福祉臨床専門演習		通年	後	金	3	4	13	0.50											
6789		卒業論文		通年	後	金	5	6	12	0.50	12名提出										
6796		卒業論文	指導	後	後	金	5	6	1	—	6789でカウント										
9089		修士論文		後	後	金	7	4	1	0.50	大学院 1名提出										
6618		精神保健福祉援助実習		通年	後	土	4	7	8	0.25	2人(中村・永井)で分担										
9474		社会福祉学特殊研究		通年	後	土	5	4	0	—	大学院										
9049		論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院										

17 専任教員個別表〔2019年度〕社会福祉学部

(表V-17-4)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号					
	毎週授業コマ数																				
	履修 コード	科目名	クラス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計 コマ数									
にしだ みつきよ 西田 充潔(男) 昭和45年3月13日 49歳	6417	知的障害教育方法論Ⅰ		前	前	月	2	2	19	0.50		7.19	教授	平成12年4月1日	広報委員長	平成12年3月 東北大学大学院 教育学研究科 教育心理学専攻 博士後期課程 単位取得後退学					
	6623	子ども発達論		前	前	火	4	2	8	—	6641でカウント										
	6641	こどもの発達と社会		前	前	火	4	2	81	0.50											
	6566	相談援助実習指導Ⅱ	F	前	前	火	5	2	9	0.50											
	6798	スクールソーシャルワーク実習指導		通	前	木	2	1	6	0.27	8回を2人(西田・大友)で常時担当										
	6768	福祉臨床研究法BⅠ		前	前	木	3	2	104	0.50											
	6621	成人期発達論		前	前	木	4	2	91	0.17	5回担当(西田、池田、大友)										
	6666	福祉臨床専門演習		通	前	金	3	4	5	0.50											
	6791	卒業論文		通	前	金	5	6	5	0.50	下段でカウント										
	6799	スクールソーシャルワーク実習		通	前	土	2	2	6	0.50	2人(西田・大友)で常時担当										
	6554	相談援助実習指導Ⅰ	D	後	後	火	2	2	14	0.50											
	6576	相談援助実習指導Ⅲ	F	後	後	火	5	2	8	0.50											
	6798	スクールソーシャルワーク実習指導		通	後	木	2	1	6	—	上段でカウント										
	6769	福祉臨床研究法BⅡ		後	後	木	3	2	11	0.50											
	6666	福祉臨床専門演習		通	後	金	3	4	5	0.50											
	6791	卒業論文		通	後	金	5	6	5	0.50	5名提出										
	6799	スクールソーシャルワーク実習		通	後	土	2	2	6	0.50	2人(西田・大友)で常時担当										
6530	相談援助入門実習		後	後	土	5	1	95	0.25	2人(西田・伊藤)で分担											
ながい じゅんこ 永井 順子(女) 昭和47年7月4日 46歳	6741	障害行動論Ⅰ		前	前	水	2	2	6	0.07	2回担当	7.25	教授	平成26年4月1日	福祉臨床 学科長	平成20年3月 早稲田大学大学院 社会科学部 政策科学論専攻 博士後期課程 単位取得後退学					
	6705	福祉臨床基礎実習		通	前	木	1	2	1	—	6714でカウント										
	6714	福祉臨床基礎実習指導Ⅰ	B	前	前	木	1	2	20	0.50											
	6617	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		通	前	木	2	4	8	0.50	2人(中村・永井)で常時担当										
	6667	福祉臨床専門演習		通	前	金	3	4	13	0.50											
	6792	卒業論文		通	前	金	5	6	13	0.50	下段でカウント										
	6618	精神保健福祉援助実習		通	前	土	4	7	8	0.25	2人(中村・永井)で分担										
	9037	精神障害学研究		前	前	土	5	2	0	—	大学院										
	9072	論文指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院										
	6637	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	B	後	後	月	3	2	8	0.50											
	6635	精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ	B	後	後	月	4	1	8	0.50											
	6709	倫理学		後	後	火	2	2	107	0.18	1回3人(田中、中村、永井)で分担、5回担当										
	6081	精神保健福祉論		後	後	火	3	2	0	—	6611でカウント										
	6611	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ		後	後	火	3	2	33	0.50											
	6705	福祉臨床基礎実習		通	後	木	1	2	1	—	6718でカウント										
	6718	福祉臨床基礎実習指導Ⅱ	B	後	後	木	1	2	20	0.50											
	6617	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		通	後	木	2	4	8	0.50	2人(中村・永井)で常時担当										
	6615	精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ		後	後	木	3	1	8	0.50											
	6083	精神保健福祉実践論		後	後	木	5	2	0	—	6613でカウント										
	6613	精神障害者の生活支援システム		後	後	木	5	2	9	0.50											
	6667	福祉臨床専門演習		通	後	金	3	4	13	0.50											
	6792	卒業論文		通	後	金	5	6	13	0.50	11人提出										
	6618	精神保健福祉援助実習		通	後	土	4	7	8	0.25	2人(中村・永井)で分担										
	9052	論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院										
	9092	修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院										
	はた りょうすけ 畑 亮輔(男) 昭和58年10月12日 35歳	6525	高齢者福祉論		前	前	月	1	2	158	0.50							7.00	准教授	平成24年4月1日	平成23年3月 大阪市立大学大学院 生活科学研究科 生活科学専攻 博士後期課程 単位取得後退学
		6711	福祉臨床研究法AⅠ		前	前	月	4	2	100	0.50										
6597		社会福祉管理運営論		前	前	火	4	2	106	0.50											
6563		相談援助実習指導Ⅱ	C	前	前	火	5	2	16	0.50											
6713		福祉臨床基礎実習指導Ⅰ	A	前	前	木	1	2	21	0.50											
6744		施設ソーシャルワーク論		前	前	木	4	2	100	0.50											
6668		福祉臨床専門演習		通	前	金	3	4	15	0.50											
6793		卒業論文		通	前	金	5	6	10	0.50	下段でカウント										
6581		相談援助実習		通	前	土	5	6	71	0.25	2人(畑・松岡)で分担										
9075		論文指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院										
6573		相談援助実習指導Ⅲ	C	後	後	火	5	2	15	0.50											
6717		福祉臨床基礎実習指導Ⅱ	A	後	後	木	1	2	21	0.50											
6622		高齢期発達論		後	後	金	2	2	100	—	6642でカウント										
6642		成人・高齢者の生活と社会		後	後	金	2	2	82	0.50											
6668		福祉臨床専門演習		通	後	金	3	4	15	0.50											
6793		卒業論文		通	後	金	5	6	10	0.50	10名提出										
6581		相談援助実習		通	後	土	5	6	71	0.25	2人(畑・松岡)で分担										
9009		高齢者・高齢社会福祉研究		後	後	土	5	2	0	—	大学院										
9055		論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院										
9095		修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院										

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号						
	毎週授業コマ数																					
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計 コマ数										
おおとも しゅうじ 大友 秀治(男) 昭和48年8月3日 45歳	6747	スクールソーシャルワーク論		前	前	火	2	2	8	0.50		7.21	准教授	平成28年4月1日		平成31年3月 大阪府立大学大学院 人間社会学研究科博士後期課程 社会福祉学専攻 博士課程 修了						
	6654	福祉臨床基礎演習		前	前	火	3	2	18	0.50												
	6715	福祉臨床基礎実習指導Ⅰ	C	前	前	木	1	2	20	0.50												
	6797	スクールソーシャルワーク演習		前	前	木	2	1	6	0.27	8回担当、指導と別日程											
	6798	スクールソーシャルワーク実習指導		通	前	木	2	1	6	0.27	8回を2人(西田・大友)で常時担当											
	6621	成人発達論		前	前	木	4	2	91	0.17	5回担当(西田、池田、大友)											
	6669	福祉臨床専門演習		通	前	金	3	4	10	0.50												
	6794	卒業論文		通	前	金	5	6	12	0.50	下段でカウント											
	6799	スクールソーシャルワーク実習		通	前	土	2	2	6	0.50	2人(西田・大友)で常時担当											
	6023	ソーシャルワーク論Ⅱ		前	前	遠隔	1	2	186	0.50												
	6612	精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ		後	後	火	1	2	20	0.50												
	6556	相談援助実習指導Ⅰ	F	後	後	火	2	2	14	0.50												
	6719	福祉臨床基礎実習指導Ⅱ	C	後	後	木	1	2	20	0.50												
	6798	スクールソーシャルワーク実習指導		通	後	木	2	1	6	—	上段でカウント											
	6669	福祉臨床専門演習		通	後	金	3	4	10	0.50												
	6794	卒業論文		通	後	金	5	6	12	0.50	12名提出											
	6799	スクールソーシャルワーク実習		通	後	土	2	2	6	0.50	2人(西田・大友)で常時担当											
	9013	スクールソーシャルワーク研究		後	後	土	5	2	0	—	大学院											
	にしやま かおる 西山 薫(女) 昭和36年12月27日 57歳	9116	心理実践実習Ⅰ		通	前	月	5	3	3	0.50						大学院 別途手当支給のためカウントしない	12.00	教授	平成24年4月1日	福祉心理 学科長	平成14年3月 北海道医療大学大学院 看護福祉学専攻 臨床福祉・心理学専攻 博士課程 単位取得修了
6817		臨床心理検査演習Ⅰ		前	前	水	2	2	70	0.50	2人(西山・佐藤)で常時担当											
6826		専門演習Ⅰ		前	前	木	2	2	11	0.50												
9125		臨床心理基礎実習		通	前	木	3	2	3	0.50	大学院、3人(西山・牧田・鶴澤)で常時担当											
9125		臨床心理基礎実習		通	前	木	4	2	3	0.50	大学院、3人(西山・牧田・鶴澤)で常時担当											
9161		論文指導Ⅰ		前	前	金	1	2	0	—	大学院											
9181		修士論文		通	前	金	3	6	1	0.50	大学院、下段でカウント											
6847		専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	13	0.50												
6867		卒業論文		通	前	金	5	6	13	0.50	下段でカウント											
9117		心理実践実習Ⅱ		通	前	土	1	2	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない											
9119		心理実践実習Ⅳ		通	前	土	1	4	4	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない											
9116		心理実践実習Ⅰ		通	後	月	5	3	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない											
6888		社会的スキル実習		後	後	火	4	2	16	0.50												
6888		社会的スキル実習		後	後	火	5	2	16	0.50												
9122		臨床心理学査定演習Ⅱ		後	後	水	1	2	3	0.50	大学院											
9132		臨床心理学特論Ⅱ		後	後	水	2	2	3	0.50	大学院											
6836		専門演習Ⅱ		後	後	木	2	2	11	0.50												
9125		臨床心理基礎実習		通	後	木	3	2	3	0.50	大学院、3人(西山・牧田・鶴澤)で常時担当											
9125		臨床心理基礎実習		通	後	木	4	2	3	0.50	大学院、3人(西山・牧田・鶴澤)で常時担当											
9181		修士論文		通	後	金	3	6	1	0.50	大学院 1名提出											
6867		卒業論文		通	後	金	5	6	13	0.50	10名提出											
9171		論文指導Ⅱ		後	後	金	1	2	0	—	大学院											
6947		心理的アセスメント		後	後	金	2	2	72	0.50												
6857		専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	13	0.50												
9117		心理実践実習Ⅱ		通	後	土	1	2	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない											
9119		心理実践実習Ⅳ		通	後	土	1	4	4	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない											
くりばやし よしまさ 栗林 克匡(男) 昭和44年3月28日 50歳 サバティカル 2019.10.1~2020.3.31		6815	心理学実験演習	福心	前	前	火	4	4	2	—	6924でカウント	4.00	教授	平成17年4月1日		平成15年3月 北海道大学大学院 教育学研究科 教育学専攻 修士課程 修了					
		6924	心理学実験		前	前	火	4	4	74	0.50	2人(栗林・眞嶋)で常時担当										
		6815	心理学実験演習	福心	前	前	火	5	4	2	—	6924でカウント										
	6924	心理学実験		前	前	火	5	4	74	0.50	2人(栗林・眞嶋)で常時担当											
	6061	社会心理学	社部	前	前	水	1	2	54	—	6961でカウント											
	6961	社会・集団・家族心理学		前	前	水	1	2	57	0.50												
	6887	グループダイナミクス		前	前	木	4	2	87	0.50												
	9139	社会心理学特論		前	前	木	5	2	3	0.50	大学院											
	6843	専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	8	0.50												
	6853	専門演習Ⅳ		前	前	金	5	2	9	0.50												
	6863	卒業論文		通	前	金	6	6	8	0.50	1名提出(前期)											
6879	卒業論文	指導	前	前	金	6	6	1	—	6863でカウント												

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号
	毎週授業コマ数															
	履修 コード	科目名	クラス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計 コマ数				
たざわ やすひろ 田澤 安弘(男) 昭和39年5月17日 54歳	9107	臨床心理面接特論Ⅰ〔心理支援に関する理論と実践〕		前	前	月	2	2	3	0.50	大学院	9.50	教授	平成17年4月1日 平成22年4月1日	修士(教育学) 北海道大学	
	9118	臨床心理実習Ⅰ〔心理実践実習Ⅲ〕		通	前	月	3	1	4	—	大学院、9120でカウント					
	9120	臨床心理実習Ⅱ		通	前	月	3	1	4	0.50	大学院、2人(田澤・佐藤)で常時担当					
	9118	臨床心理実習Ⅰ〔心理実践実習Ⅲ〕		通	前	月	4	1	4	—	大学院、9120でカウント					
	9120	臨床心理実習Ⅱ		通	前	月	4	1	4	0.50	大学院、2人(田澤・佐藤)で常時担当					
	9116	心理実践実習Ⅰ		通	前	月	5	3	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	9106	臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)		前	前	水	1	2	3	0.50	大学院					
	6823	専門演習Ⅰ		前	前	木	2	2	11	0.50						
	9163	論文指導Ⅰ		前	前	金	1	2	0	—	大学院					
	6844	専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	12	0.50						
	6864	卒業論文		通	前	金	5	6	12	0.50	下段でカウント					
	9117	心理実践実習Ⅱ		通	前	土	1	2	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	9119	心理実践実習Ⅳ		通	前	土	1	4	4	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	9183	修士論文		通	前	土	5	6	0	—	大学院					
	9476	社会福祉学特殊研究		通	前	土	5	4	0	—	大学院					
	9486	社会福祉学特殊演習Ⅰ		通	前	土	5	4	0	—	大学院					
	6059	臨床心理学			後	後	月	2	2	27	—					6936でカウント
	6936	臨床心理学概論			後	後	月	2	2	55	0.50					
	9118	臨床心理実習Ⅰ〔心理実践実習Ⅲ〕		通	後	月	3	1	4	—	大学院、9120でカウント					
	9120	臨床心理実習Ⅱ		通	後	月	3	1	4	0.50	大学院、2人(田澤・佐藤)で常時担当					
	9118	臨床心理実習Ⅰ〔心理実践実習Ⅲ〕		通	後	月	4	1	4	—	大学院、9120でカウント					
	9120	臨床心理実習Ⅱ		通	後	月	4	1	4	0.50	大学院、2人(田澤・佐藤)で常時担当					
	9116	心理実践実習Ⅰ		通	後	月	5	3	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	6833	専門演習Ⅱ			後	後	木	2	2	11	0.50					
	9173	論文指導Ⅱ			後	後	金	1	2	0	—					大学院
	6854	専門演習Ⅳ			後	後	金	4	2	12	0.50					
	6864	卒業論文		通	後	金	5	6	12	0.50	10名提出					
	9117	心理実践実習Ⅱ		通	後	土	1	2	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	9119	心理実践実習Ⅳ		通	後	土	1	4	4	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	9183	修士論文		通	後	土	5	6	0	—	大学院					
	9476	社会福祉学特殊研究		通	後	土	5	4	0	—	大学院					
	9486	社会福祉学特殊演習Ⅰ		通	後	土	5	4	0	—	大学院					
	6901	知的障害者の臨床心理		冬集中	後	冬集中	1	2	0	—						
まきた こういち 牧田 浩一(男) 昭和48年12月2日 45歳	9131	臨床心理学特論Ⅰ		前	前	月	1	2	3	0.50	大学院	11.50	教授	平成18年4月1日 平成30年4月1日	心理臨床 センター長 修士(教育学)〔平成11年3月〕 鳴門教育大学	
	9116	心理実践実習Ⅰ		通	前	月	5	3	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	6065	知的障害者の心理	A	前	前	火	1	2	42	0.50						
	6824	専門演習Ⅰ		前	前	木	2	2	10	0.50						
	9125	臨床心理基礎実習		通	前	木	3	2	3	0.50	大学院、3人(西山・牧田・鶴澤)で常時担当					
	9125	臨床心理基礎実習		通	前	木	4	2	3	0.50	大学院、3人(西山・牧田・鶴澤)で常時担当					
	9164	論文指導Ⅰ		前	前	金	1	2	1	0.50	大学院					
	9184	修士論文		通	前	金	3	6	2	0.50	大学院、下段でカウント					
	6845	専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	9	0.50						
	6865	卒業論文		通	前	金	5	6	10	0.50	下段でカウント					
	6878	卒業論文	指導	前	前	金	5	6	0	—	6865でカウント					
	9117	心理実践実習Ⅱ		通	前	土	1	2	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	9119	心理実践実習Ⅳ		通	前	土	1	4	4	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	6902	知的障害者の心理検査実習		夏集中	前	夏集中	1	4	0	—						
	9103	教育分野に関する理論と支援の展開			後	後	月	1	2	7	0.50					大学院
	9116	心理実践実習Ⅰ		通	後	月	5	3	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	6834	専門演習Ⅱ			後	後	木	2	2	11	0.50					
	9125	臨床心理基礎実習		通	後	木	3	2	3	0.50	大学院、3人(西山・牧田・鶴澤)で常時担当					
	9125	臨床心理基礎実習		通	後	木	4	2	3	0.50	大学院、3人(西山・牧田・鶴澤)で常時担当					
	9174	論文指導Ⅱ			後	後	金	1	2	1	0.50					大学院
	9184	修士論文		通	後	金	3	6	2	0.50	大学院 2名提出					
	6855	専門演習Ⅳ			後	後	金	4	2	9	0.50					
	6865	卒業論文		通	後	金	5	6	10	0.50	9名提出					
	9117	心理実践実習Ⅱ		通	後	土	1	2	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	9119	心理実践実習Ⅳ		通	後	土	1	4	4	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					

17 専任教員個別表〔2019年度〕社会福祉学部

(表V-17-4)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号
	毎週授業コマ数															
	履修 コード	科目名	クラス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計 コマ数				
かもざわ あかね 鴨澤 あかね(女) 昭和38年7月16日 55歳	9185	修士論文		通年	前	月	1	6	1	0.50	大学院 下段でカウント	10.00	教授	学生相談 センター長	平成8年3月 早稲田大学大学院 人間科学研究科 健康科学専攻 修士課程 修了	
	9116	心理実践実習Ⅰ		通年	前	月	5	3	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	6825	専門演習Ⅰ		前	前	木	2	2	5	0.50						
	9125	臨床心理基礎実習		通年	前	木	3	2	3	0.50	大学院、3人(西山・牧田・鶴澤)で常時担当					
	9125	臨床心理基礎実習		通年	前	木	4	2	3	0.50	大学院、3人(西山・牧田・鶴澤)で常時担当					
	9165	論文指導Ⅰ		前	前	金	1	2	0	—	大学院					
	6881	カウンセリング論	社部	前	前	金	2	2	42	—	6935でカウント					
	6935	心理学的支援法		前	前	金	2	2	64	0.50						
	6846	専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	8	0.50						
	6866	卒業論文		通年	前	金	5	6	8	0.50						
	9117	心理実践実習Ⅱ		通年	前	土	1	2	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	9119	心理実践実習Ⅳ		通年	前	土	1	4	4	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	9134	臨床心理面接特論Ⅱ		後	後	月	2	2	3	0.50	大学院					
	9116	心理実践実習Ⅰ		通年	後	月	5	3	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	6835	専門演習Ⅱ		後	後	木	2	2	5	0.50						
	9125	臨床心理基礎実習		通年	後	木	3	2	3	0.50	大学院、3人(西山・牧田・鶴澤)で常時担当					
	9125	臨床心理基礎実習		通年	後	木	4	2	3	0.50	大学院、3人(西山・牧田・鶴澤)で常時担当					
	9175	論文指導Ⅱ		後	後	金	1	2	0	—	大学院					
	9185	修士論文		通年	後	金	2	6	1	0.50	大学院 1名提出					
	6856	専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	8	0.50						
6866	卒業論文		通年	後	金	5	6	8	0.50	7名提出						
9117	心理実践実習Ⅱ		通年	後	土	1	2	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない						
9119	心理実践実習Ⅳ		通年	後	土	1	4	4	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない						
まじま よしまさ 眞嶋 良全(男) 昭和46年9月24日 47歳	6921	心理学概論		前	前	火	2	2	85	0.50		7.00	准教授	平成24年4月1日	平成12年3月 北海道大学大学院 文学研究科 行動科学専攻 博士後期課程 修了	
	6815	心理学実験演習	福心	前	前	火	4	4	2	—	6924でカウント					
	6924	心理学実験		前	前	火	4	4	74	0.50	2人(栗林・眞嶋)で常時担当					
	6815	心理学実験演習	福心	前	前	火	5	4	2	—	6924でカウント					
	6924	心理学実験		前	前	火	5	4	74	0.50	2人(栗林・眞嶋)で常時担当					
	6876	認知心理学	福心	前	前	木	1	2	52	—	6933でカウント					
	6933	知覚・認知心理学		前	前	木	1	2	43	0.50						
	6827	専門演習Ⅰ		前	前	木	2	2	9	0.50						
	6873	心理統計法	福心	前	前	木	5	2	11	0.50						
	9166	論文指導Ⅰ		前	前	金	1	2	0	—	大学院					
	9135	心理統計法特論		前	前	金	2	2	2	0.50	大学院					
	6848	専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	3	0.50						
	6868	卒業論文		通年	前	金	5	6	3	0.50	下段でカウント					
	9186	修士論文		通年	前	土	5	6	0	—	大学院					
	6811	心理統計法基礎		後	後	月	3	2	3	—	6923でカウント					
	6923	心理学統計法		後	後	月	3	2	88	0.50						
	9138	認知心理学特論		後	後	木	1	2	5	0.50	大学院					
	6837	専門演習Ⅱ		後	後	木	2	2	9	0.50						
	9176	論文指導Ⅱ		後	後	金	1	2	0	—	大学院					
	6858	専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	3	0.50						
	6868	卒業論文		通年	後	金	5	6	3	0.50	3名提出					
	9186	修士論文		通年	後	土	5	6	0	—	大学院					

17 専任教員個別表〔2019年度〕社会福祉学部

(表V-17-4)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号
	毎週授業コマ数															
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計 コマ数				
さとう ゆうき 佐藤 祐基(男) 昭和52年12月3日 41歳	6058	パーソナリティ心理学	社部	前	前	月	2	2	19	—	6934でカウント	11.50	講師	平成26年4月1日 平成26年4月1日	平成25年3月 北海道大学大学院 保健科学院 保健科学専攻 博士後期課程 修了 博士(保健科学) 北海道大学	
	6934	感情・人格心理学		前	前	月	2	2	61	0.50						
	9118	臨床心理実習Ⅰ〔心理実践実習Ⅲ〕		通年	前	月	3	1	4	—	大学院、9120でカウント					
	9120	臨床心理実習Ⅱ		通年	前	月	3	1	4	0.50	大学院、2人(田澤・佐藤)で常時担当					
	9118	臨床心理実習Ⅰ〔心理実践実習Ⅲ〕		通年	前	月	4	1	4	—	大学院、9120でカウント					
	9120	臨床心理実習Ⅱ		通年	前	月	4	1	4	0.50	大学院、2人(田澤・佐藤)で常時担当					
	9116	心理実践実習Ⅰ		通年	前	月	5	3	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	6817	臨床心理検査演習Ⅰ		前	前	水	2	2	70	0.50	2人(西山・佐藤)で常時担当					
	6828	専門演習Ⅰ		前	前	木	2	2	11	0.50						
	9167	論文指導Ⅰ		前	前	金	1	2	2	0.50	大学院					
	6849	専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	13	0.50						
	6869	卒業論文		通年	前	金	5	6	14	0.50	下段でカウント					
	9117	心理実践実習Ⅱ		通年	前	土	1	2	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	9119	心理実践実習Ⅳ		通年	前	土	1	4	4	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	9187	修士論文		通年	前	土	5	6	0	—	大学院					
	9118	臨床心理実習Ⅰ〔心理実践実習Ⅲ〕		通年	後	月	3	1	4	—	大学院、9120でカウント					
	9120	臨床心理実習Ⅱ		通年	後	月	3	1	4	0.50	大学院、2人(田澤・佐藤)で常時担当					
	9118	臨床心理実習Ⅰ〔心理実践実習Ⅲ〕		通年	後	月	4	1	4	—	大学院、9120でカウント					
	9120	臨床心理実習Ⅱ		通年	後	月	4	1	4	0.50	大学院、2人(田澤・佐藤)で常時担当					
	9116	心理実践実習Ⅰ		通年	後	月	5	3	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	6882	臨床心理検査演習Ⅱ		後	後	火	2	2	54	0.50						
	9101	心身医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展)		後	後	火	4	2	0	—	大学院					
	6838	専門演習Ⅱ		後	後	木	2	2	11	0.50						
	6516	心理学理論と心理的支援	B	後	後	木	4	2	211	0.50						
	9177	論文指導Ⅱ		後	後	金	1	2	2	0.50	大学院					
	6515	心理学理論と心理的支援	A	後	後	金	2	2	64	0.50						
	6859	専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	13	0.50						
	6869	卒業論文		通年	後	金	5	6	14	0.50	13名提出					
	9117	心理実践実習Ⅱ		通年	後	土	1	2	3	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
	9119	心理実践実習Ⅳ		通年	後	土	1	4	4	0.50	大学院 別途手当支給のためカウントしない					
9187	修士論文		通年	後	土	5	6	0	—	大学院						
じえーむず ありそん ジェームズ・アリソン(男) 昭和34年9月10日 59歳	513	英語Ⅰ	経済C	前	前	月	4	2	23	0.50		5.00	教授	昭和63年4月1日 平成16年4月1日	平成15年6月 米国フラー神学大学院 実践神学研究科 博士課程 修了 D.Min.(実践神学博士)	
	532	英語Ⅰ	社部B	前	前	木	2	2	20	0.50						
	517	英語Ⅰ	経済G	前	前	木	4	2	20	0.50						
	522	英語Ⅰ	経部K	前	前	金	2	2	24	0.50						
	585	英語Ⅱ	社部E	後	後	月	2	2	29	0.50	クラス変更F→E					
	564	英語Ⅱ	経済D	後	後	月	4	2	24	0.50						
	900	英語と文化	B	後	後	火	1	2	24	0.50						
	583	英語Ⅱ	社部C	後	後	木	2	2	26	0.50						
	573	英語Ⅱ	経部L	後	後	金	2	2	28	0.50						
	902	海外事情	英語B	冬集中	後	冬集中	1	2	14	0.50						
みずかわ よしふみ 水川 喜文(男) 昭和39年4月17日 54歳	6656	福祉臨床基礎演習		前	前	火	3	2	14	0.50		5.73	教授	平成9年4月1日 平成18年4月1日	平成5年3月 慶応義塾大学大学院 社会学研究科 社会学専攻 博士後期課程 単位取得後退学 社会学修士〔平成2年3月〕 東京都立大学	
	9021	質的調査研究		前	前	火	4	2	1	0.50	大学院					
	8629	日本語表現Ⅰ	法B	前	前	火	5	2	19	0.50						
	6741	障害行動論Ⅰ		前	前	水	2	2	6	0.23	7回担当					
	15	社会学Ⅰ		前	前	木	5	2	104	0.50						
	8125	社会科学基礎演習Ⅰ		前	前	金	2	2	14	0.50						
	8583	教養演習Ⅰ		前	前	金	2	2	6	—	8125でカウント					
	9152	心理学研究方法論Ⅱ		前	前	金	3	2	3	0.50	大学院					
	9065	論文指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院					
	8679	日本語表現Ⅱ	法B	後	後	火	5	2	11	0.50						
	6767	福祉臨床研究法AⅡ		後	後	水	2	2	4	0.50						
	8126	社会科学基礎演習Ⅱ		後	後	金	2	2	2	0.50						
	8593	教養演習Ⅱ		後	後	金	2	2	1	—	8126でカウント					
	9153	心理学研究方法論Ⅲ		後	後	金	3	2	3	0.50	大学院					
	9045	論文指導Ⅰ		後	後	土	5	2	0	—	大学院					
	9085	修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院					
	6517	社会学理論と社会システム		後	後	遠隔	1	2	251	0.50						

17 専任教員個別表〔2019年度〕社会福祉学部

(表V-17-4)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号			
	毎週授業コマ数																		
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コ マ 数	備 考	合 計 コ マ 数							
とーます げっつ トーマス・ゲッツ (男) 昭和36年3月21日 58歳	515	英語 I	経済E	前	前	月	4	2	19	0.50	5.00	教授	平成8年4月1日		平成元年5月 米国プリンストン神学大学院 教会史専攻 神学修士課程 修了 M.Div. (神学修士)				
	519	英語 I	経部I	前	前	火	2	2	20	0.50									
	904	上級英語 I		前	前	水	1	2	30	0.50									
	951	外国語演習[英語]		通年	前	木	2	4	14	—						前期:西原担当			
	625	英語III	社部E	前	前	木	3	2	29	0.50									
	512	英語 I	経済B	前	前	木	4	2	20	0.50									
	9025	海外福祉実践研究		前	前	土	5	2	0	—						大学院			
	566	英語 II	経済F	後	後	月	4	2	23	0.50									
	568	英語 II	経部H	後	後	火	2	2	19	0.50									
	951	外国語演習[英語]		通年	後	木	2	4	14	0.50									
	674	英語IV	社部D	後	後	木	3	2	34	0.50									
561	英語 II	経済A	後	後	木	4	2	20	0.50										
たじつ きよし 田実 潔 (男) 昭和35年2月22日 59歳	6426	障害児教育実習		通年	前	月	5	3	19	0.50	5.86	教授	平成13年4月1日	アクセシビリティ 支援室長	昭和61年3月 筑波大学大学院 教育研究科 障害児教育専攻 修士課程 修了 教育学修士 筑波大学				
	8962	教育実習 I (中学校)		通年	前	火	1	4	36	—						8978でカウント			
	8963	教育実習 II (高等学校)		通年	前	火	1	2	10	—						8978でカウント			
	8978	教育実習事前事後指導		通年	前	火	1	1	46	0.03									
	6655	福祉臨床基礎演習		前	前	火	3	2	9	0.50									
	8901	教職入門	A	前	前	火	5	2	60	0.50									
	6411	障害児教育論		前	前	木	1	2	22	0.50									
	8295	北星学		前	前	木	3	2	249	0.03						1回担当			
	8945	生活指導の研究	A	前	前	金	5	2	22	0.50									
	6425	重複障害・LD等教育論		前	前	金	6	2	13	0.50									
	6426	障害児教育実習		通年	後	月	5	3	19	0.50									
	8962	教育実習 I (中学校)		通年	後	火	1	4	36	—						8978でカウント			
	8963	教育実習 II (高等学校)		通年	後	火	1	2	10	—						8978でカウント			
	8978	教育実習事前事後指導		通年	後	火	1	1	46	—						上段でカウント			
	8983	教職実践演習(中・高)	C	後	後	火	3	2	8	0.37									
	8982	教職実践演習(中・高)	B	後	後	火	5	2	5	0.43									
	8946	生活指導の研究	B	後	後	木	3	2	38	0.50									
	8902	教職入門	B	後	後	金	3	2	33	0.50									
	6418	知的障害教育方法論II		後	後	金	6	2	16	0.50									
	9033	特別支援教育研究		後	後	土	5	2	0	—						大学院			
	みやざき やすし 宮崎 靖士 (男) 昭和48年10月4日 45歳 国内研修 2019/4/1-2020/3/31																0.00	教授	平成18年4月1日
												平成26年4月1日		博士(文学)〔平成16年3月〕 北海道大学					
にしはら あき 西原 明希 (女) 昭和50年3月28日 44歳	532	英語 I	社部B	前	前	月	2	2	20	0.50	5.50				准教授	平成24年4月1日		平成17年1月 英国ブリストル大学大学院 教育学研究科 外国語としての英語教育法専攻 修士課程 (TESOL) 修了 M.Ed. (教育学修士)	
	622	英語 III	社部B	前	前	月	3	2	33	0.50									
	601	英語 III	コA	前	前	月	4	2	15	0.50									
	1948	英語教育学演習B[授業実践論]		前	前	火	5	2	6	0.50									
	951	外国語演習[英語]		通年	前	木	2	4	14	0.50									
	602	英語 III	コB	前	前	木	4	2	27	0.50									
	671	英語IV	社部A	後	後	月	3	2	15	0.50									
	652	英語IV	コB	後	後	月	4	2	32	0.50									
	901	英語と文化	A	後	後	火	1	2	20	0.50									
	906	上級英語 II		後	後	水	1	2	23	0.50									
	951	外国語演習[英語]		通年	後	木	2	4	14	—		後期:ゲッツ担当							
903	海外事情	英語A	冬集中	後	冬集中	1	2	18	0.50										
よしだ りゅうへい 吉田 竜平 (男) 昭和53年8月2日 40歳	6529	相談援助実践論		前	前	火	2	2	111	0.50	3.00	助教	平成30年4月1日		平成25年3月 東北福祉大学大学院 総合福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程 修了 修士(社会福祉学) 東北福祉大学				
	6567	相談援助実習指導 II	G	前	前	火	5	2	11	0.50									
	6716	福祉臨床基礎実習指導 I	D	前	前	木	1	2	20	0.50									
	6558	相談援助実習指導 I	H	後	後	火	2	2	13	0.50									
	6577	相談援助実習指導 III	G	後	後	火	5	2	11	0.50									
	6720	福祉臨床基礎実習指導 II	D	後	後	木	1	2	20	0.50									

17 専任教員個別表〔2019年度〕社会福祉学部

(表V-17-4)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号
	毎週授業コマ数															
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コ マ 数	備 考	合 計 コ マ 数				
すぎおか なおと 杉岡 直人(男) 昭和24年4月14日 69歳	9036	コミュニティア政策研究		前	前	火	6	2	1	0.50	大学院	2.92	教授	昭和56年4月1日	昭和53年5月 北海道大学大学院 文学研究科 社会学専攻 博士課程 中途退学	
	6116	非営利組織論		前	前	水	4	2	59	0.50						
	6254	福祉計画インターンシップ		前	前	水	5	2	7	0.50						
	6181	コミュニティワーク実習		通	前	木	4	6	21	0.50	3名(杉岡・松岡・畠山)で担当					
	6181	コミュニティワーク実習		通	前	木	5	6	21	—	上段でカウント					
	9061	論文指導Ⅱ		前	前	土	5	2	0	—	大学院					
	9041	論文指導Ⅰ		後	後	水	6	2	1	0.50	大学院					
	6181	コミュニティワーク実習		通	後	木	4	6	21	0.42	3名(杉岡・松岡・畠山)で担当、25回					
	6181	コミュニティワーク実習		通	後	木	5	6	21	—	上段でカウント					
	9081	修士論文		後	後	土	5	4	0	—	大学院					
さいとう まさし 斎藤 仁史(男) 昭和31年3月20日 63歳	6432	社会教育演習		通	前	火	4	4	23	0.50		3.50	准教授	平成31年4月1日	平成31年3月 北海学園大学大学院 経済学研究科 経済政策専攻 博士後期課程 単位取得後退学 修士(経済学) 北海学園大学	
	6427	生涯学習概論		通	前	水	4	4	5	0.50						
	6428	青少年問題と社会教育		前	前	木	5	2	4	0.50						
	6127	社会教育計画		前	前	金	6	2	7	0.50						
	6432	社会教育演習		通	後	火	4	4	23	0.50						
	6427	生涯学習概論		通	後	水	4	4	5	0.50						
	6431	高齢化と社会教育		後	後	金	2	2	23	0.50						
たなべ ひとし 田辺 等(男) 昭和26年9月20日 67歳	6056	精神保健学	A	前	前	火	1	2	0	—	6603でカウント	3.50	教授	平成29年4月1日	昭和52年3月 北海道大学 医学部 卒業	
	6603	精神保健の課題と支援Ⅰ		前	前	火	1	2	27	0.50						
	6521	医学知識Ⅰ		前	前	水	2	2	109	0.50						
	8011	精神保健学	B	後	後	月	2	2	0	—	8551でカウント					
	8551	精神衛生学		後	後	月	2	2	233	0.50						
	6055	精神医学		後	後	月	5	2	0	—	6601でカウント					
	6601	精神疾患とその治療Ⅰ		後	後	月	5	2	33	0.50						
	6416	病弱者の病理保健		後	後	火	2	2	33	0.50						
	6602	精神疾患とその治療Ⅱ		後	後	火	4	2	24	0.50						
	6523	医学知識Ⅱ		後	後	水	2	2	117	0.50						
とよむら かずま 豊村 和真(男) 昭和28年3月11日 66歳	9102	障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援)		前	前	火	1	2	7	0.50	大学院	5.50	教授	昭和59年4月1日	昭和56年6月 東北大学大学院 教育学研究科 教育心理学専攻 博士後期課程 単位取得後退学	
	6813	心理学研究法Ⅰ	福心	前	前	火	3	2	5	—	6922でカウント					
	6922	心理学研究法	福心	前	前	火	3	2	123	0.50						
	9151	心理学研究方法論Ⅰ		前	前	水	3	2	3	—	大学院					
	6062	福祉心理学		前	前	金	1	2	131	0.50						
	6841	専門演習Ⅲ		前	前	金	4	2	0	—						
	6861	卒業論文		通	前	金	5	6	1	0.50	下段でカウント					
	9471	社会福祉学特殊研究		通	前	土	5	4	0	—	大学院					
	9481	社会福祉学特殊演習Ⅰ		通	前	土	5	4	0	—	大学院					
	6814	心理学研究法Ⅱ	福心	後	後	火	3	2	26	—	6925でカウント					
	6925	心理調査法		後	後	火	3	2	7	0.50						
	6816	心理学実験		後	後	火	4	2	9	0.50						
	6816	心理学実験		後	後	火	5	2	9	0.50						
	6974	障害者・障害児心理学		後	後	水	5	2	36	0.50						
	6851	専門演習Ⅳ		後	後	金	4	2	2	0.50						
	6877	卒業論文	指導	後	後	金	5	6	1	0.50	2名提出					
	6861	卒業論文		通	後	金	5	6	1	—	6877でカウント					
	6863	卒業論文		通	後	金	6	6	8	0.50	8名提出(栗林担当)					
	9471	社会福祉学特殊研究		通	後	土	5	4	0	—	大学院					
	9481	社会福祉学特殊演習Ⅰ		通	後	土	5	4	0	—	大学院					

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号
	毎週授業コマ数															
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コ マ 数	備 考	合 計 コ マ 数				
くどう のりお 工藤 憲(男) 昭和23年6月17日 70歳	8021	体育実技 I	A	通年	前	火	1	2	61	0.50	ソフトバレー	8.50	教授	平成28年4月1日 平成28年4月1日	昭和47年3月 北海道教育大学 旭川校 保健体育学科課程 卒業 学士 北海道教育大学	
	8051	体育実技 II	A	通年	前	火	1	2	14	—	8021でカウント					
	8022	体育実技 I	B	通年	前	火	2	2	43	0.50	ソフトバレー					
	8052	体育実技 II	B	通年	前	火	2	2	16	—	8022でカウント					
	8023	体育実技 I	C	通年	前	火	3	2	64	0.50	ソフトバレー					
	8053	体育実技 II	C	通年	前	火	3	2	8	—	8023でカウント					
	8024	体育実技 I	D	通年	前	水	1	2	32	0.50	ソフトボール					
	8054	体育実技 II	D	通年	前	水	1	2	8	—	8024でカウント					
	8025	体育実技 I	E	通年	前	水	2	2	27	0.50	ソフトボール					
	8055	体育実技 II	E	通年	前	水	2	2	10	—	8025でカウント					
	8087	スポーツ実技		前	前	水	2	1	9	—	星野担当					
	8027	体育実技 I	G	通年	前	木	2	2	60	0.50	テニス					
	8057	体育実技 II	G	通年	前	木	2	2	24	—	8027でカウント					
	8028	体育実技 I	H	通年	前	木	3	2	58	0.50	テニス					
	8058	体育実技 II	H	通年	前	木	3	2	20	—	8028でカウント					
	8081	生涯スポーツ I	A	通年	前	金	3	2	6	0.25	2人(佐々木・工藤)で分担					
	8021	体育実技 I	A	通年	後	火	1	2	61	0.50	バレーボール					
	8051	体育実技 II	A	通年	後	火	1	2	14	—	8021でカウント					
	8022	体育実技 I	B	通年	後	火	2	2	43	0.50	バレーボール					
	8052	体育実技 II	B	通年	後	火	2	2	16	—	8022でカウント					
	8023	体育実技 I	C	通年	後	火	3	2	64	0.50	バレーボール					
	8053	体育実技 II	C	通年	後	火	3	2	8	—	8023でカウント					
	8089	健康運動実技		後	後	水	2	1	10	—	星野担当					
	8026	体育実技 I	F	通年	後	木	1	2	62	0.50	バレーボール					
	8056	体育実技 II	F	通年	後	木	1	2	16	—	8026でカウント					
	8027	体育実技 I	G	通年	後	木	2	2	60	0.50	バレーボール					
	8057	体育実技 II	G	通年	後	木	2	2	24	—	8027でカウント					
	8028	体育実技 I	H	通年	後	木	3	2	58	0.50	バレーボール					
	8058	体育実技 II	H	通年	後	木	3	2	20	—	8028でカウント					
	8029	体育実技 I	I	通年	後	金	1	2	55	0.50	バレーボール					
8059	体育実技 II	I	通年	後	金	1	2	9	—	8029でカウント						
8031	体育実技 I	J	通年	後	金	2	2	59	0.50	バレーボール						
8061	体育実技 II	J	通年	後	金	2	2	8	—	8031でカウント						
8081	生涯スポーツ I	A	通年	後	金	3	2	6	0.25	2人(佐々木・工藤)で分担						
8031	体育実技 I	J	通年	後	金	2	2	59	0.50	スキー						
むらい やすひろ 村井 泰廣(男) 昭和26年8月8日 67歳	522	英語 I	経部K	前	前	火	2	2	24	0.50		4.00	教授	平成25年4月1日 平成14年4月1日	昭和60年6月 米国南アラバマ州立大学大学院 教育学部 教育行政学科 博士課程 修了 Ph. D. (教育行政学博士)	
	612	英語 III	経部F	前	前	火	4	2	28	0.50						
	621	英語 III	社部A	前	前	木	3	2	14	0.50						
	526	英語 I	経済O	前	前	木	4	2	19	0.50						
	569	英語 II	経部I	後	後	火	2	2	19	0.50						
	658	英語 IV	経部C	後	後	火	4	2	34	0.50						
	672	英語 IV	社部B	後	後	木	3	2	35	0.50						
	567	英語 II	経済G	後	後	木	4	2	24	0.50						
	9243	言語文化教育論特殊研究		後	後	土	5	2	0	—	大学院					
	8962	教育実習 I (中学校)		通年	前	火	1	4	36	—	8978でカウント					
はりま しょういち 播磨 正一(男) 昭和31年10月4日 62歳	8963	教育実習 II (高等学校)		通年	前	火	1	2	10	—	8978でカウント	3.66	講師	平成30年4月1日 平成30年4月1日	昭和54年3月 北星学園大学 文学部 社会福祉学科 卒業 文学士 北星学園大学	
	8978	教育実習事前事後指導		通年	前	火	1	1	46	0.16						
	6413	肢体不自由者の心理		前	前	水	4	2	45	0.50						
	6066	知的障害者の心理	B	前	前	水	6	2	12	0.50						
	8965	特別支援教育概論	A	前	前	木	6	2	41	0.50						
	8962	教育実習 I (中学校)		通年	後	火	1	4	36	—	8978でカウント					
	8963	教育実習 II (高等学校)		通年	後	火	1	2	10	—	8978でカウント					
	8978	教育実習事前事後指導		通年	後	火	1	1	46	—	上段でカウント					
	8984	教職実践演習(中・高)	D	後	後	火	3	2	9	0.50						
	8966	特別支援教育概論	B	後	後	火	6	2	18	0.50						
	6415	病弱者の心理		後	後	水	4	2	75	0.50						
	6419	肢体不自由教育方法論		後	後	木	5	2	20	0.50						

17 専任教員個別表〔2019年度〕社会福祉学部

(表V-17-4)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目											職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号	
	毎週授業コマ数															
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コ マ 数	備 考					合 計 コ マ 数
ごみた たい 五味田 泰(男) 昭和55年3月27日 39歳	924	上級フランス語 I		前	前	水	4	2	10	0.50		5.00	講師	令和元年4月1日		平成27年5月 フランス共和国リヨン第2大学 文学研究科 古文学専攻 博士課程修了
	921	フランス語と文化		前	前	水	5	2	10	0.50						
	751	フランス語 I	文部	前	前	木	1	2	15	0.50						
	953	外国語演習[フランス語]		通年	前	木	2	4	9	0.50						
	771	フランス語III	文部	前	前	木	4	2	28	0.50						
	926	上級フランス語 II		後	後	水	4	2	10	0.50						
	761	フランス語 II	文部	後	後	木	1	2	20	0.50						
	953	外国語演習[フランス語]		通年	後	木	2	4	9	0.50						
	781	フランス語IV	文部	後	後	木	4	2	27	0.50						
	923	海外事情	フランス	冬集中	後	木	1	2	5	0.50						

ふりがな 氏名(性別)	授業科目											職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号
	毎週授業コマ数														
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考				
じゃん まうん ジャン・マウン 昭和35年5月20日 58歳	7481	Life Science(ライフサイエンス)Ⅰ		前	前	月	3	2	30	0.50		6.00	教授	平成7年4月1日 平成16年4月1日	平成3年6月 米国ライス大学大学院 生化学専攻 博士課程 修了 Ph.D.(理学博士) 米国ライス大学大学院
	7156	スタディ・スキルⅠ	C2	前	前	月	4	1	0	—	7506でカウント				
	7506	スタディ・スキルⅠ		前	前	月	4	2	13	0.50					
	7436	Perspectives in Literature〔文学概論〕Ⅰ		前	前	火	5	2	7	0.50					
	7176	スタディ・スキルⅢ	G2	前	前	木	2	1	18	0.50					
	7036	オーラル・イングリッシュⅠ	C2	前	前	木	4	2	13	0.25	45分授業				
	7038	オーラル・イングリッシュⅠ	D2	前	前	木	4	2	14	0.25	45分授業				
	7342	オーラル・イングリッシュⅢ	I2	前	前	金	1	1	15	0.25	45分授業				
	7344	オーラル・イングリッシュⅢ	J2	前	前	金	1	1	16	0.25	45分授業				
	7482	Life Science(ライフサイエンス)Ⅱ		後	後	月	3	2	58	0.50					
	7439	Perspectives in Literature〔文学概論〕Ⅱ		後	後	火	5	2	6	0.50					
	7166	スタディ・スキルⅡ	C2	後	後	火	6	1	0	—					
	7186	スタディ・スキルⅣ	G2	後	後	木	2	1	19	0.50					
	7041	オーラル・イングリッシュⅡ	A1	後	後	木	3	2	15	0.25	45分授業				
	7043	オーラル・イングリッシュⅡ	B1	後	後	木	3	2	14	0.25	45分授業				
	7046	オーラル・イングリッシュⅡ	C2	後	後	木	4	2	13	0.25	45分授業				
	7048	オーラル・イングリッシュⅡ	D2	後	後	木	4	2	15	0.25	45分授業				
	7352	オーラル・イングリッシュⅣ	I2	後	後	金	1	1	15	0.25	45分授業				
	7354	オーラル・イングリッシュⅣ	J2	後	後	金	1	1	16	0.25	45分授業				
	たけむら まさし 竹村 雅史(男) 昭和31年3月8日 63歳	7191	リーディング・スキルⅠ	B	前	前	月	2	1	27	0.50				
7192		リーディング・スキルⅠ	C	前	前	月	3	1	28	0.50					
7153		スタディ・スキルⅠ	B1	前	前	月	4	1	0	—					
7503		スタディ・スキルⅠ		前	前	月	4	2	14	0.50					
7146		アセンブリⅡ	短英	前	前	火	2	2	127	0.25	2人(竹村・トムソン)で分担				
7173		スタディ・スキルⅢ	F1	前	前	木	2	1	13	0.50					
7190		リーディング・スキルⅠ	A	前	前	金	3	1	28	0.50					
7193		リーディング・スキルⅠ	D	前	前	金	4	1	28	0.50					
7195		リーディング・スキルⅡ	B	後	後	月	2	1	27	0.50					
7196		リーディング・スキルⅡ	C	後	後	月	3	1	30	0.50					
7145		アセンブリⅠ	短英	後	後	火	2	2	110	0.25	2人(竹村・トムソン)で分担				
7283		海外研修BⅠ		後	後	火	5	2	15	0.50					
7163		スタディ・スキルⅡ	B1	後	後	火	6	1	0	—					
7183		スタディ・スキルⅣ	F1	後	後	木	2	1	13	0.50					
7194		リーディング・スキルⅡ	A	後	後	金	3	1	29	0.50					
7197		リーディング・スキルⅡ	D	後	後	金	4	1	29	0.50					
7284		海外研修BⅡ		冬集中	後	冬集中	1	2	13	0.50					
7267		ホスピタリティと観光		前	前	月	3	2	47	0.25	2人(森越・田中)で分担				
7157		スタディ・スキルⅠ	D1	前	前	月	4	1	0	—					
7507		スタディ・スキルⅠ		前	前	月	4	2	14	0.50					
7018	リスニング・スキルⅠ	C	前	前	火	3	1	28	0.25	45分授業					
7019	リスニング・スキルⅠ	D	前	前	火	3	1	28	0.25	45分授業					
7016	リスニング・スキルⅠ	A	前	前	火	4	1	29	0.25	45分授業					
7017	リスニング・スキルⅠ	B	前	前	火	4	1	27	0.25	45分授業					
7177	スタディ・スキルⅢ	H1	前	前	木	2	1	14	0.50						
7016	リスニング・スキルⅠ	A	前	前	木	3	1	29	0.25	45分授業					
7017	リスニング・スキルⅠ	B	前	前	木	3	1	27	0.25	45分授業					
7018	リスニング・スキルⅠ	C	前	前	木	4	1	28	0.25	45分授業					
7019	リスニング・スキルⅠ	D	前	前	木	4	1	28	0.25	45分授業					
7023	リスニング・スキルⅡ	C	後	後	火	3	1	28	0.25	45分授業					
7024	リスニング・スキルⅡ	D	後	後	火	3	1	28	0.25	45分授業					
7021	リスニング・スキルⅡ	A	後	後	火	4	1	30	0.25	45分授業					
7022	リスニング・スキルⅡ	B	後	後	火	4	1	27	0.25	45分授業					
7167	スタディ・スキルⅡ	D1	後	後	火	6	1	0	—						
7187	スタディ・スキルⅣ	H1	後	後	木	2	1	15	0.50						
7269	総合講義ホスピタリティ		後	後	木	5	2	52	0.50						
7275	グローバル・インターンシップA		後	後	冬集中	1	2	0	—	7277でカウント					
7277	グローバル・インターンシップ		冬集中	後	冬集中	1	2	11	0.50						

17 専任教員個別表〔2019年度〕短期大学部

(表V-17-5)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号						
	毎週授業コマ数																					
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計 コマ数										
かーと あっかーまん カート・アッカーマン(男) 昭和42年1月15日 52歳	7147	エクステンシブ・リーディングI	IL	前	前	月	2	1	63	0.25	45分授業	6.50	准教授	平成21年4月1日 平成21年4月1日	短大 英文学科長	平成12年12月 英国ロンドン大学大学院 環境管理専攻科 修士課程 修了 理学修士 英国ロンドン大学大学院						
	7148	エクステンシブ・リーディングI	JK	前	前	月	2	1	62	0.25	45分授業											
	7152	スタディ・スキル I	A2	前	前	月	4	1	1	—	7502でカウント											
	7502	スタディ・スキル I		前	前	月	4	2	13	0.50												
	7451	Geography(地理) I		1	前	前	火	1	2	25	0.50											
	7452	Geography(地理) I		2	前	前	火	3	2	44	0.50											
	7172	スタディ・スキルIII	E2	前	前	木	2	1	18	0.50												
	7032	オーラル・イングリッシュ I	A2	前	前	木	3	2	14	0.25	45分授業											
	7034	オーラル・イングリッシュ I	B2	前	前	木	3	2	13	0.25	45分授業											
	7147	エクステンシブ・リーディングI	IL	前	前	金	2	1	63	0.25	45分授業											
	7148	エクステンシブ・リーディングI	JK	前	前	金	2	1	62	0.25	45分授業											
	7454	Geography(地理) II		1	後	後	火	1	2	19	0.50											
	7455	Geography(地理) II		2	後	後	火	3	2	45	0.50											
	7162	スタディ・スキル II	A2	後	後	火	6	1	1	0.50												
	7182	スタディ・スキルIV	E2	後	後	木	2	1	17	0.50												
	7042	オーラル・イングリッシュ II	A2	後	後	木	3	2	14	0.25	45分授業											
	7044	オーラル・イングリッシュ II	B2	後	後	木	3	2	14	0.25	45分授業											
	7149	エクステンシブ・リーディングII		後	後	木	4	1	20	0.50												
	しらとり きんご 白鳥 金吾(男) 昭和39年4月29日 54歳	7111	英文法 I	A	前	前	月	1	1	28	0.25						45分授業	6.50	准教授	平成26年4月1日 平成30年4月1日	短大 英文学科長	令和元年10月 英国ランカスター大学大学院 言語学部 言語学専攻 修士課程 修了 言語テスト修士 英国ランカスター大学大学院
		7112	英文法 I	B	前	前	月	1	1	28	0.25						45分授業					
7113		英文法 I	C	前	前	月	2	1	27	0.25	45分授業											
7114		英文法 I	D	前	前	月	2	1	28	0.25	45分授業											
7158		スタディ・スキル I	D2	前	前	月	4	1	0	—	7508でカウント											
7508		スタディ・スキル I		前	前	月	4	2	14	0.50												
7178		スタディ・スキル III	H2	前	前	木	2	1	16	0.50												
7113		英文法 I	C	前	前	金	3	1	27	0.25	45分授業											
7114		英文法 I	D	前	前	金	3	1	28	0.25	45分授業											
7111		英文法 I	A	前	前	金	4	1	28	0.25	45分授業											
7112		英文法 I	B	前	前	金	4	1	28	0.25	45分授業											
7116		英文法 II	A	後	後	月	1	1	29	0.25	45分授業											
7117		英文法 II	B	後	後	月	1	1	28	0.25	45分授業											
7118		英文法 II	C	後	後	月	2	1	30	0.25	45分授業											
7119		英文法 II	D	後	後	月	2	1	30	0.25	45分授業											
7168		スタディ・スキル II	D2	後	後	火	6	1	1	0.50												
7188		スタディ・スキルIV	H2	後	後	木	2	1	16	0.50												
8917		英語科教育法 II		後	後	金	1	2	22	0.50												
7118		英文法 II	C	後	後	金	3	1	30	0.25	45分授業											
7119		英文法 II	D	後	後	金	3	1	30	0.25	45分授業											
7116	英文法 II	A	後	後	金	4	1	29	0.25	45分授業												
7117	英文法 II	B	後	後	金	4	1	28	0.25	45分授業												
ましゅー こったー マシュー コッター(男) 昭和49年7月27日 44歳	7155	スタディ・スキル I	C1	前	前	月	4	1	0	—	7505でカウント	7.00	講師	平成28年4月1日 平成25年4月1日	平成20年8月 タスマニア大学大学院 教育学部 修士課程 修了 教育学修士(TESOL) タスマニア大学大学院							
	7505	スタディ・スキル I		前	前	月	4	2	14	0.50												
	7496	Intercultural Communication(異文化間コミュニケーション)		前	前	月	5	2	36	0.50												
	7298	海外事情		通年	前	火	2	4	9	0.50												
	7497	Intercultural Communication(異文化間コミュニケーション)		前	前	火	4	2	39	0.50												
	1981	ジャパニーズ・リテラチャー	A	前	前	火	5	3	0	—												
	8781	比較文化[国際]	A	前	前	火	5	2	4	0.50												
	8877	比較文化A[国際]		前	前	火	5	3	3	—	8781でカウント											
	7175	スタディ・スキルIII	G1	前	前	木	2	1	16	0.50												
	7035	オーラル・イングリッシュ I	C1	前	前	木	4	2	14	0.25	45分授業											
	7037	オーラル・イングリッシュ I	D1	前	前	木	4	2	14	0.25	45分授業											
	7430	Introduction to Sports Theory [スポーツ概論]		前	前	金	4	2	30	0.50												
	7498	Intercultural Communication(異文化間コミュニケーション)		後	後	月	5	2	36	0.50												
	7499	Intercultural Communication(異文化間コミュニケーション)		後	後	火	4	2	39	0.50												
	7165	スタディ・スキル II	C1	後	後	火	6	1	0	—												
	7185	スタディ・スキルIV	G1	後	後	木	2	1	17	0.50												
	7045	オーラル・イングリッシュ II	C1	後	後	木	4	2	15	0.25	45分授業											
	7047	オーラル・イングリッシュ II	D1	後	後	木	4	2	14	0.25	45分授業											
	7433	Ainu and Maori Studies [アイヌとマオリ研究]		後	後	金	4	2	40	0.50												
	7298	海外事情		通年	後	冬集中	1	4	9	0.50												

17 専任教員個別表〔2019年度〕短期大学部

(表V-17-5)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号							
	毎週授業コマ数																						
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計 コマ数											
たなか なおこ 田中 直子(女) 昭和47年9月20日 46歳	7267	ホスピタリティ観光		前	前	月	3	2	47	0.25	2人(森越・田中)で分担	6.25	講師	平成26年4月1日	平成20年5月 米国ハイデルバーグ大学大学院 教育学部 修士課程 修了	M.A.(教育学修士) 米国ハイデルバーグ大学大学院							
	7154	スタディ・スキルⅠ	B2	前	前	月	4	1	0	—													
	7504	スタディ・スキルⅠ		前	前	月	4	2	13	0.50													
	7304	通訳法Ⅱ		1	前	前	火	4	2	11	0.50												
	7305	通訳法Ⅱ		2	前	前	火	5	2	7	0.50												
	7174	スタディ・スキルⅢ	F2	前	前	木	2	1	17	0.50													
	7003	発音法Ⅰ	C	前	前	木	3	1	27	0.25	45分授業												
	7004	発音法Ⅰ	D	前	前	木	3	1	29	0.25	45分授業												
	7001	発音法Ⅰ	A	前	前	木	4	1	28	0.25	45分授業												
	7002	発音法Ⅰ	B	前	前	木	4	1	27	0.25	45分授業												
	7301	通訳法Ⅰ		1	後	後	月	4	2	30	0.50												
	7302	通訳法Ⅰ		2	後	後	月	5	2	26	0.50												
	7164	スタディ・スキルⅡ	B2	後	後	火	6	1	0	—													
	7184	スタディ・スキルⅣ	F2	後	後	木	2	1	17	0.50													
	7008	発音法Ⅱ	C	後	後	木	3	1	27	0.25	45分授業												
	7009	発音法Ⅱ	D	後	後	木	3	1	32	0.25	45分授業												
	7006	発音法Ⅱ	A	後	後	木	4	1	28	0.25	45分授業												
	7007	発音法Ⅱ	B	後	後	木	4	1	27	0.25	45分授業												
	7282	海外研修AⅡ		冬集中	後	冬集中	1	2	0	—	7285でカウント												
	7285	海外研修A		冬集中	後	冬集中	1	2	10	0.50													
	へいでい とむそん ヘイディ・トムソン(女) 昭和55年12月16日 38歳	7151	スタディ・スキルⅠ	A1	前	前	月	4	1	0	—							5.50	講師	平成29年4月1日	平成26年2月 ニュージーランド ヴィクトリア大学ウェリントン 博士前期課程(修士)修了	修士(TESOL学) ヴィクトリア大学ウェリントン	
		7501	スタディ・スキルⅠ		前	前	月	4	2	14	0.50												
		7146	アセンブリⅡ		短英	前	前	火	2	2	127						0.25						2人(竹村・トムソン)で分担
		7031	オーラル・イングリッシュⅠ	A1	前	前	火	4	2	14	0.25						45分授業						
		7033	オーラル・イングリッシュⅠ	B1	前	前	火	4	2	14	0.25						45分授業						
		7171	スタディ・スキルⅢ	E1	前	前	木	2	1	13	0.50												
		7442	International Business[国際ビジネス]		前	前	木	4	2	83	0.50												
		7092	ボキャブラリー・ビルディングⅠ	B	前	前	金	3	1	28	0.50												
7093		ボキャブラリー・ビルディングⅠ	C	前	前	金	4	1	27	0.50													
7096		ボキャブラリー・ビルディングⅡ	A	後	後	月	2	1	28	0.50													
7099		ボキャブラリー・ビルディングⅡ	D	後	後	月	3	1	32	0.50													
7145		アセンブリⅠ		短英	後	後	火	2	2	110	0.25	2人(竹村・トムソン)で分担											
7041		オーラル・イングリッシュⅡ	A1	後	後	火	4	2	15	0.25	45分授業												
7043		オーラル・イングリッシュⅡ	B1	後	後	火	4	2	14	0.25	45分授業												
7161		スタディ・スキルⅡ	A1	後	後	火	6	1	0	—													
7181		スタディ・スキルⅣ	E1	後	後	木	2	1	13	0.50													
うちやま さとし 内山 智(男) 昭和39年12月29日 54歳		7741	生活学基礎演習Ⅰ	A	前	前	月	5	2	12	0.50	学科教員7名で分担	6.25	教授	平成9年4月1日	社会連携 センター長	平成7年3月 北海道大学大学院 理学研究科 物理学専攻 博士後期課程 単位取得後退学						
		7742	生活学基礎演習Ⅰ	B	前	前	月	5	2	13	—												
	7743	生活学基礎演習Ⅰ	C	前	前	月	5	2	13	—													
	7744	生活学基礎演習Ⅰ	D	前	前	月	5	2	13	—													
	7745	生活学基礎演習Ⅰ	E	前	前	月	5	2	13	—													
	7746	生活学基礎演習Ⅰ	F	前	前	月	5	2	12	—													
	7747	生活学基礎演習Ⅰ	G	前	前	月	5	2	12	—													
	7679	生活創造専門演習	情	通年	前	火	3	4	11	0.50													
	7734	情報処理論	生	前	前	火	4	2	12	0.50													
	7733	生活情報論		前	前	木	1	2	12	0.50													
	7914	数の世界		前	前	木	3	2	37	0.50													
	7692	基礎情報処理	A	前	前	金	4	2	24	0.25	2人(内山・藤木)で分担												
	7693	基礎情報処理	B	前	前	金	4	2	20	0.25	2人(内山・藤木)で分担												
	7694	基礎情報処理	C	前	前	金	5	2	23	0.25	2人(内山・藤木)で分担												
	7695	基礎情報処理	D	前	前	金	5	2	21	0.25	2人(内山・藤木)で分担												
	7755	生活学基礎演習Ⅱ	情	後	後	月	3	2	15	0.50													
	7760	アセンブリⅡ		後	後	火	2	2	90	0.25	2人(内山・山本)で分担												
	7679	生活創造専門演習	情	通年	後	火	3	4	11	0.50													
	7905	科学概論		後	後	火	5	2	11	0.50													
	7735	応用情報処理		後	後	木	5	2	17	0.50													
	7789	情報収集と検索		後	後	金	5	2	14	0.50													
	ふじわら りさ 藤原 里佐(女) 昭和37年7月20日 56歳	7741	生活学基礎演習Ⅰ	A	前	前	月	5	2	12	0.50	学科教員7名で分担						3.53	教授	平成16年4月1日	短期大学部長	平成17年3月 北海道大学大学院 教育学研究科 教育学専攻 博士課程 修了	
7742		生活学基礎演習Ⅰ	B	前	前	月	5	2	13	—													
7743		生活学基礎演習Ⅰ	C	前	前	月	5	2	13	—													
7744		生活学基礎演習Ⅰ	D	前	前	月	5	2	13	—													
7745		生活学基礎演習Ⅰ	E	前	前	月	5	2	13	—													
7746		生活学基礎演習Ⅰ	F	前	前	月	5	2	12	—													
7747		生活学基礎演習Ⅰ	G	前	前	月	5	2	12	—													
7705		生活福祉論		前	前	木	4	2	57	0.50													
7729		女性福祉論		前	前	木	5	2	32	0.50													
7675		生活創造専門演習	福	通年	前	金	2	4	14	0.50													
7753		生活学基礎演習Ⅱ	福	後	後	月	3	2	12	0.50													
7760		アセンブリⅡ	生	後	後	火	2	2	90	0.03	1回担当												
7711		現代子ども論		後	後	木	2	2	34	0.50													
7675		生活創造専門演習	福	通年	後	金	3	4	14	0.50													

17 専任教員個別表〔2019年度〕短期大学部

(表V-17-5)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号				
	毎週授業コマ数																			
	履修 コード	科目名	ク ラ ス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計 コマ数								
えんどう たろう 遠藤 太郎(男) 昭和48年12月2日 45歳	7698	芸術文化創造論		前	前	月	3	2	0	—		6.33	教授	生活創造 学科長	平成13年3月 横浜国立大学大学院 工学研究科 計画建設学専攻 博士後期課程 修了 博士(工学) 横浜国立大学大学院					
	7741	生活学基礎演習I	A	前	前	月	5	2	12	0.50	学科教員7名で分担									
	7742	生活学基礎演習I	B	前	前	月	5	2	13	—										
	7743	生活学基礎演習I	C	前	前	月	5	2	13	—										
	7744	生活学基礎演習I	D	前	前	月	5	2	13	—										
	7745	生活学基礎演習I	E	前	前	月	5	2	13	—										
	7746	生活学基礎演習I	F	前	前	月	5	2	12	—										
	7747	生活学基礎演習I	G	前	前	月	5	2	12	—										
	7759	アゼンブリ	生	前	前	火	2	2	88	0.03	1回担当									
	7794	住生活論		前	前	火	3	2	23	0.50										
	7825	住設計応用演習 I		前	前	火	4	2	10	0.50										
	7796	都市環境創造論		前	前	木	2	2	11	0.50										
	7795	住設計基礎実習		前	前	木	4	2	13	0.50										
	7795	住設計基礎実習		前	前	木	5	2	13	0.50										
	7681	生活創造専門演習	住	通年	前	金	2	4	10	0.50										
	7925	美術と文化		後	後	月	1	2	43	0.27	8回担当、(遠藤・川部)									
	7803	住宅CAD設計 II		後	後	月	3	2	10	0.50										
	7756	生活学基礎演習 II	住	後	後	月	4	2	8	0.50										
	7760	アゼンブリ II	生	後	後	火	2	2	90	0.03	1回担当									
	7826	住設計応用演習 II		後	後	火	4	2	10	0.50										
	7799	住宅空間設計演習		後	後	木	1	2	8	0.50										
	7681	生活創造専門演習	住	通年	後	金	2	4	10	0.50										
	7815	基礎デザイン		前	前	月	2	2	19	0.50										
	かわべ だいすけ 川部 大輔(男) 昭和49年2月11日 45歳	7698	芸術文化創造論		前	前	月	3	2	0	—						5.98	准教授		平成8年3月 北海道教育大学 教育学部 札幌校 芸術文化課程 美術・工芸コース 卒業 学士(芸術文化) 北海道教育大学
		7741	生活学基礎演習I	A	前	前	月	5	2	12	0.50					学科教員7名で分担				
		7742	生活学基礎演習I	B	前	前	月	5	2	13	—									
7743		生活学基礎演習I	C	前	前	月	5	2	13	—										
7744		生活学基礎演習I	D	前	前	月	5	2	13	—										
7745		生活学基礎演習I	E	前	前	月	5	2	13	—										
7746		生活学基礎演習I	F	前	前	月	5	2	12	—										
7747		生活学基礎演習I	G	前	前	月	5	2	12	—										
7759		アゼンブリ	生	前	前	火	2	2	88	0.25	2人(川部・藤木)で分担									
7682		生活創造専門演習	ク	通年	前	火	3	4	14	0.50										
7832		グラフィックデザイン演習 I		前	前	木	3	2	16	0.50										
7814		写真表現		前	前	木	4	2	36	0.50										
7925		美術と文化		後	後	月	1	2	43	0.23	7回担当、(遠藤・川部)									
7757		生活学基礎演習 II	ク	後	後	月	3	2	16	0.50										
7682		生活創造専門演習	ク	通年	後	火	3	4	14	0.50										
7785		Webパブリッシング		後	後	火	5	2	32	0.50										
7819		グラフィックデザイン演習 II		後	後	木	3	2	15	0.50										
7833		デジタルグラフィックス基礎		後	後	木	4	2	36	0.50										
7831		グラフィックデザイン論		後	後	金	5	2	33	0.50										
かざと まり 風戸 真理(女) 昭和48年4月17日 45歳		7741	生活学基礎演習I	A	前	前	月	5	2	12	0.50	学科教員7名で分担	5.50	講師		平成15年3月 京都大学大学院 人間・環境学研究所 文化・地域環境学専攻 博士後期課程 単位取得後退学 博士(人間・環境学) 京都大学大学院				
		7742	生活学基礎演習I	B	前	前	月	5	2	13	—									
		7743	生活学基礎演習I	C	前	前	月	5	2	13	—									
		7744	生活学基礎演習I	D	前	前	月	5	2	13	—									
		7745	生活学基礎演習I	E	前	前	月	5	2	13	—									
		7746	生活学基礎演習I	F	前	前	月	5	2	12	—									
		7747	生活学基礎演習I	G	前	前	月	5	2	12	—									
	7674	生活創造専門演習	文	通年	前	火	4	4	11	0.50										
	7915	社会学 I	短	前	前	木	2	2	43	0.50										
	7761	社会調査法		前	前	金	3	2	13	0.50										
	7731	国際社会論		後	後	月	2	2	25	0.50										
	7752	生活学基礎演習 II	文	後	後	月	3	2	13	0.50										
	7762	家族文化論		後	後	火	3	2	34	0.50										
	7674	生活創造専門演習	文	通年	後	火	4	4	11	0.50										
	7917	社会学 II	短	後	後	木	2	2	22	0.50										
	7813	現代女性とキャリア		後	後	木	3	2	91	0.50										
	7696	生活文化創造論		後	後	金	3	2	89	0.50										

17 専任教員個別表〔2019年度〕短期大学部

(表V-17-5)

ふりがな 氏名(性別)	授業科目												職名	就職年月日 現職就任年月日	学内兼任、 分担その他 教務の分担	最終学歴及び学位称号	
	毎週授業コマ数																
	履修 コード	科目名	クラス	開 講 期	担 当 期	曜 日	講 時	単 位	履 修 者 数	コマ数	備考	合計 コマ数					
ふじき あきこ 藤木 晶子(女) 昭和54年11月13日 39歳	7909	心理学Ⅰ	短B	前	前	月	1	2	79	0.50		5.75	講師	平成29年4月1日	平成29年4月1日	平成23年3月 北海道大学 大学院 文学研究科 人間システム科学専攻 博士課程 単位取得後退学 博士(文学) 北海道大学大学院	
	7741	生活学基礎演習Ⅰ	A	前	前	月	5	2	12	0.50	学科教員7名で分担						
	7742	生活学基礎演習Ⅰ	B	前	前	月	5	2	13	—							
	7743	生活学基礎演習Ⅰ	C	前	前	月	5	2	13	—							
	7744	生活学基礎演習Ⅰ	D	前	前	月	5	2	13	—							
	7745	生活学基礎演習Ⅰ	E	前	前	月	5	2	13	—							
	7746	生活学基礎演習Ⅰ	F	前	前	月	5	2	12	—							
	7747	生活学基礎演習Ⅰ	G	前	前	月	5	2	12	—							
	7759	アセンブリⅠ	生	前	前	火	2	2	88	0.25	2人(川部・藤木)で分担						
	7672	生活創造専門演習	心	通年	前	火	5	4	14	0.50							
	7716	生活心理学研究法			前	木	3	2	14	0.50							
	7692	基礎情報処理	A	前	前	金	4	2	24	0.25	2人(内山・藤木)で分担						
	7693	基礎情報処理	B	前	前	金	4	2	20	0.25	2人(内山・藤木)で分担						
	7694	基礎情報処理	C	前	前	金	5	2	23	0.25	2人(内山・藤木)で分担						
	7695	基礎情報処理	D	前	前	金	5	2	21	0.25	2人(内山・藤木)で分担						
	7751	生活学基礎演習Ⅱ	心	後	後	月	3	2	8	0.50							
	7713	社会心理学	生	後	後	月	5	2	11	0.50							
	7910	心理学Ⅱ	短B	後	後	火	1	2	74	0.50							
	7672	生活創造専門演習	心	通年	後	火	5	4	14	0.50							
	7712	発達心理学	生	後	後	木	3	2	29	0.50							
	やまもと しんべい 山本 慎平(男) 昭和57年7月9日 36歳	7741	生活学基礎演習Ⅰ	A	前	前	月	5	2	12	0.50						学科教員7名で分担
7742		生活学基礎演習Ⅰ	B	前	前	月	5	2	13	—							
7743		生活学基礎演習Ⅰ	C	前	前	月	5	2	13	—							
7744		生活学基礎演習Ⅰ	D	前	前	月	5	2	13	—							
7745		生活学基礎演習Ⅰ	E	前	前	月	5	2	13	—							
7746		生活学基礎演習Ⅰ	F	前	前	月	5	2	12	—							
7747		生活学基礎演習Ⅰ	G	前	前	月	5	2	12	—							
7677		生活創造専門演習	経	通年	前	火	3	4	16	0.50							
7901		経済学Ⅰ	短	前	前	金	5	2	79	0.50							
7726		応用ビジネスコンピューティング		前	前	金	1	2	61	0.50							
7697		生活経済創造論		前	前	金	3	2	88	0.50							
7724		ビジネスコンピューティング		1	後	後	月	2	2	41	0.50						
7754		生活学基礎演習Ⅱ	経	後	後	月	3	2	17	0.50							
7721		生活とサービス産業		後	後	月	5	2	44	0.50							
7760		アセンブリⅡ	生	後	後	火	2	2	90	0.25	2人(内山・山本)で分担						
7677		生活創造専門演習	経	通年	後	火	3	4	16	0.50							
7725		ビジネスコンピューティング		2	後	後	木	1	2	41	0.50						
7919	経済学Ⅱ	短	後	後	木	5	2	50	0.50								
7732	経営情報論	生	後	後	金	4	2	42	0.50								
ばんない ただし 坂内 正(男) 昭和26年4月2日 67歳	7091	ボキャブラリー・ビルディングⅠ	A	前	前	月	2	1	28	0.50		2.00	教授	平成5年4月1日	平成24年3月 北海道大学大学院 教育学研究科 教育学専攻 修士課程 修了		
	7094	ボキャブラリー・ビルディングⅠ	D	前	前	月	3	1	30	0.50							
	7255	比較文化Ⅰ		前	前	火	1	2	29	0.50							
	7313	日英言語文化比較Ⅰ		前	前	金	3	2	46	0.50							
	7256	比較文化Ⅱ		後	後	火	1	2	16	—	後期担当せず						
	7315	日英言語文化比較Ⅱ		後	後	木	1	2	17	—	後期担当せず						
	7097	ボキャブラリー・ビルディングⅡ	B	後	後	金	3	1	29	—	後期担当せず						
	7098	ボキャブラリー・ビルディングⅡ	C	後	後	金	4	1	27	—	後期担当せず						
ろばと げていんぐす ロバート・ゲティンクス(男) 昭和27年10月28日 66歳	7056	英作文Ⅰ	C2	前	前	火	4	1	13	0.50		5.00	教授	平成4年4月1日	昭和59年12月 米国ケンブリッジ大学大学院 教育学部 修士課程 修了 M.A.(教育学修士) 米国ケンブリッジ大学大学院		
	7881	英語Ⅰ	A	前	前	水	2	1	30	0.50							
	3125	ビジネス英語Ⅰ	経	前	前	水	4	2	6	—	3416でカウント						
	3416	実践英語Ⅰ		前	前	水	4	2	3	0.50							
	7457	History(歴史)Ⅰ		前	前	水	5	2	69	0.50							
	7031	オーラル・イングリッシュⅠ	A1	前	前	木	3	2	14	0.25	45分授業						
	7033	オーラル・イングリッシュⅠ	B1	前	前	木	3	2	14	0.25	45分授業						
	7066	英作文Ⅱ	C2	後	後	火	4	1	15	0.50							
	7886	英語Ⅱ	A	後	後	水	2	1	31	0.50							
	3126	ビジネス英語Ⅱ	経	後	後	水	4	2	6	—	3417でカウント						
	3417	実践英語Ⅱ		後	後	水	4	2	3	0.50							
	7459	History(歴史)Ⅱ		後	後	水	5	2	72	0.50							
	7041	オーラル・イングリッシュⅡ	A1	後	後	木	3	2	15	0.25	45分授業						
	7043	オーラル・イングリッシュⅡ	B1	後	後	木	3	2	14	0.25	45分授業						
なかむら こう 中村 浩(男) 昭和26年9月5日 67歳	8004	心理学Ⅰ	B	前	前	月	2	2	139	0.50		3.50	教授	平成12年4月1日	昭和54年3月 日本大学大学院 文学研究科 心理学専攻 博士後期課程 単位取得後退学		
	8005	心理学Ⅰ	C	前	前	水	2	2	208	0.50							
	7916	心理学Ⅰ	短A	前	前	水	4	2	48	0.50							
	7715	カウンセリング論	生	前	前	金	4	2	20	0.50							
	7918	心理学Ⅱ	短A	後	後	水	4	2	33	0.50							
	6895	認知発達論		後	後	金	2	2	43	0.50							
	7714	生活心理学		後	後	金	4	2	20	0.50							

2013年度以降入学生

(表V-18-1)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布											評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	欠無	W	
社会学 I	水川 喜文	104	102	78	1	8	25	21	15	8	2	2	3	18	1	2.35
英語 I (コA)	ケビン リトン	20	20	19	0	7	9	2	1	0	0	0	0	1	0	3.07
英語 I (コB)	棚瀬 江里哉	30	30	29	2	16	5	4	1	1	0	0	0	1	0	3.17
英語 I (コC)	木村 有咲	16	16	14	0	2	7	3	1	1	0	0	0	2	0	2.75
英語 I (経済A)	デイビット フレナー	20	20	19	7	9	1	1	0	1	0	0	0	1	0	3.47
英語 I (経済B)	川名 早苗	20	20	20	0	1	9	7	3	0	0	0	0	0	0	2.7
英語 I (経済C)	J. E. アリソン	23	23	23	0	0	9	10	4	0	0	0	0	0	0	2.6
英語 I (経済D)	中屋 晃	24	24	24	0	5	6	9	3	1	0	0	0	0	0	2.7
英語 I (経済E)	T. ゲッツ	19	19	19	0	0	6	8	4	1	0	0	0	0	0	2.47
英語 I (経済F)	棚瀬 江里哉	19	19	19	1	4	7	3	3	1	0	0	0	0	0	2.81
英語 I (経済G)	ジョエル ライアン	20	20	20	0	5	10	2	3	0	0	0	0	0	0	2.92
英語 I (経部H)	重成 美雪	20	20	20	0	13	5	0	1	1	0	0	0	0	0	3.17
英語 I (経部I)	T. ゲッツ	20	20	20	0	3	11	6	0	0	0	0	0	0	0	2.92
英語 I (経部J)	ブリックリン セフ	23	23	21	0	0	5	3	11	2	0	0	0	2	0	2.21
英語 I (経部K)	村井 泰廣	24	24	24	0	3	9	8	4	0	0	0	0	0	0	2.72
英語 I (経部L)	ジェラルド ハルボースン	25	24	24	0	1	6	9	5	3	0	0	0	0	0	2.27
英語 I (経部M)	デイビット フレナー	25	25	24	0	6	15	2	0	1	0	0	0	1	0	3
英語 I (経部N)	中村 亜希	24	24	23	0	1	2	7	12	1	0	0	0	1	0	2.26
英語 I (経済O)	中村 亜希	19	19	19	0	0	4	8	6	1	0	0	0	0	0	2.36
英語 I (社部A)	ケビン リトン	20	20	20	0	4	10	4	2	0	0	0	0	0	0	2.9
英語 I (社部B)	西原 明希	20	20	20	3	10	6	1	0	0	0	0	0	0	0	3.37
英語 I (社部C)	木村 有咲	30	30	30	1	16	9	2	2	0	0	0	0	0	0	3.2
英語 I (社部D)	中屋 晃	25	25	25	0	4	9	8	4	0	0	0	0	0	0	2.76
英語 I (社部E)	アン ミラー	27	27	26	0	12	11	3	0	0	0	0	0	1	0	3.17
英語 I (社部F)	川名 早苗	26	26	23	0	1	10	9	3	0	1	1	0	2	0	2.58
英語 II (コA)	木村 有咲	18	18	17	0	5	10	1	1	0	0	0	0	1	0	3.05
英語 II (コB)	ケビン リトン	29	29	28	0	2	10	6	6	4	0	0	0	1	0	2.42
英語 II (コC)	棚瀬 江里哉	23	22	18	0	4	6	4	3	1	0	0	0	4	0	2.57
英語 II (経済A)	川名 早苗	20	20	15	0	8	5	1	1	0	0	0	0	5	0	3.16
英語 II (経済B)	デイビット フレナー	20	20	19	0	3	10	4	2	0	0	0	0	1	0	2.86
英語 II (経済C)	中屋 晃	23	23	23	2	9	3	7	2	0	0	0	0	0	0	3.04
英語 II (経済D)	J. E. アリソン	24	24	21	0	0	4	6	4	7	2	2	0	1	0	1.82
英語 II (経済E)	ジョエル ライアン	21	21	20	0	3	12	1	3	1	0	0	0	1	0	2.8
英語 II (経済F)	T. ゲッツ	23	22	22	0	5	7	7	1	2	0	0	0	0	0	2.6
英語 II (経済G)	棚瀬 江里哉	24	23	22	1	4	5	7	3	2	0	0	0	1	0	2.54
英語 II (経部H)	T. ゲッツ	19	19	19	0	8	5	4	1	1	0	0	0	0	0	2.94
英語 II (経部I)	村井 泰廣	19	19	17	0	2	8	6	0	1	0	0	0	2	0	2.76
英語 II (経部J)	デイビット フレナー	24	24	21	2	5	8	6	0	0	0	0	0	3	0	3.07
英語 II (経部K)	ジェラルド ハルボースン	26	26	24	4	9	8	2	1	0	0	0	0	2	0	3.27
英語 II (経部L)	重成 美雪	28	27	25	1	2	9	9	3	1	0	0	0	2	0	2.59
英語 II (経部M)	中村 亜希	28	28	24	1	3	18	1	1	0	0	0	0	4	0	3.04
英語 II (経部N)	ブリックリン セフ	27	26	23	0	0	0	4	10	9	1	1	1	1	0	1.5
英語 II (経済O)	中村 亜希	23	23	21	0	3	9	7	2	0	0	0	0	2	0	2.8
英語 II (社部A)	川名 早苗	19	19	19	0	9	6	4	0	0	0	0	0	0	0	3.13
英語 II (社部B)	ケビン リトン	20	20	20	0	3	14	2	1	0	0	0	0	0	0	2.97
英語 II (社部C)	中屋 晃	26	26	26	4	11	4	6	1	0	0	0	0	0	0	3.21
英語 II (社部D)	アン ミラー	26	26	24	1	6	10	3	4	0	0	0	0	2	0	2.93
英語 II (社部E)	J. E. アリソン	29	29	25	0	6	7	8	1	3	0	0	0	4	0	2.68
英語 II (社部F)	木村 有咲	28	26	24	0	1	2	13	5	3	0	0	0	2	0	2.11
英語 III (コA)	西原 明希	15	15	15	2	10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3.46
英語 III (コB)	ロバート ジョンソン	27	27	24	0	5	13	6	0	0	0	0	0	2	1	2.97
英語 III (コC)	ケビン リトン	32	32	27	0	5	8	7	6	1	1	1	0	4	0	2.57
英語 III (経部A)	ブリックリン セフ	23	23	22	0	3	16	3	0	0	0	0	0	1	0	3
英語 III (経部B)	リン アイビー	20	20	18	5	5	4	4	0	0	1	1	0	0	1	3.07
英語 III (経部C)	アン ミラー	34	34	33	3	10	12	4	2	2	0	0	0	0	1	2.91
英語 III (経部D)	黒澤 藤子	31	30	29	0	1	15	12	1	0	0	0	0	1	0	2.77
英語 III (経部E)	ジェラルド ハルボースン	29	29	28	0	3	9	9	7	0	0	0	0	1	0	2.64
英語 III (経部F)	村井 泰廣	28	28	25	1	3	5	13	3	0	0	0	0	3	0	2.72

2013年度以降入学生

(表V-18-2)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP	
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W				
英語Ⅲ(経部G)	デイビッド フレナー	32	32	31	0	4	20	5	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2.91
英語Ⅲ(経部H)	クリストファー カートニー	29	29	27	0	2	15	10	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2.85	
英語Ⅲ(経部I)	重成 美雪	30	30	26	0	3	6	11	5	1	2	2	0	2	0	2	0	2.39	
英語Ⅲ(社部A)	デイビッド フレナー	14	14	14	2	9	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.46	
英語Ⅲ(社部B)	西原 明希	33	33	32	0	14	13	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3.12	
英語Ⅲ(社部C)	ロバート ジョンソン	31	31	29	0	1	11	12	4	1	0	0	0	2	0	0	0	2.6	
英語Ⅲ(社部D)	川名 早苗	34	34	33	2	9	12	8	2	0	0	0	0	1	0	0	0	3.01	
英語Ⅲ(社部E)	ケビン リトン	29	29	24	0	3	11	6	4	0	0	0	0	5	0	0	0	2.77	
英語Ⅳ(コA)	ケビン リトン	15	15	15	1	7	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.2	
英語Ⅳ(コB)	西原 明希	32	32	30	1	15	7	5	2	0	0	0	0	2	0	0	0	3.13	
英語Ⅳ(コC)	ロバート ジョンソン	35	34	29	0	6	11	7	4	1	0	0	0	5	0	0	0	2.68	
英語Ⅳ(経部A)	リン アイビー	22	22	21	3	6	9	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3.06	
英語Ⅳ(経部B)	ブリックリン セフ	19	19	18	0	3	11	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2.81	
英語Ⅳ(経部C)	村井 泰廣	34	34	31	3	4	13	11	0	0	0	0	0	2	1	0	0	2.98	
英語Ⅳ(経部D)	アン ミラー	33	32	29	1	3	20	4	1	0	0	0	0	3	0	0	0	2.98	
英語Ⅳ(経部E)	黒澤 藤子	31	31	29	0	5	14	9	1	0	0	0	0	2	0	0	0	2.89	
英語Ⅳ(経部F)	クリストファー カートニー	29	27	26	0	5	17	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2.8	
英語Ⅳ(経部G)	ジェラルド ハルボローゼン	31	30	30	0	2	2	18	6	2	0	0	0	0	0	0	0	2.32	
英語Ⅳ(経部H)	デイビッド フレナー	28	28	27	0	7	12	8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2.98	
英語Ⅳ(経部I)	重成 美雪	29	27	25	0	5	10	8	2	0	0	0	0	2	0	0	0	2.64	
英語Ⅳ(社部A)	西原 明希	15	14	12	4	5	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3.26	
英語Ⅳ(社部B)	デイビッド フレナー	35	35	34	12	20	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3.61	
英語Ⅳ(社部C)	川名 早苗	33	33	30	0	10	15	4	1	0	0	0	0	3	0	0	0	3.06	
英語Ⅳ(社部D)	ケビン リトン	34	34	31	1	3	21	4	2	0	0	0	0	3	0	0	0	2.95	
英語Ⅳ(社部E)	ロバート ジョンソン	29	28	22	0	1	2	11	7	1	0	0	0	6	0	0	0	2.26	
ドイツ語Ⅰ(文部)	増田 好純	22	22	20	3	4	1	0	6	6	2	2	0	0	0	0	0	2.13	
ドイツ語Ⅰ(経部)	増田 好純	20	20	20	2	0	3	3	7	5	0	0	0	0	0	0	0	2.17	
ドイツ語Ⅰ(社部)	下田 恭子	25	25	23	1	2	4	3	7	6	0	0	1	1	0	0	0	2.1	
ドイツ語Ⅱ(文部)	増田 好純	27	25	23	9	4	4	2	4	0	0	0	0	2	0	0	0	3	
ドイツ語Ⅱ(経部)	増田 好純	20	20	17	5	4	8	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3.41	
ドイツ語Ⅱ(社部)	下田 恭子	25	23	21	1	4	4	0	8	4	0	0	0	2	0	0	0	2.17	
ドイツ語Ⅲ(文部)	増田 好純	26	26	23	8	5	3	2	4	1	1	1	0	1	1	0	0	2.9	
ドイツ語Ⅲ(経部)	増田 好純	15	15	12	1	2	3	4	0	2	0	0	0	3	0	0	0	2.66	
ドイツ語Ⅲ(社部)	下田 恭子	16	16	15	3	1	6	2	1	2	0	0	0	1	0	0	0	2.83	
ドイツ語Ⅳ(文部)	増田 好純	27	25	22	12	3	4	3	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3.39	
ドイツ語Ⅳ(経部)	増田 好純	15	15	13	1	4	5	2	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3.07	
ドイツ語Ⅳ(社部)	下田 恭子	16	15	14	2	3	5	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	2.76	
フランス語Ⅰ(文部)	高野 真理子	15	15	14	4	3	4	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	2.96	
フランス語Ⅰ(経部)	林 宏和	16	16	16	2	3	3	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2.81	
フランス語Ⅰ(社部)	高野 真理子	19	19	17	1	3	0	4	5	4	0	0	0	2	0	0	0	2.26	
フランス語Ⅱ(文部)	高野 真理子	20	20	17	1	5	4	2	4	1	1	1	0	2	0	0	0	2.63	
フランス語Ⅱ(経部)	林 宏和	20	20	15	1	2	3	6	1	2	1	1	0	3	1	0	0	2.43	
フランス語Ⅱ(社部)	高野 真理子	19	18	15	1	2	2	2	5	3	1	1	1	1	0	0	0	1.94	
フランス語Ⅲ(文部)	五味田 泰	28	28	25	4	4	5	2	7	3	0	0	0	2	1	0	0	2.68	
フランス語Ⅲ(経部)	林 宏和	15	15	15	2	1	4	1	4	3	0	0	0	0	0	0	0	2.46	
フランス語Ⅲ(社部)	林 宏和	14	14	13	3	5	1	2	2	0	0	0	0	1	0	0	0	3.19	
フランス語Ⅳ(文部)	五味田 泰	27	27	24	2	2	5	7	4	4	0	0	1	2	0	0	0	2.38	
フランス語Ⅳ(経部)	林 宏和	13	13	13	2	2	1	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2.61	
フランス語Ⅳ(社部)	林 宏和	14	13	13	2	4	2	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2.67	
韓国語Ⅰ(文部A)	松田 由紀	24	24	22	3	8	3	4	2	2	0	0	0	2	0	0	0	2.95	
韓国語Ⅰ(文部B)	千 永柱	27	27	27	8	8	4	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	3.2	
韓国語Ⅰ(経部A)	鄭 斗鎬	22	22	21	3	3	6	4	5	0	0	0	0	1	0	0	0	2.88	
韓国語Ⅰ(経部B)	芳賀 恵	22	22	22	2	7	4	7	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2.95	
韓国語Ⅰ(経部C)	松田 由紀	26	26	25	3	6	8	5	1	2	1	1	0	0	0	0	0	2.82	
韓国語Ⅰ(経部D)	千 永柱	26	26	26	4	7	6	6	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3.01	
韓国語Ⅰ(社部A)	松田 由紀	25	25	25	4	7	9	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3.1	
韓国語Ⅰ(社部B)	瀧元 智恵	25	25	24	5	5	6	2	3	3	1	1	0	0	0	0	0	2.78	
韓国語Ⅱ(文部A)	千 永柱	22	22	20	4	3	5	2	2	4	0	0	0	1	1	0	0	2.72	

2013年度以降入学生

(表V-18-3)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	欠無	W			
韓国語Ⅱ(文部B)	松田 由紀	21	21	18	1	3	4	3	4	3	1	1	0	2	0	2.36		
韓国語Ⅱ(経部A)	鄭 根珠	23	23	21	3	4	7	4	3	0	0	0	0	2	0	3		
韓国語Ⅱ(経部B)	曹 順姫	25	25	24	2	5	6	4	6	1	0	0	0	1	0	2.77		
韓国語Ⅱ(経部C)	鄭 斗鎬	26	26	26	3	7	8	1	3	4	0	0	0	0	0	2.8		
韓国語Ⅱ(経部D)	芳賀 恵	26	26	24	2	6	4	7	3	2	1	1	0	0	1	2.66		
韓国語Ⅱ(社部A)	瀧元 智恵	27	27	26	4	3	7	6	4	2	0	0	0	0	1	2.78		
韓国語Ⅱ(社部B)	松田 由紀	27	26	23	2	3	4	4	4	6	1	1	0	1	1	2.18		
韓国語Ⅲ(文部A)	鄭 根珠	21	21	13	1	2	5	4	1	0	0	0	0	1	7	2.92		
韓国語Ⅲ(文部B)	鄭 根珠	21	21	19	2	1	6	7	2	1	0	0	0	0	2	2.73		
韓国語Ⅲ(経部A)	崔 鉉鎮	35	35	31	2	5	8	11	4	1	0	0	0	4	0	2.77		
韓国語Ⅲ(経部B)	千 永柱	32	32	29	6	6	8	5	2	2	0	0	0	0	3	3.01		
韓国語Ⅲ(社部A)	瀧元 智恵	28	28	26	3	3	3	5	4	8	0	0	0	1	1	2.3		
韓国語Ⅲ(社部B)	瀧元 智恵	28	28	27	3	6	6	6	5	1	1	1	0	0	0	2.75		
韓国語Ⅳ(文部A)	鄭 根珠	15	14	9	1	2	3	2	1	0	0	0	0	1	4	2.7		
韓国語Ⅳ(文部B)	井上 敦子	18	18	13	1	0	5	2	4	1	1	1	0	2	2	2.35		
韓国語Ⅳ(経部A)	曹 順姫	34	34	31	3	5	10	8	2	3	0	0	0	3	0	2.79		
韓国語Ⅳ(経部B)	鄭 根珠	30	30	29	2	4	9	6	3	5	0	0	0	0	1	2.58		
韓国語Ⅳ(社部A)	瀧元 智恵	29	28	27	3	6	5	7	4	2	0	0	0	1	0	2.69		
韓国語Ⅳ(社部B)	芳賀 恵	29	29	29	3	4	9	5	6	2	0	0	0	0	0	2.74		
中国語Ⅰ(文部A)	藤井 得弘	23	23	23	13	6	3	0	0	1	0	0	0	0	0	3.6		
中国語Ⅰ(文部B)	森若 裕子	21	21	21	8	8	4	1	0	0	0	0	0	0	0	3.54		
中国語Ⅰ(文部C)	網谷 義男	20	20	19	7	8	2	1	1	0	0	0	0	1	0	3.5		
中国語Ⅰ(経部A)	清水 賢一郎	22	22	19	2	5	5	5	1	1	0	0	2	1	0	2.66		
中国語Ⅰ(経部B)	山本 範子	22	22	22	0	5	13	3	1	0	0	0	0	0	0	3		
中国語Ⅰ(経部C)	日野杉 匡大	23	23	22	7	5	4	5	1	0	0	0	0	1	0	3.27		
中国語Ⅰ(経部D)	網谷 義男	23	23	22	1	3	7	7	1	3	0	0	0	1	0	2.63		
中国語Ⅰ(経部E)	田中 英夫	22	22	22	1	3	6	7	4	1	0	0	0	0	0	2.68		
中国語Ⅰ(社部)	藤井 得弘	25	25	22	1	9	7	2	1	2	0	0	1	2	0	2.84		
中国語Ⅰ(文部D)	田中 英夫	22	22	21	8	6	3	2	2	0	0	0	1	0	0	3.22		
中国語Ⅱ(文部A)	胡 慧君	24	24	21	12	8	1	0	0	0	1	1	2	0	0	3.29		
中国語Ⅱ(文部B)	森若 裕子	23	23	23	7	9	3	2	1	1	0	0	0	0	0	3.32		
中国語Ⅱ(文部C)	胡 慧君	21	20	18	8	7	1	1	0	1	0	0	0	0	2	3.31		
中国語Ⅱ(経部A)	清水 賢一郎	24	24	20	3	4	5	5	2	1	0	0	0	4	0	2.92		
中国語Ⅱ(経部B)	山本 範子	23	23	19	5	4	4	4	2	0	0	0	0	3	1	3.15		
中国語Ⅱ(経部C)	日野杉 匡大	24	23	20	6	4	4	2	3	1	0	0	1	2	0	2.81		
中国語Ⅱ(経部D)	網谷 義男	26	26	22	0	4	6	6	4	2	0	0	0	4	0	2.59		
中国語Ⅱ(経部E)	森若 裕子	22	22	17	0	0	6	5	3	3	0	0	2	3	0	2.07		
中国語Ⅱ(社部)	胡 慧君	27	24	21	3	3	7	5	2	1	2	2	1	0	0	2.25		
中国語Ⅱ(文部D)	藤井 得弘	24	24	21	5	6	1	5	3	1	1	1	1	1	0	2.76		
中国語Ⅲ(文部A)	山本 範子	24	24	24	9	5	1	3	3	3	0	0	0	0	0	3.04		
中国語Ⅲ(文部B)	山本 範子	28	28	26	10	12	3	0	1	0	0	0	0	2	0	3.57		
中国語Ⅲ(文部C)	山田 敦士	27	27	26	5	13	5	0	1	2	0	0	0	1	0	3.25		
中国語Ⅲ(経部A)	山本 範子	29	29	27	6	8	4	5	3	1	2	2	0	0	0	2.87		
中国語Ⅲ(経部B)	日野杉 匡大	23	23	22	6	7	1	5	2	1	1	1	0	0	0	3		
中国語Ⅲ(社部A)	森若 裕子	18	18	18	3	2	5	3	1	4	0	0	0	0	0	2.63		
中国語Ⅲ(社部B)	藤井 得弘	22	22	21	2	4	6	2	2	5	1	1	0	0	0	2.45		
中国語Ⅲ(経部C)	胡 慧君	24	24	23	0	2	7	6	3	5	1	1	0	0	0	2.25		
中国語Ⅳ(文部A)	山本 範子	25	25	23	10	3	2	6	1	1	0	0	0	2	0	3.23		
中国語Ⅳ(文部B)	山本 範子	28	28	27	14	8	3	2	0	0	0	0	0	0	1	3.62		
中国語Ⅳ(文部C)	山田 敦士	26	26	24	5	11	3	4	0	1	0	0	1	0	1	3.14		
中国語Ⅳ(経部A)	山本 範子	30	30	27	6	8	6	3	2	2	2	2	0	1	0	2.87		
中国語Ⅳ(経部B)	日野杉 匡大	25	24	23	8	4	4	4	1	2	0	0	1	0	0	2.88		
中国語Ⅳ(社部A)	張 阿金	16	16	16	3	2	1	6	1	3	0	0	0	0	0	2.62		
中国語Ⅳ(社部B)	藤井 得弘	20	19	18	6	3	2	3	2	2	0	0	0	1	0	2.84		
中国語Ⅳ(経部C)	胡 慧君	24	24	22	1	9	2	5	4	1	0	0	2	0	0	2.62		
中国語Ⅰ(経部F)	倉 雅晨	24	24	23	6	7	6	2	2	0	0	0	1	0	0	3.14		
中国語Ⅱ(経部F)	日野杉 匡大	28	28	23	3	11	7	1	0	1	0	0	0	5	0	3.26		
英語と文化(B)	J. E. アリソン	24	24	20	1	3	4	4	3	5	0	0	1	2	1	2.26		

2013年度以降入学生

(表V-18-4)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP	
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W				
英語と文化(A)	西原 明希	21	20	19	7	5	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3
海外事情(英語B)	J. E. アリソン	14	14	14	1	7	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.28
海外事情(英語A)	西原 明希	18	18	17	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3.97	
上級英語 I	T. ゲッツ	30	29	29	0	6	10	9	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2.68	
上級英語 II	西原 明希	23	22	18	6	5	4	3	0	0	0	0	0	0	2	2	0	3.21	
ドイツ語と文化	増田 好純	8	8	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	
海外事情(ドイツ語)	増田 好純	5	5	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
上級ドイツ語 I	トーラルフ ハイネマン	9	8	7	0	2	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	
上級ドイツ語 II	トーラルフ ハイネマン	7	7	7	1	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2.64	
フランス語と文化	五味田 泰	10	10	9	1	2	1	2	3	0	0	0	0	0	0	1	0	2.77	
海外事情(フランス語)	五味田 泰	5	5	5	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.1	
上級フランス語 I	五味田 泰	10	10	10	2	1	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2.75	
上級フランス語 II	五味田 泰	10	9	9	2	0	2	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2.5	
中国語と文化	山本 範子	24	24	22	14	2	4	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3.63	
海外事情(中国語)	山本 範子	29	29	29	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
上級中国語 I	山本 範子	35	35	34	9	6	11	4	4	0	0	0	0	0	1	0	0	3.17	
上級中国語 II	山本 範子	34	32	32	7	7	6	5	5	2	0	0	0	0	0	0	0	2.79	
韓国語と文化	鄭 根珠	24	24	22	6	8	5	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	3.36	
海外事情(韓国語)	鄭 根珠	12	12	12	3	6	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.45	
上級韓国語 I	鄭 根珠	26	26	25	1	12	9	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3.22	
上級韓国語 II	鄭 根珠	10	10	9	3	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3.27	
外国語演習[英語]	西原 明希	14	14	13	3	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3.61	
外国語演習[ドイツ語]	増田 好純	10	10	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
外国語演習[フランス語]	五味田 泰	9	9	9	0	2	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.88	
外国語演習[中国語]	山本 範子	28	27	25	9	2	7	5	0	2	0	0	0	0	1	1	0	3.01	
外国語演習[韓国語]	鄭 根珠	5	5	5	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.7	
Basic Speaking I (I n)	J. ラケット	10	10	10	1	4	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.15	
Basic Speaking I (A)	メアリー ヴァーゼル	12	12	12	0	5	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.16	
Basic Speaking I (B)	ティモシー ブランクリー	12	12	12	1	4	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.04	
Basic Speaking I (C)	スティーヴン バロー	12	12	12	0	1	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.91	
Basic Speaking I (D)	カレン クライン カタヤマ	12	12	12	8	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.75	
Basic Speaking I (E)	デビッド アンダーソン	13	13	13	6	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.46	
Basic Speaking I (F)	ウィリアム アンダーソン	13	13	13	0	4	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.15	
Basic Speaking I (G)	ブライアン バーンズ	11	11	11	3	3	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.22	
Basic Speaking I (H)	アン ミラー	13	13	12	3	7	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3.54	
Basic Speaking I (I)	ケンレイ フリーゼン	13	13	13	1	3	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.15	
Basic Speaking II (I n)	J. ラケット	10	10	10	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.7	
Basic Speaking II (A)	メアリー ヴァーゼル	12	12	12	2	4	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.29	
Basic Speaking II (B)	ティモシー ブランクリー	12	12	12	2	2	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2.79	
Basic Speaking II (C)	スティーヴン バロー	12	12	12	0	1	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.95	
Basic Speaking II (D)	カレン クライン カタヤマ	12	12	12	5	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.62	
Basic Speaking II (E)	デビッド アンダーソン	13	13	13	5	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	
Basic Speaking II (F)	ウィリアム アンダーソン	13	13	13	1	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.26	
Basic Speaking II (G)	ブライアン バーンズ	11	11	10	4	2	1	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3.3	
Basic Speaking II (H)	アン ミラー	13	13	13	2	5	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3.15	
Basic Speaking II (I)	ケンレイ フリーゼン	13	13	13	3	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.38	
イングリッシュ・ディスカッション I (A)	ピーター リームスト	11	11	10	2	0	2	3	1	2	0	0	0	0	1	0	0	2.31	
イングリッシュ・ディスカッション I (B)	ブリックリン ゼフ	17	17	16	0	0	4	8	4	0	0	0	0	0	0	1	0	2.5	
イングリッシュ・ディスカッション I (C)	マイケル ハース	19	19	18	0	0	4	12	2	0	0	0	0	0	1	0	0	2.55	
イングリッシュ・ディスカッション I (D)	ブリックリン ゼフ	20	20	20	0	6	9	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
イングリッシュ・ディスカッション I (E)	マイケル ハース	20	20	20	0	4	8	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2.82	
イングリッシュ・ディスカッション I (F)	ピーター リームスト	19	19	18	2	4	3	3	5	1	0	0	0	0	1	0	0	2.75	
イングリッシュ・ディスカッション I (G)	ハリー クリゲン	13	13	13	1	2	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2.84	
イングリッシュ・ディスカッション I (H)	ハリー クリゲン	10	10	10	0	4	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2.9	
イングリッシュ・ディスカッション II (A)	ピーター リームスト	12	10	8	0	0	3	2	3	0	1	1	0	1	0	1	0	1.81	
イングリッシュ・ディスカッション II (B)	ブリックリン ゼフ	19	18	17	0	4	10	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2.83	
イングリッシュ・ディスカッション II (C)	マイケル ハース	20	19	18	0	2	5	11	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2.6	
イングリッシュ・ディスカッション II (D)	ブリックリン ゼフ	20	20	20	4	10	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.42	

2013年度以降入学生

(表V-18-5)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布											評価傾向平 均GP		
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W			
イングリッシュ・ディスカッションⅡ(E)	マイケル ハース	20	17	17	0	3	9	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.47
イングリッシュ・ディスカッションⅡ(F)	ピーター リームスト	20	19	17	4	0	3	1	7	2	1	1	0	1	0	0	2.28	
イングリッシュ・ディスカッションⅡ(G)	ハリー クリゲン	15	12	11	1	4	2	3	0	1	0	0	0	0	1	0	2.32	
イングリッシュ・ディスカッションⅡ(H)	ハリー クリゲン	10	8	7	2	4	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2.72	
イングリッシュ・ディベートⅠ	J. ラケット	7	7	7	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.85	
イングリッシュ・ディベートⅡ	J. ラケット	7	5	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.71	
Basic Reading I (A)	マイケル ハース	24	24	23	1	5	6	7	3	1	0	0	1	0	0	0	2.66	
Basic Reading I (B)	デイビット フレナー	24	24	24	12	3	4	0	1	4	0	0	0	0	0	0	3.18	
Basic Reading I (C)	デビッド アンダーソン	24	24	24	6	6	3	5	4	0	0	0	0	0	0	0	3.1	
Basic Reading I (D)	デニス クイン	24	24	24	8	6	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	3.35	
Basic Reading I (E)	デイビット フレナー	25	25	25	13	5	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3.58	
Basic Reading II (A)	マイケル ハース	25	25	25	3	5	9	6	2	0	0	0	0	0	0	0	3.02	
Basic Reading II (B)	デイビット フレナー	24	24	24	9	9	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.56	
Basic Reading II (C)	デビッド アンダーソン	24	24	23	3	7	9	2	1	1	0	0	0	1	0	0	3.1	
Basic Reading II (D)	デニス クイン	24	24	23	6	8	4	4	1	0	1	1	0	0	0	0	3.16	
Basic Reading II (E)	デイビット フレナー	24	24	24	9	13	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3.6	
アカデミック・リーディングⅠ(A)	デニス クイン	24	24	22	4	7	7	2	2	0	2	2	0	0	0	0	2.93	
アカデミック・リーディングⅠ(B)	アン ミラー	31	31	27	3	12	8	0	0	4	0	0	0	4	0	0	3.03	
アカデミック・リーディングⅠ(C)	デイビット フレナー	24	24	21	8	8	5	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3.57	
アカデミック・リーディングⅠ(D)	デビッド アンダーソン	26	26	25	3	5	5	5	7	0	0	0	0	1	0	0	2.84	
アカデミック・リーディングⅠ(E)	マイケル ハース	29	29	29	3	4	8	10	4	0	0	0	0	0	0	0	2.86	
アカデミック・リーディングⅡ(A)	デニス クイン	25	25	24	4	6	6	5	3	0	1	1	0	0	0	0	2.94	
アカデミック・リーディングⅡ(B)	アン ミラー	28	27	25	4	9	9	2	1	0	0	0	0	2	0	0	3.13	
アカデミック・リーディングⅡ(C)	デイビット フレナー	23	23	20	9	7	3	1	0	0	0	0	0	3	0	0	3.6	
アカデミック・リーディングⅡ(D)	デビッド アンダーソン	26	26	25	0	1	4	5	11	4	0	0	0	1	0	0	2.16	
アカデミック・リーディングⅡ(E)	マイケル ハース	28	28	28	3	6	7	8	4	0	0	0	0	0	0	0	2.92	
Basic Composition I (A)	ピーター リームスト	19	19	18	2	4	7	4	1	0	0	0	0	1	0	0	3.05	
Basic Composition I (B)	アラン ボゼア	20	20	20	1	8	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.22	
Basic Composition I (C)	ダイアナ シュガーマン	21	21	21	1	7	10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3.14	
Basic Composition I (D)	ハリー クリゲン	20	20	18	1	10	6	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3.3	
Basic Composition I (E)	スティーヴン バロー	21	21	21	0	5	11	5	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
Basic Composition I (F)	J. カートライト	20	20	20	7	4	2	6	1	0	0	0	0	0	0	0	3.25	
Basic Composition II (A)	ピーター リームスト	21	21	21	3	8	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	3.11	
Basic Composition II (B)	アラン ボゼア	22	22	22	4	3	11	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3.15	
Basic Composition II (C)	ダイアナ シュガーマン	20	20	20	1	7	9	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3.12	
Basic Composition II (D)	ハリー クリゲン	18	18	17	3	6	6	2	0	0	1	1	0	0	0	0	3.11	
Basic Composition II (E)	スティーヴン バロー	20	20	19	1	2	10	6	0	0	0	0	0	1	0	0	2.94	
Basic Composition II (F)	J. カートライト	20	20	20	5	7	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	3.3	
英文法クリニック(A)	高橋 克依	122	122	117	10	22	21	14	26	24	4	4	0	1	0	0	2.4	
英文法クリニック(再履修)(a)	高橋 克依	5	5	5	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1.7	
基礎演習Ⅰ(A)	斎藤 彩世	16	16	15	10	1	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3.66	
基礎演習Ⅰ(B)	島田 桂子	15	15	15	3	5	4	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3.06	
基礎演習Ⅰ(C)	江口 均	16	16	16	7	4	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3.5	
基礎演習Ⅰ(D)	中地 美枝	15	15	15	6	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.6	
基礎演習Ⅰ(E)	長谷川 典子	15	15	15	9	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3.6	
基礎演習Ⅰ(F)	高野 照司	15	15	14	1	5	4	2	1	1	1	1	0	0	0	0	2.76	
基礎演習Ⅰ(G)	柳町 智治	16	16	16	2	6	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3.25	
基礎演習Ⅰ(H)	湊 史郎	16	16	16	6	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.59	
基礎演習Ⅱ(A)	江口 均	19	19	18	4	2	9	2	1	0	0	0	0	1	0	0	3.16	
基礎演習Ⅱ(B)	中地 美枝	20	20	19	2	8	5	1	3	0	0	0	0	1	0	0	3.13	
基礎演習Ⅱ(C)	湊 史郎	18	17	17	6	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.36	
基礎演習Ⅱ(D)	高野 照司	18	18	13	0	1	6	4	1	1	2	2	0	3	0	0	2.29	
基礎演習Ⅱ(E)	柳町 智治	18	18	18	0	5	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	2.97	
基礎演習Ⅱ(F)	斎藤 彩世	18	18	17	5	5	2	2	3	0	0	0	0	1	0	0	3.2	
基礎演習Ⅱ(G)	島田 桂子	19	19	18	4	7	4	3	0	0	0	0	0	1	0	0	3.33	
専門演習Ⅰ	島田 桂子	12	12	12	2	3	4	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3.04	
専門演習Ⅰ	斎藤 彩世	13	13	13	7	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.61	
専門演習Ⅰ	P. グレイ	12	12	12	4	1	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3.25	

2013年度以降入学生

(表V-18-6)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP	
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W				
専門演習 I	高橋 克依	14	14	13	2	6	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.11
専門演習 II	島田 桂子	12	12	12	3	3	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.2
専門演習 II	斎藤 彩世	12	12	11	4	4	2	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3.16
専門演習 II	P. グレイ	13	12	12	4	1	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.92
専門演習 II	高橋 克依	14	14	13	7	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3.65
専門演習 III	島田 桂子	13	13	13	2	7	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.26
専門演習 III	斎藤 彩世	14	14	14	5	3	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.28
専門演習 III	P. グレイ	13	13	13	2	6	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3
専門演習 III	高橋 克依	15	15	15	0	7	5	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.06
専門演習 IV	島田 桂子	13	13	13	0	9	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.26
専門演習 IV	斎藤 彩世	14	13	13	6	2	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.17
専門演習 IV	P. グレイ	15	15	15	3	6	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3
専門演習 IV	高橋 克依	17	17	15	3	5	5	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3.16
卒業研究 I	島田 桂子	13	13	13	1	3	3	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.8
卒業研究 I	斎藤 彩世	14	14	14	6	2	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.32
卒業研究 I	P. グレイ	13	13	13	1	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.26
卒業研究 I	高橋 克依	15	15	15	0	3	6	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2.63
卒業研究 II	島田 桂子	13	13	13	2	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.42
卒業研究 II	斎藤 彩世	14	13	13	8	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.42
卒業研究 II	P. グレイ	15	15	15	3	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.4
卒業研究 II	高橋 克依	17	17	15	2	6	1	2	3	1	0	0	0	0	0	2	0	0	2.93
専門演習 I	長谷川 典子	13	13	13	7	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.65
専門演習 I	柳町 智治	14	14	14	0	2	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.07
専門演習 I	高野 照司	10	10	10	2	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.35
専門演習 I	J. ラケット	12	12	11	6	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3.13
専門演習 I	江口 均	12	12	12	0	5	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.95
専門演習 I	中地 美枝	11	11	11	3	2	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.31
専門演習 I	R. トムソン	10	10	10	5	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.45
専門演習 II	長谷川 典子	13	13	13	10	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.8
専門演習 II	柳町 智治	15	14	14	0	5	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.96
専門演習 II	高野 照司	11	11	11	1	6	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.31
専門演習 II	J. ラケット	9	9	8	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3.68
専門演習 II	江口 均	15	15	15	0	3	3	2	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2.29
専門演習 II	中地 美枝	12	8	8	4	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.37
専門演習 II	R. トムソン	13	9	8	0	1	3	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1.73
専門演習 III	長谷川 典子	18	18	18	12	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.77
専門演習 III	柳町 智治	7	7	7	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.42
専門演習 III	高野 照司	11	11	11	5	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.59
専門演習 III	J. ラケット	11	11	11	1	2	0	2	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2.27
専門演習 III	江口 均	15	15	15	2	4	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.96
専門演習 III	中地 美枝	13	12	12	2	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.07
専門演習 III	R. トムソン	13	13	13	5	3	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.46
専門演習 IV	長谷川 典子	17	17	17	12	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.79
専門演習 IV	柳町 智治	8	8	8	0	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.37
専門演習 IV	高野 照司	12	12	12	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.62
専門演習 IV	J. ラケット	11	11	10	1	0	3	2	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	2.4
専門演習 IV	江口 均	15	15	15	6	2	0	1	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.96
専門演習 IV	中地 美枝	14	13	13	4	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.17
専門演習 IV	R. トムソン	14	13	13	4	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.25
卒業研究 I	長谷川 典子	18	18	18	5	10	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.52
卒業研究 I	柳町 智治	7	7	7	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.92
卒業研究 I	高野 照司	11	11	11	0	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.36
卒業研究 I	J. ラケット	11	11	11	1	2	0	2	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2.27
卒業研究 I	江口 均	15	15	15	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
卒業研究 I	中地 美枝	13	12	12	2	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.07
卒業研究 I	R. トムソン	13	13	13	6	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.53
卒業研究 II	柳町 智治	11	11	11	3	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.4
卒業研究 II	高野 照司	15	15	15	1	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5

2013年度以降入学生

(表V-18-7)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP	
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W				
卒業研究Ⅱ	J. ラケット	13	13	12	1	2	3	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2.3
卒業研究Ⅱ	江口 均	18	18	18	6	5	0	1	5	1	0	0	0	0	0	0	0	3.05	
卒業研究Ⅱ	中地 美枝	17	16	16	6	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.26	
卒業研究Ⅱ	R. トムソン	16	15	15	4	6	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.21	
ベイシック・スピーキングⅠ(C)	ステイーヴン パロー	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	
ベイシック・スピーキングⅠ(D)	カレン クライン カタヤマ	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	
ベイシック・スピーキングⅠ(F)	ウィリアム アンダーソン	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5	
ベイシック・スピーキングⅠ(G)	ブライアン バーンズ	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
ベイシック・スピーキングⅡ(A)	メアリー ヴァーゼル	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
ベイシック・スピーキングⅡ(C)	ステイーヴン パロー	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	
ベイシック・スピーキングⅡ(D)	カレン クライン カタヤマ	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
ベイシック・スピーキングⅡ(F)	ウィリアム アンダーソン	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
ベイシック・スピーキングⅡ(G)	ブライアン バーンズ	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
アカデミック・コミュニケーションⅠ(In)	P. グレイ	15	15	14	8	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3.71	
アカデミック・コミュニケーションⅠ(A)	メアリー ヴァーゼル	15	15	15	0	6	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.13	
アカデミック・コミュニケーションⅠ(B)	ティモシー フランクリン	19	19	18	1	3	5	5	3	1	1	1	0	0	0	0	0	2.57	
アカデミック・コミュニケーションⅠ(C)	ステイーヴン パロー	19	19	18	1	4	6	4	1	2	0	0	0	0	1	0	0	2.77	
アカデミック・コミュニケーションⅠ(D)	カレン クライン カタヤマ	18	18	16	1	2	8	5	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2.96	
アカデミック・コミュニケーションⅠ(E)	デビッド アンダーソン	17	17	15	3	3	4	3	2	0	0	0	0	0	2	0	0	3.06	
アカデミック・コミュニケーションⅠ(F)	ウィリアム アンダーソン	17	17	17	0	3	9	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.91	
アカデミック・コミュニケーションⅠ(G)	ブライアン バーンズ	15	15	15	2	3	7	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3.06	
アカデミック・コミュニケーションⅠⅠ(In)	P. グレイ	15	15	14	6	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3.5	
アカデミック・コミュニケーションⅠⅠ(A)	メアリー ヴァーゼル	15	15	15	2	3	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.1	
アカデミック・コミュニケーションⅠⅠ(B)	ティモシー フランクリン	17	17	15	1	3	2	5	4	0	0	0	0	0	2	0	0	2.73	
アカデミック・コミュニケーションⅠⅠ(C)	ステイーヴン パロー	18	17	17	1	3	9	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2.77	
アカデミック・コミュニケーションⅠⅠ(D)	カレン クライン カタヤマ	18	18	17	1	4	7	3	1	1	0	0	0	0	1	0	0	2.91	
アカデミック・コミュニケーションⅠⅠ(E)	デビッド アンダーソン	17	17	14	2	4	1	1	6	0	0	0	0	0	2	1	0	2.82	
アカデミック・コミュニケーションⅠⅠ(F)	ウィリアム アンダーソン	17	17	17	0	1	8	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.76	
アカデミック・コミュニケーションⅠⅠ(G)	ブライアン バーンズ	15	15	14	1	1	4	6	2	0	0	0	0	0	1	0	0	2.75	
ベイシック・リーディングⅠ(C)	デビッド アンダーソン	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
ベイシック・リーディングⅠ(D)	デニス クイン	2	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	
ベイシック・リーディングⅠ(E)	デビッド フレナー	2	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.25	
ベイシック・リーディングⅡ(C)	デビッド アンダーソン	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
ベイシック・リーディングⅡ(D)	デニス クイン	3	3	2	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2.33	
ベイシック・リーディングⅡ(E)	デビッド フレナー	2	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.25	
ベイシック・コンポジションⅠ(A)	ピーター リームスト	2	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2.5	
ベイシック・コンポジションⅠ(C)	ダイアナ シュガーマン	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	
ベイシック・コンポジションⅠ(E)	ステイーヴン パロー	2	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	
ベイシック・コンポジションⅡ(A)	ピーター リームスト	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5	
ベイシック・コンポジションⅡ(B)	アラン ボゼア	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
ベイシック・コンポジションⅡ(C)	ダイアナ シュガーマン	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
ベイシック・コンポジションⅡ(E)	ステイーヴン パロー	2	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	
アカデミック・エッセイⅠ(A)	ステイーヴン パロー	25	25	24	2	4	12	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3.04	
アカデミック・エッセイⅠ(B)	ハリー クリゲン	26	26	21	0	11	4	5	1	0	1	1	0	3	1	0	0	2.95	
アカデミック・エッセイⅠ(C)	ピーター リームスト	25	25	22	2	5	8	6	1	0	0	0	0	3	0	0	0	3.02	
アカデミック・エッセイⅠ(D)	ケンレイ フリーゼン	27	27	26	2	4	9	3	4	4	0	0	1	0	0	0	0	2.53	
アカデミック・エッセイⅠ(E)	P. グレイ	33	33	32	10	6	8	6	0	2	0	0	0	1	0	0	0	3.18	
アカデミック・エッセイⅠⅠ(A)	ステイーヴン パロー	25	25	23	3	4	10	4	2	0	1	1	0	1	0	0	0	2.91	
アカデミック・エッセイⅠⅠ(B)	ハリー クリゲン	26	25	22	3	11	6	1	1	0	0	0	0	2	1	0	0	3.17	
アカデミック・エッセイⅠⅠ(C)	ピーター リームスト	27	27	24	2	2	11	4	3	2	0	0	0	3	0	0	0	2.75	
アカデミック・エッセイⅠⅠ(D)	ケンレイ フリーゼン	26	26	26	1	4	10	6	4	1	0	0	0	0	0	0	0	2.76	
アカデミック・エッセイⅠⅠ(E)	P. グレイ	30	30	28	10	9	5	3	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3.39	
イギリス文学概論	島田 桂子	142	142	121	17	34	24	25	13	8	2	2	6	8	5	0	0	2.75	
演劇概論	高橋 克依	88	88	74	22	17	12	12	3	8	4	4	1	9	0	0	0	2.87	
社会言語学概論	高野 照司	85	85	78	7	14	33	9	8	7	0	0	0	5	2	0	0	2.83	
異文化コミュニケーション概論Ⅰ	長谷川 典子	193	193	175	23	37	26	41	36	12	8	8	0	10	0	0	0	2.65	
海外短期英語研修(A)	江口 均	15	15	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
アメリカ文学概論	斎藤 彩世	77	77	65	15	5	23	16	6	0	2	2	6	3	1	0	0	2.71	

2013年度以降入学生

(表V-18-8)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W			
英語学概論	J. ラケット	57	57	49	9	8	15	11	2	4	0	0	0	0	4	4	2.94	
応用言語学概論	柳町 智治	127	127	119	5	42	42	28	1	1	0	0	0	5	3	3.07		
英語教育概論	湊 史郎	36	36	32	17	10	5	0	0	0	0	0	0	4	0	3.68		
キリスト教と文学	B. デビッドソン	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
欧米文化特講A	カレン クライン カタヤマ	32	32	27	4	3	5	12	2	1	0	0	0	5	0	2.83		
欧米文化特講B	カレン クライン カタヤマ	26	24	21	1	5	6	2	7	0	0	0	0	3	0	2.54		
日本文化特講A	デイビット フレナー	6	6	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3.9		
日本文化特講B	宮澤 照恵	7	7	7	1	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	3.21		
英米史A	ウィリアム グリーン	31	31	25	2	5	7	5	5	1	0	0	0	2	4	2.8		
英米史B	ウィリアム グリーン	18	17	16	1	1	6	4	2	2	0	0	0	0	1	2.44		
Introduction to Fiction Writing	P. グレイ	35	35	31	2	10	9	8	2	0	1	1	0	3	0	2.93		
Introduction to English Linguistics	J. ラケット	61	61	61	10	15	23	8	4	1	0	0	0	0	0	3.12		
英語コミュニケーション概論	湊 史郎	7	7	6	2	3	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3.25		
Introduction to Digital Media	R. トムソン	19	19	11	0	2	6	3	0	0	0	0	0	4	4	2.95		
グローバル・スタディーズ概論	中地 美枝	13	13	12	5	4	2	1	0	0	0	0	0	0	1	3.54		
海外英語短期研修	江口 均	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
イギリス文学史A	斎藤 彩世	60	60	54	4	5	9	8	16	12	2	2	0	3	1	2.22		
イギリス文学史B	斎藤 彩世	57	56	46	2	8	14	7	5	10	5	5	1	4	0	2.17		
アメリカ文学史A	上西 哲雄	50	50	47	5	10	13	15	4	0	0	0	3	0	0	2.79		
アメリカ文学史B	上西 哲雄	49	48	44	12	6	8	10	6	2	0	0	3	1	0	2.75		
英米詩研究A	藤田 佳也	40	40	32	2	5	8	10	6	1	0	0	6	2	0	2.3		
英米詩研究B	松田 寿一	16	16	14	2	2	4	2	3	1	0	0	0	2	0	2.78		
演劇研究A	高橋 克依	40	40	35	3	12	5	7	2	6	0	0	3	2	0	2.53		
演劇研究B	高橋 克依	31	31	28	7	11	7	2	1	0	0	0	0	3	0	3.37		
イギリス文化研究A	ウィリアム グリーン	26	26	21	3	5	7	6	0	0	2	2	0	3	0	2.84		
イギリス文化研究B	ウィリアム グリーン	17	17	14	0	2	6	2	4	0	0	0	0	3	0	2.71		
アメリカ文化研究A	上西 哲雄	37	37	35	6	6	9	14	0	0	0	0	2	0	0	2.89		
アメリカ文化研究B	松井 美穂	20	20	17	3	7	4	3	0	0	0	0	2	1	0	2.94		
イギリス小説研究A	島田 桂子	30	30	28	4	6	12	3	3	0	0	0	0	2	0	3.08		
イギリス小説研究B	藤田 佳也	34	33	25	0	7	11	4	3	0	0	0	5	3	0	2.37		
アメリカ小説研究A	松井 美穂	18	18	16	3	4	3	5	1	0	0	0	0	2	0	3.09		
アメリカ小説研究B	瀬名波 栄潤	13	12	5	0	0	0	0	2	3	3	3	4	0	0	0.53		
言語学	奥 聡	77	71	52	1	6	6	17	12	10	6	6	0	10	3	1.86		
英語史	園田 勝英	77	76	73	6	14	8	35	10	0	1	1	2	0	0	2.65		
英語学研究A	柳町 智治	40	39	33	0	15	11	5	2	0	0	0	0	6	0	3		
英語学研究B	高野 照司	41	41	33	1	7	6	10	7	2	0	0	1	7	0	2.57		
英語学研究C	奥 聡	40	40	35	3	9	9	10	3	1	1	1	0	4	0	2.84		
英語学研究D	高野 照司	35	34	30	0	6	8	7	5	4	0	0	0	4	0	2.46		
コミュニケーション研究A	ジョエル ライアン	23	23	23	0	10	10	3	0	0	0	0	0	0	0	3.15		
コミュニケーション研究B	ジョエル ライアン	24	21	21	2	7	9	3	0	0	0	0	0	0	0	2.79		
コミュニケーション研究C	湊 史郎	41	41	41	23	16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3.75		
コミュニケーション研究D	湊 史郎	45	41	36	23	9	4	0	0	0	0	0	0	5	0	3.38		
異文化コミュニケーション研究A	青木 デボラ	40	39	39	3	15	12	8	0	1	0	0	0	0	0	3.03		
異文化コミュニケーション研究B	デニス クイン	45	44	41	22	4	10	5	0	0	3	3	0	0	0	3.21		
英語メディア研究A	大島 寿美子	44	44	42	8	23	8	2	1	0	0	0	0	2	0	3.41		
英語メディア研究B	大島 寿美子	36	33	25	9	12	4	0	0	0	0	0	0	8	0	3.21		
英語メディア研究C	中地 美枝	40	34	29	7	6	6	4	3	3	0	0	0	5	0	2.45		
英語メディア研究D	中地 美枝	40	40	38	4	6	10	11	4	3	0	0	1	1	0	2.7		
英語メディア研究E	デニス クイン	39	38	37	11	8	16	2	0	0	1	1	0	0	0	3.2		
英語メディア研究F	デニス クイン	29	25	24	10	4	10	0	0	0	1	1	0	0	0	2.89		
クリエイティブ・ライティングⅠ(A)	ケンレイ フリーゼン	13	13	13	2	5	4	0	2	0	0	0	0	0	0	3.19		
クリエイティブ・ライティングⅡ(A)	ケンレイ フリーゼン	13	12	12	6	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	3.19		
パブリック・スピーキング(A)	J. ラケット	22	22	21	10	7	4	0	0	0	0	0	0	1	0	3.64		
パブリック・スピーキング(B)	アン ミラー	23	23	21	7	11	2	1	0	0	0	0	0	2	0	3.57		
プレゼンテーション・スキルズ(A)	J. ラケット	22	21	20	12	6	1	0	1	0	0	0	0	1	0	3.52		
プレゼンテーション・スキルズ(B)	アン ミラー	23	22	20	4	9	5	1	1	0	0	0	0	2	0	3.19		
通訳法Ⅰ(文)	加藤 和代	26	26	26	12	8	2	3	1	0	0	0	0	0	0	3.51		
通訳法Ⅱ(文)	加藤 和代	26	25	25	7	10	5	2	0	1	0	0	0	0	0	3.23		

2013年度以降入学生

(表V-18-9)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W			
通訳法Ⅲ	加藤 和代	8	7	7	2	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2.62
通訳法Ⅳ	加藤 和代	5	5	5	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2.9	
翻訳法Ⅲ	後藤 健治	7	7	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3.9	
翻訳法Ⅳ	後藤 健治	3	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.66	
クリエイティブ・ライティングⅠ(B)	ケンレイ フリーゼン	9	9	9	1	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.38	
クリエイティブ・ライティングⅡ(B)	ケンレイ フリーゼン	9	7	5	0	1	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1.61	
オラル・インタラクティブⅠ(A)	P. グレイ	14	14	12	2	2	8	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3.25	
オラル・インタラクティブⅠ(B)	アン ミラー	17	17	17	5	5	4	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3.2	
オラル・インタラクティブⅡ(A)	P. グレイ	14	14	13	1	6	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3.3	
オラル・インタラクティブⅡ(B)	アン ミラー	18	18	18	7	6	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	3.22	
英語教育学講座	江口 均	6	5	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3.2	
英語教育学演習A〔児童英語教育〕	メアリー ヴァーシル	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
英語教育学演習B〔授業実践論〕	西原 明希	6	6	6	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	
英語科教育概説Ⅰ	江口 均	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
英語文学論	松田 寿一	16	16	16	1	4	6	4	0	1	0	0	0	0	0	0	2.93	
日本語教授法Ⅰ	岡田 みさを	47	46	44	11	9	14	9	1	0	0	0	0	2	0	0	3.15	
日本語教授法Ⅱ	岡田 みさを	47	45	43	1	9	12	14	6	1	0	0	0	2	0	0	2.65	
日本語教授法Ⅲ	岡田 みさを	9	9	9	0	3	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3.05	
ジャパニーズ・カルチャー(A)	延与 由美子	6	6	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3.66	
ジャパニーズ・カルチャー(B)	延与 由美子	3	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	
翻訳法AⅠ	斎藤 彩世	45	45	40	5	3	12	13	6	1	3	3	0	2	0	0	2.6	
翻訳法BⅠ	R. トムソン	15	15	15	2	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.36	
翻訳法AⅠⅠ	斎藤 彩世	45	41	36	12	5	12	4	2	1	1	1	0	4	0	0	2.84	
翻訳法BⅠⅠ	R. トムソン	15	14	14	0	6	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.96	
英語ワークショップA	デビット フレナー	20	20	18	8	9	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3.69	
英語ワークショップB	デビット フレナー	18	17	14	8	5	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3.5	
英語ワークショップC	デニス クイン	14	14	13	3	5	4	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3.14	
英語ワークショップD	デニス クイン	9	9	4	0	3	1	0	0	0	5	5	0	0	0	0	1.5	
英語ワークショップE	グレゴリー ウィーラー	19	19	18	1	4	3	8	2	0	0	0	0	1	0	0	2.83	
英語ワークショップF	グレゴリー ウィーラー	19	18	17	2	8	2	3	2	0	0	0	0	1	0	0	2.97	
コミュニケーション心理学	後藤 靖宏	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5	
心理統計法(コ)	石川 悟	5	5	3	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	2.12	
音楽心理学	後藤 靖宏	70	70	55	7	10	18	12	3	5	10	10	2	2	1	0	2.35	
感情心理学	田辺 毅彦	148	147	134	80	23	12	17	2	0	1	1	0	10	2	0	3.55	
心理学実験演習(コA)	後藤 靖宏	46	46	44	7	13	11	6	3	4	0	0	0	2	0	0	2.98	
心理学研究法(コ)	後藤 靖宏	47	47	44	8	20	8	2	6	0	0	0	0	3	0	0	3.25	
パーソナリティ心理学(コ)	飯田 昭人	89	89	75	0	4	26	21	14	10	4	4	1	8	1	0	2.28	
認知心理学(コ)	後藤 靖宏	82	82	59	7	9	17	13	6	7	17	17	3	0	3	0	2.05	
産業心理学(コ)	濱 保久	96	95	77	19	26	11	13	6	2	11	11	1	5	1	0	2.73	
学習心理学(コ)	石川 悟	42	42	33	6	3	8	7	7	2	0	0	0	4	5	0	2.78	
スポーツ心理学	藁内 豊	87	86	67	12	15	12	15	8	5	0	0	3	13	3	0	2.74	
心理言語学	邑本 俊亮	67	66	52	11	14	11	6	6	4	2	2	0	12	0	0	2.9	
学校心理学(コ)	飯田 昭人	101	101	92	0	3	22	47	11	9	0	0	2	6	1	0	2.39	
心理科学概論	田辺 毅彦	97	97	93	10	32	20	23	4	4	3	3	0	1	0	0	2.93	
地域国際概論	片岡 徹	80	80	75	0	16	23	19	11	6	1	1	0	4	0	0	2.63	
応用コミュニケーション論	柿原 久仁佳	2	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	
応用統計法	後藤 靖宏	18	18	15	0	0	0	4	5	6	1	1	0	1	1	0	1.62	
観察訓練演習(A)	片岡 徹	67	65	65	9	9	25	13	8	1	0	0	0	0	0	0	2.86	
観察訓練演習(B)	片岡 徹	3	3	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.66	
インタビュー技法(A)	大島 寿美子	70	68	67	8	45	14	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3.35	
コミュニケーション科学Ⅰ	後藤 靖宏	98	98	96	29	24	24	13	6	0	0	0	0	2	0	0	3.29	
コミュニケーション科学Ⅱ	柿原 久仁佳	98	98	96	5	21	32	29	8	1	0	0	0	2	0	0	2.9	
統計法基礎	後藤 靖宏	98	98	93	13	19	14	15	24	8	2	2	0	3	0	0	2.67	
クリティカルシンキング	B. デビッドソン	57	57	39	2	7	18	4	6	2	1	1	0	17	0	0	2.76	
マルチメディア論	金子 大輔	7	7	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	3.75	
空間コミュニケーション	山之内 裕一	98	97	84	2	10	24	42	5	1	1	1	4	7	1	0	2.56	
消費者コミュニケーション	八木 一郎	71	70	62	2	2	13	21	11	13	0	0	0	8	0	0	2.24	
グループ・コミュニケーション	片岡 徹	66	66	62	13	22	15	7	2	3	0	0	0	4	0	0	3.2	

2013年度以降入学生

(表V-18-10)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP	
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W				
国際交流論	大島 寿美子	27	27	23	0	11	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	3.15
映像技術演習(A)	小幡 直弘	28	28	23	3	9	9	1	1	0	0	0	0	2	3	0		3	
映像技術演習(B)	小幡 直弘	20	20	18	7	10	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0		3.66	
時事社会研究	阪井 宏	23	23	21	4	4	8	3	2	0	0	0	0	0	2	0		3.11	
野外活動演習	藁内 豊	26	26	23	5	0	4	8	5	1	0	0	1	2	0			2.62	
ルポルタージュ論	阪井 宏	40	40	40	11	13	12	4	0	0	0	0	0	0	0	0		3.38	
映像表現論	中島 洋	97	96	82	0	5	40	2	34	1	10	10	0	1	3			2.27	
教育コミュニケーション論	片岡 徹	28	27	22	4	5	5	6	1	1	0	0	0	4	1			2.89	
マスコミュニケーション論	阪井 宏	61	60	53	13	18	13	7	1	1	0	0	0	6	1			3.23	
現代社会学	阪井 宏	98	98	94	18	31	31	5	7	2	0	0	0	4	0			3.21	
科学的研究法基礎実習(A)	石川 悟	25	25	24	2	11	10	0	1	0	0	0	0	1	0			3.27	
科学的研究法基礎実習(B)	石川 悟	25	25	24	1	8	12	3	0	0	0	0	0	1	0			3.14	
科学的研究法基礎実習(C)	石川 悟	24	24	22	0	9	12	0	1	0	0	0	1	1	0			3.02	
科学的研究法基礎実習(D)	石川 悟	24	24	24	0	11	12	1	0	0	0	0	0	0	0			3.2	
English Communication I	B. デビッドソン	10	10	8	1	2	0	2	2	1	0	0	0	2	0			2.62	
総合講義(コ)	寺林 暁良	45	44	37	7	6	9	11	4	0	0	0	1	5	1			2.85	
英会話 I	B. デビッドソン	2	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0			3	
英会話 II	B. デビッドソン	10	10	10	4	1	2	2	1	0	0	0	0	0	0			3.25	
基礎演習(コA)	田辺 毅彦	14	14	14	0	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0			3.46	
基礎演習(コB)	後藤 靖宏	14	14	14	4	5	3	2	0	0	0	0	0	0	0			3.39	
基礎演習(コC)	大島 寿美子	15	15	15	9	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0			3.66	
基礎演習(コD)	石川 悟	14	14	14	4	2	4	3	1	0	0	0	0	0	0			3.17	
基礎演習(コE)	片岡 徹	14	14	14	4	8	0	2	0	0	0	0	0	0	0			3.5	
基礎演習(コF)	柿原 久仁佳	14	14	13	4	4	4	1	0	0	0	0	0	1	0			3.42	
基礎演習(コG)	寺林 暁良	14	14	14	2	8	1	2	1	0	0	0	0	0	0			3.28	
社会活動実習	田辺 毅彦	6	6	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1			3.75	
英語特別授業	網野 真佐子	12	12	11	0	3	2	6	0	0	0	0	0	0	1			2.86	
アカデミック・ライティング I	B. デビッドソン	25	25	20	2	6	7	5	0	0	1	1	0	4	0			2.97	
アカデミック・ライティング II	B. デビッドソン	9	9	8	0	2	4	2	0	0	0	0	0	1	0			3	
フィールド実習 I (A)	濱 保久	12	12	12	2	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0			3.2	
フィールド実習 I (B)	藁内 豊	32	32	31	30	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0			3.85	
フィールド実習 I (C)	石川 悟	10	10	10	2	1	4	3	0	0	0	0	0	0	0			3.1	
フィールド実習 I (D)	片岡 徹	31	31	31	9	20	2	0	0	0	0	0	0	0	0			3.61	
フィールド実習 I (E)	柿原 久仁佳	19	19	19	15	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0			3.89	
フィールド実習 II (A)	濱 保久	12	12	12	4	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0			3.16	
フィールド実習 II (B)	藁内 豊	32	30	30	27	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0			3.7	
フィールド実習 II (C)	石川 悟	10	10	10	0	2	4	3	1	0	0	0	0	0	0			2.85	
フィールド実習 II (D)	片岡 徹	31	31	31	17	11	2	1	0	0	0	0	0	0	0			3.7	
フィールド実習 II (E)	柿原 久仁佳	19	19	19	5	10	4	0	0	0	0	0	0	0	0			3.52	
フィールド実習 I (F)	寺林 暁良	11	11	10	2	5	0	2	0	1	1	1	0	0	0			2.86	
フィールド実習 II (F)	寺林 暁良	11	11	10	4	3	3	0	0	0	0	0	0	1	0			3.55	
情報技術演習(A)	後藤 靖宏	31	31	28	6	5	8	9	0	0	0	0	0	1	2			3.14	
文章コミュニケーション(A)	阪井 宏	34	34	31	7	8	10	6	0	0	0	0	0	3	0			3.25	
プレゼンテーション演習	濱 保久	16	16	13	5	6	0	2	0	0	0	0	0	2	1			3.53	
海外短期研修(A)	大島 寿美子	9	9	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			4	
English as a global language	大島 寿美子	15	15	14	4	10	0	0	0	0	1	1	0	0	0			3.4	
日本史(文社部)	篠崎 敦史	33	32	29	1	12	12	1	3	0	0	0	0	1	2			3.01	
専門演習 I	濱 保久	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			4	
専門演習 I	藁内 豊	15	15	15	6	5	2	1	1	0	0	0	0	0	0			3.46	
専門演習 I	田辺 毅彦	13	13	12	0	7	5	0	0	0	0	0	0	1	0			3.29	
専門演習 I	B. デビッドソン	3	3	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0			3	
専門演習 I	後藤 靖宏	4	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			4	
専門演習 I	大島 寿美子	14	14	14	5	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0			3.64	
専門演習 I	石川 悟	7	7	7	1	1	2	2	1	0	0	0	0	0	0			2.92	
専門演習 I	片岡 徹	12	12	12	9	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0			3.66	
専門演習 I	柿原 久仁佳	9	9	9	1	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0			3.38	
専門演習 I	寺林 暁良	9	9	9	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0			3.61	
専門演習 II	濱 保久	8	8	8	2	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0			3.31	

2013年度以降入学生

(表V-18-11)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP	
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W				
専門演習Ⅱ	藪内 豊	15	15	15	13	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.93
専門演習Ⅱ	田辺 毅彦	14	13	12	0	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2.88
専門演習Ⅱ	B. デビッドソン	3	3	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.16
専門演習Ⅱ	阪井 宏	13	13	13	4	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.65
専門演習Ⅱ	後藤 靖宏	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
専門演習Ⅱ	大島 寿美子	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
専門演習Ⅱ	石川 悟	7	6	6	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.64
専門演習Ⅱ	片岡 徹	12	12	11	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3.54
専門演習Ⅱ	柿原 久仁佳	9	9	9	1	1	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.88
専門演習Ⅱ	寺林 暁良	9	9	9	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.88
専門演習Ⅲ	濱 保久	13	13	13	4	3	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.26
専門演習Ⅲ	藪内 豊	14	14	14	9	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.78
専門演習Ⅲ	田辺 毅彦	17	16	16	2	5	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.05
専門演習Ⅲ	B. デビッドソン	3	3	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.33
専門演習Ⅲ	後藤 靖宏	6	6	6	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5
専門演習Ⅲ	大島 寿美子	15	15	15	1	7	3	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.06
専門演習Ⅲ	石川 悟	12	12	12	1	0	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
専門演習Ⅲ	片岡 徹	16	16	16	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.62
専門演習Ⅲ	柿原 久仁佳	14	14	14	6	2	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.46
専門演習Ⅳ	濱 保久	13	13	12	5	4	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3.3
専門演習Ⅳ	藪内 豊	17	16	14	13	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3.26
専門演習Ⅳ	田辺 毅彦	20	18	11	0	4	5	2	0	0	5	5	0	2	0	0	0	0	2
専門演習Ⅳ	B. デビッドソン	5	5	4	0	0	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2.4
専門演習Ⅳ	阪井 宏	7	7	6	1	3	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3.41
専門演習Ⅳ	後藤 靖宏	6	6	6	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
専門演習Ⅳ	大島 寿美子	10	10	8	1	2	3	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	2.72
専門演習Ⅳ	石川 悟	13	13	12	2	3	4	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2.84
専門演習Ⅳ	片岡 徹	17	17	17	7	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.67
専門演習Ⅳ	柿原 久仁佳	14	14	13	2	1	10	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2.96
専門演習Ⅳ(指導)	田辺 毅彦	3	3	2	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2.16
専門演習Ⅳ(指導)	B. デビッドソン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5
卒業研究Ⅰ	濱 保久	13	13	13	10	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.73
卒業研究Ⅰ	藪内 豊	14	14	14	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.96
卒業研究Ⅰ	田辺 毅彦	17	16	16	0	2	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.85
卒業研究Ⅰ	B. デビッドソン	3	3	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.33
卒業研究Ⅰ	後藤 靖宏	6	6	6	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5
卒業研究Ⅰ	大島 寿美子	15	15	15	0	0	7	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2.53
卒業研究Ⅰ	石川 悟	12	12	12	1	1	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.83
卒業研究Ⅰ	片岡 徹	16	16	16	7	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.65
卒業研究Ⅰ	柿原 久仁佳	14	14	14	6	2	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.46
卒業研究Ⅱ	田辺 毅彦	13	13	13	1	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.46
卒業研究Ⅱ	田辺 毅彦	16	15	15	0	5	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.93
卒業研究Ⅱ	田辺 毅彦	19	17	13	1	3	7	2	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	2.7
卒業研究Ⅱ	田辺 毅彦	3	3	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5
卒業研究Ⅱ	田辺 毅彦	5	5	5	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.8
卒業研究Ⅱ	田辺 毅彦	6	6	6	1	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.25
卒業研究Ⅱ	田辺 毅彦	10	10	8	0	1	6	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
卒業研究Ⅱ	田辺 毅彦	13	13	13	2	2	7	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.11
卒業研究Ⅱ	田辺 毅彦	16	16	16	1	2	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.93
卒業研究Ⅱ	田辺 毅彦	14	14	13	1	2	8	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3.07
卒業研究Ⅱ(指導)	田辺 毅彦	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.75
経済学入門(文社部)	小松 知春	111	110	101	2	17	34	26	16	6	0	0	7	0	2	0	0	0	2.5
ミクロ経済学(経)	修 震傑	29	29	14	0	1	1	0	4	8	3	3	9	2	1	0	0	0	0.86
マクロ経済学(経)	渡邊 稔	55	54	41	0	13	11	5	8	4	12	12	0	1	0	0	0	0	2.05
経済統計学	毛利 泰大	51	49	30	0	2	1	6	10	11	4	4	12	1	2	0	0	0	1.16
金融論	秋森 弘	65	64	32	0	6	1	8	12	5	18	18	0	12	2	0	0	0	1.43
経済思想史	楠木 敦	68	68	46	2	5	3	13	9	14	16	16	4	1	1	0	0	0	1.5
労働経済論	中村 一浩	2	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5

2013年度以降入学生

(表 V-18-12)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W			
社会経済史(B)	濱 文章	32	32	28	1	3	10	3	9	2	1	1	0	3	0	2.48		
地域経済論	平岡 祥孝	11	11	7	0	1	1	2	3	0	0	0	0	4	0	2.5		
北海道経済論(A)	斉藤 正広	116	116	109	1	17	51	30	5	5	0	0	0	7	0	2.81		
地方自治論(経社部)	武岡 明子	70	69	28	2	2	2	4	6	12	27	27	12	0	2	0.8		
環境経済学	野原 克仁	38	38	24	1	1	10	2	4	6	8	8	2	4	0	1.66		
環境政策論	野原 克仁	13	13	12	3	2	3	3	1	0	0	0	1	0	0	2.88		
中小企業論	中島 隆	155	154	143	0	4	37	63	36	3	0	0	11	0	0	2.3		
市民経済論	久田 徳二	18	18	13	3	2	3	2	2	1	0	0	0	5	0	2.92		
国際経済学	竹野内 真樹	59	59	37	7	3	4	4	7	12	10	10	1	9	2	1.8		
開発経済論	浦野 真理子	134	134	112	9	10	19	21	20	33	15	15	7	0	0	1.89		
ヨーロッパ経済論	原島 正衛	35	35	15	0	0	0	1	3	11	16	16	4	0	0	0.55		
アジア経済論	浦野 真理子	77	76	61	10	13	11	6	8	13	14	14	0	0	1	2.13		
アメリカ経済論	濱 文章	54	54	43	8	3	21	2	6	3	1	1	0	10	0	2.85		
国際経済特論 I	竹内 幸史	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
貿易実務(A)	田中 英夫	57	57	54	27	8	8	10	1	0	0	0	0	2	1	3.46		
貿易実務(B)	田中 英夫	36	36	33	15	7	5	2	3	1	0	0	0	3	0	3.37		
日本経済史	平井 廣一	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			
西洋経済史	木下 なつき	23	23	19	0	0	4	14	1	0	0	0	1	3	0	2.45		
社会思想史	山田 正範	24	24	14	4	1	2	5	1	1	4	4	6	0	0	1.7		
社会政策論	中村 一浩	5	5	5	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3.3		
計量経済学(経)	修 震傑	10	10	8	0	1	1	2	3	1	2	2	0	0	0	1.85		
ビジネス英語 I(経)	R. ゲティングス	6	6	3	1	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0	2.66		
ビジネス英語 II(経)	R. ゲティングス	6	6	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	3.5		
国際政治学(B)	萱野 智篤	49	47	39	1	8	9	15	6	0	0	0	0	7	1	2.64		
ゲーム理論	修 震傑	6	6	5	0	2	0	1	2	0	0	0	0	1	0	2.7		
日本史(経部)	平井 廣一	15	15	12	0	1	2	2	3	4	0	0	0	3	0	2.04		
世界史 I(経部)	湯山 英子	23	23	21	1	3	1	7	5	4	0	0	0	2	0	2.33		
世界史 II	中村 一浩	17	17	15	4	3	1	3	1	3	1	1	0	1	0	2.62		
地理学(B)	塩崎 大輔	112	110	92	7	18	26	26	9	6	4	4	0	12	2	2.63		
地誌概説	塩崎 大輔	173	170	155	18	34	44	33	19	7	1	1	0	12	2	2.83		
自然地理学(B)	下川 和夫	63	63	54	7	13	15	7	9	3	0	0	0	8	1	2.9		
宗教学(A)	堀 雅彦	151	149	133	2	31	50	26	20	4	4	4	2	10	0	2.7		
宗教学(B)	堀 雅彦	238	237	214	0	10	70	64	45	25	4	4	16	0	3	2.21		
現代政治学(A)	萱野 智篤	216	214	172	3	24	58	54	23	10	2	2	7	32	1	2.53		
現代政治学(社部)	萱野 智篤	20	20	19	9	6	2	2	0	0	0	0	0	1	0	3.57		
ミクロ経済学 I(経)	修 震傑	138	138	88	2	5	12	34	16	19	40	40	1	9	0	1.53		
ミクロ経済学 II(経)	修 震傑	85	84	40	2	1	5	10	5	17	41	41	0	3	0	0.95		
マクロ経済学 I(経)	渡邊 稔	118	118	113	6	47	28	20	8	4	4	4	0	1	0	2.92		
マクロ経済学 II(経)	渡邊 稔	101	101	80	2	17	13	15	15	18	21	21	0	0	0	1.9		
経済統計学 I	毛利 泰大	124	124	90	17	12	14	24	14	9	14	14	19	1	0	2.02		
経済統計学 II	毛利 泰大	62	61	51	3	7	11	15	11	4	2	2	7	1	0	2.18		
社会経済学 I	勝村 務	153	153	144	28	31	26	28	17	14	0	0	8	1	0	2.74		
社会経済学 II	柴崎 慎也	157	154	148	81	43	14	10	0	0	1	1	3	2	0	3.49		
社会経済史(A)	濱 文章	119	119	103	27	20	5	22	15	14	9	9	5	2	0	2.49		
現代資本主義論	柴崎 慎也	113	112	106	75	22	7	2	0	0	2	2	1	3	0	3.66		
国際関係論 I	萱野 智篤	151	151	135	4	19	29	42	30	11	0	0	2	12	2	2.52		
国際関係論 II	萱野 智篤	139	137	126	3	11	36	45	24	7	0	0	3	8	0	2.48		
グローバル社会論 I	浦野 真理子	141	141	120	2	7	35	38	26	12	19	19	1	1	0	2.11		
グローバル社会論 II	野本 啓介	19	18	17	0	4	3	3	2	5	0	0	0	0	1	2.19		
国際政治学(A)	萱野 智篤	7	7	6	0	2	2	2	0	0	0	0	0	1	0	3		
上級新聞活用	勝村 務	7	6	5	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2.85		
日本史 I〔前近代〕(経部)	橋本 雄	5	5	1	0	0	0	1	0	0	2	2	0	0	2	0.83		
日本史 II〔近現代〕(経部)	平井 廣一	10	10	8	0	1	1	2	3	1	0	0	0	2	0	2.31		
地理学(A)	塩崎 大輔	4	4	3	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3		
自然地理学(A)	下川 和夫	11	11	11	1	2	2	3	2	1	0	0	0	0	0	2.68		
法学概論	林 健太郎	9	9	4	0	2	2	0	0	0	0	0	4	0	1	1.62		
現代社会学	石岡 丈昇	8	8	5	0	4	0	1	0	0	0	0	0	3	0	3.3		
現代哲学	西永 亮	5	4	4	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2.4		

2013年度以降入学生

(表V-18-13)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布												評価傾向平 均GP		
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W				
実践英語 I	R. ゲティングス	3	3	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5
実践英語 II	R. ゲティングス	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
経済学入門(経)	勝村 務	164	164	163	90	37	20	10	3	3	0	0	0	0	1	0	0	3.57	
基礎経済学(経D)	渡邊 稔	17	17	13	0	2	1	2	6	2	3	3	0	1	0	0	0	1.81	
基礎経済学(経A)	楠木 敦	71	71	47	0	3	13	8	10	13	20	20	4	0	0	0	0	1.44	
基礎経済学(経B)	野原 克仁	68	67	35	0	1	2	11	10	11	21	21	10	1	0	0	0	1.01	
基礎経済学(経C)	渡邊 稔	73	72	58	1	11	13	10	16	7	13	13	0	1	0	0	0	2.02	
新聞活用	勝村 務	163	163	163	13	33	68	40	7	2	0	0	0	0	0	0	0	2.99	
社会経済学	勝村 務	100	100	90	3	16	28	27	14	2	1	1	8	1	0	0	0	2.52	
農業経済学	毛利 泰大	76	76	72	4	4	27	25	11	1	0	0	2	1	1	0	0	2.65	
日本経済論	勝村 務	54	54	48	10	7	6	10	10	5	0	0	5	1	0	0	0	2.5	
国際関係論	萱野 智篤	37	37	28	0	0	3	20	4	1	2	2	0	7	0	0	0	2.26	
国際開発協力論	野本 啓介	4	4	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	
経済数学(経A)	渡邊 稔	83	83	75	0	5	15	20	21	14	8	8	0	0	0	0	0	2.03	
経済数学(経B)	久村 隆裕	26	26	26	7	2	11	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3.15	
経済数学(経C)	久村 隆裕	30	30	30	5	2	6	10	5	2	0	0	0	0	0	0	0	2.73	
基礎経済史	濱 文章	165	165	125	6	19	22	19	21	38	34	34	6	0	0	0	0	1.72	
現代の国際社会(A)	浦野 真理子	40	40	36	10	7	8	8	2	1	3	3	0	1	0	0	0	2.91	
現代の国際社会(B)	竹野内 真樹	69	69	60	3	15	12	9	14	7	9	9	0	0	0	0	0	2.28	
現代の国際社会(C)	河村 一	48	48	48	0	28	10	7	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3.13	
基礎演習	平井 廣一	2	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	
基礎演習	原島 正衛	2	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5	
基礎演習	萱野 智篤	2	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.75	
基礎演習	修 震傑	2	2	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.75	
基礎演習	浦野 真理子	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
基礎演習	野本 啓介	2	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	
基礎演習	勝村 務	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
基礎演習	楠木 敦	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
基礎演習	斉藤 正広	4	4	4	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2.37	
基礎演習	渡邊 稔	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
基礎演習	柴崎 慎也	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
演習 I	平井 廣一	5	5	4	0	0	0	0	1	3	1	1	0	0	0	0	0	1	
演習 I	中村 一浩	11	11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
演習 I	原島 正衛	9	9	8	2	3	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3.25	
演習 I	濱 文章	12	12	12	5	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.58	
演習 I	萱野 智篤	12	12	12	0	0	0	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.45	
演習 I	修 震傑	7	7	6	1	2	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3.33	
演習 I	浦野 真理子	12	12	10	4	2	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3.4	
演習 I	野本 啓介	12	12	11	3	3	1	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3.22	
演習 I	勝村 務	11	11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
演習 I	野原 克仁	12	12	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
演習 I	楠木 敦	11	11	11	0	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.13	
演習 I	斉藤 正広	13	13	13	3	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.61	
演習 I	渡邊 稔	12	12	10	0	6	4	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	3	
演習 I	竹野内 真樹	10	10	6	0	1	0	1	2	2	4	4	0	0	0	0	0	1.2	
演習 I	柴崎 慎也	12	12	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	
演習 II	平井 廣一	5	4	4	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1.9	
演習 II	中村 一浩	11	11	11	8	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.59	
演習 II	原島 正衛	10	9	9	2	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.95	
演習 II	濱 文章	12	12	12	7	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.54	
演習 II	萱野 智篤	13	13	12	0	3	4	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2.87	
演習 II	修 震傑	7	6	6	1	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2.42	
演習 II	浦野 真理子	12	12	11	4	1	4	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3.31	
演習 II	野本 啓介	9	9	5	1	0	2	2	0	0	2	2	0	2	0	0	0	2.14	
演習 II	勝村 務	11	11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
演習 II	野原 克仁	12	12	12	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.95	
演習 II	楠木 敦	10	10	10	1	4	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3.05	
演習 II	斉藤 正広	14	14	14	2	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.14	

2013年度以降入学生

(表V-18-14)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W			
演習Ⅱ	渡邊 稔	13	13	11	0	9	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3
演習Ⅱ	竹野内 真樹	10	10	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0	0	0	0	0	
演習Ⅱ	柴崎 慎也	11	11	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	
日本経済論ディベートⅠⅠ(B)	勝村 務	19	19	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
フェアトレード	萱野 智篤	73	71	58	2	8	24	17	7	0	0	0	0	12	1	2.74		
グローバル・ガバナンス論	野本 啓介	4	4	4	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2.37	
時事英語	竹野内 真樹	4	4	3	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1.83		
中国経済論	汪 志平	3	3	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.33		
国際経済特論	竹内 幸史	21	21	12	0	3	8	1	0	0	0	0	9	0	0	1.76		
文化経済学	勝村 務	144	144	135	27	29	30	24	16	9	0	0	8	0	1	2.8		
演習Ⅰ〔3年次〕	平井 廣一	2	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
演習Ⅰ〔3年次〕	中村 一浩	14	14	13	3	3	3	4	0	0	1	1	0	0	0	2.96		
演習Ⅰ〔3年次〕	原島 正衛	15	15	15	3	11	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3.5		
演習Ⅰ〔3年次〕	濱 文章	16	16	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
演習Ⅰ〔3年次〕	萱野 智篤	14	14	12	0	2	5	5	0	0	0	0	1	1	0	2.65		
演習Ⅰ〔3年次〕	修 震傑	8	8	7	0	2	3	1	1	0	0	0	0	0	1	2.92		
演習Ⅰ〔3年次〕	浦野 真理子	17	17	17	5	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3.58		
演習Ⅰ〔3年次〕	野本 啓介	4	4	4	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2.75		
演習Ⅰ〔3年次〕	勝村 務	13	13	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
演習Ⅰ〔3年次〕	野原 克仁	15	15	15	9	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.8		
演習Ⅰ〔3年次〕	楠木 敦	15	15	15	0	3	1	10	1	0	0	0	0	0	0	2.7		
演習Ⅰ〔3年次〕	斉藤 正広	13	13	13	5	5	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3.34		
演習Ⅰ〔3年次〕	渡邊 稔	14	14	14	0	11	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3.17		
演習Ⅰ〔3年次〕	竹野内 真樹	6	6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
演習Ⅰ〔3年次〕	柴崎 慎也	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
演習Ⅱ〔4年次〕	中村 一浩	11	11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
演習Ⅱ〔4年次〕	原島 正衛	16	16	16	15	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3.87		
演習Ⅱ〔4年次〕	濱 文章	14	14	12	12	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3.69		
演習Ⅱ〔4年次〕	萱野 智篤	17	17	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4		
演習Ⅱ〔4年次〕	修 震傑	6	6	6	0	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0	2.83		
演習Ⅱ〔4年次〕	浦野 真理子	9	9	9	5	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3.55		
演習Ⅱ〔4年次〕	野本 啓介	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
演習Ⅱ〔4年次〕	勝村 務	11	11	10	10	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3.63		
演習Ⅱ〔4年次〕	野原 克仁	9	9	9	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.94		
演習Ⅱ〔4年次〕	楠木 敦	13	13	13	1	5	6	0	0	1	0	0	0	0	0	3.11		
演習Ⅱ〔4年次〕	斉藤 正広	13	13	13	0	4	6	3	0	0	0	0	0	0	0	3.03		
演習Ⅱ〔4年次〕	渡邊 稔	12	12	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5		
演習Ⅱ〔4年次〕	竹野内 真樹	11	11	11	8	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3.59		
演習Ⅱ〔4年次〕	柴崎 慎也	16	16	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
経営情報学Ⅰ	鎌田 直矢	55	55	43	7	4	9	12	3	8	6	6	5	1	0	2.09		
マネジメント入門Ⅰ(A)	黄 雅雯	32	32	30	10	1	6	10	3	0	0	0	0	1	1	3.08		
会計入門(A)	大原 昌明	127	127	106	11	28	21	27	14	5	11	11	0	10	0	2.61		
マーケティングⅠ	西脇 隆二	100	100	93	0	4	13	37	27	12	1	1	0	5	1	2.25		
会計入門(B)	松本 康一郎	95	95	83	18	26	14	12	9	4	5	5	0	6	1	2.92		
経営学入門Ⅰ(A)	黄 雅雯	93	93	93	3	23	34	18	7	8	0	0	0	0	0	2.81		
経営学入門Ⅱ(A)	黄 雅雯	55	55	52	5	4	7	12	12	12	1	1	1	1	0	2.24		
経営情報学Ⅱ	鎌田 直矢	56	56	42	5	5	7	4	9	12	1	1	5	8	0	2.05		
経営科学	鈴木 克典	99	98	79	7	10	13	20	20	9	8	8	5	6	0	2.18		
マネジメント入門Ⅱ(A)	黄 雅雯	53	52	45	6	8	8	6	11	6	0	0	1	6	0	2.53		
企業形態論	山口 博教	51	51	37	2	2	2	6	11	14	5	5	2	5	2	1.63		
簿記原理Ⅰ(A)	大原 昌明	119	119	96	22	28	20	12	11	3	15	15	2	6	0	2.66		
簿記原理Ⅰ(B)	松本 康一郎	68	68	51	1	3	8	9	8	22	14	14	0	1	2	1.52		
マーケティングⅡ	西脇 隆二	89	89	74	0	0	6	14	39	15	7	7	0	7	1	1.8		
インターネット論	佐藤 友暁	58	58	40	8	10	7	7	4	4	15	15	2	1	0	2.06		
問題解決スキル	西脇 隆二	49	49	45	0	14	7	19	5	0	0	0	0	4	0	2.83		
海外実習	佐藤 友暁	22	22	22	16	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3.77		
経済学基礎(A)	南 ホチヨル	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
情報処理(A)	鎌田 直矢	43	43	32	3	3	2	5	7	12	5	5	0	6	0	1.81		

2013年度以降入学生

(表V-18-15)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	欠無	W			
情報処理(B)	鎌田 直矢	42	42	34	8	3	8	5	3	7	3	3	1	4	0	2.42		
情報処理(C)	佐藤 友暁	45	45	27	2	1	4	5	6	9	9	9	9	0	0	1.26		
ビジネス英語	黄 雅雯	48	48	48	16	15	16	0	1	0	0	0	0	0	0	3.46		
ビジネスケース	黄 雅雯	16	16	11	5	3	2	1	0	0	0	0	0	5	0	3.54		
情報処理(D)	佐藤 友暁	46	46	34	7	2	5	4	6	10	9	9	3	0	0	1.78		
基礎演習 I(A)	佐藤 友暁	2	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
基礎演習 I(B)	韓 文熙	3	3	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3.5		
基礎演習 I(C)	西脇 隆二	5	5	5	1	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	2.9		
基礎演習 I(D)	西脇 隆二	3	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	3		
基礎演習 II(A)	松本 康一郎	5	5	4	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3.5		
基礎演習 II(B)	韓 文熙	19	19	19	0	5	13	0	0	1	0	0	0	0	0	3.02		
基礎演習 II(C)	黄 雅雯	9	9	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	4		
基礎演習 II(D)	林 秀彦	20	20	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4		
基礎演習(A)	佐藤 友暁	32	32	30	2	7	14	3	3	1	0	0	0	2	0	2.96		
基礎演習(B)	韓 文熙	31	31	28	0	10	10	8	0	0	0	0	0	3	0	3.03		
基礎演習(C)	西脇 隆二	31	31	26	0	12	8	3	2	1	0	0	0	5	0	3.01		
基礎演習(D)	西脇 隆二	31	31	31	6	15	6	3	0	1	0	0	0	0	0	3.32		
専門演習 I	松本 康一郎	6	6	6	0	0	3	1	2	0	0	0	0	0	0	2.58		
専門演習 I	大原 昌明	11	11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
専門演習 I	西脇 隆二	18	18	18	8	2	7	0	0	1	0	0	0	0	0	3.38		
専門演習 I	鈴木 克典	15	15	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
専門演習 I	韓 文熙	16	16	16	10	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.78		
専門演習 I	林 秀彦	17	16	16	7	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5		
専門演習 I	佐藤 友暁	15	15	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4		
専門演習 I	黄 雅雯	16	15	15	13	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.68		
専門演習 I	鎌田 直矢	9	9	9	4	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3.27		
専門演習 II	山口 博教	11	10	9	6	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3.13		
専門演習 II	松本 康一郎	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.75		
専門演習 II	大原 昌明	13	13	13	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.96		
専門演習 II	西脇 隆二	11	11	11	4	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3.59		
専門演習 II	鈴木 克典	15	15	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
専門演習 II	韓 文熙	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.75		
専門演習 II	林 秀彦	15	15	15	7	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	3.53		
専門演習 II	佐藤 友暁	7	7	7	1	0	1	3	1	1	0	0	0	0	0	2.5		
専門演習 II	黄 雅雯	11	11	11	10	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3.72		
専門演習 II	鎌田 直矢	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
情報システム管理論	佐藤 友暁	16	15	12	0	0	1	3	4	4	0	0	1	2	0	1.6		
システム設計論	佐藤 友暁	14	14	5	0	0	3	1	1	0	0	0	7	1	1	1.12		
アプリケーション論	林 秀彦	37	37	34	7	5	15	6	1	0	0	0	1	2	0	3.07		
国際マネジメント	黄 雅雯	88	86	81	5	16	14	19	13	14	0	0	1	4	0	2.44		
ブランドマネジメント論	韓 文熙	130	130	115	5	13	32	25	15	25	6	6	2	3	4	2.26		
マーケティング・リサーチ	韓 文熙	30	29	23	1	9	10	2	1	0	1	1	3	2	0	2.58		
卒業論文	韓 文熙	15	15	11	11	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2.93		
情報科学	鎌田 直矢	47	47	46	2	6	12	9	10	7	1	1	0	0	0	2.43		
情報メディア論 I(A)	佐藤 友暁	47	46	28	8	2	5	6	2	5	14	14	2	2	0	1.73		
情報メディア論 I(B)	佐藤 友暁	37	37	27	13	2	4	3	3	2	7	7	3	0	0	2.33		
情報メディア論 II(A)	佐藤 友暁	48	47	35	5	3	5	8	5	9	6	6	6	0	0	1.76		
情報メディア論 II(B)	佐藤 友暁	40	40	29	2	3	3	8	4	9	9	9	2	0	0	1.61		
プログラミング I(A)	林 秀彦	21	21	16	6	6	2	1	0	1	0	0	1	4	0	3.2		
プログラミング I(B)	林 秀彦	23	22	22	5	11	3	3	0	0	0	0	0	0	0	3.26		
プログラミング II(A)	林 秀彦	21	20	14	6	2	4	1	0	1	0	0	0	6	0	3.1		
プログラミング II(B)	林 秀彦	23	21	18	7	4	2	4	1	0	0	0	0	3	0	3		
データベース論	佐藤 友暁	51	50	36	3	4	8	10	4	7	5	5	9	0	0	1.76		
通信ネットワーク論	田所 智	45	45	32	0	0	6	5	7	14	12	12	0	1	0	1.32		
意思決定論	鈴木 克典	129	125	106	13	13	18	23	20	19	12	12	1	6	0	2.19		
ソフトウェア開発論 I	林 秀彦	20	19	17	3	4	5	1	3	1	0	0	1	1	0	2.65		
ソフトウェア開発論 II	林 秀彦	23	22	13	5	2	1	2	3	0	0	0	0	9	0	2.92		
情報システム論 I	鈴木 克典	69	68	59	14	6	13	13	6	7	5	5	0	4	0	2.57		

2013年度以降入学生

(表V-18-16)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W			
情報システム論Ⅱ	鈴木 克典	67	64	56	9	4	16	13	9	5	1	1	0	7	0	2.55		
シミュレーション論	林 秀彦	27	26	22	3	4	8	4	2	1	0	0	0	4	0	2.82		
財務会計Ⅰ	高木 裕之	23	23	17	0	2	5	3	4	3	4	4	2	0	0	1.76		
財務会計Ⅱ	松本 康一郎	3	3	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	2		
人材・組織マネジメントⅠ	今野 喜文	111	111	95	2	2	13	45	26	7	6	6	9	0	1	2.04		
人材・組織マネジメントⅡ	今野 喜文	82	81	72	1	4	19	24	24	0	1	1	7	0	1	2.25		
戦略マネジメントⅠ	黄 雅雯	100	100	95	19	27	29	13	3	4	0	0	0	4	1	3.15		
戦略マネジメントⅡ	黄 雅雯	108	106	104	22	30	30	12	6	4	0	0	1	1	0	3.07		
現代企業論	山口 博教	35	34	24	0	1	3	6	7	7	2	2	4	4	0	1.56		
産業心理学(A)	佐藤 恵美	69	69	49	7	19	9	10	4	0	1	1	0	19	0	3.09		
経営史	木下 なつき	80	80	73	3	1	8	17	42	2	0	0	6	0	1	2.12		
ベンチャー・マネジメント	今野 喜文	26	25	17	0	0	4	10	3	0	1	1	6	0	1	1.72		
簿記原理Ⅱ	松本 康一郎	44	44	33	6	5	4	9	6	3	4	4	0	7	0	2.45		
簿記原理Ⅲ	松本 康一郎	11	11	8	0	0	4	1	2	1	0	0	0	2	1	2.43		
会計学Ⅰ	高木 裕之	138	137	91	1	4	9	24	17	36	33	33	10	1	2	1.3		
会計学Ⅱ	松本 康一郎	31	31	18	0	0	3	4	8	3	6	6	1	4	2	1.52		
原価計算Ⅰ	大原 昌明	46	46	40	5	16	7	4	5	3	1	1	2	2	1	2.79		
原価計算Ⅱ	大原 昌明	30	30	20	9	6	2	1	2	0	3	3	0	6	1	3.02		
管理会計Ⅰ	大原 昌明	39	38	27	5	12	2	6	1	1	2	2	1	7	1	2.86		
管理会計Ⅱ	大原 昌明	30	30	26	5	6	9	3	2	1	0	0	0	4	0	3.09		
国際会計Ⅰ	松本 康一郎	10	10	9	0	1	3	3	2	0	0	0	0	1	0	2.66		
国際会計Ⅱ	松本 康一郎	6	6	4	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	2.12		
流通サービス経営論Ⅰ	西脇 隆二	56	56	46	0	0	3	3	17	23	2	2	0	7	1	1.53		
流通サービス経営論Ⅱ	西脇 隆二	36	36	27	1	1	6	11	8	0	1	1	0	6	2	2.46		
消費者行動論	韓 文熙	131	129	110	9	19	35	20	11	16	8	8	4	7	0	2.38		
広告コミュニケーション論	西脇 隆二	38	37	34	5	9	13	6	0	1	0	0	0	3	0	3.04		
国際マーケティング	韓 文熙	97	96	83	5	22	16	11	7	22	3	3	6	3	1	2.26		
証券と金融	山口 博教	33	31	23	4	0	4	9	3	3	2	2	3	2	1	1.98		
証券市場論	山口 博教	64	63	56	2	8	9	16	12	9	1	1	4	2	0	2.19		
年金制度論	羽田 保子	84	83	79	6	14	14	16	19	10	3	3	0	1	0	2.44		
職業指導	坂口 勝幸	17	16	13	0	3	3	6	1	0	0	0	1	2	0	2.43		
経済政策論	増田 辰良	28	28	14	0	1	2	2	9	0	6	6	0	5	3	1.62		
国際金融論	秋森 弘	33	33	14	2	1	2	3	5	1	4	4	0	12	3	2		
経済法	萩原 浩太	93	92	86	4	16	24	30	11	1	0	0	0	6	0	2.81		
基礎経済学(A)	南 ホチヨル	96	96	79	7	2	20	21	16	13	6	6	10	0	1	2.02		
基礎経済学(B)	多鹿 智哉	75	74	62	4	7	12	15	14	10	4	4	8	0	0	2.02		
企業法入門	伊東 尚美	54	53	36	1	7	3	4	7	14	5	5	12	0	0	1.42		
法哲学	岩本 一郎	62	62	56	7	6	15	23	5	0	0	0	0	5	1	2.88		
法と経済	増田 辰良	78	78	32	0	1	1	11	8	11	36	36	0	8	2	0.89		
演習Ⅰ(A)	増田 辰良	12	12	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5		
演習Ⅰ(B)	篠田 優	13	13	13	4	4	1	1	3	0	0	0	0	0	0	3.19		
演習Ⅰ(C)	岩本 一郎	24	24	24	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
演習Ⅰ(D)	秋森 弘	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
演習Ⅰ(E)	足立 清人	18	18	18	17	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.94		
演習Ⅰ(F)	竹田 恒規	18	18	18	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
演習Ⅰ(G)	南 ホチヨル	6	6	5	0	5	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2.91		
演習Ⅰ(H)	多鹿 智哉	19	19	19	14	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0	3.6		
演習Ⅱ(A)	増田 辰良	9	9	9	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0	0	2.94		
演習Ⅱ(B)	篠田 優	4	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
演習Ⅱ(C)	岩本 一郎	17	17	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4		
演習Ⅱ(D)	秋森 弘	5	5	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5		
演習Ⅱ(E)	足立 清人	11	10	9	8	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3.5		
演習Ⅱ(F)	長屋 幸世	5	5	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.9		
演習Ⅱ(G)	萩原 浩太	14	14	13	0	5	4	3	1	0	0	0	0	1	0	3		
演習Ⅱ(H)	伊東 尚美	15	15	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4		
演習Ⅱ(I)	竹田 恒規	14	14	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
演習Ⅱ(J)	南 ホチヨル	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5		
演習Ⅱ(K)	多鹿 智哉	16	16	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		

2013年度以降入学生

(表V-18-17)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W			
演習Ⅲ(A)	増田 辰良	2	2	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2.5
演習Ⅲ(B)	篠田 優	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
演習Ⅲ(C)	岩本 一郎	11	11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
演習Ⅲ(E)	足立 清人	15	15	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
演習Ⅲ(F)	長屋 幸世	11	11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
演習Ⅲ(G)	萩原 浩太	15	15	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	
演習Ⅲ(H)	伊東 尚美	7	7	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	
演習Ⅲ(I)	南 ホチヨル	7	7	7	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	
演習Ⅲ(J)	大原 昌明	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
演習Ⅲ(K)	松本 康一郎	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
モダン・エコノミクス	増田 辰良	49	49	17	0	0	2	0	4	11	21	21	0	9	2	0.65		
経済数学(法)	多鹿 智哉	15	15	10	0	1	1	0	2	6	1	1	4	0	0	1.1		
データ調査論	星野 克紀	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
北海道経済論(B)	斉藤 正広	219	218	204	9	33	43	76	40	3	0	0	10	0	4	2.58		
憲法Ⅰ〔人権〕	岩本 一郎	183	182	139	4	15	33	17	40	30	26	26	16	0	1	1.75		
憲法Ⅱ〔統治機構〕	岩本 一郎	110	110	85	2	3	14	13	28	25	21	21	3	0	1	1.59		
行政法Ⅰ〔行政法総論〕	竹田 恒規	144	141	90	2	6	8	14	21	39	45	45	6	0	0	1.17		
行政法Ⅱ〔行政救済法〕	竹田 恒規	38	38	35	1	1	2	9	9	13	0	0	3	0	0	1.76		
地方自治法	竹田 恒規	52	51	29	1	4	2	4	5	13	11	11	11	0	0	1.09		
メディア法	岩本 一郎	86	85	68	3	10	10	15	15	15	1	1	13	0	3	1.94		
国際人権法	岩本 一郎	94	93	85	20	9	37	10	8	1	0	0	0	6	2	3.07		
民法Ⅰ〔民法総則・物権〕	篠田 優	165	164	93	4	1	10	27	30	21	58	58	13	0	0	1.2		
民法Ⅳ〔債権総論〕	足立 清人	77	77	61	2	10	7	10	13	19	13	13	3	0	0	1.74		
民法Ⅴ〔担保物権〕	足立 清人	55	55	48	1	4	10	8	18	7	3	3	4	0	0	2.01		
民法Ⅵ〔親族〕	篠田 優	17	16	8	1	2	0	2	3	0	3	3	4	0	1	1.37		
民法Ⅶ〔相続〕	足立 清人	28	28	25	1	3	2	8	9	2	0	0	1	1	1	2.32		
商法Ⅰ〔商法総則・商行為法〕	伊東 尚美	130	130	89	11	11	12	17	22	16	30	30	10	0	1	1.71		
商法Ⅱ〔会社法〕	伊東 尚美	64	64	41	5	1	7	7	11	10	17	17	5	0	1	1.49		
金融取引法	足立 清人	31	30	23	1	5	5	5	6	1	0	0	6	1	0	2.06		
知的所有権法	萩原 浩太	5	5	4	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1	3		
民事訴訟法	長屋 幸世	53	53	42	9	4	4	8	10	7	8	8	3	0	0	2.05		
民事執行法	長屋 幸世	12	12	9	3	2	0	1	0	3	1	1	2	0	0	2.04		
倒産処理法	長屋 幸世	26	26	20	9	3	3	2	2	1	1	1	4	0	1	2.62		
卒業論文	長屋 幸世	6	6	4	3	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	2.33		
法学入門	長屋 幸世	157	156	111	7	6	23	17	34	24	31	31	11	1	2	1.63		
ミクロ経済学(教職)	山邑 紘史	4	4	4	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3.37		
マクロ経済学(情法)	山本 賢司	70	70	67	12	20	13	16	4	2	1	1	1	0	1	3		
ミクロ経済学(情法)	多鹿 智哉	13	13	4	0	0	0	2	1	1	1	1	6	0	2	0.72		
証券論	南 ホチヨル	30	29	15	0	1	2	6	2	4	13	13	0	0	1	1.12		
企業金融論	南 ホチヨル	64	64	56	8	11	11	21	3	2	2	2	6	0	0	2.56		
財政学	板谷 淳一	78	76	47	14	12	9	5	4	3	16	16	3	5	5	2.18		
経済・経営分析実習	星野 克紀	25	24	13	0	3	5	5	0	0	0	0	3	8	0	2.23		
刑事法Ⅰ〔刑法総論〕	本井 孝史	77	77	66	8	7	16	13	14	8	5	5	0	5	1	2.43		
刑事法Ⅱ〔刑法各論・刑事訴訟法〕	城下 裕二	22	21	15	0	3	4	4	2	2	3	3	0	2	1	2.02		
民法Ⅱ〔債権各論〕	足立 清人	114	114	92	9	8	13	32	21	9	14	14	8	0	0	2.05		
民法再入門	篠田 優	51	51	43	2	8	3	12	10	8	0	0	0	8	0	2.39		
民法ⅠⅠⅠ〔不法行為〕	篠田 優	20	20	12	1	0	5	4	2	0	1	1	5	0	2	1.83		
手続法基礎論	長屋 幸世	140	138	126	10	8	33	33	28	14	6	6	5	0	1	2.29		
応用経済学特別講義	増田 辰良	16	15	9	0	0	0	1	4	4	4	4	0	1	1	1.03		
先端法律学特別講義	萩原 浩太	69	69	68	3	3	19	31	12	0	0	0	0	1	0	2.66		
規制と競争の経済学	増田 辰良	28	28	13	0	0	2	4	4	3	7	7	0	8	0	1.35		
基礎力養成塾Ⅰ(A)	足立 清人	15	15	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
基礎力養成塾Ⅰ(B)	増田 辰良	15	15	13	0	0	2	1	2	8	0	0	0	2	0	1.57		
基礎力養成塾Ⅰ(C)	萩原 浩太	6	6	6	1	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	2.58		
基礎力養成塾Ⅰ(D)	秋森 弘	13	13	13	10	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3.69		
基礎力養成塾Ⅰ(E)	岩本 一郎	18	18	18	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
基礎力養成塾Ⅰ(F)	長屋 幸世	12	12	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
基礎力養成塾Ⅰ(G)	竹田 恒規	15	15	15	5	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3.53		

2013年度以降入学生

(表V-18-18)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W			
基礎力養成塾Ⅰ(H)	伊東 尚美	7	7	6	6	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3.42	
基礎力養成塾Ⅱ(A)	篠田 優	7	7	5	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3.6	
基礎力養成塾Ⅱ(B)	足立 清人	9	9	9	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.88	
基礎力養成塾Ⅱ(C)	南 ホチヨル	14	14	14	0	10	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	3.17	
基礎力養成塾Ⅱ(D)	増田 辰良	12	11	9	0	0	0	5	1	3	2	2	0	0	0	0	1.45	
基礎力養成塾Ⅱ(E)	多鹿 智哉	4	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
証券概論	秋森 弘	45	44	13	0	1	3	2	0	7	28	28	1	2	0	0	0.56	
経済数学基礎	多鹿 智哉	111	110	90	5	13	14	13	23	22	13	13	7	0	0	0	1.87	
経済数学(情法)	多鹿 智哉	57	57	51	2	5	5	16	10	13	2	2	4	0	0	0	1.99	
ミクロ経済学Ⅰ(情法)	多鹿 智哉	113	113	80	8	20	13	15	14	10	20	20	11	0	2	1.95		
ミクロ経済学Ⅱ(情法)	多鹿 智哉	70	70	66	1	6	11	22	24	2	2	2	2	0	0	0	2.32	
証券経済論	秋森 弘	3	3	3	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2.66	
公共政策データ論	星野 克紀	17	17	12	0	9	1	2	0	0	0	0	3	2	0	0	2.63	
金融財政事情	羽田 保子	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
知的財産法	萩原 浩太	60	60	60	1	6	26	24	3	0	0	0	0	0	0	0	2.81	
ミクロ経済学Ⅰ(教職)	山邑 紘史	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
ミクロ経済学Ⅱ(教職)	山邑 紘史	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
計量経済学(法)	南 ホチヨル	15	15	14	5	4	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3.5	
社会福祉概説	佐橋 克彦	194	192	182	9	44	80	37	11	1	0	0	1	9	0	0	2.94	
公衆衛生	佐々木 浩子	67	66	57	23	20	8	3	3	0	0	0	2	6	1	0	3.32	
ソーシャルワーク論Ⅰ	栗山 隆	201	200	156	0	18	99	33	6	0	0	0	44	0	0	0	2.26	
ソーシャルワーク論Ⅱ	大友 秀治	186	185	171	0	0	152	11	7	1	0	0	0	14	0	0	2.89	
コミュニティワーク論(A)	岡田 直人	114	112	95	11	19	16	22	15	12	7	7	0	10	0	0	2.45	
コミュニティワーク論(B)	池田 雅子	89	89	87	9	33	23	15	6	1	1	1	0	1	0	0	3.07	
社会福祉調査論(福祉士)	中田 知生	167	167	120	2	8	9	25	25	51	35	35	10	1	1	0	1.37	
介護概論	八巻 貴穂	166	164	150	13	74	55	6	2	0	0	0	1	12	1	0	3.23	
公的扶助論(A)	松岡 是伸	93	93	79	7	4	27	23	14	4	2	2	0	11	1	0	2.62	
公的扶助論(B)	松岡 是伸	69	69	65	1	1	32	25	6	0	1	1	0	3	0	0	2.69	
地域福祉論(A)	岡田 直人	94	94	86	8	15	19	26	10	8	2	2	0	6	0	0	2.66	
障害者福祉論	田中 耕一郎	178	178	149	23	23	26	25	31	21	10	10	6	13	0	0	2.4	
地域福祉論(B)	池田 雅子	84	84	74	5	7	22	17	9	14	7	7	0	3	0	0	2.28	
パーソナリティ心理学(社部)	佐藤 祐基	19	19	13	11	2	0	0	0	0	0	0	1	3	2	0	3.64	
臨床心理学	田澤 安弘	27	26	15	0	0	1	0	4	10	1	1	0	8	2	0	1.23	
社会心理学(社部)	栗林 克匡	54	54	41	2	6	4	12	11	6	2	2	4	5	2	0	2.1	
福祉心理学	豊村 和真	131	130	43	6	6	12	9	7	3	76	76	9	1	1	0	0.94	
知的障害者の心理(A)	牧田 浩一	42	40	32	1	1	7	9	12	2	2	2	0	5	1	0	2.2	
知的障害者の心理(B)	播磨 正一	12	12	11	0	2	5	3	1	0	0	0	0	1	0	0	2.86	
ソーシャルワーク方法論Ⅰ	横山 穰	209	208	177	5	55	70	38	5	4	0	0	0	31	0	0	3	
ソーシャルワーク方法論Ⅱ	横山 穰	254	253	209	3	78	109	17	1	1	0	0	0	43	1	0	3.13	
福祉計画概説	中田 知生	94	94	90	3	26	45	15	1	0	3	3	1	0	0	0	2.95	
ジェンダー論(計)	ネンシュティール	129	129	87	16	5	10	20	17	19	28	28	0	12	2	0	1.86	
社会調査入門	中田 知生	56	56	42	0	9	11	10	6	6	0	0	11	1	2	0	2.02	
社会調査法	中田 知生	20	20	18	0	1	4	8	4	1	0	0	1	1	0	0	2.34	
福祉社会学	中田 知生	47	47	40	2	3	3	3	10	19	3	3	4	0	0	0	1.57	
福祉財政論〔2単位〕	安部 雅仁	66	65	52	1	6	4	12	14	15	4	4	5	2	2	0	1.77	
ケアマネジメント論	岡田 直人	75	74	58	2	7	16	20	7	6	10	10	0	6	0	0	2.18	
社会福祉調査方法論	中田 知生	18	17	15	0	1	3	2	5	4	0	0	2	0	0	0	1.75	
非営利組織論	杉岡 直人	59	59	50	7	15	16	8	1	3	0	0	5	4	0	0	2.79	
福祉計画特論	武川 正吾	64	64	50	2	13	19	12	3	1	0	0	13	1	0	0	2.34	
福祉国家論	伊藤 新一郎	99	98	86	0	1	20	32	18	15	0	0	0	11	1	0	2.23	
福祉計画論Ⅰ	伊藤 新一郎	117	116	89	4	10	18	19	17	21	21	21	0	6	0	0	1.86	
福祉計画論Ⅱ	佐橋 克彦	104	102	92	0	11	17	48	16	0	2	2	6	2	0	0	2.36	
社会教育計画	斎藤 仁史	7	7	5	0	3	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	2.9	
社会教育方法論	辻 智子	22	22	11	0	0	5	3	3	0	0	0	1	9	1	0	2.37	
データ解析入門	高田 洋	10	10	9	1	1	5	2	0	0	0	0	1	0	0	0	2.75	
労働法	林 健太郎	97	95	86	2	10	31	18	14	11	5	5	2	2	0	0	2.31	
労働法Ⅰ	林 健太郎	137	137	131	7	18	37	41	16	12	1	1	4	0	1	0	2.56	
労働法Ⅱ	林 健太郎	115	115	102	1	14	37	24	16	10	4	4	8	0	1	0	2.33	

2013年度以降入学生

(表V-18-19)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	欠無	W			
租税法	竹田 恒規	97	96	73	19	21	13	8	6	6	13	13	10	0	0	0	2.33	
社会福祉調査実習	中田 知生	2	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1.5		
卒業論文	佐橋 克彦	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3.5		
卒業論文	佐橋 克彦	11	11	4	0	0	2	2	0	0	0	0	0	6	1	2.75		
卒業論文	佐橋 克彦	16	16	12	0	0	9	1	2	0	0	0	0	4	0	2.79		
卒業論文	佐橋 克彦	3	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2.5		
卒業論文	佐橋 克彦	16	16	16	0	2	8	5	0	1	0	0	0	0	0	2.78		
卒業論文	佐橋 克彦	13	13	10	0	1	4	3	2	0	0	0	0	2	1	2.7		
卒業論文	佐橋 克彦	8	8	5	0	1	1	2	0	1	0	0	0	3	0	2.5		
コミュニティワーク実習	杉岡 直人	21	21	21	8	5	4	3	1	0	0	0	0	0	0	3.38		
医療経済学	安部 雅仁	46	45	25	3	5	5	4	6	2	6	6	11	0	3	1.59		
専門演習Ⅰ	ネンシュティール	7	7	7	0	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	3.07		
専門演習Ⅰ	安部 雅仁	13	13	13	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.96		
専門演習Ⅰ	岡田 直人	12	12	12	0	4	3	5	0	0	0	0	0	0	0	2.95		
専門演習Ⅰ	佐橋 克彦	11	10	10	0	1	3	6	0	0	0	0	0	0	0	2.5		
専門演習Ⅰ	伊藤 新一郎	13	13	13	0	5	8	0	0	0	0	0	0	0	0	3.19		
専門演習Ⅰ	松岡 是伸	13	12	11	3	3	0	2	1	2	0	0	0	1	0	2.62		
専門演習Ⅰ	林 健太郎	11	11	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5		
専門演習Ⅱ	ネンシュティール	7	7	7	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3.21		
専門演習Ⅱ	安部 雅仁	13	13	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
専門演習Ⅱ	岡田 直人	12	12	12	2	4	5	0	1	0	0	0	0	0	0	3.25		
専門演習Ⅱ	佐橋 克彦	10	10	10	0	2	3	3	0	2	0	0	0	0	0	2.54		
専門演習Ⅱ	伊藤 新一郎	13	13	13	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5		
専門演習Ⅱ	松岡 是伸	14	13	11	4	1	1	1	2	2	0	0	0	2	0	2.58		
専門演習Ⅱ	林 健太郎	11	11	11	3	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	3.36		
専門演習Ⅲ	ネンシュティール	12	12	12	1	3	1	2	5	0	0	0	0	0	0	2.7		
専門演習Ⅲ	安部 雅仁	15	15	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
専門演習Ⅲ	岡田 直人	16	16	16	0	3	11	2	0	0	0	0	0	0	0	3.03		
専門演習Ⅲ	佐橋 克彦	14	14	14	0	4	9	0	0	1	0	0	0	0	0	3		
専門演習Ⅲ	伊藤 新一郎	16	16	16	1	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.53		
専門演習Ⅲ	松岡 是伸	15	15	15	6	4	1	1	2	1	0	0	0	0	0	3.23		
専門演習Ⅲ	林 健太郎	18	18	18	0	3	5	7	1	2	0	0	0	0	0	2.61		
専門演習Ⅳ	ネンシュティール	13	12	11	2	1	2	0	3	3	0	0	0	1	0	2.2		
専門演習Ⅳ	安部 雅仁	15	15	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
専門演習Ⅳ	岡田 直人	16	16	16	4	4	4	2	2	0	0	0	0	0	0	3.18		
専門演習Ⅳ	佐橋 克彦	14	14	13	0	4	4	3	2	0	0	0	0	1	0	2.88		
専門演習Ⅳ	伊藤 新一郎	16	16	16	1	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.53		
専門演習Ⅳ	松岡 是伸	16	16	16	7	2	1	3	1	2	0	0	0	0	0	3.09		
専門演習Ⅳ	林 健太郎	18	18	15	1	4	5	2	1	2	3	3	0	0	0	2.33		
海外の福祉制度	松岡 是伸	60	60	54	0	8	28	12	5	1	0	0	0	5	1	2.83		
海外福祉計画実習	岡田 直人	9	9	9	2	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3.38		
国際比較福祉論	ネンシュティール	59	59	39	0	5	10	12	10	2	13	13	0	6	1	1.91		
福祉計画インターンシップ	杉岡 直人	7	7	6	1	1	4	0	0	0	1	1	0	0	0	2.78		
世界史Ⅰ(文社部)	木下 憲治	24	23	22	1	2	5	5	7	2	1	1	0	0	0	2.27		
障害児教育論	田実 潔	22	22	20	1	4	11	3	0	1	0	0	1	1	0	2.83		
知的障害者の病理保健	西野 昭子	33	33	32	2	4	3	13	9	1	1	1	0	0	0	2.5		
肢体不自由者の心理	播磨 正一	45	44	42	0	7	9	9	7	10	0	0	0	2	0	2.27		
肢体不自由者の病理保健	一木 崇宏	23	23	22	5	16	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3.59		
病弱者の心理	播磨 正一	75	72	68	14	24	11	12	6	1	1	1	0	2	1	3		
病弱者の病理保健	田辺 等	33	33	31	4	8	9	5	3	2	0	0	1	1	0	2.85		
知的障害教育方法論Ⅰ	西田 充潔	19	19	12	2	6	1	1	2	0	1	1	0	5	1	2.96		
知的障害教育方法論Ⅱ	田実 潔	16	14	14	7	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0	3.06		
肢体不自由教育方法論	播磨 正一	20	18	16	0	0	3	5	3	5	0	0	0	0	2	1.8		
病弱教育方法論	渡辺 泰行	16	16	15	10	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3.83		
視覚障害教育論	伊藤 政勝	30	30	27	7	15	5	0	0	0	0	0	1	1	1	3.41		
聴覚障害教育論	荒木 広式	29	29	29	14	7	4	2	2	0	0	0	0	0	0	3.5		
重複障害・LD等教育論	田実 潔	13	13	12	3	5	3	1	0	0	0	0	1	0	0	3.15		
障害児教育実習	田実 潔	19	19	19	11	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	3.36		

2013年度以降入学生

(表V-18-20)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP	
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W				
生涯学習概論	斎藤 仁史	5	5	4	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3.37
青少年問題と社会教育	斎藤 仁史	4	4	3	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
家庭教育と社会教育	辻 智子	47	47	42	1	10	14	13	4	0	0	0	0	2	2	1		2.76	
高齢化と社会教育	斎藤 仁史	23	23	16	4	4	4	2	1	1	0	0	0	0	0	7	0	3.12	
社会教育演習	斎藤 仁史	23	23	22	6	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3.36	
社会保障法	林 健太郎	92	90	63	2	14	19	16	11	1	2	2	22	2	1		1.98		
心理学理論と心理的支援(A)	佐藤 祐基	64	63	60	38	7	6	5	3	1	0	0	1	2	0		3.45		
心理学理論と心理的支援(B)	佐藤 祐基	211	208	196	129	16	19	14	9	9	2	2	2	7	1		3.4		
社会理論と社会システム	水川 喜文	251	248	160	11	10	27	29	40	43	34	34	11	40	3		1.7		
医学知識 I	田辺 等	109	109	92	7	21	20	20	16	8	3	3	2	11	1		2.59		
医学知識 II	田辺 等	117	115	104	8	21	25	15	21	14	1	1	0	10	0		2.56		
高齢者福祉論	畑 亮輔	158	158	119	9	13	20	22	20	35	27	27	0	12	0		1.85		
児童・家庭福祉論	栗山 隆	189	188	169	1	14	100	50	4	0	0	0	16	1	2		2.62		
相談援助実践論	吉田 竜平	111	111	108	0	1	70	34	3	0	0	0	0	3	0		2.81		
相談援助入門実習	伊藤 新一郎	94	94	94	0	94	0	0	0	0	0	0	0	0	0		3.5		
相談援助演習 I (A)	岡田 直人	16	16	16	0	6	7	2	1	0	0	0	0	0	0		3.06		
相談援助演習 I (B)	山下 浩紀	15	15	14	8	4	2	0	0	0	0	0	0	1	0		3.71		
相談援助演習 I (C)	高野 和美	16	16	15	10	2	2	1	0	0	0	0	0	1	0		3.7		
相談援助演習 I (D)	松浦 智和	15	15	15	0	7	8	0	0	0	0	0	0	0	0		3.23		
相談援助演習 I (E)	横山 穰	17	16	16	1	8	7	0	0	0	0	0	0	0	0		3.11		
相談援助演習 I (F)	吉田 修大	16	16	16	0	13	1	1	1	0	0	0	0	0	0		3.31		
相談援助演習 I (G)	小泉 良子	16	16	15	3	7	3	2	0	0	0	0	0	1	0		3.36		
相談援助演習 II (B)	山下 浩紀	16	16	16	6	8	1	1	0	0	0	0	0	0	0		3.59		
相談援助演習 II (C)	高野 和美	11	11	11	6	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0		3.63		
相談援助演習 II (D)	松浦 智和	11	11	10	0	6	4	0	0	0	0	0	0	1	0		3.3		
相談援助演習 II (E)	寺田 香	15	15	15	1	7	6	1	0	0	0	0	0	0	0		3.26		
相談援助演習 II (F)	尾形 良子	8	8	7	0	3	2	2	0	0	0	0	0	1	0		3.07		
相談援助演習 II (G)	栗山 隆	12	12	12	0	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0		3.45		
相談援助実習指導 I (A)	伊藤 新一郎	11	11	11	5	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0		3.63		
相談援助実習指導 I (B)	林 健太郎	9	9	9	0	7	0	1	1	0	0	0	0	0	0		3.22		
相談援助実習指導 I (C)	畠山 明子	8	8	8	0	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0		3.37		
相談援助実習指導 I (D)	西田 充潔	14	14	14	3	6	1	3	0	1	0	0	0	0	0		3.17		
相談援助実習指導 I (E)	鈴木 道代	13	13	13	0	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0		3.34		
相談援助実習指導 I (F)	大友 秀治	14	14	13	0	9	3	0	1	0	0	0	0	1	0		3.26		
相談援助実習指導 I (G)	松井 祐子	13	13	13	9	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0		3.65		
相談援助実習指導 I (H)	吉田 竜平	13	13	13	2	5	4	2	0	0	0	0	0	0	0		3.26		
相談援助実習指導 II (A)	松岡 是伸	10	10	10	1	3	2	3	1	0	0	0	0	0	0		3		
相談援助実習指導 II (B)	畠山 明子	6	6	6	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0		2.83		
相談援助実習指導 II (C)	畑 亮輔	16	16	15	4	6	3	2	0	0	0	0	0	1	0		3.4		
相談援助実習指導 II (D)	池田 雅子	11	11	11	0	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0		3.36		
相談援助実習指導 II (E)	栗山 隆	10	10	10	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0		3.85		
相談援助実習指導 II (F)	西田 充潔	9	9	8	0	5	2	1	0	0	0	0	0	1	0		3.25		
相談援助実習指導 II (G)	吉田 竜平	11	11	11	0	2	6	2	1	0	0	0	0	0	0		2.9		
相談援助実習指導 III (A)	松岡 是伸	10	10	9	0	2	2	4	1	0	0	0	0	1	0		2.77		
相談援助実習指導 III (B)	畠山 明子	6	6	6	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0		2.83		
相談援助実習指導 III (C)	畑 亮輔	15	15	15	0	3	9	3	0	0	0	0	0	0	0		3		
相談援助実習指導 III (D)	池田 雅子	11	11	11	0	1	8	2	0	0	0	0	0	0	0		2.95		
相談援助実習指導 III (E)	栗山 隆	10	10	10	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0		3.8		
相談援助実習指導 III (F)	西田 充潔	8	8	8	0	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0		3.37		
相談援助実習指導 III (G)	吉田 竜平	11	11	11	0	3	4	4	0	0	0	0	0	0	0		2.95		
相談援助実習	畑 亮輔	71	71	70	10	17	25	13	3	2	1	1	0	0	0		3.02		
福祉行政と福祉計画	安部 雅仁	198	197	145	4	8	33	39	30	31	25	25	24	2	1		1.7		
社会保障論 I (A)	安部 雅仁	115	114	96	1	4	15	27	27	22	15	15	2	1	0		1.81		
社会保障論 I (B)	伊藤 新一郎	93	92	67	12	10	22	11	8	4	15	15	0	9	1		2.36		
社会保障論 II (A)	松岡 是伸	106	106	95	3	13	23	28	23	5	1	1	0	9	1		2.57		
社会保障論 II (B)	鎮目 真人	91	91	79	13	40	17	8	1	0	0	12	0	0		2.91			
労災と就労支援	林 健太郎	109	108	94	8	22	25	18	12	9	3	3	5	2	4		2.54		
権利擁護と成年後見制度	林 健太郎	183	183	159	2	13	43	47	32	22	7	7	14	2	1		2.14		

2013年度以降入学生

(表V-18-21)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	欠無	W			
社会福祉管理運営論	畑 亮輔	106	105	93	0	5	11	18	36	23	6	6	1	4	1	1.88		
ソーシャルワーク実践理論Ⅰ	中村 和彦	101	100	87	0	1	3	24	30	29	8	8	0	5	0	1.68		
ソーシャルワーク実践理論Ⅱ	中村 和彦	104	102	85	0	3	16	24	26	16	11	11	0	6	0	1.9		
精神疾患とその治療Ⅰ	田辺 等	33	33	30	7	13	3	4	2	1	0	0	0	2	1	3.25		
精神疾患とその治療Ⅱ	田辺 等	24	24	22	1	3	5	7	3	3	0	0	0	2	0	2.54		
精神保健の課題と支援Ⅰ	田辺 等	27	27	23	0	6	11	5	1	0	1	1	3	0	0	2.53		
精神保健の課題と支援Ⅱ	松本 真由美	19	19	19	10	5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	3.63		
精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	中村 和彦	27	27	27	0	5	7	8	4	3	0	0	0	0	0	2.57		
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ	中村 和彦	21	21	19	0	3	3	7	4	2	1	1	0	1	0	2.35		
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	浅野 雅子	20	20	19	4	3	8	3	1	0	0	0	0	1	0	3.15		
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ	浅野 雅子	19	19	19	7	4	6	2	0	0	0	0	0	0	0	3.42		
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ	橋本 菊次郎	8	8	8	1	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3.37		
精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ	永井 順子	33	33	31	2	6	12	8	2	1	1	1	1	0	0	2.72		
精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	大友 秀治	20	20	20	6	7	4	3	0	0	0	0	0	0	0	3.4		
精神障害者の生活支援システム	永井 順子	9	9	9	1	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3.44		
精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ(A)	中村 和彦	9	9	9	0	4	3	2	0	0	0	0	0	0	0	3.11		
精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ	中村 和彦	8	8	8	0	4	1	3	0	0	0	0	0	0	0	3.06		
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ(A)	中村 和彦	9	9	9	0	6	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3.22		
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	中村 和彦	8	8	8	0	2	5	1	0	0	0	0	0	0	0	3.06		
精神保健福祉援助実習	中村 和彦	8	8	8	0	2	5	1	0	0	0	0	0	0	0	3.06		
成人期発達論	西田 充潔	91	91	87	3	62	19	2	1	0	0	0	3	1	0	3.25		
高齢期発達論	畑 亮輔	100	98	92	9	25	24	21	6	7	0	0	0	6	0	2.84		
子ども発達論	西田 充潔	8	8	6	1	3	1	0	0	1	0	0	0	2	0	3.08		
地域ソーシャルワーク論	池田 雅子	79	79	77	4	16	30	15	10	2	0	0	0	2	0	2.87		
子ども家庭ソーシャルワーク論	大畑 和子	63	63	60	10	13	11	9	16	1	1	1	0	0	2	2.85		
障害者ソーシャルワーク論	光増 昌久	33	33	32	0	5	15	10	2	0	0	0	0	1	0	2.85		
高齢者ソーシャルワーク論	若狭 重克	54	54	49	2	9	9	13	6	10	4	4	0	1	0	2.28		
保健医療ソーシャルワーク論	池田 里子	44	44	31	0	3	2	8	9	9	5	5	1	5	2	1.71		
療法論Ⅱ	池田 雅子	3	3	3	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3.16		
精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ(B)	永井 順子	8	8	8	0	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	3.18		
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ(B)	永井 順子	8	8	8	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.43		
こどもの発達と社会	西田 充潔	81	81	78	8	53	14	2	1	0	0	0	2	1	0	3.33		
成人・高齢者の生活と社会	畑 亮輔	82	81	76	4	15	10	21	15	11	0	0	1	4	0	2.46		
福祉臨床基礎演習	横山 稔	9	9	8	1	3	2	1	1	0	0	0	0	0	1	3.12		
福祉臨床基礎演習	池田 雅子	18	18	18	2	7	9	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3		
福祉臨床基礎演習	栗山 隆	18	18	18	0	11	7	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3		
福祉臨床基礎演習	大友 秀治	18	18	18	0	15	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3.3		
福祉臨床基礎演習	田実 潔	9	9	9	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5		
福祉臨床基礎演習	水川 喜文	14	14	14	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.75		
福祉臨床専門演習	横山 稔	5	5	5	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2.7		
福祉臨床専門演習	池田 雅子	13	13	13	0	3	6	4	0	0	0	0	0	0	0	2.96		
福祉臨床専門演習	田中 耕一郎	11	11	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5		
福祉臨床専門演習	栗山 隆	14	14	14	0	9	3	0	2	0	0	0	0	0	0	3.17		
福祉臨床専門演習	中村 和彦	13	13	13	0	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3.42		
福祉臨床専門演習	西田 充潔	5	5	5	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3.4		
福祉臨床専門演習	永井 順子	13	13	13	7	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.73		
福祉臨床専門演習	畑 亮輔	15	15	15	8	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.73		
福祉臨床専門演習	大友 秀治	10	10	10	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.7		
福祉臨床入門	栗山 隆	81	81	81	0	17	57	7	0	0	0	0	0	0	0	3.06		
福祉臨床基礎実習	永井 順子	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
障害学	堀 智久	13	12	6	3	0	0	1	2	0	0	0	0	5	1	2.64		
ジェンダー・スタディーズ	宮崎 理	16	16	10	0	4	3	3	0	0	0	0	0	6	0	3.05		
倫理学	田中 耕一郎	107	106	102	0	7	35	49	10	1	0	0	4	0	0	2.55		
福祉臨床研究法AⅠ	畑 亮輔	100	100	100	8	27	32	23	9	1	0	0	0	0	0	2.99		
福祉臨床基礎実習指導Ⅰ(A)	畑 亮輔	21	21	21	3	8	8	0	1	1	0	0	0	0	0	3.19		
福祉臨床基礎実習指導Ⅰ(B)	永井 順子	20	20	20	2	9	4	4	1	0	0	0	0	0	0	3.17		
福祉臨床基礎実習指導Ⅰ(C)	大友 秀治	20	20	20	1	2	5	5	6	1	0	0	0	0	0	2.57		
福祉臨床基礎実習指導Ⅰ(D)	吉田 竜平	20	20	20	2	2	4	7	5	0	0	0	0	0	0	2.72		

2013年度以降入学生

(表V-18-22)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP	
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	欠無	W				
福祉臨床基礎実習指導Ⅱ(A)	畑 亮輔	21	20	20	5	6	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.16
福祉臨床基礎実習指導Ⅱ(B)	永井 順子	20	20	20	4	5	7	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.12
福祉臨床基礎実習指導Ⅱ(C)	大友 秀治	20	20	18	1	6	4	4	2	1	0	0	0	0	2	0	0	2.88	
福祉臨床基礎実習指導Ⅱ(D)	吉田 竜平	20	20	20	1	2	6	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2.72	
差別論	横山 穰	15	15	9	2	2	1	2	2	0	0	0	0	0	4	2	0	3	
障害行動論Ⅰ	永井 順子	6	6	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	3	0	0.5	
障害行動論Ⅱ	田中 耕一郎	16	16	12	0	2	9	0	1	0	1	1	0	3	0	0	0	2.76	
施設ソーシャルワーク論	畑 亮輔	100	100	96	5	25	21	25	10	10	0	0	1	2	1	0	0	2.71	
医療福祉論	伊藤 恵里子	189	189	177	16	43	52	46	15	5	1	1	1	10	0	0	0	2.9	
スクールソーシャルワーク論	大友 秀治	8	8	8	0	3	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
司法福祉論	田頭 理	138	136	119	10	30	25	26	13	15	1	1	0	15	1	0	0	2.67	
福祉臨床研究法AⅡ	水川 喜文	4	4	4	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.12	
福祉臨床研究法BⅠ	西田 充潔	104	104	104	5	15	38	29	9	8	0	0	0	0	0	0	0	2.74	
福祉臨床研究法BⅡ	西田 充潔	11	11	11	0	2	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.81	
リハビリテーション論Ⅰ	八田 達夫	8	8	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3.5	
リハビリテーション論Ⅱ	高橋 光彦	14	14	13	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3.73	
卒業論文	永井 順子	11	11	10	0	1	2	4	3	0	0	0	1	0	0	0	0	2.31	
卒業論文	永井 順子	13	13	13	1	2	3	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2.57	
卒業論文	永井 順子	14	14	11	0	1	0	4	4	2	0	0	2	1	0	0	0	1.8	
卒業論文	永井 順子	12	12	12	0	1	1	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	2.2	
卒業論文	永井 順子	5	5	5	0	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2.1	
卒業論文	永井 順子	13	13	11	1	3	3	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2.57	
卒業論文	永井 順子	10	10	10	1	0	5	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2.75	
卒業論文	永井 順子	12	12	12	1	2	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.91	
卒業論文(指導)	永井 順子	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
スクールソーシャルワーク演習	大友 秀治	6	6	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	
スクールソーシャルワーク実習指導	大友 秀治	6	6	6	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.75	
スクールソーシャルワーク実習	大友 秀治	6	6	6	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.83	
心理統計法基礎	眞嶋 良全	3	2	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0.33	
心理学研究法Ⅰ(福心)	豊村 和真	5	5	4	0	0	1	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	1.4	
心理学研究法Ⅱ(福心)	豊村 和真	26	24	23	1	5	5	3	1	8	1	1	0	0	0	0	0	2.07	
心理学実験演習(福心)	栗林 克匡	2	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
心理学実験	豊村 和真	9	7	7	0	0	2	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1.55	
臨床心理検査演習Ⅰ	西山 薫	70	69	67	35	19	9	2	1	1	1	1	0	1	0	0	0	3.5	
専門演習Ⅰ	田澤 安弘	11	11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
専門演習Ⅰ	牧田 浩一	10	10	10	3	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.6	
専門演習Ⅰ	鴨澤 あかね	5	5	4	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3.37	
専門演習Ⅰ	西山 薫	11	11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
専門演習Ⅰ	眞嶋 良全	9	9	9	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.88	
専門演習Ⅰ	佐藤 祐基	11	11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
専門演習Ⅱ	田澤 安弘	11	11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
専門演習Ⅱ	牧田 浩一	11	11	11	3	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.45	
専門演習Ⅱ	鴨澤 あかね	5	5	4	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2.75	
専門演習Ⅱ	西山 薫	11	11	11	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.63	
専門演習Ⅱ	眞嶋 良全	9	9	9	4	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.55	
専門演習Ⅱ	佐藤 祐基	11	11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
専門演習Ⅲ	栗林 克匡	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
専門演習Ⅲ	田澤 安弘	12	12	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
専門演習Ⅲ	牧田 浩一	9	9	9	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.77	
専門演習Ⅲ	鴨澤 あかね	8	8	8	1	0	2	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2.68	
専門演習Ⅲ	西山 薫	13	13	12	0	3	6	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	
専門演習Ⅲ	眞嶋 良全	3	3	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.66	
専門演習Ⅲ	佐藤 祐基	13	13	13	12	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.92	
専門演習Ⅳ	豊村 和真	2	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	
専門演習Ⅳ	栗林 克匡	9	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
専門演習Ⅳ	田澤 安弘	12	12	12	10	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3.5	
専門演習Ⅳ	牧田 浩一	9	9	9	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.83	
専門演習Ⅳ	鴨澤 あかね	8	8	7	1	0	2	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2.78	

2013年度以降入学生

(表V-18-23)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W			
専門演習Ⅳ	西山 薫	13	12	12	1	2	4	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2.65
専門演習Ⅳ	眞嶋 良全	3	3	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.66	
専門演習Ⅳ	佐藤 祐基	13	12	12	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.65	
卒業論文	豊村 和真	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5	
卒業論文	栗林 克匡	8	8	8	0	1	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	2.5	
卒業論文	田澤 安弘	12	12	10	0	0	0	7	2	1	0	0	2	0	0	0	1.87	
卒業論文	牧田 浩一	10	10	9	0	0	1	8	0	0	0	0	1	0	0	0	2.29	
卒業論文	鴨澤 あかね	8	8	7	0	0	0	5	1	1	0	0	0	1	0	0	2.21	
卒業論文	西山 薫	13	12	10	0	2	4	2	2	0	0	0	2	0	0	0	2.15	
卒業論文	眞嶋 良全	3	3	3	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.16	
卒業論文	佐藤 祐基	14	13	13	0	0	3	7	3	0	0	0	0	0	0	0	2.32	
臨床社会心理学	瀧本 誓	9	9	7	2	4	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3.5	
心理統計法(福心)	眞嶋 良全	11	11	10	1	1	3	0	4	1	0	0	1	0	0	0	2.31	
学習心理学(福心)	高橋 雅治	21	19	15	4	2	5	2	2	0	0	0	4	0	0	0	2.23	
生理心理学	田中 豪一	50	50	35	1	8	12	11	1	2	0	0	0	13	2	0	2.84	
認知心理学(福心)	眞嶋 良全	52	51	42	5	13	9	4	6	5	1	1	7	0	1	0	2.39	
卒業論文(指導)	豊村 和真	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5	
卒業論文(指導)	栗林 克匡	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
カウンセリング論(社部)	鴨澤 あかね	42	42	34	0	2	3	15	12	2	0	0	0	6	2	0	2.33	
臨床心理検査演習Ⅱ	佐藤 祐基	54	53	46	26	10	7	1	1	1	0	0	0	7	0	0	3.52	
犯罪心理学	龍島 秀広	166	165	150	1	25	77	36	11	0	0	0	4	7	4	0	2.8	
健康心理学	柴田 利男	36	35	26	13	4	4	4	1	0	1	1	8	0	0	0	2.57	
グループダイナミクス	栗林 克匡	87	87	75	2	8	26	19	14	6	1	1	4	4	3	0	2.44	
社会的スキル実習	西山 薫	16	16	15	9	3	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3.6	
臨床発達心理学	平野 直己	84	81	70	13	9	14	20	10	4	0	0	0	9	2	0	2.73	
認知発達論	中村 浩	43	40	35	17	4	7	2	2	3	1	1	0	2	2	0	2.94	
心理学特論	宮城 崇史	38	38	20	0	5	2	7	4	2	10	10	0	8	0	0	1.7	
文化心理学	小島 康次	31	31	28	0	2	7	8	11	0	0	0	2	0	1	0	2.33	
社会福祉入門	橋本 菊次郎	82	82	79	29	25	17	6	2	0	0	0	2	1	0	0	3.37	
心理学概論	眞嶋 良全	85	85	80	10	38	14	14	3	1	0	0	2	3	0	0	3.13	
心理学研究法(福心)	豊村 和真	123	123	60	8	6	7	7	20	12	57	57	5	1	0	0	1.17	
心理学統計法	眞嶋 良全	88	85	69	7	12	13	13	16	8	12	12	2	2	0	0	2.11	
心理学実験	栗林 克匡	74	74	68	5	9	10	18	19	7	0	0	2	4	0	0	2.45	
心理調査法	豊村 和真	7	7	5	1	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2.42	
学習・言語心理学	高橋 雅治	66	63	60	14	17	14	13	2	0	0	0	3	0	0	0	2.93	
神経・生理心理学	田中 豪一	35	35	26	2	6	9	8	1	0	0	0	0	6	3	0	3	
知覚・認知心理学	眞嶋 良全	43	43	37	1	14	5	3	5	9	1	1	4	0	1	0	2.25	
感情・人格心理学	佐藤 祐基	61	61	56	51	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	0	3.94	
心理学的支援法	鴨澤 あかね	64	64	62	14	14	13	15	3	3	0	0	0	2	0	0	3.07	
臨床心理学概論	田澤 安弘	55	53	50	1	4	10	9	9	17	0	0	0	3	0	0	2.02	
心理的アセスメント	西山 薫	72	70	68	22	26	17	2	1	0	0	0	0	2	0	0	3.38	
社会・集団・家族心理学	栗林 克匡	57	57	47	3	3	13	11	6	11	3	3	4	3	0	0	2.07	
産業・組織心理学	小坂 守孝	64	64	61	49	6	4	2	0	0	0	0	0	3	0	0	3.83	
教育・学校心理学	河岸 由里子	53	51	47	2	6	7	19	12	1	0	0	0	3	1	0	2.5	
人体の構造と機能及び疾病	宮城 崇史	20	20	15	0	2	4	6	2	1	5	5	0	0	0	0	1.95	
健康・医療心理学	柴田 利男	45	45	42	33	2	3	4	0	0	0	0	3	0	0	0	3.51	
障害者・障害児心理学	豊村 和真	36	34	20	4	4	4	2	3	3	13	13	1	0	0	0	1.55	
発音法Ⅰ(A)	田中 直子	28	28	25	2	8	15	0	0	0	3	3	0	0	0	0	2.89	
発音法Ⅰ(B)	田中 直子	27	27	26	5	9	11	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3.22	
発音法Ⅰ(C)	田中 直子	27	26	26	7	5	11	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3.16	
発音法Ⅰ(D)	田中 直子	29	29	29	6	15	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.46	
発音法Ⅱ(A)	田中 直子	28	27	25	4	4	14	2	1	0	1	1	0	1	0	0	2.92	
発音法Ⅱ(B)	田中 直子	27	27	25	3	9	10	3	0	0	0	0	0	2	0	0	3.24	
発音法Ⅱ(C)	田中 直子	27	26	25	5	5	9	4	2	0	0	0	0	1	0	0	3.01	
発音法Ⅱ(D)	田中 直子	32	31	31	6	10	12	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3.15	
リスニング・スキルⅠ(A)	森越 京子	29	29	26	8	4	8	3	3	0	1	1	0	2	0	0	3.09	
リスニング・スキルⅠ(B)	森越 京子	27	27	26	5	3	6	11	1	0	0	0	0	1	0	0	3	
リスニング・スキルⅠ(C)	森越 京子	28	27	26	8	6	3	6	2	1	0	0	0	1	0	0	3.03	

2013年度以降入学生

(表V-18-24)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W			
リスニング・スキルⅠ(D)	森越 京子	28	28	28	9	6	5	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3.25
リスニング・スキルⅡ(A)	森越 京子	30	29	27	4	3	11	5	2	2	0	0	0	0	2	0	2.78	
リスニング・スキルⅡ(B)	森越 京子	27	27	24	3	4	9	5	3	0	1	1	0	2	0	2.86		
リスニング・スキルⅡ(C)	森越 京子	28	27	26	6	6	7	4	3	0	0	0	0	1	0	3.03		
リスニング・スキルⅡ(D)	森越 京子	28	28	28	5	12	4	5	2	0	0	0	0	0	0	3.23		
オーラル・イングリッシュⅠ(A1)	H. トムソン	14	14	14	0	1	8	4	0	1	0	0	0	0	0	2.75		
オーラル・イングリッシュⅠ(A2)	K. アッカーマン	14	14	12	0	1	7	4	0	0	0	0	0	2	0	2.87		
オーラル・イングリッシュⅠ(B1)	H. トムソン	14	14	14	0	2	6	4	2	0	0	0	0	0	0	2.78		
オーラル・イングリッシュⅠ(B2)	K. アッカーマン	13	13	12	0	4	4	3	1	0	0	0	0	1	0	2.95		
オーラル・イングリッシュⅠ(C1)	M. コッター	14	13	12	0	6	4	2	0	0	0	0	0	1	0	2.92		
オーラル・イングリッシュⅠ(C2)	J. マウン	13	13	13	1	2	6	2	2	0	0	0	0	0	0	2.92		
オーラル・イングリッシュⅠ(D1)	M. コッター	14	14	14	0	4	9	1	0	0	0	0	0	0	0	3.1		
オーラル・イングリッシュⅠ(D2)	J. マウン	14	14	14	0	5	7	2	0	0	0	0	0	0	0	3.1		
オーラル・イングリッシュⅡ(A1)	H. トムソン	15	14	14	0	6	6	1	0	1	0	0	0	0	0	2.83		
オーラル・イングリッシュⅡ(A2)	K. アッカーマン	14	13	11	0	0	8	3	0	0	0	0	0	2	0	2.62		
オーラル・イングリッシュⅡ(B1)	H. トムソン	14	14	13	0	5	4	4	0	0	1	1	0	0	0	2.82		
オーラル・イングリッシュⅡ(B2)	K. アッカーマン	14	14	12	2	5	3	2	0	0	0	0	0	2	0	3.29		
オーラル・イングリッシュⅡ(C1)	M. コッター	15	14	13	0	6	5	2	0	0	0	0	0	1	0	2.92		
オーラル・イングリッシュⅡ(C2)	J. マウン	13	13	12	2	0	6	3	1	0	0	0	0	1	0	2.95		
オーラル・イングリッシュⅡ(D1)	M. コッター	14	14	14	0	5	9	0	0	0	0	0	0	0	0	3.17		
オーラル・イングリッシュⅡ(D2)	J. マウン	15	14	14	0	4	6	4	0	0	0	0	0	0	0	2.8		
英作文Ⅰ(A1)	ブライアン バーンズ	14	14	13	1	4	5	2	1	0	0	0	0	1	0	3.07		
英作文Ⅰ(A2)	デイン ハンプトン	14	14	12	0	2	5	3	2	0	0	0	0	2	0	2.79		
英作文Ⅰ(B1)	ハリー クリゲン	14	14	14	3	6	3	2	0	0	0	0	0	0	0	3.35		
英作文Ⅰ(B2)	クリストファー カートニー	13	13	12	0	5	5	2	0	0	0	0	0	1	0	3.12		
英作文Ⅰ(C1)	ブライアン バーンズ	14	13	13	0	4	4	5	0	0	0	0	0	0	0	2.75		
英作文Ⅰ(C2)	R. ゲティングス	13	13	13	2	4	5	1	1	0	0	0	0	0	0	3.19		
英作文Ⅰ(D1)	ハリー クリゲン	14	14	14	4	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.64		
英作文Ⅰ(D2)	デビッド アンダーソン	14	14	14	5	3	4	1	1	0	0	0	0	0	0	3.35		
英作文Ⅱ(A1)	ブライアン バーンズ	15	15	14	0	7	2	2	1	2	0	0	0	1	0	2.82		
英作文Ⅱ(A2)	デイン ハンプトン	15	14	13	0	3	5	5	0	0	0	0	0	1	0	2.71		
英作文Ⅱ(B1)	ハリー クリゲン	14	14	13	0	3	4	3	3	0	0	0	0	1	0	2.76		
英作文Ⅱ(B2)	クリストファー カートニー	13	13	11	3	2	4	2	0	0	0	0	0	2	0	3.27		
英作文Ⅱ(C1)	ブライアン バーンズ	14	13	13	0	3	6	3	1	0	0	0	0	0	0	2.71		
英作文Ⅱ(C2)	R. ゲティングス	15	15	14	5	2	2	3	1	1	0	0	0	1	0	3.1		
英作文Ⅱ(D1)	ハリー クリゲン	14	14	14	3	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.6		
英作文Ⅱ(D2)	デビッド アンダーソン	15	14	14	0	1	3	8	1	1	0	0	0	0	0	2.36		
ボキャブラリー・ビルディングⅠ(A)	坂内 正	28	28	24	4	5	8	2	2	3	0	0	3	1	0	2.57		
ボキャブラリー・ビルディングⅠ(B)	H. トムソン	28	28	27	2	10	9	4	2	0	0	0	0	1	0	3.11		
ボキャブラリー・ビルディングⅠ(C)	H. トムソン	27	26	26	10	8	5	3	0	0	0	0	0	0	0	3.35		
ボキャブラリー・ビルディングⅠ(D)	坂内 正	30	30	29	6	9	8	0	4	2	0	0	1	0	0	2.98		
ボキャブラリー・ビルディングⅡ(A)	H. トムソン	28	27	24	4	10	6	1	3	0	3	3	0	0	0	2.76		
ボキャブラリー・ビルディングⅡ(B)	田辺 智也	29	29	26	15	5	3	2	1	0	1	1	0	2	0	3.46		
ボキャブラリー・ビルディングⅡ(C)	田辺 智也	27	26	26	21	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	3.64		
ボキャブラリー・ビルディングⅡ(D)	H. トムソン	32	30	28	4	15	6	2	1	0	0	0	1	1	0	3.01		
英文法Ⅰ(A)	白鳥 金吾	28	28	25	3	3	12	3	4	0	0	0	0	3	0	2.96		
英文法Ⅰ(B)	白鳥 金吾	28	28	27	3	4	12	8	0	0	0	0	0	1	0	3.03		
英文法Ⅰ(C)	白鳥 金吾	27	26	25	6	1	10	7	1	0	0	0	0	1	0	2.96		
英文法Ⅰ(D)	白鳥 金吾	28	28	28	6	6	8	8	0	0	0	0	0	0	0	3.17		
英文法Ⅱ(A)	白鳥 金吾	29	27	23	3	4	9	6	1	0	0	0	0	4	0	2.8		
英文法Ⅱ(B)	白鳥 金吾	28	28	25	4	6	8	4	3	0	0	0	0	3	0	3.08		
英文法Ⅱ(C)	白鳥 金吾	30	29	27	6	1	11	9	0	0	0	0	0	2	0	2.96		
英文法Ⅱ(D)	白鳥 金吾	30	29	29	5	7	8	7	2	0	0	0	0	0	0	3		
アセンブリⅠ(短英)	H. トムソン	110	108	100	39	34	18	7	2	0	0	0	0	8	0	3.43		
アセンブリⅡ(短英)	H. トムソン	127	127	126	37	48	27	11	1	2	0	0	0	1	0	3.4		
エクステンシブ・リーディングⅠ(IL)	K. アッカーマン	63	63	56	6	7	11	9	10	13	7	7	0	0	0	2.17		
エクステンシブ・リーディングⅠ(JK)	K. アッカーマン	62	62	50	11	6	14	4	7	8	11	11	0	1	0	2.27		
エクステンシブ・リーディングⅡ	K. アッカーマン	20	19	17	1	1	2	6	2	5	0	0	0	2	0	2.08		

2013年度以降入学生

(表V-18-25)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	欠無	W			
スタディ・スキル I (A2)	K. アッカーマン	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
スタディ・スキル II (A2)	K. アッカーマン	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
スタディ・スキル II (D2)	白鳥 金吾	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スタディ・スキル III (E1)	H. トムソン	13	13	13	1	10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.42
スタディ・スキル III (E2)	K. アッカーマン	18	18	18	1	10	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.19
スタディ・スキル III (F1)	竹村 雅史	13	13	13	1	7	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.26
スタディ・スキル III (F2)	田中 直子	17	17	16	0	9	3	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3.15
スタディ・スキル III (G1)	M. コッター	16	16	16	0	12	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.34
スタディ・スキル III (G2)	J. マウン	18	18	18	0	9	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.19
スタディ・スキル III (H1)	森越 京子	14	14	14	0	6	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.1
スタディ・スキル III (H2)	白鳥 金吾	16	16	16	3	10	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.46
スタディ・スキル IV (E1)	H. トムソン	13	10	10	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
スタディ・スキル IV (E2)	K. アッカーマン	17	17	17	3	3	6	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.08
スタディ・スキル IV (F1)	竹村 雅史	13	13	13	0	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.23
スタディ・スキル IV (F2)	田中 直子	17	17	16	5	8	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3.4
スタディ・スキル IV (G1)	M. コッター	17	17	17	3	10	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.47
スタディ・スキル IV (G2)	J. マウン	19	18	18	1	6	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
スタディ・スキル IV (H1)	森越 京子	15	13	13	3	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.96
スタディ・スキル IV (H2)	白鳥 金吾	16	16	16	3	10	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.43
リーディング・スキル I (A)	竹村 雅史	28	28	26	8	7	8	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3.38
リーディング・スキル I (B)	竹村 雅史	27	27	26	6	7	9	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3.25
リーディング・スキル I (C)	竹村 雅史	28	27	27	5	7	8	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2.96
リーディング・スキル I (D)	竹村 雅史	28	28	28	7	11	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.41
リーディング・スキル II (A)	竹村 雅史	29	27	25	7	5	6	4	0	3	1	1	0	1	0	1	0	2.73
リーディング・スキル II (B)	竹村 雅史	27	27	22	3	3	10	4	1	1	2	2	0	3	0	0	0	2.72
リーディング・スキル II (C)	竹村 雅史	30	29	27	8	4	7	6	1	1	2	2	0	0	0	0	0	2.83
リーディング・スキル II (D)	竹村 雅史	29	28	27	6	14	6	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3.22
英米文学 I	梅田 悦雄	80	80	79	9	11	23	20	12	4	0	0	0	0	1	0	0	2.8
英米文学 II	梅田 悦雄	73	71	68	6	13	32	12	4	1	0	0	1	1	1	1	0	2.88
ビジネス・イングリッシュ I (1)	デイン ハンプトン	39	39	39	6	4	5	12	6	6	0	0	0	0	0	0	0	2.58
ビジネス・イングリッシュ I (2)	デイン ハンプトン	6	6	6	0	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.91
ビジネス・イングリッシュ II (1)	デイン ハンプトン	42	40	38	6	3	9	10	4	6	0	0	1	1	0	0	0	2.45
ビジネス・イングリッシュ II (2)	デイン ハンプトン	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.25
コミュニケーション・スキル(1)	堤 かほり	39	39	38	23	15	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3.8
コミュニケーション・スキル(2)	堤 かほり	29	29	27	11	7	4	2	3	0	0	0	0	0	0	0	2	3.38
コミュニケーション・スキル(3)	堤 かほり	10	10	10	5	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5
リスニング・スキル III	三ツ木 真実	4	4	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3.16
リスニング・スキル IV	三ツ木 真実	10	9	7	0	2	2	1	2	0	0	0	0	0	1	1	0	2.43
英語学 I	佐野 愛子	25	25	21	0	10	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3.09
英語学 II	佐野 愛子	26	25	24	8	5	4	7	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3.16
日本語教授法	田村 早苗	21	21	20	0	6	9	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3.02
女性と文化 I	川名 早苗	24	24	24	1	2	9	5	6	1	0	0	0	0	0	0	0	2.64
女性と文化 II	川名 早苗	18	16	16	0	1	9	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5
訳読演習 I	梅田 悦雄	55	55	49	8	5	20	10	4	2	0	0	1	1	4	0	0	2.89
訳読演習 II	梅田 悦雄	33	32	29	4	9	8	6	1	1	1	1	0	1	1	1	0	2.88
比較文化 I	坂内 正	29	29	27	6	10	8	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3.23
比較文化 II	塩濱 健児	16	15	15	2	8	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.12
ホスピタリティと観光	田中 直子	47	47	45	1	6	11	13	7	7	1	1	0	1	0	0	0	2.42
総合講義ホスピタリティ	森越 京子	51	50	46	14	9	15	6	1	1	4	4	0	0	0	0	0	2.95
海外研修 B I	竹村 雅史	13	13	13	1	11	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3.34
海外研修 B II	竹村 雅史	13	13	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
国語表現法	岡本 恵理	30	30	23	0	6	8	8	1	0	0	0	0	1	6	0	0	2.79
海外事情	M. コッター	7	7	5	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3.6
通訳法 I (1)	田中 直子	30	28	26	2	6	5	5	5	3	2	2	0	0	0	0	0	2.31
通訳法 I (2)	田中 直子	26	26	21	5	4	5	4	2	1	1	1	0	4	0	0	0	2.9
通訳法 II (1)	田中 直子	11	11	11	4	2	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.31
通訳法 II (2)	田中 直子	7	7	7	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.71
通訳法 III	加藤 和代	6	5	5	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5

2013年度以降入学生

(表V-18-26)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	欠無	W			
日英言語文化比較Ⅰ	坂内 正	46	46	44	9	12	17	6	0	0	0	0	0	1	1	0	3.2	
日英言語文化比較Ⅱ	竹内 康二	17	17	16	5	0	4	3	1	3	0	0	0	1	0	2.78		
英語技能演習Ⅰ(1)	竹内 康二	27	27	24	5	5	3	2	0	9	1	1	0	2	0	2.42		
英語技能演習Ⅰ(2)	竹内 康二	13	13	10	0	3	3	2	0	2	3	3	0	0	0	2.03		
英語技能演習Ⅱ	有泉 さおり	26	24	23	0	3	7	8	4	1	0	0	0	1	0	2.42		
英語技能演習Ⅲ	有泉 さおり	25	25	25	1	3	10	6	4	1	0	0	0	0	0	2.74		
イギリス・ポリアルⅠ(1)	ドナルド フランク	40	40	36	7	15	9	3	1	1	3	3	0	1	0	3.02		
イギリス・ポリアルⅠ(2)	ドナルド フランク	39	38	36	11	19	3	2	1	0	1	1	0	1	0	3.32		
イギリス・ポリアルⅡ(1)	ドナルド フランク	36	36	30	8	1	8	9	2	2	2	2	0	4	0	2.75		
イギリス・ポリアルⅡ(2)	ドナルド フランク	35	32	30	7	3	8	4	5	3	0	0	0	2	0	2.59		
オール・イングリッシュⅢ(I1)	J. マウン	16	16	16	0	8	5	3	0	0	0	0	0	0	0	3.15		
オール・イングリッシュⅢ(I2)	J. マウン	15	15	15	2	7	5	1	0	0	0	0	0	0	0	3.33		
オール・イングリッシュⅢ(J1)	J. マウン	15	15	14	0	3	10	1	0	0	0	0	0	1	0	3.07		
オール・イングリッシュⅢ(J2)	J. マウン	16	16	16	3	4	5	4	0	0	0	0	0	0	0	3.18		
オール・イングリッシュⅢ(K1)	J. マウン	16	16	16	1	6	5	3	1	0	0	0	0	0	0	3.09		
オール・イングリッシュⅢ(K2)	J. マウン	16	16	16	1	10	5	0	0	0	0	0	0	0	0	3.37		
オール・イングリッシュⅢ(L1)	J. マウン	15	15	15	1	5	5	3	0	1	0	0	0	0	0	3		
オール・イングリッシュⅢ(L2)	J. マウン	17	17	17	0	4	12	1	0	0	0	0	0	0	0	3.08		
オール・イングリッシュⅣ(I1)	J. マウン	16	16	16	1	6	6	3	0	0	0	0	0	0	0	3.15		
オール・イングリッシュⅣ(I2)	J. マウン	15	15	15	6	3	2	4	0	0	0	0	0	0	0	3.36		
オール・イングリッシュⅣ(J1)	J. マウン	15	14	13	1	4	7	0	0	1	0	0	0	1	0	2.85		
オール・イングリッシュⅣ(J2)	J. マウン	16	14	14	5	3	2	3	1	0	0	0	0	0	0	2.87		
オール・イングリッシュⅣ(K1)	J. マウン	16	16	16	1	7	5	2	0	1	0	0	0	0	0	3.09		
オール・イングリッシュⅣ(K2)	J. マウン	17	16	16	1	6	7	2	0	0	0	0	0	0	0	3		
オール・イングリッシュⅣ(L1)	J. マウン	15	14	14	1	2	9	1	0	1	0	0	0	0	0	2.76		
オール・イングリッシュⅣ(L2)	J. マウン	17	16	16	0	7	9	0	0	0	0	0	0	0	0	3.02		
情報入門(短AB)	関谷 成実	55	55	48	20	4	5	7	8	4	7	7	0	0	0	2.66		
情報入門(短CD)	関谷 成実	55	54	53	30	4	8	4	4	3	1	1	0	0	0	3.25		
情報活用(短AB)	関谷 成実	46	45	40	25	2	2	1	5	5	5	5	0	0	0	2.83		
情報活用(短CD)	関谷 成実	42	40	37	27	2	6	2	0	0	3	3	0	0	0	3.28		
Japan StudiesⅠ	原 由理枝	28	27	27	1	15	2	8	1	0	0	0	0	0	0	3.01		
Japan StudiesⅡ	マリアナ チェスバ	52	51	49	3	15	24	5	2	0	0	0	0	0	2	3.06		
Introduction to Sports Theory (ｽﾎﾟｰﾂ概論)	M. コッター	30	30	29	2	4	12	6	4	1	0	0	0	1	0	2.82		
Ainu and Maori Studies (アイヌとマオリ研究)	M. コッター	40	38	36	9	17	10	0	0	0	0	0	1	1	0	3.21		
Perspectives in Literature (文学概論)Ⅰ	J. マウン	7	7	7	1	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	3.07		
Perspectives in Literature (文学概論)Ⅱ	J. マウン	6	6	6	2	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	2.83		
International Business[国際ビジネス]	H. トムソン	83	83	79	1	21	19	20	14	4	0	0	0	0	4	2.74		
Geography (地理)Ⅰ(1)	K. アッカーマン	25	25	23	1	6	10	4	0	2	2	2	0	0	0	2.68		
Geography (地理)Ⅰ(2)	K. アッカーマン	44	44	42	3	7	15	11	4	2	2	2	0	0	0	2.7		
Geography (地理)Ⅱ(1)	K. アッカーマン	19	18	18	2	4	6	3	2	1	0	0	0	0	0	2.76		
Geography (地理)Ⅱ(2)	K. アッカーマン	45	42	42	3	4	17	14	1	3	0	0	0	0	0	2.6		
History (歴史)Ⅰ	R. ゲディングス	69	69	59	8	2	1	7	23	18	0	0	0	9	1	2.09		
History (歴史)Ⅱ	R. ゲディングス	72	71	64	5	1	1	9	21	27	0	0	0	7	0	1.81		
Psychology (心理学)Ⅰ(1)	隼田 シズコ	9	9	9	3	1	2	1	0	2	0	0	0	0	0	2.88		
Psychology (心理学)Ⅰ(2)	隼田 シズコ	43	43	40	3	4	10	7	7	9	0	0	0	2	1	2.41		
Psychology (心理学)Ⅱ(1)	隼田 シズコ	5	5	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.7		
Psychology (心理学)Ⅱ(2)	隼田 シズコ	38	38	35	7	13	8	4	2	1	0	0	1	2	0	3.12		
Sociology (社会学)Ⅰ	青木 デボラ	32	32	32	7	9	10	6	0	0	0	0	0	0	0	3.26		
Sociology (社会学)Ⅱ	ジョン トーマス	20	18	15	1	7	4	3	0	0	0	0	0	3	0	2.82		
Life Science (ライフサイエンス)Ⅰ	J. マウン	30	30	26	1	7	6	1	6	5	3	3	0	0	1	2.27		
Life Science (ライフサイエンス)Ⅱ	J. マウン	58	54	51	4	5	5	12	9	16	0	0	1	0	2	2		
Anthropology (人類学)Ⅰ	青木 デボラ	26	26	24	7	10	4	3	0	0	0	0	0	2	0	3.43		
Anthropology (人類学)Ⅱ	石原 真衣	21	21	19	2	15	1	1	0	0	0	0	1	1	0	3.3		
World Music (世界の音楽)Ⅰ(1)	アラン マロック	42	42	42	1	15	22	4	0	0	0	0	0	0	0	3.15		
World Music (世界の音楽)Ⅰ(2)	アラン マロック	23	23	22	3	9	6	4	0	0	0	0	0	1	0	3.25		
World Music (世界の音楽)Ⅱ(1)	アラン マロック	30	29	28	3	5	17	3	0	0	0	0	0	1	0	3.03		
World Music (世界の音楽)Ⅱ(2)	アラン マロック	22	21	20	2	7	7	4	0	0	0	0	0	0	1	3.02		
Intercultural Communication(異文化間コミュニケーション)Ⅰ(1)	M. コッター	36	36	36	8	15	8	5	0	0	0	0	0	0	0	3.36		

2013年度以降入学生

(表V-18-27)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP	
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	欠無	W				
Intercultural Communication(異文化間コミュニケーション)Ⅰ(2)	M. コッター	39	39	38	3	16	15	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.22
Intercultural Communication(異文化間コミュニケーション)Ⅰ(1)	M. コッター	36	33	31	4	10	10	5	1	1	0	0	0	0	0	2	0	2.83	
Intercultural Communication(異文化間コミュニケーション)Ⅱ(2)	M. コッター	39	39	39	10	16	5	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3.33	
スタディ・スキルⅠ(A1)	H. トムソン	14	14	14	2	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.53	
スタディ・スキルⅠ(A2)	K. アッカーマン	13	13	13	0	4	7	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
スタディ・スキルⅠ(B1)	竹村 雅史	14	14	14	0	11	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.35	
スタディ・スキルⅠ(B2)	田中 直子	13	13	12	0	9	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3.37	
スタディ・スキルⅠ(C1)	M. コッター	14	13	13	0	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.17	
スタディ・スキルⅠ(C2)	J. マウン	13	13	13	0	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.46	
スタディ・スキルⅠ(D1)	森越 京子	14	14	14	1	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.53	
スタディ・スキルⅠ(D2)	白鳥 金吾	14	14	14	0	9	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.32	
生活創造専門演習(心)	藤木 晶子	14	14	14	9	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.75	
生活創造専門演習(文)	風戸 真理	11	11	11	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.81	
生活創造専門演習(福)	藤原 里佐	14	14	14	6	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.64	
生活創造専門演習(経)	山本 慎平	16	16	16	3	6	4	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3.18	
生活創造専門演習(情)	内山 智	11	11	11	4	1	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.36	
生活創造専門演習(住)	遠藤 太郎	10	10	10	4	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.65	
生活創造専門演習(ク)	川部 大輔	14	14	14	3	6	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.39	
基礎情報処理(A)	内山 智	24	24	24	12	6	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.56	
基礎情報処理(B)	内山 智	20	20	19	7	8	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3.4	
基礎情報処理(C)	内山 智	23	23	23	11	7	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.6	
基礎情報処理(D)	内山 智	21	21	21	7	11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.59	
生活文化創造論	風戸 真理	89	88	84	39	18	16	7	3	1	4	4	0	0	0	0	0	3.27	
生活経済創造論	山本 慎平	88	88	87	15	14	27	22	8	1	0	0	1	0	0	0	0	2.97	
生活福祉論	藤原 里佐	57	57	56	5	15	14	12	7	3	0	0	0	1	0	0	0	2.88	
ファッション・アパレルビジネス	石切山 祥子	32	32	30	6	9	15	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3.14	
現代子ども論	藤原 里佐	34	34	33	11	6	9	4	1	2	0	0	0	0	1	0	0	3.21	
発達心理学(生)	藤木 晶子	29	29	25	6	11	4	3	1	0	1	1	0	1	2	0	0	3.23	
社会心理学(生)	藤木 晶子	11	10	9	1	2	3	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2.7	
生活心理学	中村 浩	20	20	17	8	6	2	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	3.38	
カウンセリング論(生)	中村 浩	20	20	17	5	9	2	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3.52	
生活心理学研究法	藤木 晶子	14	14	14	5	5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5	
生活支援実習	久野 真知子	13	13	13	6	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.53	
流通マーケティング論	宮入 隆	64	64	63	13	17	33	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3.28	
生活と金融保険	斉藤 正広	47	47	47	6	8	16	12	3	2	0	0	0	0	0	0	0	2.93	
生活とサービス産業	山本 慎平	44	44	42	12	12	13	4	1	0	0	0	0	0	0	2	0	3.35	
現代社会と企業	澤田 浩司	33	33	29	14	4	7	2	1	1	0	0	0	4	0	0	0	3.41	
北海道の生活と経済	神長 敬	60	60	56	6	13	16	19	2	0	2	2	0	0	2	0	0	2.91	
ビジネスコミュニケーション(1)	山本 慎平	41	41	38	27	3	5	1	1	1	1	1	0	0	2	0	0	3.56	
ビジネスコミュニケーション(2)	山本 慎平	41	41	40	16	8	6	4	5	1	1	1	0	0	0	0	0	3.19	
応用ビジネスコミュニケーション	山本 慎平	61	61	59	14	16	18	4	5	2	1	1	0	0	1	0	0	3.13	
現代社会と法	田頭 理	52	52	49	5	7	16	11	6	4	0	0	0	2	1	0	0	2.77	
地域社会論(生)	畠山 明子	22	22	22	0	6	7	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2.86	
女性福祉論	藤原 里佐	32	32	32	7	11	2	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3.14	
国際社会論	風戸 真理	25	25	25	5	14	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.48	
経営情報論(生)	山本 慎平	42	42	40	11	8	7	5	5	4	0	0	0	0	2	0	0	2.98	
生活情報論	内山 智	12	12	11	1	5	2	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3	
情報処理論(生)	内山 智	12	12	12	1	2	2	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.83	
応用情報処理	内山 智	17	17	16	2	4	5	3	1	1	0	0	0	1	0	0	0	2.96	
生活学基礎演習Ⅰ(A)	遠藤 太郎	12	12	12	2	8	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3.33	
生活学基礎演習Ⅰ(B)	遠藤 太郎	13	13	13	3	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.46	
生活学基礎演習Ⅰ(C)	遠藤 太郎	13	13	13	0	4	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.03	
生活学基礎演習Ⅰ(D)	遠藤 太郎	13	13	13	5	3	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3.19	
生活学基礎演習Ⅰ(E)	遠藤 太郎	13	13	13	2	3	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3.03	
生活学基礎演習Ⅰ(F)	遠藤 太郎	12	12	12	2	3	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3.04	
生活学基礎演習Ⅰ(G)	遠藤 太郎	12	12	11	2	5	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3.12	
生活学基礎演習ⅠI(心)	藤木 晶子	8	8	7	3	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3.35	
生活学基礎演習ⅠI(文)	風戸 真理	13	13	13	7	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.65	

2013年度以降入学生

(表V-18-28)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP	
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W				
生活学基礎演習ⅠⅠ(福)	藤原 里佐	12	12	12	0	7	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.29
生活学基礎演習ⅠⅠ(経)	山本 慎平	17	17	17	11	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.73	
生活学基礎演習ⅠⅠ(情)	内山 智	15	15	15	4	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.43	
生活学基礎演習ⅠⅠ(住)	遠藤 太郎	8	8	7	1	3	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2.87	
生活学基礎演習ⅠⅠ(ク)	川部 大輔	16	15	13	2	3	5	2	1	0	0	0	0	0	2	0	0	2.89	
アセンブリⅠ(生)	川部 大輔	88	88	84	4	26	28	13	6	7	0	0	0	0	4	0	0	2.88	
アセンブリⅡ(生)	内山 智	90	90	90	23	30	19	15	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3.29	
社会調査法	風戸 真理	13	13	11	5	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3.68	
家族文化論	風戸 真理	34	34	32	18	9	3	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	3.45	
We b/パブリッシング	川部 大輔	32	31	29	3	8	9	5	4	0	0	0	0	0	2	0	0	2.91	
情報収集と検索	内山 智	14	14	13	2	3	5	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3.11	
応用マルチメディア	小賀 聡	14	14	14	5	3	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.42	
マルチメディア(1)	小賀 聡	32	31	30	0	1	12	17	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2.64	
マルチメディア(2)	小賀 聡	13	13	13	0	3	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.03	
パフォーマンス	松橋 勝巳	4	4	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	2.25	
住生活論	遠藤 太郎	23	23	23	4	8	8	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.26	
住設計基礎実習	遠藤 太郎	13	13	13	2	4	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.23	
都市環境創造論	遠藤 太郎	11	11	10	4	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3.55	
インテリアデザイン演習	山田 羽純	13	13	10	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3.7	
住宅空間設計演習	遠藤 太郎	8	8	6	1	4	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2.62	
住宅CAD設計Ⅰ	大坂 崇徳	10	10	10	7	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.7	
生活創造と色彩	東田 育子	28	27	23	1	1	2	6	7	6	0	0	0	0	4	0	0	2.02	
住宅CAD設計Ⅱ	遠藤 太郎	10	10	10	2	3	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.25	
カラープランニング	東田 育子	24	24	24	3	4	7	8	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2.91	
セクレタリー実務	澤田 浩司	64	64	57	14	8	11	14	8	2	0	0	0	0	4	3	0	2.98	
日本語表現法(A)	宇都宮 庸子	44	44	44	4	16	16	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3.14	
現代女性とキャリア	風戸 真理	91	90	87	27	31	20	4	5	0	3	3	0	0	0	0	0	3.25	
写真表現	川部 大輔	36	36	35	3	9	13	6	2	2	0	0	0	0	0	1	0	2.95	
基礎デッサン	川部 大輔	19	19	19	3	3	10	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2.97	
グラフィックデザイン演習Ⅱ	川部 大輔	15	15	15	4	3	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3.23	
日本語表現法(B)	宇都宮 庸子	44	44	43	7	12	18	5	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3.19	
住設計応用演習Ⅰ	遠藤 太郎	10	10	10	3	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.35	
住設計応用演習Ⅱ	遠藤 太郎	10	10	10	3	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.4	
簿記・会計	檜山 純	39	39	31	11	7	7	1	4	1	2	2	1	0	5	0	0	2.97	
生活と資産	檜山 純	9	9	9	5	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.55	
グラフィックデザイン論	川部 大輔	33	32	29	8	6	3	6	3	3	0	0	0	0	3	0	0	2.86	
グラフィックデザイン演習Ⅰ	川部 大輔	16	16	16	2	4	9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.18	
デジタルグラフィックス基礎	川部 大輔	36	35	32	5	10	8	6	0	3	0	0	0	0	3	0	0	2.93	
英語Ⅲ(会話)	デビッド アンダーソン	12	12	12	3	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.54	
英語Ⅳ(会話)	デビッド アンダーソン	13	13	12	2	6	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3.41	
英語Ⅰ(A)	R. ゲティンクス	30	30	30	4	15	6	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3.26	
英語Ⅰ(B)	ケビン リトン	28	28	28	3	9	9	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3.07	
英語Ⅰ(C)	ケビン リトン	30	30	28	1	16	8	1	2	0	1	1	0	1	0	0	0	3.12	
英語Ⅱ(A)	R. ゲティンクス	31	31	29	4	2	3	8	7	5	0	0	0	0	2	0	0	2.44	
英語Ⅱ(B)	ケビン リトン	28	28	27	1	7	6	8	4	1	0	0	0	0	1	0	0	2.79	
英語Ⅱ(C)	ケビン リトン	30	29	26	1	13	8	4	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3.09	
英語Ⅴ	新 壽春	13	13	11	2	3	5	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3.27	
英語Ⅵ	新 壽春	11	11	11	4	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.27	
英語Ⅶ	新 壽春	15	15	14	3	2	6	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3.17	
英語Ⅷ	新 壽春	15	14	11	6	1	1	3	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3.16	
経済学Ⅰ(短)	山本 慎平	79	79	76	10	16	19	20	5	6	3	3	0	0	0	0	0	2.77	
法学(短)	長屋 幸世	85	85	75	8	18	14	14	13	8	0	0	7	0	3	0	0	2.51	
生命の科学	三瀬 敬治	43	43	38	13	19	6	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	3.41	
科学概論	内山 智	11	10	8	0	1	3	4	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2.5	
健康の科学	佐々木 敏	10	10	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	3	
心理学Ⅰ(短B)	藤木 晶子	79	79	73	22	19	15	8	6	3	2	2	1	1	2	0	0	3.08	
心理学Ⅱ(短B)	藤木 晶子	74	73	66	29	10	6	14	2	5	1	1	2	2	2	0	0	3.04	
ジェンダー論(短)	和田 美江	35	34	31	11	6	6	8	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3.02	

2013年度以降入学生

(表V-18-29)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W			
人間と思想	佐藤 俊治	9	9	7	1	3	0	0	0	3	0	0	0	1	1	0	2.18	
数の世界	内山 智	37	37	25	2	3	5	5	4	6	5	5	0	2	5	2		
社会学Ⅰ(短)	風戸 真理	43	43	39	10	16	12	0	0	1	3	3	0	0	1	3.16		
心理学Ⅰ(短A)	中村 浩	48	47	39	6	8	12	6	5	2	3	3	2	0	3	2.55		
社会学Ⅱ(短)	風戸 真理	21	21	18	14	4	0	0	0	0	3	3	0	0	0	3.33		
心理学Ⅱ(短A)	中村 浩	33	31	26	6	7	6	4	2	1	4	4	1	0	0	2.46		
経済学Ⅱ(短)	山本 慎平	50	50	47	7	3	11	12	10	4	1	1	0	0	2	2.61		
音楽と文化	小林 美貴子	27	26	18	1	1	9	4	1	2	1	1	1	6	0	2.3		
環境の科学	矢吹 哲夫	46	46	36	16	7	4	4	3	2	0	0	0	8	0	2.69		
美術と文化	遠藤 太郎	43	41	34	4	5	4	3	9	9	2	2	5	0	0	1.86		
スポーツⅠ(Y)	星野 宏司	10	10	10	7	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3.55		
スポーツⅠ(Z)	星野 宏司	21	21	20	9	1	7	1	2	0	0	0	0	1	0	3.35		
スポーツⅡ(Y)	星野 宏司	11	11	9	1	5	1	1	1	0	0	0	0	2	0	3.22		
スポーツⅡ(Z)	星野 宏司	16	16	14	8	2	1	3	0	0	0	0	0	2	0	3.53		
キリスト教学Ⅰ	日高 嘉彦	97	95	87	6	24	18	20	11	8	5	5	0	3	0	2.57		
キリスト教学Ⅱ	日高 嘉彦	6	6	5	1	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0	3.3		
フランス語Ⅰ(1)	林 宏和	8	8	7	1	3	2	0	1	0	0	0	1	0	0	2.81		
フランス語Ⅰ(2)	林 宏和	11	11	9	1	1	0	5	1	1	0	0	1	1	0	2.29		
フランス語Ⅱ(1)	林 宏和	9	9	7	2	2	3	0	0	0	0	0	1	1	0	3		
フランス語Ⅱ(2)	林 宏和	12	10	8	2	0	0	3	1	2	0	0	0	1	1	1.95		
フランス語Ⅲ	高野 真理子	12	12	9	1	3	2	2	1	0	1	1	0	0	2	2.75		
フランス語Ⅳ	高野 真理子	8	8	8	1	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	3		
中国語Ⅰ(1)	顔 明芳	38	37	27	4	11	6	4	1	1	3	3	0	5	2	2.75		
中国語Ⅰ(2)	顔 明芳	22	22	21	8	7	5	1	0	0	0	0	0	0	1	3.52		
中国語Ⅰ(3)	霜鳥 かおり	27	27	27	2	5	15	4	1	0	0	0	0	0	0	3.05		
中国語Ⅱ(1)	顔 明芳	22	20	19	4	5	3	2	2	3	0	0	0	0	1	2.59		
中国語Ⅱ(2)	顔 明芳	29	29	26	7	10	3	4	1	1	0	0	0	1	2	3.26		
中国語Ⅱ(3)	霜鳥 かおり	23	23	22	6	7	6	1	2	0	0	0	0	1	0	3.31		
中国語Ⅲ	顔 明芳	25	25	25	3	7	8	6	1	0	0	0	0	0	0	3.1		
中国語Ⅳ	顔 明芳	15	15	15	1	4	7	2	1	0	0	0	0	0	0	3.06		
ドイツ語Ⅰ	下田 恭子	9	9	9	2	0	3	2	2	0	0	0	0	0	0	2.88		
ドイツ語Ⅱ	下田 恭子	8	8	8	2	0	3	1	2	0	0	0	0	0	0	2.93		
ドイツ語Ⅲ	下田 恭子	4	4	4	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	2.62		
ドイツ語Ⅳ	下田 恭子	3	3	3	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2.83		
ハンブルⅠ(1)	鄭 斗鎬	27	27	25	3	1	6	6	6	3	0	0	0	1	1	2.54		
ハンブルⅠ(2)	鄭 斗鎬	30	30	29	1	6	1	4	9	8	0	0	0	0	1	2.2		
ハンブルⅡ(1)	鄭 斗鎬	14	14	10	1	2	0	1	4	2	0	0	0	2	2	2.35		
ハンブルⅡ(2)	鄭 斗鎬	30	30	23	2	4	2	3	6	6	0	0	0	5	2	2.32		
ハンブルⅢ	田 光子	19	19	15	5	6	2	0	2	0	0	0	0	0	4	3.4		
ハンブルⅣ	田 光子	16	15	14	3	4	3	2	2	0	0	0	0	1	0	2.93		
心理学Ⅰ(A)	高橋 雅治	217	217	161	55	27	24	21	23	11	39	39	13	1	3	2.32		
心理学Ⅰ(B)	中村 浩	139	139	98	16	13	21	14	21	13	19	19	9	13	0	2.08		
心理学Ⅰ(C)	中村 浩	208	208	139	15	23	29	11	29	32	46	46	7	15	1	1.79		
心理学Ⅱ(C)	渡辺 舞	199	197	172	22	42	66	32	5	5	2	2	4	16	3	2.93		
心理学Ⅱ(A)	渡辺 舞	237	234	206	6	43	84	60	8	5	4	4	2	21	1	2.77		
心理学Ⅱ(B)	渡辺 舞	234	229	210	10	35	101	47	12	5	3	3	1	13	2	2.79		
身体の科学Ⅰ	佐々木 敏	143	143	127	10	14	19	29	13	42	0	0	0	9	7	2.25		
身体の科学Ⅱ	佐々木 敏	92	90	60	15	22	18	5	0	0	0	0	6	23	1	2.99		
スポーツ医学	佐々木 敏	74	72	55	38	15	2	0	0	0	0	0	3	12	2	3.5		
スポーツ生理学	星野 宏司	147	147	122	107	13	2	0	0	0	0	0	21	1	3	3.35		
スポーツ栄養学	岡野 五郎	206	204	177	14	14	58	58	22	11	4	4	1	22	0	2.6		
運動の科学	佐々木 敏	34	34	28	0	7	11	2	0	8	0	0	0	6	0	2.51		
体力育成論	佐々木 敏	70	70	39	3	4	9	5	11	7	15	15	4	10	2	1.62		
心理学Ⅰ(遠隔)	中嶋 輝明	70	70	30	2	1	11	11	5	0	1	1	0	39	0	2.64		
体育実技Ⅰ(A)	星野 宏司	61	61	50	12	6	18	10	4	0	0	0	0	11	0	3.12		
体育実技Ⅰ(B)	星野 宏司	43	43	39	9	9	10	8	3	0	0	0	0	4	0	3.16		
体育実技Ⅰ(C)	星野 宏司	64	63	57	21	8	23	5	0	0	0	0	0	6	0	3.33		
体育実技Ⅰ(D)	星野 宏司	32	32	25	10	10	3	2	0	0	0	0	0	7	0	3.56		

2013年度以降入学生

(表 V-18-30)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	欠無	W			
体育実技 I (E)	星野 宏司	27	26	23	10	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3.45
体育実技 I (F)	星野 宏司	62	62	52	12	18	13	4	5	0	0	0	0	0	10	0	3.26	
体育実技 I (G)	星野 宏司	60	59	50	11	10	13	13	3	0	0	0	0	9	0	3.06		
体育実技 I (H)	星野 宏司	58	58	46	10	11	9	14	2	0	0	0	0	12	0	3.14		
体育実技 I (I)	星野 宏司	55	55	48	12	5	14	15	2	0	0	0	0	7	0	3.1		
体育実技 I (J)	星野 宏司	59	59	52	12	11	12	14	3	0	0	0	0	7	0	3.14		
体育実技 II (A)	星野 宏司	14	14	10	2	0	4	4	0	0	0	0	0	4	0	3		
体育実技 II (B)	星野 宏司	16	16	14	2	5	4	3	0	0	0	0	0	2	0	3.21		
体育実技 II (C)	星野 宏司	8	8	7	1	2	3	1	0	0	0	0	0	1	0	3.21		
体育実技 II (D)	星野 宏司	8	8	4	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	3.75		
体育実技 II (E)	星野 宏司	10	10	7	4	2	1	0	0	0	0	0	0	3	0	3.71		
体育実技 II (F)	星野 宏司	16	16	13	3	2	6	2	0	0	0	0	0	3	0	3.23		
体育実技 II (G)	星野 宏司	24	24	20	4	2	6	8	0	0	0	0	0	4	0	3.05		
体育実技 II (H)	星野 宏司	20	20	19	2	6	4	4	3	0	0	0	0	1	0	3		
体育実技 II (I)	星野 宏司	9	9	8	4	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0	3.56		
体育実技 II (J)	星野 宏司	8	7	6	0	2	0	4	0	0	0	0	0	1	0	2.42		
生涯スポーツ I (A)	佐々木 敏	6	6	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5		
生涯スポーツ I (B)	星野 宏司	29	28	27	10	6	9	2	0	0	0	0	0	1	0	3.32		
生涯スポーツ II (B)	星野 宏司	17	17	14	8	3	2	1	0	0	0	0	0	3	0	3.64		
スポーツ実技	星野 宏司	9	9	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4		
健康運動実技	星野 宏司	10	9	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3.5		
身体と心の科学演習 I	佐々木 敏	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
身体と心の科学演習 II	佐々木 敏	6	5	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3		
哲学 I (A)	麻生 尚志	234	234	205	19	20	29	40	58	39	11	11	13	2	3	2.13		
哲学 I (B)	麻生 尚志	14	14	14	4	1	2	3	2	2	0	0	0	0	0	2.78		
哲学 II	西永 亮	71	70	45	4	12	4	18	6	1	0	0	20	3	2	1.93		
生命と倫理(A)	増淵 隆史	53	53	36	0	1	6	12	10	7	9	9	2	5	1	1.67		
科学と人間	佐藤 俊治	49	49	32	4	6	6	8	7	1	3	3	1	12	1	2.5		
物質の世界	堀田 健司	246	246	187	0	5	15	29	60	78	31	31	3	22	3	1.5		
生命と倫理(B)	増淵 隆史	34	34	31	4	2	4	18	2	1	0	0	0	2	1	2.74		
生命の科学 I (A)	矢吹 哲夫	208	208	177	21	26	21	25	22	62	10	10	18	2	1	1.98		
生命の科学 I (B)	矢吹 哲夫	188	183	152	40	38	31	18	16	9	2	2	22	2	5	2.6		
生命の科学 II (A)	干場 敏博	269	269	263	8	52	56	61	69	17	0	0	1	5	0	2.61		
生命の科学 II (B)	干場 敏博	285	282	265	27	22	71	73	49	23	0	0	1	13	3	2.6		
環境と人間 I (A)	矢吹 哲夫	358	358	285	35	45	25	43	55	82	43	43	29	0	1	1.88		
環境と人間 I (B)	矢吹 哲夫	114	113	96	10	13	14	19	15	25	6	6	11	0	0	2.03		
環境と人間 II (A)	吉田 磨	121	120	63	13	5	11	12	6	16	27	27	2	20	8	1.72		
環境と人間 II (B)	吉田 磨	37	36	17	3	5	2	1	2	4	7	7	1	8	3	1.76		
社会科学基礎演習 I	水川 喜文	14	14	12	2	1	7	0	2	0	0	0	0	1	1	3.04		
社会科学基礎演習 II	水川 喜文	2	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5		
日本国憲法(A)	岩本 一郎	285	284	225	0	8	51	63	53	50	45	45	12	0	2	1.74		
日本国憲法(B)	岩本 一郎	255	255	206	4	33	60	49	32	28	28	28	19	2	0	2.07		
日本国憲法(C)	篠田 優	134	134	107	2	3	20	29	39	14	11	11	13	2	1	1.85		
法学	足立 清人	88	88	75	20	17	11	11	11	5	1	1	10	1	1	2.63		
政治学 I	萱野 智篤	312	311	239	0	5	27	76	101	30	1	1	7	59	5	2.1		
政治学 II	萱野 智篤	123	122	99	3	7	16	43	22	8	0	0	2	18	3	2.39		
経済学 I	勝村 務	334	334	305	62	74	65	43	30	31	0	0	20	2	7	2.77		
経済学 II	岡部 洋貴	32	32	23	2	3	9	4	3	2	0	0	1	7	1	2.64		
投資と社会	陸川 富盛	21	21	15	2	1	2	3	6	1	6	6	0	0	0	1.8		
世界の近現代史 I	山我 哲雄	14	14	13	0	1	2	4	4	2	0	0	1	0	0	2.1		
世界の近現代史 II	秋山 淳子	39	39	36	0	13	7	9	3	4	0	0	2	0	1	2.6		
社会学 II	西脇 裕之	98	97	73	8	26	7	16	4	12	6	6	1	16	1	2.51		
統計学 I (A)	矢吹 哲夫	42	42	31	7	5	2	3	5	9	2	2	3	6	0	2.16		
統計学 I (B)	矢吹 哲夫	51	51	38	12	7	0	5	3	11	1	1	5	7	0	2.31		
統計学(A)	矢吹 哲夫	24	24	19	5	6	1	2	2	3	0	0	3	2	0	2.54		
統計学(B)	矢吹 哲夫	21	20	16	2	3	1	2	4	4	0	0	1	3	0	2.13		
文化人類学	小西 信義	95	93	61	8	11	10	13	9	10	20	20	10	0	2	1.73		
メディアと社会	原島 正衛	100	100	85	14	19	21	22	5	4	15	15	0	0	0	2.54		

2013年度以降入学生

(表V-18-31)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W			
北方圏論(A)	澤井 玄	233	229	196	11	18	78	63	23	3	5	5	1	22	5	2.67		
北方圏論(B)	澤井 玄	206	204	166	13	26	57	38	23	9	4	4	6	25	3	2.6		
北海道文化論 I (A)	出利葉 浩司	144	144	115	8	12	15	13	22	45	15	15	12	2	0	1.69		
北海道文化論 I (B)	出利葉 浩司	99	99	76	4	1	4	5	7	55	16	16	6	0	1	1.15		
北海道・北方地域文化論 I (A)	出利葉 浩司	293	293	254	36	45	23	52	43	55	37	37	2	0	0	2.18		
北海道・北方地域文化論 I (B)	出利葉 浩司	163	163	133	29	23	8	17	7	49	24	24	5	1	0	2.01		
北海道・北方地域文化論 II (A)	澤井 玄	59	59	49	1	7	18	11	7	5	1	1	2	5	2	2.48		
北海道・北方地域文化論 II (B)	澤井 玄	19	19	17	3	2	6	5	0	1	0	0	0	2	0	2.97		
日本の文化 I (A)	諸岡 卓真	106	105	88	6	11	6	17	21	27	0	0	5	11	1	2.06		
日本の文化 I (B)	諸岡 卓真	155	155	134	15	8	17	16	35	43	4	4	10	6	1	1.97		
日本の文化(A)	諸岡 卓真	33	33	30	2	1	2	8	8	9	0	0	2	1	0	1.95		
日本の文化(B)	諸岡 卓真	65	64	56	7	6	8	13	11	11	0	0	4	4	0	2.27		
音楽の世界	寺田 貴雄	120	119	89	1	3	8	32	18	27	5	5	5	15	5	1.81		
美術の世界	寺嶋 弘道	227	225	198	0	0	0	6	176	16	0	0	2	21	4	1.89		
中国の文化 I (A)	江尻 徹誠	15	15	12	5	3	4	0	0	0	0	0	2	1	0	3.03		
中国の文化 I (B)	江尻 徹誠	14	14	13	7	3	2	0	0	1	0	0	0	1	0	3.5		
韓国・朝鮮の文化	鄭 根珠	22	22	18	2	4	4	4	3	1	0	0	0	3	1	2.83		
現代社会と倫理(A)	増淵 隆史	13	13	13	0	1	6	6	0	0	0	0	0	0	0	2.8		
現代社会と倫理(B)	増淵 隆史	8	8	7	1	2	3	1	0	0	0	0	0	1	0	3.21		
中国の文化(A)	江尻 徹誠	9	9	9	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.83		
中国の文化(B)	江尻 徹誠	8	8	8	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.68		
アメリカの文化 I (A)	瀬名波 栄潤	71	71	31	0	0	3	7	7	14	19	19	0	19	2	1.09		
アメリカの文化 I (B)	瀬名波 栄潤	95	92	25	1	1	4	4	5	10	26	26	34	0	7	0.56		
アメリカの文化(A)	瀬名波 栄潤	37	37	19	0	0	3	3	6	7	7	7	0	7	4	1.36		
アメリカの文化(B)	瀬名波 栄潤	51	51	18	0	2	0	2	7	7	17	17	13	0	3	0.68		
ヨーロッパの文化 I (A)	山我 哲雄	74	74	60	1	8	12	19	16	4	3	3	9	2	0	2.1		
ヨーロッパの文化 I (B)	山我 哲雄	89	87	71	0	3	10	18	19	21	1	1	14	1	0	1.64		
ヨーロッパの文化(A)	山我 哲雄	46	46	34	0	1	3	11	7	12	4	4	8	0	0	1.43		
ヨーロッパの文化(B)	山我 哲雄	72	72	57	0	1	8	16	12	20	8	8	6	0	1	1.57		
国際文化	金 昌震	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
国際・比較文化論(A)	金 昌震	13	13	13	2	2	6	0	3	0	0	0	0	0	0	3		
国際・比較文化論(B)	金 昌震	13	13	12	1	2	2	2	3	2	0	0	1	0	0	2.3		
地域と世界基礎演習 I	諸岡 卓真	14	14	13	2	3	2	1	2	3	0	0	1	0	0	2.42		
地域と世界基礎演習 II	諸岡 卓真	20	20	17	2	6	2	5	1	1	0	0	1	1	1	2.8		
聖書の思想と文化 I (A)	山吉 智久	271	271	163	50	18	29	9	23	34	60	60	42	5	1	1.7		
聖書の思想と文化 I (B)	山吉 智久	207	207	116	25	14	11	8	16	42	53	53	30	7	1	1.38		
聖書の思想と文化 I (C)	山吉 智久	211	211	144	41	10	15	12	24	42	40	40	20	6	1	1.78		
聖書の思想と文化 I (D)	山吉 智久	64	64	40	16	3	4	5	2	10	16	16	8	0	0	1.76		
聖書の思想と文化 II (A)	山吉 智久	283	283	184	45	12	9	23	39	56	33	33	65	1	0	1.56		
聖書の思想と文化 II (B)	山吉 智久	213	210	95	22	5	11	14	12	31	54	54	58	1	2	1.08		
聖書の思想と文化 II (C)	山吉 智久	146	145	69	28	2	7	7	7	18	27	27	47	0	2	1.31		
聖書の思想と文化 II (D)	山吉 智久	34	33	16	2	2	0	3	1	8	5	5	11	0	1	0.98		
キリスト教の歴史と文化 I (A)	古賀 清敬	83	82	50	0	4	9	12	16	9	14	14	2	13	3	1.67		
キリスト教の歴史と文化 I (B)	古賀 清敬	21	21	15	1	1	1	2	6	4	2	2	2	2	0	1.65		
キリスト教の歴史と文化 I (C)	古賀 清敬	34	34	25	0	0	0	9	10	6	2	2	0	5	2	1.79		
キリスト教の歴史と文化 I (D)	山我 哲雄	55	55	31	0	3	4	6	10	8	9	9	11	0	4	1.28		
キリスト教の歴史と文化 II (A)	古賀 清敬	59	57	23	1	0	1	0	7	14	18	18	8	7	1	0.68		
キリスト教の歴史と文化 II (B)	古賀 清敬	3	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3.5		
キリスト教の歴史と文化 II (C)	古賀 清敬	20	18	10	0	0	0	2	3	5	5	5	2	1	0	0.84		
キリスト教の歴史と文化 II (D)	山我 哲雄	36	35	21	1	2	1	3	5	9	7	7	6	1	0	1.15		
キリスト教の世界観・人間観	古賀 清敬	148	148	117	0	23	45	46	1	2	2	2	9	13	7	2.61		
比較宗教学	山我 哲雄	194	191	137	1	3	9	27	32	65	22	22	25	0	7	1.27		
現代と宗教	山我 哲雄	193	192	163	7	12	32	31	32	49	15	15	9	2	3	1.89		
東アジアの宗教思想と文化	近藤 浩之	325	322	307	18	32	123	119	11	4	0	0	0	15	0	2.82		
仏教の思想と文化	石飛 道子	167	165	107	10	5	17	29	17	29	26	26	27	2	3	1.5		
イスラム教の思想と文化	山我 哲雄	198	197	172	9	22	43	45	33	20	4	4	19	1	1	2.25		
宗教と文化演習 I	山吉 智久	6	6	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4		
人文科学基礎演習 II	宮澤 照恵	3	3	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	2.75		

2013年度以降入学生

(表V-18-32)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP	
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	欠無	W				
宗教と文化演習Ⅱ	山吉 智久	6	6	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
キリスト教の歴史Ⅰ(A)	古賀 清敬	104	104	81	4	8	13	26	16	14	16	16	2	5	0	0	0	1.95	
キリスト教の歴史Ⅰ(B)	古賀 清敬	9	9	8	1	1	3	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	2.38	
キリスト教の歴史Ⅰ(C)	古賀 清敬	129	128	95	6	14	26	26	15	8	18	18	3	11	1	0	0	2.17	
キリスト教の歴史Ⅰ(D)	山我 哲雄	72	72	66	0	4	13	16	17	16	2	2	2	0	2	0	0	2.04	
平和学	片岡 徹	35	35	21	2	3	10	6	0	0	9	9	0	5	0	0	0	2.11	
ジェンダーと社会	森川 美生	230	227	184	16	30	37	48	38	15	2	2	5	31	5	0	0	2.53	
北星学	日高 嘉彦	249	248	209	32	49	47	43	26	12	13	13	0	21	5	0	0	2.75	
キリスト教の歴史Ⅱ(A)	古賀 清敬	95	95	64	2	4	4	12	17	25	24	24	3	4	0	0	0	1.35	
キリスト教の歴史Ⅱ(B)	古賀 清敬	15	14	13	0	1	3	3	4	2	1	1	0	0	0	0	0	2	
キリスト教の歴史Ⅱ(C)	古賀 清敬	111	110	71	0	4	13	20	15	19	21	21	7	10	1	0	0	1.52	
キリスト教の歴史Ⅱ(D)	山我 哲雄	85	85	70	1	1	10	17	21	20	10	10	4	0	1	0	0	1.69	
数学(B)	矢吹 哲夫	22	21	17	13	1	1	0	0	2	0	0	0	4	0	0	0	3.36	
自然・数理科学基礎演習Ⅰ	矢吹 哲夫	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
自然・数理科学基礎演習Ⅱ	矢吹 哲夫	5	5	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
職業と人生Ⅱ(A)	本田 勝裕	133	133	123	10	84	24	5	0	0	0	0	0	7	3	0	0	3.4	
職業と人生Ⅱ(B)	本田 勝裕	125	125	117	26	71	20	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	3.52	
数学Ⅰ(A)	矢吹 哲夫	70	70	61	22	8	8	8	4	11	6	6	0	3	0	0	0	2.67	
数学Ⅰ(B)	矢吹 哲夫	40	40	31	11	4	2	3	5	6	6	6	1	2	0	0	0	2.3	
数学Ⅱ	矢吹 哲夫	33	33	16	5	1	1	1	1	7	11	11	2	4	0	0	0	1.4	
情報入門(英A)	大瀬 幸則	41	41	34	2	7	12	8	3	2	3	3	0	4	0	0	0	2.6	
情報入門(英B)	中嶋 輝明	44	44	42	10	15	11	4	1	1	1	1	0	1	0	0	0	3.22	
情報入門(英C)	金子 大輔	42	42	36	3	6	13	3	4	7	3	3	0	3	0	0	0	2.42	
情報入門(コA)	今井 史	39	39	36	7	11	7	5	5	1	0	0	0	3	0	0	0	3.08	
情報入門(コB)	金子 大輔	39	39	36	6	3	6	9	1	11	2	2	0	1	0	0	0	2.31	
情報入門(コC)	小幡 直弘	39	39	37	1	7	13	8	6	2	0	0	0	2	0	0	0	2.74	
情報入門(経A)	小幡 直弘	38	38	36	10	6	8	9	3	0	0	0	0	2	0	0	0	3.15	
情報入門(経B)	石田 雪也	36	36	34	3	7	11	7	5	1	0	0	0	2	0	0	0	2.88	
情報入門(経C)	古谷 次郎	37	37	33	8	11	8	5	0	1	3	3	1	0	0	0	0	2.91	
情報入門(経D)	下條 暁司	35	35	32	0	1	10	13	4	4	1	1	1	1	0	0	0	2.29	
情報入門(経E)	伊藤 博晃	34	34	27	2	12	2	7	3	1	7	7	0	0	0	0	0	2.36	
情報入門(情A)	伊藤 博晃	46	46	45	16	11	7	4	5	2	1	1	0	0	0	0	0	3.16	
情報入門(情B)	田所 智	45	45	42	1	4	15	7	10	5	3	3	0	0	0	0	0	2.34	
情報入門(情C)	鈴木 克典	47	47	37	5	11	7	8	3	3	6	6	1	3	0	0	0	2.46	
情報入門(法A)	田所 智	53	52	50	1	10	20	9	7	3	2	2	0	0	0	0	0	2.61	
情報入門(法B)	金子 大輔	46	46	39	3	7	6	7	9	7	4	4	0	3	0	0	0	2.25	
情報入門(法C)	大瀬 幸則	47	47	31	0	0	2	7	8	14	13	13	0	3	0	0	0	1.21	
情報入門(計A)	金子 大輔	32	32	30	5	10	6	4	3	2	1	1	0	1	0	0	0	2.93	
情報入門(計B)	中嶋 輝明	32	32	29	0	6	12	7	1	3	2	2	0	1	0	0	0	2.56	
情報入門(計C)	田邊 政之	31	31	30	1	4	3	7	6	9	1	1	0	0	0	0	0	2.11	
情報入門(臨A)	渡辺 隼人	29	29	28	3	8	7	8	1	1	1	1	0	0	0	0	0	2.89	
情報入門(臨B)	山田 志真子	27	27	26	3	1	5	9	5	3	1	1	0	0	0	0	0	2.44	
情報入門(臨C)	中嶋 輝明	32	32	31	1	10	8	8	3	1	1	1	0	0	0	0	0	2.81	
情報入門(福心A)	中嶋 輝明	43	43	36	2	19	6	5	2	2	1	1	0	6	0	0	0	3	
情報入門(福心B)	渡辺 隼人	48	48	46	0	2	23	18	3	0	0	0	0	2	0	0	0	2.76	
情報活用Ⅰ(英A)	田邊 政之	41	40	39	3	11	17	4	2	2	0	0	0	1	0	0	0	2.93	
情報活用Ⅰ(英B)	田所 智	40	40	40	0	24	9	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3.12	
情報活用Ⅰ(コA)	田所 智	35	34	29	0	7	11	4	2	5	2	2	0	3	0	0	0	2.39	
情報活用Ⅰ(コB)	金子 大輔	35	35	31	11	8	4	2	3	3	0	0	2	2	0	0	0	2.96	
情報活用Ⅰ(経A)	古谷 次郎	45	44	26	1	0	5	5	8	7	1	1	0	17	0	0	0	1.94	
情報活用Ⅰ(情A)	金子 大輔	47	47	34	4	6	8	3	6	7	1	1	2	10	0	0	0	2.36	
情報活用Ⅰ(情B)	下條 暁司	50	47	40	1	7	5	13	11	3	1	1	5	1	0	0	0	2.06	
情報活用Ⅰ(法A)	中嶋 輝明	9	7	4	0	2	1	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	1.83	
情報活用Ⅰ(計A)	古谷 次郎	31	30	28	4	5	7	7	3	2	0	0	0	2	0	0	0	2.75	
情報活用Ⅰ(計B)	田邊 政之	31	31	30	3	4	9	13	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2.88	
情報活用Ⅰ(臨A)	渡辺 隼人	27	25	24	3	5	12	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	2.68	
情報活用Ⅰ(臨B)	山田 志真子	26	26	25	6	11	5	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3.4	
情報活用Ⅰ(福心A)	金子 大輔	42	40	38	11	14	7	3	3	0	0	0	0	2	0	0	0	3.18	

2013年度以降入学生

(表V-18-33)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP	
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	欠無	W				
情報活用Ⅱ(英C)	中嶋 輝明	24	24	22	12	4	3	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3.32
情報活用Ⅱ(英D)	大瀬 幸則	26	26	23	4	6	5	1	6	1	0	0	0	1	2	0	0	2.81	
情報活用Ⅱ(コC)	今井 史	25	25	23	3	3	0	7	6	4	0	0	0	0	2	0	0	2.43	
情報活用Ⅱ(コD)	小幡 直弘	25	25	21	2	8	4	6	1	0	0	0	0	1	3	0	0	2.95	
情報活用Ⅱ(経B)	石田 雪也	28	27	16	5	7	0	0	2	2	0	0	0	0	11	0	0	2.97	
情報活用Ⅱ(情C)	鎌田 直矢	30	30	25	7	2	4	5	5	2	0	0	0	0	5	0	0	2.86	
情報活用Ⅱ(情D)	中嶋 輝明	29	29	21	4	8	4	2	0	3	1	1	0	7	0	0	0	2.9	
情報活用Ⅱ(法B)	金子 大輔	10	10	6	0	2	1	1	2	0	1	1	1	2	0	0	0	2.06	
情報活用Ⅱ(計C)	中嶋 輝明	18	17	16	5	4	3	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2.94	
情報活用Ⅱ(計D)	金子 大輔	17	17	16	0	6	5	2	1	2	0	0	0	1	0	0	0	2.64	
情報活用Ⅱ(臨C)	中嶋 輝明	20	19	17	5	4	5	1	2	0	0	0	0	2	0	0	0	3.08	
情報活用Ⅱ(臨D)	下條 暁司	20	20	19	2	4	4	5	2	2	0	0	0	1	0	0	0	2.76	
情報活用Ⅱ(福心B)	渡辺 隼人	47	45	39	4	6	24	2	1	2	6	6	0	0	0	0	0	2.51	
ハードウェア基礎	中嶋 輝明	16	14	6	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	3.14	
ソフトウェア基礎	金子 大輔	13	13	6	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0	7	0	0	3.33	
精神衛生学	田辺 等	233	233	191	7	13	29	59	53	30	9	9	4	27	2	0	0	2.17	
文学の世界	吉岡 亮	153	153	129	12	37	44	22	5	9	0	0	0	21	3	0	0	2.97	
投資の仕組み	陸川 富盛	69	68	39	2	4	12	13	5	3	20	20	0	1	8	0	0	1.72	
現代世界の歴史(東洋)	秋山 淳子	166	164	131	9	22	23	31	21	25	0	0	27	3	3	0	0	2.04	
現代世界の歴史(西洋)	山我 哲雄	45	45	36	1	4	6	12	8	5	4	4	4	0	1	0	0	1.97	
国際文化論Ⅰ(A)	金 昌震	112	112	94	2	14	46	24	8	0	0	0	14	1	3	0	0	2.5	
国際文化論Ⅰ(B)	金 昌震	76	76	68	4	4	12	22	15	11	0	0	6	1	1	0	0	2.18	
平和学Ⅰ	片岡 徹	45	45	37	3	6	12	10	5	1	4	4	0	4	0	0	0	2.56	
職業と人生Ⅰ(A)	平野 恵子	12	12	8	0	2	2	2	1	1	2	2	0	1	1	0	0	2.1	
職業と人生Ⅰ(B)	平野 恵子	7	7	3	0	0	1	0	1	1	2	2	0	2	0	0	0	1.2	
職業と人生Ⅰ(C)	勝村 務	11	11	8	0	0	0	1	2	5	3	3	0	0	0	0	0	1.04	
学びとキャリア形成(A)	平野 恵子	278	278	277	32	110	79	47	4	5	1	1	0	0	0	0	0	3.16	
学びとキャリア形成(B)	平野 恵子	276	275	269	17	77	71	66	29	9	4	4	0	2	0	0	0	2.85	
学びとキャリア形成(C)	勝村 務	163	163	158	28	22	61	30	12	5	4	4	0	1	0	0	0	2.93	
教養演習Ⅰ(A)	宮澤 照恵	4	4	4	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.62	
教養演習Ⅰ(B)	矢吹 哲夫	8	8	8	7	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.75	
教養演習Ⅰ(C)	水川 喜文	6	6	5	2	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	2.7	
教養演習Ⅰ(D)	諸岡 卓真	17	17	15	2	3	1	5	4	0	0	0	0	1	1	0	0	2.8	
教養演習Ⅱ(A)	宮澤 照恵	4	4	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3.5	
教養演習Ⅱ(B)	矢吹 哲夫	6	6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
教養演習Ⅱ(C)	水川 喜文	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5	
教養演習Ⅱ(D)	諸岡 卓真	4	4	3	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	2.66	
日本語表現Ⅰ(英A)	松浦 年男	21	21	21	4	3	5	3	4	2	0	0	0	0	0	0	0	2.8	
日本語表現Ⅰ(英B)	田村 早苗	20	20	18	3	5	10	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3.13	
日本語表現Ⅰ(英C)	宮澤 照恵	21	21	20	1	8	8	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	2.88	
日本語表現Ⅰ(英D)	石垣 佳奈子	22	22	21	3	5	3	3	4	3	0	0	1	0	0	0	0	2.59	
日本語表現Ⅰ(英E)	高島 猛	21	21	20	2	4	7	2	4	1	0	0	1	0	0	0	0	2.71	
日本語表現Ⅰ(英F)	高木 維	20	20	20	3	9	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.27	
日本語表現Ⅰ(コA)	諸岡 卓真	25	25	24	4	2	3	2	4	9	0	0	1	0	0	0	0	2.16	
日本語表現Ⅰ(コB)	中平 詩織	23	23	16	4	3	6	2	0	1	1	1	2	4	0	0	0	2.65	
日本語表現Ⅰ(コC)	吉村 悠介	24	24	22	2	6	8	2	2	2	0	0	1	1	0	0	0	2.78	
日本語表現Ⅰ(コD)	木谷 満	25	25	25	0	8	10	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2.98	
日本語表現Ⅰ(コE)	浅野 正道	24	24	20	1	1	7	7	1	3	1	1	3	0	0	0	0	2.12	
日本語表現Ⅰ(経A)	松浦 年男	22	22	19	5	5	2	1	2	4	0	0	1	2	0	0	0	2.7	
日本語表現Ⅰ(経B)	吉村 悠介	22	22	21	1	2	3	5	5	5	0	0	0	1	0	0	0	2.26	
日本語表現Ⅰ(経C)	諸岡 卓真	21	21	20	3	0	3	2	6	6	1	1	0	0	0	0	0	2.09	
日本語表現Ⅰ(経D)	高島 猛	22	22	20	2	2	9	3	3	1	0	0	1	1	0	0	0	2.69	
日本語表現Ⅰ(経E)	田代 早矢人	20	20	17	5	5	2	2	2	1	1	1	0	2	0	0	0	2.97	
日本語表現Ⅰ(経F)	浅野 正道	22	22	19	0	0	1	7	8	3	1	1	2	0	0	0	0	1.79	
日本語表現Ⅰ(経G)	石垣 佳奈子	21	21	17	0	4	3	5	2	3	1	1	1	2	0	0	0	2.23	
日本語表現Ⅰ(経H)	木谷 満	22	22	21	0	4	7	10	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2.85	
日本語表現Ⅰ(経I)	高木 維	22	22	22	2	8	4	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2.95	
日本語表現Ⅰ(情A)	宮澤 照恵	19	19	18	0	6	4	4	2	2	0	0	1	0	0	0	0	2.57	

2013年度以降入学生

(表V-18-34)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布											評価傾向平 均GP	
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W		
日本語表現Ⅰ(情B)	松浦 年男	19	19	17	3	2	1	3	5	3	1	1	1	0	0	0	2.23
日本語表現Ⅰ(情C)	田代 早矢人	20	20	20	3	3	4	4	3	3	0	0	0	0	0	0	2.67
日本語表現Ⅰ(情D)	高島 猛	19	19	18	3	2	3	4	4	2	0	0	1	0	0	2.52	
日本語表現Ⅰ(情E)	田村 早苗	19	19	17	0	3	5	8	1	0	0	0	2	0	0	2.5	
日本語表現Ⅰ(情F)	吉村 悠介	19	19	15	0	1	2	5	2	5	3	3	0	1	0	1.72	
日本語表現Ⅰ(情G)	木谷 満	19	19	18	3	2	7	2	3	1	0	0	1	0	0	2.73	
日本語表現Ⅰ(法A)	宮澤 照恵	21	21	18	0	1	4	7	2	4	1	1	1	1	0	2.04	
日本語表現Ⅰ(法B)	水川 喜文	19	19	18	6	5	3	1	3	0	0	0	0	1	0	3.27	
日本語表現Ⅰ(法C)	田村 早苗	21	21	19	0	3	9	4	3	0	0	0	1	1	0	2.67	
日本語表現Ⅰ(法D)	中平 詩織	20	19	15	5	1	3	3	1	2	2	2	2	0	0	2.2	
日本語表現Ⅰ(法E)	石垣 佳奈子	21	21	17	0	1	0	1	8	7	2	2	1	1	0	1.45	
日本語表現Ⅰ(法F)	高木 維	20	20	20	2	5	8	5	0	0	0	0	0	0	0	3.1	
日本語表現Ⅰ(法G)	高島 猛	21	21	21	1	3	5	3	4	5	0	0	0	0	0	2.38	
日本語表現Ⅰ(計A)	松浦 年男	18	18	18	3	2	3	2	4	4	0	0	0	0	0	2.5	
日本語表現Ⅰ(計B)	田村 早苗	20	20	19	0	3	7	4	5	0	0	0	0	1	0	2.71	
日本語表現Ⅰ(計C)	浅野 正道	19	19	18	0	1	3	7	4	3	0	0	1	0	0	2.15	
日本語表現Ⅰ(計D)	高木 維	19	19	19	3	7	3	4	2	0	0	0	0	0	0	3.13	
日本語表現Ⅰ(計E)	石垣 佳奈子	19	19	18	0	3	1	6	3	5	1	1	0	0	0	2.07	
日本語表現Ⅰ(臨A)	浅野 正道	22	22	19	0	5	6	3	1	4	0	0	3	0	0	2.22	
日本語表現Ⅰ(臨B)	石垣 佳奈子	22	22	20	1	5	1	1	6	6	1	1	1	0	0	2.04	
日本語表現Ⅰ(臨C)	中平 詩織	21	21	20	3	8	3	5	0	1	0	0	1	0	0	2.97	
日本語表現Ⅰ(臨D)	田代 早矢人	21	21	20	2	4	8	3	0	3	0	0	1	0	0	2.69	
日本語表現Ⅰ(福心A)	松浦 年男	23	23	20	3	3	6	5	2	1	0	0	1	2	0	2.76	
日本語表現Ⅰ(福心B)	諸岡 卓真	22	22	22	1	7	1	3	6	4	0	0	0	0	0	2.5	
日本語表現Ⅰ(福心C)	木谷 満	22	22	20	5	7	3	5	0	0	0	0	0	2	0	3.3	
日本語表現Ⅰ(福心D)	田代 早矢人	21	21	19	5	5	4	3	1	1	1	1	1	0	0	2.85	
日本語表現Ⅱ(英A)	松浦 年男	22	22	20	8	4	2	2	4	0	2	2	0	0	0	2.95	
日本語表現Ⅱ(英B)	田村 早苗	20	20	18	4	14	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3.61	
日本語表現Ⅱ(英C)	宮澤 照恵	23	23	20	3	6	5	4	2	0	0	0	0	3	0	3.1	
日本語表現Ⅱ(英D)	石垣 佳奈子	22	22	22	6	9	4	2	1	0	0	0	0	0	0	3.38	
日本語表現Ⅱ(英E)	高島 猛	23	23	21	3	2	8	3	4	1	0	0	0	2	0	2.83	
日本語表現Ⅱ(英F)	中平 詩織	21	21	18	5	3	3	3	4	0	1	1	2	0	0	2.61	
日本語表現Ⅱ(コA)	諸岡 卓真	26	26	20	3	2	1	3	6	5	2	2	1	3	0	2.02	
日本語表現Ⅱ(コB)	中平 詩織	24	24	17	2	1	5	4	5	0	0	0	3	4	0	2.32	
日本語表現Ⅱ(コC)	吉村 悠介	25	24	20	2	7	4	5	2	0	0	0	1	3	0	2.77	
日本語表現Ⅱ(コD)	高木 維	25	25	24	3	6	5	6	3	1	0	0	0	1	0	2.91	
日本語表現Ⅱ(コE)	浅野 正道	23	23	20	2	4	3	10	1	0	0	0	1	2	0	2.76	
日本語表現Ⅱ(経A)	松浦 年男	25	25	18	4	2	6	1	2	3	2	2	2	3	0	2.29	
日本語表現Ⅱ(経B)	田村 早苗	25	25	20	3	8	4	3	2	0	0	0	0	5	0	3.17	
日本語表現Ⅱ(経C)	諸岡 卓真	25	25	24	3	0	1	4	5	11	0	0	0	1	0	1.91	
日本語表現Ⅱ(経D)	高島 猛	25	23	20	2	2	5	7	3	1	0	0	1	2	0	2.36	
日本語表現Ⅱ(経E)	田代 早矢人	23	22	19	3	5	5	1	4	1	0	0	0	3	0	2.8	
日本語表現Ⅱ(経F)	浅野 正道	26	26	20	0	1	3	6	6	4	1	1	3	2	0	1.81	
日本語表現Ⅱ(経G)	石垣 佳奈子	24	23	18	0	6	5	2	3	2	0	0	2	3	0	2.33	
日本語表現Ⅱ(経H)	木谷 満	25	24	21	1	7	6	5	2	0	0	0	0	3	0	2.86	
日本語表現Ⅱ(経I)	高木 維	24	24	20	2	5	6	4	2	1	0	0	1	3	0	2.78	
日本語表現Ⅱ(情A)	宮澤 照恵	23	23	21	5	3	3	4	3	3	0	0	0	2	0	2.78	
日本語表現Ⅱ(情B)	松浦 年男	23	22	17	1	0	3	4	4	5	5	5	0	0	0	1.56	
日本語表現Ⅱ(情C)	田代 早矢人	23	23	20	5	5	5	2	1	2	0	0	0	3	0	3.07	
日本語表現Ⅱ(情D)	高島 猛	24	24	20	2	0	4	6	5	3	1	1	2	1	0	2.08	
日本語表現Ⅱ(情E)	田村 早苗	23	23	15	1	5	1	4	3	1	1	1	5	2	0	1.97	
日本語表現Ⅱ(情F)	吉村 悠介	23	23	16	0	2	4	4	5	1	0	0	3	4	0	2.1	
日本語表現Ⅱ(情G)	木谷 満	23	23	20	1	2	7	4	4	2	0	0	2	1	0	2.36	
日本語表現Ⅱ(法A)	宮澤 照恵	13	13	10	0	2	3	2	2	1	0	0	0	3	0	2.6	
日本語表現Ⅱ(法B)	水川 喜文	11	11	9	0	2	4	1	1	1	0	0	0	2	0	2.72	
日本語表現Ⅱ(法C)	田村 早苗	13	12	9	0	2	4	2	0	1	0	0	0	3	0	2.5	
日本語表現Ⅱ(計A)	松浦 年男	19	19	16	5	2	3	1	3	2	3	3	0	0	0	2.44	
日本語表現Ⅱ(計B)	田村 早苗	21	20	18	3	5	5	1	1	3	1	1	1	0	0	2.47	

2013年度以降入学生

(表V-18-35)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	資無	W			
日本語表現Ⅱ(計C)	中平 詩織	20	20	15	3	1	2	2	3	4	3	3	1	1	0	1.92		
日本語表現Ⅱ(計D)	高木 維	20	20	19	4	4	5	3	3	0	0	0	0	1	0	3.07		
日本語表現Ⅱ(計E)	石垣 佳奈子	21	21	20	3	2	3	6	4	2	0	0	1	0	0	2.52		
日本語表現Ⅱ(臨A)	浅野 正道	23	22	22	1	3	5	7	3	3	0	0	0	0	0	2.43		
日本語表現Ⅱ(臨B)	石垣 佳奈子	24	24	16	2	3	4	2	4	1	1	1	3	4	0	2.22		
日本語表現Ⅱ(臨C)	中平 詩織	23	23	19	3	2	6	5	2	1	2	2	1	1	0	2.47		
日本語表現Ⅱ(臨D)	田代 早矢人	23	22	21	3	8	1	4	2	3	0	0	0	1	0	2.72		
日本語表現Ⅱ(福心A)	松浦 年男	25	24	18	6	5	2	2	2	1	0	0	2	4	0	2.73		
日本語表現Ⅱ(福心B)	諸岡 卓真	23	23	23	3	5	3	3	1	8	0	0	0	0	0	2.43		
日本語表現Ⅱ(福心C)	石垣 佳奈子	23	21	16	0	3	2	1	5	5	1	1	1	3	0	1.7		
日本語表現Ⅱ(福心D)	田代 早矢人	24	22	19	5	9	2	1	0	2	1	1	1	1	0	2.69		
国際交流特別講義C(a)	ケンレイ フリーゼン	5	5	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.9		
国際交流特別講義C(b)	ケンレイ フリーゼン	7	7	7	3	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	3.28		
国際交流特別講義K	賀 静彬	3	3	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
比較文化〔国際〕(A)	M. コッター	4	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
比較文化〔国際〕(B)	ネンシュティール	4	4	4	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2.87		
日米(経済)関係(国際)(A)	グレゴリー ウィーラー	5	5	5	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3.1		
日米(経済)関係(国際)(B)	グレゴリー ウィーラー	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5		
日欧(経済)関係(国際)(A)	原島 正衛	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.75		
日欧(経済)関係(国際)(B)	原島 正衛	5	5	4	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	3.12		
日韓比較文化論(A)	芳賀 恵	5	5	5	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.6		
日韓比較文化論(B)	鄭 斗鎬	7	7	7	2	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3.35		
メディア論〔国際〕(A)	高橋 純二	7	7	4	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	2	3.25		
メディア論〔国際〕(B)	高橋 純二	3	3	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5		
コミュニケーション論〔国際〕(A)	R. トムソン	4	4	4	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3.37		
日本の文学〔国際〕(A)	デイビット フレナー	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
日本の文学〔国際〕(B)	デイビット フレナー	4	4	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.75		
日本のサブカルチャー(A)	山本 範子	18	18	17	15	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3.85		
日本のサブカルチャー(B)	山本 範子	29	29	29	28	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.98		
日本の社会〔国際〕(B)	デビッド アンダーソン	13	13	11	2	7	2	0	0	0	0	0	0	2	0	3.5		
日本社会における言語とジェンダー〔国際〕(A)	岡田 みさを	3	3	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5		
日本社会における言語とジェンダー〔国際〕(B)	岡田 みさを	2	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3		
日本語ⅡA	宇山 小夜	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
日本の金融と経済〔国際〕(A)	秋森 弘	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
日本語ⅡB	宇山 小夜	2	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
日本語ⅢA	梅田 悦雄	4	4	4	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.62		
マネジメント論〔国際〕(A)	黄 雅雯	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
日本語ⅢB	梅田 悦雄	8	8	8	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3.62		
マネジメント論〔国際〕(B)	黄 雅雯	10	10	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
日本語ⅣA	延与 由美子	6	6	6	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.58		
日本の文化〔国際〕(A)	延与 由美子	11	11	8	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3.87		
日本語ⅣB	延与 由美子	6	6	6	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3.41		
日本の文化〔国際〕(B)	延与 由美子	5	5	5	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3.6		
日本語ⅤA	藤原 安佐	5	5	5	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.4		
日本語ⅤB	藤原 安佐	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
上級日本語A	梅田 悦雄	6	6	6	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.75		
上級日本語B	梅田 悦雄	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.75		
インターンシップ〔国際〕(A)	藤原 安佐	7	7	7	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.57		
インターンシップ〔国際〕(B)	藤原 安佐	2	2	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3.25		
日本の文学〔国際〕(A)	デイビット フレナー	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
日本の文学〔国際〕(B)	デイビット フレナー	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			
日本の社会〔国際〕(A)	デビッド アンダーソン	3	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4		
日本の社会〔国際〕(B)	デビッド アンダーソン	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5		
日本の経済〔国際〕(A)	秋森 弘	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			
国際経済〔国際〕	竹野内 真樹	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			
比較文化A〔国際〕	M. コッター	3	3	3	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3		
比較文化B〔国際〕	ネンシュティール	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
メディア論〔国際〕(A)	高橋 純二	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3		

2013年度以降入学生

(表 V-18-36)

授業科目名	担当者 (敬称略)	総履修 者数	2013~履修者	合格者数	評価分布													評価傾向平 均GP	
					A+	A	B+	B	C	D	F	不合格	試欠	欠無	W				
日本語ノンインテンシブ・クラスⅠA	今泉 智子	2	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5
日本語ノンインテンシブ・クラスⅡA	今泉 智子	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5
日本語ノンインテンシブ・クラスⅠB	今泉 智子	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
教職入門(A)	田実 潔	60	60	60	6	16	25	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.09
教職入門(B)	田実 潔	33	33	31	4	11	10	6	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3.2
教育学(A)	鈴木 剛	71	71	55	9	16	6	8	11	5	8	8	0	8	0	0	0	0	2.49
教育学(B)	鈴木 剛	35	35	32	1	8	12	5	3	3	0	0	0	0	3	0	0	0	2.79
教育史	鈴木 剛	8	8	8	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
教育心理学(A)	田辺 毅彦	152	150	142	72	42	14	8	6	0	0	0	0	8	0	0	0	0	3.55
教育心理学(B)	田辺 毅彦	33	31	23	14	6	1	2	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	3.4
教育行政論(A)	鳴海 昌江	30	30	27	2	8	3	4	8	2	0	0	0	1	2	0	0	0	2.6
教育行政論(B)	鳴海 昌江	37	35	28	5	4	7	6	6	0	0	0	0	7	0	0	0	0	2.73
教育社会学	菅原 健太	18	18	18	0	1	6	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.66
英語科教育法Ⅰ	江口 均	22	22	22	6	3	3	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.95
英語科教育法Ⅱ	白鳥 金吾	22	21	21	6	8	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.22
社会科教育法Ⅰ〔地理歴史〕	岡積 義雄	31	31	29	0	4	10	10	3	2	0	0	0	0	2	0	0	0	2.65
社会科教育法Ⅱ〔公民〕(A)	鳴海 昌江	22	22	21	2	10	6	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3.11
社会科教育法Ⅱ〔公民〕(B)	鳴海 昌江	13	13	13	0	2	5	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.65
地理歴史科教育法	岡積 義雄	9	9	9	0	3	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2.77
公民科教育法	鳴海 昌江	25	25	24	4	5	5	7	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2.88
英語科教育実践指導Ⅰ	湊 史郎	20	19	19	15	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.7
英語科教育実践指導Ⅱ	山崎 秀樹	21	20	20	9	6	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.4
道徳教育の研究	鈴木 剛	55	55	49	4	16	15	5	8	1	0	0	0	6	0	0	0	0	2.98
特別活動の研究(A)	古谷 次郎	33	33	31	5	10	9	5	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3.04
特別活動の研究(B)	古谷 次郎	25	25	23	7	7	3	5	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3.26
教育方法論(A)	古谷 次郎	27	27	26	6	2	3	7	5	3	0	0	0	0	0	1	0	0	2.71
教育方法論(B)	古谷 次郎	38	37	32	13	4	3	7	4	1	2	2	0	3	0	0	0	0	2.9
生活指導の研究(A)	田実 潔	22	22	21	11	10	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3.59
生活指導の研究(B)	田実 潔	38	37	37	22	9	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3.46
教育相談論(A)	河岸 由里子	39	39	30	5	5	6	7	2	5	0	0	0	1	8	0	0	0	2.64
教育相談論(B)	河岸 由里子	91	88	78	1	4	16	33	23	1	0	0	0	2	8	0	0	0	2.35
教育実習Ⅰ〔中学校〕	古谷 次郎	36	35	35	4	19	8	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.18
教育実習Ⅱ〔高等学校〕	古谷 次郎	10	10	10	1	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.25
特別支援教育概論(A)	播磨 正一	41	41	36	5	10	7	6	5	3	1	1	0	4	0	0	0	0	2.81
特別支援教育概論(B)	播磨 正一	18	17	16	4	6	2	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3.11
社会科教育実践指導Ⅰ	鳴海 昌江	33	33	32	3	12	5	10	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3.06
社会科教育実践指導Ⅱ(A)	鳴海 昌江	9	9	8	1	3	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3.12
社会科教育実践指導Ⅱ(B)	鳴海 昌江	19	19	19	3	4	8	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3.07
教育実習事前事後指導	古谷 次郎	46	45	45	5	23	12	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.19
教職実践演習(中・高)(A)	古谷 次郎	9	9	9	3	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.5
教職実践演習(中・高)(B)	田実 潔	5	5	5	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.2
教職実践演習(中・高)(C)	田実 潔	8	8	8	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.87
教職実践演習(中・高)(D)	播磨 正一	9	9	9	3	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.61
教職実践演習(中・高)(E)	鳴海 昌江	8	8	8	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.68
教職実践演習(中・高)(F)	鳴海 昌江	7	7	6	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3.41

2012年度以前入学生

(表V-18-37)

開講科目名	提出教員名	総履修者数	～2012履修者	合格者数	評価分布											評価傾向 平均値			
					10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0		試欠	試無	
社会学 I	水川 喜文	104	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
英語Ⅲ(経部D)	黒澤 藤子	31	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
英語Ⅳ(経部D)	アン ミラー	33	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
心理言語学	邑本 俊亮	67	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
専門演習Ⅳ	田辺 毅彦	20	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
卒業研究Ⅱ	田辺 毅彦	19	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
国際経済特論Ⅰ	竹内 幸史	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
宗教学(A)	堀 雅彦	151	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3.5
現代政治学(A)	萱野 智篤	216	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
経営科学	鈴木 克典	99	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
意思決定論	鈴木 克典	129	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
会計学Ⅰ	高木 裕之	138	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
管理会計Ⅰ	大原 昌明	39	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
国際マーケティング	韓 文熙	97	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
経済法	萩原 浩太	93	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
企業法入門	伊東 尚美	54	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
データ調査論	星野 克紀	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
北海道経済論(B)	斉藤 正広	219	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
メディア法	岩本 一郎	86	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
福祉心理学	豊村 和真	131	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
知的障害者の心理(A)	牧田 浩一	42	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
リサーチ方法論Ⅰ	横山 穰	209	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
児童・家庭福祉論	栗山 隆	189	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
専門演習Ⅳ	栗林 克匡	9	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
認知心理学(福心)	眞嶋 良全	52	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
卒業論文(指導)	栗林 克匡	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
健康心理学	柴田 利男	36	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
環境と人間Ⅰ(B)	矢吹 哲夫	114	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
政治学Ⅰ	萱野 智篤	312	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
北方圏論(A)	澤井 玄	233	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
日本の文化Ⅰ(A)	諸岡 卓真	106	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
国際文化	金 昌震	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
イスラム教の思想と文化	山我 哲雄	198	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
北星学	日高 嘉彦	249	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
ハードウェア基礎	中嶋 輝明	16	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
教育心理学(A)	田辺 毅彦	152	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

19 兼任教員個別表(非常勤講師時間数調べ)〔2019年度〕

(表V-19)

区分 教員 コード	教員氏名 生年月日	出講期	週出講日数	週講義数	週時間数	集中 時間数	本務先 担当科目	職名	
6061	高島 猛	通年	前期	3	4	60	0	日本語表現I(英E)	
		【大学】	後期	2	3	45			
6243	メアリー ヴァーゼル	通年	前期	2	4	60	0	ABC House English School	owner
		【大学】	後期	3	5	75		Basic Speaking I (A)	
6332	扇子 幸一	後期	前期	0	0	0	0	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援)	
			【大学院】	後期	1	1			
6358	田中 豪一	前期	前期	1	1	15	0	札幌医科大学 医療人育成センター	准教授
		【大学】	後期	0	0	0		生理心理学	
6427	小島 康次	前期	前期	1	1	15	0	札幌保健医療大学	教授
		【大学】	後期	0	0	0		文化心理学	
6428	高橋 雅治	通年	前期	1	1	15	0	旭川医科大学	教授
		【大学】	後期	1	1	15		学習心理学(福心)	
6445	重成 美雪	通年	前期	2	8	120	0	英語 I (経部H)	
		【大学】	後期	2	8	120			
6470	ウィリアム アンダーソン	通年	前期	3	8	120	0	Basic Speaking I (F)	
		【大学】	後期	3	8	120			
6470	ウィリアム アンダーソン	通年	前期	1	4	60	0	オーラル・イングリッシュⅢ	
		【短大】	後期	1	4	60			
6483	ブリックリン ゼフ	通年	前期	1	6	90	0	北海学園大学	講師
		【大学】	後期	1	6	90		英語 I (経部J)	
6494	田所 智	通年	前期	1	2	30	0	通信ネットワーク論	
		【大学】	後期	2	3	45			
6498	ニコラ ジェゴンデ	通年	前期	1	2	30	0	札幌アリアンフランセーズ	院長
		【大学】	後期	1	2	30		フランス語 I (社部)	
6507	邑本 俊亮	前期	前期	0	0	0	15	東北大災害科学国際研究所	教授
			【大学】	後期	0	0		0	心理言語学
6509	ゲーザ オルデハーフェル	通年	前期	3	5	75	0	ドイツ語Ⅲ(文部)	
		【大学】	後期	3	5	75			
6509	ゲーザ オルデハーフェル	通年	前期	1	1	15	0	ドイツ語Ⅲ	
		【短大】	後期	1	1	15			
6518	ロバート ジョンソン	通年	前期	1	4	60	0	英語Ⅲ(コB)	
		【大学】	後期	1	4	60			
6519	デビッド アンダーソン	通年	前期	4	10	150	0	Basic Speaking I (E)	
		【大学】	後期	4	10	150			
6519	デビッド アンダーソン	通年	前期	2	4	60	0	オーラル・イングリッシュⅢ	
		【短大】	後期	2	4	60			
6523	井上 千恵子	通年	前期	1	6	90	0	英語 I (コA)	
		【大学】	後期	1	6	90			
6543	下田 恭子	通年	前期	1	4	60	0	ドイツ語 I (社部)	
		【大学】	後期	1	4	60			
6543	下田 恭子	通年	前期	1	1	15	0	ドイツ語 I	
		【短大】	後期	1	1	15			

19 兼任教員個別表(非常勤講師時間数調べ)〔2019年度〕

(表V-19)

区分 教員 コード	教員氏名 生年月日	出講期	週出講日数	週講義数	週時間数	集中 時間数	本務先 担当科目	職名
6571	平岡 祥孝	後期	前期	0	0	0	札幌大谷大学 地域経済論	教授
		【大学】	後期	1	2	30		
6574	永谷 稔	通年	前期	1	2	30	北翔大学 生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科	教授
		【大学】	後期	1	2	30		
6577	ティモシー ブランクリー	通年	前期	2	4	60	国学院短期大学	准教授
		【大学】	後期	2	4	60		
6584	ハリー チャドウィック	通年	前期	1	6	90	オーラル・イングリッシュ I (C1)	
		【短大】	後期	1	6	90		
6598	角田 和彦	前期	前期	1	1	10	野外活動演習	
		【大学】	後期	0	0	0		
6601	瀬名波 栄潤	通年	前期	1	1	15	北海道大学大学院文学研究科	教授
		【大学】	後期	1	2	30		
6601	瀬名波 栄潤	通年	前期	0	0	0	北海道大学大学院文学研究科	教授
		【大学院】	後期	0	0	0		
6606	高木 裕之	前期	前期	1	1	15	北海学園大学	教授
		【大学】	後期	0	0	0		
6613	河野 仁志	前期	前期	1	1	15	札幌市精神障害者家族連合会 精神保健福祉の理論と相談援助の展 開Ⅱ	非常勤職 員
		【大学】	後期	0	0	0		
6620	園田 勝英	前期	前期	1	1	15	英語史	
		【大学】	後期	0	0	0		
6640	武川 正吾	前期	前期	0	0	0	東京大学大学院	教授
		【大学】	後期	0	0	0		
6645	出利葉 浩司	前期	前期	1	2	30	北海学園大学	客員研究 員
		【大学】	後期	0	0	0		
6650	スティーヴン バロー	通年	前期	3	6	90	Basic Speaking I (C)	
		【大学】	後期	3	6	90		
6655	ブライアン バーンズ	通年	前期	4	8	120	Basic Speaking I (G)	
		【大学】	後期	4	8	120		
6655	ブライアン バーンズ	通年	前期	2	4	60	オーラル・イングリッシュⅢ	
		【短大】	後期	2	4	60		
6656	木村 有咲	通年	前期	2	6	90	英語 I (コC)	
		【大学】	後期	2	8	120		
6671	デイビット フレナー	通年	前期	2	14	210	英語 I (経済A)	
		【大学】	後期	2	13	195		
6683	グレゴリー ウィーラー	通年	前期	1	2	30	札幌医科大学	准教授
		【大学】	後期	1	2	30		
6687	アラン ボゼア	通年	前期	1	1	15	札幌大学	教授
		【大学】	後期	1	1	15		
6691	近藤 浩之	後期	前期	0	0	0	北海道大学大学院	教授
		【大学】	後期	1	1	15		
6710	小泉 良子	通年	前期	1	1	15	相談援助演習 I (G)	
		【大学】	後期	1	2	30		

19 兼任教員個別表(非常勤講師時間数調べ)〔2019年度〕

(表V-19)

区分 教員 コード	教員氏名 生年月日	出講期	週出講日数	週講義数	週時間数	集中 時間数	本務先 担当科目	職名	
6749	若狭 重克	前期	前期	1	1	15	0	藤女子大学人間生活学部 高齢者ソーシャルワーク論	教授
		【大学】	後期	0	0	0			
6752	ピーター リームスト	通年	前期	2	4	60	0	イングリッシュ・ディスカッション I (A)	
		【大学】	後期	2	4	60			
6764	菊地 はるひ	通年	前期	1	2	30	0	北翔大学 体育実技 I (G)	教授
		【大学】	後期	1	2	30			
6769	新 壽春	通年	前期	1	2	30	0	英語 V	
		【短大】	後期	1	2	30			
6777	木谷 満	通年	前期	2	4	60	0	日本語表現I(コD)	
		【大学】	後期	2	3	45			
6782	小賀 聡	通年	前期	1	1	15	0	WISH SIDE 応用マルチメディア	代表
		【短大】	後期	1	2	30			
6795	デイン ハンプトン	通年	前期	1	3	45	0	英作文 I (A2)	
		【短大】	後期	1	3	45			
6796	田 光子	通年	前期	1	1	15	0	北翔大学短期大学部 ハンブルⅢ	准教授
		【短大】	後期	1	1	15			
6811	和田 美江	後期	前期	0	0	0	0	ジェンダー論(短)	
		【短大】	後期	1	1	15			
6813	ハリー クリゲン	通年	前期	3	6	90	0	イングリッシュ・ディスカッション I (G)	
		【大学】	後期	3	6	90			
6813	ハリー クリゲン	通年	前期	1	2	30	0	英作文 I	
		【短大】	後期	1	2	30			
6814	藤原 安佐	通年	前期	3	8	120	0	日本語ⅣA	
		【大学】	後期	3	8	120			
6822	山之内 裕一	後期	前期	0	0	0	0	山之内建築研究所 空間コミュニケーション	代表
		【大学】	後期	1	1	15			
6826	龍島 秀広	前期	前期	1	1	15	0	北海道教育大学教職大学院 犯罪心理学	准教授
		【大学】	後期	0	0	0			
6829	松田 寿一	通年	前期	1	1	15	0	北海道武蔵女子短期大学 英米詩研究B	教授
		【大学】	後期	1	1	15			
6850	寺田 香	通年	前期	1	1	15	0	北翔大学 相談援助演習Ⅱ(E)	講師
		【大学】	後期	1	1	15			
6855	堀 雅彦	通年	前期	1	1	15	0	宗教学(A)	
		【大学】	後期	1	1	15			
6856	クリストファー カートニー	通年	前期	4	17	255	0	英語 I (経済F)	
		【大学】	後期	4	17	255			
6856	クリストファー カートニー	通年	前期	3	9	135	0	オーラル・イングリッシュ I	
		【短大】	後期	3	9	135			
6879	中島 洋	前期	前期	1	1	15	0	シアターキノ 映像表現論	代表取締役
		【大学】	後期	0	0	0			
6894	梅田 悦雄	通年	前期	2	20	300	0	英米文学 I	
		【大学】	後期	2	20	300			

19 兼任教員個別表(非常勤講師時間数調べ)〔2019年度〕

(表V-19)

区分 教員 コード	教員氏名 生年月日	出講期	週出講日数	週講義数	週時間数	集中 時間数	本務先 担当科目	職名	
6894	梅田 悦雄	通年	前期	2	2	30	0	英米文学 I	
		【短大】	後期	2	2	30			
6900	田代 早矢人	通年	前期	3	4	60	0	日本語表現I(経E)	
		【大学】	後期	3	4	60			
6901	浅野 正道	通年	前期	3	4	60	0	日本語表現I(コE)	
		【大学】	後期	2	3	45			
6907	松田 由紀	通年	前期	3	8	120	0	韓国語 I (文部A)	
		【大学】	後期	2	8	120			
6911	ケビン リトン	通年	前期	2	12	180	0	英語 I (コA)	
		【大学】	後期	2	12	180			
6911	ケビン リトン	通年	前期	2	6	90	0	オーラル・イングリッシュ I	
		【短大】	後期	2	6	90			
6915	大坂 崇徳	前期	前期	1	1	15	0	アーキラボ・ティアンドエム	代表
		【短大】	後期	0	0	0		住宅CAD設計 I	
6916	東田 育子	通年	前期	1	1	15	0	イリス・カラーズ	
		【短大】	後期	1	1	15		生活創造と色彩	
6923	瀧元 智恵	通年	前期	2	6	90	0	韓国語 I (社部B)	
		【大学】	後期	2	6	90			
6936	小野垣 彩子	後期	前期	0	0	0	0	プレゼンテーション演習	
		【大学】	後期	1	1	15			
6939	関谷 成実	通年	前期	1	2	30	0	有限会社ITコンピュータシステム	代表取締役社長
		【短大】	後期	1	2	30		情報入門(短AB)	
6942	檜山 純	通年	前期	1	1	15	0	札幌学院大学経営学部会計ファイナンス学科	准教授
		【短大】	後期	1	1	15		簿記・会計 I	
6948	松井 美穂	通年	前期	1	1	15	0	札幌市立大学デザイン学部	准教授
		【大学】	後期	1	1	15		アメリカ文化研究B	
6954	吉田 修大	通年	前期	1	1	15	0	北翔大学大学院人間福祉学研究所	准教授
		【大学】	後期	1	2	30		相談援助演習 I (F)	
6955	川名 早苗	通年	前期	2	9	135	0	英語 I (経済B)	
		【大学】	後期	2	9	135			
6955	川名 早苗	通年	前期	1	1	15	0	女性と文化 I	
		【短大】	後期	1	1	15			
6958	井上 敦子	通年	前期	2	6	90	0	韓国語 I (経部A)	
		【大学】	後期	2	6	90			
6962	宇都宮 庸子	前期	前期	1	2	30	0	日本語表現法(A)	
		【短大】	後期	0	0	0			
6966	田村 里子	前期	前期	1	1	15	0	一般社団法人 WITH医療福祉実践研究所	理事・ソーシャルワーカー
		【大学】	後期	0	0	0		保健医療ソーシャルワーク論	
6968	宮入 隆	前期	前期	1	1	15	0	北海学園大学経済学部地域経済学科	教授
		【短大】	後期	0	0	0		流通マーケティング論	
6969	鄭 斗鎬	通年	前期	2	8	120	0	韓国語 I (文部A)	
		【大学】	後期	2	9	135			

19 兼任教員個別表(非常勤講師時間数調べ)〔2019年度〕

(表V-19)

区分 教員 コード	教員氏名 生年月日	出講期	週出講日数	週講義数	週時間数	集中 時間数	本務先 担当科目	職名	
6969	鄭 斗鎬	通年	前期	1	2	30	0	ハンゲル I	
		【短大】	後期	1	2	30			
6978	汪 志平	前期	前期	1	1	15	0	札幌大学経営学部	教授
		【大学】	後期	0	0	0		中国経済論	
6978	汪 志平	前期	前期	0	1	15	0	札幌大学経営学部	教授
		【大学院】	後期	0	0	0		国際比較経済学特論	
6988	手塚 早苗	後期	前期	0	0	0	0	プレゼンテーション演習	
		【大学】	後期	1	1	15			
6992	アラン マロック	通年	前期	2	2	30	0	World Music[世界の音楽] I (1)	
		【短大】	後期	2	2	30			
6996	尾形 良子	通年	前期	1	1	15	0	北翔大学生涯スポーツ学部健康福祉学科	准教授
		【大学】	後期	1	1	15		相談援助演習 II (F)	
7003	奥 聡	通年	前期	1	1	15	0	北海道大学大学院 メディア・コミュニケーション研究院	教授
		【大学】	後期	1	1	15		言語学	
7003	奥 聡	通年	前期	0	0	0	0	北海道大学大学院 メディア・コミュニケーション研究院	教授
		【大学院】	後期	0	0	0		言語学	
7012	ダニエル アーノルド	通年	前期	1	4	60	0	ドイツ語 I (文部)	
		【大学】	後期	1	4	60			
7014	高田 洋	後期	前期	0	0	0	0	札幌学院大学経済学部経済学科	教授
		【大学】	後期	1	1	15		データ解析入門	
7018	黒澤 藤子	通年	前期	2	6	90	0	英語 I (経部I)	
		【大学】	後期	2	6	90			
7037	ケンレイ フリーゼン	通年	前期	4	14	210	0	英語 I (コC)	
		【大学】	後期	4	14	210			
7057	石飛 道子	後期	前期	0	0	0	0	札幌大谷大学	特任教授
		【大学】	後期	1	1	15		仏教の思想と文化	
7080	齋藤 英敏	通年	前期	0	0	0	0	茨城大学	准教授
		【大学院】	後期	0	0	0		英語教育評価論	
7084	張 阿金	通年	前期	2	8	120	0	北海道大学大学院文学研究科	専門研究員
		【大学】	後期	2	8	120		中国語 I (経部A)	
7087	清水 賢一郎	通年	前期	1	2	30	0	北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院	教授
		【大学】	後期	1	2	30		中国語 I (経部A)	
7097	トーラルフ ハイネマン	通年	前期	1	4	60	0	ドイツ語 I (経部)	
		【大学】	後期	1	4	60			
7108	星野 克紀	通年	前期	0	0	0	15	北海道総合研究調査会	理事・医療 介護研究 部長
		【大学】	後期	0	0	0		データ調査論	
7116	顔 明芳	通年	前期	1	3	45	0	中国語 I (1)	
		【短大】	後期	1	3	45			
7122	澤井 玄	後期	前期	0	0	0	0	北方圏論(A)	
		【大学】	後期	2	2	30			
7130	田中 英夫	通年	前期	2	5	75	0	北海道情報大学情報メディア学部	教授
		【大学】	後期	2	5	75		中国語 I (経部E)	

19 兼任教員個別表(非常勤講師時間数調べ)〔2019年度〕

(表V-19)

区分 教員 コード	教員氏名 生年月日	出講期	週出講日数	週講義数	週時間数	集中 時間数	本務先 担当科目	職名	
7132	楊 安娜	通年	前期	1	2	30	0	北海学園大学 中国語Ⅰ(経部B)	准教授
		【大学】	後期	1	2	30			
7134	佐藤 恵美	【大学】	前期	0	0	0	15	東京富士大学経営学部経営心理学科 産業心理学(A)	准教授
			後期	0	0	0			
7136	下川 和夫	通年	前期	1	1	15	0	自然地理学(B)	
		【大学】	後期	1	1	15			
7150	鎮目 真人	【大学】	前期	0	0	0	15	立命館大学 社会保障論Ⅱ(B)	教授
			後期	0	0	0			
7154	平野 恵子	通年	前期	1	1	15	0	株式会社文化放送キャリアパートナーズ 就職情報研究所 職業と人生Ⅰ(A)	主任研究員
		【大学】	後期	1	1	15			
7155	カレン クライン カタヤマ	通年	前期	2	5	75	0	Basic SpeakingⅠ(D)	
		【大学】	後期	2	5	75			
7157	隼田 シズコ	通年	前期	1	2	30	0	Psychology〔心理学〕Ⅰ(1)	
		【短大】	後期	1	2	30			
7163	日野杉 匡大	通年	前期	2	8	120	0	中国語Ⅰ(経部C)	
		【大学】	後期	2	8	120			
7165	マイケル ハース	通年	前期	2	4	60	0	イングリッシュ・ディスカッションⅠ(C)	
		【大学】	後期	2	4	60			
7166	ト部 奈穂子	前期	前期	1	1	7	0	合同会社ベン具 療法論Ⅱ	代表社員
		【大学】	後期	0	0	0			
7169	渡辺 舞	後期	前期	0	0	0	0	豊岡短期大学 通信教育部 こども学科 心理学Ⅱ(C)	講師
		【大学】	後期	2	3	45			
7176	高橋 光彦	後期	前期	0	0	0	0	日本医療大学 リハビリテーション論Ⅱ	教授
		【大学】	後期	1	1	15			
7179	岡野 五郎	後期	前期	0	0	0	0	スポーツ栄養学	
		【大学】	後期	1	1	15			
7183	石岡 丈昇	【大学】	前期	0	0	0	15	北海道大学大学院教育学研究院 現代社会学	准教授
			後期	0	0	0			
7187	西脇 裕之	後期	前期	0	0	0	0	札幌大谷大学社会学部地域社会学科 社会学Ⅱ	教授
		【大学】	後期	1	1	15			
7191	石切山 祥子	【短大】	前期	0	0	0	15	スタイリスト事務所「SPUTNIK」 ファッション・アパレルビジネス	代表
			後期	0	0	0			
7200	ドナルド フランク	通年	前期	3	10	150	0	オーラル・イングリッシュⅠ(A1)	
		【短大】	後期	3	10	150			
7209	中島 隆	【大学】	前期	0	0	0	15	朝日新聞 中小企業論	編集委員
			後期	0	0	0			
7219	小幡 直弘	通年	前期	2	5	75	0	北星学園大学 映像技術演習(A)	非常勤助手
		【大学】	後期	1	1	15			
7220	大瀬 幸則	通年	前期	2	2	30	0	心理学実験演習(コA)	
		【大学】	後期	2	5	75			
7224	橋本 菊次郎	前期	前期	1	2	30	0	北翔大学 教育文化学部 精神保健福祉援助技術各論	准教授
		【大学】	後期	0	0	0			

19 兼任教員個別表(非常勤講師時間数調べ)〔2019年度〕

(表V-19)

区分 教員 コード	教員氏名 生年月日	出講期	週出講日数	週講義数	週時間数	集中 時間数	本務先 担当科目	職名
7226	千場 敏博	通年	前期	1	1	15	0	酪農学園大学農食環境学群教職課程Ⅲ 特任教授 生命の科学Ⅱ(A)
		【大学】	後期	1	1	15		
7227	吉田 磨	後期	前期	0	0	0	0	酪農学園大学農食環境学群環境共生学類環境地球化学研究室 教授 環境と人間Ⅱ(A)
		【大学】	後期	1	2	30		
7228	江尻 徹誠	通年	前期	1	1	15	0	北海道大学大学院 中国の文化Ⅰ(A)
		【大学】	後期	1	1	15		
7230	千 永柱	通年	前期	2	6	90	0	韓国語Ⅰ(文部B)
		【大学】	後期	2	6	90		
7243	岡本 恵理	後期	前期	0	0	0	0	国語表現法
		【短大】	後期	1	1	15		
7244	堀田 健司	前期	前期	1	1	15	0	北海道大学大学院 物質の世界
		【大学】	後期	0	0	0		
7247	宇山 小夜	通年	前期	2	16	240	0	日本語ⅡA
		【大学】	後期	2	16	240		
7257	藤田 佳也	通年	前期	1	1	15	0	酪農学園大学 英米詩研究A
		【大学】	後期	1	1	15		
7259	木下 なつき	通年	前期	1	1	15	0	北海道武蔵女子短期大学 西洋経済史
		【大学】	後期	1	2	30		
7261	三ツ木 真実	通年	前期	1	1	15	0	北海道文教大学 リスニング・スキルⅢ
		【短大】	後期	1	1	15		
7262	城下 裕二	後期	前期	0	0	0	0	北海道大学大学院法学研究科 刑事法Ⅱ〔刑法各論・刑事訴訟法〕
		【大学】	後期	1	1	15		
7263	三瀬 敬治	前期	前期	1	1	15	0	札幌医科大学アドミッションセンター 生命の科学
		【短大】	後期	0	0	0		
7264	佐藤 俊治	通年	前期	1	1	15	0	科学と人間
		【大学】	後期	1	1	15		
7264	佐藤 俊治	前期	前期	1	1	15	0	人間と思想
		【短大】	後期	0	0	0		
7268	アン ミラー	通年	前期	4	15	225	0	英語Ⅰ(コB)
		【大学】	後期	4	15	225		
7270	藤井 得弘	通年	前期	2	8	120	0	中国語Ⅰ(文部A)
		【大学】	後期	2	8	120		
7277	本田 勝裕	通年	前期	1	1	15	0	有限会社ポントオフィス 職業と人生Ⅱ(A)
		【大学】	後期	1	1	15		
7278	山田 敦士	通年	前期	1	2	30	0	日本医療大学保健医療学部 中国語Ⅲ(文部C)
		【大学】	後期	1	2	30		
7287	曹 順姫	通年	前期	2	6	90	0	韓国語Ⅰ(経部C)
		【大学】	後期	1	4	60		
7294	田中 洋也	前期	前期	0	0	0	0	北海学園大学 英語授業実践論
		【大学院】	後期	0	0	0		
7296	林 宏和	通年	前期	2	6	90	0	フランス語Ⅰ(経部)
		【大学】	後期	2	6	90		

19 兼任教員個別表(非常勤講師時間数調べ)〔2019年度〕

(表V-19)

区分 教員 コード	教員氏名 生年月日	出講期	週出講日数	週講義数	週時間数	集中 時間数	本務先 担当科目	職名	
7296	林 宏和	通年	前期	1	2	30	0	フランス語 I	
		【短大】	後期	1	2	30			
7300	ウィリアム グリーン	通年	前期	1	2	30	0	札幌大学女子短期大学部	教授
		【大学】	後期	1	2	30		英米史A	
7312	胡 慧君	通年	前期	3	8	120	0	中国語 I (文部A)	
		【大学】	後期	3	8	120			
7315	八木 一郎	後期	前期	0	0	0	0	(株)K&Iサービスデザインニングオフィス	代表取締役
		【大学】	後期	1	1	15		消費者コミュニケーション	
7318	勝野 尚子	前期	前期	1	2	30	0	日本語表現法(A)	
		【短大】	後期	0	0	0			
7320	山田 正範	通年	前期	1	1	15	0	社会思想史	
		【大学】	後期	1	1	15			
7324	山田 志真子	通年	前期	1	1	15	0	北海道大学大学院理学部物理宇宙物理研究室	研究員
		【大学】	後期	1	1	15		情報入門(臨B)	
7330	高木 維	通年	前期	3	4	60	0	北海道大学大学院文学研究科	専門研究員
		【大学】	後期	2	3	45		日本語表現I(英F)	
7336	本多 政史	後期	前期	0	0	0	0	編集工房honda	
		【大学】	後期	1	2	30		文章コミュニケーション(A)	
7341	光増 昌久	前期	前期	1	1	15	0	社会福祉法人札幌緑花会	理事
		【大学】	後期	0	0	0		障害者ソーシャルワーク論	
7346	佐藤 至英	前期	前期	1	1	15	0	北翔大学	教授
		【大学院】	後期	0	0	0		家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における)	
7347	浅野 雅子	通年	前期	1	1	7	0	北海道医療大学	准教授
		【大学】	後期	1	1	15		精神保健福祉の理論と相談援助の展開II	
7349	ジョエル ライアン	通年	前期	1	3	45	0	北海道情報大学 経営情報学部	准教授
		【大学】	後期	1	3	45		英語 I (経済G)	
7350	鈴木 道代	後期	前期	0	0	0	0	相談援助実習指導 I (E)	
		【大学】	後期	1	1	15			
7351	畠山 明子	通年	前期	2	3	45	0	コミュニティワーク実習	
		【大学】	後期	2	4	60			
7351	畠山 明子	後期	前期	0	0	0	0	地域社会論	
		【短大】	後期	1	1	15			
7354	秋山 淳子	後期	前期	0	0	0	0	東京大学文書館 柏分館	特任助教
		【大学】	後期	1	1	15		世界の近現代史II	
7363	田頭 理	後期	前期	0	0	0	0	知事公館前法律事務所	弁護士
		【大学】	後期	1	1	15		司法福祉論	
7363	田頭 理	後期	前期	0	0	0	0	知事公館前法律事務所	弁護士
		【短大】	後期	1	1	15		現代社会と法	
7365	河岸 由里子	通年	前期	1	1	15	0	かうんせりんぐるうむ かかし	主宰カウンセラー (臨床心理士)
		【大学】	後期	1	2	30		教育・学校心理学	
7366	増淵 隆史	通年	前期	1	1	15	0	生命と倫理(A)	
		【大学】	後期	1	1	15			

19 兼任教員個別表(非常勤講師時間数調べ)〔2019年度〕

(表V-19)

区分 教員 コード	教員氏名 生年月日	出講期	週出講日数 週講義数 週時間数			集中 時間数	本務先 担当科目	職名	
			前期	後期	通年				
7367	飯田 昭人	【大学】	前期	1	1	15	0	北翔大学 パーソナリティ心理学(コ)	准教授
			後期	1	1	15			
7368	妹尾 克利	【大学】	前期	1	2	30	0	北星学園余市高等学校 映像技術演習(A)	専任教員
			後期	0	0	0			
7369	陸川 富盛	【大学】	前期	0	0	0	0	日興ファイナンシャル・インテリジェンス 投資教育研究所 投資と社会	
			後期	1	1	15			
7373	堤 かほり	【短大】	前期	1	2	30	0	ノース・スター・トラベル コミュニケーション・スキル(1)	営業
			後期	1	1	15			
7375	渡辺 まどか	【大学】	前期	1	1	2	0		海外の福祉制度
			後期	0	0	0			
7376	大畑 和子	【大学】	前期	1	1	15	0	社会福祉法人 羊ヶ丘養護園 子ども家庭ソーシャルワーク論	施設長
			後期	0	0	0			
7382	今野 喜文	【大学】	前期	1	1	15	0	北海学園大学 人材・組織マネジメント I	教授
			後期	1	2	30			
7386	荒木 広式	【大学】	前期	0	0	0	0	星槎道都大学 聴覚障害教育論	特任教授
			後期	1	1	15			
7387	渡辺 泰行	【大学】	前期	1	1	15	0	札幌市教育委員会 病弱教育方法論	特別支援 教育巡回 相談員
			後期	0	0	0			
7397	吉村 悠介	【大学】	前期	1	3	45	0		日本語表現I(コC)
			後期	1	2	30			
7398	石垣 佳奈子	【大学】	前期	4	5	75	0		日本語表現I(英D)
			後期	3	4	60			
7399	有泉 さおり	【短大】	前期	1	1	15	0		通訳者・翻 訳者・英語 講師
			後期	1	1	15			
7400	芳賀 恵	【大学】	前期	2	7	105	0	北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 韓国語 I (経部B)	学術研究 員
			後期	3	8	120			
7402	菅原 健太	【大学】	前期	1	1	15	0	國學院大學北海道短期大学部 教育社会学	助教
			後期	0	0	0			
7404	澤田 浩司	【短大】	前期	1	1	15	0	北海道生産性本部 現代社会と企業	事業担当 部長
			後期	1	1	15			
7409	松井 祐子	【大学】	前期	0	0	0	0	札幌市教育委員会 相談援助実習指導 I (G)	スクール ソーシャル ワーカー (嘱託)
			後期	1	1	15			
7410	セドリック ヤヤウイ	【大学】	前期	2	8	120	0	札幌アリアンスフランセーズ フランス語 I (経部)	仏語講師
			後期	2	8	120			
7411	後藤 健治	【大学】	前期	1	1	15	0	インターカレッジ札幌 翻訳法Ⅲ	講師
			後期	1	1	15			
7412	宮崎 理	【大学】	前期	0	0	0	8	名寄市立大学 ジェンダー・スタディーズ	講師
			後期	0	0	0			
7413	山下 浩紀	【大学】	前期	1	2	30	0	学校法人日本医療大学 生涯学習センター 相談援助演習 I (B)	通信教育 事業課
			後期	1	3	45			
7414	磯田 公子	【大学】	前期	1	1	7	0	カーサデイサービス 療法論Ⅱ	理事長・管 理者・音楽 療法士
			後期	0	0	0			

19 兼任教員個別表(非常勤講師時間数調べ) [2019年度]

(表V-19)

区分 教員 コード	教員氏名 生年月日	出講期	週出講日数	週講義数	週時間数	集中 時間数	本務先 担当科目	職名
7415	加藤 和代	【大学】	通年前期	1	2	30	0	フリーランス 通訳者
			通年後期	1	3	45		
7415	加藤 和代	【短大】	後期前期	0	0	0	0	フリーランス 通訳者
			後期後期	1	1	15		
7416	一木 崇宏	【大学】	後期前期	0	0	0	0	理事長・院長 ホサナファミリークリニック 肢体不自由者の病理保健
			後期後期	1	1	15		
7420	高野 和美	【大学】	通年前期	1	2	30	0	札幌市教育委員会 SSW
			通年後期	1	3	45		
7421	松浦 智和	【大学】	通年前期	1	2	30	0	名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科 講師 相談援助演習 I (C)
			通年後期	1	3	45		
7422	毛利 泰大	【大学】	通年前期	2	3	45	0	北海道大学大学院農学院 博士後期課程 経済統計学
			通年後期	1	1	15		
7429	延与 由美子	【大学】	通年前期	2	17	255	0	ジャパニーズ・カルチャー(A)
			通年後期	2	17	255		
7430	大西 昌美	【大学】	前前期	2	5	75	0	北翔大学 教授 体育実技 I (F)
			前后期	0	0	0		
7431	横山 茜理	【大学】	後前期	0	0	0	0	北翔大学 准教授 体育実技 I (F)
			後后期	1	3	45		
7432	小西 信義	【大学】	後前期	0	0	0	0	北海道開発技術センター 研究員 文化人類学
			後后期	1	1	15		
7438	森川 美生	【大学】	後前期	0	0	0	0	ジェンダーと社会
			後后期	1	1	15		
7440	古川 善夫	【大学】	通年前期	1	2	30	0	豊岡短期大学 通信教育部こども学科 講師 情報入門(臨A)
			通年後期	1	2	30		
7441	渡辺 隼人	【大学】	通年前期	1	2	30	0	北海道大学大学院医学院博士課程 情報入門(経D)
			通年後期	1	2	30		
7442	下條 暁司	【大学】	通年前期	1	1	15	0	異文化コミュニケーション研究A
			通年後期	2	2	30		
7446	青木 デボラ	【大学】	通年前期	2	3	45	0	Sociolog[社会学] I
			通年後期	2	3	45		
7446	青木 デボラ	【短大】	通年前期	2	2	30	0	北海道教育大学札幌校 准教授 臨床発達心理学
			通年後期	2	2	30		
7448	平野 直己	【大学】	後前期	0	0	0	0	札幌国際大学 准教授 英語 I (経部L)
			後后期	1	1	15		
7449	中平 詩織	【大学】	通年前期	3	3	45	0	日本語表現I(コB)
			通年後期	3	4	60		
7451	ジェラルド ハルボーセン	【大学】	通年前期	2	8	120	0	中国語 I (3)
			通年後期	2	8	120		
7455	霜鳥 かおり	【短大】	通年前期	1	1	15	0	北海道大学文学院心理学講座 専門研究員 情報入門(コA)
			通年後期	1	1	15		
7456	今井 史	【大学】	通年前期	1	1	15	0	札幌国際大学 准教授 英語 I (経部L)
			通年後期	1	1	15		

19 兼任教員個別表(非常勤講師時間数調べ)〔2019年度〕

(表V-19)

区分 教員 コード	教員氏名 生年月日	出講期	週出講日数	週講義数	週時間数	集中 時間数	本務先 担当科目	職名
7457	吉田 聡美	後期	前期	0	0	0	コンディショニング・ラボ スポーツ心理学	コンディ ショニン グ・ラボ代 表
		【大学】	後期	1	1	15		
7458	堀 智久	後期	前期	0	0	0	名寄市立大学	准教授
		【大学】	後期	1	1	15		
7459	坂口 勝幸	通年	前期	1	1	15	札幌学院大学経営学部会計ファイナンス学科	准教授
		【大学】	後期	1	1	15		
7460	岡部 哲子	後期	前期	0	0	0	天使大学看護栄養学部栄養学科	講師
		【大学】	後期	1	1	15		
7461	岡部 洋實	後期	前期	0	0	0	北海道大学 大学院経済学研究院	特任教授
		【大学】	後期	1	1	15		
7462	伊藤 恵里子	通年	前期	1	2	20	医療法人薪水 浦河ひがし町診療所	副院長/ ソーシャル ワーカー
		【大学】	後期	1	1	15		
7463	羽田 保子	後期	前期	0	0	0	羽田事務所	代表
		【大学】	後期	1	1	15		
7464	銭本 隆行	前期	前期	2	2	5	日本医療大学事務局恵み野キャンパス	参事
		【大学】	後期	0	0	0		
7466	マリアンナ チェスパ	通年	前期	2	16	240	オーラル・イングリッシュ I (A1)	
		【短大】	後期	2	17	255		
7467	ロバート アトキンス	通年	前期	1	8	120	オーラル・イングリッシュ I (A2)	
		【短大】	後期	1	8	120		
7469	橋本 達志	通年	前期	1	1	5	就労継続支援B型事業所 コリカ・プロダクション 管理者	
		【大学】	後期	1	1	15		
7471	今泉 智子	通年	前期	4	12	180	日本語VA	
		【大学】	後期	3	12	180		
7474	伊藤 博晃	前期	前期	2	2	30	北海道心理学会	幹事
		【大学】	後期	0	0	0		
7478	高野 真理子	通年	前期	1	4	60	フランス語 I (文部)	
		【大学】	後期	1	4	60		
7478	高野 真理子	通年	前期	1	1	15	フランス語Ⅲ	
		【短大】	後期	1	1	15		
7481	中澤 香織	前期	前期	0	0	0	札幌大谷大学短期大学部	教授
		【大学】	後期	0	0	0		
7485	J.M.ロナルド	前期	前期	0	0	0	広島修道大学人文学部	教授
		【大学院】	後期	0	0	0		
7486	木下 憲治	通年	前期	1	1	15	北海道大学大学院文学研究科	専門研究 員
		【大学】	後期	1	1	15		
7487	佐野 愛子	通年	前期	1	1	15	札幌国際大学	教授
		【短大】	後期	1	1	15		
7489	網野 真佐子	前期	前期	1	1	15	英語特別授業	
		【大学】	後期	0	0	0		
7492	大井 裕子	通年	前期	1	8	120	日本語VA	
		【大学】	後期	1	8	120		

19 兼任教員個別表(非常勤講師時間数調べ)〔2019年度〕

(表V-19)

区分 教員 コード	教員氏名 生年月日	出講期	週出講日数	週講義数	週時間数	集中 時間数	本務先 担当科目	職名	
7496	デニス クイン	通年	前期	2	4	60	0	Basic Reading I (D)	
		【大学】	後期	2	4	60			
7497	竹内 康二	通年	前期	1	2	30	0	札幌国際大学	教授
		【短大】	後期	1	4	60		リスニング・スキルⅡ(A)	
7501	麻生 尚志	前期	前期	1	2	27	0	哲学Ⅰ(A)	
		【大学】	後期	0	0	0			
7502	西永 亮	後期	前期	0	0	0	0	小樽商科大学	教授
		【大学】	後期	1	2	30		現代哲学	
7504	久野 真知子	後期	前期	0	0	0	0	生活支援実習	
		【短大】	後期	1	2	30			
7505	八巻 貴穂	前期	前期	1	1	15	0	北翔大学	准教授
		【大学】	後期	0	0	0		介護概論	
7506	神長 敬	前期	前期	1	1	15	0	株)KITABA	代表取締役社長
		【短大】	後期	0	0	0		北海道の生活と経済	
7507	崔 鉉鎮	通年	前期	3	6	90	0	韓国語Ⅰ(経部B)	
		【大学】	後期	2	4	60			
7508	佐々木 浩子	前期	前期	1	1	15	0	北翔大学	教授
		【大学】	後期	0	0	0		公衆衛生	
7509	小松 知春	後期	前期	0	0	0	0	北海道大学大学院農学研究院	学術研究員
		【大学】	後期	1	1	15		経済学入門(文社部)	
7511	岡積 義雄	通年	前期	1	1	15	0	札幌清田高等学校	校長
		【大学】	後期	1	1	15		社会科教育法Ⅰ〔地理歴史〕	
7512	板谷 淳一	後期	前期	0	0	0	0	北海道大学経済学研究院	教授
		【大学】	後期	1	2	30		財政学	
7513	竹内 幸史	前期	前期	0	0	0	15	株)国際開発ジャーナル	編集委員
		【大学】	後期	0	0	0		国際経済特論Ⅰ	
7514	湯山 英子	通年	前期	1	1	15	0	北海道大学大学院	研究員
		【大学】	後期	1	1	15		世界史Ⅰ(経部)	
7515	高橋 純二	通年	前期	1	1	15	0	メディア論〔国際〕(A)	
		【大学】	後期	1	1	15			
7517	森若 裕子	通年	前期	2	6	90	0	中国語Ⅰ(文部B)	
		【大学】	後期	2	6	90			
7518	伊藤 直美	後期	前期	0	0	0	0	日本語ⅣB	
		【大学】	後期	1	8	120			
7519	原 由理枝	前期	前期	1	1	15	0	早稲田大学	研究員客員准教授
		【短大】	後期	0	0	0		Japan StudiesⅠ	
7520	寺嶋 弘道	後期	前期	0	0	0	0	本郷新記念札幌彫刻美術館	館長
		【大学】	後期	1	1	15		美術の世界	
7521	リン アイビー	通年	前期	3	6	90	0	英語Ⅰ(経済A)	
		【大学】	後期	3	6	90			
7523	小坂 守孝	前期	前期	1	1	15	0	北翔大学	教授
		【大学】	後期	0	0	0		産業・組織心理学	

19 兼任教員個別表(非常勤講師時間数調べ)〔2019年度〕

(表V-19)

区分 教員 コード	教員氏名 生年月日	出講期	週出講日数 週講義数 週時間数			集中 時間数	本務先 担当科目	職名	
			前期	後期	通年				
7523	小坂 守孝	前期 【大学院】	前期	0	1	15	0	北翔大学 産業・労働分野に関する理論と支援の 展開	教授
			後期	0	0	0			
7524	山崎 秀樹	後期 【大学】	前期	0	0	0	0	北海道千歳高等学校 英語科教育実践指導Ⅱ	教諭
			後期	1	1	15			
7525	田邊 政之	通年 【大学】	前期	1	1	15	0	北海道大学情報基盤センター 情報入門(計C)	研究支援 推進員
			後期	1	2	30			
7526	石田 雪也	通年 【大学】	前期	1	1	15	0	千歳科学技術大学 情報入門(経B)	専任講師
			後期	1	1	15			
7528	久村 隆裕	前期 【大学】	前期	1	2	30	0	北海道札幌北高等学校 経済数学(経B)	教諭
			後期	0	0	0			
7529	八田 達夫	前期 【大学】	前期	1	1	15	0	日本医療大学 リハビリテーション論Ⅰ	教授
			後期	0	0	0			
7530	上西 哲雄	通年 【大学】	前期	2	2	30	0	東京工業大学 アメリカ文学史A	名誉教授
			後期	1	1	15			
7531	ケイ ギョクシ	通年 【大学】	前期	2	6	90	0	中国語Ⅰ(経部D)	
			後期	2	6	90			
7532	高田 裕子	前期 【大学】	前期	1	8	120	0	日本語ⅣA	
			後期	0	0	0			
7533	歌代 礼子	通年 【大学】	前期	2	16	240	0	日本語ⅢA	
			後期	2	16	240			
7534	篠崎 敦史	通年 【大学】	前期	1	1	15	0	札幌国際大学 日本史(文社部)	助教
			後期	1	1	15			
7535	申 恩真	通年 【大学】	前期	2	6	90	0	体育実技Ⅰ(A)	
			後期	3	7	105			
7536	塩崎 大輔	通年 【大学】	前期	1	1	15	0	地理学(B)	
			後期	2	3	45			
7537	網谷 義男	通年 【大学】	前期	2	4	60	0	中国語Ⅰ(文部C)	
			後期	2	4	60			
7539	ジョン カートライト	通年 【大学】	前期	1	1	15	0	Basic CompositionⅠ(F)	
			後期	1	1	15			
7540	山本 賢司	前期 【大学】	前期	1	2	30	0	小樽商科大学 マクロ経済学(情法)	特任教授
			後期	0	0	0			
7541	松本 真由美	後期 【大学】	前期	0	0	0	0	日本医療大学 精神保健の課題と支援Ⅱ	教授
			後期	1	1	15			
7542	宮城 崇史	【大学】	前期	0	0	0	15	京都大学大学院 心理学特論	
			後期	0	0	0			
7544	松橋 勝巳	前期 【短大】	前期	1	1	15	0	パフォーマンス	
			後期	0	0	0			
7545	山田 羽純	後期 【短大】	前期	0	0	0	0	道北振興(株)小樽支店 インテリアデザイン演習	
			後期	1	1	15			
7546	瀧本 誓	【大学】	前期	0	0	0	15	星槎道都大学 臨床社会心理学	教授
			後期	0	0	0			

19 兼任教員個別表(非常勤講師時間数調べ)〔2019年度〕

(表V-19)

区分 教員 コード	教員氏名 生年月日	出講期	週出講日数	週講義数	週時間数	集中 時間数	本務先 担当科目	職名	
7547	寺田 貴雄	前期	前期	1	1	15	0	北海道教育大学札幌校 音楽の世界	教授
		【大学】	後期	0	0	0			
7548	小林 美貴子	後期	前期	0	0	0	0	北海道教育大学札幌校 音楽と文化	准教授
		【短大】	後期	1	1	15			
7549	吉岡 亮	前期	前期	1	1	15	0	札幌大谷大学 文学の世界	教授
		【大学】	後期	0	0	0			
7550	伊藤 政勝	前期	前期	1	1	15	0	北翔大学 視覚障害教育論	教授
		【大学】	後期	0	0	0			
7551	本井 孝史	前期	前期	1	1	15	0	札幌フロンティア法律事務所 刑事法I〔刑法総論〕	
		【大学】	後期	0	0	0			
7552	辻 智子	通年	前期	1	1	15	0	北海道大学大学院 社会教育方法論	准教授
		【大学】	後期	1	1	15			
7553	多田 和美	【大学】	前期	0	0	0	30	マネジメント入門 I (教職)	
			後期	0	0	0			
7553	多田 和美	【大学院】	前期	0	0	0	0	経営組織論研究 I	
			後期	0	0	0			
7554	山邑 紘史	【大学】	前期	0	0	0	45	経済学基礎(教職)	
			後期	0	0	0			
7555	西野 昭子	後期	前期	0	0	0	0	市立札幌みなみの杜高等支援学校 知的障害者の病理保健	養護教諭
		【大学】	後期	1	1	15			
7556	中村 亜希	通年	前期	4	10	150	0	Grasshopper English School Sapporo 英語 I (経済D)	代表
		【大学】	後期	4	10	150			
7557	武岡 明子	前期	前期	1	1	15	0	札幌大学 地方自治論(経社部)	教授
		【大学】	後期	0	0	0			
7558	柴田 利男	【大学】	前期	0	0	0	15	京都橋大学 健康心理学	教授
			後期	0	0	0			
7558	柴田 利男	【大学院】	前期	0	0	0	0	京都橋大学 心の健康教育に関する理論hと実践	教授
			後期	0	0	0			
7559	久田 徳二	通年	前期	1	1	15	0	市民経済論	
		【大学】	後期	1	1	15			
7560	橋本 雄	前期	前期	1	1	15	0	北海道大学 日本史(経部)	准教授
		【大学】	後期	0	0	0			
7561	河村 一	前期	前期	1	1	15	0	釧路公立大学(2019年3月) 現代の国際社会(C)	教授
		【大学】	後期	0	0	0			
7562	竹田 保	前期	前期	1	1	5	0	障害行動論 I	
		【大学】	後期	0	0	0			
7563	岡本 雅樹	前期	前期	1	1	6	0	NPO法人 自立生活センターさっぽろ 障害行動論 I	事務局長
		【大学】	後期	0	0	0			
7564	ダイアナ シュガーマン	通年	前期	1	1	15	0	Basic Composition I (C)	
		【大学】	後期	1	1	15			
7565	金 昌震	通年	前期	1	1	15	0	国際・比較文化論(A)	
		【大学】	後期	1	1	15			
7566	倉 雅晨	通年	前期	1	2	30	0	中国語 I (経部F)	
		【大学】	後期	1	2	30			

VI. 本学の研究組織及び研究活動に関すること

1 専任教員に配分される研究費〔2019年度〕

(1) 大学 ①予算状況

(表VI-1-①-i)

学部	個人研究費						個人研究費総額(G)	専任教員数(H)	一人当たりの学会加算を除く額(I)(K-J)	一人当たりの学会加算額(J)(F/H)	一人当たりの個人研究費額(K)(G/H)	備考
	基礎額(A)	大学院加算額(B)	傾斜配分額(C)	繰越額(D)	新任教員加算額※	学会活動支援研究費加算額(F)						
文	15,100,000	0	2,603,100	467,000	0	2,498,322	20,668,422	33	550,609	75,707	626,316	通常専任 26人、特専6人、助教1人
経済	22,800,000	700,000	5,813,000	474,000	0	3,865,483	33,652,483	50	595,740	77,310	673,050	通常専任 39人、特専10人、大連 1人、内大学院科目担当10人
社会福祉	17,700,000	1,200,000	10,328,000	503,000	0	5,187,208	34,918,208	39	762,333	133,005	895,339	通常専任 30人、特専8人、助教1人、内大学院科目担当20人
合計	55,600,000	1,900,000	18,744,100	1,444,000	0	11,551,013	89,239,113	122	636,788	94,680	731,468	通常専任 95人、特専24人、大連 1人、助教2人、内大学院科目担当 30人

(1) 大学 ②執行状況

(表VI-1-①-ii)

学部	個人研究費総額	個人研究費執行額	個人研究費残額	執行率(%)	支出項目						備考	
					消耗品費	印刷製本費	諸会費	雑誌資料費	備品費	旅費交通費		その他
文	20,668,422	17,730,379	2,938,043	85.78%	3,255,047	113,544	936,119	3,183,719	1,245,260	7,462,225	1,534,465	
経済	33,652,483	27,712,491	4,530,992	82.35%	5,061,043	95,812	1,350,642	5,921,947	3,108,064	11,215,848	959,135	
社会福祉	34,918,208	27,735,700	1,943,508	79.43%	3,455,283	137,430	1,731,560	3,832,534	2,494,638	13,883,726	2,200,529	
合計	89,239,113	73,178,570	9,412,543	82.00%	11,771,373	346,786	4,018,321	12,938,200	6,847,962	32,561,799	4,694,129	

- 〔注〕 1 学長は、文学部に記入すること。
 2 大連外国語学院交流教員は、経済学部部に記入すること。
 3 大連以外の国際交流教員の研究費は、含めないこと。
 4 執行状況には超過執行分が含まれている場合がある。
 5 図書は経費扱いなので、図書の支出項目は雑誌資料費に含まれている。

※ 新任教員加算は2018年度に廃止された。

(2) 短期大学部 ①予算状況

(表VI-1-②-i)

学部	個人研究費						個人研究費総額(G)	専任教員数(H)	一人当たりの学会加算を除く額(I)(K-J)	一人当たりの学会加算額(J)(F/H)	一人当たりの個人研究費額(K)(G/H)	備考
	基礎額(A)	大学院加算額(B)	傾斜配分額(C)	繰越額(D)	新任教員加算額※	学会活動支援研究費加算額(F)						
短大	8,400,000	0	2,080,000	212,000	0	4,480,186	15,172,186	18	594,000	248,899	842,899	通常専任 15人、特別専任3人

(2) 短期大学部 ②執行状況

※ 新任教員加算は2018年度に廃止された。

(表VI-1-②-ii)

学部	個人研究費総額	個人研究費執行額	個人研究費残額	執行率(%)	支出項目						備考	
					消耗品費	印刷製本費	諸会費	雑誌資料費	備品費	旅費交通費		その他
短大	15,172,186	14,074,865	1,097,321	92.77%	1,862,774	37,590	437,780	929,565	2,135,812	7,562,896	1,108,448	

- 〔注〕 1 執行状況には超過執行分が含まれている場合がある。
 2 図書は経費扱いなので、図書の支出項目は雑誌資料費に含まれている。

2 専任教員の研究旅費

(1) 大学 [2017～2019]

(表VI-2-①)

学部・研究科等	2017年度						2018年度						2019年度					
	国外研修		国内研修	学会等出張旅費			国外研修		国内研修	学会等出張旅費			国外研修		国内研修	学会等出張旅費		
	長期	短期		長期	短期		長期	短期		長期	短期		長期	短期		長期	短期	
文学部・ 文学研究科	総額	3,699,659	0	0	2,966,812	5,237,628	0	0	1,886,270	3,999,762	4,501,178	0	0	194,200	2,363,704	4,245,424		
	支給件数	1	0	0	15	72	0	0	1	19	71	0	0	1	12	61		
	一人当たり支給額	3,699,659	0	0	84,766	149,647	0	0	1,886,270	121,205	136,399	0	0	194,200	71,627	128,649		
	専任教員数	35						33						33				
経済学部・ 経済学研究科	総額	3,310,627	1,876,130	0	5,834,891	9,585,182	0	0	0	5,452,943	7,959,116	0	1,949,173	0	3,708,317	6,123,722		
	支給件数	1	1	0	27	142	0	0	0	26	122	0	1	0	16	95		
	一人当たり支給額	3,310,627	1,876,130	0	121,560	199,691	0	0	0	111,285	162,431	0	1,949,173	0	74,166	122,474		
	専任教員数	48						49						50				
社会福祉学部・ 社会福祉学研究科	総額	0	0	0	5,943,737	8,173,090	3,786,289	0	418,600	6,037,236	7,419,681	0	0	0	3,756,646	8,080,863		
	支給件数	0	0	0	20	120	1	0	1	24	104	0	0	0	15	129		
	一人当たり支給額	0	0	0	148,593	204,327	3,786,289	0	418,600	143,744	176,659	0	0	0	96,324	207,202		
	専任教員数	40						42						39				
計	総額	7,010,286	1,876,130	0	14,745,440	22,995,900	3,786,289	0	2,304,870	15,489,941	19,879,975	0	1,949,173	194,200	9,828,667	18,450,009		
	支給件数	2	1	0	62	334	1	0	2	69	297	0	1	1	43	285		
	一人当たり支給額	3,505,143	1,876,130	0	119,882	186,959	3,786,289	0	1,152,435	124,919	160,322	0	1,949,173	194,200	80,563	151,230		
	専任教員数	123						124						122				

(2) 短期大学部

(表VI-2-②)

(表VI-2-②)

学部・研究科等	2017年度						2018年度						2019年度					
	国外研修		国内研修	学会等出張旅費			国外研修		国内研修	学会等出張旅費			国外研修		国内研修	学会等出張旅費		
	長期	短期		長期	短期		長期	短期		長期	短期		長期	短期		長期	短期	
短期 大学 部	総額	0	0	194,200	4,767,816	4,078,723	0	0	1,928,390	6,210,002	3,583,085	0	0	0	3,761,903	2,666,260		
	支給件数	0	0	1	21	59	0	0	1	29	56	0	0	0	44	43		
	一人当たり支給額	0	0	194,200	297,989	254,920	0	0	1,928,390	345,000	199,060	0	0	0	208,995	148,126		
	専任教員数	16						18						18				

- [注] 1 国内外研修については、「北星学園大学教育職員国内外研修規程」による額である。
 2 学会等出張旅費の支給上限額は、個人研究費取扱要領で規定する配分総額である。共同研究費を含めない。
 3 学会等出張旅費は、個人研究費の学会・資料収集等の旅費を記入し、その他の旅費（参加費、アルバイト旅費、論文集、空港施設使用料、出入国税等）は含めない。
 4 学長は、文学部に記入する。
 5 大連外国語学院交流教員は、経済学部記入する。
 6 大連以外の国際交流教員は含まない。
 7 国外研修短期の欄は、年度をまたぐ研究者も含む。
 8 研修の「長期」とは、1年以上のものをいい、1年未満を「短期」とする。

3 学内共同研究費

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-3-①)

大学・学部・大学院研究科等	2017年度		2018年度		2019年度		備考
	総額	利用件数	総額	利用件数	総額	利用件数	
文学部・文学研究科	586,587	1	1,251,361	3	0	0	
経済学部・経済学研究科	1,867,761	4	0	0	1,146,226	3	
社会福祉学部・社会福祉学研究科	1,475,332	3	1,977,534	4	1,342,176	4	
計	3,929,680	8	3,228,895	7	2,488,402	7	

(2) 短期大学部 [2017~2019]

(表VI-3-②)

短期大学部	2017年度		2018年度		2019年度		備考
	総額	利用件数	総額	利用件数	総額	利用件数	
短期大学部	459,751	1	0	0	0	0	

※「学内共同研究費」とは、特定研究費取扱要領に規定される共同研究費である。

4 教員研究費内訳

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-4-①)

学部・研究科等	研究費の内訳		2017年度		2018年度		2019年度	
			研究費(円)	研究費総額に対する割合(%)	研究費(円)	研究費総額に対する割合(%)	研究費(円)	研究費総額に対する割合(%)
文学部・ 文学研究科	研究費総額		19,059,797	100%	17,197,280	100%	20,413,236	100%
	学内	経常研究費(教員当り積算校費総額)	14,865,459	78%	12,454,693	72%	15,463,236	76%
		学内共同研究費	994,338	5%	586,587	3%	0	0%
	学	科学研究費助成事業	3,200,000	17%	4,156,000	24%	4,950,000	24%
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	0	0%	0	0%	0	0%
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	0	0%	0	0%	0	0%
	外	受託・請負研究費	0	0%	0	0%	0	0%
その他		0	0%	0	0%	0	0%	
経済学部・ 経済研究科	研究費総額		30,785,997	100%	27,259,140	100%	32,234,694	100%
	学内	経常研究費(教員当り積算校費総額)	20,276,999	66%	18,464,379	68%	24,748,468	77%
		学内共同研究費	1,858,998	6%	1,867,761	7%	1,146,226	4%
	学	科学研究費助成事業	8,650,000	28%	6,927,000	25%	6,340,000	20%
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	0	0%	0	0%	0	0%
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	0	0%	0	0%	0	0%
	外	受託・請負研究費	0	0%	0	0%	0	0%
その他		0	0%	0	0%	0	0%	
社会福祉学部・ 社会福祉学研究科	研究費総額		28,470,849	100%	25,794,395	100%	30,638,761	100%
	学内	経常研究費(教員当り積算校費総額)	17,896,026	63%	17,782,063	69%	20,731,227	68%
		学内共同研究費	946,823	3%	1,475,332	6%	1,977,534	6%
	学	科学研究費助成事業	9,628,000	34%	6,537,000	25%	7,930,000	26%
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	0	0%	0	0%	0	0%
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	0	0%	0	0%	0	0%
	外	受託・請負研究費	0	0%	0	0%	0	0%
その他		0	0%	0	0%	0	0%	

※1「経常研究費」＝表VI-1「専任教員に配分される研究費」の予算状況「研究費総額(G)」－表VI-2「専任教員の研究旅費」の「学会等出張旅費」。

※2「学内共同研究費」の欄は、表VI-3「学内共同研究費」の額である。

4 教員研究費内訳

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-4-②)

学部・研究科等	研究費の内訳	2017年度		2018年度		2019年度		
		研究費(円)	研究費総額に対する割合(%)	研究費(円)	研究費総額に対する割合(%)	研究費(円)	研究費総額に対する割合(%)	
大学学部・研究科計	研究費総額	78,316,643	100%	70,250,815	100%	83,286,691	100%	
	学内	経常研究費(教員当り積算校費総額)	53,038,484	68%	48,701,135	69%	60,942,931	73%
		学内共同研究費	3,800,159	5%	3,929,680	6%	3,123,760	4%
	学	科学研究費助成事業	21,478,000	27%	17,620,000	25%	19,220,000	23%
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	0	0%	0	0%	0	0%
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	0	0%	0	0%	0	0%
	外	受託研究費	0	0%	0	0%	0	0%
		その他	0	0%	0	0%	0	0%

(2) 短期大学部 [2017~2019]

(表VI-4-③)

短期大学部	研究費の内訳	2017年度		2018年度		2019年度		
		研究費(円)	研究費総額に対する割合(%)	研究費(円)	研究費総額に対する割合(%)	研究費(円)	研究費総額に対する割合(%)	
短期大学部	研究費総額	9,511,899	100%	8,757,801	100%	12,664,023	100%	
	学内	経常研究費(教員当り積算校費総額)	6,945,899	73%	6,498,050	74%	8,744,023	69%
		学内共同研究費	1,096,000	12%	459,751	5%	0	0%
	学	科学研究費助成事業	1,470,000	15%	800,000	9%	3,920,000	31%
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	0	0%	0	0%	0	0%
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	0	0%	1,000,000	11%	0	0%
	外	受託研究費	0	0%	0	0%	0	0%
		その他	0	0%	0	0%	0	0%

※1「経常研究費」 = 表VI-1「専任教員に配分される研究費」の予算状況「研究費総額(G)」 - 表VI-2「専任教員の研究旅費」の「学会等出張旅費」。

※2「学内共同研究費」の欄は、表VI-3「学内共同研究費」の額である。

5 学外からの研究費の総額と一人当たりの額

(1) 大学 [2017～2019]

(表VI-5-①)

学部・研究科等		2017年度	2018年度	2019年度	備考	
文学部・ 文学研究科	科学研究費助成事業	科学研究費助成事業総額(A)	4,160,000	5,402,800	4,950,000	学長含む 総額から分担金配 分額を除く 総額に分担金受入 額を含める
		うちオーバーヘッドの額(間接経費)	960,000	1,246,800	1,485,000	
		専任教員一人当たり科研費	126,061	163,721	150,000	
	その他の 学外研究費	その他の学外研究費総額(B)	0	0	0	
		うちオーバーヘッドの額(間接経費)	0	0	0	
		専任教員一人当たり学外研究費	0	0	0	
	合 計 (A+B)		4,160,000	5,402,800	4,950,000	
専任教員一人当たり合計額		126,061	163,721	150,000		
専任教員数		33	33	33		
経済学部・ 経済学研究科	科学研究費助成事業	科学研究費助成事業総額(A)	11,245,000	9,005,100	6,340,000	大連交流教員含む 総額から分担金配 分額を除く 総額に分担金受入 額を含める
		うちオーバーヘッドの額(間接経費)	2,595,000	2,078,100	1,902,000	
		専任教員一人当たり科研費	216,250	183,778	126,800	
	その他の 学外研究費	その他の学外研究費総額(B)	0	0	0	
		うちオーバーヘッドの額(間接経費)	0	0	0	
		専任教員一人当たり学外研究費	0	0	0	
	合 計 (A+B)		11,245,000	9,005,100	6,340,000	
専任教員一人当たり合計額		216,250	183,778	126,800		
専任教員数		52	49	50		
社会福祉学部・ 社会福祉学研究科	科学研究費助成事業	科学研究費助成事業総額(A)	12,516,400	8,498,100	7,930,000	総額から分担金配 分額を除く 総額に分担金受入 額を含める
		うちオーバーヘッドの額(間接経費)	2,888,400	1,961,100	2,379,000	
		専任教員一人当たり科研費	298,010	202,336	203,333	
	その他の 学外研究費	その他の学外研究費総額(B)	0	0	0	
		うちオーバーヘッドの額(間接経費)	0	0	0	
		専任教員一人当たり学外研究費	0	0	0	
	合 計 (A+B)		12,516,400	8,498,100	7,930,000	
専任教員一人当たり合計額		298,010	202,336	203,333		
専任教員数		42	42	39		

[注] 1 「その他の学外研究費」には、科研費以外の政府もしくは政府関連法人からの研究助成金、民間の研究助成財団等からの研究助成金、奨学寄付金、受託研究費、学外共同研究費などが該当する。

5 学外からの研究費の総額と一人当たりの額

(1) 大学 [2017～2019]

(表VI-5-②)

学部・研究科等		2017年度	2018年度	2019年度	備考	
計	科学研究費助成事業	科学研究費助成事業総額(A)	27,921,400	22,906,000	19,220,000	総額から分担金配分額を除く 総額に分担金受入額を含める
		うちオーバーヘッドの額(間接経費)	6,443,400	5,286,000	5,766,000	
		専任教員一人当たり科研費	219,854	186,228	156,260	
	その他の学外研究費	その他の学外研究費総額(B)	0	0	0	
		うちオーバーヘッドの額(間接経費)	0	0	0	
		専任教員一人当たり学外研究費	0	0	0	
	合 計 (A+B)		27,921,400	22,906,000	19,220,000	
	専任教員一人当たり合計額		219,854	186,228	156,260	
専任教員数		127	123	123		

(2) 短期大学部 [2017～2019]

(表VI-5-③)

短期大学部		2017年度	2018年度	2019年度	備考	
短期大学部	科学研究費助成事業	科学研究費助成事業総額(A)	1,911,000	1,040,000	3,920,000	総額に分担金配分額を除く 総額に分担金受入額を含める
		うちオーバーヘッドの額(間接経費)	441,000	240,000	1,176,000	
		専任教員一人当たり科研費	106,167	57,778	217,778	
	その他の学外研究費	その他の学外研究費総額(B)	0	0	0	
		うちオーバーヘッドの額(間接経費)	0	0	0	
		専任教員一人当たり学外研究費	0	0	0	
	合 計 (A+B)		1,911,000	1,040,000	3,920,000	
	専任教員一人当たり合計額		106,167	57,778	217,778	
専任教員数		18	18	18		

[注] 1 「その他の学外研究費」には、科研費以外の政府もしくは政府関連法人からの研究助成金、民間の研究助成財団等からの研究助成金、奨学寄付金、受託研究費、学外共同研究費などが該当する。

6 産学官連携による研究活動状況

(1) 大学〔2017～2019〕

(表VI-6-①)

学部・研究科等		2017年度				2018年度				2019年度			
		共同研究		受託研究		共同研究		受託研究		共同研究		受託研究	
		件数	研究費の額	件数	研究費の額	件数	研究費の額	件数	研究費の額	件数	研究費の額	件数	研究費の額
文学部・ 文学研究科	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部・ 経済学研究科	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会福祉学部・ 社会福祉学研究科	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 短期大学部〔2017～2019〕

(表VI-6-②)

短期大学部		2017年度				2018年度				2019年度			
		共同研究		受託研究		共同研究		受託研究		共同研究		受託研究	
		件数	研究費の額	件数	研究費の額	件数	研究費の額	件数	研究費の額	件数	研究費の額	件数	研究費の額
短期大学部	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

[注] 1 教員、助教が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入すること。

2 本表における「共同研究」とは、民間企業等から研究者と研究経費を受け入れて、大学の教育研究職員と共通の課題について共同で行う研究をさす。学内共同研究は含めないこと。また、「受託研究」とは、民間企業、自治体等からの受託に基づき、専ら大学の教育研究職員が行う研究をさす。

3 複数の学部・学科が共同で産学官連携の研究活動を行っている場合は、重複して記載しないこと。

4 複数年にわたる研究については、初年度を「新規」欄に、次年度以降を「継続」欄に記入すること。

7 文部科学省科学研究費助成事業等の申請、採択及び受給状況

(1) 大学〔2017～2019〕

(表VI-7-①)

学部・研究科等	文部科学省科学研究費助成事業														
	2017年度					2018年度					2019年度				
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	補助・助成金額	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	補助・助成金額	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	補助・助成金額
文学部・文学研究科	3	1	33	5	3,100,000 (分担金受入額) 900,000 (分担金配分額) -800,000	6	1	17	5	3,900,000 (分担金受入額) 256,000 (分担金配分額) -900,000	8	3	38	8	4,000,000 (分担金受入額) 950,000 (分担金配分額) -700,000
経済学部・経済学研究科	10	3	30	7	9,800,000 (分担金受入額) 1,630,000 (分担金配分額) -2,780,000	9	1	11	14	5,200,000 (分担金受入額) 1,727,000 (分担金配分額) -400,000	9	2	22	12	4,800,000 (分担金受入額) 1,540,000 (分担金配分額) 0
社会福祉学部・社会福祉学研究科	5	3	60	11	9,100,000 (分担金受入額) 1,328,000 (分担金配分額) -800,000	4	2	50	13	5,600,000 (分担金受入額) 937,000 (分担金配分額) -840,000	8	4	50	14	7,200,000 (分担金受入額) 730,000 (分担金配分額) -1,650,000
計	18	7	39	23	21,478,000	19	4	21	32	15,480,000	25	9	36	34	16,870,000
学部・研究科等	政府もしくは政府関連法人からの研究助成金														
	2017年度					2018年度					2019年度				
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	助成金額	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	助成金額	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	助成金額
文学部・文学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部・経済学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会福祉学部・社会福祉学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- [注] 1 教員、助教が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入すること。
 2 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないこと。
 3 受給件数及び補助・助成金額には、新規採択及び継続分を記入すること。

7 文部科学省科学研究費助成事業等の申請、採択及び受給状況

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-7-②)

学部・研究科等	民間の研究助成財団等からの研究助成金														
	2017年度					2018年度					2019年度				
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	助成金額	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	助成金額	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	助成金額
文学部・文学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部・経済学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会福祉学部・社会福祉学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学部・研究科等	受託・請負研究費														
	2017年度		2018年度		2019年度										
	受託件数	研究費額	受託件数	研究費額	受託件数	研究費額									
文学部・文学研究科	0	0	0	0	0	0									
経済学部・経済学研究科	0	0	0	0	0	0									
社会福祉学部・社会福祉学研究科	0	0	0	0	0	0									
計	0	0	0	0	0	0									

- [注] 1 教員、助教が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入すること。
 2 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないこと。
 3 受給件数及び補助・助成金額には、新規採択及び継続分を記入すること。

7 文部科学省科学研究費助成事業等の申請、採択及び受給状況

(2) 短期大学部 [2017~2019]

(表VI-7-③)

文 部 科 学 省 科 学 研 究 費 助 成 事 業															
短期大学部	2017年度					2018年度					2019年度				
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	助成金額	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	助成金額	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	助成金額
	3	0	0	2	1,700,000 (分担金受入額) 20,000 (分担金配分額) -250,000	3	0	0	2	700,000 (分担金受入額) 100,000 (分担金配分額) -200,000	5	2	40	6	2,900,000 (分担金受入額) 1,020,000 (分担金配分額) -300,000
政 府 も し く は 政 府 関 連 法 人 か ら の 研 究 助 成 金															
短期大学部	2017年度					2018年度					2019年度				
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	助成金額	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	助成金額	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	助成金額
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
民 間 の 研 究 助 成 財 団 等 か ら の 研 究 助 成 金															
短期大学部	2017年度					2018年度					2019年度				
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	助成金額	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	助成金額	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	受給件数	助成金額
	0	0	0	0	0	1	1	100	1	1,000,000	0	0	0	0	0
受 託 ・ 請 負 研 究 費															
短期大学部	2017年度					2018年度					2019年度				
	受託件数			研究費額		受託件数			研究費額		受託件数			研究費額	
	0			0		0			0		0			0	

- [注] 1 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないこと。
 2 受給件数及び補助・助成金額には、新規採択及び継続分を記入すること。

8 文部科学省科学研究費助成事業の受給者一覧

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-8-①)

交付年度	学 部	氏名・職名	代表／分担	研究種目	研究課題番号	研 究 課 題 名	助成金額(円)	研究分担者の研究代表者	研究期間
2017	経済	多田 和美 准教授	代表	基盤研究(B)	15H03388	新興国の海外子会社マネジメントー国境を越えた組織社会化のジレンマとその克服ー	2,900,000	—	2014-2016
	文	高野 照司 教授	代表	基盤研究(C)	26370496	グローバル化社会で変容するアイデンティティーと言語変異の因果関係の理論モデル構築	0	—	期間延長
	文	後藤 靖宏 教授	代表	基盤研究(C)	15K00379	心地よい音楽環境の感性情報処理：潜在記憶/視聴覚相互作用の計算モデルと応用可能性	500,000	—	2014-2016
	文	田辺 毅彦 教授	代表	基盤研究(C)	16K04173	特別養護老人ホームにおける持続可能な介護システムの研究	900,000	—	2016-2018
	社会福祉	岡田 直人 教授	代表	基盤研究(C)	26380756	減災を求心力とした平常時の取組みに向けての町内会と福祉専門職・機関との連携の研究	700,000	—	2014-2017
	社会福祉	眞嶋 良全 准教授	代表	基盤研究(C)	15K04033	知覚的マインドセットと文化的マインドセットの相似性・相補性に関する研究	1,100,000	—	2015-2017
	社会福祉	中村 和彦 教授	代表	基盤研究(C)	15K03941	レジリエンス思考による精神障害者生活支援モデルの開発的研究ー国際連携研究を基にー	600,000	—	2015-2017
	社会福祉	中田 知生 准教授	代表	基盤研究(C)	16K04172	過疎地域における住民自治組織の公共サービス提供プロセスに関する研究	900,000	—	2016-2018
	経済	佐藤 友暁 教授	代表	基盤研究(C)	16K00179	自己修復機能による高速・低消費電力設計対応IPSプロセス開発と標的型攻撃の防御	1,500,000	—	2016-2020
	文	松浦 利男 准教授	代表	基盤研究(C)	17K02689	天草諸方言の形態音韻現象に関する基礎的研究ー方言類型論の構築を目指して	600,000	—	2017-2020
経済	星野 宏司 教授	代表	基盤研究(C)	17K01678	身体運動能力と口腔機能の可塑性に関する研究	1,100,000	—	2017-2019	

8 文部科学省科学研究費助成事業の受給者一覧

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-8-②)

交付年度	学部	氏名・職名	代表／分担	研究種目	研究課題番号	研究課題名	助成金額(円)	研究分担者の研究代表者	研究期間
2017	経済	浦野 真理子 教授	代表	基盤研究(C)	17K03554	インドネシアのアブラヤシ農園開発における自発的土地取引と貧困解決	800,000	—	2017-2019
	社会福祉	田中 耕一郎 教授	代表	基盤研究(C)	17K04229	重度知的障害者に対する「ケアの分配」をめぐる規範的研究	1,000,000	—	2017-2021
	社会福祉	永井 順子 准教授	代表	基盤研究(C)	17K04230	北海道における精神保健ソーシャルワークの歴史記録と教育コンテンツの構築	1,400,000	—	2017-2019
	社会福祉	杉岡 直人 教授	代表	基盤研究(C)	17K04231	生活支援サービスにおける有償ボランティア活動の公民連携に関する研究	1,400,000	—	2017-2019
	文	蓑内 豊 教授	代表	挑戦的萌芽研究	15K12650	心理学的アプローチによるスポーツスキル修正プログラムの開発	600,000	—	2015-2017
	経済	金子 大輔 教授	代表	挑戦的萌芽研究	16K13583	発達した指導者の暗黙的評価観点を取り入れた吹奏楽演奏支援教材の開発	1,000,000	—	2016-2018
	社会福祉	水川 喜文 教授	代表	挑戦的萌芽研究	15K13073	アティピカル・インタラクションのエスノメソドロジー障害と相互行為の研究	500,000	—	2015-2017
	社会福祉	横山 穰 教授	代表	挑戦的萌芽研究	15K13091	盲導犬とユーザーを迷惑・犯罪行為から守るための社会的方策に関する研究	700,000	—	2015-2017
	経済	竹田 恒規 講師	代表	挑戦的研究(萌芽)	17K18543	津波被災地における高台移転事業の実証的研究：行政法学および民法学の観点から	1,100,000	—	2017-2019
	文	田村 早苗 専任講師	代表	若手研究(B)	16K16027	「認識された事態」にもとづく知識・証拠性・認識の言語表現の分析	500,000	—	2016-2018

8 文部科学省科学研究費助成事業の受給者一覧

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-8-③)

交付年度	学部	氏名・職名	代表／分担	研究種目	研究課題番号	研究課題名	助成金額(円)	研究分担者の研究代表者	研究期間
2017	社会福祉	佐藤 祐基 専任講師	代表	若手研究(B)	15K16506	大学生の抑うつ症状、躁症状、不安症状および自閉傾向に関する調査研究	800,000	—	2015-2017
	社会福祉	松岡 是伸 専任講師	代表	若手研究(B)	15K17218	生活困窮対策におけるスティグマの実態に関する研究	500,000	—	2015-2017
	経済	野原 克仁 准教授	代表	若手研究(B)	17K18038	旅行者の意思決定構造と混雑を考慮した観光便益の推計	1,400,000	—	2017-2019
	文	松浦 年男 准教授	分担	基盤研究(A)	—	日本語諸方言のプロソディーとプロソディー体系の類型	(分担金) 500,000	人間文化研究機構 国立国語研究所 窪園 晴夫 教授	2017-2020
	文	松浦 年男 准教授	分担	基盤研究(B)	—	比較言語学的方法による日本語・琉球諸語方言の祖語の再建および系統樹の構築	(分担金) 400,000	一橋大学 大学院社会学研究科 五十嵐 陽介 准教授	2014-2017
	経済	金子 大輔 教授	分担	基盤研究(B)	—	M00Cで得られる学習履歴データを活用した教材・教育改善手法の開発と評価	(分担金) 200,000	北海道大学 情報基盤センター 重田 勝介 准教授	2015-2018
	経済	多田 和美 准教授	分担	基盤研究(B)	—	グローバル・オープン・イノベーションのマネジメント —新たな価値創造への影響分析—	(分担金) 100,000	北海道大学 経済学研究科 岩田 智 教授	2015-2019
	経済	山邑 紘史 専任講師	分担	基盤研究(B)	—	外部性の存在する経済におけるメカニズム・デザイン：理論と実験	(分担金) 300,000	東京工業大学 工学院 大和 毅彦 教授	2014-2018
	経済	長屋 幸世 教授	分担	基盤研究(B)	—	民事紛争処理手続きにおける情報の利用と保護の両立	(分担金) 200,000	北海道大学 法学研究科 町村 泰貴教授	2017-2020
	社会福祉	田中 耕一郎 教授	分担	基盤研究(B)	—	病者障害者運動史研究——生の現在までを辿り未来を構想する	(分担金) 10,000	立命館大学 先端総合学術研究科 立岩 真也 教授	2017-2019

8 文部科学省科学研究費助成事業の受給者一覧

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-8-④)

交付年度	学部	氏名・職名	代表／分担	研究種目	研究課題番号	研究課題名	助成金額(円)	研究分担者の研究代表者	研究期間
2017	社会福祉	眞嶋 良全 准教授	分担	基盤研究(B)	—	疑似科学に関する議論を媒介にした科学リテラシー教育のプラットフォーム構築の研究	(分担金) 578,000	明治大学 情報コミュニケーション学部 石川 幹人 専任講師	2017-2019
	社会福祉	栗山 隆 教授	分担	基盤研究(B)	—	児童養護施設のグループを活用するソーシャルワークと建築計画学のクロスオーバー研究	(分担金) 300,000	明治学院大学 社会学部 北川 清一 教授)	2016-2018
	社会福祉	大友 秀治 専任講師	分担	基盤研究(B)	—	効果的なスクールソーシャルワークモデルの評価と理論構築	(分担金) 100,000	大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 山野 則子 教授	2017
	経済	多田 和美 准教授	分担	基盤研究(C)	—	先端ICTが国際ビジネスに与える影響の研究 —クラウド、越境EC、そして企業組織	(分担金) 300,000	阪南大学 経営情報学部 伊田 昌弘 教授	2015-2019
	経済	鎌田 直矢 専任講師	分担	基盤研究(C)	—	革新的協働マーチャンダイジングの探求—小売企業の協働マネジメント—	(分担金) 300,000	北海道大学 経済学研究科 坂川 裕司 教授	2014-2017
	経済	渡邊 稔 専任講師	分担	基盤研究(C)	—	少子高齢化社会における所得格差の是正政策のあり方と経済成長	(分担金) 230,000	志學館大学 法学部 三宅 裕介 講師	2017-2019
	社会福祉	田澤 安弘 教授	分担	基盤研究(C)	—	治療的アセスメント短縮版の開発と適用に関する実証的研究 —複数施設における効果検証	(分担金) 130,000	札幌学院大学 人文学部 宮崎 友香 准教授	2017-2020
	社会福祉	水川 喜文 教授	分担	基盤研究(C)	—	初等・中等教育における「自然(現象)の科学的理解」の相互行為分析	(分担金) 110,000	青森大学 社会学部 中村 和生 准教授	2016-2018
	社会福祉	河野 和枝 教授	分担	基盤研究(C)	—	多様な学びを保障する包摂的な教育基盤における原理・条件に関する日韓比較研究	(分担金) 100,000	北海道大学 教育学研究院 宋 美蘭 専門研究員	2016-2018

8 文部科学省科学研究費助成事業の受給者一覧

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-8-⑤)

交付年度	学部	氏名・職名	代表／分担	研究種目	研究課題番号	研究課題名	助成金額(円)	研究分担者の研究代表者	研究期間
2018	経済	多田 和美 准教授	代表	基盤研究(B)	15H03388	新興国の海外子会社マネジメントー国境を越えた組織社会のジレンマとその克服ー	0	—	繰越
	社会福祉	眞嶋 良全 准教授	代表	基盤研究(C)	15K04033	知覚的マインドセットと文化的マインドセットの相似性・相補性に関する研究	0	—	期間延長
	社会福祉	水川 喜文 教授	代表	挑戦的萌芽研究	15K13073	アティピカル・インタラクションのエスノメソドロジー障害と相互行為の研究	0	—	期間延長
	文	田辺 毅彦 教授	代表	基盤研究(C)	16K04173	特別養護老人ホームにおける持続可能な介護システムの研究	1,300,000	—	2016-2018
	社会福祉	中村 和彦 教授	代表	基盤研究(C)	15K03941	レジリエンス思考による精神障害者生活支援モデルの開発的研究ー国際連携研究を基にー	1,000,000	—	2015-2018
	社会福祉	中田 知生 准教授	代表	基盤研究(C)	16K04172	過疎地域における住民自治組織の公共サービス提供プロセスに関する研究	700,000	—	2016-2018
	経済	佐藤 友暁 教授	代表	基盤研究(C)	16K00179	自己修復機能による高速・低消費電力設計対応IPSプロセス開発と標的型攻撃の防御	700,000	—	2016-2020
	文	松浦 利男 准教授	代表	基盤研究(C)	17K02689	天草諸方言の形態音韻現象に関する基礎的研究ー方言類型論の構築を目指して	1,000,000	—	2017-2020
	経済	星野 宏司 教授	代表	基盤研究(C)	17K01678	身体運動能力と口腔機能の可塑性に関する研究	900,000	—	2017-2019
経済	浦野 真理子 教授	代表	基盤研究(C)	17K03554	インドネシアのアブラヤシ農園開発における自発的土地取引と貧困解決	700,000	—	2017-2019	

8 文部科学省科学研究費助成事業の受給者一覧

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-8-⑥)

交付年度	学 部	氏名・職名	代表／分担	研究種目	研究課題番号	研 究 課 題 名	助成金額(円)	研究分担者の研究代表者	研究期間
2018	社会福祉	田中 耕一郎 教授	代表	基盤研究(C)	17K04229	重度知的障害者に対する「ケアの分配」をめぐる規範的研究	600,000	—	2017-2021
	社会福祉	永井 順子 教授	代表	基盤研究(C)	17K04230	北海道における精神保健ソーシャルワークの歴史記録と教育コンテンツの構築	1,100,000	—	2017-2019
	社会福祉	杉岡 直人 教授	代表	基盤研究(C)	17K04231	生活支援サービスにおける有償ボランティア活動の公民連携に関する研究	1,100,000	—	2017-2019
	社会福祉	宮崎 靖士 教授	代表	基盤研究(C)	18K00285	柳田国男の表現構造がもつ現代的意義の発掘—言語観・文章構成・同時代状況への関与—	500,000	—	2018-2020
	文	蓑内 豊 教授	代表	基盤研究(C)	18K10854	指導者と選手をつなぐ指導システムの構築：心理的アプローチに基づくスキル修正の活用	1,100,000	—	2018-2020
	経済	金子 大輔 教授	代表	挑戦的萌芽研究	16K13583	発達した指導者の暗黙的評価観点を取り入れた吹奏楽演奏支援教材の開発	800,000	—	2016-2018
	経済	竹田 恒規 専任講師	代表	挑戦的萌芽研究	17K18543	津波被災地における高台移転事業の実証的研究：行政法学および民法学の観点から	900,000	—	2017-2019
	文	田村 早苗 専任講師	代表	若手研究(B)	16K16027	「認識された事態」にもとづく知識・証拠性・認識の言語表現の分析	500,000	—	2016-2018
	経済	野原 克仁 准教授	代表	若手研究(B)	17K18038	旅行者の意思決定構造と混雑を考慮した観光便益の推計	500,000	—	2017-2019
経済	山邑 紘史 専任講師	代表	若手研究	18K12744	共有資源の配分問題におけるメカニズムデザイン：理論と実験	700,000	—	2018-2021	

8 文部科学省科学研究費助成事業の受給者一覧

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-8-⑦)

交付年度	学部	氏名・職名	代表／分担	研究種目	研究課題番号	研究課題名	助成金額(円)	研究分担者の研究代表者	研究期間
2018	社会福祉	松岡 是伸 専任講師	代表	若手研究	18K12971	現代日本における生活困窮対策のスティグマと抵抗の実態に関する調査研究	600,000	—	2018-2020
	文	松浦 年男 准教授	分担	基盤研究(B)	—	比較言語学的方法による日本語・琉球諸語方言の祖語の再建および系統樹の構築	(分担金) 256,000	一橋大学 大学院社会学研究科 五十嵐 陽介 准教授	2017-2020
	経済	金子 大輔 教授	分担	基盤研究(B)	—	MOOCで得られる学習履歴データを活用した教材・教育改善手法の開発と評価	(分担金) 200,000	北海道大学 情報基盤センター 重田 勝介 准教授	2015-2018
	経済	金子 大輔 教授	分担	基盤研究(B)	—	教育実践研究と教授・学習支援システム研究とのマッチングプラットフォームの開発	(分担金) 480,000	千葉工業大学 情報科学部 國宗 永佳 教授	2018-2021
	経済	多田 和美 准教授	分担	基盤研究(B)	—	グローバル・オープン・イノベーションのマネジメント —新たな価値創造への影響分析—	(分担金) 150,000	北海道大学 経済学研究科 岩田 智 教授	2015-2019
	経済	山邑 紘史 専任講師	分担	基盤研究(B)	—	外部性の存在する経済におけるメカニズム・デザイン：理論と実験	(分担金) 300,000	東京工業大学 工学院 大和 毅彦 教授	2014-2018
	経済	長屋 幸世 教授	分担	基盤研究(B)	—	民事紛争処理手続きにおける情報の利用と保護の両立	(分担金) 300,000	北海道大学 法学研究科 町村 泰貴教授	2017-2020
	社会福祉	田中 耕一郎 教授	分担	基盤研究(B)	—	病者障害者運動史研究——生の現在までを辿り未来を構想する	(分担金) 10,000	立命館大学 先端総合学術研究科 立岩 真也 教授	2017-2019
	社会福祉	眞嶋 良全 准教授	分担	基盤研究(B)	—	疑似科学に関する議論を媒介にした科学リテラシー教育のプラットフォーム構築の研究	(分担金) 300,000	明治大学 情報コミュニケーション学部 石川 幹人 専任講師	2017-2019
	社会福祉	栗山 隆 教授	分担	基盤研究(B)	—	児童養護施設のグループを活用するソーシャルワークと建築計画学のクロスオーバー研究	(分担金) 250,000	明治学院大学 社会学部 北川 清一 教授)	2016-2018

8 文部科学省科学研究費助成事業の受給者一覧

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-8-⑧)

交付年度	学 部	氏名・職名	代表 ／ 分担	研究種目	研究課題 番号	研 究 課 題 名	助成金額 (円)	研究分担者の 研究代表者	研究 期間
2018	社会福祉	大友 秀治 専任講師	分担	基盤研究 (B)	—	効果的なスクールソーシャルワークモデルの評価と理論構築	(分担金) 180,000	大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 山野 則子 教授	2017- 2019
	経済	渡邊 稔 専任講師	分担	基盤研究 (C)	—	少子高齢化社会における所得格差の是正政策のあり方と経済成長	(分担金) 230,000	志學館大学 法学部 三宅 裕介 講師	2017- 2019
	経済	古谷 次郎 教授	分担	基盤研究 (C)	—	将来を見据えた小学校プログラミング教育のコンピテンシー構築に向けて	(分担金) 67,000	尚美学園大学 芸術情報学部 恩田 憲一 教授	2018- 2020
	社会福祉	水川 喜文 教授	分担	基盤研究 (C)	—	初等・中等教育における「自然（現象）の科学的理解」の相互行為分析	(分担金) 167,000	青森大学 社会学部 中村 和生 准教授	2016- 2018
	社会福祉	河野 和枝 教授	分担	基盤研究 (C)	—	多様な学びを保障する包摂的な教育基盤における原理・条件に関する日韓比較研究	(分担金) 30,000	北海道大学 教育学研究院 宋 美蘭 専門研究員	2016- 2018

8 文部科学省科学研究費助成事業の受給者一覧

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-8-⑨)

交付年度	学 部	氏名・職名	代表／ 分担	研究種目	研究課題 番号	研 究 課 題 名	助成金額 (円)	研究分担者の 研究代表者	研究 期間
2019	社会福祉	水川 喜文 教授	代表	基盤研究 (B)	19H01567	ダイバーシティにおけるワークプレイス研究－多様性 の中で、共に働くこと	1,200,000	—	2019- 2021
	経済	佐藤 友暁 教授	代表	基盤研究 (C)	16K00179	自己修復機能による高速・低消費電力設計対応IPSプ ロセッサ開発と標的型攻撃の防御	0	—	期間 延長
	社会福祉	中田 知生 准教授	代表	基盤研究 (C)	16K04172	過疎地域における住民自治組織の公共サービス提供プ ロセスに関する研究	0	—	期間 延長
	文	松浦 利男 准教授	代表	基盤研究 (C)	17K02689	天草諸方言の形態音韻現象に関する基礎的研究－方言 類型論の構築を目指して	1,100,000	—	2017- 2020
	経済	星野 宏司 教授	代表	基盤研究 (C)	17K01678	身体運動能力と口腔機能の可塑性に関する研究	700,000	—	2017- 2019
	経済	浦野 真理子 教授	代表	基盤研究 (C)	17K03554	インドネシアのアブラヤシ農園開発における自発的土 地取引と貧困解決	700,000	—	2017- 2019
	社会福祉	田中 耕一郎 教授	代表	基盤研究 (C)	17K04229	重度知的障害者に対する「ケアの分配」をめぐる規範 的研究	500,000	—	2017- 2021
	社会福祉	永井 順子 教授	代表	基盤研究 (C)	17K04230	北海道における精神保健ソーシャルワークの歴史記録 と教育コンテンツの構築	800,000	—	2017- 2019
	社会福祉	杉岡 直人 教授	代表	基盤研究 (C)	17K04231	生活支援サービスにおける有償ボランティア活動の公 民連携に関する研究	900,000	—	2017- 2019
社会福祉	宮崎 靖士 教授	代表	基盤研究 (C)	18K00285	柳田国男の表現構造がもつ現代的意義の発掘－言語 観・文章構成・同時代状況への関与－	500,000	—	2018- 2020	

8 文部科学省科学研究費助成事業の受給者一覧

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-8-⑩)

交付年度	学部	氏名・職名	代表／分担	研究種目	研究課題番号	研究課題名	助成金額(円)	研究分担者の研究代表者	研究期間
2019	文	養内 豊 教授	代表	基盤研究(C)	18K10854	指導者と選手をつなぐ指導システムの構築：心理的アプローチに基づくスキル修正の活用	600,000	—	2018-2020
	文	中地 美枝 准教授	代表	基盤研究(C)	19K00941	社会主義人口論と家族計画運動をめぐる世界史：1974年の世界人口会議を中心に	900,000	—	2019-2022
	社会福祉	中田 知生 准教授	代表	基盤研究(C)	19K02193	過疎地域における集落支援のコミュニティ・ガバナンスと資源の変化：方法論を中心に	600,000	—	2019-2021
	社会福祉	中村 和彦 教授	代表	基盤研究(C)	19K02218	人のレジリエンスを促進するコミュニティ要因の実証研究—国際地域比較調査を通して—	900,000	—	2019-2021
	社会福祉	眞嶋 良全 准教授	代表	基盤研究(C)	19K03194	偽ニュース：誰が信じ、広めるのか？	1,200,000	—	2019-2021
	経済	佐藤 友暁 教授	代表	基盤研究(C)	19K11969	ウェーブパイプライン化ASIC-FPGA協調設計による機械学習IPSの開発	1,000,000	—	2019-2021
	経済	竹田 恒規 専任講師	代表	挑戦的萌芽研究	17K18543	津波被災地における高台移転事業の実証的研究：行政法学および民法学の観点から	800,000	—	2017-2019
	経済	野原 克仁 准教授	代表	若手研究(B)	17K18038	旅行者の意思決定構造と混雑を考慮した観光便益の推計	900,000	—	2017-2019
	社会福祉	松岡 是伸 准教授	代表	若手研究	18K12971	現代日本における生活困窮対策のスティグマと抵抗の実態に関する調査研究	600,000	—	2018-2020
経済	多鹿 智哉 専任講師	代表	若手研究	19K13644	大人数による多数決の効率性に対する批判的検討	700,000	—	2019-2020	

8 文部科学省科学研究費助成事業の受給者一覧

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-8-⑩)

交付年度	学部	氏名・職名	代表／分担	研究種目	研究課題番号	研究課題名	助成金額(円)	研究分担者の研究代表者	研究期間
2019	文	永井 暁行 助教	代表	若手研究	19K14387	ピアサポート活動への参加による学生の発達過程—1年間の縦断調査による検討—	900,000	—	2019-2021
	文	寺林 暁良 専任講師	代表	研究活動スタート支援	19K23250	岩木川河川敷における環境ガバナンスのダイナミズムに関する研究	500,000	—	2019-2020
	文	松浦 年男 准教授	分担	基盤研究(A)	—	消滅危機方言のプロソディーに関する実証的・理論的研究と音声データベースの構築	(分担金) 500,000	一橋大学 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所 理論・対照研究領域 窪田 晴夫 教授	2019-2023
	社会福祉	大友 秀治 准教授	分担	基盤研究(A)	—	子どもの課題スクリーニングから支援・効果まで循環するシステム構築	(分担金) 70,000	大阪府立大学 人間社会学研究科 山野 則子 教授	2019-2024
	文	松浦 年男 准教授	分担	基盤研究(B)	—	比較言語学的方法による日本語・琉球諸語方言の祖語の再建および系統樹の構築	(分担金) 300,000	一橋大学 大学院社会学研究科 五十嵐 陽介 准教授	2017-2020
	経済	長屋 幸世 教授	分担	基盤研究(B)	—	民事紛争処理手続きにおける情報の利用と保護の両立	(分担金) 300,000	北海道大学 法学研究科 町村 泰貴教授	2017-2020
	社会福祉	田中 耕一郎 教授	分担	基盤研究(B)	—	病者障害者運動史研究—一生の現在までを辿り未来を構想する	(分担金) 10,000	立命館大学 先端総合学術研究科 立岩 真也 教授	2017-2019
	社会福祉	眞嶋 良全 准教授	分担	基盤研究(B)	—	疑似科学に関する議論を媒介にした科学リテラシー教育のプラットフォーム構築の研究	(分担金) 200,000	明治大学 情報コミュニケーション学部 石川 幹人 専任講師	2017-2019
	経済	金子 大輔 教授	分担	基盤研究(B)	—	教育実践研究と教授・学習支援システム研究とのマッチングプラットフォームの開発	(分担金) 130,000	千葉工業大学 情報科学部 國宗 永佳 教授	2018-2021
	文	松浦 年男 准教授	分担	基盤研究(B)	—	推論過程の言語化における地域語のダイナミクスに関する研究：九州方言を中心に	(分担金) 150,000	立命館大学 言語教育情報研究科 中田 節子 教授	2019-2023

8 文部科学省科学研究費助成事業の受給者一覧

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-8-⑫)

交付年度	学部	氏名・職名	代表／分担	研究種目	研究課題番号	研究課題名	助成金額(円)	研究分担者の研究代表者	研究期間
2019	社会福祉	横山 穰 教授	分担	基盤研究(B)	—	推論過程の言語化における地域語のダイナミクスに関する研究：九州方言を中心に	(分担金) 150,000	立命館大学 言語教育情報研究科 中田 節子 教授	2019-2023
	社会福祉	水川 喜文 教授	分担	基盤研究(C)	—	初等・中等教育における「自然(現象)の科学的理解」の相互行為分析	(分担金) 0	青森大学 社会学部 中村 和生 准教授	期間延長
	経済	渡邊 稔 専任講師	分担	基盤研究(C)	—	少子高齢化社会における所得格差の是正政策のあり方と経済成長	(分担金) 230,000	志学館大学 法学部 三宅 裕介 講師	2017-2019
	経済	古谷 次郎 教授	分担	基盤研究(C)	—	将来を見据えた小学校プログラミング教育のコンピテンシー構築に向けて	(分担金) 100,000	尚美学園大学 芸術情報学部 恩田 憲一 教授	2018-2020
	経済	諸岡 卓真 准教授	分担	基盤研究(C)	—	事例研究と連携させた1970年代以降の日本現代ミステリ史の構築	(分担金) 300,000	北海道大学 文学研究科 押野 武志 教授	2018-2020
	経済	楠木 敦 専任講師	分担	基盤研究(C)	—	一般均衡理論導入史における米田庄太郎：京都大学所蔵「米田文庫」を手がかりに	(分担金) 480,000	東北工業大学 ライフデザイン学部 金井 辰郎 教授	2019-2023
	社会福祉	眞嶋 良全 准教授	分担	基盤研究(C)	—	擬人化が科学的説明文の理解課程に及ぼす影響の検討	(分担金) 300,000	愛知淑徳大学 人間情報学部 中村 紘子 助教	2019-2021

8 文部科学省科学研究費助成事業の受給者一覧

(2) 短期大学部〔2017～2019〕

(表VI-8-⑫)

交付年度	学 部	氏名・職名	代表／分担	研究種目	研究課題番号	研 究 課 題 名	助成金額(円)	研究分担者の研究代表者	研究期間
2017	短期大学	藤原 里佐 教授	代表	基盤研究(C)	15K04014	障害児者家族の高齢化とその諸相－親役割の長期化と「限界」	1,100,000	—	2015-2018
	短期大学	田中 直子 専任講師	代表	挑戦的萌芽研究	15K12926	地域における通訳案内士教育のあり方の研究～地域のインバウンド人材育成を目指して	600,000	—	2015-2017
	短期大学	藤原 里佐 教授	分担	基盤研究(A)	—	子どもの貧困に関する総合的研究：貧困の世代的再生産の過程・構造の分析を通して	20,000	北海道大学 教育学研究科 松本 伊智朗 教授	2016-2019
2018	短期大学	藤原 里佐 教授	代表	基盤研究(C)	15K04014	障害児者家族の高齢化とその諸相－親役割の長期化と「限界」	700,000	—	2015-2018
	短期大学	藤原 里佐 教授	分担	基盤研究(A)	—	子どもの貧困に関する総合的研究：貧困の世代的再生産の過程・構造の分析を通して	100,000	北海道大学 教育学研究科 松本 伊智朗 教授	2016-2019
2019	短期大学	竹村 雅史 教授	代表	基盤研究(C)	19K00871	多読と自己決定理論の関係性を探る－スマホ・アプリによる多読読書記録手帳の構築－	2,400,000	—	2019-2021
	短期大学	藤原 里佐 教授	代表	基盤研究(C)	19K02207	知的障害者とその家族の高齢期－「地域生活」の多義性と入所施設をめぐる研究	500,000	—	2019-2022
	短期大学	藤原 里佐 教授	分担	基盤研究(A)	—	子どもの貧困に関する総合的研究：貧困の世代的再生産の過程・構造の分析を通して	20,000	北海道大学 教育学研究科 松本 伊智朗 教授	2016-2019
	短期大学	コッター マシュー 専任講師	分担	基盤研究(B)	—	バーチャルエクステンジにおける英語と他文化理解向上	350,000	室蘭工業大学 大学院工学研究科 HAGLEY ERIC 准教授	2019-2021
	短期大学	藤原 里佐 教授	分担	基盤研究(C)	—	成人期障害者におけるQOLの規定要因－親の高齢期から「親亡き後」への移行プロセス	200,000	佛教大学 社会福祉学部 田中 智子 准教授	2019-2022
	短期大学	風戸 真理 専任講師	分担	基盤研究(C)	—	モンゴル高原地域における生業生産物の商品化に関する比較研究	450,000	鹿児島大学 法文教育学域法文学系 尾崎 孝宏 准教授	2019-2021

9 政府もしくは政府関連法人からの研究助成金の受給者一覧

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-9-①)

交付年度	学 部	氏名・職名	代表 ／ 分担	研究助成金名	研究課題名	助成金額 (円)	研究分担者の 研究代表者	研究 期間
2017					該当なし			
2018					該当なし			
2019					該当なし			

(2) 短期大学部 [2017~2019]

(表VI-9-②)

交付年度	学 部	氏名・職名	代表 ／ 分担	研究助成金名	研究課題名	助成金額 (円)	研究分担者の 研究代表者	研究 期間
2017					該当なし			
2018					該当なし			
2019					該当なし			

10 民間の研究助成財団等からの研究助成金の受給者一覧

(1) 大学 [2017~2019]

(表VI-10-①)

交付年度	学 部	氏名・職名	代表／ 分担	研究助成者・助成金名	研究課題名	助成金額 (円)	研究分担者の 研究代表者	研究 期間
2017					該当なし			
2018					該当なし			
2019					該当なし			

(2) 短期大学部 [2017~2019]

(表VI-10-②)

交付年度	学 部	氏名・職名	代表／ 分担	研究助成者・助成金名	研究課題名	助成金額 (円)	研究分担者の 研究代表者	研究 期間
2017	短期 大学部	白鳥 金吾 准教授	代表	Cambridge English Funded Research Award Round Eight Memorandum of Understanding	Supporting the English education reform in Japan : The role of Cambridge English:Preliminary	156,950		2017
2018	短期 大学部	風戸 真理 専任講師	代表	サントリー文化財団 人文科学、社会科学に関する学際 的グループ研究助成	文化と身体の変遷点としての食：文化固有性・産業 化・異業種ネットワーク	1,000,000		2018- 2019
2019					該当なし			

11 受託研究・請負研究の受給者一覧

(1) 大学 [2017～2019]

(表VI-11-①)

年度	学 部	研究担当者・ 職名	研究委託者	委託研究の題目	委託研究費 (円)	著作権・特許権等の 工業所有権の帰属	研究 期間
2017				該当なし			
2018				該当なし			
2019				該当なし			

(2) 短期大学部 [2017～2019]

(表VI-11-②)

年度	学 部	研究担当者・ 職名	研究委託者	委託研究の題目	委託研究費 (円)	著作権・特許権等の 工業所有権の帰属	研究 期間
2017				該当なし			
2018				該当なし			
2019				該当なし			

12 特定研究費支出対象項目別支出状況

[2015～2019]

(表VI-12)

支出対象項目		年度	2015	2016	2017	2018	2019	5年間平均
1	共同研究活動	件数	10	10	9	7	7	8.6
		総額	4,928,333	4,896,159	4,389,431	3,231,901	2,488,402	3,986,845.2
(1)	共同研究活動のうちプロジェクト研究を除く研究	件数	9	8	8	6	7	7.6
		総額	4,235,333	3,705,821	3,802,844	2,792,817	2,488,402	3,405,043.4
(2)	共同研究活動のうちプロジェクト研究	件数	1	2	1	1	0	1.0
		総額	693,000	1,190,338	586,587	439,084	0	581,801.8
2	学会活動 (国内学会)	件数	92	91	87	85	89	88.8
		総額	7,363,300	7,504,698	7,342,891	6,424,060	6,460,020	7,018,993.8
3	学会活動 (国際学会)	件数	35	42	46	54	44	44.2
		総額	8,211,740	9,577,281	10,514,652	13,312,164	9,571,179	10,237,403.2
4	日本私立学校振興・共済事業団による学術研究振興資金に採択された研究活動	件数	0	0	0	0	0	0.0
		総額	0	0	0	0	0	0.0
合 計		件数	137	143	142	146	140	141.6
		総額	20,503,373	21,978,138	22,246,974	22,968,125	18,519,601	21,243,242.2

14 学術賞の受賞状況

(1) 大学〔2017～2019〕

(表VI-14-①)

学部・研究科等	学術賞の受賞数					
	2017年度		2018年度		2019年度	
	国内	国外	国内	国外	国内	国外
文学部・文学研究科	0	0	0	0	0	0
経済学部・経済学研究科	0	0	0	0	0	0
社会福祉学部・社会福祉学研究科	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0

(2) 短期大学部〔2016～2018〕

(表VI-14-②)

学部・研究科等	学術賞の受賞数					
	2017年度		2018年度		2019年度	
	国内	国外	国内	国外	国内	国外
短期大学部	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0

- [注] 1 教員、助教が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入すること。
 2 学内の複数の教員の共同研究の成果が受賞した場合は、重複して記載しないこと。
 3 ここでいう学術賞は全国レベルの学会もしくは国際的レベルの学会等によるものに限ること。

15 学部研究紀要「北星論集」の刊行状況

(1) 大学 [2015~2019]

(表VI-15-①)

年度	学部	号数	発行年月日	登 載 原 稿 の 種 類									掲 載 篇数計	総頁数	刊行部数 (本冊)	
				論 説	研究ノト	資 料	判例研究	書 評	紹 介	翻 訳	評 論	その他				
2015	文 学 部	第53巻第1号 (通巻第62号)	2015. 9. 30	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	72	420
	経 済 学 部	第55巻第1号 (通巻第68号)	2015. 9. 30	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	6	104	430
	文 学 部	第53巻第2号 (通巻第63号)	2016. 3. 15	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	74	180
	経 済 学 部	第55巻第2号 (通巻第69号)	2016. 3. 15	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	11	141	200
	社会福祉学部	第53号	2016. 3. 15	13	2	0	0	0	0	0	0	0	0	15	206	160
	計			32	11	0	1	0	0	0	1	0	0	45	597	1,390
2016	文 学 部	第56巻第1号 (通巻第70号)	2016. 9. 30	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	5	59	180
	経 済 学 部	第56巻第1号 (通巻第70号)	2016. 9. 30	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	6	81	200
	文 学 部	第54巻第2号 (通巻第65号)	2017. 3. 15	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	5	62	180
	経 済 学 部	第56巻第2号 (通巻第71号)	2017. 3. 15	8	4	0	1	0	2	0	0	0	0	15	189	200
	社会福祉学部	第54号	2017. 3. 15	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	14	189	170
	計			28	11	1	1	1	2	1	0	0	0	45	580	930
2017	文 学 部	第55巻第1号 (通巻第66号)	2017. 9. 15	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	47	180
	経 済 学 部	第57巻第1号 (通巻第72号)	2017. 9. 15	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	6	74	180
	文 学 部	第55巻第2号 (通巻第66号)	2018. 3. 15	7	2	0	0	0	0	0	1	0	0	10	140	170
	経 済 学 部	第57巻第2号 (通巻第73号)	2018. 3. 15	7	3	0	1	0	0	0	0	0	0	11	131	180
	社会福祉学部	第55号	2018. 3. 15	12	1	0	0	0	0	0	0	0	1	14	217	330
	計			32	9	0	2	0	0	0	1	0	1	45	609	1,040
2018	文 学 部	第56巻第1号 (通巻第68号)	2018. 9. 30	3	0	0	0	0	1	2	0	0	0	6	72	180
	経 済 学 部	第58巻第1号 (通巻第74号)	2018. 9. 30	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	10	178	180
	文 学 部	第56巻第2号 (通巻第69号)	2019. 3. 15	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	88	170
	経 済 学 部	第58巻第2号 (通巻第75号)	2019. 3. 15	4	3	0	2	0	1	0	0	0	0	10	147	180
	社会福祉学部	第56号	2019. 3. 15	11	1	1	0	0	0	0	0	0	0	13	187	190
	計			29	8	1	2	0	2	3	0	0	0	45	672	900
2019	文 学 部	第57巻第1号 (通巻第70号)	2019. 9. 30	3	2	0	0	0	0	2	0	0	0	7	84	180
	経 済 学 部	第56巻第1号 (通巻第76号)	2019. 9. 30	6	2	1	1	0	0	0	0	0	0	10	152	180
	文 学 部	第57巻第2号 (通巻第71号)	2020. 3. 15	2	6	3	0	0	0	0	0	0	0	11	134	145
	経 済 学 部	第59巻第2号 (通巻第77号)	2020. 3. 15	9	4	0	2	0	0	1	0	0	0	16	235	150
	社会福祉学部	第57号	2020. 3. 15	10	4	1	0	0	0	0	0	0	0	15	216	140
	計			30	18	5	3	0	1	2	0	0	0	59	821	795

15 学部研究紀要「北星論集」の刊行状況

(2) 短期大学部〔2015～2019〕

(表VI-15②)

年度	短期大学部	号数	発行年月日	登 載 原 稿 の 種 類								掲 載 篇数計	総頁数	刊行部数 (本冊)
				論 説	研究ノト	資 料	判例研究	書 評	紹 介	翻 訳	評 論			
2015	短期大学部	第14号 (通巻第52号)	2016. 3. 15	2	2	0	0	0	0	0	0	4	44	170
2016	短期大学部	第15号 (通巻第53号)	2017. 3. 15	3	2	0	0	0	0	0	0	5	63	170
2017	短期大学部	第16号 (通巻第54号)	2018. 3. 15	1	3	0	0	0	0	0	0	4	53	150
2018	短期大学部	第17号 (通巻第55号)	2019. 3. 15	2	2	0	0	0	0	0	0	4	48	150
2019	短期大学部	第18号 (通巻第56号)	2020. 3. 15	0	3	0	0	0	0	0	0	3	28	125

16 専任教員の個人別研究業績一覧

(1) 大学

文学部〔2015～2019〕

(表VI-16-①)

氏名	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				備考
	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	
野口 忠 男	0	0	0	0	0	0	0	0													2016退職
佐々木 敏	6	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岡村 輝 人	0	0	0	0	0	0	0	0													2016退職
伊藤 章	3	0	0	3	3	0	0	3	2	1	0	1									2017退職
佐藤 修 子	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					2018退職
神谷 幹 夫	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0									2017退職
鹿内 啓 子	3	0	2	1	1	0	1	0													2016退職
濱 保 久	5	0	0	5	3	0	0	3	3	0	1	2	2	0	0	2	2	0	0	2	
P. グレイ	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鈴木 剛	0	0	0	0	2	0	1	1	2	0	1	1	2	0	1	1	1	0	1	0	
蓑内 豊	17	2	3	12	13	2	1	10	4	0	1	3	7	0	1	6	6	0	1	5	
長谷川 典 子	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	1	1	0	0	0	0	
J. ラケット	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
田辺 毅 彦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
B. テビッドソ	2	0	0	2	2	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
高橋 克 依	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2		
高野 照 司	4	0	1	3	1	0	0	1	2	0	1	1	5	1	0	4	1	0	0	1	
河原 歳 也	0	0	0	0	0	0	0	0													2016退職
柳町 智 治	1	0	1	0	5	0	0	5	6	1	1	4	4	0	1	3	3	0	0	3	
阪井 宏	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
後藤 靖 宏	33	0	4	29	33	0	4	29	27	0	7	20	22	0	4	18	14	0	2	12	
大島 寿美子	7	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	6	1	0	5	
中嶋 輝 明	2	0	0	2	1	0	0	1	3	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	1	
高杉 巴 彦	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0									2017.12退職
古賀 清 敬	5	1	0	4	2	0	0	2	2	0	0	2	4	0	0	4	0	0	0	0	
角田 和 彦	5	0	0	5	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0					2018退職
中地 美 枝									0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	1	1	2017着任
江口 均	1	0	0	1	2	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	
石川 悟	3	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0	3	3	0	0	3	7	0	1	6	
山本 範 子	9	0	0	9	29	2	0	27	29	0	2	27	20	1	0	19	23	1	0	22	
片岡 徹	6	0	0	6	6	0	0	6	7	0	1	6	5	0	0	5	5	0	0	5	
松浦 年 男	9	0	4	5	2	0	1	1	10	3	2	5	6	0	5	1	9	0	1	8	
柿原 久 仁 佳													5	0	1	4	7	0	2	5	2018着任
島田 桂 子	1	0	0	1	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2015着任
鳴海 昌 江									3	0	3	0	2	0	2	0	1	0	1	0	2017着任
湊 史 郎																2	0	0	2		2019着任
田村 早 苗	6	0	1	5	2	0	0	2	5	0	1	4	4	0	2	2	4	0	1	3	
齋藤 彩 世	2	0	2	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	
ロバート・トムソン									0	0	0	0	6	0	1	5	6	0	1	5	2017着任
寺林 暁 良																17	1	0	16		2019着任
永井 暁 行													3	0	1	2	8	0	4	4	2018着任

* 国際交流教員は、含めない。

16 専任教員の個人別研究業績一覧

経済学部 [2015～2019]

(表VI-16-②)

氏名	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				備考
	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	
浅岡 顕彦	0	0	0	0																	2015退職
澤田 裕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					2018退職
小野 有五	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									2017退職
佐々木 隆生	2	0	0	2	2	1	1	0													2016退職
田村 信一	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0									2017退職
山口 博教	5	0	0	5	6	0	1	5	4	0	0	4	5	0	0	5	0	0	0	0	2019退職
吉田 知行	9	0	4	5	3	0	1	2	0	0	0	0									2017退職
片山 敏之	0	0	0	0	0	0	0	0													2016退職
平井 廣一	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	
中村 一浩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山我 哲雄	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
吉田 かよ子	3	1	1	1	4	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0					2018退職
竹野内 真樹									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2017着任
松本 康一郎	0	0	0	0	3	2	0	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
宮澤 照恵	2	1	0	1	10	0	0	10	9	2	0	7	0	0	0	0	1	0	0	1	
中屋 晃	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
高島 淑郎	0	0	0	0																	2015退職
増田 辰良	3	0	0	3	4	0	2	2	3	0	3	0	3	0	2	1	7	1	3	3	
大原 昌明	4	0	2	2	6	1	3	2	3	0	2	1	8	1	2	5	0	0	0	0	
矢吹 哲夫													7	0	1	6	10	0	0	10	2018着任
西脇 隆二	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
原島 正衛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
棚瀬 江里哉	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	
篠田 優	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2	1	0	1	0	1	0	1	0	
岩本 一郎	17	0	1	16	14	0	0	14	16	3	0	13	12	1	0	11	7	1	0	6	
濱 文章	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鈴木 克典	5	0	0	5	4	0	1	3	10	0	0	10	13	0	0	13	6	0	1	5	
萱野 智篤	3	0	0	3	1	0	0	1	6	1	0	5	6	0	1	5	4	0	0	4	
修 震傑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
秋 森弘	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	
齊藤 正彰	0	0	0	0																	2015退職
浦野 真理子	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	3	0	2	1	
岡田 みさを	1	0	0	1	0	0	0	0	4	0	2	2	2	0	0	2	1	0	0	1	
古谷 次郎	1	0	0	1	4	0	2	2	5	0	4	1	6	0	2	4	3	0	1	2	
韓 文熙	3	0	1	2	4	1	1	2	1	0	0	1	2	0	0	2	0	0	0	0	
足立 清人	3	1	0	2	7	2	1	4	2	0	1	1	12	0	2	10	11	3	3	5	
長屋 幸世	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
星野 宏司	13	0	3	10	14	0	4	10	10	1	2	7	8	0	1	7	10	0	3	7	
金子 大輔	7	0	1	6	13	1	2	10	15	0	1	14	9	0	1	8	12	0	1	11	
林 秀彦	6	0	2	4	21	0	2	19	0	0	0	0	11	1	4	6	8	0	3	5	2015着任
萩原 浩太									2	0	0	2	4	0	1	3	0	0	0	0	2017着任
佐藤 友暁									9	0	5	4	9	0	3	6	5	0	1	4	2017着任
野本 啓介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
鄭 根珠					1	0	0	1	1	0	1	0	3	0	0	3	2	0	1	1	2016着任
勝村 務	7	1	0	6	4	0	0	4	3	0	1	2	2	0	0	2	1	0	1	0	
多田 和美					0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0					2018退職

16 専任教員の個人別研究業績一覧

経済学部〔2015～2019〕

氏名	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				備考
	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	
諸岡卓真																	2	1	0	1	2019着任
野原克仁	4	0	1	3	2	0	1	1	0	0	0	0	4	0	1	3	1	0	1	0	
伊東尚美	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
山吉智久									4	2	2	0	2	1	1	0	4	1	1	2	2017着任
増田好純																	0	0	0	0	2019着任
竹田恒規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	
楠木敦	2	0	0	2	2	0	1	1	2	0	0	2	1	0	0	1	1	0	0	1	
渡辺稔									2	0	1	1	1	0	0	1	2	0	0	2	2017着任
黄雅雯	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	4	1	2	1	3	1	2	0	2015着任
鎌田直矢	0	0	0	0	1	0	0	1	6	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2015着任
齊藤正廣					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2016着任
多鹿智哉																	10	0	0	10	2019着任
柴崎慎也																	11	1	1	9	2019着任
南ホ Chol																	10	0	4	6	2019着任
山邑紘史					7	0	1	6	6	0	1	5	5	0	1	4					2018退職
上口晃					4	1	0	3	2	0	1	1									2017退職

* 大連外国語学院交流教員は、含めない。

16 専任教員の個人別研究業績一覧

社会福祉学部〔2015～2019〕 (表VI-16-④)

氏名	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				備考
	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	
武田秀勝	2	0	2	0																	2015退職
今川民雄	3	1	0	2	0	0	0	0	5	0	0	5	2	0	0	2					2018退職
高橋孝三	11	1	5	5	16	0	12	4	3	0	1	2									2017退職
杉岡直人	13	3	6	4	21	1	6	14	24	0	1	23	21	0	5	16	0	0	0	0	2019退職
豊村和真	8	3	0	5	4	0	0	4	4	0	0	4	0	0	0	0	2	0	1	1	
福島順子					0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0					2018退職
村井泰廣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
横山穰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
J. E. アリソン	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	2	0	1	1	
池田雅子	3	0	0	3	3	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	2	3	1	1	1	
K.U. ネンシュティール	1	1	0	0	7	1	0	6	5	1	1	3	12	2	3	7	9	0	4	5	
柴田利男	3	0	0	3	3	0	0	3	2	0	0	2	2	0	0	2					2018退職
水川喜文	4	0	0	4	9	1	5	3	4	0	1	3	1	0	0	1	0	0	0	0	
T. ゲッツ	24	0	1	23	20	0	0	20	12	0	1	11	12	0	1	11	9	0	1	8	
田実潔	20	1	1	18	19	0	0	19	0	0	1	17	21	0	0	21	16	0	0	16	
田中耕一郎	17	0	2	15	10	1	0	9	13	0	0	13	14	0	1	13	9	0	1	8	
安部雅仁	3	1	0	2	0	0	0	0	3	0	0	3	4	0	1	3	3	0	0	3	
高橋百代	0	0	0	0	2	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1					2018退職
栗山隆	2	1	1	0	0	0	0	0	4	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
中村和彦	11	1	0	10	5	2	1	2	10	0	1	9	7	0	0	7	12	0	2	10	
西山薫	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
栗林克匡	4	1	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	3	0	1	2	
中川純	10	1	2	7	11	0	5	6													2016退職
田澤安弘	7	0	2	5	8	1	7	0	6	0	4	2	6	1	2	3	5	0	2	3	
久能由弥	0	0	0	0																	2015退職
岡田直人	35	3	0	32	50	2	0	48	57	1	0	56	50	2	0	48	53	0	0	53	
西田充潔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	2	
木下武徳	9	1	0	8																	2015退職
宮崎靖士	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	
河野和枝	14	0	0	14	16	0	1	15	17	1	1	15	0	0	0	0					2018退職
工藤憲					10	0	0	10	9	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	2019退職
佐橋克彦	0	0	0	0	2	0	0	2	1	1	0	0	2	1	0	1	6	0	1	5	
田辺等									30	3	0	27	17	0	2	15	0	2	0	18	2017着任
牧田浩一	10	0	0	10	13	0	2	11	13	0	1	12	10	1	2	7	18	0	2	16	
鴨澤あかね	7	1	1	5	11	0	2	9	4	0	1	3	10	0	1	9	6	0	0	6	
永井順子	10	0	0	10	16	0	1	15	13	1	1	11	13	0	1	12	13	1	1	11	
伊藤新一郎	6	0	1	5	3	0	0	3	7	2	1	4	5	0	1	4	1	0	0	1	
中田知生	15	2	6	7	9	2	0	7	10	0	0	10	5	0	0	5	11	1	1	9	
眞嶋良全	10	2	2	6	9	0	2	7	4	0	0	4	8	0	1	7	13	1	7	5	
西原明希	1	0	0	1	3	0	1	2	2	0	1	1	1	0	0	1	3	0	0	3	
畑亮輔	1	0	0	1	14	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大友秀治					15	1	1	13	13	0	0	13	12	0	2	10	11	1	3	7	2016着任
松岡是伸									1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2017着任
斎藤仁史																2	0	0	2		2019着任
佐藤祐基	4	0	0	4	8	0	0	8	6	0	0	6	7	0	1	6	3	0	1	2	
林健太郎									3	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2017着任
坂井圭介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									2017退職
播磨正一													4	0	0	4	0	0	0	1	2018着任
五味田泰																	0	0	1	2	2019着任
吉田竜平													0	0	0	0	0	0	1	0	2018着任

16 専任教員の個人別研究業績一覧

短期大学部 [2015~2019]

(表VI-16-⑤)

氏名	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				備考
	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	
坂内 正	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2019退職
中村 浩	4	0	0	4	6	1	0	5	7	0	0	7	5	0	0	5	3	1	0	2	
ロバート E. ゲティンクス	8	0	0	8	4	0	0	4	5	0	0	5	5	0	0	5	6	0	0	6	
青木 デボラ	0	0	0	0																	2016退職
ジャン F. マウン	16	0	4	12	21	0	4	17	9	0	2	7	18	1	1	16	9	0	0	9	
溝口 雅明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									2017退職
竹村 雅史	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
内山 智	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
森越 京子	6	1	1	4	4	0	0	4	6	0	3	3	4	0	0	4	3	0	1	2	
藤原 里佐	4	0	0	4	2	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	2	1	0	1	
遠藤 太郎	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	
アッカーマン カート	14	1	2	11	0	0	0	0	8	0	0	8	25	0	0	25	0	0	0	0	
川部 大輔	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
白鳥 金吾	10	0	3	7	5	0	2	3	5	0	1	4	8	1	0	7	8	0	2	6	
風戸 真理	6	0	0	6	7	4	0	3	12	0	4	8	11	0	1	10	5	0	0	5	
マシュー コッター					16	2	0	14	21	2	0	19	19	1	0	18	24	0	2	22	2016着任
田中 直子	0	0	0	0	5	0	1	4	6	1	1	4	4	0	0	4	5	0	2	3	
藤木 晶子									0	0	0	0	3	0	1	2	5	0	1	4	2017着任
ヘイディ トムソン									6	1	4	1	7	0	1	6	1	0	0	1	2017着任
山本 慎平													2	0	1	1	3	0	0	3	2018着任

学部に所属しない [2014~2018]

(表VI-16-⑤)

氏名	2015年度				2016年度				2017年度				2018年度				2019年度				備考
	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	計	著書	論文	その他	
大坊 郁夫													15	1	6	8	8	1	4	3	2018着任
日高 嘉彦					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	
田澤 佳江	3	0	2	1	1	0	1	0	2	0	2	0	1	1	0	0					2018退職

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-1)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数
9914	日高 嘉彦	1	著書	著書	The Holy Bible:Thai Standard Version Study Bible, Ezekiel	20200300	単著	:Thailand Bible Society, Bangkok		-	
9915	大坊 郁夫	1	論文	学術論文(査読無し)	コミュニケーション研究の未来予想を描こう	20190400	単著	電子情報通信学会	電子情報通信学会技術研究報告, 118巻487号, .	118-487	
		2	論文	学術論文(査読有り)	Gender differences in synchrony: Females in sync during unstructured dyadic conversation	20190800	共著(第一著者以外)		European Journal of Social Psychology.	59-5	
		3	論文	学術論文(査読有り)	集団討論場面のコミュニケーション強化におけるインプロの効果に関する研究	20190800	共著(第一著者以外)	ヒューマンインタフェース学会	ヒューマンインタフェース学会論文誌	21-3	
		4	論文	学術論文(査読有り)	Rhythmic Features of Movement Synchrony for Bonding Individuals in Dyadic Interaction	20200300	共著(第一著者以外)		Journal of Nonverbal Behavior	44-1	
		5	著書	学術書	今日、僕の家にロボットが来た～未来に安心をもたらすロボット幸学との出会い～	20190902	共著(第一著者以外)	北大路書房		-	207
		6	その他	国際学会	Social skills scores change along Social Skill Training Sessions	20190711	共同(代表)	AASP2019 (13th Conference of the Asian Association of Social Psychology)			
		7	その他	国内会議/特別講演・記念講演	well-beingを目指す科学としての顔コミュニケーション～日本]韓国中国の比較研究を踏まえて～	20190914	単独	日本顔学会第24回大会			
		8	その他	全国学会	日本心理学会企画シンポジウム7 「留学生ネットワーク」の活用を考える	20190912	共同(代表以外)	日本心理学会第83回大会			

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-2)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数
1035	濱 保久	1	その他	その他/講師	職場の対人コミュニケーションとリーダーシップ	20190700	単独	日本私立大学協会北海道支部中堅指導者研修会			
		2	その他	全国学会	期間限定と地域限定が購買意欲に及ぼす影響	20190824	単独	日本応用心理学会第86回大会			
1036	藁内 豊	1	論文	学術論文(査読無し)	北海道の国体代表選手の心理的競技能力の特徴—20年間の調査から—	20200331	共著(第一著者)	北海道スポーツ協会	スポーツ科学委員会研究報告	40-	
		2	その他	研究ノート	DIPCAの活用	20200300	単著	日本スポーツメンタルトレーニング指導士会	メンタルトレーニング・ジャーナル	13-	
		3	その他	研究会・シンポジウム等	スポーツスキル修正プロセスのモデル化: 指導現場で活用するために	20190518	単独	第17回スポーツ動機づけ研究会			
		4	その他	研究会・シンポジウム等	動機づけ研究からトップアスリートのサポートを考える	20190519	単独	第17回スポーツ動機づけ研究会			
		5	その他	国内会議/講師	勝つための思考3 スポーツ心理学の応用	20190900	単独				
		6	その他	全国学会	心理学的アプローチによるスポーツスキル修正 —新旧対照法の紹介—	20190910	単独	日本体育学会第70回大会			
1045	高橋 克依	1	その他	研究ノート	Eugene O' Neillの描くcommunity—<I>Bound East for Cardiff</I>と<I>Thirst</I>について—	20190900	単著	北星学園大学	北星論集	第57巻-第1号	9
		2	その他	研究ノート	Eugene O' Neillの描くcommunity(2)—<I>Bound East for Cardiff</I>と<I>Thirst</I>の中のpipe dream—	20200300	単著	北星学園大学	北星論集	第57巻-第2号	6
1047	高野 照司	1	その他	研究会・シンポジウム等	地方議会会議録を活用した対立意見表明の地理語用論的研究—札幌市議会と大阪市会で異なるスタイル構築とその社会的意味—	20190518	単独	第164回変異理論研究会主催シンポジウム『地方会議録を活用した日本語のスタイル変異研究の可能』			
1055	後藤 靖宏	1	論文	学術論文(査読無し)	移調楽器の演奏時における音高変換処理の非対称性	20190900	単著	北星学園大学	北星学園大学文学部 北星論集	57-1	
		2	論文	学術論文(査読無し)	等音価音列の音高の変換処理の性質—移調楽器を用いた実験的検討—	20200300	単著	北星学園大学	北星学園大学文学部 北星論集	57-2	
		3	その他	その他	【論文査読】「音楽知覚認知研究」論文査読	20190400	その他			-	
		4	その他	その他	【論集】「認知科学研究」発行(第15巻第1、2合併号)	20191200	その他			-	
		5	その他	研究報告	Psychological Reality of Metrical Units in Rhythm Perception: From Viewpoint of Musical Psychology	20190700	単著		Proceedings of 6th International Conference on Research in Behavioral and Social Science	6-1	
		6	その他	研究報告	An Education for Developing Cognitive Model of Musical Processing: A Computer Simulation and it's Evaluation	20200200	単著		Proceedings of 3rd International Conference on Research in Education, Teaching and Learning	3-1	
		7	その他	国際学会	Psychological Reality of Metrical Units in Rhythm Perception: From Viewpoint of Musical Psychology	20190726	単独	6th International Conference on Research in Behavioral and Social Science			
		8	その他	国際学会	An Education for Developing Cognitive Model of Musical Processing: A Computer Simulation and it's Evaluation	20200221	単独	3rd International Conference on Research in Education, Teaching and Learning			
		9	その他	全国学会	マンガの読みにおける「文字」と「画」の情報処理—“系列位置”および“二重符号化”の可能性の検討—	20190525	単独	日本認知心理学会第17回大会			
		10	その他	全国学会	「タイトル」と「解説文」が絵画の印象評価に与える影響	20190905	単独	日本認知科学学会第36回大会			
		11	その他	全国学会	インテリアにおける「癒し」と「和み」との関連性・その2	20190912	単独	第21回日本感性工学会大会			
		12	その他	全国学会	油彩画の印象評価に「タイトル」と鑑賞環境が与える影響—疑似展示空間を用いた実験的検討—	20190915	単独	日本教育心理学会第61回総会			
		13	その他	全国学会	日用品画像における背景色の環境的文脈効果に関する感性工学的研究—潜在記憶課題による検討—	20200305	単独	第15回感性工学会春季大会			
		14	その他	全国学会	言語生成処理に与える言語ノイズの妨害的影響	20200319	単独	日本音響学会2020年春季研究発表会			

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-2)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数
1058	大島 寿美子	1	著書	著書	「絆」を築くケア技法 ユマニチュード：人のケアから関係性のケアへ	20191000	単著	誠文堂新光社		-	200
		2	その他	全国学会	【学会発表】 illness narrativeを活用した学校でのがん教育の検討 ～がん体験者の語りを聞いた中学生の「学び」	20190622	共同（代表以外）	第24回日本緩和医療学会学術大会			
		3	その他	全国学会	【学会発表】 illness narrative（病いの語り）を活用したがん教育の検討 ～がん体験者の語りを聞いた小学生の「学び」～	20191130	共同（代表以外）	日本学校保健学会第66回学術大会			
		4	その他	全国学会	【学会発表】 がん患者の就労支援におけるがん体験者の役割の検討～A市健康経営セミナー参加企業への質問紙調査	20200223	共同（代表以外）	第34回日本がん看護学会学術集会			
		5	その他	全国学会	【学会ワークショップ】 “機能的サブグループ” 対人コミュニケーションを学ぶ	20200320	共同（代表以外）	日本集団精神療法学会第37回学術大会			
		6	その他	地方学会	【学会発表】 PEACE研修会におけるがん体験者の illness narrative（病いの語り）の検討	20190824	共同（代表以外）	緩和医療学会北海道支部会			
1060	鈴木 剛	1	その他	研究ノート	「主権者教育」論の陥穽と歴史的思考【研究ノート】	20200315	単著	北星学園大学	北星学園大学文学部北星論集	57-2	20
1063	中嶋 輝明	1	その他	研究ノート	【研究ノート】 大学入学時の学習動機に見られる特徴—「入学時基礎力調査」の結果から	20200300	単著	北星学園大学	北星学園大学文学部北星論集	57-2	
1068	江口 均	1	論文	学術論文(査読無し)	Testing ESL in Japan: Comparing TOEFL ITP and Cambridge B2 First	20190900	単著	北星学園大学	北星学園大学文学部北星論集	57-1	
1069	石川 悟	1	論文	学術論文(査読無し)	統計教育ツールとしての jamovi	20200300	共著（第一著者以外）		北星論集	57-	
		2	その他	その他/講師	コミュニケーションの基礎的理解	20190900	単独				
		3	その他	その他/講師	地域の中で学ぶ 一大学での学びを導く「現場」一	20191000	単独				
		4	その他	その他/講師	コミュニケーションの基礎的理解	20200100	単独				
		5	その他	全国学会	言語化行為がもたらす動作と気付きの変容 ～調理スキル習得過程の分析を通して～	20190905	単独	日本認知科学会第36回大会			
		6	その他	全国学会	会話における「嘘」の見抜き方 ～就職活動の面接場面を用いた探索的検討～	20190912	単独	日本心理学会第83回大会			
		7	その他	全国学会	クッション型セラピーロボットの稼働の有無は印象と接触の仕方に違いを生む	20200306	共同（代表以外）	HAI2020シンポジウム			

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-2)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数
1071	山本 範子	1	著書	訳書及び教科書	『三体』	20190700	共著（監訳者・編訳者）	早川書房		1019年7月-	448
		2	その他	その他	中国SF 国家の隔たり超えて	20190800	その他	朝日新聞	朝日新聞	-	
		3	その他	その他	『三体』大ヒット 中国SFの躍進	20200200	その他	朝日新聞出版	AERA	33-9	
		4	その他	解説	時間的な移民たち	20190400	単著	アトリエサード	TH	-78	
		5	その他	解説	『三体』のその後	20190700	単著	早川書房	SFマガジン	vol. 60-No. 734	
		6	その他	解説	監修者解説	20190700	単著	早川書房		-	
		7	その他	解説	「風刺SF」、王晋康『転生の巨人』を読む	20190800	単著	アトリエサード	TH	-79	
		8	その他	解説	解説	20191000	単著	早川書房	折りたたみ北京(文庫版)	-	
		9	その他	解説	劉慈欣の中短編を読む	20191100	単著	アトリエサード	TH	-80	
		10	その他	解説	『三体』以前と以後：中華圏SFとその周辺	20200100	単著	河出書房	文藝	-2020春季号	
		11	その他	解説	小説『三体』について	20200100	単著	日本評論社	数学セミナー	59-	
		12	その他	解説	中国SFを知るための最新参考書はこれだ!	20200200	単著	アトリエサード	TH	-81	
		13	その他	解説	解説	20200300	単著	早川書房	月の光 現代中国SFアンソロジー	-	
		14	その他	研究ノート	SF三国志演義	20190500	単著	青土社	ユリイカ「三国志」の世界	-	
		15	その他	研究ノート	王晋康作品について語る	20191000	単著	アジア文化総合研究所出版会	アジア文化	-	
		16	その他	書評	三蔵法師、猪八戒・・・本当の姿は?	20190400	単著	北海道新聞	北海道新聞	-	
		17	その他	書評	あらゆる存在に等しく注がれる柔らかな視線	20190700	単著	武久出版	図書新聞	-3408	
		18	その他	書評	ほっかいどう ミステリー、歴史…縦横に展開	20200202	単著	北海道新聞社	北海道新聞	-	
		19	その他	翻訳	「南島の星空」	20190700	単著	早川書房	SFマガジン	Vol. 60-No. 734	
		20	その他	その他/その他	中華圏SFについて	20190727	共同	日本SF大会			
		21	その他	その他/パネリスト	中華圏SFの部屋	20190700	共同	日本SF大会			
		22	その他	研究会・シンポジウム等	日中・アジアのSFの想像力	20191013	共同（代表以外）	埼玉大学創立70周年記念リベラルアーツ連続シンポジウム			
		23	その他	国際学会	日本的中国科幻研究	20191026	単独	第十屆全球华语科幻星云奖颁奖盛典			
1075	片岡 徹	1	その他	その他	中島児童会館の過去、現在、そして未来	20200300	単著	札幌市中島児童会館	札幌市中島児童会館70周年記念 70年のあゆみ	-	
		2	その他	研究ノート	紛争解決研究の新機軸に関する学際的研究～コミュニティ・レジリエンスに着目して～	20200300	共著（第一著者）	北星学園大学	北星学園大学文学部北星論集	57-2	
		3	その他	翻訳	(翻訳) 1948年から1970年までのマンチェスター大学平和学専攻の学生達のための教育ならびにキャリア開発について (マンチェスター大学 アレン・C・ディーター博士) (3)	20190900	単著	北星学園大学	北星学園大学文学部北星論集	57-1	
		4	その他	その他/講師	International Education Program at Hokusei Gakuen University	20191014	単独				
		5	その他	地方会議/特別講演・記念講演	グローバル時代における〈言葉〉の役割とは	20200108	単独	ウインターセミナー			

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-2)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数	
1076	松浦 年男	1	論文	学術論文(査読無し)	統計教育ツールとしての jamovi	20200300	共著(第一著者以外)		北星学園大学社会福祉学部 北星論集	57-		
		2	その他	その他	天草市本渡方言のアクセント資料(1)	20200300	単著	北星学園大学	北星学園大学文学部 北星論集	57-2		
		3	その他	解説	項目執筆(促音, 直音と拗音, 撥音, N型アクセント, 語声調)	20190400	単著	三省堂	明解方言学辞典	-		
		4	その他	研究会・シンポジウム等	【学会発表】天草諸方言における音韻現象: 促音とアクセントを中心に	20190511	単独	中間報告会「熊本南部方言における音韻論・形態論の諸相」				
		5	その他	研究会・シンポジウム等	【学会発表】日本語諸方言における有声促音の類型論に向けて	20190915	単独	札幌学院大学言語学談話会第100回記念会				
		6	その他	研究会・シンポジウム等	【学会発表】天草地方の方言類型論を目指して	20200216	単独	Prosody and Grammar Festa 4				
		7	その他	研究会・シンポジウム等	天草方言のイントネーション	20200309	単独	「推論過程の言語化における地域語のダイナミクスに関する研究: 九州方言」研究会				
		8	その他	国際学会	【学会発表】Weak but continuous geminate voicing in Yamagata Japanese	20190805	単独	International Congress of Phonetic Sciences 2019				
		9	その他	全国学会	【学会発表】福岡方言における音韻句の形成要因の比較	20190623	単独	日本言語学会第158回大会				
1078	柳町 智治	1	その他	その他/講師	台湾の歴史、人、ことば	20200200	単独					
		2	その他	国際学会	Moral dilemma of offering help or not: Micro-analysis of interaction among a person with cerebral palsy, train station staff and care professionals.	20190830	単独	British Association for Applied Linguistics Conference (BAAL2019)				
		3	その他	全国学会	ダイバーシティ/ワークプレイス研究の論点整理 一障害と共に働くこと一	20191006	共同(代表以外)	第92回 日本社会学会大会				
1080	斎藤 彩世	1	その他	全国学会	セアラ・オーン・ジュエット『とんがり樫の木の国』における孤独の肯定一人々をつなぐ作家の役割	20191109	単独	日本アメリカ文学会北海道支部第192回談話会				
1081	田村 早苗	1	論文	学術論文(査読有り)	On sentence-final particle <I>sa</I> in Hokkaido Japanese	20190700	共著(第一著者)	CSLI Publications	Japanese/Korean Linguistics, Vol. 25 Poster Papers (online)	25-		
		2	その他	研究会・シンポジウム等	コトダ構文と談話におけるCommitment 共有	20190901	単独	大妻女子大学言語学研究会				
		3	その他	研究会・シンポジウム等	コトダ/コトダロウ構文と談話情報更新の分析モデル	20190915	単独	第100回札幌学院大学言語学談話会				
		4	その他	全国学会	タメニ節への助詞ハの付与の意味論的分析	20190622	単独	日本言語学会第158回大会				
1083	中地 美枝	1	論文	学術論文(査読無し)	「ロシアの福祉とジェンダー」	20190700	単著	旬報社	『新・世界の社会福祉 第5巻 旧ソ連・東欧』	-		
		2	その他	国際学会	"War, Welfare, and Gender in Japanese Slavic Studies" on a panel "East Looks West: Chinese, Japanese, and Korean Research Agendas on Slavic-Eurasia"	20191124	単独	ASEEES年次大会				
1084	ロバート・トムソン	1	論文	学術論文(査読有り)	Cross-Cultural and Cross-Organizational Evidence for an Evolved Hazing Motivation	20191121	共著(第一著者以外)	SAGE Journals	Evolutionary Psychology	14-4	10	
		2	その他	研究ノート	Correction to Supporting Information for Thomson et al., Relational mobility predicts social behaviors in 39 countries and is tied to historical farming and threat	20190416	共著(第一著者)	Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America (PNAS)	116-16	1	
		3	その他	研究報告	北海道インバウンド旅行者の山岳安全に向けた英語表記地形図(紙地図)の開発	20191128	単著	国土交通省	Geoアクティビティコンテ	-	1	
		4	その他	地方会議/基調講演	海外でも通用する北海道のアドベンチャーツーリズム	20190824	単独	大雪 旭岳 SEA TO SUMMIT 2019				
		5	その他	地方会議/講師	欧米豪新の冒険旅行者に通用するHokkaidoの伝え方—HokkaidoWilds.orgを事例に—	20191030	単独	北海道アウトドアフォーラム2019				
		6	その他	地方学会	英語表記アウトドア用地形図をQGISで作成—HokkaidoWilds.orgのPDFマップを事例に—	20190713	単独	Spacial Join FOSS4G Hokkaido				
1085	鳴海 昌江	1	論文	学術論文(査読無し)	人権教育の現状と今後のあり方の検討 一高等学校と教職課程「教育行政論」の実践を通して一	20200300	単著	北星学園大学	北星学園大学文学部「北星論集」	57-2		

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-2)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数
1086	柿原 久仁佳	1	論文	学術論文(査読無し)	幼児期における特別支援の実践 ～自己肯定感を高めることを意識した関わり～	20190800	共著(第一著者以外)		子どもロジ	23-	
		2	論文	学術論文(査読有り)	発達障害児のきょうだいの発達に対する支援—障害理解における保護者支援の必要性—	20191000	単著	北海道乳幼児療育研究会	乳幼児療育研究	-32	
		3	その他	その他/その他	被災地におけるスクールカウンセラーの役割とは	20191000	単独	北海道臨床心理士会			
		4	その他	その他/講師	震災後の子どもたちへの支援について	20190600	単独	厚真町教頭会			
		5	その他	その他/講師	さまざまな課題をかかえる子どもの保護者支援 ～将来を見通した支援とは～	20190700	単独	第62回北海道私立幼稚園教育研究大会			
		6	その他	全国学会	妊娠前からの子育て支援の必要性—大都市と地方大学における質問紙調査から—	20190911	単独	日本心理学会			
		7	その他	地方学会	被災地における木育・防災授業の試み	20190824	単独	北海道子ども学会			
1087	永井 暁行	1	論文	学術論文(査読無し)	ラーニング・コモンズを利用する理由の探索的検討	20190900	共著(第一著者)	北星学園大学	北星論集(文学部)	57-1	
		2	論文	学術論文(査読無し)	ピア・サポート活動への参加と主体的学習態度の関連	20200300	共著(第一著者)	北星学園大学	北星論集(文学部)	57-2	
		3	論文	学術論文(査読無し)	北星学園大学ラーニング・コモンズにおける学習支援サービスと今後の課題	20200300	共著(第一著者)	北星学園大学	北星論集(文学部)	57-2	
		4	論文	学術論文(査読無し)	統計教育ツールとしての jamovi	20200300	共著(第一著者以外)	北星学園大学	北星論集(社会福祉学部)	57-	
		5	その他	研究会・シンポジウム等	北星学園大学ラーニング・コモンズの取組みと今後の課題	20190629	単独	第119回CIEC研究会(北海道地区) オープン・エデュケーション部会			
		6	その他	国際学会	Research exploring reasons for using the learning commons in Japan.	20190711	共同(代表)	the 41st annual conference of the International School Psychology Association			
		7	その他	全国学会	ピア・サポート活動による批判的思考および協調性の変化—1年間の縦断調査による検討—	20190916	共同(代表)	日本ピア・サポート学会第18回大会			
		8	その他	全国学会	大学における教育プログラムとしてのピア・サポート活動—ピア・サポート概論に着目して—	20190916	共同(代表以外)	日本ピア・サポート学会第18回大会			
1088	湊 史郎	1	その他	研究ノート	中学校英語教科書の変遷 —この25年間で変わったこと—	20200300	単著	北星学園大学	北星学園大学教職課程年報	-3	
		2	その他	研究ノート	私立高校入試問題英語科に見る指導要領	20200300	単著	北星学園大学	北星論集	57-2	

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-2)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数
1089	寺林 暁良	1	著書	学術書	『地域・協同組織金融とJA信用事業』	20191000	共著（第一著者以外）	全国共同出版		-	
		2	その他	コメンテーター	「住民組織×JA 小さな拠点を共に守る 地域唯一のスーパー 改修、仕入れ連携」	20200100	その他	日本農業新聞	『日本農業新聞』	-2020年1月28日号	
		3	その他	その他	「キリスト教学校教育同盟研修会の報告」	20200300	単著	北星学園大学スミス・ミッションセンター	『一粒の麦』	-62	
		4	その他	解説	「協同組合の父・ライファイゼンが語る自助」	20190900	単著	北星学園大学スミス・ミッションセンター	『一粒の麦』	-60	
		5	その他	解説	「ESG投資」	20191200	単著	金融ジャーナル社	2019年金融時事用語集	-	
		6	その他	解説	「グリーンボンド」	20191200	単著	月刊金融ジャーナル社	『2019年度金融時事用語集』	-	
		7	その他	解説	「環境格付融資」	20191200	単著	月刊金融ジャーナル社	『2019年金融時事用語集』		
		8	その他	解説	「再生可能エネルギー関連産業」	20200100	単著	きんざい	第14次業種別審査事典	3-	
		9	その他	研究会・シンポジウム等	スコットランドのエネルギー協同組合調査報告	20190512	共同（代表）	科研「エネルギー技術の多元性と多義性を踏まえたガバナンス方法の研究」研究会			
		10	その他	研究会・シンポジウム等	スコットランドのコミュニティ再生可能エネルギー調査報告	20190512	共同（代表以外）	科研「エネルギー技術の多元性と多義性を踏まえたガバナンス方法の研究」研究会			
		11	その他	研究会・シンポジウム等	農山村における広域的総合農泊地域——徳島県西部地域を対象として	20191008	共同（代表以外）	第2245回農林水産政策研究所定例研究会			
		12	その他	国内会議/その他	協同組合の父・ライファイゼンが語る自助	20190700	単独	北星学園大学チャペルタイム			
		13	その他	国内会議/その他	キリスト教学校教育同盟研修会の報告	20191100	単独	チャペル・タイム			
		14	その他	全国学会	身近な自然環境への働きかけを取り戻すしくみづくり ——奄美市打田原集落における集落事業の展開と自然資源の管理体制の再構築	20190609	共同（代表以外）	第59回環境社会学会大会			
		15	その他	全国学会	広域的総合農泊地域の可能性と課題——徳島県西部地域を対象として	20190908	共同（代表以外）	令和元年度日本農業経営学会研究大会			
		16	その他	全国学会	地域課題解決に向けた自然資源の共同利用——奄美市打田原集落を事例として	20191006	共同（代表）	第92回日本社会学会大会			
		17	その他	地方会議/講師	地域再生のコミュニティ論——日本とドイツの事例に学ぶ	20191000	単独	北星学園大学2019年度公開講座「北海道から考える地域・国際社会のコミュニケーション～人と人が交えあう社会を目指して～」			

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-3)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数
2046	宮澤 照恵	1	その他	国内会議/その他	全国大会総会議長	20190600	単独	日本近世文学会			
2064	萱野 智篤	1	その他	その他	「フェアトレードタウンさっぽろ」の私たち	20190900	単著	公益社団法人 札幌消費者協会	消費者さっぽろ	-268	
		2	その他	地方会議/講師	フェアトレードタウン認証とは	20190800	単独	北海道自立志塾例会			
		3	その他	地方会議/講師	フェアトレードタウン運動基本のき	20191100	単独	さっぽろ自由学校「遊」連続講座『札幌市がフェアトレードタウンになりました!』			
		4	その他	地方会議/講師	札幌市のフェアトレードタウン認定への歩み	20200100	単独	さっぽろ自由学校「遊」連続講座『札幌市がフェアトレードタウンになりました!』			
2068	岩本 一郎	1	著書	学術書	公文書は誰のものか?: 公文書管理について考えるための入門書	20190400	共著(第一著者以外)	現代人文社		-	176頁
		2	その他	その他	【新聞記事】 みんなで憲法 緊急事態条項は必要? 災害対策の法律運用で十分	20190400	単著		毎日新聞	-2019年4月21日	
		3	その他	その他	【新聞記事】 みんなで憲法 衆院解散は何のため? 民主主義の修復、強化の役割	20190600	単著		毎日新聞	-2019年6月2日朝刊	
		4	その他	その他	【新聞記事】 みんなで憲法 勤労の権利とは? 能力をいかし社会に貢献	20190700	単著		毎日新聞	-2019年7月28日	
		5	その他	その他	【新聞記事】 “隠れた意図” 政府にはないか	20190900	単著		北海道新聞	-	
		6	その他	解説	警察による地揚州の排除と表現の自由	20190901	単著	北海道労働文化協会	労働文化	277・278-	
		7	その他	出版された教科書	教材憲法判例・第5版	20200200	共著(編者・著者)	北大出版会		-	616頁
2083	竹田 恒規	1	論文	学術論文(査読無し)	「奥尻復興の秘けつを聞き出す: 高台移転事業の概要と実務当事者へのインタビュー——災害復興を考えるシンポジウムの記録—— (1)	20200300	共著(第一著者)		北星学園大学経済学部北星論集論集	59-2	26
2086	古谷 次郎	1	論文	学術論文(査読無し)	高等学校「総合的な探求の時間」における公的統計データを用いた教材開発	20200300	単著	北星学園大学経済学部	北星学園大学経済学部北星論集	59-2	
		2	その他	全国学会	高等学校の総合的な探求の時間における公的統計データを用いた教材開発	20190908	単独	2019年度秋季全国大会			
		3	その他	全国学会	21世紀型能力の観点に立った小学校プログラミング教育で育成すべきコンピテンシーについて	20191110	共同(代表以外)	第79回全国大会			
2087	増田 辰良	1	著書	著書	改訂版 1次関数で学ぶ経済学	20200300	単著	大学教育出版		-	180
		2	論文	学術論文(査読無し)	制度の断 老年貢献制度	20200300	単著	北星学園大学経済学部	北星論集	59-2	
		3	論文	学術論文(査読無し)	経済学の断 競争のメリット	20200300	単著	北星学園大学経済学部	北星論集	59-2	
		4	論文	学術論文(査読無し)	起業を実現するまでの準備期間	20200300	単著	北星学園大学経済学部	北星論集	59-2	
		5	その他	研究ノート	Serial Founders (連続起業家) の諸属性に関する比較分析	20190900	単著	北星学園大学経済学部		59-1	
		6	その他	研究ノート	お金の断 奥方一両損	20190900	単著	北星学園大学経済学部	北星論集	59-1	
		7	その他	研究ノート	鳩は交尾をする前に、キスをする	20190900	単著	北星学園大学経済学部	北星論集	59-1	
2089	野本 啓介	1	その他	研究ノート	星学祭におけるゼミ活動発表の報告	20200300	単著		北星論集	第59巻-2号	
2090	篠田 優	1	その他	研究会・シンポジウム等	ロシアにおける「占有」——Sklovskij論文を紹介しつつ——	20200201	単独				

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-3)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数	
2093	鈴木 克典	1	論文	学術論文(査読有り)	公共交通機関の優先席の実効性に関する考察ー札幌市営地下鉄の専用席と関東圏地下鉄の優先席の比較調査よりー	20200315	共著(第一著者以外)	日本福祉のまちづくり学会	福祉のまちづくり研究	22-1	12	
		2	その他	その他	旧札幌農学校演武場(時計台)(北海道札幌市)	20200	共著	日本福祉のまちづくり学会 文化財・世界遺産のアクセシビリティに関する特別研究委員会	文化財のバリアフリー事例集	-	4	
		3	その他	研究ノート	北星学園大学におけるバリアフリー環境の現状と課題ーすべての人にやさしい大学を目指してー	20200331	共著(第一著者以外)	北星学園大学社会福祉学部	北星学園大学社会福祉学部北星論集	-57	8	
		4	その他	書評	この一冊『インクルージョン インクルージョン時代の幕開け! 共に未来を切り拓こう!』	20200315	単著	日本福祉のまちづくり学会	福祉のまちづくり研究	22-1	1	
		5	その他	その他/講師	【講師】 災害時の情報と意思決定行動 自助→共助による「防災力=地域力」向上	20190827	単独	自主防災組織等のリーダー育成・連携促進支援事業				
		6	その他	全国学会	栗山町におけるコミュニティバスの利用・非利用実態と住民意識調査	20190809	共同(代表以外)	日本福祉のまちづくり学会第22回全国大会(東京大会)				
2099	浦野 真理子	1	論文	学術論文(査読無し)	Are Market-Based Forest Conservation Initiatives Effective? : Case Studies of Forest Stewardship Council (FSC) Certification and HCV Surveys in East Kalimantan, Indonesia	20190900	共著(第一著者)	北星学園大学	北星論集	59-1		
		2	論文	学術論文(査読有り)	Why the principle of informed self-determination does not help local farmers facing land loss: a case study from oil palm development in East Kalimantan, Indonesia	20190900	単著			-		
		3	その他	その他/講師	誰のための再生可能エネルギー? バイオマス発電とインドネシアの熱帯林から環境政策の「持続可能性」を考える	20190900	単独	自由学校遊 講座				
2106	星野 宏司	1	論文	学術論文(査読有り)	Extraction of ski lift ride situation from GNSS data at ski resort by human behavior analysis	20190800	共著(第一著者以外)			-		
		2	論文	学術論文(査読有り)	運動時の咬合力とパワー発揮特性の関係ー男子アルペンスキー選手においてー	20190800	共著(第一著者)	日本スポーツ歯科医学会	スポーツ歯学	23-1		
		3	論文	学術論文(査読有り)	最大無酸素パワー発揮時の至適負荷とパワー発揮特性の推移	20190900	単著	日本福祉大学	日本スキー学会 第29回大会論文集	-		
		4	その他	国際学会	Investigation for the maximum anaerobic power profile demand on the alpine skiers	20190704	単独	24th annual congress of the EUROPEAN COLLEGE OF SPORT SCIENCE				
		5	その他	国際学会	Extraction of ski lift ride situation from GNSS data at ski resort by human behavior analysis	20190820	共同(代表以外)	International Symposium on Multimedia and Communications (ISMAC 2019)				
		6	その他	全国学会	アルペンスキー競技選手の咬合状態に関する研究	20190623	単独	第30回日本スポーツ歯科医学会				
		7	その他	全国学会	最大無酸素パワー発揮時の至適負荷とパワー発揮特性の推移	20190907	単独	2019年度日本スキー学会秋季研究会				
		8	その他	全国学会	測定肢位の違いが足趾把持力に与える影響について	20190921	単独	第74回日本体力医学会				
		9	その他	全国学会	最大無酸素パワー発揮時の至適負荷値を用いた評価法について	20191012	単独	第32回日本トレーニング科学学会大会				
		10	その他	全国学会	アルペンスキー選手のパワー発揮特性を用いた評価法の検討	20191207	単独	第8回日本トレーニング指導学会大会				

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-3)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数
2107	金子 大輔	1	論文	学術論文(査読無し)	小学校におけるプログラミング教育の必修化とその実施上の課題	20190900	単著		北星学園大学経済学部北星論集	59-1	
		2	その他	その他/講師	ソーシャルメディアを安全に活用するために	20191023	単独	札幌市立平岡中学校地区懇談会			
		3	その他	その他/講師	小中学生のネットトラブルの現状について	20191211	単独	第8回札幌市小学校校長会生徒指導部研修会			
		4	その他	研究会・シンポジウム等	大学初年次学生のコンピュータ操作スキルに関する自己評価結果と初年次情報科目の成績との関係	20191123	共同(代表以外)	日本リメディアル教育学会第2回授業実践フォーラム・第11回九州・沖縄支部大会			
		5	その他	国際学会	The Effects of a Long-tone Exercise Support System on Wind Instrument Players' Pitch and Tone Shape	20190626	共同(代表)	Proceedings of EdMedia + Innovate Learning (pp. 1182-1187)			
		6	その他	国際学会	How can First-year University Students Measure their computer Operational skills?	20200105	共同(代表)	Proceedings of the 18th Annual Hawaii International Conference on Education, pp. 969-979			
		7	その他	国内会議/パネリスト	被災事例から考究するレジリエントな学び	20190912	単独	第44回教育システム情報学会全国大会			
		8	その他	全国学会	大学初年次生を対象とした情報基礎知識調査とコンピュータ操作スキルの自己評価結果の推移	20190907	共同(代表)	日本教育工学会2019年秋季全国大会講演論文集, pp. 81-82			
		9	その他	全国学会	「自己の感情と他への影響の分析マトリックス」を用いた 道徳科における情報モラルの授業実践	20190908	共同(代表以外)	日本教育工学会2019年秋季全国大会講演論文集, 619-620			
		10	その他	全国学会	初年次教育プログラムが大学生に与える効果 -情報基礎知識・操作スキル・日本語知識の比較から-	20190912	単独	第44回教育システム情報学会全国大会講演論文集, 159-160			
		11	その他	全国学会	道徳科の授業における情報モラル教育の実践: 質問作り(QFT)による主体的・対話的な深い学び	20191019	共同(代表以外)	第45回全日本教育工学研究協議会全国大会論文集, 321-324			
		12	その他	全国学会	質問作り(QFT)を用いた道徳科における情報モラルの授業	20191214	共同(代表以外)	日本教育工学会研究報告集			
2108	岡田 みさを	1	その他	国際学会	Embodied instruction-compliance sequences in a "mitt training activity" in boxing	20190611	単独	16th International Pragmatics Conference (The Hong Kong Polytechnic University, June 9-14, 2019)			
2111	勝村 務	1	論文	学術論文(査読無し)	人口減少と資本蓄積	20200301	単著	北星学園大学	北星学園大学経済学部北星論集	59-2	14
2115	足立 清人	1	著書	訳書及び教科書	『スタンダード民法シリーズⅢ 債権法総論 [第3版]』	20190700	共著(第一著者以外)	嵯峨野書院		-	72頁
		2	著書	訳書及び教科書	スタンダード民法シリーズⅡ 物権・担保物権法	20190700	共著(第一著者以外)	嵯峨野書院		-	15
		3	著書	訳書及び教科書	『スタンダード民法シリーズⅣ 債権法各論 [第2版]』	20200300	共著(第一著者以外)	嵯峨野書院		-	401頁
		4	論文	学術論文(査読無し)	抵当権の効力の及ぶ目的物の範囲について (4)	20190900	単著	北星学園大学	北星学園大学 経済学部北星論集	59-1	
		5	論文	学術論文(査読無し)	奥尻復興の秘けつを聞き出す: 高台移転事業の概要と実務当事者へのインタビュー (1) -災害復興を考えるシンポジウムの記録-	20200300	共著(第一著者以外)	北星学園大学	北星学園大学 経済学部北星論集	59-2	
		6	論文	学術論文(査読無し)	抵当権の効力の及ぶ目的物の範囲について (5)	20200300	単著	北星学園大学	北星学園大学経済学部北星論集	59-2	
		7	その他	その他	預貯金債権の共同相続について-最大決平成28年12月19日金法2058号6頁の検討を通じて (4) -	20190900	単著	北星学園大学	北星学園大学 経済学部北星論集	59-1	
		8	その他	研究ノート	「契約法務」入門-「私法教育」の素材として	20200331	単著	北星学園大学	北星学園大学教職課程年報	-3	16頁
		9	その他	研究報告	体験・私法教育-商業教育と私法教育の連携を探る	20191200	単著	日本商業学会北海道部会	日本商業学会 北海道部会会報		
		10	その他	研究報告	預貯金債権の共同相続について-最大決平成28年12月19日金法2058号6頁の検討を通じて (4・完) -	20200300	単著	北星学園大学	北星学園大学 経済学部北星論集	59-2	
		11	その他	翻訳	翻訳 『創世記(Liber Genesis)新ブルガータ版(Nova Vulgata Editio)』邦訳(2)	20190900	共著(第一著者)	北星学園大学	北星学園大学 文学部北星論集	57-1	
2123	野原 克仁	1	論文	学術論文(査読無し)	Estimating the value of coral reefs in Kume Island, Japan, using a contingent behavior method: A Poisson-Inverse Gaussian approach with on-site correction	20191000	共著(第一著者)	東北大学	Data Science and Service Research Discussion Paper	103-	
2127	楠木 敦	1	その他	研究会・シンポジウム等	シュンペーターの経済発展論における不確定性	20190824	単独	第45回仙台経済学研究会			
2129	黄 雅雯	1	著書	著書	経営戦略の課題と解明	20190400	共著(第一著者以外)			-	261
		2	論文	学術論文(査読無し)	GVCの実態分析と市場における調整に関する研究-アップルを例に-	20190800	共著(第一著者以外)		工業経営研究会国際大会2019 予稿集		
		3	論文	学術論文(査読有り)	Managerial Limitations to a Firm's Growth: The Perspective of Inter-Organizational Trust	20190900	共著(第一著者以外)	Accepted papers for the 15th EIASM Interdisciplinary Conference on Intangibles and Intellectual Capital		レフェリー付プロセスディングス	

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-3)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数		
2132	林 秀彦	1	論文	学術論文(査読有り)	Development of mobile application for disaster prevention	20190400	共著(第一著者)	Blue Eyes Intelligence Engineering and Sciences Publication	International Journal of Recent Technology and Engineering (IJRTE)	7-6C2			
		2	論文	学術論文(査読有り)	Consideration of disaster prevention system using service design management	20190700	共著(第一著者)	IITAI AAI BMOT2019-WSS2		-			
		3	論文	学術論文(査読有り)	Extraction of ski lift ride situation from GNSS data at ski resort by human behavior analysis	20190800	共著(第一著者)	IEEE	2019 International Symposium on Multimedia and Communication Technology		-		
		4	その他	その他	ソフトウェア開発教育におけるレリバンスに関する考察	20190900	単著			第18回情報科学技術フォーラム (FIT2019), 第1分冊, pp. 135-136		-	
		5	その他	国際学会	Extraction of Ski Lift Ride Situation from GNSS Data at Ski Resort by Human Behavior Analysis	20190800	共同(代表)	ISM2020					
		6	その他	国際学会	Consideration of Educational Tools and Methods of Software Engineering Education for non-CSE Students	20191200	単独	SIE2019					
		7	その他	国際学会	A Study of Supported System for Long-distance Movement Maternity	20200100	共同(代表)	EPRBSS2020					
		8	その他	全国学会	ソフトウェア開発教育におけるレリバンスに関する考察	20190903	単独	第18回情報科学技術フォーラム FIT2019, 第1分冊, pp. 135-136					
2136	鄭 根珠	1	論文	学術論文(査読無し)	1970年代の日韓関係の表象—金大中拉致事件と日韓連帯運動を通して	20200300	単著	北星学園大学経済学部	北星論集	-			
		2	その他	書評	(書評と紹介) 李美淑著『「日韓連帯運動」の時代—1970-80年代のトランスナショナルな公共圏とメディア』	20190700	単著		大原社会問題研究所雑誌	-729			
2141	渡邊 稔	1	その他	その他	Capital income taxation in endogenous fertility model (MPRA Paper)	20191200	共著(第一著者)			-			
		2	その他	研究会・シンポジウム等	Capital income taxation in endogenous fertility model	20200000	共同(代表)	KMSG研究会					
2143	山吉 智久	1	著書	著書	【訳書】ジョン・J・コリンズ『「死海文書」物語—どのように書かれ、読まれてきたか』	20200000	単著	教文館		-			
		2	論文	学術論文(査読無し)	世界最古のミステリー—エグロン王「密室」殺人事件を解け!—	20200000	単著		『北星論集』	59-2			
		3	その他	その他	【事典項目】Tätowierungen und Körperinschriften, in: <I>Handbuch Alttestamentliche Anthropologie</I>	20200000	単著	Mohr Siebeck	Handbuch Alttestamentliche Anthropologie	-			
		4	その他	書評	【書評】山我哲雄著『VTJ旧約聖書注解 列王記上1~11章』	20200000	単著	北星学園キリスト教センター	『北星教育と現代』	8-			
2144	佐藤 友暁	1	論文	学術論文(査読有り)	Proposal of a High-speed and Low-power Architecture for Entropy Coding Processing to Achieve Highest Compression Rate	20190900	共著(第一著者)		Proc. of the 1st ECTI UEC Workshop on AI and Applications	-			
		2	その他	国際学会	Computer (II), Session Chair	20190712	単独	ECTI-CON 2019					
		3	その他	国際学会	Emerging Technologies in Multimedia and Communication Systems, Session Chair	20190819	単独	INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON MULTIMEDIA AND COMMUNICATION TECHNOLOGY 2019					
		4	その他	国際学会	Proposal of a High-speed and Low-power Architecture for Entropy Coding Processing to Achieve Highest Compression Rate	20190906	共同(代表)	The 1st ECTI UEC Workshop on AI and Applications					
		5	その他	国際学会	Electronics & Control session chair	20200305	単独	iEECON2020					

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-3)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数
2147	矢吹 哲夫	1	その他	研究報告	自発的放射光子の局在化の理論解析	20200300	単著	九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所	マス・フォア・インダストリ研究所研究報告集 ドレスト光子に関する基礎的数理研究	19-	26頁
		2	その他	研究会・シンポジウム等	【学会（研究会）発表】一光子放射（蛍光）の波束解析：オンシェル vs. オフシェルの試論的考察を踏まえて	20190923	単独	「量子論の新たな地平を巡って＝光と物質の融合科学に向けて＝」			
		3	その他	研究会・シンポジウム等	【学会（研究会）発表】光子の「横波vs縦波」、「オンシェルvsオフシェル」の解析	20190928	単独	科学基礎論夏のセミナー2019			
		4	その他	研究会・シンポジウム等	【学会（研究会）発表】ベーズ統計解析の基礎（機械学習への応用を念頭に置いて）	20191215	単独	AIMaP研究集会「人工知能を用いたゲノムベース系統樹構築手法の開発と生物系有用情報の探索」			
		5	その他	研究会・シンポジウム等	【学会（シンポジウム）発表】自発的放射光子の局在化の理論解析	20200213	単独	マス・フォア・インダストリ研究所 研究集会「ドレスト光子に関する基礎的数理研究」			
		6	その他	国内会議/特別講演・記念講演	地球温暖化によって高山植生に生じる「レジームシフト」の数理モデル解析	20191102	単独	地球温暖化を環境物理で考える勉強会			
		7	その他	国内会議/特別講演・記念講演	【講演】地球温暖化によって高山植生に生じる「レジームシフト」の数理モデル解析＝フィールド測定・実験との連携を踏まえて＝	20191114	共同	IMI（産業の為の数学研究所） コロッキウム（講演会）			
		8	その他	全国学会	【学会発表】階層化された講義用テキストと運動する教育支援ツールによる物理学教育	20190808	共同（代表以外）	日本物理教育学会 第36回物理教育研究大会「中学・高校・大学をつなぐ物理教育～すべての生徒・学生のために～」			
		9	その他	全国学会	【学会発表】光合成のエネルギー移動の エントロピー解析	20190911	単独	日本物理学会2019年秋季大会（物性）			
		10	その他	全国学会	【学会発表】エントロピーによる光合成のエネルギー解析	20200319	単独	日本物理学会 第75回年次大会			
2149	諸岡 卓真	1	著書	訳書及び教科書	大学生のための論文・レポート作成法——アカデミック・ライティングの基本を学ぶ——	20190400	共著（第一著者以外）	学術図書出版社		-	
		2	その他	地方学会	奪われる推理——米澤穂信『愚者のエンドロール』論	20190914	単独	日本近代文学会 北海道支部例会			
2150	柴崎 慎也	1	著書	著書	これからの経済原論	20191000	共著（編者・著者）	ばる出版 さくら原論研究会（泉正樹；東北学院大学、江原慶；大分大学、柴崎慎也；北星学園大学、結城剛志；埼玉大学）編		-	22
		2	論文	学術論文(査読無し)	価格機構論・景気循環論の新展開：江原慶著『資本主義的市場と恐慌の理論』をめぐって	20190900	単著	『北星論集』第59巻第1号, pp. 71-87		-	
		3	その他	その他	わたしと音楽	20190900	単著	『一粒の麦』北星学園大学スミス・ミッションセンター, 第60号		-	
		4	その他	その他	わたしとキリスト教の接点	20200300	単著	『一粒の麦』北星学園大学スミス・ミッションセンター, 第61号		-	
		5	その他	その他/講師	模擬授業「経済学の“あたりまえ”を疑ってみよう」、講師	20190900	単独	北星学園大学第3回キャンパス説明会			
		6	その他	その他/講師	模擬授業「経済学にふれてみよう」、講師, 北星学園大学	20190900	単独	厚別高等学校（北海道札幌市）			
		7	その他	研究会・シンポジウム等	市場組織論の展開：さくら原論研究会編『これからの経済原論』の市場組織論について	20191208	単独	現代信用論研究会			
		8	その他	研究会・シンポジウム等	これからの市場機構論	20200315	単独	経済学史学会プレセッション			
		9	その他	国際学会	What is Commercial Capital?: Japanese Contributions to Marxian Market Theory	20191109	共同（代表）	Historical Materialism Sixteenth Annual Conference			
		10	その他	全国学会	What is Commercial Capital?: Japanese Contributions to Marxian Market Theory	20191019	共同（代表）	経済理論学会第67回大会			
		11	その他	地方学会	利子論・市場機構論から市場組織論へ	20190928	単独	経済理論学会北海道部会第28回研究会			

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-3)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数	
2151	南 ホチヨル	1	論文	学術論文(査読無し)	Accounts Payable and Natural Hedge	20200300	単著	北星学園大学	北星学園大学経済学部北星論集	59-2		
		2	論文	学術論文(査読有り)	Accounts Payable and Firm Value: International Evidence	20190500	共著(第一著者)	Journal of Banking & Finance	Journal of Banking & Finance	Volume 102-		
		3	論文	学術論文(査読有り)	仕入債務と企業価値: 金融危機時の実証分析	20191200	共著(第一著者)	日本経営財務研究学会	経営財務研究	39-1-2		
		4	論文	学術論文(査読有り)	企業の資金制約と保有現金-費用構造からの検証	20191200	共著(第一著者以外)	九州経済学会	九州経済学会年報	57-		
		5	その他	その他	Do Cash Holdings Affect Trade Credit Supply?	20190400	単著		Working paper	-		
		6	その他	その他	Heterogeneous Liquidity Shock Propagation through Trade Credit	20190400	共著(第一著者)		Working paper	-		
		7	その他	その他	Inventory as a Liquidity Provision Channel	20190400	共著(第一著者)		Working paper	-		
		8	その他	その他	Accounts Payable and Dividend Payout	20191000	単著		Working paper	-		
		9	その他	その他	Trade Credit and Firm Ownership	20191000	単著		Working paper	-		
		10	その他	全国学会	Inventory as a Liquidity Provision Channel	20190906	単独	第93回日本経営学会全国大会				
2154	多鹿 智哉	1	その他	その他	Foreign suffrage as a way of mitigating international conflicts	20190400	共著(第一著者以外)		Working paper	-		
		2	その他	その他	Communication and Information Aggregation for the Tricky Question	20200200	共著(第一著者以外)			-		
		3	その他	その他	Abstention by Loss-Averse Voters	20200300	共著(第一著者以外)			-		
		4	その他	研究会・シンポジウム等	Contribute once! Full efficiency in a dynamic contribution game	20191011	単独	The 25th Decentralization Conference in Japan				
		5	その他	国際学会	Contribute once! Full efficiency in a dynamic contribution game	20190600	単独	Conference on Economic Design				
		6	その他	国際学会	Collective mistake in a tricky question under strategic voting	20190800	単独	72nd European Meeting of the Econometric Society				
		7	その他	全国学会	Collective mistake in a tricky question under strategic voting	20190600	単独	日本経済学会春季大会				
		8	その他	不明	Persistence and Snap Decision Making	20190517	単独	六甲フォーラム				
		9	その他	不明	Contribute once! Full efficiency in a dynamic contribution game	20190600	単独	ミクロ経済学ワークショップ				
		10	その他	不明	Communication and Information Aggregation for a Trick Question Problem	20190700	単独	産業組織理論研究会				

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-4)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数
3008	豊村 和真	1	論文	学術論文(査読無し)	福祉心理学試論 I	20200300	単著	北星学園大学	北星論集 (社)	57-	
		2	その他	出版された教科書	心理学検定公式問題集[2020年度版]	20200325	共著(第一著者以外)			-	
		3	その他	全国学会	障害(者)に対する大学生のイメージについて3	20190921	単独	日本社会福祉学会第67回大会			
		4	その他	全国学会	障害者と高齢者に対する大学生のイメージ	20191124	単独	日本福祉心理学会第17回大会			
3011	池田 雅子	1	著書	著書	ソーシャルワーカーのための研究ガイドブックー実践と研究を結びつけるプロセスと方法ー	20190405	共著(編者・著者)	中央法規		-	271
		2	論文	学術論文(査読有り)	永田勝彦先生の研究・教育から北星の未来を考える	20200317	単著	北星学園キリスト教センター	北星教育と現代	-第8号	18
		3	その他	全国学会	【パネラー】ソーシャルワーカーのための研究ワークショップ	20190726	共同(代表以外)	日本ソーシャルワーク学会 2019年度全国大会			
3013	中田 知生	1	論文	学術論文(査読無し)	サポート義務感とケア負担感が及ぼすソーシャル・サポートのジェンダー差異ー国際比較データの分析からー	20200315	単著	北星学園大学社会福祉学部	北星論集	57-	
		2	著書	学術書	高齢期における社会的ネットワーク：ソーシャル・サポートと社会的孤立の構造と変動	20200300	単著	明石書店		-	192
		3	その他	研究会・シンポジウム等	SCATについて	20190901	共同(代表)	科学研究費補助金による研究会			
		4	その他	研究会・シンポジウム等	stataによる空間自己相関モデル	20190901	単独	科学研究費補助金による研究会			
		5	その他	研究会・シンポジウム等	社会的ネットワーク供給のジェンダー差：国際比較から	20191019	単独	ARSS研究会			
		6	その他	国際学会	Trajectories of Life Satisfaction and its Factors among Japanese Elderly People: Using Latent Growth Curve Models	20190516	単独	International Conference on Happiness and Wellbeing			
		7	その他	国際学会	Transition of the Significant Others among Japanese Senior Citizens : A Sequence Analysis Approach	20190925	単独	Society for Longitudinal and Life Course Studies Annual Conference 2019			
		8	その他	国際学会	The Isolation and the Moving in the Later of Life in Japan: Evidence from Panel Data	20191026	単独	11th International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) Asia/Oceania Regional Congress			
		9	その他	全国学会	過疎地域における集落単位での地域福祉活動に関する研究	20190607	共同(代表以外)	日本地域福祉学会第33回大会			
		10	その他	全国学会	ソーシャル・サポートにおける重要な他者の移行ーシークエンス分析を用いてー	20190615	単独	第17回福祉社会学会大会			
		11	その他	全国学会	ソーシャル・サポート・システムにおける重要な他者の移行(その2)	20190830	単独	数理社会学会第68回大会			
3023	トーマス・ゲッツ	1	論文	学術論文(査読無し)	Placement Test Options within a Moodle Environment	20190800	単著	ISSN/ISBN: 1539-8757, 2157-9660	Clute Institute International	-	
		2	その他	その他	My Passage to Japan	20190400	単著	Presbyterian Mission Agency	https://www.presbyterianmission.org/ministries/missionconnections/letter/my-passage-to-japan/	-	
		3	その他	その他	A Christian Outlook	20190600	単著	Presbyterian Mission Agency	https://www.presbyterianmission.org/ministries/missionconnections/letter/a-christian-outlook/	-	
		4	その他	その他	Be Completely Humble	20190900	単著	Presbyterian Mission Agency	https://www.presbyterianmission.org/ministries/missionconnections/letter/be-completely-humble/	-	
		5	その他	その他	Grace and Peace in the Time of COVID-19	20200300	単著		http://www.presbyterianmission.org/ministries/missionconnections/goetz-thomas/	-	
		6	その他	国際学会	Placement Test Options within a Moodle Environment	20190806	単独	Clute Institute			
		7	その他	国際学会	Positive Reinforcement: Keeping Students on Track within the Flipped Classroom	20190830	単独	Eurocall 2019			
		8	その他	国際学会	Setting up Classes for the Magic to Happen	20191029	単独	Fifth Saarbrücken Conference on Foreign Language Teaching			
		9	その他	全国学会	Remedial Classes: Follow the Leader or What Else?	20191103	単独	JALT 2019			

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-4)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数
3025	ウルリケ・ネンシュティール	1	論文	学術論文(査読無し)	Zur Nachhaltigkeit aktueller Waldeuphorien	20191100	単著		Komplexe Dynamiken globaler und lokaler	-	10
		2	論文	学術論文(査読無し)	観光と社会教育 — 「地域づくりと観光」の関連における社会教育従事者の役割—日独比較を中心に	20200300	共著(第一著者)	北星学園大学	北星学園大学社会福祉学部 北星論集	57-	
		3	論文	学術論文(査読有り)	Chances for socially sustainable development in Guam as one of the remaining colonies	20190900	単著		持続可能な発展のヨーロッパのジャーナル	8-5	
		4	論文	学術論文(査読有り)	Transportation, Inequality and Sustainability	20190900	単著	CWMD (Center for Water Cycle, Marine Environment, and Disaster Management)	Proc. 2019 Conference on Climate Change, Disaster Management and Environmental Sustainability	-	9
		5	その他	国際学会	Chances for Socially Sustainable Development in Guam as One of the Remaining Colonies	20190905	単独	International Conference on Sustainable Development			
		6	その他	国際学会	Transport, Inequality and Wellbeing	20190913	単独	2019 International Conference on Climate Change, Disaster Management and Environmental Sustainability			
		7	その他	国際学会	Mindfulness and Emotional Capital	20191025	単独	Affects and Their Vicissitudes in the Postdigital Age			
		8	その他	全国学会	「観光と地域づくり 社会教育・公民館の可能性についての一考察」	20191215	共同(代表)	日本公民館学会			
		9	その他	地方学会	権威主義とハラスメントの新しい形態 — ドイツの例を手がかりに —	20190601	単独	北海道社会学会			
3027	栗林 克匡	1	論文	学術論文(査読無し)	シャイネスと身体像の認知との関連に関する研究	20200300	単著		北星論集(北星学園大学社会福祉学部)	-57	
		2	その他	全国学会	シャイネスと身体像の認知との関連に関する研究	20191019	単独	日本グループ・ダイナミックス学会第66回大会			
		3	その他	全国学会	シャイネス・自己開示・ソーシャルサポートが被受容感に及ぼす影響	20191110	単独	日本社会心理学会第60回大会			
3035	西田 充深	1	論文	学術論文(査読無し)	石狩市におけるSSW事業変遷プロセスと今後の課題 — 配置形態の移行に着目して —	20200315	共著(第一著者以外)	北星学園大学	北星論集	57-	12
		2	その他	その他/講師	初任者研修～発達支援・生活支援としての療育～	20191201	単独	第2回 一般社団法人 児童発達支援連絡協議会 2019職員研修大会			
		3	その他	全国学会	合理的配慮に基づく連続した学びの支援	20190825	共同(代表以外)	日本発達障害学会 題54回研究大会実行委員会企画シンポジウム			

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-4)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数	
3036	田実 潔	1	その他	研究ノート	北星学園大学におけるバリアフリー環境の現状と課題	20200300	共著（第一著者）	北星学園大学	北星学園大学 社会福祉学部論集	-第57号		
		2	その他	その他/講師	こどもの心に寄り添う保育-発達障害がある幼児と親への支援-	20190700	単独	札幌円山公園雲母保育園研修会				
		3	その他	その他/講師	障害について知っていますか？	20190900	単独	北海道厚別高校出前講義				
		4	その他	国内会議/基調講演	大学における支援を必要としている学生への具体的対応	20190600	単独	2019年度九州地区大学教職課程研究連絡協議会研究大会				
		5	その他	国内会議/基調講演	学生の学修を支援する授業とは？	20190900	単独	山形大学FD合宿セミナー プログラムⅣ				
		6	その他	国内会議/基調講演	授業に求められる合理的配慮とは？ -障害者差別解消法と授業-	20190900	単独	山形大学FD合宿セミナー プログラムⅢ				
		7	その他	全国学会	4年目を迎えたアクセシビリティ支援室の現状と課題	20190601	単独	大学教育学会				
		8	その他	全国学会	合理的配慮に基づく就労支援	20190724	単独	日本発達障害学会第54回大会				
		9	その他	全国学会	合理的配慮に基づく連続した学びの支援	20190724	共同（代表）	日本発達障害学会第54回大会				
		10	その他	全国学会	合理的配慮をめぐる諸問題	20190725	単独	日本発達障害学会第54回大会				
		11	その他	全国学会	卒業後の就職支援を見据えた地域連携Ⅲ	20190922	共同（代表）	日本特殊教育学会第57回大会				
		12	その他	全国学会	発達障害のある学生の就労支援Ⅱ	20191201	単独	大学教育学会2019年度課題研究集会				
		13	その他	地方会議/基調講演	発達障害の理解と支援 -ASDとADHDを中心に-	20191100	単独	小樽精神保健協会 「市民のためのこころの健康セミナー」				
		14	その他	地方会議/講師	発達障害がある児童への支援	20190700	単独	札幌市立中の島小学校校内研修会				
		15	その他	不明/基調講演	教職課程を履修している要支援学生への対応	20190900	単独	桜美林大学教職課程研究会				
		16	その他	不明/講師	発達障害を理解する-ASDとADHDを中心に-	20191000	単独	札幌バプテスト教会研修会				
3039	ジェームズ・アリソン	1	論文	学術論文(査読無し)	Hokusei Jo Gakko-Related Matters in the Minutes of the Meetings of the Japan Mission of the Presbyterian Church in the USA, 1932-1940	20200300	単著		北星論集(社会福祉学部)	-57	12	
		2	その他	研究ノート	An Overview of Primary Source English Language Historical Documents Related to Hokusei Gakuen' s Missionary Founders, Part II	20200300	単著				-57	11
3047	田中 耕一郎	1	論文	学術論文(査読無し)	「ケアの制度化」をめぐる：〈重度知的障害者〉に対する「ケアの分配」に向かうための序論	20200300	単著	北星学園大学	北星論集(社会福祉学部)	-第57号		
		2	その他	書評	【書評】『殺す親 殺させられる親』(生活書院)	20191100	単著	北海道新聞社	北海道新聞	-2019年11月10日付朝刊		
		3	その他	書評	【書評】立岩真也著『病者障害者の戦後』青土社	20200300	単著	福祉社会学会	福祉社会学研究			
		4	その他	地方会議/基調講演	障害者福祉の歴史と理念-障害者の人権の視点から-	20190700	単独	虐待防止権利擁護指導者養成講座				
		5	その他	地方会議/基調講演	「障害」について考える-障害の社会モデルからみた地域社会の課題-	20190800	単独	美幌町障がい福祉講演会				
		6	その他	地方会議/講師	障がい児者支援の法制度の理念と相談支援の基本姿勢①	20190600	単独	2019年度 相談支援従事者研修(初任者研修)(サービスマネジメント/児童発達支援管理責任者向け)				
		7	その他	地方会議/講師	障がい児者支援の法制度の理念と 相談支援の基本姿勢②	20191000	単独	2019年度 相談支援従事者研修(初任者研修)(サービスマネジメント/児童発達支援管理責任者向け)				
		8	その他	地方会議/講師	障害者の虐待防止と差別解消について	20191100	単独	障害者虐待防止研修会				
		9	その他	地方会議/講師	障がい児者支援の法制度の理念と 相談支援の基本姿勢 ③	20200200	単独	2019年度 相談支援従事者研修(初任者研修)(サービスマネジメント/児童発達支援管理責任者向け)				
3050	安部 雅仁	1	その他	研究報告	医療制度改革の方向を考える	20190700	単著			-		
		2	その他	研究報告	予防医療(上)	20190900	単著				-	
		3	その他	研究報告	予防医療(下)	20191100	単著				-	

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-4)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数	
3051	田澤 安弘	1	論文	学術論文(査読無し)	【招待論文】対話のための心理アセスメント	20190900	単著	日本人間性心理学会	人間性心理学研究	37-1		
		2	論文	学術論文(査読有り)	不安静穏化機能尺度の開発－因子構造、信頼性、妥当性の検討	20190900	共著(第一著者)	日本人間性心理学会	人間性心理学研究	37-1		
		3	その他	その他	【査読論文】石川論文『心理面接におけるセラピストの態度』へのコメントーリフレクティブな実践のために	20200300	単著		北星学園大学心理臨床センター紀要	-15		
		4	その他	研究ノート	【研究ノート】ふれることの倫理	20200300	単著		北星学園大学心理臨床センター紀要	-15		
		5	その他	全国学会	【学会発表】性的外傷体験によるPTSDの回復過程に並行する心理的諸要因の変化に関する事例基盤研究－内受容感覚、感情体験、認知過程に着目して	20190607	単独	日本心理臨床学会第38回大会				
3053	牧田 浩一	1	論文	学術論文(査読無し)	【資料】大学生の過去のいじめ経験ー小学校低学年・小学校高学年・中学校・高等学校時期ごとのいじめ経験、加害、目撃の経験ー	20200300	単著	北星学園大学	北星論集(北星学園大学社会福祉学部)	-57		
		2	論文	学術論文(査読有り)	いじめ被害を受けた子どもの親面接過程	20190800	単著	日本遊戯療法学会	遊戯療法学研究	18-1	12	
		3	その他	その他	【コメント】福祉領域委員会の2019年度の計画と抱負	20190400	単著	北海道臨床心理士会	北海道臨床心理士会ニュースレター	-45		
		4	その他	その他	北海道胆振東部地震に際して	20190400	単著	日本コラーゲ療法学会	日本コラーゲ療法学会ニュースレター	-11		
		5	その他	その他	【エッセイ】同窓会に参加するようになって一気の置けない友人との出会いー	20190700	単著	北星学園大学・短期大学部同窓会事務局	北星学園大学同窓会会報	-		
		6	その他	その他	【コメント】「対話を重ねるともに見ること」へのコメント	20200300	単著		北星学園大学心理臨床センター紀要	-15	1	
		7	その他	その他	【巻頭言】「今後の心理臨床センターのあり方」	20200300	単著	北星学園大学	北星学園大学心理臨床センター紀要	-15	1	
		8	その他	研究ノート	紛争解決研究の新機軸に関する学際的研究～コミュニティ・レジリエンスに着目して～	20200300	共著(第一著者以外)	北星学園大学	北星論集(北星学園大学文学部)	57-2		
		9	その他	研究報告	【報告】心理臨床センター見学会の実施報告	20200300	単著	北星学園大学心理臨床センター紀要		-15	5	
		10	その他	その他/特別講演・記念講演	被虐待児の心理とこころのケア	20191000	単独					
		11	その他	国内会議/その他	【論文査読】マガジン・フォト・コラージュ(MPO)を用いた大学院生へのグループスーパービジョンの効果についてー「クライアント体験」「セラピスト体験」に関するM-GTAを用いた検討ー	20200100	不明	日本コラーゲ療法学会				
		12	その他	全国学会	【学会発表】アタッチメントが不安定な子どものプレイセラピー	20190519	単独	日本遊戯療法学会第25回大会				
		13	その他	全国学会	【学会公開シンポジウムの司会】アート心理療法ー心理的苦悩に対する創造性と癒し	20190803	共同(代表以外)	日本コラーゲ療法学会第11回大会				
		14	その他	地方会議/講師	被虐待児の心理ー子どもの心の治療ー	20191100	単独	札幌市中央区要保護児童対策地域協議会 研修会				
		15	その他	地方会議/特別講演・記念講演	いじめを理解する	20190600	単独	令和元(2019)年度生徒指導研究協議会				
		16	その他	地方会議/特別講演・記念講演	乳幼児期(0歳～6歳)の子どもの理解する	20190900	単独					
		17	その他	地方会議/特別講演・記念講演	被虐待児の心理～子どものこころの治療～	20200200	単独	小樽市学校保健会研修会				
		18	その他	地方学会	大学生におけるインターネット利用の心理的プロセス	20191006	共同(代表以外)	北海道心理学会第66回大会				

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-4)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数
3054	中村 和彦	1	論文	学術論文(査読無し)	ピア・サポート活動への参加と主体的学習態度の関連	20200300	共著(第一著者以外)	北星学園大学文学部	北星論集	57-2	7
		2	論文	学術論文(査読有り)	いじめ被害経験を有する学生のレジリエンス資源	20200331	共著(第一著者以外)	北海道社会福祉学会	北海道社会福祉研究	4 0-	
		3	その他	その他	北星学園大学ラーニング・commonsにおける学習支援サービスと今後の課題	20200300	共著(第一著者以外)	北星学園大学文学部	北星論集	57-2	9
		4	その他	研究ノート	ラーニング・commonsを利用する理由の探索的検討	20190900	共著(第一著者以外)	北星学園大学	北星学園大学文学部 北星論集	57-1	
		5	その他	研究ノート	ソーシャルワーク実践理論の整備に向けたスケッチー実践モデル・アプローチ・支援スキルの現在	20200300	単著	北星学園大学社会福祉学部	北星論集	-57	19
		6	その他	研究ノート	紛争解決研究の新機軸に関する学際的研究—コミュニティ・レジリエンスに着目して	20200300	共著(第一著者以外)	北星学園大学文学部	北星論集	57-2	11
		7	その他	受託研究	平成31年度・令和元年度厚生労働省生活困窮者就労準備支援事業等補助金(社会福祉推進事業)社会福祉士養成課程の見直しを踏まえた教育内容及び教育体制等に関する調査研究事業報告書	20200331	単著	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟		-	
		8	その他	翻訳	子ども・若者のレジリエンスに関連する要素と過程	20191000	共著(監訳者・編訳者以外)	相川書房	ソーシャルワーク研究	45-3	11
		9	その他	全国学会	学際性を基盤にした日本精神保健福祉学会の取組み—学術研究集会の歩みを振り返って	20190704	共同(代表以外)	第8回日本精神科医学会学術大会			
		10	その他	全国学会	積雪寒冷地に居住する高齢者の転倒予防・健康維持に対する取組みの検討—季節による身体機能・QOLの変化に着目して	20191006	共同(代表以外)	日本転倒予防学会第6回学術集会			
		11	その他	地方学会	北海道における精神保健福祉士のスーパービジョン実践の実状(調査報告)	20190525	共同(代表以外)	2019年度一般社団法人北海道精神保健福祉士協会全道大会			
		12	その他	地方学会	社会福祉士及び精神保健福祉士養成課程における教育内容の見直しと「災害」との関係	20191005	単独	北海道地域福祉学会2019年度全道研究大会			
3056	宮崎 靖士	1	論文	学術論文(査読無し)	一九三九～四二年における「満人作家」の日本語訳テキストがもつ表象傾向とその意義—「満洲」に関する日本語学研究への一視点として—(採録)	20191200	単著	論説資料保存会	中国関係論説資料	-第60号第2分冊	
		1	その他	その他	【新聞掲載】ひと 交差点 地区ごとに個性、市民の声で	20190600	その他	千歳民報	千歳民報	-2019年6月19日版	
		2	その他	その他	【新聞掲載】支え合う地域づくりを	20190600	その他	室蘭民報	室蘭民報(夕刊)	-2019年6月29日(夕刊)	
		3	その他	その他	【新聞掲載】道営住宅保証人制度見直し諮問 道、審議会に	20190600	その他	北海道新聞	北海道新聞	-2019年6月6日(金)総合、4頁	
		4	その他	その他	【新聞掲載】たるたる支え愛プラン 市の福祉計画 愛称決まる	20190800	その他	北海道新聞	北海道新聞	-2019年8月28日、(小樽・後志)19頁	
		5	その他	その他	【新聞掲載】地域ボランティア知ろう、きょう福祉フォーラム	20190800	その他	北海道新聞	北海道新聞	-2019年8月10日、(釧路・根室)14頁	
		6	その他	その他	【新聞掲載】道営住宅入居保証人不要に 道住宅対策審答申案	20190800	その他	北海道新聞	北海道新聞	-2019年8月6日、(金)総合、5頁	
		7	その他	その他	【新聞掲載】住民の社会参加 事例で効果強調 北星大教授が講演	20190900	その他	北海道新聞	北海道新聞	-2019年9月14日、(遠軽・紋別)	
		8	その他	その他	【新聞掲載】住民参加『楽しさ大切』 鶴居で地域福祉フォーラム	20190900	その他	釧路新聞	釧路新聞	-2019年9月3日、(釧路・根室管)	
		9	その他	その他	【新聞掲載】地域の支え合いテーマに学習会	20190900	その他	北海道新聞	北海道新聞	-2019年9月7日、(北見・オホーツク)	
		10	その他	その他	【新聞掲載】災害弱者 進め避難計画 高齢化、会員減 町内会、対応に苦慮	20190900	その他	北海道新聞	北海道新聞	-2019年9月19日、(金)総合、30頁	
		11	その他	その他	【新聞掲載】道営住宅整備方針見直しへ専門部会 道審議会が設置	20191100	その他	北海道新聞	北海道新聞	-2019年11月2日、(金)総合、5頁	
		12	その他	その他	【巻頭言】「第25回 北海道大会」を開催して	20200200	単著	日本福祉教育・ボランティア学習学会	日本福祉教育・ボランティア学習学会 学会ニュース	No. 71, p. 1	
		13	その他	その他/講師	【模擬講義】高校生にもできる地域福祉活動の担い手!～何ができるだろうか!～	20190600	単独	北星福祉			
		14	その他	その他/講師	【出張講義】高校生にもできる地域福祉活動の担い手!第1回目「講義」	20190700	単独	北星女子中学高等学校Coreコース北星大私大系連携プログラム			
		15	その他	その他/講師	【出張講義】高校生にもできる地域福祉活動の担い手!第2回目「グループワーク」	20190700	単独	北星女子中学高等学校Coreコース北星大私大系連携プログラム			
		16	その他	その他/講師	【出張講義】高校生にもできる地域福祉活動の担い手!第3回目「発表」	20190700	単独	北星女子中学高等学校Coreコース北星大私大系連携プログラム			
		17	その他	その他/講師	【コーディネーター】「高齢者等の移動・外出支援を考えるフォーラムin札幌 パネルディスカッション」	20191000	単独	高齢者等の移動・外出支援を考えるフォーラムin札幌			

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-4)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数		
3059	岡田 直人	18	その他	その他/講師	【出前講義】福祉実践を支える思想－ノーマライゼーションから今日まで－	20191000	単独	令和元年度 1学年対象出張講義（北星学園大学）					
		19	その他	その他/講師	【出前講義】福祉実践を支える思想－ノーマライゼーションから今日まで－（第1回）	20191100	単独	北星学園大学出前講義					
		20	その他	その他/講師	【出前講義】福祉実践を支える思想－ノーマライゼーションから今日まで－（第2回）	20191100	単独	北星学園大学出前講義					
		21	その他	国際学会	Trial to Categorize Needs in Life by Size Differences in Number of Neighborhood Association Households in Hokkaido	20191024	単独	11th IAGG Aaia/Oceania Regional Congress 2019)					
		22	その他	全国学会	社会福祉法人による地域マネジメントのあり方に関する研究～地域共生社会の実現に向けて～	20190608	共同（代表以外）	日本ケアマネジメント学会第18回研究大会 in 仙台					
		23	その他	全国学会	北海道における地域住民の町内会活動等に関する意識について	20190609	単独	日本地域福祉学会第33回大会					
		24	その他	全国学会	障害、特に知的障害のある人の就労支援をめぐる地域での取組事例－農福連携の観点から－	20190824	単独	日本発達障害学会第54回研究大会					
		25	その他	全国学会	【全体統括者】口頭発表「地域福祉2」	20190922	単独	日本社会福祉学会第67回秋季大会					
		26	その他	全国学会	【司会者】口頭発表「地域福祉1」	20190922	共同（代表以外）	日本社会福祉学会第67回秋季大会					
		27	その他	全国学会	単位町内会の世帯数規模の違いによる地域生活課題の特徴について-北海道における住民調査の結果から-	20190922	単独	日本社会福祉学会第67回秋季大会					
		28	その他	地方会議/その他	【コーディネーター】「シンポジウム：地域の生活課題への対応に向けた取組み事例について」	20191100	単独	令和元年度法人役員研修（社会福祉協議会）					
		29	その他	地方会議/その他	【協議】社協職員が担う生活支援コーディネーターに求められる役割について	20191100	単独	令和元年度第2回生活支援コーディネーター連絡会議					
		30	その他	地方会議/その他	【鼎談】単位町内会（マンション管理組合）での「備え」	20191100	共同	令和元年度 中央区福祉のまち推進センター 全体研修会					
		31	その他	地方会議/講師	【研修会】地域の支援計画に基づいた地域福祉活動（小地域ネットワーク活動）等の仕掛けのつくり方	20190600	単独	第1回ちとせ地域福祉市民会議					
		32	その他	地方会議/講師	【講演】ふれあいサロンの進め方～継続と活性化に向けて～	20190600	単独	令和元年度地域サロン運営者研究会					
		33	その他	地方会議/講師	【講義】今後の地域福祉のあり方～全国の先進地域から学ぶ～	20190600	単独	第4回苫小牧市地域福祉計画推進委員会					
		34	その他	地方会議/講師	【講演】旧くて新しいテーマと新たな地域の支え合い活動の振興に向けて 新たな担い手の発掘と地域共生社会	20190700	単独	令和元年度胆振管内 民生委員児童委員専門研修					
		35	その他	地方会議/講師	【講演】「旧くて新しいテーマと新たな地域の支え合い活動の振興に向けて 新たな担い手の発掘と地域共生社会」	20190800	単独	令和元年度釧路管内 民生委員児童委員専門研修					
		36	その他	地方会議/講師	【講演】地域の支え合い活動への新たな住民ボランティアの参加に向けて～ふくしまちづくりで地域共生社会の実現を～	20190800	単独	鶴居村生活支援体制整備事業 福祉フォーラム					
		37	その他	地方会議/講師	【講演】旧くて新しいテーマと新たな地域の支え合い活動の振興に向けて 新たな担い手の発掘と地域共生社会	20190800	単独	令和元年度檜山管内 民生委員児童委員専門研修					
		38	その他	地方会議/講師	【講演】地域の支え合い活動への新たな住民ボランティア参加に向けて～ふくしまちづくりで地域共生社会の実現を～	20190900	単独	湧別町生活支援体制整備事業 地域の支え合い活動を考える学習会					
		39	その他	地方会議/講師	【講演】第2講 地域共生社会を目指して～誰もが役割を持ち、活躍できる社会～	20190900	単独	令和元年度厚別区版大学連携CCRC事業					
		40	その他	地方会議/講師	【講演】地域の支え合い活動への地域住民の参加に向けて～ふくしまちづくり・地域共生社会の実現を～	20191000	単独	北星学園大学社会福祉学部地域社会貢献事業					
		41	その他	地方会議/講師	【講演】旧くて新しいテーマと新たな地域の支え合い活動の振興に向けて 新たな担い手の発掘と地域共生社会	20191000	単独	令和元年度日高管内 民生委員児童委員専門研修					
		42	その他	地方会議/講師	【講演】旧くて新しいテーマと新たな地域の支え合い活動の振興に向けて 新たな担い手の発掘と地域共生社会	20191000	単独	令和元年度渡島管内 民生委員児童委員専門研修					
		43	その他	地方会議/講師	【講演】コミュニティソーシャルワークでできること～住民参画と地域づくりの仕掛け人～	20191100	単独	令和元年度 第1回千歳市地域福祉勉強会					
		44	その他	地方会議/講師	【講演】地域の支え合い活動への地域住民の参加に向けて～ふくしまちづくりで地域共生社会の実現を～	20191100	単独	新得町地域コミュニティ研修会					
		45	その他	地方会議/講師	【講演】地域公益活動の推進と社協に期待される役割について～ごちゃ混ぜで地域共生社会の実現を～	20191100	単独	令和元年度法人役員研修（社会福祉協議会）					
		46	その他	地方会議/講師	【講演】災害に備えての『共助』～日頃のつながりが災害に強いまちに～ ふくしまちづくりで地域共生社会の実現が災害に強い地域社会をつくる	20191100	単独	令和元年度 中央区福祉のまち推進センター 全体研修会					
		47	その他	地方会議/講師	【講義】社協職員が担う生活支援コーディネーターに期待される機能と役割について～従来の社協活動との関係から～	20191100	単独	令和元年度第2回生活支援コーディネーター連絡会議					

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-4)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数	
		48	その他	地方会議/講師	【講演】地域の支え合い活動への地域住民の参加に向けて～ふくしまづくりで地域共生社会の実現を～	20191200	単独	地域福祉講座				
		49	その他	地方会議/講師	【講演】高齢者グループが取り組む地域支え合い活動～魅力ある老人クラブづくりを進めるために～	20191200	単独	令和元年度 高齢者相互支援推進研修会				
		50	その他	地方会議/講師	【講演】地域の支え合い活動へのアクティブシニアの参加に向けて～ふくしまづくりで地域共生社会の実現を～	20200100	単独	令和元年度地区社会福祉協議会活動研修会				
		51	その他	地方会議/講師	【講演】人と人が結びつき盛り上がっているある連合町内会の仕掛け～一人ではできないから、協力者を増やす要諦とは～	20200200	単独	地域支えあい研修会				
		52	その他	地方会議/講師	【講演】今必要とされている民生委員・児童委員の活動～基本姿勢や役割、職務内容を理解する～	20200200	単独	令和元年度 札幌市北区民生委員・児童委員研修会				
		53	その他	地方会議/講師	【講演】地域と連携したケアマネジメントのあり方～地域包括ケアシステムの深化に向けて～	20200200	単独	令和元年度 第4回指定居宅介護支援事業所等介護支援専門員研修会				
3063	伊藤 新一郎	1	その他	解説	『社会福祉士国家試験 過去問解説集2020』	20190500	その他	中央法規出版		-		
3064	鴨澤 あかね	1	その他	その他	【報告】「機能的サブグループ」で対人コミュニケーションを学ぶ	20191200	共著（第一著者）	日本集団精神療法学会	集団精神療法		35-2	
		2	その他	学術活動	「機能的サブグループ」で対人コミュニケーションを学ぶ	20190500	単著	九州集団療法研究会	九州集団療法研究会だより		-44	
		3	その他	国内会議/講師	教育研修セミナー グループを体験する	20191000	共同	日本精神分析学会第65回大会				
		4	その他	国内会議/講師	リフレクシオングループ（コンダクター）	20200300	単独	日本集団精神療法学会第37回大会				
		5	その他	全国学会	”機能的サブグループ”で対人コミュニケーションを学ぶ	20200322	共同（代表）	日本集団精神療法学会第37回大会				
		6	その他	地方会議/講師	「機能的サブグループ」で対人コミュニケーションを学ぶ	20190500	単独	第10回集団精神療法研究会研修会				
3067	眞嶋 良全	1	論文	学術論文(査読無し)	クラウドソーシングを認知科学研究に使うべきだろうか	20190600	単著		認知科学		26-2	
		2	論文	学術論文(査読無し)	統計教育ツールとしての jamovi.	20200300	共著（第一著者）		北星論集		57-	
		3	論文	学術論文(査読有り)	推論	20190600	単著	金子書房	児童心理学の進歩		58-	
		4	論文	学術論文(査読有り)	Obstacles to the spread of unintuitive beliefs.	20191000	共著（第一著者以外）		Evolutionary Human Sciences		1. E10-	
		5	論文	学術論文(査読有り)	日本人クラウドワーカーによるオンライン実験と大学生による実験室実験における認知課題成績の比較	20191100	共著（第一著者以外）		基礎心理学研究		38-1	
		6	論文	学術論文(査読有り)	Cognitive Reflection But Not Reinforcement Sensitivity Is Consistently Associated With Delay Discounting of Gains and Losses	20191200	共著（第一著者以外）		Journal of Neuroscience,		12-3-4	
		7	論文	学術論文(査読有り)	Development of the Japanese Version of the Generic Conspiracist Beliefs Scale (GCBS - J)	20200000	共著（第一著者）		Japanese Psychological Research	[Advance Online Publication]		
		8	著書	学術書	Why do you believe in pseudoscience or disbelieve in science?	20191000	共著（第一著者）	Hershey, PA: IGI Global.	Adapting Human Thinking and Moral Reasoning in Contemporary Society.			
		9	その他	国際学会	Cultural difference of the effect of analytical / intuitive thinking style on reasoning, JDM, and belief tasks.	20190700	単独	The 41st Annual Meeting of the Cognitive Science Society				
		10	その他	国際学会	Comparing the Performance of Cognitive Tasks Between Japanese Crowd Workers and University Students	20191116	共同（代表以外）	The 60th Annual Meeting of Psychonomic Society				
		11	その他	全国学会	直観的バイアス反応に対する認知的内省性検査（CRT）の予測力の普遍性について	20190525	共同（代表）	日本認知心理学会第17回大会				
		12	その他	全国学会	日本人クラウドワーカーと学生の Web 上での認知課題成績の比較	20190526	共同（代表以外）	日本認知心理学会第17回大会				
		13	その他	全国学会	日本語版一般的陰謀論者信念尺度の尺度構造の検討	20190912	共同（代表）	日本心理学会第83回大会				
3070	西原 明希	1	その他	研究報告	東京近郊の私立大学 8 校のコミュニケーション学コンテンツ科目のシラバスの分析 —NVivoを用いたテキスト分析—	20200100	共著（第一著者以外）	青山学院大学	Aoyama Journal of International Studies	7-1	5	
		2	その他	全国学会	海外スタディツアーの役割 —LGBTQ教育の事例を通して—	20190615	単独	日本国際理解教育学会第29回研究大会				
		3	その他	全国学会	日本人大学生の海外短期留学における多文化共生社会への学びと気づき	20191109	共同（代表）	第34回 異文化コミュニケーション学会 (SIETAR JAPAN)				

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-4)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数	
3072	永井 順子	1	論文	学術論文(査読無し)	北海道 苫小牧における精神保健ソーシャルワークの歴史と展開	20200100	共著(第一著者以外)	北翔大学	北翔大学教育文化学部研究紀要	-5		
		2	著書	学術書	福祉社会へのアプローチ: 久塚純一先生古稀祝賀	20190500	共著(編者・著者)	成文堂		-		
		3	その他	研究報告	稚内地区の精神保健医療福祉の歴史に関する一考察	20190500	共著(第一著者以外)		地域と住民: コミュニティケア教育研究センター年報	-3		
		4	その他	研究報告	北海道旭川市の精神保健医療福祉の形成過程における精神保健ソーシャルワークの所在	20200331	共著(第一著者)			北海道社会福祉研究	-40	
		5	その他	書評	今月の2冊 どうする どうなる 介護医療院	20190600	単著	健康保険組合連合会	健康保険		73-6	
		6	その他	書評	今月の2冊 保険審査委員による“保険診療&請求”ガイドライン	20191000	単著	健康保険組合連合会	健康保険		73-10	
		7	その他	その他/講師	「日本の社会福祉制度～高齢者と障害者の福祉制度に焦点をあてて～」	20190600	単独	JICA研修				
		8	その他	国内会議/パネリスト	SW専門職である社会福祉士・精神保健福祉士の養成教育における課題～新カリキュラム(案)を踏まえて～	20191100	共同	ソーシャルワーク教育学校連盟北海道ブロック 2019年度社会福祉教育セミナー				
		9	その他	国内会議/講師	ソーシャルワークの理念と障がい者への相談支援	20190500	単独	2019年度札幌市障がい者相談支援事業所新任職員研修				
		10	その他	国内会議/講師	個性性を重視した質の高いサービスを提供するための利用者理解(アセスメントと個別支援計画)	20200200	単独	令和元年度札幌この実会研修会内部研修(C)「支援の質を高めるグループワーク」				
		11	その他	全国学会	北海道における精神保健ソーシャルワークの生成要因 ～函館、室蘭、帯広の歴史の比較検討から～	20190602	共同(代表)	第8回日本精神保健福祉学会				
		12	その他	全国学会	北海道における精神科病院と精神保健ソーシャルワークの展開～地域生活支援への広がりをめぐって～	20191011	共同(代表以外)	第62回日本病院・地域精神医学会				
		13	その他	全国学会	北海道稚内市・名寄市における精神保健ソーシャルワークの展開と地域リハビリテーション資源創出の過程	20191123	共同(代表以外)	日本精神障害者リハビリテーション学会第27回大阪大会				
3073	佐藤 祐基	1	論文	学術論文(査読無し)	自閉症傾向が自己効力感および友人関係を介して大学生生活満足度に及ぼす影響	20200300	共著(第一著者)	北星学園大学	北星学園大学社会福祉学部北星論集	-第57号		
		2	その他	コメンテーター	【コメント】共感的な態度について: 小助川論文へのコメント	20200300	単著	北星学園大学心理臨床センター	北星学園大学心理臨床センター紀要	-第15号		
		3	その他	全国学会	【学会発表】北海道胆振東部地震における子どもの心のケア-北海道子どものこころのケアチームの活動報告-	20191206	共同(代表以外)	第60回日本児童青年精神医学会総会				
3076	大友 秀治	1	著書	著書	スクールソーシャルワークにおけるスーパービジョン実践モデルの生成: 参加型評価を活用したエンパワメントに着目して	20191200	単著	学文社		-	190	
		2	論文	学術論文(査読無し)	石狩市におけるSSW事業変遷のプロセスと今後の課題: 配置形態の移行に着目して	20200300	共著(第一著者)		北星論集	-57		
		3	論文	学術論文(査読有り)	エンパワメント評価を援用したスーパービジョン・ツールの試作	20190800	単著		社会福祉科学研究	-8		
		4	論文	学術論文(査読有り)	参加型評価を活用したスーパービジョンモデルの生成: 教育委員会に着目して事業を見立てるプロセス	20191100	単著		学校ソーシャルワーク研究	-14		
		5	その他	研究会・シンポジウム等	スクールソーシャルワークにおけるスーパービジョン実践モデルの生成	20190601	単独	北海道M-GTA研究会				
		6	その他	研究会・シンポジウム等	スクールソーシャルワークにおけるスーパービジョン実践モデルの生成	20200216	単独	第50回西日本M-GTA研究会				
		7	その他	地方会議/パネリスト	スクールソーシャルワークにおける実践基盤の整備について	20200200	共同	令和元年度 スクールソーシャルワーカーフォーラム				
		8	その他	地方会議/講師	スクールソーシャルワークの役割を振り返る	20190500	単独	令和元年度 第1回スクールソーシャルワーカー活用事業地域別研修会(全道会議)				
		9	その他	地方会議/講師	北海道スクールソーシャルワーカー第2回研修会	20190800	単独	北海道スクールソーシャルワーカー第2回研修会				
		10	その他	地方会議/講師	不登校について専門的視点と当事者の視点から考える	20191100	共同	令和元年度 第2回スクールソーシャルワーカー活用事業地域別研修会				
		11	その他	地方会議/講師	北海道スクールソーシャルワーカー第3回研修会	20200100	単独	北海道スクールソーシャルワーカー第3回研修会				

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-4)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数	
3080	田辺 等	1	著書	著書	依存症治療の最前線—グループでやめ方も生き方も学ぶ	20190601	共著（第一著者以外）	朝倉書店	アディクションサイエンス—依存・嗜癖の科学	-	293	
		2	著書	著書	長期臨床経験者の立場から	20191210	共著（第一著者以外）	中央法規出版	ギャンブル依存症—当事者から学ぶその真実	-	274	
		3	その他	その他	地域精神保健の縦系と横系	20191101	単著	北海道立精神保健福祉センター	精神保健福祉センター年報第51号	-51	80	
		4	その他	その他/基調講演	グループの活用で、こころの癒しと成長をサポートする	20190828	単独	令和元年度グループ・集団精神療法基礎研修会				
		5	その他	その他/基調講演	現代の新たな依存症	20190919	単独	うつ・自殺対策推進事業 市民健康講座				
		6	その他	その他/基調講演	ギャンブル依存症	20191031	単独	令和元年度室蘭地方精神保健協会講演会				
		7	その他	その他/基調講演	ギャンブル依存症の治療と支援	20191114	単独	令和元年度ギャンブル依存症支援者研修会				
		8	その他	その他/基調講演	大切な人を自死で喪うということ—グループカウンセリングの経験から	20191207	単独	こころのカフェきょうと講演会				
		9	その他	その他/基調講演	アルコール健康障害と地域医療連携の課題	20200131	単独	令和元年度かかりつけ医依存症対応力向上研修会				
		10	その他	その他/基調講演	アディクションの集団精神療法	20200201	単独	鳥取県アルコール健康障害・薬物依存症支援拠点機関事業				
		11	その他	その他/講師	地域における相談支援	20190822	単独	2019年度第1回ギャンブル等依存症研修				
		12	その他	その他/講師	依存症のリハビリに必要なこと	20191003	単独	第60回青森県精神保健福祉大会				
		13	その他	その他/講師	地域における相談支援	20191212	単独	2019年度第2回ギャンブル等依存症研修				
		14	その他	その他/特別講演・記念講演	精神科臨床とスピリチャリティー～心の癒しと心の成長～	20190606	単独	札幌矯正管区教諭師研修大会				
		15	その他	その他/特別講演・記念講演	ギャンブル依存の理解と支援の在り方	20190720	単独	令和元年度依存症支援者研修				
		16	その他	国際学会	Effectiveness of group psychotherapy for patients with gambling disorder in a local mental health and welfare center in Japan	20190617	共同（代表）	The 6th international conference on behavioral addictions				
		17	その他	全国学会	ギャンブル依存症（ギャンブル障害）の治療と回復支援	20190705	単独	第8回日本精神科医学会学術大会				
		18	その他	全国学会	現場で使える集団精神療法	20190914	単独	日本デイケア学会第24回年次大会札幌大会				
		19	その他	全国学会	ギャンブル障害の治療経験からみた嗜癖問題の課題	20191005	単独	2019年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会				
		20	その他	地方会議/特別講演・記念講演	職員のメンタルヘルスについて	20190702	単独	2019年度 北海道児童養護施設職員研修会				
3082	吉田 竜平	1	論文	学術論文(査読無し)	ケイパビリティ・アプローチの再検討—その限界と今後に向けて—	20200300	単著		北星学園大学社会福祉学部北星論集	-57	11	
3083	播磨 正一	1	その他	全国学会	卒業後の就職支援を見据えた地域連携Ⅲ	20190922	共同（代表以外）	日本特殊教育学会第57回大会				
3084	斎藤 仁史	1	その他	地方会議/講師	次世代図書館の構想：貸出中心から学習中心への転換	20200100	単独	令和元年度 釧路・根室管内公共図書館協議会地方研究集会				
		2	その他	地方学会	学習重視型公立図書館の探究：くにたち公民館図書室を参考に	20190609	単独	日本社会教育学会				
3085	五味田 泰	1	論文	学術論文(査読無し)	詩篇「エーリンナ」にみるバンヴィルの詩論	20200331	単著	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会	慶應義塾大学日吉紀要 フランス語フランス文学	-70	21	
		2	その他	研究会・シンポジウム等	詩法から考える 19世紀フランス抒情詩	20190727	単独	フランス抒情詩研究会				
		3	その他	全国学会	19世紀抒情詩における音楽と詩形—詩的シャンソンを中心に	20191027	単独	日本フランス語フランス文学会（ワークショップ「フランス抒情詩における形式を音楽」）				

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-5)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数
5002	内山 智	1	その他	研究ノート	機械論的量子論についての試論	20200315	単著	北星学園大学	北星学園大学短期大学部北星論集	18-	12
5005	ロバート・ゲティンクス	1	その他	研究会・シンポジウム等	Timed Extensive Writing	20190906	単独	Hokkaido Moodle Summer Workshop			
		2	その他	国際学会	English as a Foreign Language writing assignments and plagiarism: Japanese students' beliefs in 2014 and 2019	20190528	単独	IJAS Boston			
		3	その他	国際学会	Managing CALL based timed, extensive writing tasks for writing fluency using Moodle and Google Documents	20190809	単独	GloCALL 2019			
		4	その他	国際学会	MALL Symposium: MyMobileWorld & MALL	20190828	共同(代表以外)	Euro CALL			
		5	その他	国際学会	Using Moodle to manage CEFR-informed, timed, extensive, EFL writing tasks	20190829	単独	Euro CALL			
		6	その他	地方学会	It's not just a test! The Moodle Quiz activity & language learning	20190629	単独	JALT Kobe			
5008	中村 浩	1	著書	著書	横田正夫 編 日本心理学会心理学叢書「アニメーションの心理学」	20190900	共著(第一著者)	誠信書房 日本心理学会		-	232ページ
		2	その他	全国学会	影の運動(v-movement)によるフリッカー運動残効の研究	20190913	単独	日本心理学会第83回大会			
		3	その他	全国学会	影の運動による捕捉現象のさまざまなバリエーションを手掛かりとした仮現運動の考察	20191103	単独	2019年度日本アニメーション学会『秋の研究集会@新千歳』			
5012	ジャン・マウン	1	その他	国際学会	Utilizing Mind Brain and Education Practices in the Classroom	20190712	単独	4th International Conference on Innovative Education and Technology (ICIET 2019)			
		2	その他	国際学会	LiLT Program Overview	20191102	単独	The Japan Association For Language Teaching Conference (JALT 2019)			
		3	その他	国際学会	Fostering Self-Assertive Study Abroad Students	20191103	単独	The Japan Association For Language Teaching Conference (JALT 2019)			
		4	その他	国際学会	Easily Incorporated Brain-based Teaching Hacks	20191123	単独	International Conference on Interdisciplinary Academic Research 2019			
		5	その他	国際学会	Dependent Stages: Knowing in Shakespeare (Part 2)	20200306	単独	Northeast Modern Language Association Convention 2020			
		6	その他	国際学会	Shakespeare as Western Icon	20200306	単独	Northeast Modern Language Association Convention 2020			
		7	その他	国際学会	Stumbling Counsel	20200306	単独	Northeast Modern Language Association Convention 2020			
		8	その他	国際学会	Teaching and Engaging Shakespeare in the Classroom (Part 2)	20200306	単独	Northeast Modern Language Association Convention 2020			
		9	その他	全国学会	Cinderella Through Feminist Criticism	20190518	単独	JALT PanSIG Conference			
5015	森越 京子	1	論文	学術論文(査読有り)	Tour Guide-Interpreter Education from the English for Specific Purposes Perspective	20200300	共著(第一著者以外)	大学英語教育学会(JACET)北海道支部	JACET北海道支部紀要	-16	
		2	その他	研究ノート	北星学園大学におけるバリアフリーの環境の現状と課題—すべての人にやさしい大学を目指して—	20200300	共著(第一著者以外)	北星学園大学	北星大学社会福祉学部北星論集第57号	-57	
		3	その他	国際学会	Japan's New Tour Guide-Interpreter System: Guides' Perspectives and Training	20190522	共同(代表以外)	2019 APacCHRIE & EuroCHRIE Joint Conference			
5016	藤原 里佐	1	著書	著書	いじめ・虐待・貧困から子どもたちを守るためのQ&A	20190715	共著(編者・著者以外)	生活書院		-	
		2	その他	その他	入門 障害者政策 コラム「家族」	20191105	共著(第一著者以外)	ミネルヴァ書房		-	2
5022	風戸 真理	1	その他	その他/特別講演・記念講演	モンゴルの詩歌と言語アイデンティティ	20200215	単独	あそぶっく講座			
		2	その他	国際学会	Pastoralists' animal handling culture reflected on social media: Depiction of Livestock and pets by Mongolians on Facebook	20190822	単独	International Altay Communities Symposium - VIII Animal and Animal Husbandry			
		3	その他	国際学会	Everyday Eating Behavior and Notions of Mongolian Pastoralists	20191024	単独	Ninth International Conference on Food Studies			
		4	その他	全国学会	文化と身体との交差点としての食: 文化固有性・産業化・異業種ネットワーク(分科会趣旨)	20190601	単独	日本文化人類学会第53回研究大会			
		5	その他	全国学会	食文化にみる標準性・地域性・身体性: モンゴル国の食事と饗応より	20190601	単独	日本文化人類学会第53回研究大会			
		1	論文	学術論文(査読無し)	接客コミュニケーション能力の評価指標の開発に向けて—フロント業務に関するインタビュー調査の報告—	20200300	共著(第一著者以外)	日本観光ホスピタリティ教育学会	日本観光ホスピタリティ教育学会 No. 18	-18	

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-5)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数	
5024	田中 直子	2	論文	学術論文(査読有り)	Tour Guide-Interpreter Education from the Specific Purposes Perspective	20200300	共著(第一著者)	JACET 北海道支部	大学英語教育学会(JACET)北海道支部紀要第16号	-16		
		3	その他	研究ノート	香港の認定観光ガイド制度から学ぶこと	20200300	単著	北星学園大学	北星学園大学短期大学部北星論集「第18号通関第56号」	-18		
		4	その他	国際学会		Japan's New Tour Guide-Interpreter System: Guides' Perspectives and Training	20190523	共同(代表)	2019 APacCHRIE & EuroCHRIE Joint Conference			
		5	その他	全国学会		接客コミュニケーション能力の評価指標の開発に向けて	20200307	共同(代表以外)	日本観光ホスピタリティ教育学会 第19回全国大会			
5025	白鳥 金吾	1	論文	学術論文(査読有り)	Supporting English education reform in Japan: The role of B1 Preliminary	20190400	単著	Cambridge Assessment English		-		
		2	論文	学術論文(査読有り)	The relationship between EFL learners' success and their beliefs, learning strategies and confidence in L2	20191000	単著			-		
		3	その他	解説		高校からみた中学校英語教育の改善	20191000	その他	一般財団法人きょういく創造育成財団	HIRAKU	-	
		4	その他	研究報告		ケンブリッジ英語検定B1 Preliminaryが英語力向上に果たす役割	20190500	単著	大修館書店	英語教育	68-2	
		5	その他	その他/講師		英語で学ぶ英文法~Grammar in Useの授業での実戦~	20190600	単独				
		6	その他	国際学会		日本における英語教育改革を考える:ケンブリッジ英語検定の役割に関する研究	20190830	共同(代表)	大学英語教育学会(JACET)第58回国際大会			
		7	その他	全国学会		学習者の英語力と学習観、学習方法、自信度との関係	20190822	単独	日英言語文化学会(AJELC)第71回定例研究会			
		8	その他	全国学会		大学入学者選抜における民間試験の活用についてーケンブリッジ英検の検証を通じた考察	20190912	単独	日本語テスト学会2019年度全国研究大会			
5026	マシュー・コッター	1	論文	学術論文(査読有り)	Using virtual exchange in the language classroom: Results	20191200	共著(第一著者以外)	Research-publishing.net.	CALL and complexity - short papers from EUROCALL 2019	-		
		2	論文	学術論文(査読有り)	Video assessment module: Self, peer and teacher post-performance assessment for learning	20191200	共著(第一著者)	Research-publishing.net.	CALL and complexity - short papers from EUROCALL 2019	https://doi.org/10.14795/rnet.2019.38.992		
		3	その他	国際学会		L1 or L2? Comparing Two Indigenous Culture Classes	20190519	単独	2019 JALT - PanSig			
		4	その他	国際学会		Getting Online: Activities for Intercultural Communication	20190622	単独	2019 Okinawa JALT Summer Language Teaching Symposium			
		5	その他	国際学会		The Maori Haka: Cultural Understanding Through Traditional Performance	20190622	単独	2019 Okinawa JALT Summer Language Teaching Symposium			
		6	その他	国際学会		The International Indigenous Virtual Exchange and Using Online Tools in the Indigenous Classroom.	20190810	単独	GloCALL 2019			
		7	その他	国際学会		The International Virtual Exchange Project - teachers' perspectives	20190810	共同(代表以外)	GloCALL 2019			
		8	その他	国際学会		The Video Assessment Module: Self, Peer and Teacher Post-Performance Assessment for Learning	20190830	共同(代表)	EUROCALL 2019			
		9	その他	国際学会		Using Virtual Exchange in the Language Classroom: Results	20190831	共同(代表以外)	EUROCALL 2019			
		10	その他	国際学会		Improving Cultural Understanding and Appreciation - International Virtual Exchange Project	20191011	単独	2019 KoTesoI			
		11	その他	国際学会		Intercultural Understanding - Implementing the International Virtual Exchange Project	20191102	単独	第45回全国語学教育学会年次国際大会			
		12	その他	国際学会		Performance-based Assessment: Online/Paper Feedback Technologies	20191102	共同(代表以外)	第45回全国語学教育学会年次国際大会			
		13	その他	国際学会		Video Quizzes for Flipped Communication Classes	20191103	共同(代表以外)	第45回全国語学教育学会年次国際大会			
		14	その他	国際学会		Use of CEFR Levels for Measuring Japanese Learners' English Ability	20200125	共同(代表)	OkinawaJALT Trends in Language Teaching 2020			
		15	その他	国際学会		The International Virtual Exchange Project in Action	20200202	共同(代表以外)	2020 Winter Language Teaching Conference			
		16	その他	国際学会		Enhancing Learning and Cultural Understanding Through Traditional Performance: The Maori Haka	20200203	単独	2020 Winter Language Teaching Conference			
		17	その他	国際学会		Talk the Talk and Walk the Walk: Theory and Practice in a Sports EMI Class	20200203	単独	2020 Winter Language Teaching Conference			
		18	その他	国際学会		Rubrics: Designing for Student Learning	20200226	共同(代表)	MAJ Online MOOT 2020			

17 専任教員の研究業績[2019年度]

(2019. 3. 31現在)

(表VI-17-5)

掲載順	氏名	順番	形態分類	区分	標題	出版年月日または発表年月日	執筆分類または発表形態	出版社・発行元または発表学会等	掲載誌名	掲載巻・号	頁数
		19	その他	国際学会	Moodle for Maori: Making Moodle Happen for First Time Moodlers	20200227	共同(代表)	MAJ Online MOOT 2020			
		20	その他	国際学会	Report on the MAJ funded Forum Report	20200227	共同(代表以外)	MAJ Online MOOT 2020			
		21	その他	全国学会	Moodling Tools for Intercultural Communication	20190905	単独	2019 Hokkaido Moodle Workshop			
		22	その他	地方会議/特別講演・記念講演	Using the Various Functions of Moodle	20190900	単独	Te Ahu O Te Reo Maori ki te Taiuru			
		23	その他	地方会議/特別講演・記念講演	幼少期から異文化にふれることの意義や家庭でできるグローバル教育について	20191200	単独	北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課			
		24	その他	地方学会	Methods and Effects of Teaching Maori Studies Courses in Japan	20191012	単独	星学祭の研究展示			
5027	ヘイディ・トムソン	1	その他	国際学会	Learner use of multi-word expressions increases, but what about fluency?	20190701	単独	Vocab@Leuven International Conference			
		1	論文	学術論文(査読無し)	統計教育ツールとしての jamovi	20200300	共著(第一著者以外)		北星論集	-57	
5028	藤木 晶子	2	その他	国際学会	Comparing characteristics of movement imagery in soccer players with congenital and acquired blindness: Focused ESMI-BS Score and Imagery Structure	20200302	共同(代表以外)	36th Pacific Rim International Conference on Disability & Diversity			
		3	その他	全国学会	折り紙イメージの機能的側面-非剛体変換能力との関連性から	20190525	単独	日本認知心理学会第17回大会			
		4	その他	全国学会	社会的ジレンマ事態における社会的自己制御と断り行動の関係—自己主張能力に注目した検討	20191006	共同(代表)	北海道心理学会第66回大会			
		5	その他	全国学会	立体形成イメージに関わる空間操作能力の役割	20191207	単独	日本イメージ心理学会第20回大会			
5029	山本 慎平	1	その他	研究ノート	新渡戸稲造旧蔵書の書き込み調査の経過—その特徴とスミス『国富論』への書き込みについて—	20200300	単著		北星学園大学短期大学部北星論集	-18	8
		2	その他	全国学会	新渡戸旧蔵書の書き込みから見る新渡戸稲造の経済思想	20190616	単独	日本経済思想史学会第30回全国大会			
		3	その他	地方学会	新渡戸稲造旧蔵書の書き込みと新渡戸のアダム・スミス理解について	20191207	単独	経済社会学会西部部会			

18 経済学部研究資料室の図書・雑誌等購入状況

[2015～2019]

(表VI-18)

年 度 図書並びにその他の資料	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年間平均
当該年度受入図書冊数(冊)	28	29	27	29	42	31
(外国書内数)	(3)	(5)	(3)	(4)	(2)	(3)
当該年度受入雑誌数(種類)	55	55	53	52	38	51
(外国誌内数)	(27)	(27)	(25)	(26)	(22)	(25)

19 教員研究室〔2019年度〕

(1) 大学

(2019年5月1日現在) (表VI-19-①)

学 部	室 数			総面積 (㎡) (B)	1室当たりの平均面積 (㎡)		専任教員数 (C)	個室率(%) (A/C*100)	教員1人当たりの平均面積 (㎡) (B/C)	備 考
	個室(A)	共 同	計		個 室	共 同				
文学部	31	0	31	773.24	25	0	32	97	24.94	助教1名については個室を有していないため、31名で平均面積を算出した。
経済学部	49	0	49	1,255.85	25	0	49	100	25.63	
社会福祉学部	38	0	38	947.21	25	0	39	97	24.93	助教1名については個室を有していないため、38名で平均面積を算出した。
計	118	0	118	2,976.30	25	0	120	98	25.22	助教2名については個室を有していないため、118名で平均面積を算出した。

(2) 短期大学部

(2019年5月1日現在) (表VI-19-②)

学 部	室 数			総面積 (㎡) (B)	1室当たりの平均面積 (㎡)		専任教員数 (C)	個室率(%) (A/C*100)	教員1人当たりの平均面積 (㎡) (B/C)	備 考
	個室(A)	共 同	計		個 室	共 同				
短期大学部	18	0	18	366.87	20	0	18	100	20.38	

- [注] 1 「室数」、「総面積」欄には、学部、大学院研究科等の保有する全ての教員研究室についてこれを記入すること。
 2 「1室当たりの平均面積」は全ての教員研究室について、「教員1人当たりの平均面積」は、学部、大学院研究科等の専任教員が実際に使用している教員研究室について算出すること。
 3 「個室率」の算出にあたっては、個室数が専任教員数を上回る場合は、原則として100%と記入すること。
 4 個室を持たない教員については、「備考」欄にその数を記入すること。
 5 学長及び国際交流教員は、含めないこと。

21 公的監査ガイドライン説明会実施状況

[2017～2019年度]

(表VI-21)

	説明会・研修会の名称	実施日時	実施場所	説明者等	各年度参加者数	実施内容
2017年度	2017年度 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」に基づく学内説明会	2017年6月21日 17:10～18:40	北星学園大学 A館 A305教室	ロバスト・ジャパン株式会社 代表取締役 中安 豪氏 研究支援課 田中 課長	内訳 研究者 108名 事務職員 28名 合計 136名	講演：「適切な外部資金獲得と研究管理」 講師：ロバスト・ジャパン株式会社 代表取締役 中安 豪氏 説明：「研究費の支出手続きに係る主な注意点」 配布資料： ①講演資料「適切な外部資金獲得と研究管理」 ②研究費の支出手続きに係る主な注意点 ③個人研究費の支出手続き等に関するガイドライン ④北星学園大学公的研究費ハンドブック ⑤平成29年度公的研究費 確認書（誓約書） ⑥平成29年度公的研究費の使用及び取扱いにあたっての確認書（誓約書）
2018年度	2018年度 北星学園大学における公的研究費及び研究活動についての学内説明会	2018年6月20日 17:10～18:30	北星学園大学 A館 A403教室	学長 大坊 郁夫 研究支援課 田中 課長	内訳 研究者 116名 大学院生 20名 事務職員 30名 合計 166名	講演：「適切な外部資金獲得と研究倫理」 講師：大坊 郁夫 学長 説明：「研究費の支出手続き及び研究倫理に係る主な注意点」 説明者：研究支援課 田中 課長 配布資料： ①講演資料「適切な外部資金獲得と研究倫理」 ②研究費の支出手続き及び研究倫理に係る主な注意点 ③北星学園大学研究倫理ハンドブック ④個人研究費の支出手続き等に関するガイドライン ⑤北星学園大学公的研究費ハンドブック ⑥平成30年度公的研究費に関する確認（誓約）書（教職員用） ⑦平成30年度公的研究費等に関する確認（誓約）書（大学院生用） ⑧図書「科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－」（教員のみ）
2019年度	2019年度 公的研究費・研究活動研修会	2019年6月12日 17:10～18:30	北星学園大学 A館 A305教室	学長 大坊 郁夫	内訳 研究者 107名 大学院生 12名 事務職員 27名 合計 146名	講演：「研究倫理と研究活動の活性化」 講師：大坊 郁夫 学長 配布資料： ①講演資料「研究倫理と研究活動の活性化」 ②令和元年度公的研究費に関する確認（誓約）書（教職員用） ③令和元年度公的研究費等に関する確認（誓約）書（大学院生用）

22 本学の科学研究費助成事業に係る説明会・研修会実施状況〔2018～2019年度〕

(表VI-22)

	説明会・研修会の名称	実施日時	実施場所	説明者等	参加者数	実施内容
2018年度	平成31年度科研費公募 学内説明会	①2018年9月19日 12:20～ ②2018年9月26日 12:30～	北星学園大学 C館 C700教室	①第1回説明会 北星学園大学・北星学園大学 短期大学部 大坊 郁夫 学長 北星学園大学 文学部 松浦年男 准教授 ②第2回説明会 北星学園大学 社会福祉学部 杉岡直人 教授 ロバストジャパン株式会社 代表取締役 中安豪 氏	参加者総数 (2回合計) 研究者 56名	内容： ①第1回説明会 「科学研究費補助金申請を工夫する」 北星学園大学・北星学園大学短期大学部 大坊 郁夫 学長 「科研費獲得のためのエトセトラ」 文学部 松浦年男 准教授 ②(第2回説明会) 「科研費申請書の作成ポイント」 社会福祉学部 杉岡直人 教授 「科研費制度改革新様式に対応した申請戦略」 ロバストジャパン株式会社 代表取締役 中安豪 氏 配布資料： ①「科学研究費補助金申請を工夫する」 ②「科研費獲得のためのエトセトラ」 ③「科研費申請書の作成ポイント」 ④「科研費制度改革新様式に対応した申請戦略」
2019年度	令和2年度科研費公募 学内説明会	2019年9月13日 17:00～	北星学園大学 B館 B500教室	ロバストジャパン株式会社URA 松場 里弥 氏	参加者総数 研究者 55名	内容： 「科研費制度改革・新様式に対応した申請戦略」 ロバストジャパン株式会社URA 松場 里弥 氏 配布資料： ①「科研費制度改革 新様式に対応した申請戦略 (パワーポイント)」 ②「令和2年度科研費公募学内説明会資料」

24 本学の研究倫理審査承認課題一覧〔2019年度〕

(表VI-27)

承認番号	承認日	研究課題名	申請者	指導教員 (大学院生の場合)
19-研倫 1号	2019 4 12	「不安定化尺度」の妥当性研究	社会福祉学部 田澤安弘	
19-研倫 2号	2019 4 12	集団の文化と個別のモノや身体	短期大学部 風戸真理	
19-研倫 3号	2019 4 12	女子大学生の回帰的報告から捉える母娘関係の発達－ライフライン・インタビューを用いて－	社会福祉学研究所 小助川瑠偉	牧田浩一教授
19-研倫 4号	2019 4 24	「北海道における精神保健ソーシャルワークの歴史記録と教育コンテンツの構築」 (2017～2019年度科学研究費助成事業課題番号:17K04230)	社会福祉学部 永井順子	
19-研倫 5号	2019 4 24	本学における主体的な学習活動の変遷	文学部 永井暁行	
19-研倫 6号	2019 4 24	「社会的学習場面における自身の投射に基づく他者の学習支援」	文学部 石川 悟	
19-研倫 7号	2019 4 24	妊娠前からの子育て支援の必要性	文学部 柿原久仁佳	
19-研倫 8号	2019 5 15	大学生の障害福祉に関する意識の横断的かつ縦断的研究	社会福祉学部 豊村和真	
19-研倫 9号	2019 6 5	折り紙行為に関わるイメージ操作能力の役割	短期大学部 藤木晶子	
19-研倫 10号	2019 6 5	社会的自己制御能力と断り表現の関係	短期大学部 藤木晶子	
19-研倫 11号	2019 6 5	北星ピア・サポーターおよび本学学生の能力向上に関する縦断調査	文学部 永井暁行	
19-研倫 12号	2019 6 5	ピア・サポーターの成長を測定する尺度作成の試み	文学部 永井暁行	
19-研倫 13号	2019 6 5	理想自己と現実事故のズレへのとらえと対処方略が自己受容およびシャイネスに及ぼす影響	社会福祉学部 栗林克匡	
19-研倫 14号	2019 6 5	大学生の先延ばし行動に関する研究	社会福祉学部 栗林克匡	
19-研倫 15号	2019 6 5	仮想的有能感・ソーシャルスキルがインターネット上での行動に及ぼす影響 －ネット依存とネット荒らし行為に着目して－	社会福祉学部 栗林克匡	
19-研倫 16号	2019 6 5	大学生の歩きスマホ行動に公的自己意識が及ぼす影響	社会福祉学部 栗林克匡	
19-研倫 17号	2019 6 5	異文化感受性が大学生の友人関係に及ぼす影響	社会福祉学部 栗林克匡	
19-研倫 18号	2019 6 5	Twitterのアイコン選択と投稿内容の関連	社会福祉学部 栗林克匡	
19-研倫 19号	2019 6 5	知的障害者の権利意識の成就過程	社会福祉学研究所 神部雅子 (研究生)	田中耕一郎教授
19-研倫 20号	2019 7 17	被災地における木育と融合させた防災教育の試み	文学部 柿原久仁佳	
19-研倫 21号	2019 7 17	親子並行面接に関する研究	社会福祉学部 牧田浩一	
19-研倫 22号	2019 7 17	普段と異なる自己呈示が受け手の認知に及ぼす影響	社会福祉学部 栗林克匡	
19-研倫 23号	2019 7 17	依存してくる他者への対処とストレスに関する研究	社会福祉学部 栗林克匡	
19-研倫 24号	2019 7 17	性同一性障害のある学校教員の教職意識調査	社会福祉学部 田実 潔	
19-研倫 25号	2019 7 17	「北海道における精神保健ソーシャルワークの歴史記録と教育コンテンツの構築」 (2017～2019年度科学研究費助成事業課題番号:17K04230)	社会福祉学部 永井順子	
19-研倫 26号	2019 7 17	心拍の認識および操作が時間判断に与える影響の検討	社会福祉学部 眞嶋良全	
19-研倫 27号	2019 7 17	他者の非先延ばし行動の伝染	社会福祉学部 眞嶋良全	
19-研倫 28号	2019 7 17	積丹町における福祉課題の発見と解決に関する研究	社会福祉学部 中田知生	
19-研倫 29号	2019 7 17	がん体験者の心の探求に関する探索的研究 -グループ・アプローチ“機能的サブグループ”を用いた未知なるものへの直面と探求の効用	社会福祉学部 鴨澤あかね	
19-研倫 30号	2019 7 17	社会福祉を専攻する学生の地方部における就労意向及びその関連要因に関する調査	社会福祉学部 畑 亮輔	
19-研倫 31号	2019 7 17	「歩きスマホ」が感覚的注意・時間評価に及ぼす影響	短期大学部 藤木晶子	
19-研倫 32号	2019 9 13	自転車タクシー運行事業者の意識と課題に関する研究-ペロタクシーを事例として-	経済学部 大原昌明	
19-研倫 33号	2019 9 13	がん体験者の心の探求に関する探索的研究 -グループ・アプローチ“機能的サブグループ”を用いた未知なるものへの直面と探求の効用	社会福祉学部 鴨澤あかね	
19-研倫 34号	2019 9 13	大学生の不登校傾向と友人関係及び精神的回復力との関連	社会福祉学部 佐藤祐基	
19-研倫 35号	2019 9 13	対象喪失とその回復に関わる諸要因 -個人特性と対処行動が悲嘆感情に与える影響-	社会福祉学部 西山 薫	
19-研倫 36号	2019 9 13	地域における通訳案内士教育のあり方の研究	短期大学部 田中直子	
19-研倫 37号	2019 10 16	妊娠にかかわる知識に影響を与える要因についての検討	文学部 柿原久仁佳	
19-研倫 38号	2019 10 16	コラージェの教育への導入に関する研究	社会福祉学部 牧田浩一	
19-研倫 39号	2019 10 16	不安定化機能尺度(ASFscale)の妥当性の再検討	社会福祉学部 田澤安弘	
19-研倫 40号	2019 10 16	陰謀論者信念尺度(Generic Conspiracist Belief Scale)の文化を越えた測定不変性の検討	社会福祉学部 眞嶋良全	

24 本学の研究倫理審査承認課題一覧〔2019年度〕

(表VI-27)

	承認番号	承認日	研究課題名	申請者	指導教員 (大学院生の場合)
41	19-研倫 41号	2019/10/16	フェイクニュースの受容と個人の認知特性の関連に関する研究	社会福祉学部 眞嶋良全	
42	19-研倫 42号	2019/10/16	他者の非先延ばし行動の伝染	社会福祉学部 眞嶋良全	
43	19-研倫 43号	2019/11/13	岩木川河川敷における環境ガバナンスのダイナミズムに関する研究	文学部 寺林暁良	
44	19-研倫 44号	2019/11/13	子どもと家庭における生活実態に関する調査研究(地方都市B)	社会福祉学部 松岡是伸	
45	19-研倫 45号	2019/11/13	人のレジリエンスを促進するコミュニティ要因の実証研究ー国際地域比較研究調査を通して(科学研究費助成事業 19K02218)	社会福祉学部 中村和彦	
46	19-研倫 46号	2019/11/13	ソーシャルワーク・スーパービジョンにおける「事例検討法」の再検討ー精神保健ソーシャルワーカーへの具体的展開を基にー	社会福祉学研究科 下坂佳苗	中村和彦教授
47	19-研倫 47号	2019/11/13	スマートフォンゲーム依存傾向測定尺度の作成	社会福祉学研究科 上倉千穂	佐藤祐基専任講師
48	19-研倫 48号	2019/12/11	オンライン調査において端末種類と呈示形式が回答傾向と測定の信頼性に与える影響	社会福祉学部 眞嶋良全	
49	19-研倫 49号	2019/12/11	女性視覚障害者における複合差別の経験とその意味づけー女性視覚障害者は複合差別をどのように生きてきたかー	社会福祉学研究科 安達朗子	田中耕一郎教授
50	19-研倫 50号	2020/1/8	日本語版 REIm-13 尺度の作成・妥当性の検証	社会福祉学部 眞嶋良全	
51	19-研倫 51号	2020/2/19	スマートフォンゲーム依存傾向測定尺度の作成	社会福祉学部 佐藤祐基	
52	19-研倫 52号	2020/3/5	特別養子縁組制度の運用と可能性の検討	経済学部 足立清人	
53	19-研倫 53号	2020/3/5	日本資本による土地・建物取引の検証と考察-インドネシア・バリ島を素材に	経済学部 足立清人	
54	19-研倫 54号	2020/3/5	「私的自治の原則」と「契約自由の原則」の実践的理解に向けて	経済学部 足立清人	
55	19-研倫 55号	2020/3/5	英語の発音に関する学習者ヒリーフの変化の研究	短期大学部 田中直子	

Ⅶ. 本学の学生の受入れに関すること

1 学部・学科の特別入試による在籍学生数一覧〔2019年度〕

(1) 大学

2019. 5. 1現在

(表Ⅶ-1-①)

種別	学 科	在籍学生 総 数	在 籍 学 生 数				備 考
			第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
社 会 人	文学部英文	1人	0人	0人	0人	1人	
	心理・応用 コミュニケーション	0人	0人	0人	0人	0人	
	経 済	0人	0人	0人	0人	0人	
	経 営 情 報	0人	0人	0人	0人	0人	
	経 済 法	0人	0人	0人	0人	0人	
	福祉計画	0人	0人	0人	0人	0人	
	福祉臨床	0人	0人	0人	0人	0人	
	福祉心理	0人	0人	0人	0人	0人	
	合 計	1人	0人	0人	0人	1人	
帰 国 生 徒	文学部英文	0人	0人	0人	0人	0人	
	心理・応用 コミュニケーション	0人	0人	0人	0人	0人	
	経 済	0人	0人	0人	0人	0人	
	経 営 情 報	0人	0人	0人	0人	0人	
	経 済 法	0人	0人	0人	0人	0人	
	福祉計画	0人	0人	0人	0人	0人	
	福祉臨床	0人	0人	0人	0人	0人	
	福祉心理	0人	0人	0人	0人	0人	
	合 計	0人	0人	0人	0人	0人	
外 国 人 留 学 生	文学部英文	0人	0人	0人	0人	0人	
	心理・応用 コミュニケーション	0人	0人	0人	0人	0人	
	経 済	0人	0人	0人	0人	0人	
	経 営 情 報	1人	0人	0人	1人	0人	
	経 済 法	0人	0人	0人	0人	0人	
	福祉計画	0人	0人	0人	0人	0人	
	福祉臨床	0人	0人	0人	0人	0人	
	福祉心理	0人	0人	0人	0人	0人	
	合 計	1人	0人	0人	1人	0人	

(2) 短期大学部

2019. 5. 1現在

(表Ⅶ-1-②)

種別	学 科	在籍学生 総 数	在 籍 学 生 数				備 考
			第1年次	第2年次			
社 会 人	短期大学部英文	0人	0人	0人			
	生 活 創 造	1人	1人	0人			
	合 計	1人	1人	0人			
帰 国 生 徒	短期大学部英文	0人	0人	0人			
	生 活 創 造	0人	0人	0人			
	合 計	0人	0人	0人			
外 国 人 留 学 生	短期大学部英文	0人	0人	0人			
	生 活 創 造	0人	0人	0人			
	合 計	0人	0人	0人			

2 学部・学科の学生定員及び在籍学生数一覧〔2019年度〕

(1) 大学

2019.5.1現在 (表VII-2-①)

学部	学科	入学定員	編入学定員	収容定員(A)	在籍学生総数(B)	編入学生数(内数)	B/A	在籍学生数				
								第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
								学生数	学生数	学生数	学生数	留年者数(内数)
文学部	英文学科	113	14	480	587	35	1.22	121	127	142	197	50
	心理・応用コミュニケーション学科	90	10	380	444	16	1.17	98	110	95	141	32
計		203	24	860	1,031	51	1.20	219	237	237	338	82
経済学部	経済学科	152	6	620	689	7	1.11	163	163	172	191	23
	経営情報学科	102	6	420	501	7	1.19	125	121	131	124	12
	経済法学科	110	10	460	551	4	1.20	130	131	125	165	32
計		364	22	1,500	1,741	18	1.16	418	415	428	480	67
社会福祉学部	福祉計画学科	85	10	360	394	6	1.09	93	97	86	118	16
	福祉臨床学科	85	10	360	363	8	1.01	81	87	99	96	8
	福祉心理学科	64	7	270	298	2	1.10	81	75	66	76	9
計		234	27	990	1,055	16	1.07	255	259	251	290	33
合計		801	73	3,350	3,827	85	1.14	892	911	916	1,108	182

(2) 短期大学部

2019.5.1現在 (表VII-2-②)

学科	入学定員	収容定員(A)	在籍学生総数(B)	B/A	在籍学生数		
					第1年次	第2年次	
					学生数	学生数	留年者数(内数)
英文学科	120	240	251	1.05	109	142	12
生活創造学科	80	160	182	1.14	88	94	5
計	200	400	433	1.08	197	236	17

3 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数一覧表 [2019年度]

2019.5.1現在 (表Ⅶ-3)

研究科	専攻	入学定員		収容定員		在籍学生数											C/A	D/B
		修士課程	博士課程	修士課程(A)	博士課程(B)	修士課程						博士課程						
						一般	学内選考	姉妹校	リカント	外国人	その他	計(C)	一般	リカント	その他	計(D)		
文学研究科	言語文化 コミュニケーション専攻	8	—	16	—	0	0	—	0	0	0	0	—	—	—	—	0.00	—
計		8	—	16	—	0	0	—	0	0	0	0	—	—	—	—	0.00	—
経済学研究科	経済学専攻	10	—	20	—	4	1	1	0	0	0	6	—	—	—	—	0.30	—
計		10	—	20	—	4	1	1	0	0	0	6	—	—	—	—	0.30	—
社会福祉学 研究科	社会福祉学専攻	8	3	16	9	1	0	—	3	0	0	4	3	1	0	4	0.25	0.44
	臨床心理学専攻	4	—	8	—	5	2	—	0	0	0	7	—	—	—	—	0.88	—
計		12	3	24	9	6	2	—	3	0	0	11	3	1	0	4	0.46	0.44
合計		30	3	60	9	10	3	1	3	0	0	17	3	1	0	4	0.28	0.44

[注] 1 科目等履修生、聴講生、研究生は、在籍学生数には含めないこと。

2 「C/A」および「D/B」欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示すること。

4 大学院・研究科の入学者の構成一覧
(2017～2019)

(表VII-4-①)

研究科	専攻	定員	課程	期	種別	2017年度					2018年度					2019年度						
						志願	受験	合格	手続	入学	志願	受験	合格	手続	入学	志願	受験	合格	手続	入学		
社会福祉学	社会福祉学	8※	修士	第1期	一般	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1		
					リカレント	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
					推薦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
					小計	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	
				第2期	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					リカレント	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
					外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
					小計	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
				第1・2期計	一般	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	
					リカレント	3	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外国人	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	推薦	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	合計	4	4	4	4	4	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1					
	臨床心理学	4	修士	第1期	一般	10	10	5	5	5	9	9	3	3	3	4	4	2	2	2		
					リカレント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
					推薦	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
					小計	10	10	5	5	5	10	10	4	4	4	5	5	3	3	3		
				第2期	一般	1	1	0	0	0	3	2	0	0	0	1	1	0	0	0		
					リカレント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
					外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
小計					1	1	0	0	0	3	2	0	0	0	1	1	0	0	0			
第1・2期計				一般	11	11	5	5	5	12	11	3	3	3	5	5	2	2	2			
				リカレント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
	推薦	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1							
合計	11	11	5	5	5	13	12	4	4	4	6	6	3	3	3							

* 2015年度より臨福祉臨床学（定員3）から社会福祉学専攻領域（定員8）に変更あり。

* 社会・発達心理学領域を廃止して計画と臨床を統合して社会福祉学専攻。定員は8名。研究目的により福祉臨床学に該当するため旧福祉臨床学欄に数字を記載する。

4 大学院・研究科の入学者の構成一覧
(2017～2019)

(表Ⅶ-4-②)

研究科	専攻	定員	課程	期	種別	2017年度					2018年度					2019年度				
						志願	受験	合格	手続	入学	志願	受験	合格	手続	入学	志願	受験	合格	手続	入学
文学	言語文化コミュニケーション	8	修士	第1期	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					リカレント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					推薦	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					小計	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				第2期	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					リカレント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					推薦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				第1・2期計	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					リカレント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					推薦	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	1	1		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
経済学	経済学	10	修士	大連	姉妹校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1
					一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2
				第1期	リカレント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					推薦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2
					一般	2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
				第2期	リカレント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
					推薦	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0
					小計	2	1	1	1	1	3	3	3	3	3	1	1	1	1	1
					姉妹校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1
				第1・2期計	一般	2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3
					リカレント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外国人	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
推薦	0	0	0		0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0				
合計	2	1	1		1	1	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4				
		30	修士課程合計(第1・2期)	姉妹校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	
				一般	14	13	7	7	7	14	13	5	5	5	9	9	6	6	6	
				リカレント	3	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
				外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
				推薦	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	
				合計	18	17	11	11	11	16	15	7	7	7	11	11	8	8	8	
社会福祉学	社会福祉学	3	博士〔後期〕	一般	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	
				リカレント	0	0	0	0	0	3	3	1	1	1	0	0	0	0	0	
				合計	0	0	0	0	0	5	5	3	3	3	2	2	1	1	1	

Ⅷ 本学の学生の課外活動、厚生及び就職に関すること

1 学生交流会館Kirari利用状況

[2015～2019]

(表Ⅷ-1)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年平均
宿泊を伴うもの(回数)	69	82	77	63	57	70 回
宿泊を伴わないもの(回数)	157	154	139	93	99	128 回
利用回数合計	226	236	216	156	156	198 回
管理・維持経費(単位:円)	17,947,000	18,297,000	21,755,000	18,607,000	19,468,777	19,214,955

注 平均利用回数及び、平均維持経費は小数点以下切り捨て

2 サークル団体状況

[2015～2019]

(表Ⅷ-2)

項目	年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年間平均	
サークル団体数	団体数	69	66	62	61	59	63.4	
	顧問実人数	51	49	48	48	46	48.4	
	負担割合	1.4	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	
サークル加入者(人) 加入割合 (加入者/在学者)	全体	文	831	749	664	555	582	676.2
		経	1,212	1,199	1,104	927	1,034	1,095.2
		社	1,016	995	824	662	728	845.0
		短	259	203	185	111	152	182.0
		合	3,318	3,146	2,777	2,255	2,496	2,798.4
サークル援助金 (単位:千円)	計	7,016	6,713	6,687	6,487	6,096	6,599.8	
サークル援助金 (特別) (単位:千円)	計	780	670	880	510	530	674.0	
全国大会 出場援助金 (単位:千円)	計	1,538	1,998	1,759	2,689	1,008	1,798.4	
大学後援会 からの援助金 (単位:千円)	計	3,294	3,883	10,373	3,895	3,997	5,088.4	

※ 大学・短大それぞれ、5/1現在の学生数から算出

※ 大学・短大学生数別、サークル加入者割合(延べ人数)

3 学生の健康管理状況

定期健康診断受診者数・学生相談室利用者数

大学院・大学・短大 計 [2015～2019] (単位：人)

(表Ⅷ-3)

項目	年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年間平均
定期健康診断	学 部 生	4,107	4,084	4,179	4,110	4,013	4,098.6
	受 診 割 合	98.1	97.8	98.0	98.1	97.7	97.9
受診者	院 生 他	26	35	35	34	25	31.0
	上記内精密検査人数	70	68	42	45	64	57.8
学生相談室 利用者	学 部 生	767	797	709	712	666	748.4
		(104)	(123)	(116)	(126)	(137)	113.2
		<70>	<93>	<85>	<105>	<100>	84.0
() 実人数	院 生	35	8	1	12	2	19.2
	そ の 他	(2)	(2)	(1)	(3)	(2)	2.2
下段<> 女子	計	(0)	(1)	(1)	(3)	(0)	1.2
		802	806	710	724	668	767.8
		(106)	(126)	(117)	(129)	(139)	115.8
		<70>	<94>	<86>	<107>	<101>	85.0

※ 「学部生」は大学・短期大学の学部生を含む。

※ 「院生他」「その他」は科目等履修生等を含む。

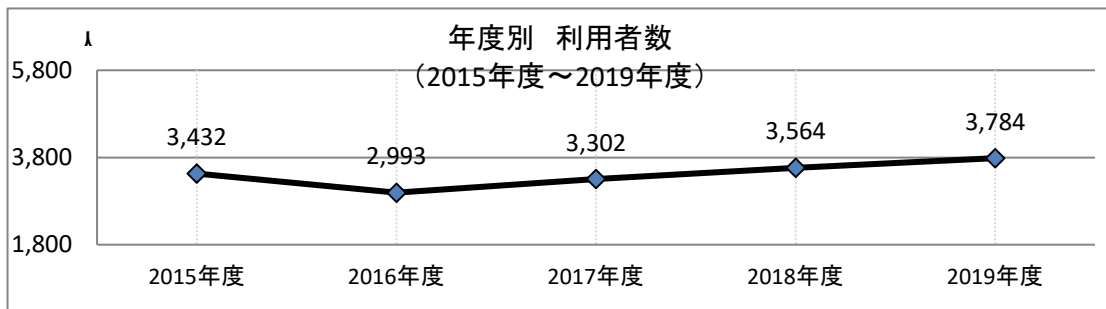
4 医務室の利用状況

(単位：人)

(表Ⅷ-4)

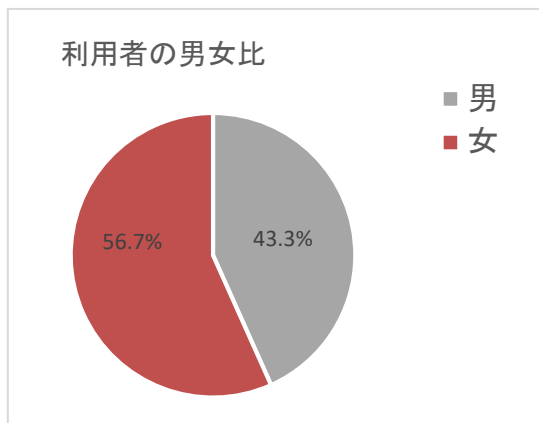
利用者数 年度別 [2015～2019]

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
3,432	2,993	3,302	3,564	3,784



2019年度	前期 (人)	後期 (人)	合計 (人)
男	731	511	1242
女	1013	613	1626
合計	1,744	1,124	2,868

2018年度	男女比	合計 (人)
男	40.7%	1193
女	59.3%	1,739
合計	100.0%	2,932



延べ人数	2019年度	全利用者に対する割合	2018年度	全利用者に対する割合
1年次	442	15.4%	477	16.3%
2年次	307	10.7%	421	14.4%
3年次	443	15.4%	431	14.7%
4年次	418	14.6%	418	14.3%
大学留年	272	9.5%	118	4.0%
短大1年次	139	4.8%	185	6.3%
短大2年次	172	6.0%	120	4.1%
短大留年	7	0.2%	41	1.4%
大学院	16	0.6%	7	0.2%
その他の学生 (科目等・留年・研究生)	19	0.7%	27	0.9%
学生 計	2,235	77.9%	2,245	76.6%
教職員	598	20.9%	640	21.9%
学外者・不明者	35	1.2%	44	1.5%
合計	2,868	100.0%	2,929	100.0%

5 障害のある学生及び特別な支援を要する学生の状況

(1) 大学 [2016-2020]

(表Ⅷ-5-①)

項目	年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	4年間平均
アクセシビリティ支援室への支援要請数 下段：面談数	文 学	4	27	14	11		14.0
		48	162	222	152		146.0
	経 済	5	22	4	6		9.3
		64	72	21	30		46.8
	社会福祉	14	40	16	15		21.3
		108	152	228	232		180.0
	院 生 他	0	7	1	1		2.3
0		31	44	7		20.5	
計	23	96	35	33		46.8	
	220	417	515	421		393.3	
配慮依頼文書発行数 (実人数) <支援回数>* 《学生による支援回数》*	文 学	59	75	89	41		66.0
		(3)	(5)	(7)	(4)		4.8
		< 127 >	< 150 >	< 150 >	< 225 >		163.0
		《 》	《 360 》	《 240 》	《 15 》		153.8
	経 済	47	68	17	18		37.5
		(3)	(3)	(5)	(2)		3.3
		< 150 >	< 105 >	< 15 >	< 30 >		75.0
		《 87 》	《 225 》	《 105 》	《 105 》		130.5
	社会福祉	142	134	154	96		131.5
		(7)	(8)	(9)	(7)		7.8
		< 150 >	< 75 >	< 69 >	< 171 >		116.3
		《 3 》	《 495 》	《 1050 》	《 825 》		593.3
	院 生 他	0	14	1	1		4.0
		()	(1)	(1)	(1)		0.8
		< >	< 50 >	< 50 >	< 22 >		30.5
		《 》	《 》	《 》	《 》		0.0
計	248	291	261	156		239.0	
	(13)	(17)	(22)	(14)		16.5	
	< 427 >	< 380 >	< 284 >	< 448 >		384.8	
	《 90 》	《 1080 》	《 1395 》	《 945 》		877.5	

* <支援回数>は、支援機器の配置や設営などのスタッフによる支援

* 《学生による支援回数》は、ノートテイクなどの学生による情報保障支援

* アクセシビリティ支援室は2016年度に開設された

5 障害のある学生及び特別な支援を要する学生の状況

(2)短期大学部

[2016-2020]

(表Ⅷ-5-②)

項目	年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	4年間平均	
アクセシビリティ支援室への支援要請数	英 文	1	4	1	1		1.8	
		5	8	6	3		5.5	
	生活創造	0	2	1	1		1.0	
		0	3	5	7		3.8	
	下段：面談数	計	1	6	2	2		2.8
5			11	11	10		9.3	
配慮依頼文書発行数 (実人数) 〈支援回数〉* 《学生による支援回数》*	英 文	30	0	0	17		11.8	
		(1)	()	()	(1)		0.5	
		< >	< >	< >	< 3 >		0.8	
	生活創造	《 285 》	《 》	《 》	《 》	《 》		71.3
		0	0	19	13		8.0	
		()	()	(1)	(1)		0.5	
		< >	< >	< 15 >	< 7 >		5.5	
		《 》	《 》	《 》	《 》		0.0	
		計	30	0	19	30		19.8
	(1)		()	(1)	(2)		1.0	
	< >		< >	< 15 >	< 10 >		6.3	
	《 285 》		《 》	《 》	《 》		71.3	

- * 〈支援回数〉は、支援機器の配置や設営などのスタッフによる支援
- * 《学生による支援回数》は、ノートテイクなどの学生による情報保障支援
- * アクセシビリティ支援室は2016年度に開設された

6 学生相談センター主催講演会参加状況

[2014～2019]

(表Ⅷ-6)

年度	演題	参加教員数	参加職員数
2014年度	講師：櫻井 義秀 氏（北海道大学大学院文学研究科） 演題：「大学のカルト対策：信教の自由とケアの諸問題」	8	18
2015年度	講師：萩原 拓 氏（北海道教育大学旭川校特別支援教育分野） 演題：「青年・成人期の発達障害の理解と支援」	20	19
2016年度	助言者：平野 直己 氏（北海道教育大学札幌校） 演題：「学生対応に関する事例検討会」	13	20
2017年度	助言者：平野 直己 氏（北海道教育大学札幌校） 演題：「学生対応に関する事例検討会」 事例報告者-浦野真理子 氏（北星学園大学経済学部）、 安達美幸 氏（北星学園大学保健師）	11	11
2018年度	演題：「今川先生、新学長・大坊先生と学生を語る」 対談者-大坊郁夫 氏（北星学園大学学長）、 今川民雄 氏（北星学園大学社会福祉学部）	7	3
2019年度	講師：精神科医 北山 修 氏 演題：「心の消化と排出」	26	7

7 学生医療互助会給付状況

大学院・大学・短期大学部 計 [2015～2019]

(表Ⅷ-7)

項目	年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年間平均
給付件数 ()内 実人数	学部生	2,792	3,233	3,548	4,708	4,678	3,792
		(581)	(647)	(684)	(793)	(778)	(697)
	院生他	26	28	54	82	60	50
		(1)	(2)	(4)	(8)	(6)	(4)
	計	2,818	3,261	3,602	4,790	4,738	3,842
		(582)	(649)	(688)	(801)	(784)	(701)
給付総額 (千円)	学部生	14,481	15,382	17,149	23,076	22,476	18,513
	院生他	150	82	179	269	265	189
	計	14,631	15,464	17,328	23,345	22,741	18,702

* 「院生他」の他は科目等履修生等含む。

* 「学部生」は大学・短期大学部の学部生を含む。

8 学生の食生活改善プログラム開催状況

[2017～2019]

(表Ⅷ-8)

	50円キャンペーン	開催期間	開催日数	一食価格 (円)	延べ利用人数	一日平均(人)
2017年度	第1回朝食キャンペーン	4/24～28	5日	50	517	103.4
	ランチキャンペーン	6/2	1日	50	439	439
	第2回朝食キャンペーン	5/22～26	5日	50	380	76
	第3回朝食キャンペーン	9/25～29	5日	50	417	83.4
	第4回朝食キャンペーン	10/16～20	5日	50	478	95.6
	夕食キャンペーン	12/6～8	3日	50	459	153
	合計	—	24日	—	2,690	112.1
	その他のイベント	日	内 容			
	学生料理教室	11/15～16	料理講師を招き、女子学生を中心に男女合わせて19名を対象に行った。学生交流会館を利用して、栄養バランスの良い調理方法を学び、最後には各自調理した料理を食した。			
	テーピング講習会	①5/30 ②10/26	両日とも20名前後の体育系サークルを中心に、ケガの予防・応急措置を目的に、実践を交えた講習を専門家の指導のもと実施した。			
フリードリンク	6/2	体育祭での熱中症対策を目的に、参加学生へペットボトル飲料約1300本を無料で配布した。				
2018年度	50円キャンペーン	開催期間	開催日数	一食価格 (円)	延べ利用人数	一日平均(人)
	第1回朝食キャンペーン	4/23～27	5日	50	805	161
	ランチキャンペーン	6/1	1日	50	549	549
	第2回朝食キャンペーン	5/21～25	5日	50	683	136.6
	第3回朝食キャンペーン	9/25～28	5日	50	429	85.8
	第4回朝食キャンペーン	10/22～26	5日	50	564	112.8
	夕食キャンペーン	12/5～7	3日	50	1,066	355
	合計	—	24日	—	4,096	170.6
	その他のイベント	日	内 容			
	学生料理教室	12/13	料理講師を招き、在学生や留学生の男女合わせて18名を対象に行った。学生交流会館を利用して、栄養バランスや効率の良い調理方法を学び、各自調理した料理を食した。			
テーピング講習会	①5/30 ②10/17	①は過去最高となる40名の体育系サークルの学生が参加した。ニチバン(株)講師の指導のもと、ケガの予防・応急措置を目的に、実践を交えた講習を実施した。				
体育祭特別企画	6/1～6/2	体育祭での熱中症対策・栄養補充を目的に、参加学生へペットボトル飲料約1300本・健康食品約200個を無料で配布した。				
2019年度	50円キャンペーン	開催期間	開催日数	一食価格 (円)	延べ利用人数	一日平均(人)
	第1回朝食キャンペーン	4/22～26	5日	50	692	138.4
	ランチキャンペーン	6/7	1日	50	617	617
	第2回朝食キャンペーン	5/27～31	5日	50	560	112
	第3回朝食キャンペーン	9/24～27	4日	50	403	100.8
	第4回朝食キャンペーン	10/21～25	5日	50	509	101.8
	第1回夕食キャンペーン	11/6～8	3日	50	1,112	370.7
	第2回夕食キャンペーン	12/4～6	3日	50	1,013	337.7
	合計	—	26日	—	4,906	254.1
	その他のイベント	日	内 容			
学生料理教室	—	学校の日程合わず、実施なし。				
テーピング講習会	①5/21 ②10/28	両日とも20名前後の体育系サークルを中心に、ケガの予防・応急措置を目的に、実践を交えた講習をニチバン(株)講師の指導のもと実施した。				
体育祭特別企画	6/7～6/8	体育祭での熱中症対策・栄養補充を目的に、参加学生へペットボトル飲料864本・健康食品243個を無料で配布した。				

9 各種奨学金援助状況

[2016-2018]

単位(人)

(表Ⅷ-9-①)

種別	該当別	年・月額	学年別・月額または年額				2017年度	2018年度	2019年度	3年間平均		
			1年次	2年次	3年次	4年次						
奨学金	日本学生支援機構	大学院	第一種	5万・8.8万		8万円・12.2万円		4	5	5	4.7	
			第二種	5万・8万・10万・13万・15万円				1	1	0	0.7	
		大学	第一種	自宅	2万円・3万円・4万円・5.4万円			672	716	758	715.3	
				自宅外	2万円・3万円・4万円・5万円・6.4万円							
			第二種		2万円・3万円・4万円・5万円・6万円・7万円 8万円・9万円・10万円・11万円・12万円				1221	1170	1090	1160.3
			給付	自宅	3万円				1	28	54	27.7
		自宅外		4万円								
		短大部	第一種	自宅	2万円～5.3万円		/	111	128	118	119.0	
				自宅外	2万円～6万円							
			第二種		2万円～12万円 (1万刻み)			142	128	109	126.3	
			給付	自宅	3万円				1	8	17	8.7
		自宅外		4万円								
	大学院	入学時特別増額貸与奨学金		年額	10万円・20万円・30万円・40万円・50万円				0	0	0	0.0
									大学・短大部	46	50	46
	北星学園大学 一般奨学金	大学・短大部		年額	12万円				13	13	13	13.0
北星学園大学 松田奨学金	大学		6万円				1	1	0	0.7		
北星学園大学 融資奨学金 (有利子)	大学院・大学・短大部		10～50万円				0	0	0	0.0		

9 各種奨学金援助状況

[2016-2018]

単位 (人)

(表Ⅷ-9-②)

種別	該当別	年・月額	学年別・月額または年額				2017年度	2018年度	2019年度	3年間平均	
			1年次	2年次	3年次	4年次					
奨学金	有馬・安孫子・手島・時任・永澤奨学金	大学	男子学生	10万円				2	2	2	2.0
		短大部		10万円				0	0	0	0.0
	スミス・モンク・エバンス奨学金	大学	女子学生	10万円				1	1	1	1.0
		短大部		10万円				1	1	1	1.0
	成績優秀者学業奨励賞	大学	年額	1~5万円		126	126	126	126.0		
		短大部		1-5万円	11	11	11	11.0			
	自宅外通学支援奨学金	大学	36万円				59	91	129	93.0	
		短大部	36万円				35	29	19	27.7	
	前頁より上記在学学生割合 (%)						56.0	58.5	58.5	57.7	
	減免制度	入試特別奨学賞	大学	年額	授業料の1/2相当額免除				60	69	69
短大部			授業料の1/2相当額免除				3	5	6	4.7	
私費外国人留学生修学奨励金		大学院・大学・短大部	授業料の1/3相当額免除				1	1	2	1.3	
私費外国人奨学金		大学院・大学・短大部	授業料の1/3相当額免除				1	1	2	1.3	
兄弟姉妹同時在学者減免		大学院・大学・短大部	教育充実費相当額免除				47	36	39	40.7	
身体・精神障害修学者減免		大学院・大学・短大部	教育充実費の1/2相当額免除				16	16	12	14.7	
社会人入試入学者減免		大学院・大学・短大部	授業料から15万円免除				2	2	1	1.7	
修学困難者減免		大学院・大学・短大部	授業料の1/2相当額免除				13	8	13	11.3	
上記在学学生割合 (%)						3.3	3.2	3.4	3.3		

* 下線付きの月額、2018年度入学者から新たに選択可能。2017年度以前の入学者は下線付き月額の選択不可。

* 日本学生支援機構給付奨学金は2017年度より開始。 * 有馬・我孫子・手島・時任奨学金は2018年度から有馬・我孫子・手島・時任・永澤奨学金に名称変更。

* 在学学生割合は5/1現在の在学学生数を基に小数点第2位四捨五入した。* 自宅外通学支援奨学金は2016年度より開始。

10 大学 学部・学科別卒業生の卒業後の状況（状況別）〔2017年度〕

(表Ⅷ-10-①)

学部	学科	卒業生数	状況別卒業生数													計 (a)	左記A～Eのうち就職している者(再掲)	退大学院博士課程のうち満期就職している者(再掲)
			A	B	C	D	E	就職者	む 臨 床 研 修 医 (予 定 者 を 含 む)	入 専 修 学 校 ・ 外 国 の 学 校 等	一 時 的 な 仕 事 に 就 いた 者	左 記 以 外 の 者	不 詳 ・ 死 亡 の 者					
			大 学 院 学 科	大 学 学 部	短 本 期 大 学 科	専 攻 科	別 科											
文学部	学英文	男	22	0	0	0	0	0	13	0	0	0	9	0	22	0	0	
		女	123	0	0	0	0	0	112	0	0	0	11	0	123	0	0	
		計	145	0	0	0	0	0	125	0	0	0	20	0	145	0	0	
	用心学理応	男	29	0	0	0	0	0	20	0	1	0	8	0	29	0	0	
		女	59	0	0	0	0	0	52	0	0	0	7	0	59	0	0	
		計	88	0	0	0	0	0	72	0	1	0	15	0	88	0	0	
		計	233	0	0	0	0	0	197	0	1	0	35	0	233	0	0	
経済学部	学経済	男	126	0	0	0	0	0	110	0	0	0	16	0	126	0	0	
		女	42	2	0	0	0	0	36	0	0	0	4	0	42	0	0	
		計	168	2	0	0	0	0	146	0	0	0	20	0	168	0	0	
	報学情	男	56	0	0	0	0	0	44	0	0	0	12	0	56	0	0	
		女	45	1	0	0	0	0	36	0	1	0	7	0	45	0	0	
	学経済法	男	84	1	0	0	0	0	71	0	0	0	12	0	84	0	0	
		女	30	0	0	0	0	0	28	0	0	0	2	0	30	0	0	
計	男	266	1	0	0	0	0	225	0	0	0	40	0	266	0	0		
	女	117	3	0	0	0	0	100	0	1	0	13	0	117	0	0		
	計	383	4	0	0	0	0	325	0	1	0	53	0	383	0	0		
社会福祉学部	画福学社	男	56	0	0	0	0	0	45	0	0	0	11	0	56	0	0	
		女	37	0	0	0	0	0	34	0	0	0	3	0	37	0	0	
		計	93	0	0	0	0	0	79	0	0	0	14	0	93	0	0	
	床福学社	男	16	1	0	0	0	0	14	0	0	0	1	0	16	0	0	
		女	63	0	0	0	0	0	59	0	0	0	4	0	63	0	0	
	科臨理福学社	男	20	0	0	0	0	0	16	0	0	0	4	0	20	0	0	
		女	45	1	0	0	0	0	36	0	0	0	8	0	45	0	0	
計	男	92	1	0	0	0	0	75	0	0	0	16	0	92	0	0		
	女	145	1	0	0	0	0	129	0	0	0	15	0	145	0	0		
	計	237	2	0	0	0	0	204	0	0	0	31	0	237	0	0		
学部合計	男	409	2	0	0	0	0	333	0	1	0	73	0	409	0	0		
	女	444	4	0	0	0	0	393	0	1	0	46	0	444	0	0		
	計	853	6	0	0	0	0	726	0	2	0	119	0	853	0	0		

※ 各年度間（4月1日から3月31日まで）に卒業した、卒業生の卒業後の状況を5月1日現在で作成。

10 大学 学部・学科別卒業生の卒業後の状況（状況別）〔2018年度〕

(表Ⅷ-10-③)

学部	学科	卒業生数	状況別卒業生数													計 (a)	左記A～Eのうち就職している者(再掲)	退大学院博士課程のうち満期就職している者(再掲)
			A	B	C	D	E	就職者	む 臨 床 研 修 医 (予 定 者 を 含 む)	入 専 修 学 校 ・ 外 国 の 学 校 等	一 時 的 な 仕 事 に 就 いた 者	左 記 以 外 の 者	不 詳 ・ 死 亡 の 者					
			大 学 院 学 科	大 学 学 部	短 本 期 大 学 科	専 攻 科	別 科											
文学部	学英文	男	23	0	0	0	0	0	17	0	0	0	6	0	23	0	0	
		女	103	1	0	0	0	0	89	0	0	0	13	0	103	0	0	
		計	126	1	0	0	0	0	106	0	0	0	19	0	126	0	0	
	用学理 心応	男	34	1	0	0	0	0	25	0	0	0	8	0	34	0	0	
		女	77	0	0	0	0	0	68	0	2	0	7	0	77	0	0	
		計	111	1	0	0	0	0	93	0	2	0	15	0	111	0	0	
		計	57	1	0	0	0	0	42	0	0	0	14	0	57	0	0	
計	女	180	1	0	0	0	0	157	0	2	0	20	0	180	0	0		
	計	237	2	0	0	0	0	199	0	2	0	34	0	237	0	0		
経済学部	学経済	男	105	1	0	0	0	0	95	0	2	0	7	0	105	0	0	
		女	50	1	0	0	0	0	44	0	0	0	5	0	50	0	0	
		計	155	2	0	0	0	0	139	0	2	0	12	0	155	0	0	
	報学管 科情	男	87	0	0	0	0	0	82	0	0	0	5	0	87	0	0	
		女	43	0	0	0	0	0	40	0	0	0	3	0	43	0	0	
	学経 科法	男	80	0	0	0	0	0	67	0	1	0	12	0	80	0	0	
		女	39	0	0	0	0	0	34	0	0	0	5	0	39	0	0	
	計	男	119	0	0	0	0	0	101	0	1	0	17	0	119	0	0	
		女	272	1	0	0	0	0	244	0	3	0	24	0	272	0	0	
	計	女	132	1	0	0	0	0	118	0	0	0	13	0	132	0	0	
計		404	2	0	0	0	0	362	0	3	0	37	0	404	0	0		
社会福祉学部	画福 学社	男	55	1	0	0	0	0	47	0	0	0	7	0	55	0	0	
		女	45	0	0	0	0	0	41	0	0	0	4	0	45	0	0	
		計	100	1	0	0	0	0	88	0	0	0	11	0	100	0	0	
	床福 学社	男	30	0	0	0	0	0	23	0	0	0	7	0	30	0	0	
		女	64	0	0	0	0	0	58	0	0	0	6	0	64	0	0	
	科臨 理福	男	17	0	0	0	0	0	15	0	0	0	2	0	17	0	0	
		女	40	1	0	0	0	0	32	0	2	0	5	0	40	0	0	
	学社 科心	男	57	1	0	0	0	0	47	0	2	0	7	0	57	0	0	
		女	102	1	0	0	0	0	85	0	0	0	16	0	102	0	0	
計	女	149	1	0	0	0	0	131	0	2	0	15	0	149	0	0		
	計	251	2	0	0	0	0	216	0	2	0	31	0	251	0	0		
学部合計	男	431	3	0	0	0	0	371	0	3	0	54	0	431	0	0		
	女	461	3	0	0	0	0	406	0	4	0	48	0	461	0	0		
	計	892	6	0	0	0	0	777	0	7	0	102	0	892	0	0		

※ 各年度間（4月1日から3月31日まで）に卒業した、卒業生の卒業後の状況を5月1日現在で作成。

10 大学 学部・学科別卒業生の卒業後の状況（産業別）〔2018年度〕

(表Ⅷ-10-④)

学部	学科	A 農林・林業	B 漁業	C 採取業・採石業・砂利	D 建設業	E 製造業										F 水道業	G 情報通信業	H 運輸業・郵便業	I 卸売業・小売業	J 金融業・保険業	K 不動産業・物品賃貸業	L 学術研究・専門・技術サービス業	M 宿泊業、飲食サービス業	N 生活関連サービス業、娯楽業	O 教育、学習支援業	P 医療、福祉	Q 複合サービス事業	R サービス業		S 公務		左記以外	就職者計 (a)	求職者 (b)	就職率 (%) (a/b)													
						1 食料品・飲料・たばこ・飼料製造業	2 繊維工業	3 印刷・同関連業	4 石炭製品製造業	5 化学工業、石油・石炭製品製造業	6 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業	7 はん用・生産用・業務用機械器具製造業	8 電子部品・デバイス・電子回路製造業	9 器具・情報通信機械器具製造業	10 その他の製造業													1 卸売業	2 小売業	1 金融業	2 保険業					1 不動産取引・賃貸・管理業	2 物品賃貸業	1 学術・開発研究機関	2 法務	3 その他の専門・技術サービス業	1 学校教育	2 その他の教育、学習支援業	1 医療業、保健衛生	2 社会保険・社会福祉・介護事業	1 宗教	2 その他のサービス業	1 国家公務員	2 地方公務員
文学部	英文学	男女計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	2	0	17	17	100.0%							
		男女計	0	0	0	1	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	10	20	4	8	4	3	3	0	0	0	4	1	13	2	0	1	0	1	0	1	3	3	0	89	89	100.0%						
	心理学	男女計	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	3	1	0	3	1	0	1	0	0	3	0	0	1	1	0	0	1	0	2	0	2	0	25	26	96.2%							
		男女計	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	7	6	10	4	2	2	1	0	0	1	0	4	3	0	3	0	1	0	8	2	6	0	68	70	97.1%						
	計	男女計	0	0	0	3	3	0	0	0	1	0	0	0	0	2	7	8	6	13	5	2	3	2	0	4	0	4	4	1	3	0	2	0	10	2	8	0	93	96	96.9%							
		男女計	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	2	5	1	4	1	1	1	0	0	4	1	1	3	2	0	0	1	0	3	0	4	0	42	43	97.7%							
経済学部	経済学	男女計	0	0	0	9	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	4	3	10	18	4	3	5	0	0	3	1	3	4	0	2	0	2	0	5	7	8	0	95	97	97.9%							
		男女計	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	2	2	4	8	1	2	3	1	0	1	2	0	1	1	0	3	0	0	1	2	5	0	44	44	100.0%							
	経営情報学	男女計	0	0	0	10	1	0	2	2	0	0	0	0	0	2	1	6	5	14	26	5	5	8	1	0	1	5	1	4	5	0	5	0	2	0	6	9	13	0	139	141	98.6%					
		男女計	0	0	0	3	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	7	3	20	20	2	0	6	0	0	1	0	1	1	0	0	0	5	0	5	2	3	0	82	83	98.8%						
	経済法	男女計	0	0	0	5	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	3	2	7	2	6	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	40	40	100.0%						
		男女計	0	0	0	8	2	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	9	6	22	27	4	6	8	1	0	0	2	0	2	1	0	0	5	0	8	2	5	0	122	123	99.2%						
	計	男女計	0	0	0	1	1	0	2	2	0	0	0	0	0	1	4	7	7	10	3	0	3	1	0	0	4	0	1	0	0	0	0	6	0	4	4	6	0	67	68	98.5%						
		男女計	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6	6	5	1	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	2	0	2	0	3	0	34	34	100.0%						
	社会福祉学部	福祉学	男女計	0	0	0	13	3	0	2	3	1	0	0	0	1	1	2	15	13	37	48	9	3	14	1	0	0	8	1	5	5	0	2	0	13	0	14	13	17	0	244	248	98.4%				
			男女計	0	0	0	6	3	0	3	2	1	0	0	0	0	1	0	5	6	12	21	8	9	6	2	0	1	5	0	3	1	0	3	0	2	0	6	2	10	0	118	118	100.0%				
福祉学		男女計	0	0	0	19	6	0	5	5	2	0	0	0	0	1	2	20	19	49	69	17	12	20	3	0	1	13	1	8	6	0	15	0	20	15	27	0	362	366	98.9%							
		男女計	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	9	5	2	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	3	8	0	0	2	2	6	0	47	48	97.9%						
福祉学		男女計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	3	5	1	3	0	2	0	0	1	0	0	1	0	7	7	2	0	2	0	2	0	41	41	100.0%						
		男女計	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	3	12	10	3	3	0	3	0	0	2	0	0	2	1	10	15	2	0	4	2	8	0	88	89	98.9%					
福祉学		男女計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	7	1	0	1	1	3	0	23	25	92.0%					
		男女計	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	2	2	1	1	3	0	2	0	0	0	1	0	7	0	7	19	0	0	3	1	4	0	58	58	100.0%						
福祉学		男女計	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	3	3	3	1	4	0	2	0	0	0	1	0	9	0	9	26	1	0	4	2	7	0	81	83	97.6%						
		男女計	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	3	1	0	0	0	0	0	0	15	15	100.0%						
計	男女計	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4	0	2	5	1	2	0	3	0	0	2	0	2	0	0	0	3	1	0	1	0	2	0	32	32	100.0%							
	男女計	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4	1	4	8	1	2	0	3	0	0	2	0	2	2	1	1	6	2	0	1	0	2	0	47	47	100.0%							
学部合計	男女計	0	0	0	16	5	0	3	4	2	0	0	0	1	3	4	22	18	50	62	12	5	15	3	0	0	13	2	6	13	4	8	18	16	0	20	16	30	0	371	379	97.9%						
	男女計	0	0	0	12	9	1	5	3	4	0	0	0	1	0	29	36	29	50	19	22	11	10	0	1	13	2	22	14	0	21	29	7	0	21	8	27	0	406	408	99.5%							
	男女計	0	0	0	28	14	1	8	7	6	0	0	0	1	4	4	51	54	79	112	31	27	26	13	0	1	26	4	28	27	4	29	47	23	0	41	24	57	0	777	787	98.7%						

※ 各年度間（4月1日から3月31日まで）に卒業した、卒業生の卒業後の状況を5月1日現在で作成。

10 大学 学部・学科別卒業生の卒業後の状況（状況別）〔2019年度〕

(表Ⅷ-10-⑤)

学部	学科	性別	卒業生数	状況別卒業生数																大学院博士課程の計 (a) のうち(再掲)								
				A	B	C	D	E	就職者等 (左記A~Eを除く。)			（臨 床 予 定 者 を 含 む ） 医 生 等	外 専 門 の 修 業 校 等 入 学 者	J 左記以外の者			不 詳 ・ 死 亡 の 者	計 (a)	(再 掲)		満 期 退 学 者	ポストドクター等 (満期退学者を含む)						
				大 学 院 科	大 学 部	短 本 期 大 学 科	専 攻 科	別 科	F 自 営 業 主 等	就職者等				進 学 準 備 中 の 者	就 職 準 備 中 の 者	そ の 他			左 記 A~E の う ち 、 就 職 し て い る 者	無 期 雇 用 労 働 者		自 営 業 主 等 、 無 期 雇 用 労 働 者	雇 用 契 約 期 間 が 一 年 以 上 、 かつ フル タイム 勤務 相当 の 者	左 記 H 有 期 雇 用 者 の うち、 かつ フル タイム 勤務 相当 の 者	H の う ち	I の う ち	J の う ち	
				大 学 院 科	大 学 部	短 本 期 大 学 科	専 攻 科	別 科	F 自 営 業 主 等	G 無 期 雇 用 労 働 者	H 有 期 雇 用 労 働 者 (一 か 月 以 上 の 者)	I 臨 時 労 働 者	進 学 準 備 中 の 者	就 職 準 備 中 の 者	そ の 他	左 記 A~E の う ち 、 就 職 し て い る 者	無 期 雇 用 労 働 者	自 営 業 主 等 、 無 期 雇 用 労 働 者	雇 用 契 約 期 間 が 一 年 以 上 、 かつ フル タイム 勤務 相当 の 者	左 記 H 有 期 雇 用 者 の うち、 かつ フル タイム 勤務 相当 の 者	H の う ち	I の う ち	J の う ち					
文学部	英文	男	19	2	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	1	5	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	124	3	0	0	0	0	0	102	1	0	0	0	0	7	11	0	124	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	計	143	5	0	0	0	0	0	113	1	0	0	0	0	8	16	0	143	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	心理	男	38	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	1	0	5	2	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	70	0	0	0	0	0	0	61	0	0	0	1	0	3	5	0	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	108	0	0	0	0	0	0	0	91	0	0	0	2	0	8	7	0	108	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部	経済	男	111	0	0	0	0	0	0	96	2	0	0	0	8	5	0	111	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
		女	45	1	0	0	0	0	0	36	0	0	0	1	0	1	6	0	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	156	1	0	0	0	0	0	132	2	0	0	1	0	9	11	0	156	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
	経営	男	65	0	0	0	0	0	0	51	0	0	0	0	4	10	0	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	43	0	0	0	0	0	0	37	1	0	0	0	1	4	0	43	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	計	108	0	0	0	0	0	0	0	88	1	0	0	0	5	14	0	108	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
計	経済	男	95	0	0	0	0	0	0	86	0	0	0	1	6	2	0	95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	41	1	0	0	0	0	0	38	0	0	0	0	1	1	0	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	136	1	0	0	0	0	0	124	0	0	0	0	1	7	3	0	136	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	男	271	0	0	0	0	0	0	233	2	0	0	0	1	18	17	0	271	0	0	2	0	0	0	0	0	0
		女	129	2	0	0	0	0	0	111	1	0	0	1	0	3	11	0	129	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	計	400	2	0	0	0	0	0	0	344	3	0	0	1	1	21	28	0	400	0	0	3	0	0	0	0	0	0
社会福祉学部	福祉	男	53	1	0	0	0	0	0	44	0	0	0	0	1	7	0	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	47	0	0	0	0	0	0	42	1	0	0	0	0	3	1	0	47	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	計	100	1	0	0	0	0	0	86	1	0	0	0	0	4	8	0	100	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	福祉	男	25	0	0	0	0	0	0	18	2	0	0	0	1	4	0	25	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
		女	59	0	0	0	0	0	0	47	0	0	0	0	1	4	7	0	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	84	0	0	0	0	0	0	65	2	0	0	0	1	5	11	0	84	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
	福祉	男	15	1	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	5	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	45	3	0	0	0	0	0	37	2	0	0	0	0	2	1	0	45	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	計	60	4	0	0	0	0	0	0	46	2	0	0	0	2	6	0	60	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	計	男	93	2	0	0	0	0	0	71	2	0	0	0	0	2	16	0	93	0	0	2	0	0	0	0	0	0
女		151	3	0	0	0	0	0	126	3	0	0	0	1	9	9	0	151	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
計	244	5	0	0	0	0	0	0	197	5	0	0	0	1	11	25	0	244	0	0	5	0	0	0	0	0	0	
学部合計	計	男	421	4	0	0	0	0	0	345	4	0	0	1	1	26	40	0	421	0	0	4	0	0	0	0	0	0
		女	474	8	0	0	0	0	0	400	5	0	0	2	1	22	36	0	474	0	0	5	0	0	0	0	0	0
	計	895	12	0	0	0	0	0	0	745	9	0	0	3	2	48	76	0	895	0	0	9	0	0	0	0	0	0

※ 各年度間（4月1日から3月31日まで）に卒業した、卒業生の卒業後の状況を5月1日現在で作成。

10 大学 学部・学科別卒業生の卒業後の状況（産業別）〔2019年度〕

（表Ⅷ-10-⑥）

学部	学科	男女計	A	B	C	D	E 製造業										F	G	H	I 卸売業、小売業			J 金融業、保険業		K 不動産業、物品賃貸業			L 学術研究、専門・技術サービス業			M	N	O 教育、学習支援業		P 医療、福祉		Q	R サービス業		S 公務		左記以外	就職者計 (a)	求職者 (b)	就職率 (%) (a/b)					
			農林・林業	漁業	採取業・採石業・砂利	建設業	1 食品・飲料・たばこ・飼料製造業	2 繊維工業	3 印刷・同関連業	4 化学工業、石油・石炭製品製造業	5 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業	6 機械器具製造業	7 はん用・生産用・業務用電子部品・デバイス・電子回路製造業	8 電気・情報通信機械器具製造業	9 輸送用機械器具製造業	10 その他の製造業	水道業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	1 卸売業	2 小売業	1 金融業	2 保険業	1 不動産取引・賃貸・管理業	2 物品賃貸業	1 学術・開発研究機関	2 法務	3 その他の専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	1 学校教育	2 その他の教育、学習支援業	1 医療業、保健衛生	2 社会保険・社会福祉・介護事業	複合サービス事業	1 宗教	2 その他のサービス業	1 国家公務員	2 地方公務員										
			文学部	英文	男女計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0
経済学部	経済	男女計	0	0	0	2	4	0	1	1	3	0	0	0	1	1	8	2	11	13	5	2	4	1	0	0	1	1	3	2	0	0	0	0	7	0	4	1	20	0	98	103	95.1%							
	経営	男女計	0	0	0	3	4	0	1	1	3	0	0	0	1	1	13	5	12	20	5	4	5	1	0	0	3	2	5	2	0	0	0	11	0	6	1	25	0	134	139	96.4%								
	情報	男女計	0	0	0	6	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	10	0	10	10	1	1	3	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	51	55	92.7%						
	経済	男女計	0	0	0	7	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0	16	3	15	12	3	3	4	2	0	0	1	2	1	1	0	2	1	1	0	5	1	1	0	89	94	94.7%								
	経済	男女計	1	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	4	4	13	11	7	0	5	1	0	0	4	2	0	0	2	0	0	0	5	4	18	0	86	89	96.6%									
	経済	男女計	0	0	0	2	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	0	3	6	2	1	1	0	0	1	0	3	1	1	3	1	2	0	1	2	1	0	38	39	97.4%									
	計	男女計	1	0	0	11	6	0	1	1	6	0	0	0	3	1	22	6	34	34	13	3	12	3	0	0	5	3	4	2	0	3	0	8	0	9	5	39	0	235	247	95.1%								
	社会福祉学部	福祉	男女計	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	6	1	0	1	3	0	0	0	0	2	2	0	3	6	1	0	3	1	8	0	44	45	97.8%								
	福祉	男女計	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	6	18	1	0	1	4	0	0	1	1	2	4	0	5	12	4	0	4	3	14	0	87	91	95.6%								
	福祉	男女計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	2	0	0	3	1	0	0	20	20	100.0%								
	福祉	男女計	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	1	2	0	0	0	1	0	4	0	6	16	3	0	0	0	5	0	47	49	95.9%									
福祉	男女計	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	6	2	1	1	2	0	0	1	0	6	0	6	20	5	0	3	1	5	0	67	69	97.1%										
福祉	男女計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	9	9	100.0%									
福祉	男女計	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	2	7	3	1	1	0	0	0	2	0	3	1	0	2	0	0	3	1	3	0	39	41	95.1%										
福祉	男女計	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	3	2	9	3	1	1	0	0	0	3	0	4	1	0	3	0	0	4	1	3	0	48	50	96.0%										
計	男女計	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	2	4	10	1	0	1	3	0	0	1	2	5	0	3	11	3	0	7	2	8	0	73	74	98.6%										
学部合計	男女計	0	0	0	9	13	0	0	0	5	0	0	0	4	0	32	31	24	65	11	11	16	5	0	0	14	11	15	16	10	14	27	17	0	25	6	24	0	405	422	96.0%									
	男女計	2	0	0	24	21	0	1	1	11	0	0	0	7	3	61	41	65	115	26	15	31	11	0	0	21	19	23	26	12	20	39	28	0	43	13	75	0	754	787	95.8%									

※ 各年度間（4月1日から3月31日まで）に卒業した、卒業生の卒業後の状況を5月1日現在で作成。

11 大学院 研究科・専攻別修了者の修了後の状況（状況別）〔2017年度〕

（表Ⅷ-11-①）

研究科	専攻	性別	修了者数	状況別卒業生数											計 (a)	左記A～Eのうち就職している者（再掲）	大学院博士課程のうち満期退学者（再掲）	
				A	B	C	D	E	就職者	臨床研修医（予定者を含む）	入学修学校・外国の学校等	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	不詳・死亡の者				
				大研 大学院	大学 学部	短本 期大学 科	専 攻 科	別 科										
文学	言語文化コミュニケーション (M)	男	4	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	4	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		計	5	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0	5	0	0
経済学	経済学 (M)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会福祉学	社会福祉学 (M)	男	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	臨床心理学 (M)	男	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0
		女	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0
		計	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0
	修士計	男	7	1	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	0	7	0	0
		女	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0
		計	10	1	0	0	0	0	8	0	1	0	0	0	0	10	0	0
社会福祉学 (D)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3	0	3	
	計	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3	0	3	
大学院合計	男	7	1	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	0	7	0	0	
	女	3	0	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	6	0	3	
	計	10	1	0	0	0	0	9	0	3	0	0	0	0	13	0	3	

※ 各年度間（4月1日から3月31日まで）に修了した、修了者の修了後の状況を5月1日現在で作成。

11 大学院 研究科・専攻別修了者の修了後の状況（産業別）〔2017年度〕

(表Ⅷ-11-②)

学部	学科		A	B	C	D	E 製造業										F	G	H	I 卸売業、小売業		J 金融業、保険業		K 不動産業、物品賃貸業		L 学術研究、専門・技術サービス業			M	N	O 教育、学習支援業		P 医療、福祉		Q	R サービス業		S 公務		左記以外	就職者計 (a)	求職者 (b)	就職率 (%) (a/b)
			農林・林業	漁業	採鉱業・石炭業・砂利	建設業	1 食料品・飲料・たばこ・飼料製造業	2 繊維工業	3 印刷・同関連業	4 化学工業、石油・石炭製品製造業	5 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業	6 はん用・生産用・業務用機械器具製造業	7 電子部品・デバイス・電子回路製造業	8 電機・情報通信機械器具製造業	9 輸送用機械器具製造業	10 その他の製造業	水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	1 卸売業	2 小売業	1 金融業	2 保険業	1 不動産取引・賃貸・管理業	2 物品賃貸業	1 学術・開発研究機関	2 法務	3 その他の専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	1 学校教育	2 その他の教育、学習支援業	1 医療業、保健衛生	2 社会保険・社会福祉・介護事業	複合サービス事業	1 宗教	2 その他のサービス業	1 国家公務員	2 地方公務員				
文学	言語文化コミュニケーション (M)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	3	100.0%			
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%			
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	4	4	100.0%			
経済学	経済学 (M)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	--		
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	--		
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	--		
社会福祉学	社会福祉学 (M)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	--		
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	--		
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	--		
	臨床心理学 (M)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	100.0%		
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	2	100.0%		
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	4	4	100.0%			
	修士計	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	1	0	0	5	2	250.0%			
女		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	6	50.0%				
社会福祉学 (D)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	--			
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	100.0%				
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3	3	100.0%					
大学院合計	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	1	0	0	5	5	100.0%					
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	0	0	0	1	0	6	6	100.0%					
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1	3	0	0	1	0	1	11	11	100.0%					

※ 各年度間（4月1日から3月31日まで）に修了した、修了者の修了後の状況を5月1日現在で作成。

11 大学院 研究科・専攻別修了者の修了後の状況（状況別）〔2018年度〕

（表Ⅷ-11-③）

研究科	専攻	性別	修了者数	状況別卒業生数											計 (a)	左記A～Eのうち就職している者（再掲）	大学院博士課程のうち満期退学者（再掲）	
				A	B	C	D	E	就職者	臨床研修医（予定者を含む）	入学修学校・外国の学校等	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	不詳・死亡の者				
				大研 大学院	大学 学部	短本 期大学 科	専 攻 科	別 科										
文学	言語文化コミュニケーション (M)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
		計	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
経済学	経済学 (M)	男	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
社会福祉学	社会福祉学 (M)	男	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	
		女	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	
		計	6	1	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	6	0	0	
	臨床心理学 (M)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	5	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	5	0	0	
		計	5	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	5	0	0	
	修士計	男	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5	0	0	
		女	8	1	0	0	0	4	0	1	1	1	0	0	8	0	0	
		計	13	1	0	0	0	9	0	1	1	1	0	0	13	0	0	
	社会福祉学 (D)	男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
大学院合計	男	5	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	6	0	1		
	女	8	1	0	0	0	4	0	1	1	1	0	0	8	0	0		
	計	13	1	0	0	0	10	0	1	1	1	0	0	14	0	1		

※ 各年度間（4月1日から3月31日まで）に修了した、修了者の修了後の状況を5月1日現在で作成。

11 大学院 研究科・専攻別修了者の修了後の状況（産業別）〔2018年度〕

(表Ⅷ-11-④)

学部	学科		A	B	C	D	E 製造業										F	G	H	I 卸売業、小売業		J 金融業、保険業		K 不動産業、物品賃貸業		L 学術研究、専門・技術サービス業			M	N	O 教育、学習支援業		P 医療、福祉		Q	R サービス業		S 公務		左記以外	就職者計 (a)	求職者 (b)	就職率 (%) (a/b)										
			農林・林業	漁業	採鉱業・石炭・砂利	建設業	1 食品・飲料・たばこ・飼料製造業	2 繊維工業	3 印刷・同関連業	4 化学工業、石油・石炭製品製造業	5 鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業	6 はん用・生産用・業務用機械器具製造業	7 電子部品・デバイス・電子回路製造業	8 電機・情報通信機械器具製造業	9 輸送用機械器具製造業	10 その他の製造業	水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	1 卸売業	2 小売業	1 金融業	2 保険業	1 不動産取引・賃貸・管理業	2 物品賃貸業	1 学術・開発研究機関	2 法務	3 その他の専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	1 学校教育	2 その他の教育、学習支援業	1 医療業、保健衛生	2 社会保険・社会福祉・介護事業	複合サービス事業	1 宗教	2 その他のサービス業	1 国家公務員	2 地方公務員														
文学	言語文化コミュニケーション (M)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%							
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%					
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%					
経済学	経済学 (M)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%				
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%				
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%				
社会福祉学	社会福祉学 (M)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	100.0%			
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%			
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	100.0%		
	臨床心理学 (M)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%		
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	100.0%	
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	100.0%		
	修士計	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	100.0%	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	100.0%	
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9	100.0%	
社会福祉学 (D)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%	
大学院合計	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	100.0%	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	100.0%
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	100.0%

※ 各年度間（4月1日から3月31日まで）に修了した、修了者の修了後の状況を5月1日現在で作成。

11 大学院 研究科・専攻別修了者の修了後の状況（状況別）〔2019年度〕

(表Ⅷ-11-⑤)

研究科	専攻	性別	修了者数	状況別卒業生数																		大学院博士課程の計 (a)のうち (再掲)								
				A	B	C	D	E	就職者等 (左記A~Eを除く。)			臨(予定者を含む) 床 研 修 医	専外 國 修の 学校等 校入 学・ 者	J 左記以外の者			不 詳・ 死亡 の 者	計 (a)	(再掲)											
				大 学 院 科	大 学 部	短 本 期 大 学 科	専 攻 科	別 科	F	G	H			進 学 準 備 中 の 者	就 職 準 備 中 の 者	そ の 他			左記A~Eのうち、 就職している者	自 営 業 主 等	無 期 雇 用 労 働 者	か っ ぷ ル タ イ ム 勤 務 相 当 の 者 (左記H 有期雇用者労働者のうち、 雇 用 契 約 期 間 が 一 年 以 上、 雇 用 契 約 期 間 が 一 年 以 上、 雇 用 契 約 期 間 が 一 年 以 上、 雇 用 契 約 期 間 が 一 年 以 上、	満 期 退 学 者	ポストドクター等 (満期退学者を含む)						
				院 科	学 部	大 学 科	専 攻 科	別 科	自 営 業 主 等	無 期 雇 用 労 働 者	有 期 雇 用 労 働 者 (一か月以上の者)			そ の 他	就 職 準 備 中 の 者	そ の 他			自 営 業 主 等	無 期 雇 用 労 働 者	か っ ぷ ル タ イ ム 勤 務 相 当 の 者	満 期 退 学 者	H の うち	I の うち	J の うち					
				文学	言語文化コミュニケーション (M)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
経済学	経済学 (M)	男	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
社会福祉学	社会福祉学 (M)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		女	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	臨床心理学 (M)	男	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
		女	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
			計	4	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	0
修士計	男	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	女	5	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	
		計	6	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0
社会福祉学 (D)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学院合計	男	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	
	女	5	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	
		計	7	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	1	0	0	0	0	

※ 各年度間 (4月1日から3月31日まで) に卒業した、卒業者の卒業後の状況を5月1日現在で作成。

11 大学院 研究科・専攻別修了者の修了後の状況（産業別）〔2019年度〕

(表Ⅷ-11-⑥)

学部	学科	E 製造業													F 水道業	G 情報通信業	H 運輸業・郵便業	I 卸売業、小売業		J 金融業、保険業		K 不動産業、物品賃貸業		L 学術研究、専門・技術サービス業			M 宿泊業、飲食サービス業	N 生活関連サービス業、娯楽業	O 教育、学習支援業		P 医療、福祉		Q 複合サービス事業	R サービス業		S 公務		左記以外	就職者計 (a)	求職者 (b)	就職率 (%) (a/b)
		1 たばこ・食料品・飲料・飼料製造業	2 繊維工業	3 印刷・同関連業	4 化学工業、石油・石炭製品製造業	5 金属製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業	6 はん用・生産用・業務用機械器具製造業	7 電子部品・デバイス・電子回路製造業	8 電機・情報通信機械器具製造業	9 輸送用機械器具製造業	10 その他の製造業	1 卸売業	2 小売業	1 金融業				2 保険業	1 不動産取引・賃貸・管理業	2 物品賃貸業	1 学術・開発研究機関	2 法務	3 その他の専門・技術サービス業	1 学校教育	2 その他の教育、学習支援業	1 医療業、保健衛生			2 社会保険・社会福祉・介護事業	1 宗教	2 その他のサービス業	1 国家公務員		2 地方公務員							
文学	言語文化コミュニケーション (M)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%					
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%				
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%					
経済学	経済学 (M)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%					
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%				
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%					
社会福祉学	社会福祉学 (M)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%				
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%				
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%				
	臨床心理学 (M)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%			
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	100.0%				
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	100.0%					
	修士計	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	100.0%				
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3	3	100.0%					
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	5	5	100.0%						
社会福祉学 (D)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%					
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%				
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%					
大学院合計	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	100.0%						
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	100.0%						
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	5	5	100.0%							

※ 各年度間（4月1日から3月31日まで）に修了した、修了者の修了後の状況を5月1日現在で作成。

12 短期大学部 学科別卒業者の卒業後の状況（状況別）

[2016～2018年度]

(表Ⅷ-12-①)

年度	学科	性別	卒業者数	状況別卒業者数																	大学院博士課程の計 (a) のうち (再掲)									
				A 大研 院科	B 大学 学部	C 短本 期 大学 学科	D 専 攻 科	E 別 科	就職者等			I 臨 時 労 働 者	臨 （ 予 定 者 を 含 む ） 医 生	専 外 国 の 学 校 等 入 学 者	J 左記以外の者			不 詳 ・ 死 亡 の 者	計 (a)	(再掲)			満 期 退 学 者	ポストドクター等 (満期退学者を含む)						
									F 自 営 業 主 等	G 常用労働者					H 有 限 期 雇 用 契 約 者 が 一 か 月 以 上 の 者	進 学 準 備 中 の 者	就 職 準 備 中 の 者			そ の 他	自 営 業 主 等 、 無 期 雇 用 労 働 者	無 期 雇 用 契 約 者 が 一 か 月 以 上 の 者		雇 用 契 約 期 間 が 一 年 以 上 の 者	左記A～Eのうち、 就職している者	左記H 有期 雇 用 者 が 一 年 以 上 の 者	かつフル タイム 勤 務 相 当 の 者	Hのうち	Iのうち	Jのうち
										無 期 雇 用 労 働 者	有 限 期 雇 用 契 約 者 が 一 か 月 以 上 の 者																			
2017	英文	男	5	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
		女	132	0	25	0	0	0	68	0	0	0	33	0	0	132	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
		計	137	0	29	0	0	0	69	0	0	0	33	0	0	137	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	生活創造	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
		女	97	0	7	0	0	0	79	0	1	0	10	0	0	97	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
		計	99	0	7	0	0	0	79	0	1	0	12	0	0	99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
短期大学部計	男	7	0	4	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	女	229	0	32	0	0	0	147	0	7	0	43	0	0	229	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	計	236	0	36	0	0	0	148	0	7	0	45	0	0	236	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
2018	英文	男	11	0	8	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
		女	115	0	21	1	0	0	70	0	1	0	22	0	0	115	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
		計	126	0	29	1	0	0	71	0	0	0	24	0	0	126	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	生活創造	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
		女	88	0	9	0	0	0	73	0	0	0	6	0	0	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
		計	88	0	9	0	0	0	73	0	0	0	6	0	0	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
短期大学部計	男	11	0	8	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
	女	203	0	30	1	0	0	143	0	1	0	28	0	0	203	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
	計	214	0	38	1	0	0	144	0	1	0	30	0	0	214	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
2019	英文	男	9	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
		女	113	0	23	0	0	0	69	1	0	0	4	3	9	113	0	0	1	0	0	0	0	0						
		計	122	0	24	0	0	0	71	1	0	0	5	4	13	122	0	0	1	0	0	0	0	0						
	生活創造	男	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
		女	90	0	12	0	0	0	73	1	0	0	0	3	1	90	0	0	1	0	0	0	0	0						
		計	91	0	13	0	0	0	73	1	0	0	0	3	1	91	0	0	1	0	0	0	0	0						
短期大学部計	男	10	0	2	0	0	0	2	0	0	0	1	4	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
	女	203	0	35	0	0	0	142	2	0	0	4	6	10	203	0	0	2	0	0	0	0	0							
	計	213	0	37	0	0	0	144	2	0	0	5	7	14	213	0	0	2	0	0	0	0	0							

* 各年度間（4月1日から3月31日まで）に卒業した卒業者の卒業後の状況を5月1日現在で作成。
 * 2019年度～ 一部項目（就職者等、J 左記以外の者、（再掲）、大学院博士課程の計（a）のうち（再掲））を細分化。

12 短期大学部 学科別卒業者の卒業後の状況（産業別）

(2)短期大学部 [2017~2019年度]

(表Ⅷ-12-②)

年度	学科		A	B	C	D	E 製造業										F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	左	就	求	(a/b)																	
			農林・林業	漁業	採取業・砕石業・砂利	建設業	1 食品・飲料・たばこ・飼料製造業	2 繊維工業	3 印刷・同関連業	4 化学工業・石油・石炭製品製造業	5 金属製品製造業・鉄鋼業・非鉄金属	6 はん用・生産用・業務用機械器具製造業	7 電子部品・デバイス・電子回路製造業	8 電機・情報通信機械器具製造業	9 輸送用機械器具製造業	10 その他の製造業	水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	1 卸売業	2 小売業	1 金融業・保険業	2 保険業	1 不動産取引・賃貸・管理業	2 物品賃貸業	L 学術研究、専門・技術サービス業	1 学術・開発研究機関	2 法務	3 その他の専門・技術サービス業	M 宿泊業、飲食サービス業	N 生活関連サービス業、娯楽業	O 教育、学習支援業	1 学校教育		2 その他の教育、学習支援業	P 医療、保健衛生	1 医療業	2 社会保険・社会福祉・介護事業	Q 複合サービス事業	R サービス業	1 宗教	2 その他のサービス業	S 公務	1 国家公務員	2 地方公務員	左記以外	就職者計 (a)	求職者 (b)			
2017	英文	男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%						
		女	0	0	0	0	2	0	0	2	1	1	0	0	0	1	0	2	14	5	12	1	2	0	0	0	0	0	14	2	0	4	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	68	72	94.4%					
	計	0	0	0	0	2	1	0	2	1	1	0	0	0	1	0	2	14	5	12	1	2	0	0	0	0	14	2	0	4	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	69	73	94.5%							
	生活創造	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.0%			
		女	0	0	0	3	3	3	0	2	2	0	0	0	1	1	0	5	5	11	12	9	1	2	4	0	0	1	1	0	2	4	1	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	79	79	100.0%				
	計	0	0	0	3	3	3	0	2	2	0	0	0	1	1	0	5	5	11	12	9	1	2	4	0	0	1	1	0	2	4	1	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	79	81	97.5%					
短期大学部計	男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	33.3%							
	女	0	0	0	3	5	3	0	4	3	1	0	0	1	2	0	7	19	16	24	10	3	2	4	0	0	15	3	0	6	7	1	3	0	5	0	0	0	0	0	0	147	151	97.4%							
計	0	0	0	3	5	4	0	4	3	1	0	0	1	2	0	7	19	16	24	10	3	2	4	0	0	15	3	0	6	7	1	3	0	5	0	0	0	0	0	0	148	154	96.1%								
2018	英文	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%						
		女	0	0	0	1	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3	18	2	8	0	1	1	2	0	0	2	7	6	0	6	1	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	70	72	97.2%				
	計	0	0	0	1	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3	18	2	8	0	1	1	2	0	0	2	8	6	0	6	1	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	71	73	97.3%						
	生活創造	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	1	4	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	3	9	5	16	10	1	0	1	0	0	2	1	5	0	0	3	0	5	0	3	0	1	0	0	0	0	0	73	75	97.3%				
	計	0	0	0	1	4	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	3	9	5	16	10	1	0	1	0	0	2	1	5	0	0	3	0	5	0	3	0	1	0	0	0	0	73	75	97.3%						
短期大学部計	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%							
	女	0	0	0	2	7	0	0	1	3	0	0	0	1	1	0	6	27	7	24	10	2	1	3	0	0	4	8	11	0	6	4	2	7	0	5	0	1	0	0	143	147	97.3%								
計	0	0	0	2	7	0	0	1	3	0	0	0	1	1	0	6	27	7	24	10	2	1	3	0	0	4	9	11	0	6	4	2	7	0	5	0	1	0	0	144	148	97.3%									
2019	英文	男	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	66.7%						
		女	0	0	0	1	2	2	0	2	0	0	0	0	3	0	0	16	4	5	0	0	3	1	0	0	12	4	0	4	0	1	5	0	4	0	1	0	0	0	0	0	70	72	97.2%						
	計	0	0	0	2	2	2	0	2	0	0	0	0	3	0	0	16	5	5	0	0	3	1	0	0	12	4	0	4	0	1	5	0	4	0	1	0	0	0	0	72	75	96.0%								
	生活創造	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		女	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	2	6	11	16	6	1	2	1	0	0	3	1	3	0	3	1	3	4	0	4	0	4	0	2	0	0	0	74	77	96.1%					
	計	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	2	6	11	16	6	1	2	1	0	0	3	1	3	0	3	1	3	4	0	4	0	2	0	0	0	74	77	96.1%								
短期大学部計	男	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	66.7%								
	女	1	0	0	2	2	3	0	3	1	0	0	0	3	0	2	22	15	21	6	1	5	2	0	0	3	13	7	0	7	1	4	9	0	8	0	3	0	0	144	149	96.6%									
計	1	0	0	3	2	3	0	3	1	0	0	0	3	0	2	22	16	21	6	1	5	2	0	0	3	13	7	0	7	1	4	9	0	8	0	3	0	0	146	152	96.1%										

* 各年度間の状況を5月1日現在で作成。

13 学科の企業別就職者数の状況

(1) 大学〔就職者が多い企業〕 [2017～2019]

(表Ⅷ-13-①)

年度		文学部				経済学部				社会福祉学部							
		英文学科		心理・応用コミュニケーション学科		経済学科		経営情報学科		経済法学科		福祉計画学科		福祉臨床学科		福祉心理学科	
		企業名	就職者数	企業名	就職者数	企業名	就職者数	企業名	就職者数	企業名	就職者数	企業名	就職者数	企業名	就職者数	企業名	就職者数
2017	1	ANA新千歳空港	5	日本生命保険相互会社	3	生活協同組合コープさっぽろ	5	モロオ	4	札幌市職員	5	リコージャパン	2	公立学校教員	5	さっぽろ青少年女性活動協会	2
	2	札幌市職員	5	札幌市職員	3	日本郵便	5	北海道銀行	3	北海道銀行	4	マイナビ	2	札幌市職員	2	北海道警察官	2
	3	ミュゼプラチナム	3	日本ハウスホールディングス	2	国家公務員	4	北星学園	3	サッポロドラッグストア	3	さっぽろ青少年女性活動協会	2	札幌東徳洲会病院	2	公立学校教員	2
	4	公立学校教員	3	サンドラッグプラス	2	北海道職員	4	サッポロドラッグストア	2	北海道国民健康保険団体連合会	3	札幌市職員	2	江別すずらん病院	2	札幌ヤクルト販売	1
	5	ケイシイシイ	2	北海道職員	2	札幌市職員	4	北海道エネルギー	2	ラネット	2	公立学校教員	2	麦の子会	2	ツルハ	1
	6	サッポロドラッグストア	2	ロイズコンフェクト	1	練成会グループ	3	東京海上日動火災保険	2	エネサンス北海道	2	ノテ福祉会	2	愛敬園	2	日本赤十字社北海道支部	1
	7	北海道銀行	2	北海道建設新聞社	1	北見市職員	3	日本郵便	2	ホンダ四輪販売北海道	2	北海道信用金庫	1	北海道社会福祉事業団	2	北海道国民健康保険団体連合会	1
	8	東京海上日動火災保険	2	三菱電機住環境システムズ	1	江別市職員	3	北海道警察官	2	日本生命保険相互会社	2	北海道光生舎	1	アースサポート	2	緑陽会	1
	9	全日本空輸	2	ANA新千歳空港	1	セブンイレブン・ジャパン	2	国家公務員	1	日本郵便	2	留萌市社会福祉協議会	1	奈井江町社会福祉協議会	1	住友生命保険相互会社	1
	10	日本航空	2	さっぽろ青少年女性活動協会	1	北海道銀行	2	日本SE	1	国家公務員	2	一条工務店	1	苫小牧ガス	1	よいち福祉会	1
2018	1	ANA新千歳空港	5	ハミューレ	4	国家公務員	5	ナシオ	5	日本郵便	6	北海道職員	3	公立学校教員	5	北海道光生舎	4
	2	JALスカイ札幌	3	KDDIエボルバ	4	ツルハ	3	モロオ	3	北海道職員	4	ツルハ	2	マルベリー	2	日本SE	2
	3	ロイズコンフェクト	2	北海道銀行	3	北星学園	3	マーキュリー	3	ゆうちょ銀行	3	伊藤忠エネクスホームライフ北海道	2	北海道職員	2	ふらの農業協同組合	1
	4	北海道銀行	2	一条工務店	2	北海道職員	3	サッポロウエシマコーヒー	2	北海道旅客鉄道	3	マルベリー	2	札幌市職員	2	札幌丸井三越	1
	5	日本航空	2	北一硝子	2	札幌市職員	3	石垣電材	2	日本ハム北海道販売	2	日本SE	2	勉仁会中垣病院	2	東京カネカフード	1
	6	AIRDO	2	札幌駅総合開発	2	岩田地崎建設	2	クワザワ	2	サッポロドラッグストア	2	新産健会	2	はるにれの里	2	東武トップツアーズ	1
	7	JALスカイ	2	JALスカイ札幌	2	国税専門官	2	日本郵便	2	富士メガネ	2	国家公務員	2	羊ヶ丘養護園	2	日本年金機構	1
	8	近畿日本ツーリスト北海道	2	ペイロール	2	北海道酒類	2	辰巳屋興業	2	三菱電機住環境システムズ	2	IMSグループ	2	北海道市町村職員共済組合	1	江別市職員	1
	9	国家公務員	2	翔嶺館	2	北海道信用金庫	2	札幌トヨタ自動車	2	北海道銀行	2	ノテ福祉会	2	ミサワホーム北海道	1	札幌太田病院	1
	10	北海道職員	2	札幌市職員	2	エネサンス北海道	2	北海道職員	2	国税専門官	2	北海道社会福祉事業団	1	国家公務員	1	麦の子会	1
2019	1	公立学校教員	6	ANA新千歳空港	4	日本郵便	4	セコマ	3	北海道職員	6	アインホールディングス	5	公立学校教員	4	さっぽろ青少年女性活動協会	3
	2	アインホールディングス	4	アインホールディングス	2	フラワーヒルズ	3	北ガスフレアスト	2	国家公務員	5	マルベリー	3	麦の子会	4	公立学校教員	3
	3	NOVAホールディングス	4	北海道プブ	2	北海道職員	3	リコージャパン	2	北海道警察官	5	国家公務員	3	アインホールディングス	2	京王プラザホテル札幌	2
	4	イオン北海道	3	クレタ	2	ツルハ	2	札幌アポロ石油	2	トヨタカローラ札幌	3	北海道職員	3	マルベリー	2	三井住友建設	1
	5	日本航空	3	北海道銀行	2	イオン北海道	2	イオン北海道	2	ナラサキ産業	2	北海道警察官	3	北海道職員	2	イオン北海道	1
	6	キャスト	3	第一生命保険	2	トヨタカローラ札幌	2	北海道銀行	2	エネサンス北海道	2	公立学校教員	3	北ひろしま福祉会	2	北洋銀行	1
	7	一条工務店	2	JALスカイ札幌	2	北洋銀行	2	日本SE	2	東急リバブル	2	DCMホームマック	2	札幌会	2	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	1
	8	石屋商事	2	マーキュリー	2	明治安田生命保険	2	大和ハウス工業	1	エイチ・アイ・ディ	2	北海道国民健康保険団体連合会	2	カプコン	1	札幌慈啓会	1
	9	全日本空輸	2	JTB札幌ビジネスセンター	2	帯広市職員	2	きのとや	1	名鉄観光サービス	2	当別町職員	2	新産健会	1	国家公務員	1
	10	ANA新千歳空港	2	北海道職員	2	エイチ・アイ・エス	2	北海道労働金庫	1	北海道勤労者医療協会	2	地域医療機能推進機構(JCHO)	1	日本学生支援機構	1	はるにれの里	1

13 学科の企業別就職者数の状況

(2) 短期大学部〔就職者が多い企業〕〔2017～2019〕

(表Ⅷ-13-②)

年度		英文学科		生活創造学科	
		企業名	就職者数	企業名	就職者数
2017	1	株式会社ANA新千歳空港	4	株式会社レナウン	3
	2	北海道旅客鉄道株式会社	3	株式会社モロオ	2
	3	株式会社キャスト	3	ネットヨタ札幌株式会社	2
	4	株式会社もりもと	2	札幌信用金庫(現:北海道信用金庫)	2
	5	サッポロウエシマコーヒー株式会社	2	北海道リース株式会社	2
	6	株式会社ジーカンパニー	2	株式会社宮の森スポーツ	2
	7	株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド	2	北海道厚生農業協同組合連合会	2
	8	株式会社共立メンテナンス(ホテル事業部)	2	北海道漁業協同組合連合会	1
	9	三菱電機ビルテクノサービス株式会社	2	ホクレン農業協同組合連合会	1
	10	JR北海道ホテルズ株式会社	2	株式会社北海道銀行	1
2018	1	株式会社ANA新千歳空港	5	株式会社アインホールディングス	4
	2	NOVAホールディングス株式会社	5	ホクレン農業協同組合連合会	2
	3	株式会社キャスト	4	北海道信用金庫	2
	4	青山商事株式会社	2	北門信用金庫	2
	5	ルートイングループ(ルートインホテルズ)	2	札幌トヨタ自動車株式会社	2
	6	HTM株式会社(北海道ツーリズムマネジメント)	2	北海道運輸株式会社	2
	7	株式会社碧雲堂ホテル&リゾート	2	日本通運株式会社	2
	8	ホクレン農業協同組合連合会	1	株式会社JTB札幌ビジネスセンター	2
	9	日本航空株式会社	1	日本郵便株式会社	2
	10	株式会社AIRDO	1	ALSOKグループ	2
2019	1	株式会社キャスト	5	株式会社モロオ	4
	2	株式会社ANA新千歳空港	4	ホクレン農業協同組合連合会	3
	3	株式会社JALスカイ札幌	3	北海道信用金庫	2
	4	NOVAホールディングス株式会社	3	日本通運株式会社	2
	5	株式会社モロオ	3	株式会社アインホールディングス	2
	6	カラカミ観光株式会社	3	株式会社エミヤ	2
	7	トヨタ自動車北海道株式会社	3	社会福祉法人麦の子会	2
	8	ホクレン農業協同組合連合会	2	北海道信用保証協会	1
	9	ホテルモンテ株式会社	2	北海道農業信用基金協会	1
	10	株式会社グランビスタ&リゾート(札幌パークホテル)	2	日本郵便株式会社	1

2019年度 キャリアデザインプログラム等出席状況

※大学の『他』＝大学院生、科目等履修生、卒業生

14 キャリアデザインプログラム等出席状況〔2019年度〕

(単位：人) (表Ⅷ-14-①)

プログラム名	実施日	曜	講時	全合計	大 学										短大部					
					学 年	文学部		経済学部			社会福祉学部			他	大学計	学 年	英文	生活	短合計	
						英文	心コ	経済	経情	経法	計画	臨床	心理							
短大生の就職活動の進め方～就活に苦労する人の特徴とは？ (短大2年対象)	4/10	水	13:00～14:30	51											2年生	22	29	51		
北海道・札幌市教員採用候補者選考検査願書記入説明会 (大学4年対象)	4/16	火	12:10～12:50	37	3年生	12	3	2	2	0	4	9	5		37					
オリエンテーション (大学3年・短大1年対象)	4/17	水	13:00～14:30	681	3年生	87	61	89	56	78	43	65	48	1	529	1年生	70	82	152	
インターンシップ説明会 (大学3年・短大1年対象)	4/24	水	13:00～14:30	520	4年生	148		223			157			1	423		70	82		
E S・履歴書の書き方講座 (短大2年対象)	4/24	水	13:00～14:30	26	3年生	73	56	72	49	70	34	32	36	1	423	1年生	31	66	97	
第3回福祉ガイダンス (大学4年対象)	4/24	水	13:00～14:30	47	4年生							14	33	0	1	47	2年生	11	15	26
夏休みには企業訪問① (大学3年・短大1年対象)	5/8	水	13:00～14:30	398	3年生	59	49	43	45	57	29	17	29	1	329	1年生	27	42	69	
企業はこんな学生をほしがっている～人事トークセッション～ (大学3年・短大1年対象)	5/15	水	13:00～14:30	295	3年生	41	27	35	29	48	21	14	21	1	237	1年生	21	37	58	
第1回公務員ガイダンス・学内公務員講座説明会(前期) (大学1～3年・短大1年対象)	5/15	水	16:20～17:50	395	1年生	6	2	23	3	17	15	4	6	1	392	1年生	2	1	3	
OB・OGゲストトーク (大学3年・短大1年対象)	5/22	水	13:00～14:30	155	2年生	8	5	26	8	42	27	14	12			1年生	11	21		32
筆記試験対策講座 (短大2年対象)	5/22	水	13:00～14:30	13	3年生	7	8	34	15	41	25	22	21			2年生	5	8		13
特別支援学校教員講座 (大学1～4年対象)	5/29	水	13:00～14:30	13	1年生	0	0	0	0	1	2	1	0		13					
				2年生	0	1	0	0	0	0	0	0	1年生			23	7	61		
				3年生	3	0	0	0	0	1	1	2	2年生			24	7			
				4年生	0	0	0	0	0	0	0	1	47			14				
編入学ガイダンス (短大1・2年対象)	5/29	水	13:00～14:30	61											1年生	23	7	61		
第4回福祉ガイダンス (大学4年対象)	6/5	水	13:00～14:30	36	4年生							12	23	1	47	14				
											36									

2019年度 キャリアデザインプログラム等出席状況

※大学の『他』＝大学院生、科目等履修生、卒業生

14 キャリアデザインプログラム等出席状況〔2019年度〕

(単位：人) (表Ⅷ-14-②)

プログラム名	実施日	曜	講時	全合計	大 学										短 大 部				
					学 年	文学部		経済学部			社会福祉学部			他	大学計	学 年	英文	生活	短合計
						英文	心コ	経済	経情	経法	計画	臨床	心理						
第1回公務員ガイダンス・学内公務員講座説明会（前期）・追加講座 (大学1～3年・短大1年対象)	6/5	水	13:00～14:30	45	1年生	1	5	8	0	1	3	0	1	40	1年生	2	3	5	
					2年生	1	4	0	0	2	7	1	1			2	3		
					3年生	0	0	0	2	2	0	1	0						
						11		15			14								
第1回福祉ガイダンス (大学3年対象)	6/12	水	13:00～14:30	66	3年生						8	52	6	66	1年生	0	0	0	
面接試験対策講座 (短大2年対象)	6/12	水	13:00～14:30	17											0	2年生	5	12	17
夏休みには企業訪問② (大学3年・短大1年対象)	6/19	水	13:00～14:30	246	3年生	40	28	24	42	35	7	6	13	195	1年生	28	23	51	
航空業界対策プログラム説明会 卒業生 による航空業界就活体験報告会 (大学1～3年・短大1年対象)	6/26	水	13:00～14:30	74	1年生	10	0	0	0	0	0	0	0	44	1年生	29	0	30	
					2年生	0	0	0	0	0	0	0	0		2年生	1	0		
					3年生	21	3	3	5	1	1	0	0						
						34		9			1			30		0			
学内企業説明会事前ガイダンス～夏以降の動き方～ (大学4年・短大2年対象)	6/26	水	13:00～14:30	82	4年生	8	3	6	4	11	15	15	1	67	2年生	4	11	15	
					3年生						1	1	2						
						11		22			34			4		11			
マナー講習会① (大学3年・短大1年対象)	7/3	水	13:00～14:30	351	3年生	44	31	51	38	59	23	12	27	285	1年生	29	37	66	
						75		148			62			29		37			
マナー講習会② (大学3年・短大1年対象)	7/10	水	13:00～14:30	334	3年生	42	24	45	36	53	18	15	27	260	1年生	32	42	74	
						66		134			60			32		42			
夏休みには企業訪問③ (大学3年・短大1年対象)	7/17	水	13:00～14:30	172	3年生	29	19	14	28	23	9	1	6	129	1年生	24	19	43	
						48		65			16			24		19			
第1回社会福祉士国家試験ガイダンス (大学3～4年対象)	7/24	水	13:00～14:30	61	3年生							31	61						
					4年生						11	19							
											61								

2019年度 キャリアデザインプログラム等出席状況

※大学の『他』＝大学院生、科目等履修生、卒業生

14 キャリアデザインプログラム等出席状況〔2019年度〕

(単位：人) (表Ⅷ-14-③)

プログラム名	実施日	曜	講時	全合計	大 学										短大部					
					学 年	文学部			経済学部			社会福祉学部			他	大学計	学 年	英文	生活	短合計
						英文	心コ	経済	経情	経法	計画	臨床	心理							
就活必勝法指南 (大学3年・短大1年対象)	9/18	水	13:00~14:30	619	3年生	88	56	70	77	56	51	45	40		483	1年生	70	66	136	
						144		203		136										
第2回公務員ガイダンス (大学3年・短大1年対象)	9/18	水	13:00~14:30	112	3年生	5	7	25	7	36	11	9	9	1	110	1年生	1	1	2	
						12		68		29						1	1			
第2回社会福祉士国家試験ガイダンス (大学4年対象)	9/18・20	水・金	13:00~14:30	73	4年生							26	47	0		73				
												73								
学内公務員講座説明会(後期) (大学1~3年・短大1年対象)	9/18	水	16:20~17:50	17	4年生		1								17	1年生			0	
					3年生								1							
					2年生	5	2	2	1	1	1	3					0	0		
業界研究は必要!? (大学3年・短大1年対象)	9/25	水	13:00~14:30	175	3年生	35	22	20	8	27	7	3	16	1	139	1年生	21	15	36	
						57		55		26						21	15			
キャリアサポーター募集説明会 (大学4年・短大2年対象)	9/25	水	13:00~14:30	30	4年生	6	4	4	1	5	2	3	0		25	2年生	2	3	5	
						10		10		5						2	3			
今すべき就活方法を学ぶ (短大2年対象)	9/25	水	13:00~14:30	1											2年生	1	0	1		
																1	0			
SPIってどんな試験? (大学3年・短大1年対象)	10/2	水	13:00~14:30	261	3年生	36	20	29	21	47	20	9	21		203	1年生	32	26	58	
						56		97		50						32	26			
SPI解き方講座(非言語) (大学3年・短大1年対象)	10/9	水	13:00~14:30	229	3年生	30	34	32	19	36	13	6	19		189	1年生	24	16	40	
						64		87		38						24	16			
SPI解き方講座(言語+非言語) (大学3年・短大1年対象)	10/16	水	13:00~14:30	166	3年生	24	21	22	19	26	12	3	16		143	1年生	12	11	23	
						45		67		31						12	11			
航空業界就活体験報告会 (大学1~3年・短大1年対象)	10/18	金		52	3年生	9	1	2	1		1			36	1年生	16		16		
					2年生	15														
					1年生	7														
						32		3		1						16	0			
短大生の就職活動について (短大1年対象)	10/23	水	13:00~14:30	116											1年生	47	69	116		
																47	69			
自己分析の方法 (大学3年・短大1年対象)	10/30	水	13:00~14:30	212	3年生	28	24	25	26	42	18	7	23		193	1年生	6	13	19	
						52		93		48						6	13			
キャリアサポーター会議① (大学4年・短大2年対象)	10/30	水	13:00~14:30	30	4年生	6	4	3	1	4	1	5	0		24	2年生	3	3	6	
						10		8		6						3	3			

2019年度 キャリアデザインプログラム等出席状況

※大学の『他』＝大学院生、科目等履修生、卒業生

14 キャリアデザインプログラム等出席状況〔2019年度〕

(単位：人) (表Ⅷ-14-④)

プログラム名	実施日	曜	講時	全合計	大 学										短大部									
					学 年	文学部		経済学部			社会福祉学部			他	大学計	学 年	英文	生活	短合計					
						英文	心コ	経済	経情	経法	計画	臨床	心理											
教員採用試験ガイダンス (大学3年対象)	10/30	水	13:00～ 14:30	13	4年生																			
					3年生	3		1		2			2	2										
					1年生		1				1													
						4		3		6														
航空業界特別講座	11/2	土	9:00～ 16:00	37	3年生	14		2	2		1					24	1年生	13					13	
					2年生	5																		
						19		4		1														
航空業界特別講座	11/3	日	9:00～ 16:00	30	3年生	12		3								20	1年生	10					10	
					2年生	5																		
						17		3		0														
先輩たちはこうして内定をゲットした (大学3年・短大1年対象)	11/6	水	13:00～ 14:30	128	3年生	19	12	8	7	17	11	10	10		94	1年生	20	14					34	
						31		32		31														
公務員合格体験談報告会 (大学1～3年・短大1年対象)	11/6	水	13:00～ 14:30	51	3年生	1	1	11	0	14	7	4	8		49	1年生	1	1					2	
					2年生			1			2													
						2		26		21														
SP I 模擬テスト (大学3年・短大1年対象)	11/13	水	13:00～ 14:30	172	3年生	32	19	21	14	22	16	7	19		150	1年生	10	12					22	
						51		57		42														
業界・企業研究のHow to! (大学3年・短大1年対象)	11/20	水	13:00～ 14:30	177	3年生	26	25	16	23	18	10	8	17		143	1年生	12	22					34	
						51		57		35														
エントリーシート「自己PR編」+「志望 動機編」 (大学3年・短大1年対象)	11/27	水	13:00～ 14:30	261	3年生	31	38	29	24	32	22	14	21		211	1年生	27	23					50	
						69		85		57														
グループディスカッション・集団面接の ポイント (大学3年・短大1年対象)	12/4	水	13:00～ 14:30	166	3年生	27	14	13	9	31	13	3	17		127	1年生	27	12					39	
						41		53		33														
キャリアサポーター会議② (大学4年・短大2年対象)	12/4	水	13:00～ 14:30	23	4年生	7	3	3	1	1	2	3		20	2年生	1	2						3	
						10		5		5														
チャレンジ! グループディスカッション (実践編) (大学3年・短大1年対象)	12/11	水	12:30～ 14:30	92	3年生	23	10	8	4	9	4	5	12		75	1年生	14	3					17	
						33		21		21														
チャレンジ! 集団面接 (実践編) (大学3年・短大1年対象)	12/18	水	12:30～ 14:30	69	3年生	16	9	5	2	11	3	2	6		54	1年生	12	3					15	
						25		18		11														
キャリアプロ最終回～就活本番直前講座～ (大学3年・短大1年対象)	1/8	水	13:00～ 14:30	376	3年生	45	33	51	49	52	27	31	25	1	314	1年生	27	35					62	
						78		152		83														

2019年度 キャリアデザインプログラム等出席状況

※大学の『他』＝大学院生、科目等履修生、卒業生

14 キャリアデザインプログラム等出席状況〔2019年度〕

(単位：人) (表Ⅷ-14-⑤)

プログラム名	実施日	曜	講時	全合計	大 学										短大部										
					学 年	文学部		経済学部			社会福祉学部			他	大学計	学 年	英文	生活	短合計						
						英文	心コ	経済	経情	経法	計画	臨床	心理												
航空業界特別講座	2/14	金	9:00~ 16:00	16	3年生	6	1	2				1						15	1年生	1			1		
					2年生	5																			
						12		2			1														
航空業界特別講座	2/15	土	9:00~ 16:00	12	3年生	5	1	1				1						11	1年生	1			1		
					2年生	3																			
						9		1			1														
学内企業説明会事前ガイダンス (大学3年・短大1年対象)	2/17	月	13:00~ 14:30	525	3年生	58	52	88	54	66	55	58	28				1	462	1年生	21	42		63		
					2年生					1	1														
						110		209			142													21	42
キャリアサポーター会議③ (大学4年・短大2年対象)	2/19	月	13:00~ 14:30	21	4年生	5	3	2		2	2	2					16	2年生	3	2		5			
						8		4			4														

15 各種公務員及び公立学校教員の受験・合格状況

(1) 大学

[2017～2019年度]

(表Ⅷ-15-①)

		2017年度 (H29)				2018年度 (H30)				2019年度 (R1)				3年間 平均
		文学部	経済学部	社会福祉学部	計	文学部	経済学部	社会福祉学部	計	文学部	経済学部	社会福祉学部	計	
国家公務員 (大卒程度) ※1	受験者数現役(a)	不明	不明	不明	-	不明	不明	不明	-	不明	不明	不明	-	-
	合格者数現役(b)	6	19	2	27	10	33	4	47	2	12	7	21	31.7
	(既卒者を含む合格者数)	(6)	(19)	(2)	(27)	(10)	(33)	(4)	(47)	(2)	(13)	(7)	(22)	32.0
	合格率(b/a*100)(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道職員 (A区分)	受験者数現役(a)	不明	不明	不明	-	不明	不明	不明	-	不明	不明	不明	-	-
	合格者数現役(b)	13	18	9	40	8	17	10	35	2	17	11	30	35.0
	(既卒者を含む合格者数)	(13)	(18)	(9)	(40)	(8)	(18)	(10)	(36)	(3)	(19)	(11)	(33)	36.3
	合格率(b/a*100)(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市町村職員	受験者数現役(a)	不明	不明	不明	-	不明	不明	不明	-	不明	不明	不明	-	札幌市、市町村
	合格者数現役(b)	15	43	12	70	13	20	12	45	7	28	12	47	54.0
	(既卒者を含む合格者数)	(15)	(43)	(12)	(70)	(13)	(22)	(13)	(48)	(7)	(29)	(12)	(48)	55.3
	合格率(b/a*100)(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
各種公務員 (自衛官・警察・ 国立大学法人等職員)	受験者数現役(a)	不明	不明	不明	-	不明	不明	不明	-	不明	不明	不明	-	-
	合格者数現役(b)	4	13	1	18	3	12	9	24	3	23	10	36	26.0
	(既卒者を含む合格者数)	(4)	(13)	(1)	(18)	(3)	(12)	(9)	(24)	(4)	(23)	(10)	(37)	26.3
	合格率(b/a*100)(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道・札幌市公立 学校教員(英語)	受験者数現役(a)	10	0	0	10	9	0	0	9	6	0	0	6	8.3
	合格者数現役(b)	5	0	0	5	1	0	0	1	2	0	0	2	2.7
	(既卒者を含む合格者数)	(13)	(0)	(0)	(13)	(7)	(0)	(0)	(7)	(13)	(0)	(0)	(13)	(11.0)
	合格率(b/a*100)(%)	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	31.5%
北海道・札幌市公立 学校教員(社会地歴 等)	受験者数現役(a)	5	14	4	23	5	8	6	19	3	2	3	8	16.7
	合格者数現役(b)	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0.7
	(既卒者を含む合格者数)	(0)	(3)	(2)	(5)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(2)	(2)	(4)	(3.3)
	合格率(b/a*100)(%)	0.0%	7.1%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	5.6%

※1 国家公務員(総合職・一般職・専門職)、裁判所職員を含む

15 各種公務員及び公立学校教員の受験・合格状況

(1) 大学

[2016～2018年度]

(表Ⅷ-15-②)

		2017年度 (H29)				2018年度 (H30)				2019年度 (R1)				3年間 平均
		文学部	経済学部	社会福祉学部	計	文学部	経済学部	社会福祉学部	計	文学部	経済学部	社会福祉学部	計	
北海道・札幌市公立 学校教員(特別支援) ※1	受験者数現役(a)	0	0	8	8	0	0	9	9	0	0	14	14	10.3
	合格者数現役(b)	0	0	9	9	0	0	6	6	0	0	12	12	9.0
	(既卒者を含む合格者数)	(0)	(1)	(18)	(19)	(1)	(0)	(12)	(13)	(1)	(0)	(20)	(21)	(17.7)
	合格率(b/a*100)(%)	0.0%	0.0%	112.5%	112.5%	0.0%	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	85.7%	85.7%	88.3%
北海道・札幌市公立 学校教員(その他)	受験者数現役(a)	1	0	2	3	0	1	0	1	1	3	1	5	3.0
	合格者数現役(b)	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	1.0
	(既卒者を含む合格者数)	(2)	(1)	(1)	(4)	(2)	(1)	(0)	(3)	(5)	(0)	(0)	(5)	(4.0)
	合格率(b/a*100)(%)	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	51.1%
北海道外 公立学校教員 (全校種・教科計)	受験者数現役(a)	1	0	2	3	0	0	0	0	1	1	4	6	3.0
	合格者数現役(b)	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0.7
	(既卒者を含む合格者数)	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(1)	(1)	(1.0)
	合格率(b/a*100)(%)	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
社会福祉士	受験者数現役(a)	76				84				71				77.0
	合格者数現役(b)	47				45				29				40.3
	(既卒者を含む合格者数)	(71)				(64)				(53)				(62.7)
	合格率(b/a*100)(%)	61.8				53.6				40.8				52.1
精神保健福祉士	受験者数現役(a)	12				8				8				9.3
	合格者数現役(b)	12				7				4				7.7
	(既卒者を含む合格者数)	(12)				(8)				(4)				(8.0)
	合格率(b/a*100)(%)	100.0				87.5				50.0				79.2

※1 北海道・札幌市公立学校教員(特支)～在学時の所属が不明の既卒者が他に2名合格(教育委員会合格者情報開示より)

15 各種公務員及び公立学校教員の受験・合格状況

(2) 短期大学部 [2017～2019年度]

(表Ⅷ-15-③)

		2017年度 (H29)			2018年度 (H30)			2019年度 (R1)			3年間 平均	備考
		英文 学科	生活 創 造 学科	計	英文 学科	生活 創造 学科	計	英文 学科	生活 創造 学科	計		
国家公務員 (高卒程度) ※ 1	受験者数現役(a)	不明	不明	-	不明	不明	-	不明	不明	-	-	
	合格者数現役(b)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(既卒者を含む合格者数)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
	合格率(b/a*100) (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
北海道職員 (B区分)	受験者数現役(a)	不明	不明	-	不明	不明	-	不明	不明	-	-	
	合格者数現役(b)	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0.7	
	(既卒者を含む合格者数)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0.7)	
	合格率(b/a*100) (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
市町村職員	受験者数現役(a)	不明	不明	-	不明	不明	-	不明	不明	-	-	
	合格者数現役(b)	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1.0	
	(既卒者を含む合格者数)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(1)	
	合格率(b/a*100) (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※ 1 国家公務員（一般職・専門職）、裁判所職員を含む

15 各種公務員及び公立学校教員の受験・合格状況

(2) 短期大学部 [2017～2019年度]

(表Ⅷ-15-④)

		2017年度 (H29)			2018年度 (H30)			2019年度 (R1)			3年間 平均	備考
		英文	生活 創	計	英文	生活	計	英文	生活	計		
各種公務員 (自衛官・警察・ 国立大学法人等職員)	受験者数現役(a)	不明	不明	-	不明	不明	-	不明	不明	-	-	
	合格者数現役(b)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	(既卒者を含む合格者数)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
	合格率(b/a*100) (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
北海道・札幌市公立 学校教員 ()	受験者数現役(a)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	合格者数現役(b)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	(既卒者を含む合格者数)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	合格率(b/a*100) (%)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
北海道・札幌市公立 学校教員 ()	受験者数現役(a)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	合格者数現役(b)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	(既卒者を含む合格者数)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	合格率(b/a*100) (%)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
北海道・札幌市公立 学校教員 (その他)	受験者数現役(a)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	合格者数現役(b)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	(既卒者を含む合格者数)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	合格率(b/a*100) (%)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

16 社会福祉士講座・精神保健福祉士講座受講者の合格率

[2016～2018年度] ※精神保健福祉士については、2017年度より講座取り止め。

(表Ⅷ-16)

		2017年度 (H29)			2018年度 (H30)			2019年度 (H31)			3年間 平均	備考
		現役	既卒	計	現役	既卒	計	現役	既卒	計		
社会福祉士	受講者数(a)	61	0	61	47	1	48	51	2	53	53.0	←現役の平均数
	受講者の合格者数(b)	40	0	40	27	不明	-	23	不明	-	-	←現役の平均数
	合格率(b/a*100) (%)	65.6	0.0	65.6	57.4	-	-	45.1	-	-	-	←現役の平均数
	本学合格者数	47	24	71	45	19	64	29	24	53	62.7	
精神保健福祉士	受講者数(a)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	←現役の平均数
	受講者の合格者数(b)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	←現役の平均数
	合格率(b/a*100) (%)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	←現役の平均数
	本学合格者数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

17 学生ボランティア団体の活動状況〔2019年度〕

(表Ⅷ-17-①)

障がい児者福祉研究会		部員数75名(4月～3月活動数 合計9回)
活動名	日時・期間	活動場所
託児ボランティア	04.21	エルプラザ
託児ボランティア	05.26	かでの2.7
託児ボランティア	06.16	エルプラザ
託児ボランティア	07.21	エルプラザ
託児ボランティア	09.15	エルプラザ
長井ボランティア	09.28	ハビタット野幌
託児ボランティア	11.17	エルプラザ
長井ボランティア	11.23	ハビタット野幌
託児ボランティア	12.15	エルプラザ
おとしより研究会		部員数39名(4月～3月活動数 合計3回)
活動名	日時・期間	活動場所
フェアトレードフェスタ 2019 さっぽろ	06.29～30	札幌市大通公園10丁目
厚別区誕生30周年記念事業つながるイベント相談会&大谷地交流会	09.25	北星学園大学
北星学園大学吹奏楽部第44回定期演奏会	12.21	札幌市生涯学習センターちえりあ
ボランティア・コパン部		部員数219名(4月～3月活動数 合計45回)
活動名	日時・期間	活動場所
レインボースマイル料理教室	04.20	札幌エルプラザ
トロワの畑 子ども食堂	04.21	えこふりい
トロワの畑 子ども食堂	05.19	えこふりい
エコフェス	05.19	恵み野中央公園
レインボー遊び教室	05.19	スガイディノスボウル札幌中央店
そこからつながる音楽ライブ	06.02	創世スクエア3F クリエイティブスタジオ
第13回さっぽろトリム&ラン	06.09	真駒内オープンスタジアム
さっぽろ水道フェスタ2019	06.22	札幌市水道記念館
土曜寺子屋 くるみん	06.22	市立発寒小学校
レインボースマイル料理教室	06.23	札幌エルプラザ4F料理実習室
ピリカ子ども食堂 夏祭り	07.07	子ども食堂ピリカ
土曜寺子屋 くるみん	07.20	市立発寒小学校
2019 サマーフェスティバル	07.21	しらかば公園
レインボー料理教室	08.24	札幌エルプラザ
北海道マラソン	08.25	大通公園8丁目
マルシェイベント「元気市」	09.06	さっぽろさとらんど交流館
モエレ沼芸術花火大会2019	09.07	モエレ沼公園
トロワの畑 子ども食堂	09.15	えこふりい
レインボー遊び教室	09.21	つどーむ
農業・農村赤レンガフェスタ	09.28	道庁赤レンガ庁舎他
土曜寺子屋 くるみん	09.28	札幌市立発寒中学校
ミニさっぽろ2019	10.06	アクセスサッポロ
時習館 ミニソフトバレー大会	10.19	札幌市立手稲東小学校
土曜寺子屋 くるみん	11.16	市立発寒小学校
レインボー遊び教室	11.17	エルプラザ
障がい児支援交流事業 まちなかのオーケストラ	12.14	ラソラ札幌 Aタウン1階イベントコート
レインボー料理教室	12.22	エルプラザ

17 学生ボランティア団体の活動状況〔2019年度〕

(表Ⅷ-17 -②)

ボランティア・コパン部		部員数219名(4月～3月活動数 合計45回)
活動名	日時・期間	活動場所
レインボー遊び教室	01.19	カラオケまねきねこ札幌駅西口店
ボランティアサークルable		部員数111名(4月～3月活動数 合計9回)
活動名	日時・期間	活動場所
社会福祉法人アンビシャスボランティア	05.11	登別グランドホテル
九十郎ハイム懇親会	06.22	九十郎ハイム
社会福祉法人アンビシャスボランティア	07.20	アンビシャスケアセンター
九十郎ハイム屋上ビアガーデン	08.03	九十郎ハイム 7F屋上
モエレ沼花火大会	09.07	モエレ沼公園
ミニさっぽろ2019	10.06	札幌市白石区流通センター

※活動団体は学生生活支援課の集計によるもの。

Ⅸ. 本学の図書及び学術情報に関すること

1 図書・資料等所蔵状況

[2016～2019]

(表Ⅸ-1)

図書館の名称	館数		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	備考	
図書館	1	蔵書冊数	和書	420,880	431,718	438,171	451,002	
			開架図書の冊数(内数)	282,420	292,071	295,596	303,052	
			外国書	154,786	157,462	160,149	162,271	
			開架図書の冊数(内数)	117,465	119,971	122,763	123,954	
			計	575,666	589,180	598,320	613,273	
			開架図書の冊数(内数)	399,885	412,042	418,359	427,006	
			年間受入冊数	15,583	17,219	13,926	15,567	
			寄贈図書冊数(内数)	2,696	2,606	2,326	3,020	
		所蔵雑誌数 (種類)	和雑誌	4,969	4,427	4,809	4,163	
			外国雑誌	1,155	1,049	1,156	1,085	
			計	6,124	5,476	5,965	5,248	
			年間受入誌数	1,480	1,991	1,919	1,141	
			寄贈雑誌数(内数)	769	1,179	1,214	447	
		電子情報資源	電子書籍(冊数)	685	1,021	1,090	1,136	
			電子ジャーナル(利用可能種類)	16,356	62,954	69,087	71,312	
			情報データベース(種類)	37	34	32	38	
視聴覚資料の所蔵数			12,776	13,196	11,028	11,191		

2 分野別図書・雑誌受け入れ状況

〔図書〕

(大学・短期大学部) [2015～2019]

(表IX-2-①)

分野別 (日本十進分類法)		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年間平均
日本十進分類法 (類目表)	000 総記 (知識・学問一般・情報科学) (外国書内数)	601 (119)	529 (103)	616 (97)	445 (25)	817 (39)	602 (77)
	100 哲学・宗教 (心理学・キリスト教) (外国書内数)	1,156 (222)	991 (190)	974 (189)	942 (159)	1,153 (188)	1,043 (190)
	200 歴史・地理 (外国書内数)	1,602 (412)	1,248 (261)	1,279 (164)	1,110 (248)	1,328 (219)	1,313 (261)
	300 社会科学 (法律・経済・社会学・教育) (外国書内数)	5,963 (1,378)	5,239 (1,134)	6,090 (766)	5,184 (1,095)	5,900 (859)	5,675 (1,046)
	400 自然科学 (数学・地学・医学) (外国書内数)	1,050 (153)	925 (121)	1,199 (120)	843 (78)	1,008 (85)	1,005 (111)
	500 技術・工学 (建築・環境・工業・家政学) (外国書内数)	584 (84)	461 (75)	458 (45)	426 (98)	408 (54)	467 (71)
	600 産業 (農・水産業・商業) (外国書内数)	580 (93)	614 (156)	605 (64)	516 (83)	518 (33)	567 (86)
	700 芸術・美術 (美術・音楽・スポーツ) (外国書内数)	1,455 (118)	1,210 (208)	1,316 (67)	967 (170)	852 (40)	1,160 (121)
	800 言語 (外国書内数)	1,974 (1,336)	1,667 (1,143)	1,241 (583)	755 (275)	1,005 (349)	1,328 (737)
	900 文学 (外国書内数)	2,211 (446)	1,660 (161)	2,090 (255)	1,574 (221)	1,424 (158)	1,792 (248)
		分野別合計 (外国書内数)	17,176 (4,361)	14,544 (3,552)	15,868 (2,350)	12,762 (2,452)	14,413 (2,024)
主要分野詳細	007 情報科学 (外国書内数)	213 (28)	205 (20)	231 (37)	172 (12)	478 (22)	260 (24)
	140 心理学 (外国書内数)	434 (122)	373 (119)	397 (146)	359 (66)	388 (96)	390 (110)
	190 キリスト教 (外国書内数)	183 (36)	150 (13)	191 (120)	189 (24)	284 (50)	199 (49)
	320 法律 (外国書内数)	770 (147)	563 (96)	640 (88)	616 (84)	710 (156)	660 (114)
	330 経済 (外国書内数)	1,179 (347)	1,230 (369)	1,340 (152)	1,274 (434)	1,201 (162)	1,245 (293)
	360 社会学(社会福祉) (外国書内数)	1,657 (453)	1,357 (335)	1,761 (228)	1,316 (310)	1,567 (229)	1,532 (311)
	370 教育 (外国書内数)	896 (175)	832 (139)	1,050 (140)	785 (51)	977 (43)	908 (110)
	490 医学 (外国書内数)	607 (106)	496 (93)	774 (102)	458 (36)	564 (63)	580 (80)
830 英語 (外国書内数)	1,420 (1,173)	1,198 (972)	673 (436)	287 (87)	470 (191)	810 (572)	

2 分野別図書・雑誌受け入れ状況

〔雑誌〕

(大学・短期大学部) [2015～2019]

(表IX-2-②)

分野別		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年間平均
主要分野別	総記及び共通 (外国書内数)	138 (19)	115 (13)	241 (64)	124 (23)	123 (24)	148 (29)
	心理 (外国書内数)	113 (48)	84 (27)	104 (26)	105 (27)	79 (24)	97 (30)
	社会福祉 (外国書内数)	150 (52)	134 (24)	144 (41)	144 (41)	118 (23)	138 (36)
	教育 (外国書内数)	36 (3)	30 (2)	31 (1)	31 (1)	28 (1)	31 (2)
	経済 (外国書内数)	209 (120)	126 (60)	173 (68)	185 (79)	106 (53)	160 (76)
	法律 (外国書内数)	64 (18)	70 (16)	88 (31)	85 (28)	66 (20)	75 (23)
	英語・言語 (外国書内数)	77 (48)	68 (42)	84 (49)	84 (49)	69 (41)	76 (46)
	主要分野別合計 (外国書内数)	787 (308)	627 (184)	865 (280)	758 (248)	589 (186)	725 (241)
	紀要 (外国書内数)	383 (2)	500 (22)	383 (2)	1,071 (6)	311 (1)	530 (7)
	新聞 (外国書内数)	30 (14)	30 (11)	30 (14)	29 (10)	29 (10)	30 (12)
	その他合計 (外国書内数)	413 (16)	530 (33)	413 (16)	1,100 (16)	340 (11)	559 (18)

3 図書館の利用状況

[2015～2019]

(表IX-3)

項目		年度					5年間平均	備 考	
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度			
年間開館日数	授業期間平日 (8:45～22:00)	175	171	165	167	168	169		
	休業期間平日 (8:45～20:00)	58	57	63	62	65	61		
	土曜日 (8:45～20:00)	42	47	44	40	35	42		
	日曜・祝日・特別開館 (12:00～17:00)	41	42	43	36	44	41		
	合計	316	317	315	305	312	313		
	総開館時間数 時間外開館時間数(内数)	3,649 1,522	3,646 1,555	3,605 1,509	3,540 1,459	3,511 1,369	3,590 1,483		※時間外は、平日17:00以降及び土日祝日の開館時間
入館者数	学生(学部生・短大生)	139,379	127,915	130,289	123,924	117,912	127,884		
	大学院生	1,121	1,372	1,343	1,059	1,144	1,208		
	教職員	3,913	3,735	4,392	4,391	4,111	4,108		
	学外利用者	17,662	22,722	19,915	18,319	18,525	19,429		
	高校生の利用(内数)	3,367	6,987	5,273	5,263	6,893	5,557		
	合計	162,075	155,744	155,939	147,693	141,692	152,629		
	1日当たりの入館者数平均(通年)	512.90	491.30	495.00	484.20	454.10	487.50		
	授業期間平日の1日当たり入館者数平均	788.90	759.00	840.50	749.90	715.50	770.76		
学生1人当たりの年間入館回数平均	32.60	29.80	29.90	28.60	27.80	29.74			
貸出統計(図書)	学部生	1年次	7,149	5,737	6,460	6,294	6,497	6,427	
		2年次	6,712	6,515	6,935	5,100	4,522	5,957	
		3年次	10,161	9,502	8,073	8,027	6,501	8,453	
		4年次以上	12,874	12,529	11,798	11,597	10,264	11,812	
	短大生	1年次	11,046	9,741	11,399	9,458	7,996	9,928	
		2年次以上	5,501	6,818	5,939	4,676	2,420	5,071	
	大学院生	1,648	1,679	1,422	1,332	735	1,363		
	その他学生(研究生・留学生・科目等履修生等)	417	468	651	245	489	454		
	学生合計	55,508	52,989	52,677	46,729	39,424	49,465		
	教職員	4,890	4,873	5,357	5,809	5,246	5,235		
	学外利用者	8,858	7,737	7,435	8,926	7,945	8,180		
	卒業生(内数)	2,094	1,817	1,395	2,810	2,208	2,065		
	貸出合計	69,256	65,599	65,469	61,464	52,615	62,881		
	学部学生1人当たりの年間貸出冊数平均	9.69	9.00	8.58	8.01	7.26	8.51		
短大生1人当たりの年間貸出冊数平均	34.47	33.59	35.46	30.46	24.06	31.61			
大学院生1人当たりの年間貸出冊数平均	58.86	52.47	43.09	44.40	35.00	46.76			
情報検索支援	文献検索ガイダンス実施件数	226	254	258	181	169	217.60		
	文献検索ガイダンス受講数(延べ)	3,339	3,219	3,226	2,684	2,872	3,068		
図書館相互利用(ILL)	文献複写依頼	895	1,268	997	914	1,034	1,022	※相互利用の「依頼」は本学から他大学へ申し込んだ件数。受付は、他大学図書館等から申し込まれた件数。	
	学生の依頼(内数)	369	527	539	378	506	464		
	文献複写受付	854	732	697	808	815	781		
	文献貸借依頼	212	243	315	365	356	298		
	学生の依頼(内数)	66	120	121	86	96	98		
文献貸借受付	717	691	581	531	577	619			

X. 本学の宗教活動に関すること

1 各種行事等の出席者状況

(2015～2019)

(単位：名) (表X-1)

項目	年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年間平均
		出席者総数	3,436	4,225	4,383	3,455	3,952
出席者平均		28.2	33.3	34.8	29.0	33.5	32
宗教週間 (スミス・ミッションウイーク)	礼拝出席者総数	131	379	166	140	106	184
	講演会出席者数	215	369	251	289	257	276
宗教改革記念講演会	出席者数	64	77	90	60	234	105
スミス・ミッションセンター企画 (旧スミス・ミッションセンター講演会)	出席者数	122	68	38	89	216	107
チャペルコンサート	開催回数	6	6	6	7	7	6
	出席者総数	900	808	779	741	750	796
	出席者平均	150	135	130	106	107	126
ともに祈る会	開催回数	15	—	—	—	—	3
	出席者総数	261	—	—	—	—	52
	出席者平均	17.4	—	—	—	—	3
S M C 合宿旅行	出席者数	37	24	27	31	25	29
クリスマス礼拝	礼拝出席者総数	102	135	182	179	184	156
	祝会出席者数	65	72	64	65	83	70
卒業礼拝	礼拝出席者総数	96	113	117	119	—	89
	茶話会出席者数	49	43	62	42	—	39
上記年間行事延べ出席者総数		5,478	6,313	6,159	5,210	5,807	5,793

※「チャペル懇談会」は、1999年度以降の開催実績がないため、項目を削除した。

2 スミス・ミッションセンター主催諸行事実施状況〔2019年度〕

(表X-2)

日	時	主 催 行 事 ・ 内 容	参 加 人 数	備 考
1	2019/5/16	チャペルコンサート クアルテット・エクセルシオ（弦楽四重奏） 小板橋 沙里（ピアノ） 「モーツァルトからベートーヴェンへ」	128	
2	2019/5/20	スミス・ミッションセンター「新歓の夕べ」	37	
3	2019/5/23 2019/5/20～24	スミス・ミッションウィーク テーマ「弱さと向き合う ― 力は弱さの中に ―」 スミス・ミッションウィーク特別講演会（5/23） 講演者：向谷地 生良、演題：「安心して絶望できる 人生～べてるな仲間との出会いから」	257	
4	2019/6/4	チャペルコンサート 大友 肇（チェロ） 「バッハ無伴奏チェロ組曲」	32	
5	2019/7/17	チャペルコンサート 中島 由紀（ピアノ） 「巴里祭の季節に」	99	
6	2019/10/10	チャペルコンサート Crystal Tears 松木 幸夫（ギター）・小出 あつき（歌） 松橋 勝巳（歌） 「Sally Garden ～イギリスの古い歌～」	64	
7	2019/10/23	チャペルコンサート LOLOKO ブヌン青年合唱団 「そのまま」	38	
8	2019/11/7	チャペルコンサート 大森 潤子（ヴァイオリン） 「チャペルに響くバッハ」	240	
9	2019/6/17～6/21	チャイルド・ファンド週間（里親募金）	—	
10	2019/10/31	宗教改革記念講演会 講演者：佐藤 優、演題：「宗教改革の現代的意味」	234	
11	2019/10/18～19	スミス・ミッションセンター合宿旅行	25	
12	2019/12/2	クリスマスツリー点灯式・チャペルでクリスマス	82/41	
13	2019/12/3	スミス・ミッションセンター企画 ニューシーランド～ 救世軍ウエリントン・シタデル・バンド	216	
14	2019/12/17	チャペルコンサート 水野 均（オルガン） 「バッハのオルガン作品によるクリスマス・ページェント」	149	
15	2019/12/23	クリスマス礼拝・祝会 メッセンジャー：榮 忍	184/83	
16		卒業礼拝・修了礼拝 → 中止		

※ / は行事が2部構成になっている場合を指す 例）クリスマス礼拝参加者/クリスマス祝会参加者

3 スミス・ミッションセンター 震災等ボランティア派遣状況

1. 東北地方被災地ボランティア派遣 [2011-2016]

(表X-3-①)

年度	派遣弾	派遣期	派遣期間	期毎派遣人数	弾毎派遣人数	年度派遣人数	主な派遣先団体、活動場所		
2011	第1弾	第1期	2011/4/14-19	17	17	102	釜石市災害ボランティアセンター		
		第2弾	第1期	2011/7/7-7/10	4			8	岩手県遠野市ボランティア拠点：大槌町 安渡小学校避難所
	第3弾	第2期	2011/7/22-7/24	4	29		GINGA-NETプロジェクト（岩手県立大学学生ボランティアセンター）：岩手県大槌、陸前高田、大船渡、釜石の各仮設住宅		
		第1期	2011/8/16-8/23	7					
		第2期	2011/8/24-8/30	6					
		第3期	2011/8/31-9/6	8					
	第4弾	第4期	2011/9/7-9/13	8	48		日本バプテテスト連盟北海道・東北地方連合プロジェクト：岩手県野田村仮設住宅訪問		
		第1期a	2012/2/16-2/18	3					
		第2期a	2012/3/15-3/17	3					
		第1期b	2012/2/27-3/4	10					
		第2期	2012/2/27-3/4	9					
		第3期	2012/3/5-3/11	9					
		第4期	2012/3/12-3/18	6					
	第5期	2012/3/19-3/25	8	34	遠野まごころネット：岩手県沿岸部				
2012	第5弾	第1期	2012/8/21-8/27			7	29	GINGA-NETプロジェクト（岩手県立大学学生ボランティアセンター）：岩手県釜石市及び沿岸部	
		第2期	2012/8/28-9/3	6					
		第3期	2012/9/4-9/10	8					
		第4期	2012/9/11-17	8					
2013	第6弾	第1期	2013/2/11-2/18	5	5	65	日キ教団東北教区被災者支援センター		
		第7弾	第1期	2013/8/12-8/17	8			34	日本キリスト教団東北教区被災者支援センター「エマオ」：宮城県仙台市仮設住宅、笹屋敷地区、釜石市仮設住宅
			第2期	2013/8/19-8/24	6				
			第3期	2013/8/26-8/31	7				
			第4期	2013/9/2-9/7	8				
	第5期		2013/9/9-9/14	5					
	第8弾	第1期	2014/2/2-2/9	7	31	日本キリスト教団東北教区被災者支援センター「エマオ」：宮城県仙台市仮設住宅、笹屋敷地区、釜石市仮設住宅			
		第2期	2014/2/10-2/17	8					
		第3期	2014/2/17-2/24	7					
		第4期	2014/2/24-3/3	9					
2014		第9弾	第1期	2014/8/11-8/16			7	35	日本キリスト教団東北教区被災者支援センター「エマオ」：宮城県仙台市仮設住宅、笹屋敷地区、釜石市仮設住宅
	第2期		2014/8/18-8/23	7					
	第3期		2014/8/25-8/30	7					
	第4期		2014/9/1-9/6	7					
	第5期		2014/9/8-9/13	7					
	第10弾	第1期	2015/2/2-2/7	7	25	日本キリスト教団東北教区被災者支援センター「エマオ」：宮城県仙台市仮設住宅、笹屋敷地区、釜石市仮設住宅			
		第2期	2015/2/9-2/14	5					
		第3期	2015/2/16-2/21	6					
		第4期	2015/2/23-2/28	7					
		2015	第11弾	第1期			2015/8/11-8/15	3	22
第2期	2015/8/18-8/22			3					
第3期	2015/8/25-8/29			2					
第4期	2015/9/1-9/5			8					
第5期	2015/9/8-9/12			6					
第12弾	第1期		2016/2/2-2/7	3	12	日本キリスト教団東北教区被災者支援センター「エマオ」：宮城県仙台市仮設住宅、笹屋敷地区、釜石市仮設住宅			
	第2期		2016/2/23-2/28	4					
	第3期		2016/3/15-3/20	3					
	第4期		2016/3/22-3/27	2					
	2016		第13弾	第1期			2016/8/16-8/21	4	16
第2期		2016/8/23-8/28		4					
第3期		2016/9/1-9/4		4					
第4期		2016/9/6-9/11		4					
第14弾		第1期	2017/1/31-2/5	2	6	日本キリスト教団東北教区被災者支援センター「エマオ」：宮城県仙台市仮設住宅、笹屋敷地区、石巻市仮設住宅			
		第2期	2017/2/7-2/12	2					
		第3期	2017/2/14-2/19	2					
		合計							317

3 スミス・ミッションセンター 震災等ボランティア派遣状況

2. 熊本地震被災地支援ボランティア派遣 (2016-2019) (表X-3-②)

年度	派遣弾	派遣期間	派遣人数	年度派遣人数	主な派遣先団体、活動場所
2016	第1弾	2016/9/7-9/12	4	10	阿蘇YMCA： 熊本県阿蘇市及びその周辺地域
	第2弾	2017/2/10-2/15	6		阿蘇YMCA： 熊本県阿蘇市及びその周辺地域
2017	第3弾	①2017/8/28-9/2 ②2017/9/4-9/9	5 5	19	阿蘇YMCA： 熊本県阿蘇市及びその周辺地域
	第4弾	①2018/2/5-2/10 ②2018/2/16-2/21	5 4		阿蘇YMCA： 熊本県阿蘇市及びその周辺地域
2018	第5弾	①2018/8/14-8/21 ②2018/8/19-8/26	5 5	13	阿蘇YMCA： 熊本県阿蘇市及びその周辺地域
	第6弾	2019/2/21-2/26	3		阿蘇YMCA： 熊本県阿蘇市及びその周辺地域
2019	第7弾	2019/9/2-9/7	6	6	阿蘇YMCA： 熊本県阿蘇市及びその周辺地域
総合計				48	

3. 南富良野災害支援ボランティア派遣 (2016) (表X-3-③)

年度	派遣	派遣期間	派遣人数	年度派遣人数	主な派遣先団体、活動場所
2016	臨時	2016/11/5	20	20	南富良野町災害ボランティアセンター： 南富良野町及びその周辺地域

4. 国際ボランティア・ワークキャンプ派遣 (2015-2019) (表X-3-④)

年度	派遣	派遣期間	派遣人数	年度派遣人数	主な派遣先団体、活動場所
2015	第1回	2016/3/4-3/11	3	3	タイ王国バタヤ 社会福祉法人バーン・ジンジャイ
2016	第2回	2016/8/29-9/5	5	5	タイ王国バタヤ 社会福祉法人バーン・ジンジャイ
2017	第3回	2017/8/27-9/3	6	6	タイ王国バタヤ 社会福祉法人バーン・ジンジャイ
2018	第4回	2018/8/27-9/3	6	6	タイ王国バタヤ 社会福祉法人バーン・ジンジャイ
2019	第5回	2019/8/25-9/1	8	8	タイ王国バタヤ 社会福祉法人バーン・ジンジャイ
総合計				28	

5. 熊本学園大学被災地支援ボランティア派遣 (2017) (表X-3-⑤)

年度	派遣	派遣期間	派遣人数	年度派遣人数	主な派遣先団体、活動場所
2017	第1弾	2017/8/17-8/21	2	2	熊本学園大学ボランティアセンター： 熊本県益城町及びその周辺地域

6. 大学間連携災害ボランティアシンポジウム派遣 (2017-2019) (表X-3-⑥)

年度	派遣	派遣期間	派遣人数	年度派遣人数	主な派遣先団体、活動内容
2017	第1回	2017/12/16-12/17	2	2	東北学院大学災害ボランティアステーション事務局：北星ネット活動紹介、ポスター発表、ワークショップ参加等
2018	第2回	2018/12/15-12/16	3	3	東北学院大学災害ボランティアステーション事務局：北星ネット活動紹介、ポスター発表、ワークショップ参加等
2019	第3回	2019/12/14-12/15	3	3	東北学院大学災害ボランティアステーション事務局：北星ネット活動紹介、ポスター発表、ワークショップ参加等
総合計				8	

7. 東北学院大学との合同ボランティア企画派遣 (2018-2019) (表X-3-⑦)

年度	派遣	派遣期間	派遣人数	年度派遣人数	主な派遣先団体、活動場所
2018	第1回	2018/9/21-9/24	4	4	東北学院大学災害ボランティアステーション： 宮城県石巻市及びその周辺地域
2019	第2回	2019/8/18-8/22	6	6	東北学院大学災害ボランティアステーション： 宮城県石巻市及びその周辺地域
総合計				10	

8. 胆振東部地震被災地支援ボランティア派遣 (2018-2019)

(表X-3-⑧)

年度	派遣	派遣期間	派遣人数	年度派遣人数	主な派遣先団体、活動場所
2018	第1回	2018/11/10	9	9	安平町災害ボランティアセンター： 安平町及びその周辺地域
2019	第2回	2019/10/26	3	3	むかわ町社会福祉協議会： 鶴川地区及びその周辺地域
総合計				12	

9. 「みやぎ招へいプログラム」派遣 (2019)

(表X-3-⑨)

年度	派遣	派遣期間	派遣人数	年度派遣人数	主な派遣先団体、活動場所
2019	第1回	2019/11/23-11/24	2	2	復興大学災害ボランティアステーション： 東北学院大学キャンパス及び宮城各地域

XI. 本学の国際交流に関すること

1 国際交流に関する財源状況

[2015-2019]

(表XI-1)

項目	年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年間平均
大学会計〔当初予算額〕							
①国際交流費							
②国際交流教材費							
③(直接)一般事務管理費: 業務委託費							
④供与奨学金費							
大学後援会からの補助		22,362,000	17,330,000	19,003,000	19,905,000	20,764,000	19,872,800
外国人留学生授業料減免額		6,000,000	6,000,000	6,000,000	7,000,000	7,000,000	6,400,000
私費外国人留学生奨学金*1		440,000	200,000	257,000	297,000	497,000	338,200
公益社団法人北海道国際交流・協力総合センターからの補助 *2		440,000	200,000	257,000	297,000	497,000	338,200
日本学生支援機構からの補助 *3		0	0	0	0	0	0
大学同窓会からの補助		0	0	0	1,000,000	1,000,000	400,000
合 計		29,242,000	23,730,000	25,517,000	28,499,000	29,758,000	27,349,200

*1 私費留学生経済的理由による減免

*2 旧社団法人北方圏センター 北海道外国人留学生国際交流支援事業助成金

*3 私費外国人留学生学習奨励費

2 学生及び教員の派遣状況

(1) 大学 [2015～2019]

(表XI-2-①)

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年間平均	累計	備考
学 生	交換留学提携先派遣者数	12	18	25	15	23	18.6	746	
	ルイス&クラーク大学	2	2	3	1	2	2.0	151	2019年度協定開始 2019年度協定開始
	ブエナ・ビスタ大学	0	2	3	1	4	2.0	116	
	セントオラフ大学	0	1	0	0	0	0.2	1	
	ジュニアータ大学※1	0	3	3	2	2	2.0	10	
	マンチェスター大学※2	0	0	0	1	0	0.2	1	
	ウィスコンシン大学ミウオキー校	/	/	/	/	0	0.0	0	
	ハワイ大学マウイカレッジ	/	/	/	/	0	0.0	0	
	ブレズレン大学連盟(B. C. A) ※3	/	/	/	/	/	0.0	239	
	大連外国語大学	0	0	0	0	0	0.0	80	
	リバプール ジョン・モーズ大学 ※4	/	/	/	/	/	0.0	24	
	セントラルランカシャー大学	2	0	0	1	0	0.6	5	
	リージェンツ大学	0	0	2	0	1	0.6	3	
	セント・トーマス大学	2	5	3	3	4	3.4	41	
	アルゴマ大学	0	0	0	0	0	0.0	3	
	サン・パブロ大学	0	0	2	2	1	1.0	6	
	ジュネーブ・ビジネススクール	1	0	0	1	1	0.6	4	
	カトリック大学校	3	3	4	0	4	2.8	32	
	東海大学	2	2	1	2	2	1.8	23	
	マラナタクリスチャン大学	0	0	4	1	2	1.4	7	
私費留学	3	0	36	41	43	24.6	/	休学して留学した学生	
計		15	18	61	56	66	43.2	/	
交 流 教 員 派 遣	ルイス&クラーク大学	0	0	0	0	0	0.0	0	
	ブエナ・ビスタ大学	0	0	0	0	0	0.0	0	
	ブレズレン大学連盟(B. C. A)	0	0	0	0	0	0.0	0	
	大連外国語大学	0	0	0	0	1	0.2	17	
	計	0	0	0	0	1	0.2	17	

※1.2 BCA協定終了後、直接協定。

※3 2013年度をもって終了。累計の人数には協定終了までの※1,2の大学分を含む。

※4 2013年度をもって終了。

2 学生及び教員の派遣状況

(2) 短期大学部

[2015～2019]

(表XI-2-②)

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年間 平均	累計	備考
学 生	提携先派遣者数	20	29	9	19	5	16.4	391	
	アメリカ								
	イースタン・メソナイト大学							3	
	ワシタバプティスト大学							1	
	メアリービル大学	0	0	0	0	0	0.0	11	
	ネブラスカ大学リンカーン校	0	0	0	0	0	0.0	1	
	ハワイ大学マウイカレッジ					1	1.0	1	
	カナダ								
	マラスピナ大学								24
	トリニティ・ウエスタン大学								2
	オカナガン大学	3	2	1	3	0	1.8	60	
	バンクーバー・アイランド大学	6	6	2	5	1	4.0	37	
	イギリス								
	ランカスター大学								0
	リーズ大学								6
	ソリハル大学								10
	コベントリー大学								18
	新ノッティンガム大学	5	8	0	0	0	2.6	62	
	ワーウィックシャー大学	1	6	0	0	0	1.4	22	
	サウス・アンド・シティ・カ レッジ・バーミンガム			4	8	1	4.3	13	
	オーストラリア								
	モナシュ大学								9
	ロイヤル・メルボルン工科大学								16
	タスマニア大学	0	0	0	0	0	0.0	0	
	ニュージーランド								
	クライストチャーチカレッジ・ オブ・イングリッシュ	1	3	2	3	2	2.2	65	
	マレーシア								
マレーシア・サインス大学	4	4	0	0	0	1.6	30		
私費留学	0	2	13	9	10	6.8		休学して留学 した学生	
計	20	31	22	28	15	23.2	391		

3 学生及び教員の学科別派遣状況〔2019年度〕

(1) 大学

(表XI-3-①)

	学部	文学部				経済学部						社会福祉学部				合計				
		英文		心理・応用 コミュニケーション		経済		経営情報		経済法		福祉計画		福祉臨床				福祉心理		
		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
学 生	交換留学提携先派遣大学	7	14	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	14
	ルイス&クラーク大学	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	ブエナ・ビスタ大学	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	セントオラフ大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジュニアータ大学	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	マンチェスター大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウィスコンシン大学 シルウォーキー校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハワイ大学 マウイカレッジ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大連外国語大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	セントラルランカシャー大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	リージェンツ大学	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	セント・トーマス大学	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	アルゴマ大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サン・パブロ大学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	ジュネーブ・ビジネススクール	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	カトリック大学校	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
	東海大学	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
マラナタクリスチャン大学	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
私費留学	25	4	3	2	3	0	2	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	34	9	
計	32	18	4	2	4	0	2	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	43	23	
交 流 派 教 遣 員	ルイス&クラーク大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブエナ・ビスタ大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大連外国語大学	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

3 学生及び教員の学科別派遣状況〔2019年度〕

(2) 短期大学部

(表XI-3-②)

	学科	英 文		生活創造学科		合 計		備 考
	期	春	秋	春	秋	春	秋	
学 生	提携先派遣大学	0	5	0	0	0	5	
	アメリカ							
	イースタン・メノナイト大学	0	0	0	0	0	0	
	ワシタバプティスト大学	0	0	0	0	0	0	
	メアリービル大学	0	0	0	0	0	0	
	ネブラスカ大学リンカーン校	0	0	0	0	0	0	
	ハワイ大学マウイカレッジ	0	1	0	0	0	1	
	カナダ							
	マラスピナ大学	0	0	0	0	0	0	
	トリニティ・ウエスタン大学	0	0	0	0	0	0	
	オカナガン大学	0	0	0	0	0	0	
	バンクーバー・アイランド大学	0	1	0	0	0	1	
	イギリス							
	ランカスター大学	0	0	0	0	0	0	
	リーズ大学	0	0	0	0	0	0	
	ソリハル大学	0	0	0	0	0	0	
	コベントリー大学	0	0	0	0	0	0	
	新ノッティンガム大学	0	0	0	0	0	0	
	ワーウィックシャー大学	0	0	0	0	0	0	
	サウス・アンド・シティ・カレッジ・バーミンガム	0	1	0	0	0	1	
	オーストラリア							
	モナシュ大学	0	0	0	0	0	0	
	ロイヤル・メルボルン工科大学	0	0	0	0	0	0	
	タスマニア大学	0	0	0	0	0	0	
	ニュージーランド							
	クライストチャーチカレッジ・オブ・イングリッシュ	0	2	0	0	0	2	
	マレーシア							
	マレーシア・サインス大学	0	0	0	0	0	0	
私費留学	5	5	0	0	5	5	休学して留学した学生	
計	5	10	0	0	5	10		

4 学生及び教員の受入状況

(1) 大学 [2015-2019]

(表XI-4-①)

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年間平均	累計	備考
学 生	交換留学提携先受入者数	50	59	53	59	63	56.8	1,674	
	ルイス&クラーク大学	2	4	1	2	2	2.2	417	※注1
	ブエナ・ビスタ大学	0	1	2	0	1	0.8	75	
	ジュニアータ大学	0	2	1	2	2	1.4	42	
	マンチェスター大学	0	0	1	4	1	1.2	28	
	ウィスコンシン大学、ルオキ校	/	/	/	/	0	0.0	0	2019年度協定開始
	ハワイ大学 マウイカレッジ	/	/	/	/	0	0.0	0	2019年度協定開始
	その他	0	0	0	0	0	0.0	179	
	大連外国語大学	6	7	7	7	7	6.8	154	※注2
	リージェンツ大学	3	1	0	1	0	1.0	8	
	セント・トーマス大学	0	1	1	0	0	0.4	23	
	カトリック大学校	23	23	20	20	22	21.6	339	※注3
	セントラルランカシャー大学	0	3	4	4	5	3.2	30	
	マラナタクリスチャン大学	4	4	4	5	9	5.2	32	※注2
	ジュネーブ ビジネススクール	2	2	2	5	3	2.8	18	
	サン・パブロ大学	2	0	0	0	1	0.6	11	
	東海大学	8	9	9	7	9	8.4	131	※注2
	セントオラフ大学	0	2	1	2	1	1.2	6	
外国人留学生数 (私費留学生)	0	0	1	1	1	0.6	46	「外国人特別入試」による入学者数と「一般外国人留学生」数を計上	
計		50	59	54	60	64	57.4	1,720	
交 流 教 員 受 入	ルイス&クラーク大学	0	0	0	0	0	0.0	4	
	ブエナ・ビスタ大学	0	0	0	0	0	0.0	1	
	ブレズレン大学連盟(B.C.A)	/	/	/	/	/	/	14	2013年度協定終了
	大連外国語大学	1	1	1	1	1	1.0	31	
	計	1	1	1	1	1	1.0	51	

数字は単年度毎の受入数：前年度からまたがる継続生は両方の年度でカウントした。

春～秋の1年間在籍者は1名でカウントした。

※注1 協定に基づく受入れ実績をすべて計上。

※注2 覚書による短期招聘学生数を含む。

※注3 覚書による短期招聘学生数及び覚書による短期留学生数を含む。

(2) 短期大学部 [2015-2019]

(表XI-4-②)

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年間平均	累計	備考
学 生	外国人留学生数 (私費留学生)	1	0	0	0	0	0.2	2	「外国人特別入試」による入学者数と「一般外国人留学生」数を計上

(3) 大学院 [2015-2019]

(表XI-4-③)

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年間平均	累計	備考
学 生	大連外国語大学	1	1	0	0	1	0.6	8	※注1
	外国人留学生数 (私費留学生)	0	0	0	0	1	0.2	58	「外国人特別入試」による入学者数と「一般外国人留学生」数を計上

※注1 覚書による研究生としての受入制度は2006年度をもって廃止した。

5 学生及び教員の学科別受け入れ状況〔2019年度〕

(1) 大学

(表XI-5)

	学部 学科 期	文学部				経済学部						社会福祉学部						合計			
		英文		心理・応用 コミュニケーション		経済		経営情報		経済法		福祉計画		福祉臨床		福祉心理					
		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
学 生	交換留学提携先受入大学	7	18	1	1	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	25	19
	ルイス&クラーク大学	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	ブエナ・ビスタ大学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	ジュニアータ大学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0
	マンチェスター大学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	ウイスコンシン大学ミルウォーキー校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハワイ大学マウイカレッジ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大連外国語大学 *1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	リージェンツ大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	セント・トーマス大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	カトリック大学校 *1	0	9	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	9
	セントラルランカシャー大学	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
	マラナタクリスチャン大学	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	ジュネーブ ビジネススクール	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
	サン・パブロ大学	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	東海大学	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2
セントオラフ大学	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
計		7	18	1	1	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	25	19
交 流 受 入 教 員	ルイス&クラーク大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブエナ・ビスタ大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大連外国語大学 *2	0	0	0	0	1						0	0	0	0	0	0	0	1		
	カトリック大学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0				1						0						1			

*1 春-秋の1年間在籍者は便宜上、「春」でカウント。

*2 交流教員は学科所属なし。春-秋の1年間在籍。

6 受入交換留学生のためのホームステイ状況

[2015-2019]

(表XI-6)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年間平均	備考
登録件数 (a)	49	40	46	52	53	48.0	2015年度からショートホームステイ開始
※利用件数 (b)	17	19	14	30	29	21.8	
充足率 (b)/(a)	34.7%	47.5%	30.4%	57.7%	54.7%	45.4%	

※ 利用件数は、同じホストファミリーが前期と後期に同じ学生を引き受けた場合は1件、違う学生を引き受けた場合は2件として計上する。

※ 2012年度は学期途中で別のホストファミリー宅へ移動した学生1名有り、その場合は2件として計上する。

※ ショートホームステイについて、ホストファミリー1家庭が同一日に2名以上の学生を引き受けた場合も1件として計上する。

7 外国人留学生の奨学金受給率

[2015-2019]

(表XI-7)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年間平均	備考
外国人留学生数 (a)	2	1	1	1	3	1.6	「外国人特別入試」による入学者数と「一般外国人留学生」数を計上
内奨学金受給者 (b)	2	1	1	1	2	1.4	
受給率 (b)/(a)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	87.5%	

※ 外国人留学生数は、特別入試によって学部及び大学院に在籍する正規学生の合計数である。

8 国際教育センターイベント及び国際ラウンジ利用状況〔2019年度〕

※印は国際ラウンジ以外で実施された国際教育センターイベント

(表XI-8-①)

回	主催	日程	イベント名(項目別)	国際ラウンジ 利用人数
			授業関係	
1	センター	04月04日	国際交流関係科目説明会	55
2	大島教授	06月10日	海外短期研修A オリエンテーション	12
3	センター	06月28日	留学生日本語スピーチ練習	0
4	センター	07月01日	留学生日本語スピーチ練習	0
5	センター	07月02日	留学生日本語スピーチ練習	10
6	センター	07月04日	留学生日本語スピーチ発表会	40
7	大島教授	07月08日	海外短期研修A オリエンテーション	10
8	大島教授	07月29日	海外短期研修A オリエンテーション	10
9	センター	09月12日	国際交流関係科目説明会	33
10	センター	12月06日	留学生日本語スピーチ練習	0
11	センター	12月09日	留学生日本語スピーチ練習	0
12	センター	12月10日	留学生日本語スピーチ練習	12
13	センター	12月12日	留学生日本語スピーチ発表会	32
			海外渡航・派遣留学関係	
1	センター	05月10日	第2回ワーキングホリデーガイダンス	24
2	センター	06月13日	卒業生による海外大学院のススメ	8
3	生協	06月14日	留学報告会	10
4	センター	06月20日	日本語パートナーズ体験談発表	8
5	センター	06月24日	派遣留学報告会 ジュニアータ大学	28
6	センター	06月26日	派遣留学報告会 マナタクリスチャン大学	14
7	センター	10月25日	第3回ワーキングホリデーガイダンス	10
8	生協	10月30日	留学報告会	6
9	センター	10月31日	マラナタインターンシップ報告会	30
10	生協	11月02日	保護者のための留学セミナー	100
11	生協	11月11日	留学報告会	12
12	センター	11月14日	派遣留学報告会 東海大学	16
13	センター	11月15日	派遣留学報告会 セントラルランカシャー大学	5
14	センター	11月21日	派遣留学報告会 ルイス&クラーク大学	13
15	センター	11月25日	派遣留学報告会 セント・トーマス大学	25
16	センター	11月27日	派遣留学報告会 ジュニアータ大学	5
17	センター	11月28日	派遣留学報告会 サンバプロ大学	7
18	センター	11月29日	派遣留学報告会 ジュネーブビジネススクール	13
19	センター	12月02日	派遣留学報告会 ブエナ・ビスタ大学	9
20	センター	12月05日	JICA 海外協力隊 説明会	13
21	センター	12月06日	派遣留学報告会 東海大学	13
22	学生	12月20日	オーストラリア ワーホリ体験談	17
23	センター	01月15日	内閣府青年国際交流事業説明会	7
			留学生交流関係等	
1	センター	04月19日	外国語遊び場「Hokusei Egg Hunt」	47
2	センター	05月15日	アンバサダー マナタクリスチャン大学	21
3	センター	05月17日	アンバサダー ブエナ・ビスタ大学	10
4	センター	05月20日	アンバサダー 大連外国語大学	24
5	センター	05月22日	アンバサダー ジュニアータ大学	9
6	センター	05月23日	アンバサダー ルイス&クラーク大学	10
7	センター	05月24日	アンバサダー マンチェスター大学	15
8	センター	05月25日	インターナショナルキャンプ 集合場所	47

8 国際教育センターイベントおよび国際ラウンジ利用状況〔2019年度〕

※印は国際ラウンジ以外で実施された国際教育センターイベント

(表XI-8-②)

回	主催	日程	イベント名(項目別)	国際ラウンジ 利用人数
9	センター	05月27日	アンバサダー セントラルカンサシー大学	4
10	センター	05月28日	アンバサダー ジュネーブビジネススクール	6
11	センター	05月29日	アンバサダー 東海大学	10
12	センター	05月29日	茶道体験	※17
13	センター	06月05日	書道体験	※15
14	センター	06月12日	小学校訪問	※18
15	センター	06月14日	HUIT Multi-Cultural Event	45
16	センター	06月25日	着物体験	※17
17	センター	07月12日	HUIT 流しそうめん	44
18	センター	09月27日	外国語遊び場「フォトスカベンジャーハント」	22
19	センター	10月01日	着物体験	※17
20	センター	10月11日	HUIT Tea Time Talk	17
21	センター	10月16日	アンバサダー セントラルカンサシー大学	12
22	センター	10月17日	アンバサダー ルイス&クラーク大学	7
23	センター	10月21日	アンバサダー セントオラフ大学	5
24	センター	10月21日	EASCOM サミット	35
25	S M C	10月23日	台湾ブヌン族との交流会	30
26	センター	10月30日	書道体験	※14
27	センター	11月01日	HUIT Mystery Horror Night	26
28	センター	11月06日	アンバサダー 韓国カトリック大学校	26
29	センター	11月13日	小学校訪問(東園小)	※17
30	留学生	11月20日	Movie Night	12
31	センター	11月27日	華道体験	14
32	センター	12月05日	小学校訪問(大谷地東小)	※17
33	センター	12月13日	HUIT Farewell Party	24
			語学関係	
1	アリソン教授	04月16日	English Lunch Time	5
2	センター	04月22日	TOEFL勉強法講座	43
3	アリソン教授	04月23日	English Lunch Time	7
4	センター	04月25日	IELTS勉強法講座	10
5	アリソン教授	05月07日	English Lunch Time	4
6	アリソン教授	05月14日	English Lunch Time	3
7	増田准教授	05月16日	ドイツ語圏文化に触れる会(映画観賞会)	16
8	アリソン教授	05月21日	English Lunch Time	2
9	増田准教授	05月28日	②ドイツ語圏文化に触れる会(映画観賞会)	1
10	センター	06月03日	TOEIC勉強法講座	44
11	アリソン教授	06月04日	English Lunch Time	3
12	アリソン教授	06月11日	English Lunch Time	4
13	増田准教授	06月13日	③ドイツ語圏文化に触れる会(映画観賞会)	8
14	アリソン教授	06月18日	English Lunch Time	5
15	アリソン教授	06月25日	English Lunch Time	3
16	増田准教授	06月26日	④ドイツ語圏文化に触れる会(映画観賞会)	2
17	五味田講師	06月28日	クラスの外で知るフランス語圏(映画観賞会)	9
18	センター	07月01日	K-POPに学ぶ韓国語	14
19	アリソン教授	07月02日	English Lunch Time	4
20	アリソン教授	07月09日	English Lunch Time	5

8 国際教育センターイベントおよび国際ラウンジ利用状況〔2019年度〕

※印は国際ラウンジ以外で実施された国際教育センターイベント

(表XI-8-③)

回	主催	日程	イベント名 (項目別)	国際ラウンジ 利用人数
21	センター	07月11日	ピカソに学ぶ 情熱留学(スペイン語)	19
22	増田准教授	07月11日	⑤ドイツ語圏文化に触れる会(映画観賞会)	7
23	アリソン教授	07月16日	English Lunch Time	3
24	アリソン教授	07月23日	English Lunch Time	4
25	増田准教授	07月25日	⑥ドイツ語圏文化に触れる会(映画観賞会)	2
26	アリソン教授	09月17日	English Lunch Time	5
27	S M C	09月19日	English Daberiba	3
28	アリソン教授	09月24日	English Lunch Time	3
29	S M C	09月26日	English Daberiba	0
30	アリソン教授	10月01日	English Lunch Time	7
31	S M C	10月03日	English Daberiba	1
32	アリソン教授	10月08日	English Lunch Time	8
33	S M C	10月10日	English Daberiba	1
34	五味田講師	10月11日	②クラスの外で知るフランス語圏(映画観賞会)	18
35	S M C	10月17日	English Daberiba	1
36	増田准教授	10月17日	⑦ドイツ語圏文化に触れる会(映画観賞会)	4
37	S M C	10月24日	English Daberiba	5
38	アリソン教授	10月29日	English Lunch Time	5
39	S M C	10月31日	English Daberiba	1
40	増田准教授	10月31日	⑧ドイツ語圏文化に触れる会(映画観賞会)	0
41	アリソン教授	11月05日	English Lunch Time	8
42	S M C	11月07日	English Daberiba	5
43	アリソン教授	11月12日	English Lunch Time	8
44	S M C	11月14日	English Daberiba	2
45	アリソン教授	11月19日	English Lunch Time	5
46	S M C	11月21日	English Daberiba	2
47	アリソン教授	11月26日	English Lunch Time	5
48	S M C	11月28日	English Daberiba	1
49	アリソン教授	12月03日	English Lunch Time	8
50	S M C	12月05日	English Daberiba	3
51	センター	12月06日	外国語朗読会	40
52	アリソン教授	12月10日	English Lunch Time	4
53	アリソン教授	12月17日	English Lunch Time	5
54	S M C	12月19日	English Daberiba	1
55	五味田講師	12月20日	③クラスの外で知るフランス語圏(映画観賞会)	7
56	アリソン教授	12月24日	English Lunch Time	2
57	アリソン教授	01月07日	English Lunch Time	1
58	アリソン教授	01月14日	English Lunch Time	2
59	センター	02月14日	IELTS マスターコース	17
			その他	
1	センター	04月08日	HUIT 募集説明会	31
2	センター	04月09日	EASCOM 募集説明会	41
3	自治会	04月11日	新入生歓迎ライブ中継	0
4	センター	04月12日	HUIT 募集説明会	10
5	自治会	04月12日	新入生歓迎ライブ中継	0
6	センター	06月10日	HUIT 任命式	15
7	センター	06月28日	キャッシュパスポート 即日受付会場	10

8 国際教育センターイベントおよび国際ラウンジ利用状況〔2019年度〕

※印は国際ラウンジ以外で実施された国際教育センターイベント

(表XI-8-④)

回	主催	日程	イベント名(項目別)	国際ラウンジ 利用人数
8	池田教授	06月30日	永田 勝彦先生を偲ぶ会	100
9	萱野教授	09月13日	札幌学院大学・北星学園大学フェアトレード大学認定式打ち合わせ	5
10	森越教授	10月10日	後志留学説明会	27
11	センター	12月19日	フォトコンテスト表彰式	10
地域交流				
1	センター	11月09日	English Camp in 北星2019	30
2	センター	11月10日	English Camp in 北星2019	40
-	センター	-	ホームステイ(年間合計 6家庭)	
-	センター	-	ショートホームステイ(年間合計 19家庭)	
ミーティング 関連				
1	センター	04月11日	HUIT ミーティング*	7
2	センター	04月18日	HUIT ミーティング*	5
3	センター	04月24日	留学生プログラム説明会	18
4	センター	05月09日	HUIT ミーティング*	5
5	センター	05月21日	HUIT 新メンバー顔合わせ	15
6	センター	06月06日	HUIT ミーティング	14
7	センター	06月06日	HUIT リハーサル	10
8	センター	06月12日	HUIT リハーサル	15
9	センター	06月27日	HUIT ミーティング*	13
10	センター	07月04日	HUIT ミーティング*	13
11	センター	07月04日	HUIT 7月イベントリハーサル	5
12	センター	07月05日	HUIT 7月イベントリハーサル	13
13	センター	07月18日	HUIT ミーティング*	14
14	センター	07月25日	MCU インターンシップミーティング	7
15	センター	07月25日	HUIT ミーティング*	10
16	センター	09月19日	HUIT ミーティング	12
17	センター	09月26日	HUIT ミーティング	8
18	センター	10月02日	留学生プログラム説明会	16
19	センター	10月03日	HUIT ミーティング	12
20	センター	10月08日	EASCOM事務局会議	7
21	センター	10月18日	HUIT リハーサル	6
22	センター	10月24日	HUIT ミーティング	12
23	センター	10月28日	HUIT 11月イベントリハーサル	8
24	センター	10月30日	HUIT 11月イベントリハーサル	7
25	センター	11月05日	English Camp ミーティング	7
26	センター	11月07日	HUIT ミーティング	12
27	センター	12月09日	HUIT ミーティング	13
28	センター	12月09日	HUIT リハーサル	13
29	センター	12月23日	HUIT ミーティング	9
30	センター	01月09日	HUIT ミーティング	12
31	センター	02月03日	HUIT ミーティング	9
32	センター	02月10日	HUIT ミーティング	12

◎ SMCはスミス・ミッション・センターの略称である。

※印がついた人数は、国際ラウンジ以外で実施した国際教育センター主催イベント参加者

※132人

2019年度

国際教育センター イベント件数(ミーティングは除く)

72件

利用者 合計(延べ)

1,522人

国際ラウンジ利用イベント等件数

173件

利用者 合計(延べ)

2,202人

Ⅻ. 本学の社会との連携交流に関すること

1 大学公開講座の開催状況

[2015年度～2019年度]

(表Ⅻ-1)

年度	通算	メインテーマ及び講座名(担当者)	開催期間等	担当学科等	受講費及び受講者数等
2015年度	40	テマ『現代社会を生きる心理学～健康と病気・障害の観点から』 ①ポジティブ心理学 佐藤 祐基 ②より快適な人間関係のコツ 西山 薫 ③日常の悩み苦しみのなかで感情が揺らぐとき ～グラフで見る感情の変動 田澤 安弘 ④心と身体は別ものか 眞嶋 良全 ⑤健康と病気の心理学 柴田 利男 ⑥共生(共に生きる)の心理学 豊村 和真	9月25日(金) 10月2日(金) 10月9日(金) 10月16日(金) 10月23日(金) 10月30日(金)	福祉心理	一般 ¥2,000 × 211人 学生 ¥1,000 × 6人 収入額 ¥428,000 支出額 ¥1,389,002 収支 ¥-961,002
2016年度	41	テマ『現代教育の必須アイテムを探る ～子どもの明日に必要なことは?』 ①「障害者差別解消法施行にみる 共生社会をめざした教育とは」 田実 潔 ②「オープンデータ化と情報教育」 古谷 次郎 ③「子どもが学ぶ英語教育ワークショップ」 江口 均 ④「今、スポーツ教育に必要なことー 自主、自立を促す指導とは」 掛屋 忠義 ⑤「危機の時代の教育思想ー ルソーの教育哲学から学ぶ」 鈴木 剛 ⑥「18歳選挙権時代の『主権者教育』」 高杉 巴彦	9月23日(金) 9月30日(金) 10月7日(金) 10月14日(金) 10月21日(金) 10月28日(金)	教職部門	一般 ¥2,000 × 70人 学生 ¥1,000 × 1人 収入額 ¥141,000 支出額 ¥1,469,737 収支 ¥-1,328,737
2017年度	42	テマ『グローバル資本主義と経済学』 ①経済の中に倫理を見いだす 岩井 克人 ー資本主義の新しい形と伝統芸能 ②越境する社会空間 竹野内 真樹 ③経済学と環境問題 野原 克仁 ④ファストファッションから考える 萱野 智篤 グローバル資本主義の闇とフェアトレード ⑤「資本主義はなぜ続いてしまうのか」という問い 勝村 務 ーマルクス生誕200年と宇野弘蔵 ⑥資本主義の終末論 田村 信一	9月21日(木) 9月29日(金) 10月6日(金) 10月13日(金) 10月20日(金) 10月27日(金)	経済	一般 ¥2,000 × 135人 学生 ¥1,000 × 21人 収入額 ¥291,000 支出額 ¥1,168,388 収支 ¥-877,388
2018年度	43	テマ『デジタル社会とビジネス・経営 ーデジタルとヒューマンの融合ー』 ①デジタル時代の経営、生き方、そして生きる意味 小川 長 ②仮想通貨について考える 山口 博教 ③マーケティング4.0を読み解く 西脇 隆二 ～デジタル時代のマーケティングとは?～ ④ヒューマンセンシング技術の研究開発 林 秀彦 ⑤ICT(情報通信技術)の進展と国際ビジネス 多田 和美 ⑥経営者のための情報セキュリティ 佐藤 友暁	9月28日(金) 10月5日(金) 10月12日(金) 10月19日(金) 10月26日(金) 11月2日(金)	経営情報	一般 ¥2,000 × 72人 学生 ¥1,000 × 1人 収入額 ¥145,000 支出額 ¥1,640,658 収支 ¥-1,495,658
2019年度	44	テマ『北海道から考える地域・国際社会のコミュニケーション ～人と人が支え合う社会を目指して～』 ①「チャイルドラインほっかいどう」の活動から考える 田辺 毅彦 子ども達の生きづらさを支える社会 ②子どもたちや高齢者を支えるやさしいまちづくりを目指して 北澤 一利 ③子どもが育つ環境づくりーコミュニケーションの視点からー 柿原 久仁佳 ④地域の中で学ぶー大学での学びを導く「現場」ー 石川 悟 ⑤地域再生のコミュニティ論ー日本とドイツの事例に学ぶ 寺林 暁良 ⑥競争と共生は両立できるか 阪井 宏 ー英国・田舎暮らしで見えたことー	9月27日(金) 10月4日(金) 10月11日(金) 10月18日(金) 10月25日(金) 11月1日(金)	心理・応用 コミュニケーション	一般 ¥2,000 × 53人 学生 ¥1,000 × 0人 収入額 ¥106,000 支出額 ¥888,221 収支 ¥-782,221
		総収支額	¥-5,445,006	総受講者数	564

2 学科・部門等公開講座の開催状況

[2015年度～2019年度]

(表Ⅻ-2)

年度	メインテーマ及び講座名 (担当者)	開催期間等	担当学科等	受講者数
2015年度	ルワンダにおける癒しと和解のために (佐々木 和之)	6.26 (金) I	共通部門	95
	台湾における女性と労働：母性保護、パートタイム労働、ワークバランスそして性別職業分離 (劉 梅君)	7.2 (木) IV	福祉計画	85
	アジアにおける観光ホスピタリティ産業の展望と課題 (ブイ タン フォン)	7.7 (火) II	短大・英文	171
	「茜色クラリネット」の上映会 (早川 渉)	7.24 (金) II	心理・応用コ	50
	イノベーションデザインの方法：創造思考・デザイン思考・プロトタイピングの方法 (國藤 進)	9.28 (月) III	経営情報	14
	英国ブルーバッジガイドの仕事とは～スコットランドとロンドンの魅力を伝えるために (オルストン 伊津子)	10.31 (土) II	短大・英文	210
	実践的創作小説講座～世界的ベストセラー作家に学ぼう～ (荒巻 義雄)	11.6 (金) III IV	言語部門	60
	子ども文化としてのメディア～子どもとメディアの好ましい関係を考える～ (小平 さち子) 【NHK大学セミナーと共催】	11.13 (金) IV	教職部門	52
	モルモン教 (末日聖徒イエス・キリスト教会) とは何かー「隣人」を正しく理解するためにー (高橋 弘)	12.8 (火) V	共通部門	240
	所要経費等 (収入額 0円、支出額 738,484円)		収支	-738,484
2016年度	メディアは何を伝えるのか～真実とは何か、虚偽とは何か、多様な視点をもとう～ (森 達也)	6.10 (金) II	心理・応用コ	85
	「担保物権法」講演会 (佐藤 聡彦)	7.4 (月) IV	経済法	35
	ブルーバッジガイドから見た英国の魅力～次世代につながるホスピタリティの心 (スーザン・キング)	7.12 (火) II	短大英文	201
	現代イスラームにおける「聖戦 (ジハード)」の観念とテロリズム (池内 恵)	7.12 (火) V	共通部門	225
	伝統 現代 未来を共にある大地から (結城 幸司)	11.8 (火) II	共通部門	124
	母子家庭と貧困 (流石 智子)	11.12 (土) II	計画	33
	国際協力とコミュニティ開発ー女性への支援という視点から (今里 いさ)	12.22 (木) IV	短大生活	85
	宗教の未来ー近代から現代へのベクトルの延長線を見て (宇都宮 輝夫)	1.17 (火) V	共通部門	282
	所要経費等 (収入額 0円、支出額 777,268円、収支)		収支	-777,268
	2017年度	"Fight to the Bitter End? Katsu Kaishu and Fukuzawa Yukichi" (ダグラス・ステイプラー)	5.30 (火) II	国際教育
A Poetry Reading by Neal Hall (ニール・ホール)		9.28 (木) IV	言語教育	187
北海道米はこうして売れた ～ゆめびりかの広告事例から～ (碓井 雅博)		10.27 (金) IV	経営情報	97
子どもの学ぶ力と可能性を信じる教育ーカナダ・ノヴァスコシア州、特別支援学校の実践から学ぶー (ビーター・コール)		10.30 (月) VI	福祉臨床	47
メディアの進化と表現の深化 (澤本 嘉光)		11.10 (金) IV	経営情報	105
所要経費等 (収入額 0円、支出額 387,681円)			収支	-387,681
2018年度	ソーシャルワーカーに必要なスキルを学ぶ (前田 ケイ)	6.8 (金) IV V	福祉臨床	153
	証券論 (後藤 英仁)	7.6 (金) IV	経済法	4
	Introduction to Sustainable Tourism (岡本 洋平)	7.11 (水) VI	短大英文	140
	Going Global!:国際社会で活躍するための心得とは (西村 由賀里)	10.2 (火) IV	大学英文	161
	国際広告賞に見る流れと最近国内の流れ ～海外CMの傾向からこれからの広告を考える～ (澤本 嘉光)	10.5 (金) IV	経営情報	54
	バイク便からセブ大手語学学校経営者へ (藤岡 頼光)	10.19 (金) III	経済	179
	レジリエンスを育むー逆境下における前向きな成長を促す社会的・物的環境のインパクト (ウンガー・マイケル)	10.26 (金) II	福祉臨床	142
	社会保障制度と持続可能性 ～これからの社会保障制度に求められる視点～ (菊地 馨実)	11.12 (月) V	福祉計画	283
	私がラジオを通して伝えたいこと (吉川 典雄)	11.29 (水) V	心理応用コミュニケーション	252
	History and Citizenship Education from Comparative Perspectives - Singapore, Australia, Japan and Beyond - (ヤオトン・チア)	1.9 (水) V	言語教育部門	62
	LGBTQ Young People : Inequalities and Futures (ビクトリア・ローリングス)	1.10 (木) V	言語教育部門	82
	所要経費等 (収入額 0円、支出額 863,412円)		収支	-863,412
	2019年度	60歳までに実際にいくら、どうやって貯めればいいのか? ～人生100年時代を有意義に過ごすために～	6.1 (土) III	経済法
近時の企業や自治体における地域密着型ブランド戦略の状況及び問題点		7.29 (金) II	経済法	115
映像クリエイティブに何が出来るか ～CM制作の現場から～		10.29 (火) IV	経営情報	110
持続可能な社会保障と生活保障		11.12 (火) III	福祉計画	124
国際化を模索するSF者たち		11.15 (金) III	言語教育部門	25
映像クリエイティブ～言葉の持つチカラ		10.31 (木) V	経営情報	95
所要経費等 (収入額 0円、支出額 627,652円)			収支	-627,652
	総収支額	-3,394,497	総受講者数	4,676

3 社会福祉学部地域連携事業の開催状況

[2015年度～2019年度]

(表Ⅻ-3-①)

年度	講義名	派遣講師名	開催日	派遣先	受講者数	
2015年度	カンファレンス「子ども虐待をめぐって」	栗山 隆	5/28 (木)	旭川市	30	
	ワークショップ：傾聴の姿勢を身につけるための研修	今川 民雄	6/27 (土)	函館市	30	
	発達障害（がい）の理解と支援	田実 潔	7/ 6 (月)	帯広市	80	
	社会福祉士実習における学生へのスーパービジョン	伊藤 新一郎	7/16 (木)	北広島市	40	
	今後の地域福祉のあり方	岡田 直人	8/18 (火)	大空町	35	
	障害者施設におけるリスクマネジメント	田中 耕一郎	8/19 (水)	札幌市内	30	
	演習：基本的なコミュニケーションと傾聴	栗山 隆	9/ 3 (木)	足寄町	15	
	ワークショップ：傾聴の姿勢を身につけるための研修	今川 民雄	9/ 4 (金)	安平町	20	
	乳幼児期（0歳～3歳）の子どもを理解する	牧田 浩一	9/ 6 (日)	遠軽町	30	
	運動と脳の機能は関係あるの？	武田 秀勝	9/ 8 (火)	登別市	50	
	障害者の虐待防止と差別解消に向けて	田中 耕一郎	10/21 (水)	江別市	50	
	演習：基本的なコミュニケーションと傾聴	栗山 隆	11/ 5 (木)	札幌市内	15	
	利用者・家族からの支援に対する要求や苦情	中村 和彦	11/14 (土)	釧路市	25	
	老化はゆっくりが良い	武田 秀勝	11/15 (日)	佐呂間町	50	
	被虐待児の心理～子どもの心の治療～	牧田 浩一	11/16 (月)	岩見沢市	150	
	障害者運動は何を訴えてきたのか	田中 耕一郎	12/ 2 (水)	帯広市	80	
	地域包括ケアとまちづくり	杉岡 直人	12/ 8 (火)	積丹町	50	
	ワークショップ：傾聴の姿勢を身につけるための研修	今川 民雄	2/15 (月)	旭川市	50	
	所要経費等（18件分） 支出額 846,642 円（予算額：858,000 円／18件分）					
2016年度	演習：基本的なコミュニケーションと傾聴	栗山 隆	5/28 (土)	岩内町	30	
	人と人が結びつき盛り上がり上がっているある連合町内会の仕掛け	岡田 直人	7/ 3 (日)	標津町	30	
	障害者の虐待防止と差別	田中 耕一郎	8/ 2 (火)	遠軽町	100	
	人と人が結びつき盛り上がり上がっているある連合町内会の仕掛け	岡田 直人	8/ 3 (水)	音更町	120	
	地域の支援計画に基づいた地域福祉活動（小地域ネットワーク活動）等の仕掛けの作り方	岡田 直人	8/10 (水)	幕別町	30	
	地産地消文化を推進するためのコミュニティレストラン	杉岡 直人	8/18 (木)	稚内市	15	
	人と人が結びつき盛り上がり上がっているある連合町内会の仕掛け	岡田 直人	8/30 (火)	黒松内町	30	
	地域の支援計画に基づいた地域福祉活動（小地域ネットワーク活動）等の仕掛けの作り方	岡田 直人	9/ 2 (金)	岩内町	15	
	演習：基本的なコミュニケーションと傾聴	栗山 隆	10/ 6 (木)	遠別町	30	
	乳幼児期（0歳～3歳）の子どもを理解する	牧田 浩一	10/19 (水)	砂川市	15	
	カンファレンス～子ども虐待をめぐって～	栗山 隆	10/27 (木)	函館市	20	
	発達障害（がい）の理解と支援	田実 潔	10/29 (土)	稚内市	100	
	人と人が結びつき盛り上がり上がっているある連合町内会の仕掛け	岡田 直人	11/20 (日)	興部町	50	
	障害者の虐待防止と差別解消に向けて	田中 耕一郎	2/13 (月)	札幌市	25	
	ワークショップ：傾聴の姿勢を身につけるための研修	今川 民雄	3/ 9 (木)	新篠津村	30	
	所要経費等（15件分） 支出額 790,446 円（予算額：908,000 円／15件分）					
	2017年度	今後の地域福祉のあり方～全国の先進地域から学ぶ～	岡田 直人	6/26 (月)	滝上町	43
		乳幼児期（0歳～3歳）の子どもを理解する	牧田 浩一	7/1 (土)	鹿追町	30
		乳幼児期（0歳～3歳）の子どもを理解する	牧田 浩一	7/19 (水)	真狩村	30
「幸福」とは何か		ネンシュティール	7/21 (木)	由仁町	35	
町内会の加入促進と担い手育成		岡田 直人	8/3 (金)	札幌市	169	
地域包括ケアとまちづくり		杉岡 直人	8/7 (月)	音更町	126	
今後の地域福祉のあり方～全国の先進地域から学ぶ～		岡田 直人	8/12 (土)	むかわ町	43	
利用者・家族からの支援に対する要求や苦情		中村 和彦	8/22 (火)	福島町	40	
ワークショップ：傾聴の姿勢を身につけるための研修		今川 民雄	9/6 (水)	恵庭市	10	
ふれあいサロン活動の進め方～継続と活性化に向けた～		岡田 直人	9/27 (水)	八雲町	42	
事例検討 ソーシャルワーク実践のポイントを振り返る		中村 和彦	10/7 (土)	稚内市	30	
演習：対人援助の基礎・自他の価値観		栗山 隆	11/9 (木)	札幌市	20	
発達障害の理解と支援		田実 潔	11/15 (水)	紋別市	50	
演習：対人援助の基礎・自他の価値観		栗山 隆	11/28 (火)	札幌市	20	
「利用者の自己決定」からソーシャルワークを考える		中村 和彦	12/5 (火)	芦別市	35	
地域の支え合い活動への新たな住民ボランティアの参加に向けて		岡田 直人	12/9 (土)	標茶町	92	
障害者運動は何を訴えてきたのか～日本とイギリスの障害者運動史から～		田中 耕一郎	12/16 (土)	札幌市	40	
社会福祉実習におけるスーパービジョン		伊藤 新一郎	1/24 (水)	札幌市	20	
所要経費等（18件分） 支出額 852,126 円（予算額：858,000 円／18件分）						
2018年度	地域への支え合い活動へのアクティブシニアの参加に向けて	岡田 直人	6/25 (金)	足寄町	30	
	障害者運動は何を訴えてきたのか	田中 耕一郎	7/17 (火)	岩見沢市	80	
	被虐待児の心理～子どもの心の治療～	牧田 浩一	7/19 (木)	長沼町	45	
	地域包括ケアとまちづくり	杉岡 直人	7/6 (金)	池田町	120	
	町内会活動にどう関わればいいのか	杉岡 直人	8/29 (水)	音更町	150	
	お金をもらうボランティア活動の捉え方	杉岡 直人	8/30 (木)	釧路市	50	
	発達障害の理解と支援	田実 潔	10/11 (木)	札幌市内	21	
	人と人が結びつき盛り上がり上がっている連合町内会の仕掛け	岡田 直人	10/12 (金)	滝川市	100	
	障害者運動は何を訴えてきたのか	田中 耕一郎	10/14 (日)	新ひだか町	68	
	ワークショップ：傾聴の姿勢を身につけるための研修	今川 民雄	10/24 (水)	帯広市	40	
	地域の支え合い活動への地域住民の参加に向けて	岡田 直人	10/28 (日)	松前町	80	
	発達障害（がい）の理解と支援	田実 潔	10/30 (火)	岩見沢市	22	
	思春期の心理を理解する	牧田 浩一	11/23 (金)	登別市	21	
	親子の愛着形成と思春期に大切なこと	牧田 浩一	11/5 (月)	紋別市	56	
	英国障害者運動と社会モデルの考え方	田中 耕一郎	12/1 (土)	札幌市	40	
	わが国における社会福祉理論の歴史と展望	佐橋 克彦	12/21 (金)	札幌市内	30	
	町内会活動にどう関わればいいのか	杉岡 直人	12/5 (木)	札幌市内	30	
	地域の支え合い活動への新たな住民ボランティアの参加に向けて～ふくしでまちづくりで地域共生社会の実現を～	岡田 直人	3/2 (土)	紋別市	60	
	所要経費等（18件分） 支出額 848,728 円（予算額：840,000 円／18件分）					

3 社会福祉学部地域連携事業の開催状況

[2015年度～2019年度]

(表XII-3-②)

2019年度	乳幼児期(0～3歳)の子どもを理解する	牧田 浩一	9/25(水)	遠別町	15
	利用者・家族からの支援に対する要求や苦情	中村 和彦	8/6(火)	佐呂間町	45
	今後の地域福祉のあり方 -全国の先進事例から学ぶ	岡田 直人	6/12(水)	苫小牧市	100
	演習:対人援助の基礎・自他の価値観	栗山 隆	8/9(金)	北見市	30
	「幸福」とはなにか	K. Uネシユテイール	6/12(金)	南幌町	46
	社会福祉事業者における法令順守入門	林 健太郎	7/12(金)	美唄市	36
	被虐待児の心理 ～子どもの心の治療～	牧田 浩一	11/7(木)	札幌市内	90
	生活困窮の実態とその支援について	松岡 是伸	10/10(木)	札幌市内	17
	ふれあいサロン活動の進め方 ～継続と活性化に向けて～	岡田 直人	6/26(水)	室蘭市	141
	基本的なコミュニケーションと傾聴	栗山 隆	9/30(月)	函館市	40
	地域の支え合い活動への新たな住民ボランティアの参加に向けて ～ふくしでまちづくりで地域共生社会の実現を～	岡田 直人	9/9(月)	湧別町	115
	地域の支え合い活動への新たな住民ボランティアの参加に向けて ～ふくしでまちづくりで地域共生社会の実現を～	岡田 直人	10/7(月)	豊富町	46
	地域の支え合い活動への新たな住民ボランティアの参加に向けて ～ふくしでまちづくりで地域共生社会の実現を～	岡田 直人	8/10(土)	鶴居村	50
	発達障害(がい)の理解と支援	田実 潔	7/18(木)	札幌市内	15
	地域の支え合い活動への地域住民の参加に向けて	岡田 直人	11/11(月)	新得町	50
	地域の支え合い活動への「地域住民」の参加に向けて	岡田 直人	12/11(水)	黒松内町	14
	人と人が結びつき盛り上がっているある町内会連合の仕掛け ～一人ではできないから、協力者を増やす要諦とは～	岡田 直人	2/11(火)	厚岸町	92
	所要経費等(17件分) 支出額 875,036円(予算額:938,000円/18件分)				

4 障害児教育夏季セミナーの開催状況

[2015年度～2019年度]

(表ⅩⅢ-4)

年度	通算	メインテーマ及び講座名 (担当者)	開催期間等	担当学科等	受講費及び受講者数等
2015年度	11	<p>メインテーマ「障害のある人への生涯発達支援とは」</p> <p>基調講演 『知的障害のある人への生涯発達支援 ーキャリア教育と職業教育において、「態度」を育てるー』 菅野 敦</p> <p>対談・事例研究 『生涯を見据えた教育的支援とは』 菅野 敦、田実 潔 司会(質疑・応答)：藤原 里佐</p>	8/7(金)	教 職 部 門	<p>一般 ¥1,000 × 116 人 学生 ¥0 × 9 人 職員 ¥0 × 0 人 更新講習 26 人</p> <p>収入額 ¥116,000 支出額 ¥385,265 収支 ¥-269,265</p>
2016年度	12	<p>メインテーマ「障害のある人への認知行動療法とは」</p> <p>基調講演 『発達障害のある人への認知行動療法の基礎』 嶋田 洋徳</p> <p>対談・事例研究 『教育現場でできる認知行動療法(仮)』 嶋田 洋徳、田実 潔 司会(質疑・応答)：藤原 里佐</p>	8/9(火)	教 職 部 門	<p>一般 ¥1,000 × 189 人 学生 ¥0 × 13 人 職員 ¥0 × 0 人</p> <p>収入額 ¥189,000 支出額 ¥384,132 収支 ¥-195,132</p>
2017年度	13	<p>メインテーマ「気になる・困った行動への教育的支援の在り方」</p> <p>基調講演Ⅰ 『気になる・困った行動への教育的支援の在り方Ⅰ』 藤原 義博</p> <p>基調講演Ⅱ 『気になる・困った行動への教育的支援の在り方Ⅱ』 司会(質疑・応答)：田実 潔</p>	8/7(月)	教 職 部 門	<p>一般 ¥1,000 × 262 人 学生 ¥0 × 3 人 職員 ¥0 × 0 人</p> <p>収入額 ¥262,000 支出額 ¥355,399 収支 ¥-93,399</p>
2018年度	14	<p>メインテーマ「発達障害のある児童生徒の具体的支援 ～将来の就労を見据えて今できること」</p> <p>基調講演 『発達障害のある児童生徒の具体的支援』 梅永 雄二</p> <p>対談・事例研究 『将来の進路や就労に向けて、今できる支援は何か』 梅永 雄二、田実 潔 司会：播磨 正一</p>	8/8(水)	教 職 部 門	<p>一般 ¥1,000 × 191 人 学生 ¥0 × 7 人 職員 ¥0 × 4 人</p> <p>収入額 ¥191,000 支出額 ¥395,074 収支 ¥-204,074</p>
2019年度	10	<p>メインテーマ「発達が気になる子のステキを伸ばす」</p> <p>基調講演 『発達障害のある児童生徒の具体的支援 ～自尊感情を下げないためにできること』 加藤 潔</p> <p>対談・事例研究 『将来の進路や就労に向けて、今できる支援は何か』 加藤 潔、田実 潔 司会：鳴海 昌江</p>	8/9(金)	教 職 部 門	<p>一般 ¥1,000 × 233 人 学生 ¥0 × 1 人 職員 ¥0 × 2 人 更新講習 18 人</p> <p>収入額 ¥314,000 支出額 ¥276,880 収支 ¥37,120</p>

5 学部別研究生の受入状況

[2015～2019]

単位 (人)

(表ⅩⅢ-5)

受入学部		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年間平均	備考
研究生	文学部	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0.2 (0.2)	()内は本学卒業生以外の内数
	経済学部	2 (0)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	1.4 (0.4)	
	社会福祉学部	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (1)	1.0 (0.2)	
	短期大学部	0 (0)	3 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1.0 (0.0)	
	計	3 (0)	5 (1)	2 (0)	3 (1)	5 (2)	3.6 (0.8)	

6 学部別科目等履修生の受入状況

[2015～2019]

単位 (人)

(表ⅩⅢ-6)

受入学部		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	5年間平均	備考	
科目等履修生	文学	特別	20	27	17	23	*17	21.8	*後期出願者を含む
		特定	0	0	0	0	0	0.0	
		一般	*4	3	3	0	*1	2.8	*後期出願者を含む
		学内	0	0	0	0	0	0.0	
	経済	特別	17	14	27	24	8	18.0	
		特定	0	1	0	2	0	0.6	
		一般	4	4	2	6	4	4.0	
		学内	0	0	0	0	0	0.0	
	社会福祉	特別	5	3	13	27	8	11.6	
		特定	0	0	1	0	0	0.2	
		一般	2	*3	5	3	*3	3.2	*後期出願者を含む
		学内	1	3	3	13	14	6.8	
	短期大	特別	0	0	0	0	0	0.0	
		特定	/	/	/	/	/	/	
		一般	1	0	0	0	1	0.4	
		学内	/	/	/	/	/	/	
計	特別	42	44	57	74	33	50.0		
	特定	0	1	1	2	0	0.8		
	一般	11	10	10	9	9	9.8		
	学内	1	3	3	13	14	6.8		

※短期大学部科目等履修生(下線部)は、2016年度より“一般科目等履修生”となった。

※年度途中にて、履修の取消、停止、退学した数は除く

7 科目群別科目等履修生の受入状況

〔2015～2019〕

単位（人）

（表Ⅲ-7）

授業科目群		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	計	5年間平均	備考	
大学共通科目	特別	27	31	50	69	*22	199	39.8	*札幌圏単位互換を含む	
	特定	0	1	1	2	0	4	0.8		
	一般	1	2	0	3	*5	11	2.2		*後期出願の科目を含む
	学内	0	0	0	0	0	0	0.0		
英文学科 専門教育科目	特別	3	1	0	2	0	6	1.2		
	特定	0	0	0	0	0	0	0.0		
	一般	3	1	1	0	0	5	1		
	学内	0	0	0	0	0	0	0.0		
心理・応用 コミュニケーション学科 専門教育科目	特別	6	2	2	1	*3	14	2.8	*札幌圏単位互換を含む	
	特定	0	0	0	0	0	0	0.0		
	一般	0	0	1	0		1	0.2		
	学内	0	0	0	0	0	0	0.0		
経済学科 専門教育科目	特別	2	3	1	0	*1	7	1.4	*札幌圏単位互換を含む	
	特定	0	0	0	0	0	0	0.0		
	一般	1	3	3	1	1	9	1.8		
	学内	0	2	0	0	0	2	0.4		
経営情報学科 専門教育科目	特別	0	0	1	1	2	4	0.8		
	特定	0	1	0	1	0	2	0.4		
	一般	1	2	0	2	0	5	1		
	学内	0	0	0	0	0	0	0.0		
経済法学科 専門教育科目	特別	0	2	0	0	1	3	0.6		
	特定	0	1	0	1	0	2	0.4		
	一般	0	0	0	2	1	3	0.6		
	学内	0	0	0	0	0	0	0.0		
福祉計画学科 専門教育科目	特別	1	3	2	0	*5	11	2.2	*札幌圏単位互換を含む	
	特定	0	0	1	0	0	1	0.2		
	一般	1	0	1	1	0	3	0.6		
	学内	0	0	0	6	6	12	2.4		
福祉臨床学科 専門教育科目	特別	1	1	6	3	0	15	3.0		
	特定	0	0	0	0	0	0	0.0		
	一般	3	1	2	0	1	7	1.4		
	学内	1	1	0	0	0	2	0.4		
福祉心理学科 専門教育科目	特別	1	1	5	0	*1	10	2.0	*札幌圏単位互換を含む	
	特定	0	0	0	0	0	0	0.0		
	一般	1	1	1	0	1	4	0.8		
	学内	0	0	0	8	6	14	2.8		
教職課程科目	特別	11	8	9	12	9	49	9.8	*後期出願の科目を含む	
	特定	0	0	0	0	0	0	0.0		
	一般	4	5	6	4	2	29	5.8		
	学内	0	0	0	0		0	0.0		
国際交流科目	特別									
	特定									
	一般	1	0	0	0	0	1	0.2		
	学内									
短期大学部科目	特別	0	0	0	0		3	0.6		
	特定									
	一般	0	0	0	0	1	1	0.2		
	学内									

8 各自治体との連携協定締結・協議状況〔2019年度〕

〈締結〉

(2020年3月31日現在) (表Ⅱ-8)

自治体名	対象	内容	締結年月日
栗山町	北星学園大学 北星学園大学短期大学部	北星学園大学及び北星学園短期大学部と栗山町との連携協定書	2007年12月21日
歌志内市	北星学園大学 北星学園大学短期大学部	北星学園大学及び北星学園短期大学部と歌志内市との連携協定書	2013年10月29日
札幌市厚別区 株式会社札幌 副都心開発公社	北星学園大学 北星学園大学短期大学部	北星学園大学及び北星学園短期大学部、株式会社副都心開発公社及び札幌市厚別区における三者の連携協力に関する協定	2008年12月21日
北海道教育委員会	北星学園大学	北海道教育委員会と北星学園大学との調査研究に関する協定	2014年3月28日
札幌市	北星学園大学	札幌市営住宅の北星学園大学・北星学園大学短期大学部の学生への提供についての協定書	2017年11月27日
後志振興局	北星学園大学短期大学部	北海道後志総合振興局・北星学園大学短期大学部によるグローバル人材育成に係る連携・協力に関する協定書	2018年7月23日

〈協議中〉

自治体名	対象	内容	締結年月日
新ひだか町	北星学園大学 文学部英文学科	新ひだか町姉妹都市、米国レキシントン市親善訪問団の新ひだか町訪問に際し、本学英文学科から学生1名を通訳ボランティアとして、札幌視察時のサポートとして学生3名を派遣した。(7/19～7/28) また、新ひだか町からの米国友好親善訪問団とともに、語学サポートボランティアとして学生1名を派遣予定であったが、新型コロナウイルス拡大のため中止。	-

9 各自治体との連携事業実施状況〔2019年度〕

(表XII-9-①)

自治体名	日 程	内 容	備考・場所	参加者数
歌志内市	6月28日	歌志内市高齢者大学「チロル学園」講演会 本学足立 清人教授	歌志内市	20名
	10月26日	歌志内市 市民芸術文化祭「吹奏楽コンサート」 本学吹奏楽部	歌志内市	-
厚別区及び 札幌副都心開 発公社	9月11日	CCRC事業 キャンパスタウン厚別 1講 総論1:協働によるまちづくり ～「おせっかい」のための対話術～	本学	44名
	9月13日	2講 総論2:地域共生社会を目指して ～誰もが役割を持ち、活躍できる社会 本学 岡田 直人教授	本学	46名
	9月18日	3講 各論1:生活の中の心理学 本学 中村 浩教授	本学	40名
	9月20日	4講 各論2:地域をつなぐ 福まちのコーディネート機能	本学	41名
	9月25日	5講 各論3:地域での新たな取組について ～ 大麻銀座商店街での取り組み～	本学	39名
	9月27日	6講 各論4:厚別区の町内会について知ろう	本学	38名
	10月2日	7講 振り返り:今後自分がやりたいこと	本学	44名
	4月26日	「第10回みんなの！新さっぽろフォトコンテスト」実施打合せ	新札幌アークシティ	—
	11月9日	「第10回みんなの！新さっぽろフォトコンテスト」表彰式・展示会	新札幌アークシティ	—
	8月28日	キャンパスタウン厚別同窓会 第1回	本学	—
	10月30日	キャンパスタウン厚別同窓会 第2回	本学	—
	11月27日	キャンパスタウン厚別同窓会 第3回	本学	—
	1月29日	キャンパスタウン厚別同窓会 第4回	本学	—
	新ひだか町	5月10日	新ひだか町国際交流事業に対する、本学学生ボランティア 派遣依頼	—
7月18日～28日		レキシントン市からの友好親善訪問団による新ひだか町滞在及び 札幌視察に同行し、通訳ボランティア等を行う	新ひだか町 及び札幌	10名 訪問団 3名 本学学生
札幌市	6月13～18日	もみじ台団地物件内覧・説明	もみじ台団地	-
	6月20日	もみじ台団地入居学生と希望学生の情報交換会	本学	-
	6月27日	もみじ台団地入居面接	本学	-
	11月15日	もみじ台団地事業担当者打合せ	本学	-
	2月18日	もみじ台団地入居学生との面談	本学	-
後志振興局	-	グローバル人材育成に係る連携 「Shiribeshi留学」への学生派遣(短大英文学科)	ニセコ町	派遣学生7名

その他連携事業実施状況〔2019年度〕

(表XII-9-②)

自治体名	日 程	内 容	備考・場所	参加者数
大谷地東 小学校	10月21日	大谷地東小3年生「町はかせになろう」	本学	児童21名 引率教諭2名
北野中学校	11月21日	北野中学校「総合的な学習の時間」における職場体験 学習の受入れ	本学	6名

10 後援会総会・地区別父母懇談会 開催状況[2019年度]

(表XII-10-①)

日程	後援会総会・懇親会		地区別父母懇談会									
	5月25日(土)		6月29日(土)		8月24日(土)	8月25日(日)						
地区	札幌		札幌		旭川	北見						
会場	北星学園大学		北星学園大学		アートホテル旭川	ホテル黒部						
父母出席人数 (出席組数)	136		140 (105)		59 (42)	27 (20)						
派遣教職員人数 (後援会役員含まない)	30		66		23	16						
学長 副学長	大坊 郁夫 鈴木 剛		鈴木 剛		大坊 郁夫	大坊 郁夫						
学部長	蓑内 豊 秋森 弘 田中 耕一郎 藤原 里佐		藤原 里佐		蓑内 豊	蓑内 豊						
局次部長	桑原 大幸 山本 一博 笠松 英雄		桑原 大幸 笠松 英雄		桑原 大幸	笠松 英雄						
教員	岡田 直人 高橋 克依 大島 寿美子 勝村 務 韓 文熙 長屋 幸世 佐橋 克彦 永井 順子 西山 薫 白鳥 金吾 遠藤 太郎		長谷川 典子 J.ラケット 高野 照司 柳町 智治 中地 美枝 島田 桂子 斎藤 彩世 ロバート J.トムソン 石川 悟 片岡 徹 柿原 久仁佳 寺林 暁良 濱 文章 修 震傑 浦野 真理子 野本 啓介 野原 克仁 韓 文熙 西脇 隆二 黄 雅雯 鎌田 直矢 増田 辰良 足立 清人 萩原 浩太 伊東 尚美		安部 雅仁 佐橋 克彦 岡田 直人 中田 知生 中村 和彦 永井 順子 大友 秀治 田澤 安弘 西山 薫 佐藤 祐基 竹村 雅史 森越 京子 J.マウン 田中 直子 マシューJ.コッター 遠藤 太郎 内山 智		高橋 克依 高野 照司 寺林 暁良 原島 正衛 萱野 智篤 渡邊 稔 佐藤 友暁 篠田 優 佐橋 克彦 中村 和彦 牧田 浩一 マシューJ.コッター カートアッカーマン 遠藤 太郎		高橋 克依 原島 正衛 修 震傑 竹田 恒規 中田 知生 大友 秀治 牧田 浩一 マシューJ.コッター 遠藤 太郎			
後援会役員	深澤 秀則 佐藤 順子		中村 千津子		深澤 秀則		中村 千津子					
職員	越江 真理 林上 由希菜 今 康昭 横山 学 伊藤 修 伊藤 圭一郎 富野 千咲 阿曾 礼次郎 川原 靖彦 鈴木 克知		竹内 禎哉 岐土 達朗 西藤 陽子 鈴木 峰子 大山 理加		竹内 禎哉 岐土 達朗 西藤 陽子 鈴木 峰子 大山 理加 瀬野 綾佳 宗石 依久子 北村 修一 村上 浩俊 黒田 康平		北川 奈津子 富野 千咲 佐野 和真 長澤 史栄 加藤 優子 小塚 賢 木澤 賢人 太田 広 長谷川 万里子 二宮 真千子		高橋 麻里子 小塚 賢 木澤 賢人 山下 友一 鈴木 峰子 大山 理加		高橋 麻里子 竹内 禎哉 岐土 達朗 小塚 賢	
備考												

10 後援会総会・地区別父母懇談会 開催状況[2019年度]

(表ⅩⅦ-10-②)

日程	地区別父母懇談会					
	8/31(土)	9月1日(日)	9月7日(土)	9月8日(日)	11月2日(土)	
地区	帯広	釧路	函館	苫小牧	札幌	
会場	グランテラス帯広	釧路プリンスホテル	フォーポイントバイ シェラトン函館	グラントホテル ニュー王子	北星学園大学	
父母出席人数 (出席組数)	26 (22)	16 (12)	31 (23)	23 (20)	278 (203)	
派遣教職員人数 (後援会役員含まない)	14	12	13	14	83	
学長 副学長	鈴木 剛	鈴木 剛	大坊 郁夫	大坊 郁夫	大坊 郁夫	
学部長	秋森 弘	秋森 弘	田中 耕一郎	田中 耕一郎	田中 耕一郎	
局次部長	笠松 英雄	笠松 英雄	桑原 大幸	桑原 大幸	桑原 大幸 笠松 英雄	
教員	ロバート J. トムソン 石川 悟 渡邊 稔 鈴木 克典 竹田 恒規 岡田 直人 横山 穰 カートアッカーマン	片岡 徹 勝村 務 大原 昌明 篠田 優 岡田 直人 鴨澤 あかね 山本 慎平	片岡 徹 勝村 務 岩本 一郎 林 健太郎 栗林 克匡 竹村 雅史 藤木 晶子	島田 桂子 後藤 靖宏 萱野 智篤 岩本 一郎 林 健太郎 栗林 克匡 田中 直子 内山 智	ピーターグレイ J. ラケット 高橋 克依 柳町 智治 江口 均 中地 美枝 島田 桂子 斎藤 彩世 ロバート J. トムソン 田辺 毅彦 片岡 徹 石川 悟 寺林 暁良 原島 正衛 萱野 智篤 浦野 真理子 野本 啓介 勝村 務 野原 克仁 柴崎 慎也 楠木 敦 韓 文熙 西脇 隆二 山口 博教 鈴木 克典 黄 雅雯 鎌田 直矢 岡田 直人	足立 清人 増田 辰良 岩本 一郎 長屋 幸世 伊東 尚美 多鹿 智哉 南 ホチヨル ネンシュティール 安部 雅仁 伊藤 新一郎 松岡 是伸 林 健太郎 池田 雅子 田中 耕一郎 田中 充潔 永井 順子 田澤 安弘 佐藤 祐基 眞嶋 良全 薫 薫 白鳥 金吾 竹村 雅史 田中 直子 森越 京子 ペイ E. トムソン 遠藤 太郎 内山 智 藤原 里佐 山本 慎平
後援会役員					深澤 秀則	
職員	鈴木 克知 西藤 陽子 鈴木 峰子	西藤 陽子 鈴木 峰子	竹内 禎哉 木澤 賢人 西藤 陽子	竹内 禎哉 木澤 賢人 大山 理加	岐土 達朗 西藤 陽子 鈴木 峰子 林上 由希菜 木村 美奈 田名部 正彦 清野 水香 八代 美彩紀 遠藤 潤 森吉 佑太 高橋 麻里子	川原 靖彦 羽田 有紀 鈴木 克知 鈴木 和真 長澤 史栄 加藤 優子 小塚 賢 木澤 賢人 太田 広 長谷川 万里子 二宮 真千子
備考						

11 同窓会各支部懇親会開催状況〔2019年度〕

(表XII-11)

日程	8月24日(土)	8月25日(日)	8月31日(土)	9月1日(日)	9月7日(土)	10月19日(土)	11月9日(土)	12月7日(土)
地区	旭川	北見	帯広	釧路	函館	札幌	東京	千歳
会場	アートホテル 旭川	オホーツクビール	アパホテル 帯広駅前	JAZZ SOUL& KITCHEN HOT SAUCE	函館国際ホテル	ANAクラウンプラ ザホテル札幌	アルカディア 市ヶ谷	ピアワークス ちとせ
全参加人数	29名	35名	45名	34名	37名	140名	32名	31名
同窓生 参加人数 (現教職員・同窓 会役員除く)	8名	23名	32名	18名	20名	88名	26名	24名
学園役員						大山 綱夫 樋田 繁治郎		
学長 副学長	大坊 郁夫	大坊 郁夫	鈴木 剛	鈴木 剛	大坊 郁夫	大坊 郁夫 鈴木 剛	鈴木 剛	大坊 郁夫
学部長	養内 豊	養内 豊	秋森 弘	秋森 弘	田中 耕一郎	秋森 弘 田中 耕一郎 藤原 里佐	藤原 里佐	藤原 里佐
局次部長	桑原 大幸	笠松 英雄	笠松 英雄	笠松 英雄	桑原 大幸	桑原 大幸 山本 一博 笠松 英雄	山本 一博	山本 一博
教員	原島 正衛 佐藤 友暁 篠田 優 中村 和彦 牧田 浩一 マシューJ.コック カートアッカーマン 遠藤 太郎	原島 正衛 大友 秀治 牧田 浩一 遠藤 太郎	ロバートJ.トムソン 鈴木 克典 岡田 直人 カートアッカーマン	片岡 徹 勝村 務 大原 昌明 篠田 優 岡田 直人 鴨澤 あかね 山本 慎平	片岡 徹 勝村 務 岩本 一郎 林 健太郎 栗林 克匡 竹村 雅史 藤木 晶子	日高 嘉彦 西脇 隆二 山我 哲雄 中村 一浩 矢吹 哲夫 竹村 雅史 カートアッカーマン 池田 雅子 牧田 浩一		
後援会役員	中村 千津子							
同窓会役員	佐藤 桂子副会長 森谷 恭一副会長 小村 知江子幹事 林 孝之幹事	森谷 恭一副会長 北本 佳子幹事	森谷 恭一副会長 斎藤 美代子幹事 駒ヶ嶺 剛史幹事	佐藤 桂子副会長 森谷 恭一副会長 山鹿 貴子幹事 駒ヶ嶺 剛史幹事	佐藤 桂子副会長 森谷 恭一副会長 小村 知江子幹事 有澤 睦子幹事	松倉 千春会長 佐藤 桂子副会長 森谷 恭一副会長	岡田 義明会長 小村 知江子副会長	岡田 義明会長 赤塚 善彦副会長 駒ヶ嶺 剛史副会長 清水 一江幹事
職員	高橋 麻里子 竹内 禎哉 木澤 賢人 小塚 賢 山下 友一	高橋 麻里子 竹内 禎哉 小塚 賢	鈴木 克知 西藤 陽子 鈴木 峰子	西藤 陽子 鈴木 峰子	竹内 禎哉 西藤 陽子 木澤 賢人	鈴木 峰子 岐土 達朗 西藤 陽子 湊 史郎 白鳥 金吾 島山 美保 奥井 裕紀 久保田 貴仁 山下 友一 小野 咲花 秋田谷 順平 川原 靖彦 伊藤 修 鈴木 克知 高橋 章 小塚 賢 藤巻 大祐 木澤 賢人 伊藤 圭一郎 八代 美彩紀 桐山 城太郎 越江 真理 後藤 彩香 後藤 拓哉 齊藤 和 瀬野 綾佳	鈴木 克知	
備考						旧教員6名出席 在学生6名出席		

[2018～2019]

(表XII-12)

	日 程	コ ン サ ー ト ・ 講 演 会 名	場 所	内 容	来 場 者 数
2018年度	5/19(土)	パイプオルガンコンサート ヨーロッパ大陸のオルガン音楽の 300年	チャペル	パイプオルガン コンサート	312
	9/29(土)	ホンヤミカコ 秋のオカリナコンサート	チャペル	音楽コンサート	236
	12/2(日)	石川祐支&大平由美子デュオ・コンサ ート ～Advent (待降節) によせて～	チャペル	音楽コンサート	312
2019年度	5/11(土)	パイプオルガンコンサート Back to Bach ～バッハへの回想～	チャペル	パイプオルガン コンサート	247
	9/28(土)	矢口祐人 講演会 「フラから見るハワイの歴史と文 化」	図書館棟4階A教室	講演会	146
	12/14(土)	Winter マリンバコンサート 「チャペルに響くローズウッドの音色」	チャペル	音楽コンサート	256
平均参加者数					251.5

ⅩⅢ その他必要な事項に関すること

1 各種講座受講者状況[2019年度]

(表ⅩⅢ-1)

	講座名	前期			後期			計		
		クラス数	受講者数	学生(内数)	クラス数	受講者数	学生(内数)	クラス数	受講者数	学生(内数)
1	ゼロから始めるやさしい英会話	1	15		1	11		2	26	
2	はじめての英会話	2	24		2	16		4	40	
3	英会話入門(キフ先生)	1	15		1	12		2	27	
4	英会話入門(カートニー先生)	1	13	1	1	13	1	2	26	2
5	英会話初級(ボゼア先生)	1	13		1	13		2	26	
6	英会話初級(ホイット先生)	1	6					1	6	
7	英会話初級(ハリー先生)	1	15		1	11		2	26	
8	英会話中級Ⅰ(ハリー先生)	1	15		1	15	1	2	30	1
9	英会話中級Ⅰ(バーズ先生)	1	14		1	15	2	2	29	2
10	英会話中級Ⅱ(マロック先生)	1	11	2				1	11	2
11	英会話中級Ⅱ(カートニー先生)	1	7		1	7	1	2	14	1
12	英会話上級(ホイット先生)	1	7		1	6		2	13	
13	英会話上級(カートニー先生)	1	15	2	1	13		2	28	2
14	ドイツ語初級	1	7					1	7	
15	ドイツ語中級	1	12		1	10		2	22	
16	フランス語入門	1	5		1	5		2	10	
17	フランス語初級Ⅱ	1	5		1	5		2	10	
18	中国語入門	1	8	1	1	6		2	14	1
19	中国語初級	1	5					1	5	
20	実用中国語	1	6					1	6	
21	ハングル入門	1	8		1	9	2	2	17	2
22	ハングル中級Ⅰ	1	6	1	1	5		2	11	1
23	ハングル上級・応用編	1	11		1	12		2	23	
24	ラテン語初中級	1	3		1	3		2	6	
25	スペイン語入門Ⅰ	1	11	2	1	6	1	2	17	3
26	スペイン語入門Ⅱ	1	3	1	1	3	1	2	6	2
27	Travel English Plus	1	16		1	15		2	31	
28	Study and Test Skills(英検準1級/高レベルTOEFLなど)	1	25	10	1	10	1	2	35	11
29	シニアのための再チャレンジ英会話	1	14		1	15		2	29	
30	フレーズで覚えるやさしい英会話	1	15		1	10		2	25	
31	Basic Discussion and Conversation in English	1	4					1	4	
32	Word2016スペシャリス	2	28	25	1	14	14	3	42	39
33	Excel2016スペシャリス	2	25	23	1	23	23	3	48	46
34	PowerPoint2016(集中)	1	7	7	1	6	6	2	13	13
35	社会福祉士国家試験受験 スタートアップ講座	1	66	66				1	66	66
36	社会福祉士国家試験対策講座	1	51	49				1	51	49
37	サービス接遇検定2級	1	12	12				1	12	12
38	総合旅行業務取扱管理者	1	2	2				1	2	2
39	総合[国内有資格者]旅行業務取扱管理者	1	2	2				1	2	2
40	国内旅行業務取扱管理者	1	17	17				1	17	17
41	秘書検定2級	1	23	23				1	23	23
42	3級FP技能士資格対策	1	14	10				1	14	10
43	英語で味読する「ナルニア国物語」	1	7	1	1	6		2	13	1
44	古典ギリシャ語入門	1	5		1	5		2	10	
45	聖書を読む8	1	10					1	10	
		48	603	257	31	300	53	79	903	310

「自己点検評価資料」点検評価項目

I. 本学の在り方及び目標に関すること

【点検評価項目】

1 本学の基本的又は一般的目的について

- (1) 教育基本法、学校教育法、大学設置基準、短期大学設置基準、大学院設置基準との適合性がはかられているか。
- (2) 各年度の運営計画、運営総括は適切に設定、総括されているか。
- (3) 建学の理念に鑑みて、ミッションステートメント、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーは適切に定められ運用されているか。

2 教育研究活動における目的について

- (1) 大学、学部、大学院研究科設置の目的との関係において、実態はどうなっているか。

3 教育活動（目的）に沿った人材育成について

- (1) 人間性・社会性・国際性豊かな人材育成のためにどのような教育・研究活動がなされるべきであり、またなされているか。
- (2) 具現化するための教育内容はどのように編成されているか。

4 キリスト教による人格教育について

- (1) キリスト教による人格教育を建学の精神とする目的との関係において、実態はどうであるのか。
- (2) キリスト教による人格教育を具体化するための教育内容はどのように編成されているか。
- (3) キリスト教による人格教育を具体化するためのキリスト教職員の採用は、適切になされているか。

5 地域社会への寄与・貢献について

- (1) 地域社会への寄与及び貢献はどのようになされているか。
 - ① 教育的側面〔社会連携事業・公開講座・出前講義・セミナー、生涯学習、社会人特別入試等〕
 - ② 研究的側面〔研究業績書刊行等〕
 - ③ 行政的側面〔各種審議会・委員会の審議員・委員、委託研究等〕
 - ④ 施設設備等の側面〔図書館、ホール、講堂・教室（学会等）、体育館（大会）等〕
- (2) 社会的要請に対応できているか。その妥当性、適切性はどうか。
 - ① 教育活動の側面から
 - ② 研究活動の側面から
 - ③ 社会活動の側面から

6 国際社会への寄与・貢献について

- (1) 国際社会への寄与及び貢献はどのようになされているか。
 - ① 教育的側面〔教員の国際交流、外国大学との提携、外国人教員・留学生受入〕
 - ② 研究的側面〔研究業績の交換、外国人研究者の受入等〕

7 本学の目的等の社会的評価について

- (1) 社会的評価はどうか。
 - ① 自己評価
 - ② 認証評価機関による評価
 - ③ 他者（第三者）評価

II. 本学の管理運営の在り方及び組織並びに機構に関すること

【点検評価項目】

1 大学における意思決定の組織・機構について

- 各組織は、適切に組織され、機能を果たしているか。

2 大学の管理運営機構における意思決定について

各組織において審議決定事項が明確にされ、議案の審議、議案の採択・不採択等運営は適切になされているか。

3 大学における執行の組織について

各組織において機能、適性、選出方法、任期、補助組織等が明確にされ、適切に機能しているか。

4 事務職員について

- (1) 事務職員の機能・役割が明確にされ、有効にその役割が果たされているか。
- (2) 事務組織・運営体制は適切に組織化されているか。
- (3) 職員のSD研修は適切に開催され、また参加状況はどうか。

Ⅲ. 本学の財務、施設設備及び環境に関すること

[I 財務]

【点検評価項目】

1 学園（法人）財務と大学財務の関係について

- (1) 学園財務における大学財務の位置づけ（予算編成、決算処理方針）はどうか。
- (2) 会計単位としての大学財務の実態はどうか。
- (3) 学園機能と大学財務の関係はどうか。
- (4) 法人費操出金における、①各校分担比率、②各校予算内占有比率、③学園決算に対する自己監査等は適切であるのか。
- (5) 大学における資金造成のうち、①資金運用の妥当性、②寄付金等の収入、③収益事業の可能性等の実態はどうか。
- (6) 大学における土地取得・利用・管理は適切であるか。

2 大学財務の構造について

[収入]

- (1) 学費に関して、①全収入に占める学費比率、②他大学との学費比較③支出の増加に対応する学費額の増加（学生たちの受益と負担の均衡との関係）、④全収入に占める人件費比率、及び研究費比率は妥当なものか。
- (2) 寄付金に関して、①募集の目的と活用方法、②募集組織・機構の整備、③活用による教育研究の成果、④冠（寄付）講座・研究助成の推進等の実態はどうか、それは適切であるか。
- (3) 国・公費助成・補助金に関して、①文部科学省科学研究費、②研究設備整備費、③私大等経常費補助費の実態はどうか。
- (4) 施設設備使用料収入、特に施設設備の多角的活用と使用料徴収の実態はどうか。

[支出]

- (1) 人件費に関して、教育職員・事務職員人件費の実態はどうか、それは適切であるか。
- (2) 教育研究経費の総額、その構成比は適切であるか。
- (3) 管理経費の総額、その構成比は適切であるか。
- (4) 施設関係経費の総額、その構成比は適切であるか。
- (5) その他

3 大学財務の管理について

- (1) 財務分析に関し、下記分析はどのように行っているか。
 - ① 単年度財務分析
 - ② 中・長期財務分析
 - ③ 財務構成比率分析
 - ④ 勘定構成分析

(2) 財務計画に関し、下記計画はどのように行っているか。

- ① 単年度財務計画
- ② 中・長期財務計画

4 大学財務の運営について

- (1) 予算編成に関し、①予算編成の原理、②予算編成の方法、③予算の決定手続、④補正予算の決定手続はどのように定められ、どのように行っているか。
- (2) 予算の執行に関し、①予算の執行体制、②予算統制、③執行責任、④予備費等の経費の効率的運用はどのように行っているか。
- (3) 決算に関し、①決算承認の手続、②決算の内部監査はどのように定められ、どのように行っているか。

5 大学財務の運営組織について

- (1) 予算編成の組織はどのように定められているか。
- (2) 予算執行の組織はどのように定められているか。
- (3) 監査の組織はどのように定められているか。

[Ⅱ 施設設備及び環境]

【点検評価項目】

1 校地とその整備状況について

- (1) キャンパスプラン、総合的将来構想はどのようになっているか。特に、①キャンパスレイアウト（美観、機能性）は適切であるか。②バリアフリーへの対応状況は適切であるか。

2 施設とその整備状況について（図書館を除く）

- (1) 建築物の美観、機能性、安全性はどうか。
- (2) 施設の利用状況に関し、①教室（講義室、演習室、実験室、情報処理実習室等）の種類・総面積、室数、②学生一人当たりの面積、使用頻度等の実情はどうか、それは適切であるか。
- (3) 施設の維持・保守・管理は適切に行っているか。

3 設備とその整備状況について

- (1) 設備の機能、安全性はどのように果たされているか。
- (2) 設備の維持・保守・管理はどのように行っているか。
- (3) 情報・通信教育機器の接続環境はどう図られているか。

4 環境について

- (1) 教育環境、研究環境、学習環境は適切であるか。
- (2) 職場環境、学生生活環境は適切であるか。
- (3) 庭園、芝生、樹木、キャンパス内通路整備・通行規制、駐車場の整備・規制、騒音規制、清掃、禁煙指導等は適切であるか。

IV. 本学の教育研究活動等の在り方及び目標に関すること

【点検評価項目】

1 教育研究活動における目的について

- (1) 学部（学科）、大学院研究科の設置目的、教育・研究目標、水準はどのようなものであるか。
- (2) 教育職員の研修費執行は適切になされているか。
- (3) 教育職員の国内外研修及びサバティカルは適切に取得されているか。
- (4) 教育職員のFD研修は適切に開催され、また参加状況はどうか。

2 教育活動に沿った人材育成について

- (1) 学部（学科）、大学院研究科ではどのような人材育成を目指しているか。
- (2) 具現化するための教育内容水準はどのような実態であるか。

3 学部（学科）、大学院研究科が果たす社会的役割について

- (1) 地域社会への寄与及び貢献はどのようになされているか。
 - ① 教育的側面〔公開講座・セミナー・生涯学習、社会人特別入試等〕
 - ② 研究的側面〔研究業績書刊行等〕
 - ③ 行政的側面〔各種審議会・委員会の審議員・委員、委託研究等〕
- (2) 国際社会への寄与及び貢献はどのようになされているか。
 - ① 教育的側面〔教育の国際交流、外国大学との提携、外国人教員・留学生受入〕
 - ② 研究的側面〔研究業績の交換、外国人研究者の受入等〕

4 本学の目的等の社会的評価について

- (1) 社会的要請に対応できているか。その適切性はどうか。
 - ① 教育活動の側面から
 - ② 研究活動の側面から
 - ③ 社会活動の側面から

V. 本学の教育課程、教育組織及び教育活動に関すること

[I 教育課程、教育活動]

【点検評価項目】

〔学部（学科）〕

1 専門教育科目の教育課程の構成について

- (1) 「専攻に係る専門の学芸」を教授するための専門教育科目とその学部・学科等の理念・目的、学問の体系性並びに学校教育法との適合性は図られているか。
- (2) 学部（学科）の目的に従い、適切・効果的に編成されているか。
- (3) 授業科目数並びに卒業所要総単位に占める専門教育授業科目の割合は適切であるか。
- (4) 授業科目はシラバスに則った展開がなされているか。
- (5) 授業科目は、カリキュラム・ポリシーに則って設定されているか。

2 大学共通科目部門の教育課程について

〔大学〕

- (1) 「幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養」するための配慮は適切になされているか。
- (2) 「人間科学」の目的及び編成原理は明確にされ、それに基づいて教育課程が編成されているか。
- (3) 「人間科学と人間」の目的及び編成原理は明確にされ、それに基づいて教育課程が編成されているか。
- (4) 「自然・科学技術・人間」の目的及び編成原理は明確にされ、それに基づいて教育課程が編成されているか。
- (5) 「社会と人間」の目的及び編成原理は明確にされ、それに基づいて教育課程が編成されているか。
- (6) 「地域と文化」の目的及び編成原理は明確にされ、それに基づいて教育課程が編成されているか。
- (7) 「宗教と文化」の目的及び編成原理は明確にされ、それに基づいて教育課程が編成されているか。
- (8) 「演習科目」の目的及び編成原理は明確にされ、それに基づいて教育課程が編成されているか。
- (9) 「総合講義」の目的及び編成原理は明確にされ、それに基づいて教育課程が編成されているか。
- (10) 「キャリア教育」の目的及び編成原理は明確にされ、それに基づいて教育課程が編成されているか。
- (11) 「日本語」の目的及び編成原理は明確にされ、それに基づいて教育課程が編成されているか。

- (12) 「情報科目」の目的及び編成原理は明確にされ、それに基づいて教育課程が編成されているか。
- (13) 「外国語」の目的及び編成原理は明確にされ、それに基づいて教育課程が編成されているか。

〔短期大学部〕

- (1) 「幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養」するための配慮は適切になされているか。
- (2) 基礎教養科目の目的及び編成原理は明確にされ、それに基づいて教育課程が編成されているか。
- (3) 外国語科目の目的及び編成原理は明確にされ、それに基づいて教育課程が編成されているか。
- (4) 保健体育科目の目的及び編成原理は明確にされ、それに基づいて教育課程が編成されているか。
- (5) キリスト教科目の目的及び編成原理は明確にされ、それに基づいて教育課程が編成されているか。

3 教職課程科目の教育課程について

- (1) 教育職員免許法、教育職員免許法施行令等の教員免許関係法令との適合性ははかられているか。
 - ① 授業科目の開設・展開は適切であるか。
 - ② 担当教育職員の配置は適切であるか。
- (2) 教職部門会議の組織・体制は適切であるか。
- (3) ①教職部門長、②教職部門会議、③教育支援課はそれぞれの役割を十分果たしているか。
- (4) 教育実習は適切に展開され、その体制は適切に組織されているか。
 - ① 実習先は十分確保されているか。
 - ② 実習ガイダンス（事前、事後指導）は適切であるか。

4 外国語教育と言語部門会議の関係について

- (1) ①言語教育部門長、②言語教育部門会議、③教育支援課はそれぞれの役割を十分果たしているか。
- (2) 言語教育部門会議と共通科目部門会議との連携は適切であるか。
- (3) 「国際化等の進展に適切に対応するための外国語能力の育成」のための教育課程が適切に展開されているか。

5 情報処理教育と総合情報センターの関係について

- (1) 総合情報センターは、設置目的に従い機能しているか。
- (2) ①総合情報センター長、②総合情報センター運営委員会、③情報システム課はそれぞれの役割を十分果たしているか。
- (3) 総合情報センター運営委員会と共通科目部門会議との連携は適切になされているか。
- (4) 「情報化等の進展に適切に対応するための情報処理能力の育成」のための教育課程が適切に展開されているか。

6 国際教育と国際教育センターの関係について

- (1) 国際教育センターは、設置目的に従い機能しているか。
- (2) 国際交流関係科目は、本学の国際交流の基本理念を踏まえ、体系的に開設されているか。
- (3) 国際交流関係科目の展開（授業担当者・授業内容・授業規模、登録・履修・単位の取得状況など）は、適切になされているか。

7 学習支援委員会とラーニング・コモنزの関係について

- (1) ラーニング・コモنزは設置目的に従い、機能しているか。

8 授業科目の展開方法について（専門及び大学共通）

- (1) 授業科目の種類（必修か選択）と開設比率は適切であるか。
- (2) 授業科目の関連性は適切であるか。（概論・総論から各論へ、または積上げ等）
- (3) 授業科目の年次配当、展開期（前・後・通年）は開設の目的との関係において適切であるか。

9 授業科目の展開形態について（専門及び大学共通）

- (1) 授業形態と授業時間数（単位数）の関係は適切であるか。
 - ① 講義、総合講義、演習、実習、実験の授業時間数と単位数は適切であるか。
- (2) 授業規模は授業形態との関連において適切であるか。
 - ① 講義、総合講義、演習、実習、実験の授業規模は適切であるか。
- (3) ティーチング・アシスタント制度の活用は有効になされているか。

10 授業方法について

- (1) 各授業科目の教授内容及び範囲は適切であるか。（全授業科目）
- (2) 授業の展開は適切であるか。
 - ① シラバスは有効活用がなされているか。
 - ② 授業方法の工夫（ICT 機材の活用等）はどのようになされているか。

11 教育水準及び評価について

- (1) 各授業科目の教育水準をどのように定めているのか（学生に求める到達期待値はどの程度か）。
- (2) 成績評価基準をどのように設定しているか。
 - ① 評価の客観性はどのように担保されているか。
 - ② 単位認定は適切であるか。
 - ③ GPA 制度による成績評価は適切であるか。

12 修学指導について

- (1) 授業科目の教授内容、履修方法、授業計画を示したシラバスは、学生の理解を深めるために適切に編集・公開されているか。
- (2) 卒業論文指導、卒業課題研究指導等の教科指導は適切な方法によって行われているか。
- (3) 修学指導体制は適切であるか。担任制、アドバイザーシステム等の導入は必要か。
- (4) 成績不良者への対応は適切であるか。
- (5) 保護者との連携をどう図っていくか。
- (6) 社会人学生に対しての教育上の配慮は適切であるか。
- (7) 編入学生に対しての教育上の配慮は適切であるか。
- (8) 外国人留学生に対しての教育上の配慮（日本語教育等）は適切であるか。
- (9) 障害をもった学生に対して教育上の合理的配慮がなされているか。

13 既修得単位取得者の対応について

- (1) 既修得単位の認定の基準方法は適切であるか。
- (2) 編入学生に対しての既修得単位認定は適切であるか。

〔大学院〕

1 教育課程の構成について

- (1) 修士課程において「広い視野に立って精深な学識を授け、専攻における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養う」という目的との適合性がはかられているか。
- (2) 博士課程において「専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の専門的な業務に従事する必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養う」という目的との適合性がはかられているか。
- (3) 研究科の目的に従い適切に編成されているか。
- (4) 授業科目は、修了要件・カリキュラム・ポリシーとの関係で適切であるか。

2 教育指導等について

- (1) 教育指導並びに学位論文の作成等を通じた研究指導は適切に行われているか。

3 社会人学生（リカレント入学生）に対する教育課程編成、教育研究指導への配慮について

- (1) 社会人学生への教育研究指導は適切に行われているか。

4 学位について

- (1) 修士の学位の授与状況と学位の授与方針・基準は適切に行われているか。
- (2) 博士の学位の授与状況と学位の授与方針・基準は適切に行われているか。

[Ⅱ 教育組織]

【点検評価項目】

1 教員の適性配置について

- (1) 基準教員数に比して、教員の配置は適切であるか。
- (2) ①一人当たり授業科目数、②一人当たり学生数、③年齢構成は適切であるか。
- (3) 教員数は、学部（学科）等の目的を実現し、有効な教育研究活動を展開する上で、必要かつ十分な数であるかどうか。
- (4) 学部（学科）の再編成構想と人事構想との関連は適切であるか。

2 人的補助体制について

- (1) 実験・実習、外国語・情報処理教育を効果的に実施するための授業援助体制は適切に機能しているか。
- (2) ティーチング・アシスタント（TA）の採用基準は適切であり、授業援助機能は有効に働いているか。

3 教員人事について

- (1) 採用の基準及び手続は適切であるか。
- (2) 任免の基準及び手続は適切であるか。
- (3) 昇格の基準及び手続は適切であるか。
- (4) 定年の基準及び手続は適切であるか。
- (5) 人事は学部（学科）の教育活動目標に合致し適切に行われているか。

4 教育研究活動の評価について

- (1) 学部（学科）の目的を達成するための、内容・レベルに相応しい教育活動上の能力評価が適切になされているか。
- (2) 上記(1)が学生の学修の活性化及び教育研究上の能力向上にどのように貢献しているか。
- (3) モデルティーチング顕彰制度は適切に運用されているか。

Ⅵ. 本学の研究組織及び研究活動に関すること

【点検評価項目】

1 研究組織・研究体制について

- (1) 研究水準向上のための研究体制・条件は適切に構築されているか。

2 研究活動の検証システムについて

- (1) 教員の研究活動の活性度・質・水準を測定・評価をするシステムは有効に編成され、機能しているか。

3 研究活動状況について

- (1) 教員の研究活動として、研究成果の発表等は適切に行われているか。
- (2) 教員の研究活動として、学会発表等は適切に行われているか。

4 研究財政・施設面について

- (1) 教員の研究活動を支えるための財政・施設面での条件整備は適切になされているか。
 - ① 個人研究費は適切に利用されているか。
 - ② 学外研究費の獲得は適切であるか。
 - ③ 科学研究費助成事業等の応募、採択は適切であるか。
 - ④ 研究旅費は適切に利用されているか。
 - ⑤ 共同研究費は適切であるか。
 - ⑥ 研究室（広さ等）、研究用施設は適切であるか。

VII. 本学の学生の受入れに関すること

【点検評価項目】

1 入学者選抜の方針・方法について

- (1) 入学者選抜方針は、学部（各学科）の掲げる理念・目的、アドミッション・ポリシーが適切に反映したものとして設定されているか。
- (2) 入学者選抜方針は、多様化する社会の要求に適切に応え、それに合致した入学者選抜がなされているか。
- (3) 入学希望者の区分に対応した選抜方法は適切になされているか。
- (4) 入学希望者の大学理解と入学希望につながる多面的な取組みがなされているか。

2 入学者募集について

- (1) 学部（学科）の特色が、募集活動に適切に反映されているか。
- (2) 学部（学科）の特色を捉えた広報活動は適切であるか。
- (3) 入学者募集広報の方法は適切であるか。その効果は有効なものであるか。
- (4) 学園内高校との連携及び学園内進学者の状況は適切であるか。

3 入学定員・収容定員について

- (1) 学生の入学定員及び収容定員との関係において入学者数は適切であるか。

VIII. 本学の学生の課外活動、厚生及び就職に関すること

【点検評価項目】

1 学生生活一般について

- (1) 学生生活指導（ガイダンス）体制は適切に組織され行われているか。
- (2) 生活指導体制に関し、①学生支援委員長、②学生支援委員会、③学生生活支援課はその役割を有効に発揮しているか。
- (3) 学生生活上の要望聴取等の体制・運用は適切であるか。

2 生活環境について

- (1) 学生会館（食堂、ホール等）の維持・保全是適切であるか。
- (2) サークル棟、学生交流会館 Kirari の維持・保全是適切であるか。
- (3) 違反駐車、構内禁煙指導は適切であるか。

3 課外活動について

- (1) 学生自治会・体育会の諸活動の把握と指導は適切であるか。
- (2) 各サークルの諸活動の把握と指導は適切であるか。
- (3) 各サークルへの支援及び責任体制は有効に機能しているか。

4 学生相談・医務室について

- (1) 学生相談、医務室の体制は適切であるか。
- (2) 学生相談室は有効に機能しているか。
- (3) 学生の健康状況は適切に管理把握されているか。
- (4) 学生の健康保持・増進のための配慮は適切に行なわれているか。

5 アクセシビリティ支援室について

- (1) 支援対象者の相談体制は適切であるか。
- (2) アクセシビリティ支援室は有効に機能しているか。
- (3) 学生の授業支援は合理的配慮に基づいて行われているか。

5 奨学金について

- (1) 各種奨学金制度は適切であるか。
- (2) 奨学生の採用選考手続は、適切なものとして設定されているか。
- (3) 奨学生指導は適切に行われているか。

6 就職について

- (1) 就職指導（キャリアデザインプログラム）体制は適切に編成されているか。
 - ① 民間企業
 - ② 公務員

- ③ 教員
- ④ 社会福祉施設等
- ⑤ インターン
- (2) 就職指導体制に関し、①キャリアデザインセンター長、②キャリアデザイン支援委員会、③就職支援課はその役割を有効に発揮しているか。
- (3) 求人情報の収集及び提供、求人開拓等は適切であるか。
 - ① 学生のニーズとの関連において求人開拓は適切であるか。
 - ② 就職後のフォローを十分行っているか。特に企業管理職、公務員管理職の状況は把握できているか。
 - ③ 卒業生との組織的連携は適切に行われているか。
 - ④ 各種国家試験対策のフォローは十分行っているか。
- (4) 卒業延期者の対応は適切に行われているか。

IX. 本学の図書及び学術情報に関すること

【点検評価項目】

1 図書館の機能について

- (1) 大学設置基準第 38 条第 1 項、短期大学設置基準第 29 条第 1 項、大学院設置基準第 21 条との適合性がはかられているか。
- (2) 学術情報収集・保存・利用の提供機能は適切であるか。
- (3) 教育（教育課程の展開）への寄与機能は適切であるか。

2 図書館の運営組織について

- (1) 運営体制に関し、①図書館長、②司書課はその役割を有効に発揮しているか。

3 図書等の収集・保存について

- (1) 図書・電子図書・資料・学術情報の収集方法は適切であるか。
 - ① 収集は、大学の理念・目的に沿って適切になされているか。
 - ② 収集は、学部（学科）の理念・目的、教育課程に沿って適切になされているか。
- (2) 図書・電子図書・資料・学術情報の収集・選定方法は適切であるか。
- (3) 図書・電子図書・資料・学術情報の収集・選定手続は適切であるか。
- (4) 図書・電子図書・資料・学術情報の収集は適切になされているか。
- (5) 利用提供に関し、他の大学図書館との協力は適切になされているか。

4 図書等の利用の提供について

- (1) 利用提供（レファレンス・サービス）は適切になされているか。
- (2) 利用提供指導体制（ガイダンス）は適切になされているか。
- (3) 研究活動への貢献は適切になされているか。
- (4) 教育活動への貢献は適切になされているか。

5 施設・設備等について

- (1) 閲覧座席数は教育・研究及び学生の学習のために充分であるか。
- (2) 開館時間は利用者に対して適切な配慮であるか。

6 図書館の社会的貢献について

- (1) 地域社会の開放ニーズへの対応は適切であるか。
- (2) 他大学・公共図書館との連携は適切になされているか。

X. 本学の宗教活動に関すること

【点検評価項目】

1 宗教活動について

- (1) 大学における宗教活動の意義・目的は明確化され、共通に意識化されているか。

2 建学の精神との関係について

- (1) キリスト教による人格教育を具体化するための「キリスト教（宗教）活動内容」は、適切であるか。〔礼拝及び宗教部主催各種行事の位置づけ等はどうか〕
- (2) キリスト教による人格教育を行う教職員の役割は何か。〔学長、チャプレン、一般教職員はどう関わっていくべきなのか。〕

3 スミス・ミッションセンターについて

- (1) スミス・ミッションセンター体制に関し、①スミス・ミッションセンター部長、②スミス・ミッションセンター運営委員会、③チャプレンはその役割を有効に発揮しているか。

4 スミス・ミッションセンター活動について

- (1) 各種行事（大学礼拝、記念講演会等）は、適切に行われているか。
- (2) 各種行事が宗教活動として「建学の精神」にどのように反映されているか。
- (3) 学生が主体的に活動するボランティア活動を適切に支援しているか。

5 チャペルについて

- (1) 大学のチャペルは、スミス・ミッションセンター活動の展開の場として有効に機能を果たしているか。

6 規程について

- (1) スミス・ミッションセンターの諸活動に関する規程が適切に整備されているか。

XI. 本学の国際交流に関すること

【点検評価項目】

1 国際交流の基本理念について

- (1) 国際交流の基本的方針はどうか。
- (2) 国際交流協定は適切であるか。
- (3) 国際交流に関する財源等はどうなっており、適切であるか。

2 国際交流の組織について

- (1) 国際教育センターは、設置目的に従い機能しているか。
- (2) 運営に関し、①国際教育センター長、②国際教育推進委員会、③国際教育課はそれぞれの役割を十分果たしているか。

3 国際交流プログラム（派遣）について

- (1) 国際交流協定校との関係において適切であるか。
- (2) 派遣前・後の指導（ガイダンス）は適切であるか。
- (3) 認定単位読替・振替の基準・方法は適切であるか。

4 国際交流プログラム（受入）について

- (1) 国際交流協定校との関係において適切であるか。
- (2) 日本語教育体制はどうなっており、適切であるか。

5 留学生の支援について

- (1) 短期（提携校）受入留学生については適切であるか。
- (2) 外国人留学生（学部生）については適切であるか。

6 国際社会への寄与及び貢献について

- (1) 国際社会への寄与及び貢献はどのようになされているか。
 - ① 教育的側面〔教員の国際交流、外国大学との提携、外国人教員・留学生受入〕
 - ② 研究的側面〔研究業績の交換、外国人研究者の受入〕

XII. 本学の社会との連携交流に関すること

[社会連携事業について]

【点検評価項目】

1 公開講座について

- (1) 公開講座の種類等は適切であるか。
- (2) 各講座の受講者数は適切であるか。
- (3) 社会的ニーズへの対応は適切であるか。

2 研究生・科目等履修生について

- (1) 受入の基準、方法は適切であるか。

3 民間企業等の共同研究について

- (1) 民間企業・団体・組織との共同研究はどうか、適切であるか。
- (2) 共同研究の組織、運営は適切であるか。また、支援はどのようになされているか。

4 地域社会への寄与及び貢献について

- (1) 地域社会への寄与及び貢献はどのようになされているか。
 - ① 教育的側面〔公開講座・セミナー、出張講義、生涯学習、社会人特別入試等〕
 - ② 研究的側面〔研究業績書刊行等〕
 - ③ 行政的側面〔各種審議会・委員会の審議員・委員、委託研究等〕
 - ④ 施設設備等の側面〔図書館、ホール、講義・教室（学会等）、体育館（大会）等〕

[同窓会・後援会について]

【点検評価項目】

1 同窓会について

- (1) 教職員の同窓会への派遣はどうか。
- (2) 同窓会主催のイベントの開催状況はどうか。

2 後援会について

- (1) 教職員の後援会総会・懇親会及び地区別父母懇談会への派遣状況はどうか。

XIII. その他必要な事項に関すること

[オープンユニバーシティについて]

【点検評価項目】

1 社会連携センターの組織について

- (1) オープンユニバーシティの位置づけはどうか。
- (2) 社会連携センターは、設置目的に従い機能しているか。
- (3) ①社会連携センター長、②社会連携センター運営委員会、③社会連携課は、それぞれの役割を十分果たしているか。

2 既存のオープンユニバーシティプログラムについて

- (1) 正課教育課程との関連は適切であるか。
- (2) 国際交流等の機関との関連は適切であるか。
- (3) 各種講座の現状は、適切であるか。
- (4) 各種講座の受講者数は、適切であるか。
- (5) 地域社会との関係はどうか。

3 新規講座について

- (1) 社会状況の変化に合わせた新規講座の設置はどうか。

2019年度 自己点検評価報告書・自己点検評価資料

2020（令和2）年8月発行

編集 自己点検評価・内部質保証委員会
発行 北星学園大学・北星学園大学短期大学部
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
TEL 011-891-2731
FAX 011-892-6097
URL <http://www.hokusei.ac.jp>